

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年6月25日
【計算期間】	第10期（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）
【ファンド名】	HKTトラスト (HKT Trust)
【発行者名】	HKTマネジメント・リミテッド (HKT Management Limited)
【代表者の役職氏名】	グループ・マネージング・ディレクター兼執行取締役 スザンナ・フェイ・ホン・ヒン (HUI Hon Hing, Susanna, Group Managing Director and Executive Director)
【本店の所在の場所】	香港、クオーリ・ベイ、979 キングス・ロード、タイクー・プレイス、 PCCWタワー、39階 (39th Floor, PCCW Tower, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 三原 秀哲
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー 長島・大野・常松法律事務所
【事務連絡者氏名】	弁護士 松尾 直哉 弁護士 鬼頭 あゆみ
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー 長島・大野・常松法律事務所
【電話番号】	03-6889-7125
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

（注記１） 将来予想に関する記述

本書には、将来予想に関する記述が含まれる。これらの将来予想に関する記述には、収益、成績及び見込みに関する記述が含まれるが、これに限定されない。「信じる」、「意図する」、「预期する」、「予想する」、「推定する」、「見積もる」、「予測する」、「確信する」、「確信を持つ」という用語及びその他の同様の表現は、将来予想に関する表現を識別することを目的としている。これらの将来予想に関する表現は、過去の事実ではない。正確には、将来予想に関する記述は、事業、業界及び本グループが活動を行う市場に関する本グループの取締役及び経営陣の現在の信条、仮定、预期、予想及び予測を基にしたものである。

これらの将来予想に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスク、不確実性及びその他の要因の影響を受ける。この内のいくつかは、我々には制御不可能であり、予測が困難である。その結果、実際の業績が将来予測に関する記述において記載、暗示若しくは予測されるものと大幅に異なる可能性がある。実際の業績を、将来予想に関する記述に記載されるものと著しく異ならせる可能性がある要因には、下記が含まれる。

- ・ 香港の電気通信市場、有料テレビ市場及び本グループが活動を行うその他の市場における競争の激化。
- ・ 施行される可能性がある新たな法律、規則、規制、決定若しくは命令から見込まれる悪影響。
- ・ 実現される可能性がある新たな規制動向から見込まれる悪影響。
- ・ 本グループに多額の債務が生じた場合の本グループの事業計画実行能力。
- ・ 金利利息に対する本グループのエクスポージャー。
- ・ 本グループの追加資本取得能力。
- ・ 本グループの事業戦略実行能力（本グループの企業結合並びに事業再編、戦略的投資及び買収を締結する能力並びに組織的な事業成長へ取組む能力を含む。）。
- ・ マクロ経済的、公衆衛生上及び地政学的な不確実性並びに本グループが制御不能なその他のリスク及び要因から見込まれる本グループの事業の業績及び見込みについての市場混乱。

これらの将来予想に関する記述は、本年次報告書の日付における本グループの取締役及び経営陣の見解を反映したものであり、依拠するべきではない。本グループは、本年次報告書の開示以降に生じる事象又は環境を反映させるために、これらの将来予想に関する記述を公式に修正するいかなる責任も負わない。

（注記２） 別の記載がなされている場合を除き、本書に記載の「香港ドル」又は「香港\$」は香港ドルを指す。日本円への換算は、別の記載がなされている場合を除き、株式会社三菱UFJ銀行が公表した2021年４月１日現在における対顧客電信直物売買相場の仲値である１香港ドル＝14.26円の換算率で行われている。

（注記３） 本書では、HKTトラスト、HKTリミテッド及びHKTマネジメント・リミテッドについての最新の事業上のデータは、最新の事業上のデータ確認のため、実務上可能な最近日現在において記載されている。別途記載のない限り、かかる直近の日時とは2020年12月31日である。

（注記４） HKTリミテッドは、ケイマン諸島において有限責任で設立された会社である。

中国関連の会社名及び人名

本書に使用されている中国関連の会社名及び人名の原文表記は、以下の通りである。

李澤楷	： リチャード・リ・ツアル・カイ (LI Tzar Kai, Richard)
許漢卿	： スザンナ・フェイ・ホン・ヒン (HUI Hon Hing, Susanna)
鍾楚義	： ミコ・チャン・チョ・イー (CHUNG Cho Yee, Mico)
李福申	： リ・フシェン (LI Fushen)
朱可炳	： シュ・ケビン (ZHU Keping)
張信剛	： チャン・シン・カン (CHANG Hsin Kang)
黃惠君	： フランシス・ワイクン・ウォン (Frances Waikwun WONG)
中國聯合網絡通信集團 有限公司	： チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・ カンパニー・リミテッド (China United Network Communications Group Company Limited)

定義語

本書において、文脈上別の解釈をする必要のある場合を除き、以下の用語及び表現は以下の意味を有するものとする。

2011年－2021年オプション制度：2011年11月7日に本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者が可決した決議に基づくHKTトラスト及びHKTリミテッドにより条件付で採択された本株式ステープル受益証券のオプション制度（本上場より効力を有する。）。その主要な条件は、「第一部－第1 ファンドの状況－2 投資方針－（3）運用体制－統合取締役報告書－本株式ステープル受益証券オプション制度」に要約されている。

調整資金収支：資本的支出、顧客獲得コスト及び免許料支払額、税金支払額、財務費用支払額並びに利息支払額を控除し、受取利息額及び運転資本変動額を調整した後のHKTリミテッド・グループのEBITDA。香港財務報告基準に準拠したレバレッジ又は流動性の指標として表示されているものではなく、香港財務報告基準に基づき得られる正味キャッシュ・フロー若しくはその他類似の指標又は営業キャッシュ・フロー若しくは流動性の指標に代わるものとみなすべきではない。HKTリミテッド・グループの調整資金収支は、HKTリミテッド・グループの監査済連結財務書類からの財務情報を使用し、上記の定義に従って計算されたものである。調整資金収支は債務の返済に使用される可能性がある。

米国預託証券：米国預託証券（American Depositary Receipts）

年間調整資金収支：HKTリミテッドの年次監査済連結財務書類から算出された各会計年度のHKTリミテッド・グループの調整資金収支

本年次報告書：2021年3月31日に香港証券取引所のウェブサイトで公表された2020年12月31日に終了した会計年度におけるHKTトラスト及びHKTリミテッドの年次報告書。本年次報告書は、HKTリミテッドのウェブサイト（www.hkt.com/ir）でも入手可能である。

承認機関：HKTリミテッド取締役会、HKTリミテッド取締役会のいずれかの委員会若しくは小委員会、並びに／又は各本株式ステープル受益証券報奨制度のあらゆる若しくはいずれかの側面を管理する権能及び権限を委任された者

関係者：香港上場規則で用いられる意味を有する。

保証された権利：優先募集のもとで保証に基づき留保株式ステープル受益証券の申込みを行う適格PCCW社株主の権利で、基準日の午後4時30分におけるそれぞれのPCCW社株式の保有数を基準として決定される。

本監査委員会：本トラスティ・マネジャー監査委員会及びHKTリミテッド監査委員会

承認事業：本信託証書に記載されたHKTトラストの承認された事業。すなわち、
(a) HKTリミテッドに対する投資（HKTリミテッドの有価証券及びその他の持分を含むが、これらに限定されない。）
(b) 本信託証書に基づく本トラスティ・マネジャーの権能、権限及び権利の行使、並びにその義務及び債務の履行
(c) 上記(a)及び／又は(b)に記載される活動のために又はそれに従って必要であるか又は望ましいあらゆる事項又は活動

PCCW社実質株主	：基準日において名簿上のPCCW社株主の名義でPCCW社の株主名簿上に記載されたPCCW社株式の実質的な保有者
実質受益証券保有者	：本株式ステープル受益証券を取得した者
取締役多様化方針	：本取締役会が採択した取締役の多様化に関する方針(board diversity policy)
本取締役会	：本トラスティ・マネジャー取締役会及びHKTリミテッド取締役会又はそのいずれか
窓口証券会社	：本株式ステープル受益証券の取得窓口となった日本の証券会社
営業日	：香港において認可銀行が一般的に営業している日（土曜日、日曜日、祝日及び香港で午前9時から午後5時までの間のいずれかの時点において台風警報シグナル8以上又は暴風雨警報「ブラック」が発令された日を除く。）
ケイマン諸島会社法	：随時の改正、補足又は修正を含むケイマン諸島の会社法（第22章）（1961年法律第3号、その後の統合及び改正を含む。）
CCASS	：HKSCCにより設立・運営される中央清算決済システム（Central Clearing and Settlement System）
CCASS口座	：CCASSにおいてCCASS参加者により維持される証券口座
CCASS決済参加者	：CCASSに直接決済参加者又は一般決済参加者として参加することを認められた者
CCASS参加カストディアン	：CCASSにカストディアンとして参加することを認められた者
CCASS参加投資家	：CCASSに投資家として参加することを認められた者。個人若しくは共同個人又は法人であってもよい。
CCASS参加者	：CCASS決済参加者、CCASS参加カストディアン又はCCASS参加投資家
コーポレート・ガバナンス規範	：香港上場規則別紙14に定められるコーポレート・ガバナンス規範
最高執行役員	：HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの最高経営責任者
チルトンリンク社	：チルトンリンク・リミテッド（Chiltonlink Limited）
集団投資スキーム	：集団投資スキーム（CIS）
CKアセット社	：CKアセット・ホールディングス・リミテッド（CK Asset Holdings Limited）
CKハチソン社	：CKハチソン・ホールディングス・リミテッド（CK Hutchison Holdings Limited）
近親者	：香港上場規則で用いられる意味を有する。
本年次総会	：株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の年次総会として、単一の総会として合同で開催される／開催される予定のHKTトラストの受益証券保有者及びHKTリミテッドの株主の名簿上の本株式ステープル受益証券保有者の年次総会
香港会社条例	：会社条例（香港法第622章）（その時々における改正、補足その他の修正を含む。）

HKTリミテッド	： 2011年6月14日にケイマン諸島においてケイマン諸島会社法に基づき有限責任で設立された会社であるHKTリミテッド（HKT Limited）
HKTリミテッド附属定款	： HKTリミテッドの変更及び書換済附属定款（その時々々の修正を含む。）
HKTリミテッド監査委員会	： HKTリミテッドの監査委員会
HKTリミテッド取締役会	： HKTリミテッドの取締役会
HKTリミテッド取締役	： HKTリミテッドの取締役
関連当事者	： 香港上場規則で用いられる意味を有する。
関連取引	： 香港上場規則で用いられる意味を有する。
継続関連取引	： 香港上場規則で用いられる意味を有する。
本株式ステープル受益証券の支配的保有者	： 香港上場規則に基づき発行済本株式ステープル受益証券の30%以上を保有する者、すなわちPCCW社
CPD	： 専門能力の継続的開発
CSI社	： CSIプロパティーズ・リミテッド（CSI Properties Limited）
CSR	： 企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）
CUCI社	： チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・コーポレーション・リミテッド（China United Network Communications Corporation Limited）
全取締役	： 本トラスティ・マネジャー取締役及びHKTリミテッド取締役の総称。「 取締役 」は、状況に応じて、本トラスティ・マネジャーの取締役又はHKTリミテッドの取締役として解釈されるものとする。
EBITDA	： 受取利息、財務費用、法人所得税、減価償却費及び償却費、有形固定資産、借地権、使用権資産及び無形資産の処分に係る損益、その他の損益（純額）、有形固定資産に係る損失、再編費用、のれん、有形資産及び無形資産並びに関連会社及び共同支配企業に対する持分に係る減損損失、並びに関連会社及び共同支配企業の損益に対するHKTリミテッド・グループの持分考慮前の利益。EBITDAは世界の電気通信業界で業績、レバレッジ及び流動性の指標として一般的に使用されているが、香港財務報告基準に準拠した業績指標として表示したものではなく、正味営業キャッシュ・フローに相当するものとみなしてはならない。HKTリミテッド・グループのEBITDAの計算結果は、同様の名称をもつ他社の指標と比較することはできない可能性がある。
アйсナー社	： アイスナー・インベストメンツ・リミテッド（Eisner Investments Limited）
エクセル・グローバル社	： エクセル・グローバル・ホールディングス・リミテッド（Excel Global Holdings Limited）

交換権	： 発行済本株式ステーブル受益証券の全てを、本株式ステーブル受益証券の構成要素である本受益証券に紐付けされた本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式と交換することを要求する本信託証書に基づく本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者の権利。当該権利は、本受益証券の名簿上の保有者の特別決議を可決することにより行使することができる。交換権が行使された場合には、本信託証書は終了し、本受益証券及び本優先株式は本普通株式と交換された後消却され、本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者であった者は、上場され、香港証券取引所の事前承認を条件として取引可能なHKTリミテッドの本普通株式の保有者になる。
本受益証券の名簿上の保有者の特別決議	： 本信託証書の規定に基づき適式に招集及び開催された本受益証券の名簿上の保有者の総会において提案され、投じられた賛成票及び反対票の合計の75%以上の多数票により特別決議として可決された決議
第1回配当適格PCCW社株主	： PCCW社による第1回配当基準日の午後4時30分においてPCCW社の株主名簿上に氏名が記載されたPCCW社株主
PCCW社による第1回配当基準日	： 2011年12月30日（金）
FWDグループ	： FWDリミテッド（FWD Limited）、FWDグループ・リミテッド（FWD Group Limited）及びそのそれぞれの子会社
FWDライフ・インシュランス社	： FWDライフ・インシュランス・カンパニー（バミューダ）リミテッド（FWD Life Insurance Company (Bermuda) Limited）
グループ内部監査部門	： 本グループのグループ内部監査部門
本グローバル・オフアリング	： 国際募集、香港募集及び優先募集における募集価格でHKTトラスト及びHKTリミテッドにより共同で募集される本株式ステーブル受益証券のグローバル・オフアリング
香港政府	： 香港の政府
グループ・リスク管理・コンプライアンス部門	： 本グループのグループ・リスク管理・コンプライアンス部門
本グループ	： HKTトラスト、HKTリミテッド及びその子会社群
香港テレコム社	： 香港テレコミュニケーションズ（HKT）リミテッド（Hong Kong Telecommunications (HKT) Limited）
香港ドル及び香港セント	： 香港の法定通貨である香港ドル
HKEJ社	： 香港エコノミック・ジャーナル・カンパニー・リミテッド（Hong Kong Economic Journal Company Limited）
香港財務報告基準	： 香港公認会計士協会により公表された香港財務報告基準
香港公認会計士協会	： 香港公認会計士協会（Hong Kong Institute of Certified Public Accountants）
HKSCC	： 香港証券取引所（Hong Kong Exchanges and Clearing Limited）の完全子会社である香港セキュリティーズ・クリアリング・カンパニー・リミテッド（Hong Kong Securities Clearing Company Limited）
HKSCCノミニーズ	： CCASSの運営者であるHKSCCのノミニーとしての資格で行為するHKSCCノミニーズ・リミテッド（HKSCC Nominees Limited）又はその承継人、後任若しくは譲受人

HKT規範	： HKTトラスト及びHKTリミテッドの証券取引に関する行動規範
HKTIA社	： HKTフィナンシャル・サービスズ（IA）リミテッド（HKT Financial Services (IA) Limited）
HKTリミテッド・グループ	： HKTリミテッド及びその子会社群
HKTサービスズ社	： HKTサービスズ・リミテッド（HKT Services Limited）
HKT株式ステープル受益証券購入制度	： HKTリミテッドにより条件付で採択された（既に発行済の本株式ステープル受益証券の買入を伴う）本株式ステープル受益証券の報奨制度（本上場をもって効力を有している。）。その詳細は、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制―統合取締役報告書―本株式ステープル受益証券報奨制度」に要約されている。
HKT株式ステープル受益証券引受制度	： HKTリミテッドにより条件付で採択された（新規発行の本株式ステープル受益証券の引受を伴う）本株式ステープル受益証券の報奨制度（本上場をもって効力を有している。）。その詳細は、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制―統合取締役報告書―本株式ステープル受益証券報奨制度」に要約されている。
HKTトラスト	： 本信託証書に基づき設定されたHKTトラスト（HKT Trust）
HKTC社	： 1925年6月24日に香港において有限責任で設立された会社であり、PCCW社の間接完全子会社であるPCCW-HKTテレフォン・リミテッド（PCCW-HKT Telephone Limited）
HKTC社の施設	： HKTC社が有する施設
HKTL社	： 1987年6月17日に香港において有限責任で設立された会社であり、PCCW社の間接完全子会社であるPCCW-HKTリミテッド（PCCW-HKT Limited）（旧ケーブル・アンド・ワイヤレスHKTリミテッド（Cable & Wireless HKT Limited）及び旧香港テレコミュニケーションズ・リミテッド（Hong Kong Telecommunications Limited））
本株式ステープル受益証券保有者	： 本株式ステープル受益証券の保有者として本株式ステープル受益証券登録簿に記載された者。本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者がHKSCCノミニーズである場合には、文脈上許容される限り、そのCCASS口座に本株式ステープル受益証券が預託されたCCASS参加者も含むものとする。
香港	： 中国の香港特別行政区
香港募集株式ステープル受益証券	： 香港募集に基づきHKTトラスト及びHKTリミテッドにより当初共同で募集される本株式ステープル受益証券
香港募集	： 募集価格を対価とする香港の一般投資家を対象とするHKTトラスト及びHKTリミテッドにより共同で行われる香港募集株式ステープル受益証券の現金での募集
香港株主名簿	： HKTリミテッド附属定款及び本信託証書に基づき香港においてHKTリミテッドにより作成・備置されたHKTリミテッドの支店株主名簿
HSBC	： 香港上海銀行（The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited）
ICT	： 情報通信技術

国際募集株式ステープル受益証券	：国際募集に基づきHKTトラスト及びHKTリミテッドにより当初共同で募集された本株式ステープル受益証券
国際募集	：募集価格を対価とするHKTトラスト及びHKTリミテッドにより共同で行われる国際募集株式ステープル受益証券の募集。当該募集は、米国外のオフショア取引においてはレギュレーションSに依拠して行われ、米国内においてはルール144A又はその他の米国証券法に基づく登録免除制度に依拠して適格機関投資家に対してのみ行われる。
投信法	：投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法第198号）
香港内国歳入局	：香港内国歳入局（Inland Revenue Department of Hong Kong）
本株式ステープル受益証券の名簿上の共同保有者	：本株式ステープル受益証券の共同保有者として本株式ステープル受益証券登録簿にその時点で記載されている者
本受益証券の名簿上の共同保有者	：本受益証券の共同保有者として本受益証券登録簿にその時点で記載されている者
KSHディストリパークス社	：KSHディストリパークス・プライベート・リミテッド（KSH Distriparks Private Limited）
KSHインフラ社	：KSHインフラ・プライベート・リミテッド（KSH Infra Private Limited）
紐付けされた	：HKTトラストの各本受益証券を、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格において本トラスティ・マネジャーが保有する具体的に特定された本普通株式と組み合わせ、紐付けること。その結果、本信託証書に基づき、本受益証券の名簿上の保有者は、具体的に特定された本普通株式の実質的持分を有し、本受益証券が譲渡される場合には、本普通株式の実質的持分も譲渡されることになる。「 紐付けること 」も同様に解釈されるものとする。
本上場	：香港証券取引所のメインボードに本株式ステープル受益証券を上場すること
上場日	：本株式ステープル受益証券の上場日（2011年11月29日）
香港上場規則	：香港証券取引所における香港上場規則
マカオ	：中国の澳門特別行政区
メインボード	：香港証券取引所が運営する証券取引所（オプション市場を除く。）であり、香港証券取引所のGEM（成長企業市場）とは独立しており、当該市場と並行して運営されている。
本メディア事業	：メディア・グループが実施するテレビ及び「新メディア」事業
メディア・グループ	：PCCWメディア・ホールディングス社及びその子会社群
モデル規範	：上場会社の取締役による証券取引に関するモデル規範
指名方針	：本取締役会が採用した指名方針
非適格PCCW社株主	：基準日の午後4時30分においてその氏名がPCCW社の株主名簿に記載されたPCCW社株主であるが、PCCW社の株主名簿上の住所が特定領域にある者（優先募集に参加する条件を満たすPCCW社株主を除く。）、及びそれ以外にその時点で特定領域の居住者であることがPCCW社に知られているPCCW社株主又はPCCW社実質株主（優先募集に参加する条件を満たすPCCW社株主又はPCCW社実質株主を除く。）

募集価格	： 本グローバル・オファリングに基づく各本株式ステーブル受益証券の引受価格
募集株式ステーブル受益証券	： 国際募集株式ステーブル受益証券及び香港募集株式ステーブル受益証券、（該当する場合には）並びにHKTトラスト及びHKTリミテッドにより共同で発行される可能性のある追加の本株式ステーブル受益証券
営業費用	： 減価償却費、償却費及び有形固定資産の処分による利益／損失（純額）控除前の営業費
本受益証券の名簿上の保有者の普通決議	： 本信託証書の規定に基づき適式に招集及び開催された本受益証券の名簿上の保有者の総会において提案され、投じられた賛成票及び反対票合計の50%超の多数票により普通決議として可決された決議
本普通株式	： HKTリミテッド附属定款に定められた権利が付された額面金額0.0005香港ドルのHKTリミテッドの株式資本における普通株式
その他のPCCW社事業	： 本電気通信事業、本メディア事業、本ソリューションズ事業及び本不動産事業を除くPCCWグループの事業であり、主に企業支援機能から構成される。
パシャ・ベンチャーズ社	： パシャ・ベンチャーズ・プライベート・リミテッド（Pasha Ventures Private Limited）
PCCS社	： パシフィック・センチュリー・サイバーワークス・ソリューションズ（マカオ）リミテッド（Pacific Century CyberWorks Solutions (Macau) Limited）
PCCW社	： 1979年4月24日に香港において有限責任で設立された会社であるPCCWリミテッド（PCCW Limited）。同社の株式は香港証券取引所に上場されており（証券コード：0008）、米国のOTCマーケット・グループ・インク（OTC Markets Group Inc.）において米国預託証券の形式で取引されている（米国預託証券の略称：PCCWY）。
PCCW社による配当	： PCCW社の取締役会委員会により宣言された条件付特別配当。配当適格PCCW社株主に対して2回行われる本株式ステーブル受益証券合計316,160,960口の現物配当の形式で充当された。
配当適格PCCW社株主	： 第1回配当適格PCCW社株主及び第2回配当適格PCCW社株主
PCCWグループ	： PCCW社及びその子会社群
PCCW社マカオ	： PCCW（マカオ）リミターダ（PCCW (Macau) Limitada）
PCCWメディア社	： PCCWメディア・リミテッド（PCCW Media Limited）
PCCWメディア・ホールディングス社	： PCCWメディア・ホールディングス・リミテッド（PCCW Media Holdings Limited）
PCCW社株主	： PCCW社株式の保有者
PCCW社株式	： PCCW社の普通株式
PCCWソリューションズ社	： PCCWソリューションズ・リミテッド（PCCW Solutions Limited）
PCD社	： パシフィック・センチュリー・ダイバーシファイド・リミテッド（Pacific Century Diversified Limited）

PCGH社	： パシフィック・センチュリー・グループ・ホールディングス・リミテッド (Pacific Century Group Holdings Limited)
PCPD社	： 1998年6月19日にバミューダにおいて設立された会社であるパシフィック・センチュリー・プレミアム・ディベロップメンツ・リミテッド (Pacific Century Premium Developments Limited)。同社の株式は香港証券取引所に上場されている（証券コード：0432）。
PCRD社	： 1963年10月25日にシンガポールにおいて設立された会社であるパシフィック・センチュリー・リージョナル・ディベロップメンツ・リミテッド (Pacific Century Regional Developments Limited)。同社の株式はシンガポール証券取引所に上場されている（SES：P15）。
PCRDサービズ社	： PCRDサービズ・プライベート・リミテッド (PCRD Services Pte Ltd)
中国	： 中華人民共和国
本優先株式	： HKTリミテッド附属定款に定められた権利が付された1株当たり額面金額0.0005香港ドルのHKTリミテッドの株式資本における優先株式
優先募集	： 国際募集に基づき募集価格で募集が行われる本株式ステーブル受益証券のうち、保証された権利として行われる適格PCCW社株主に対する本株式ステーブル受益証券の優先的な募集及び本株式ステーブル受益証券の超過申込の充足を目的とした、本株式ステーブル受益証券の追加募集
主要な本株主名簿	： ケイマン諸島において備え置かれるHKTリミテッドの主要な株主名簿
本不動産事業	： 不動産グループが実施する不動産事業
不動産グループ	： PCPD社及びその子会社群
香港目論見書	： HKTトラスト及びHKTリミテッドが共同で発行した2011年11月16日付の香港募集のための目論見書
適格機関投資家	： ルール144Aにおいて定義された適格機関買付人
適格PCCW社株主	： 基準日の午後4時30分においてPCCW社の株主名簿上に氏名が記載されたPCCW社株主（非適格PCCW社株主を除く。）
基準日	： 留保株式ステーブル受益証券に対する適格PCCW社株主の保証された権利を確定するための基準日である、2011年11月11日（金）
実質的持分登録簿	： HKTトラストのトラスティ・マネジャーの資格としての本トラスティ・マネジャーの名義で主要な本株主名簿に記載された本普通株式の実質的持分の登録簿であり、本信託証書に基づき本トラスティ・マネジャー又は本トラスティ・マネジャーにより指名された登録機関による作成・備置が要請される。
本株主名簿	： HKTリミテッドの主要な本株主名簿、香港株主名簿及びその他の支店株主名簿
本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者	： 本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者として本株式ステーブル受益証券登録簿に該当する時点で記載された者を意味し、かつ、本株式ステーブル受益証券の共同保有者として記載された者を含む。疑義を避けるために付言すると、「 本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者 」及び「 本株式ステーブル受益証券の名簿上の共同保有者 」にCCASS参加者は含まない。

本受益証券の名簿上の保有者	： 本受益証券の保有者として本受益証券登録簿に該当する時点で記載された者を意味し、かつ、本受益証券の名簿上の共同保有者として記載された者を含む。
登録機関	： 本株式ステープル受益証券登録簿、本受益証券登録簿、実質的持分登録簿及び香港株主名簿等を備置するために本トラスティ・マネジャー及び／又はHKTリミテッドにより随時任命される者
レギュレーションS	： 米国証券法に基づくレギュレーションS
関連法人	： 香港証券先物条例で用いられる意味を有する。
留保株式ステープル受益証券	： 優先募集のもとで保証された権利として適格PCCW社株主に対してHKTトラスト及びHKTリミテッドにより共同で募集が行われる本株式ステープル受益証券並びに優先募集に基づく適格PCCW社株主による超過申込を充足するためにHKTトラスト及びHKTリミテッドにより提供される追加的な本株式ステープル受益証券。国際募集のもとで募集が行われる本株式ステープル受益証券から割り当てられる。
人民元	： 中国本土の法定通貨である人民元
リスク管理・統制コンプライアンス委員会	： HKTリミテッドのリスク管理・統制コンプライアンス委員会
RTH社	： ラディアント・タレント・ホールディングス・リミテッド（Radiant Talent Holdings Limited）
ルール144A	： 米国証券法に基づくルール144A
シームレス・インダストリーズ社	： シームレス・インダストリーズ・リミテッド（Seamless Industries Limited）
第2回配当適格PCCW社株主	： PCCW社による第2回配当基準日の午後4時30分においてPCCW社の株主名簿上に氏名が記載されたPCCW社株主
PCCW社による第2回配当基準日	： 2012年3月20日（火）
香港証券先物委員会	： 香港の証券先物委員会（Securities and Futures Commission）
香港証券先物委員会条例	： 香港の証券先物委員会条例（Securities and Futures Commission Ordinance）
香港証券先物条例	： 証券先物条例（Securities and Futures Ordinance）（香港法第571章）（その時点における改正、補足又はその他の修正を含む。）
シンガポール証券取引所	： シンガポール・エクスチェンジ・セキュリティーズ・トレーディング・リミテッド（Singapore Exchange Securities Trading Limited）
本株式	： 本普通株式及び本優先株式又はそのいずれか
本株式ステープル受益証券	： 以下の証券又は証券の持分の組み合わせ。本信託証書の規定に従い、いずれも一体としてのみ取引することができ、個別に又は他と分離して取引することはできない。 (a) HKTトラストにおける本受益証券 (b) 本受益証券に紐付けされ、かつ、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格において法的所有者としての本トラスティ・マネジャーが保有する具体的に特定された本普通株式の実質的持分 (c) 本受益証券と一体化された具体的に特定された本優先株式

本株主ステープル受益証券報奨制度	： HKT株式ステープル受益証券買入制度及びHKT株式ステープル受益証券引受制度
本株式ステープル受益証券登録簿	： 本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の登録簿
本株式ステープル受益証券登録機関	： コンピュータシェア・香港・インベスター・サービシズ・リミテッド (Computershare Hong Kong Investor Services Limited)
本株主	： 主要な本株主名簿又は香港株主名簿に本普通株式の株主及び／又は本優先株式の株主として該当する時点で記載されている者
シンガポール・ドル	： シンガポール共和国の法定通貨であるシンガポール・ドル
スカイ・アドバンス社	： スカイ・アドバンス・アソシエイツ・リミテッド (Sky Advance Associates Limited)
本ソリューションズ事業	： ソリューションズ・グループが実施する事業
ソリューションズ・グループ	： ソリューションズ・ホールディングス社及びその子会社群
ソリューションズ・ホールディングス社	： 2008年6月18日にケイマン諸島においてケイマン諸島会社法に基づき有限責任で設立された会社であり、PCCW社の間接完全子会社であるHKTソリューションズ・ホールディングス・リミテッド (HKT Solutions Holdings Limited)
特定領域	： (a) 優先募集の場合は、オーストラリア、バハマ、ガーンジー、インド、マン島、イタリア、ジャマイカ、日本、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、セーシェル、タイ、米国 (b) PCCW社による配当の場合は、バハマ、ガーンジー、インド、イタリア、ジャマイカ、日本、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、セーシェル、タイ、米国
SSH社	： シルバリー・スカイ・ホールディングス・リミテッド (Silvery Sky Holdings Limited)
一体化された	： HKTトラストにおける各本受益証券を具体的に特定された本優先株式に結びつける方法。その結果、本信託証書に基づき、前者は後者と別個に取引することができなくなる。「 一体化する 」は同様に解釈されるものとする。
香港証券取引所	： 香港証券取引所 (The Stock Exchange of Hong Kong Limited) 又は文脈により香港証券取引所の持株会社である香港エクスチェンジャーズ・アンド・クリアリング・リミテッド (Hong Kong Exchanges and Clearing Limited)
子会社	： 香港会社条例で用いられる意味を有する。
香港買収条例	： 買収及び合併に関する香港条例
本電気通信事業	： HKTリミテッド・グループが実施する事業
香港電気通信条例	： 香港電気通信条例（香港法第106章）（その時点における改正、補足又はその他の修正を含む。）
スリーUK社	： ハチソン・スリーG・UKリミテッド (Hutchison 3G UK Limited)
取引口座	： 外国証券取引口座
本信託証書	： 本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッド間で締結されたHKTトラストを設定する2011年11月7日付の信託証書（その時々の改正、補足その他の修正を含む。）

本信託財産	： 本信託証書に基づき本受益証券の名簿上の保有者のための信託財産として保有される全ての財産及び権利（種類を問わない。）で、以下を含む。 (a) HKTトラストが取得したHKTリミテッドの証券その他の権利及び持分 (b) HKTトラストに対する拠出金及び本受益証券の発行に関する引受金 (c) HKTトラストのトラスティ・マネジャーの資格としての本トラスティ・マネジャーにより及びそれを代理して締結された承認事業に関する契約又は取決に関する権利 (d) 上記(a)から(c)記載の証券、金銭その他の権利及び持分から生じた利益、利子、収入及び財産
トラスティ	： 本株式ステープル受益証券報奨制度に関して任命された独立したトラスティである コンピュータシェア・香港・トラスティーズ・リミテッド (Computershare Hong Kong Trustees Limited)
本トラスティ・マネジャー	： HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格で行為するHKTマネジメント・リミテッド (HKT Management Limited)。同社は、2011年6月14日に香港会社条例に基づき香港において設立された有限責任会社であり、PCCW社の間接完全子会社である。
本トラスティ・マネジャー附属定款	： 本トラスティ・マネジャーの附属定款（その時々における変更を含む。）
本トラスティ・マネジャー監査委員会	： 本トラスティ・マネジャーの監査委員会
本トラスティ・マネジャー取締役会	： 本トラスティ・マネジャーの取締役会
本トラスティ・マネジャー取締役	： 本トラスティ・マネジャーの取締役
香港受託者条例	： 受託者条例（香港法第29章）（その時々における改正、補足その他の修正を含む。）
ユニコム社	： チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッド (China United Network Communications Group Company Limited)
ユニコムA-シェア社	： チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・リミテッド (China United Network Communications Limited)
ユニコムHK社	： チャイナ・ユニコム（香港）リミテッド (China Unicom (Hong Kong) Limited)
本受益証券	： HKTトラストの不可分の持分。本受益証券は、本受益証券により付与されると本信託証書に記載される権利を（本受益証券としての権利か本株式ステープル受益証券としての権利かを問わず）付与する。
米国	： アメリカ合衆国、その準州及び自治領、アメリカ合衆国のいずれかの州並びにコロンビア特別区

本受益証券保有者	： (a) 本受益証券登録簿に本受益証券の保有者として記載された者。疑義を避けるために付言すると、本株式ステープル受益証券の構成要素としての本受益証券を保有し、本株式ステープル受益証券登録簿に本株式ステープル受益証券（当該本受益証券を含む。）の保有者として記載された者を含む。 (b) 本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者がHKSCCノミニーズである場合には、文脈上許容される限り、そのCCASS口座にHKSCCノミニーズの名義で記載された本受益証券が預託されたCCASS参加者も含むものとする。疑義を避けるために付言すると、「 本受益証券の名簿上の保有者 」及び「 本受益証券の名簿上の共同保有者 」にCCASS参加者は含まない。
本受益証券登録簿	： 本受益証券の名簿上の保有者の登録簿であり、本信託証書に基づき本トラスティ・マネジャー又は本トラスティ・マネジャーにより指名された登録機関により作成され、備置される。
米国証券法	： 米国1933年証券法（その後の改正を含む。）
米ドル	： 米国の法定通貨である合衆国ドル
円	： 日本の法定通貨である円

本書において法律を言及する場合には、随時改正又は再制定された当該法律に言及しているものとする。

本書において言及される全ての日時は、別途記載される場合を除き香港時間である。

本書に記載された表、グラフ及び図表において記載された数値とそれらの合計値間の不一致は、端数処理によるものである。

用語集

この用語集には、HKTリミテッド・グループ及び本電気通信事業に関して本書において使用される一定の用語の説明が記載されている。用語及びその意味は、これらの用語の業界における標準的意味又は使用法に一致しない場合がある。

ARPU	： 加入者一人当たり収益平均
CPE	： 顧客構内設備
FTTH	： 住居まで敷設された光ファイバー・ネットワーク（fiber-to-the-home）
インターネット	： 標準的なIPスイートを用いる相互接続されたコンピュータ・ネットワークの世界的な方式
テレサービス	： コンタクト・センター・サービス
TSS	： 電気通信サービス

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

香港の法律に基づき2011年11月7日に設定され、本トラスティ・マネジャーにより運用される信託であるHKTトラストは、単一の投資信託（固定型）として設立され、その活動はHKTリミテッドへの投資及びHKTリミテッドの投資にとって又は関連して必要な又は望ましいものに限定される。

HKTリミテッドの主要な活動は投資の保有である。また、HKTリミテッド・グループの主要な活動は、電気通信及びそれに関連するサービス（地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、モバイル、メディア・エンタテインメント、企業ソリューション、並びにCPEの販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他電気通信事業を含む。）の提供である。HKTリミテッド・グループは、主に香港で営業活動を行っており、また中国本土及び世界のその他の地域において顧客にサービスを提供している。

HKTリミテッドの主要な子会社及び本グループの主要な共同支配企業の主な活動は、それぞれ「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記25及び注記22に記載される。

本グループの当会計年度の事業セグメント別の業績の分析は、「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記7に記載される。

PCCW社の間接完全子会社である本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストを運用するという特別かつ限定された役割を有する。本トラスティ・マネジャーは、HKTリミテッド・グループが管理する事業の運営について積極的に関与しない。本トラスティ・マネジャーは、実質的にいかなる子会社も保有しない。

本株式ステーブル受益証券は、投資家に対し、香港における主要な総合電気通信サービス・プロバイダーに投資する機会を提供する。HKTリミテッド・グループの電気通信事業は、1925年の創業以来90年以上にわたり、香港における主要な電気通信サービス・プロバイダーとして香港の人々及び企業に高品質かつ信頼できる電気通信サービスを提供してきた。HKTトラスト及びHKTリミテッドの上場並びに本株式ステーブル受益証券の発行を伴う上場構造を採用することの利点及び欠点については、「第一部―第1 ファンドの状況―1 ファンドの性格―（3）ファンドの仕組み―①ファンドの仕組み図―HKTトラスト及びHKTリミテッドの形態及び構成―HKTトラスト、HKTリミテッド及び本株式ステーブル受益証券の発行を伴う上場構造に関する説明―HKTトラスト及びHKTリミテッドの上場並びに本株式ステーブル受益証券の発行を伴う上場構造を採用することの利点及び欠点」を参照のこと。

2020年12月31日現在、HKTリミテッド・グループの交換回線約2.52百万回線、モバイル加入者約4.61百万名及びブロードバンド・アクセス回線約1.63百万回線が稼働中であった。

HKTリミテッド・グループは、現在も香港の主要な総合電気通信サービス・プロバイダーとして先頭に立ち続けており、独自の「クワドラプル・プレイ」機能（固定回線、ブロードバンド、モバイル通信及びメディア・エンタテインメント・サービスを含む。）を香港で提供することで、技術革新と高品質の代名詞となっている。クワドラプル・プレイ配信機能は、顧客の電気通信に対するニーズを満たすワンストップ・ショップを提供し、これにより、顧客はその好み及び予定に応じて、受け取るサービスのパッケージを柔軟にカスタマイズすることができる。

香港は、全体的な範囲、サービスの普及率及び顧客の選択という点においては、世界で最も洗練された電気通信市場の1つである。HKTリミテッド・グループの広範囲な電気通信ネットワーク及び関連するインフラは、顧客に対して製品及びサービスの包括的なポートフォリオを提供するための強固なプラットフォームを提供する。

HKTリミテッド・グループは、電気通信サービスの開発及び提供、並びに事業戦略の実行の両方において実績がある経営陣のサポートを受けている。電気通信業界及びHKTリミテッド・グループ内の事業会社（又は事業会社の前身、また、これらの目的上含まれる、2000年のHKTL社の買収を通じてPCCW社が買収した会社）において幅広い経験を有する上級経営陣と共に、経営陣は、アジアで最も規制緩和が進んだ電気通信市場の1つにおいて、当該市場におけるHKTリミテッド・グループの確固たる地位を維持し、提供するHKTリミテッド・グループの製品及びサービスを拡大することに成功してきた。経営陣の経験と技術的な専門知識に先進技術の利用が相まって生み出される相乗効果により、HKTリミテッド・グループは、新たな技術の特定、採用、取得、開発及び利用に向けて速やかに動くことが可能になり、これにより、HKTリミテッド・グループは、アジア及び全世界における他の電気通信会社にとって好ましいパートナーとなっている。

HKTトラスト及びHKTリミテッドの主たる目的は、本株式ステープル受益証券保有者に定期的に安定した分配を提供し、かつ長期的に分配を増加させることである。分配及び分配方針に関しては、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（4）分配方針」を参照のこと。

HKTリミテッド・グループのキャッシュ・フローは豊富で安定しており、2019年及び2020年12月31日に終了した各会計年度は、それぞれ約12,817百万香港ドル及び12,527百万香港ドルと比較的安定したEBITDAを生み、2019年及び2020年12月31日に終了した両会計年度のEBITDAマージンは、約39%であった。2019年及び2020年12月31日に終了した会計年度のHKTリミテッド・グループの売上は、それぞれ約33,103百万香港ドル及び32,389百万香港ドルで、調整資金収支は、それぞれ約5,329百万香港ドル及び5,384百万香港ドルであった。

1995年の政府による地域電気通信市場の開放及びそれに伴う電気通信サービス・プロバイダー間の競争が激化した後も、HKTリミテッド・グループが主導的地位を維持し続けていることが示す通り、HKTリミテッド・グループの長期的に確立した実績、質の高い顧客サービス、広範囲にわたるサービス・エリア及び香港の顧客に提供されている先進技術により、HKTリミテッド・グループは、香港における主要な総合電気通信サービス・プロバイダーとしての地位を引き続き維持できる好位置にいる。

（2）【ファンドの沿革】

- 2011年6月14日 本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの設立
- 2011年11月7日 本信託証書の締結
- 2011年11月14日 本信託証書の変更に關する補足文書の締結（効力発生日は2011年11月7日）
- 2011年11月29日 本株式ステープル受益証券の本上場日
- 2012年5月3日 本信託証書の第2回変更に関する補足文書の締結

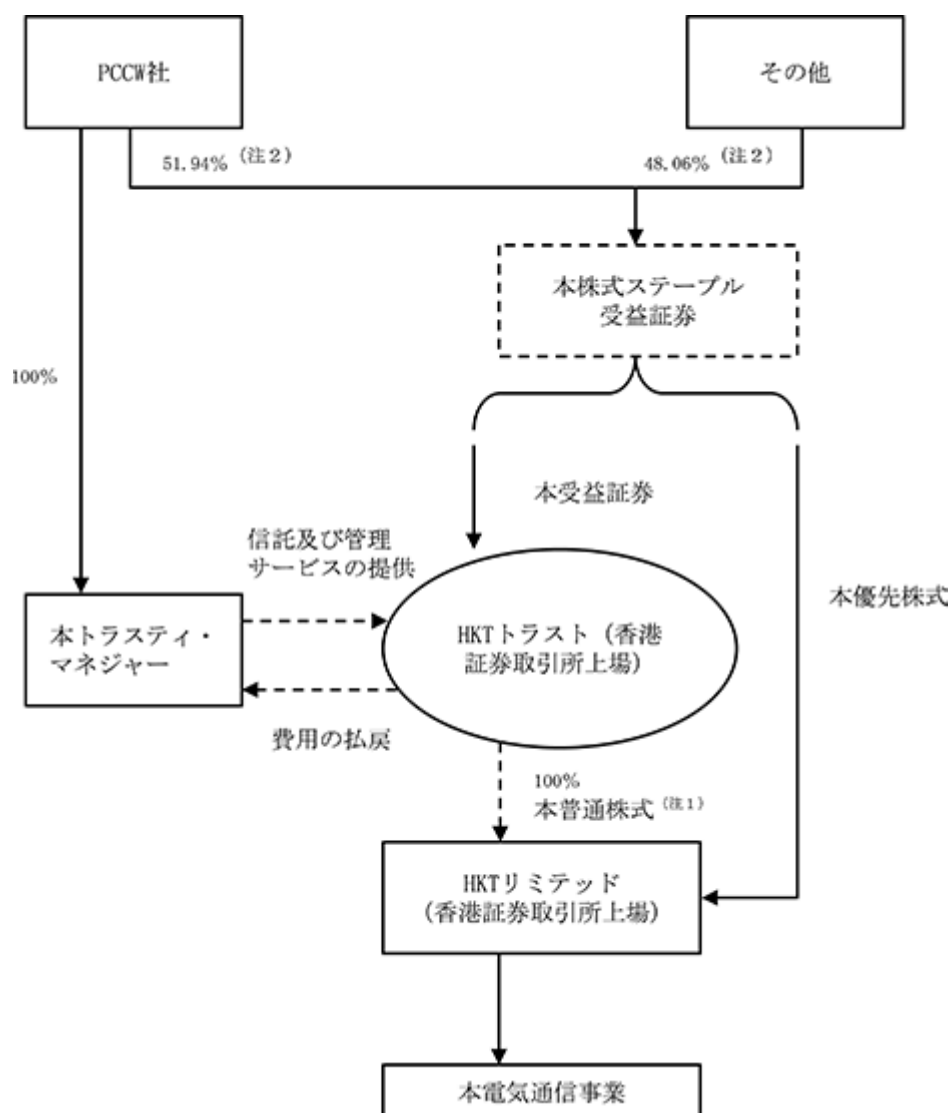
（３）【ファンドの仕組み】

① ファンドの仕組み図

HKTトラスト及びHKTリミテッドの形態及び構成

HKTトラスト、HKTリミテッド及び本株式ステープル受益証券の発行を伴う上場構造に関する説明 構造

下記の図は、本書提出日の直近日現在の上場構造の概略版である。



（注１） HKTトラストは個別の法人ではないため、HKTトラストの資産である全ての本信託財産は、本受益証券の名簿上の保有者のために本トラスティ・マネジャーが保有する。交換権が行使されるまでは、全ての発行済本普通株式は、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格における本トラスティ・マネジャーの名義で主要な本株主名簿に登録されなければならない。

（注２） 当該比率は概数である。

本株式ステーブル受益証券

本グローバル・オファリングのもとで、引受人は、HKTトラスト及びHKTリミテッドが共同で発行した本株式ステーブル受益証券を引き受けた。各本株式ステーブル受益証券は、以下の3つの構成要素を有する。

- （a）HKTトラストにおける本受益証券
- （b）本受益証券に紐付けされた、本受益証券保有者のために本トラスティ・マネジャーが保有する具体的に特定されたHKTリミテッドの本普通株式の実質的持分
- （c）本受益証券と一体化された、具体的に特定されたHKTリミテッドの本優先株式

本トラスティ・マネジャーにより発行されるHKTトラストの各本受益証券は、具体的に特定された本優先株式に付されるか又は一体化されたものでなければならず、また、いずれか一方のみで取引されることのないよう、かかる本優先株式は、法的及び実質的所有者としての本受益証券保有者により（本受益証券とともに）保有されるものとする。本信託証書では、この関係性を、各本受益証券が、具体的に特定された本優先株式に一体化されたものと定めている。

受益証券、本普通株式及び本優先株式の数が等しいこと

本信託証書及びHKTリミテッド附属定款に基づき、発行済本普通株式及び発行済本優先株式の数は、常に同じでなければならず、いずれも発行済本受益証券の数と等しくなくてはならない。

本株式ステーブル受益証券構造を採用する理由

本株式ステーブル受益証券構造は、（a）HKTトラストの本受益証券、（b）本受益証券保有者のために本トラスティ・マネジャーが保有する具体的に特定されたHKTリミテッドの本普通株式（かかる本普通株式は、本受益証券に紐付けされている。）の実質的持分及び（c）具体的に特定されたHKTリミテッドの本優先株式（かかる本優先株式は、本受益証券に一体化されている。）により構成される。

HKTトラスト及び本受益証券

HKTトラスト及びHKTトラストによる投資家への本受益証券の発行に関する提案は、調整資金収支に基づく分配方針をより明確に唱え推進することができ、かつ専ら分配に注力し、その点において他の上場会社との差別化を図ろうとするHKTリミテッド・グループの意図をHKTリミテッド・グループがより明確に発信できる信託構造を導入するという商業上の目的を反映している。通常、信託における投資家は、信託財産に対する不可分の持分である受益証券に応募する。

具体的に特定された本普通株式に係る実質的持分

本普通株式には、HKTリミテッドによる配当金及びその他の分配金に対する権利が付与されている。本普通株式は、HKTトラストが本受益証券の名簿上の保有者からの委託によりHKTリミテッドの株式を保有するための手段である。本普通株式は、HKTリミテッドが清算される場合、又は（HKTトラストが解散させられる場合には、）解散に際して本優先株式が額面価格で償還される場合を除き、HKTリミテッドに由来する経済上の持分の全てとなる。

具体的に特定され、かつ本受益証券に紐付けされた各本普通株式を保有することの根本的根拠は、紐付け規定が、基礎となる上場された本普通株式のデリバティブとしての本受益証券に適用される香港証券先物条例（投資家保護に係る規定を含むが、それに限定されない。）に該当することである。

交換権もまた、本受益証券に対する香港証券先物条例の主要な規定の適用を支援している。

究極的には、紐付けに係る取決及び交換権は、本受益証券に対する投資家が、本受益証券の名簿上の保有者による特別決議を可決することによりHKTトラストを解散させ、その保有する本受益証券を上場会社（すなわちHKTリミテッド）の基礎となる本普通株式と、1対1ベースで交換することができるということを意味する。

本優先株式

本優先株式は、HKTリミテッドによるいかなる配当、分配又はその他の支払に参加する権利も付与しない（HKTリミテッドが清算される場合、又は（HKTトラストが解散させられる場合には、）解散に際して本優先株式が額面価格で償還される場合を除く。）。

本優先株式を本株式ステーブル受益証券の構成要素に含めること及び一体化構造を採用することの根本的根拠は、本株式ステーブル受益証券（ひいてはHKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）及びHKTリミテッド）が、香港証券先物条例の全ての規定（投資家保護に係る規定を含むが、それに限定されない。）に服することを明らかにすることである。さもなくば、独立した本受益証券に対する香港証券先物条例の一定の規定の適用については、議論の余地があったであろう。

本トラスティ・マネジャーの具体的かつ限定的な役割

本株式ステーブル受益証券に対する投資家が、香港における既存の法的枠組みのもと、香港証券取引所に上場された会社の株主に対するそれと同等の投資家保護を受けることができるよう取り計らうため、本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理という具体的かつ限定的役割を有する。本トラスティ・マネジャーは、本電気通信事業の運営に積極的に従事することはなく、かかる本電気通信事業は、HKTリミテッド及びその事業子会社により運営されている。

HKTトラスト及びHKTリミテッドの上場並びに本株式ステーブル受益証券の発行を伴う上場構造を採用することの利点及び欠点

本書に記載する上場構造の形態による本電気通信事業の上場により、成熟し、安定的にキャッシュ・フローを生み出すかかる事業の性質が、安定した配当金及び特化した投資を好む適切な投資家層に合致する。全取締役は、本信託証券及びHKTリミテッド附属定款に記載の明白な表現による分配方針（「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（4）分配方針」を参照のこと。）並びに分配に対する明確な注力を伴うかかる形態による本電気通信事業の上場により、投資家は、要求に応じ、会計上の利益から分配され得る配当金よりも高額な配当金を、負債の弁済後に調整資金収支から受領することがより確実となるであろうと考えている。

全取締役は、調整資金収支に基づく分配方針をより明確に唱え推進することができ、かつ専ら分配に注力し、その点において他の上場会社との差別化を図ろうとするHKTリミテッド・グループの意図をHKTリミテッド・グループがより明確に発信できる構造を、HKTトラストが提供するものと考えている。全取締役はまた、全般的な取決（全取締役による本トラスティ・マネジャーの取締役及びHKTリミテッドの取締役の兼任、投資家に配当金が支払われるまでの分離口座に保有する金額に係る要件並びに分配方針に対するあらゆる将来の変更を発表及び説明する義務を含む。）により、上記の分配方針の導入にさらなる厳格性と規律が求められることとなるであろうと考えている。

HKTトラスト及びHKTリミテッドの上場並びに本株式ステーブル受益証券の発行を伴う上場構造を採用することの欠点には、下記が含まれる。

- この上場構造は新規の構造であり、香港市場に先例がない。香港証券取引所に上場している会社の株主が享受しているそれと同等の投資家保護の利益を、投資家が本株式ステーブル受益証券の保有者として享受することができるよう多大な努力が行われているものの、関連ある投資家保護法が本株式ステーブル受益証券の構造に適用されるか否かは香港裁判所の解釈に服する。かかるリスクを軽減するため、本株式ステーブル受益証券（ひいてはHKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）及びHKTリミテッド）が、香港証券先物条例に服することとなるであろう旨の意見を有力なカウンセラーから得ている。本株式ステーブル受益証券（ひいてはHKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）及びHKTリミテッド）はまた、香港買収条例及び香港上場規則にも服する。

- ・ 主にHKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーに係る追加的な財務書類を作成及び公開する義務に起因して、HKTトラストに関して管理費が発生する。しかしながら、追加的な管理費は、本トラスティ・マネジャーの役割が具体的かつ限定的であることに応じて高額ではなく、全取締役は、本株式ステープル受益証券には、上記の会計上の利益から分配される分配金と一般的に比較してより高額な分配金が発生することから、追加的な管理費よりも、本株式ステープル受益証券の保有者に発生する利益の方が上回るものと考えている。
- ・ HKTトラストの存続期間は固定期間であり、80年から1日を差し引いた期間である。当該期間の満了時には、HKTトラストは解散する。要約すると、かかる満了時に本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者は、その保有する（本株式ステープル受益証券の構成要素である）本受益証券に紐付けされた本普通株式の分配を現物で受ける権利を有する。

HKTリミテッド

HKTリミテッドは、2011年6月14日に特例有限責任会社としてケイマン諸島に設立された。HKTリミテッドは、本電気通信事業の持株会社であり、本電気通信事業を運営する事業子会社を間接的に保有及び支配する。

HKTリミテッドは、以下の2種類の株式を有する。

- （a）株主総会における議決権（本普通株式1株につき1個の議決権）並びにHKTリミテッドからの配当及び分配を受ける権利が付された本普通株式。
- （b）株主総会における議決権（本優先株式1株につき1個の議決権）が付されるが、HKTリミテッドが清算される場合を除きHKTリミテッドからの配当又はその他の分配に対する権利が付されていない本優先株式。本優先株式に付された権利及び本株式ステープル受益証券の構成要素として本優先株式を含める理由に関する詳細は、下記「本優先株式により付与される権利」に記載される。

全取締役は、HKTリミテッド及びその子会社が電気通信事業及び電気通信関連事業のみに従事することを意図している。しかしながら電気通信事業は、通信技術の発展に呼応し、又はこれを見越したビジネス・モデルの急激な変化によって特徴付けられる変動の激しい事業部門である。通信技術の進化の急速な勢い、その結果としてかかる変化とともに発展することを望む事業に生じる義務及び電気通信事業の効率的かつ柔軟な定義を確立することの実務上の難しさを鑑みるに、全取締役は、HKTリミテッド基本定款及び附属定款に記載するHKTリミテッドの事業活動の範囲を、明示的に電気通信事業及び電気通信関連事業に限定することは実践的であるとは考えておらず、また本株式ステープル受益証券の保有者の利益になるとも考えていない。したがって、HKTリミテッドの基本定款は、（その有価証券を香港証券取引所に上場しているケイマン諸島で設立された会社においては慣例となっているため）HKTリミテッドの事業範囲は限定されない旨規定している。かかる事情を鑑みるに、本株式ステープル受益証券に対する投資家は、HKTリミテッドの基本定款及び附属定款がHKTリミテッドの事業範囲を電気通信事業のみに限定していないこと及び（他の種類の事業が総じて本株式ステープル受益証券の保有者の利益となる場合には）当該異なる事業に従事する法的能力をHKTリミテッドが有していることに留意するべきである。

HKTトラスト

概要

HKTトラストは単一の投資信託（固定型）である。これはすなわち、HKTトラストは、唯一の事業体（つまり、HKTリミテッド）の株式及びその他の持分のみに投資することができること、並びにHKTトラストが本受益証券の名簿上の保有者に対し、HKTトラストが保有する具体的に特定可能な財産（本件の場合は本普通株式）に係る実質的持分を付与することを意味する。

HKTトラストは、本トラスティ・マネジャーとHKTリミテッドとの間で締結された香港法による支配を受ける信託証書に基づき設立された。本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの受託者及び管理者に選任された。本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの資産の法的所有権を有し、また、本信託証書に基づき、将来にわたるかかる資産を本受益証券の名簿上の保有者の委託により保有する旨宣言した。

分離口座における本信託財産

全ての本信託財産は、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの共同支配下にある分離口座において保有される。

活動範囲

本信託証書に記載されているHKTトラストの活動範囲は、原則として、HKTリミテッドへの投資に限定されており、本信託証書により付与される本トラスティ・マネジャーの権限、権能及び権利もまた、それに応じて限定されている。本信託証書に記載されている活動範囲の詳細については、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（2）投資対象―活動範囲の限定」に記載されている。

負債の無いこと

HKTトラストは、負債を負うことを認められていない。

本トラスティ・マネジャー及びその具体的役割

本トラスティ・マネジャーであるHKTマネジメント・リミテッドは、2011年6月14日に香港会社条例に基づき香港において設立された。本トラスティ・マネジャーは、発行済払込株式資本金1.00香港ドルを有するPCCW社の完全子会社である。本信託証書は、本トラスティ・マネジャーがPCCW社の子会社である限り、PCCW社により完全に所有されていなければならない旨規定している。

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理という具体的かつ限定的役割を有する。本トラスティ・マネジャーは、本電気通信事業の運営に積極的に従事することではなく、かかる本電気通信事業は、HKTリミテッド及びその事業子会社により運営されている。

本トラスティ・マネジャーに支払われるべき手数料の無いこと

HKTトラストの管理に係る費用及び経費は、本信託財産から差し引くことができるが、その役割が具体的かつ限定的であることに応じて、本トラスティ・マネジャーは個別の管理手数料を受領しない。

本トラスティ・マネジャーの解任及び代替

本信託証書は、本受益証券の名簿上の保有者による普通決議により本トラスティ・マネジャーを解任及び代替することができる旨規定している。本信託証書には、本トラスティ・マネジャーの退任、解任及び代替に関する詳細な規定が含まれる。これらの規定は、「第一部―第1 ファンドの状況―3 投資リスク―（1）リスク要因―本株式ステーブル受益証券への投資に関するその他のリスク―本トラスティ・マネジャーは本受益証券の名簿上の保有者の普通決議によってのみ解任及び変更することができる。」及び「第一部―第2 管理及び運営―4 受益者の権利等―（1）受益者の権利等―一定足数及び議決―（c）」において説明される。

本トラスティ・マネジャーの取締役会

本信託証書は、本トラスティ・マネジャーの取締役が、常にHKTリミテッドの取締役を務める同一の個人により構成されること、いかなる者も、同時にHKTリミテッドの取締役を兼任していない限り、本トラスティ・マネジャーの取締役を務めることができないこと、及びいかなる者も、同時に本トラスティ・マネジャーの取締役を兼任していない限り、HKTリミテッドの取締役を務めることができないことを定めている。

本信託証書に規定される本株式ステーブル受益証券構造の重要な特徴

「第一部―第2 管理及び運営―3 資産管理等の概要―（5）その他―③信託証書の修正等」に詳細に記載されている通り、本株式ステーブル受益証券構造の重要な特徴は、本信託証書に盛り込まれている。

本優先株式により付与される権利

本優先株式は、HKTリミテッドが清算される場合を除き、HKTリミテッドによる一切の配当、分配又はその他の支払に参加するいかなる権利も付与しない。HKTリミテッドが清算される場合には、本優先株式の名簿上の各保有者は、HKTリミテッドの株主に対する分配のために利用可能な資産の中から、本普通株式に関連して当該資産の何らかの分配が行われる前に、募集価格と同等の金額の支払を受ける権利を有する。その後、HKTリミテッドの株主に対する分配のために利用可能な資産の残高は、本優先株式及び本普通株式の名簿上の保有者の間で、あたかも同一の種類の株式であるかのごとく平等に、（その保有するそれぞれの株式の数に比例する割合で）分配される。

HKTトラストが解散する場合は、HKTリミテッドは、本優先株式の額面価格と同額の償還価格にて各本優先株式を償還することを義務付けられる。

本受益証券に関して支払われる分配金及び分配方針

HKTトラストが効力を生じている間、HKTリミテッドによるHKTリミテッド・グループに由来する全ての配当、分配及びその他の支払は、本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式に関連して支払われ、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に対し分配される。

HKTトラスト及びHKTリミテッドの分配方針の詳細は、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（4）分配方針」に記載されている。

交換権

本信託証書は、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者のために交換権を規定している。本受益証券の名簿上の保有者の特別決議により、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者は、発行済本株式ステープル受益証券の全て（一部は不可）を交換対象の本受益証券に紐付けされた本トラスティ・マネジャー保有の本普通株式と（1口当たり1株で）交換することを要求できる。交換権が行使された場合には、HKTトラスト及び本信託証書は終了し、本受益証券及び本優先株式は交換権の行使に基づき本トラスティ・マネジャーとの間で交換及び消却され、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者であった者は、HKTリミテッドの同数の上場本普通株式（香港証券取引所の事前の承認を条件に香港証券取引所において独立して取引される予定）の保有者になる。本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者が臨時総会を招集し、交換権を行使するための決議案を提出する方法については、「第一部―第2 管理及び運営―4 受益者の権利等―（1）受益者の権利等―交換―交換手続」を参照のこと。

本受益証券、本普通株式、本優先株式及び実質的持分の関係に関する詳細

交換権が行使されるまでは、常に以下の状態を維持しなければならない。

- （a）発行済本受益証券の口数は、発行済本普通株式の株式数に等しくなければならない（逆もまた同様とする。）。
- （b）発行済本受益証券の口数は、発行済本優先株式の株式数にも等しくなければならない（逆もまた同様とする。）。
- （c）発行済本普通株式数は、発行済本優先株式の株式数と等しくなければならない（逆もまた同様とする。）。

紐付けの仕組み

交換権が行使されるまでは、全ての発行済本普通株式は、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格における本トラスティ・マネジャーの名義で主要な本株主名簿に記載されなければならない。HKTトラストが発行した又は発行する各本受益証券は、HKTリミテッドによりHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての本トラスティ・マネジャーに対して発行された又は発行される具体的に特定された本普通株式と組み合わせられ、かつそれらに紐付けされなければならない。本トラスティ・マネジャーは、具体的に特定された同数の本普通株式が、関連する本受益証券の発行若しくは売却より前又はそれとほぼ同時にHKTリミテッドによりHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての本トラスティ・マネジャーに対して発行されていない限り、いかなる者に対しても本受益証券を発行又は売却してはならない。HKTリミテッドは、本普通株式が具体的に特定され、HKTリミテッドによりHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての本トラスティ・マネジャーに対して発行され、かつ当該具体的に特定された本普通株式に関する同数の本受益証券が本トラスティ・マネジャーにより発行されたか、又は発行される予定でない限り、本普通株式を発行又は売却してはならない。

各本受益証券は、本信託証書の条件に従って、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての本トラスティ・マネジャーの名義で主要な本株主名簿に記載されている具体的に特定された本普通株式の実質的持分を本受益証券の名簿上の保有者に付与する。

本トラスティ・マネジャーは、本信託証書の条件（本信託財産からの一定の支払及びその他の控除を許可する条件を含むが、これらに限定されない。）に従って、本トラスティ・マネジャーの名義で主要な本株主名簿に記載されている具体的に特定された本普通株式に関して実施されるあらゆる配当、分配及びその他の支払の代金を、当該具体的に特定された本普通株式と組み合わせられ、かつ紐付けされた関連する本受益証券の名簿上の保有者に分配するものとする。

各本株式ステーブル受益証券は、本信託証書に従い、関連する本株式ステーブル受益証券の構成要素である本受益証券と組み合わせられ、かつ紐付けされ、具体的に特定された本普通株式と交換することができる。

一体化の仕組み

各本受益証券がHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての本トラスティ・マネジャー保有の具体的に特定された本普通株式と組み合わせられ、かつそれに紐付けされなければならないという上記の条件に加えて、以下の事項は、交換権が行使されるまでは、常に守られなければならない。

- (a) HKTトラストが発行した又は発行する各本受益証券は、HKTリミテッドにより発行された又は発行される具体的に特定された本優先株式と一体化されなければならない。
- (b) 本トラスティ・マネジャーは、具体的に特定された同数の本優先株式がHKTリミテッドにより発行され、かかる本優先株式が、本受益証券が発行又は売却された者と同一の者（及び本受益証券登録簿に登録された当該本受益証券の保有者と同一の者の名義で主要な本株主名簿又は主要な香港株主名簿に記載されている者）に対して本受益証券1口当たり具体的に特定された本優先株式1株の割合で、かつそれぞれが別個に取引することができないようにするために、具体的に特定された各本優先株式が本受益証券と一体化されることを前提として発行又は譲渡されない限り、いかなる者に対しても本受益証券を発行又は売却してはならない。
- (c) HKTリミテッドは、本優先株式が上記の通り本受益証券と一体化されない限り、本優先株式を発行又は売却してはならない。

本受益証券及び本普通株式の紐付けの継続、並びに本受益証券及び本優先株式の一体化の継続

本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、交換権が行使されるまでは、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格における本トラスティ・マネジャーの名義で主要な株主名簿に登録された具体的に特定された本普通株式に各本受益証券を継続して紐付けさせておかねばならず、かつ、具体的に特定された本優先株式に各本受益証券を継続して一体化させておかねばならない。

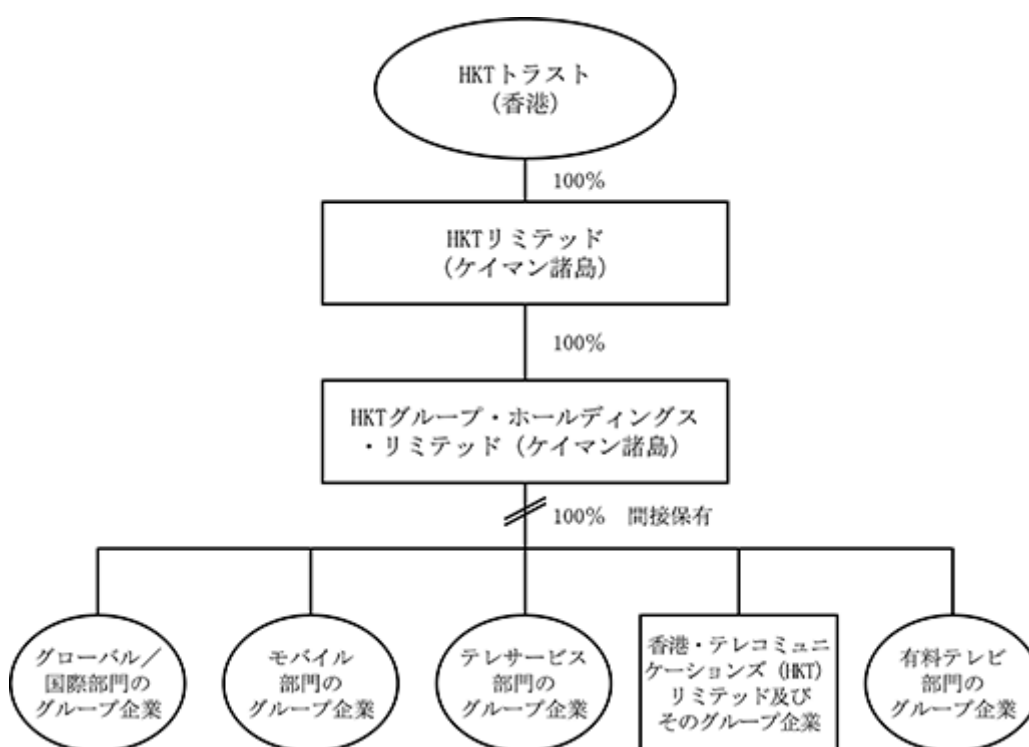
本信託証券には、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが、本受益証券と本普通株式とが紐付けされなくなる、若しくは本受益証券と本優先株式とが一体化されなくなる事となるような一切の行為を行い、又はこれらの関係を維持するのに必要とされる一切の行為を行わないことを禁じる規定が含まれている。

また、本信託証券には、本受益証券及び本株式がHKTトラスト及びHKTリミテッドによってのみ募集及び発行でき、またその保有者によってのみ、（個々の構成要素である本受益証券、本普通株式及び本優先株式の形ではなく）本株式ステープル受益証券の形で譲渡することができる旨の詳細な規定が盛り込まれている。

本信託証券はまた、交換権が行使されるまでは、本受益証券の併合、分割、消却、買戻し又は償還に併せて、当該本受益証券に紐付けされた具体的に特定された発行済本普通株式及び当該本受益証券に一体化された具体的に特定された発行済本優先株式の両方の併合、分割、消却、買戻し又は償還を行うのでない限り、本トラスティ・マネジャーは、本受益証券の併合、分割、消却、買戻し又は償還を行ってはならない旨、またHKTリミテッドは本株式の併合、分割、消却、買戻し又は償還を行ってはならない旨規定している。

HKTリミテッド及びその子会社

下記の図は、2020年12月31日現在におけるHKTリミテッド及びその子会社の企業構造を単純化して示したものである。



HKTリミテッド・グループの主要な構成会社の詳細については、「第一部 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表－（1）貸借対照表－A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記25を参照のこと。

② ファンドの関係法人

（イ）本信託証券の締結者

HKTマネジメント・リミテッド（本トラスティ・マネジャー）

HKTリミテッド（本普通株式及び本優先株式の発行者）

(ロ) 関係法人

PCCWリミテッド

PCCW社は香港で設立されており、有限責任制である。PCCW社の株式は、香港証券取引所に上場されており（証券コード：0008）、米国のOTCマーケット・グループ・インクで米国預託証券の形で取引されている（証券コード：PCCWY）。

PCCW社は、香港に本社を置く世界的企業であり、電気通信、メディア、ITソリューション、不動産開発及び投資、並びにその他の事業に対する権利を保有している。PCCWグループの主要な活動は、電気通信及びそれに関連するサービス（地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、モバイル、企業ソリューション、並びにCPEの販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他電気通信の事業を含む。）の提供、香港、アジア太平洋地域及び世界のその他各地における双方向有料テレビサービス及びオーバーザトップのデジタル・メディア娯楽サービスの提供、システム統合、ネットワーク・エンジニアリング及び情報技術関連事業に対する投資及びその開発、並びに優良な不動産及びインフラ・プロジェクト並びに優良な不動産に対する投資の開発及び管理である。また、PCCW社は、HKテレビジョン・エンタテインメント・カンパニー・リミテッド（HK Television Entertainment Company Limited）を通じて、香港における家庭用無料テレビサービスを運営している。

PCCW社との関係

本書提出日の直近日現在、PCCW社はHKTトラスト及びHKTリミテッドの所有権の約51.94%を保有する。

本トラスティ・マネジャーはPCCW社の完全子会社であり、HKTリミテッドは引き続きPCCW社の子会社である（また、HKTトラストは過半数をPCCW社により保有される）。

PCCW社の事業はHKTトラスト及びHKTリミテッドについての上記の持分、本メディア事業、本ソリューションズ事業、本不動産事業及びその他のPCCW社事業を含む。本電気通信事業は、PCCWグループの多様な事業の中で独立した事業である。

③ 管理会社の概況**本トラスティ・マネジャー**

本トラスティ・マネジャーであるHKTマネジメント・リミテッド（HKT Management Limited）は、香港会社条例に基づいて2011年6月14日に香港で設立された。発行済及び払込済資本金額は1.00香港ドルである。その登録上の事務所は、香港、クオーリ・ベイ、キングス・ロード 979、タイクー・プレイス、PCCWタワー、39階（39th Floor, PCCW Tower, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong）に所在する。本トラスティ・マネジャーは、PCCW社の完全子会社である。本信託証書は、本トラスティ・マネジャーがPCCW社の子会社である限り、本トラスティ・マネジャーはPCCW社の完全子会社でなければならないことを規定している。

本トラスティ・マネジャーの事業の目的

本トラスティ・マネジャー附属定款において、その設立の目的には制限がない。

主要株主の状況

名称	登録事務所の住所	所有 株式数	発行済株式数に対する 所有株式数の比率
CASホールディング・ ナンバーワン・ リミテッド	英領ヴァージン諸島、VG1110、 トルトラ島、ロード・タウン、 ウィッカムズ・ケイII、ヴィストラ・ コーポレート・サービスズ・センター (Vistra Corporate Services Centre, Wickhams Cay II, Road Town, Tortola, VG 1110, British Virgin Islands)	1	100%

（４）【ファンドに係る法制度の概要】

① 準拠法

HKTトラストは、本トラスティ・マネジャーとHKTリミテッドとの間で2011年11月7日付で締結された本信託証書により設立されたトラストであり、香港法に準拠している。

HKTトラストの上場は、香港証券先物条例及び香港上場規則により規制される。また、トラストとしてのHKTトラストの管理及び運営は、香港受託者条例及びコモン・ローの原則に準拠している。

② HKTトラストの上場に関連する準拠法の概要

香港証券先物条例

香港証券先物条例は、香港における証券先物市場を規制するものであり、2003年4月1日に施行された。

HKTトラストに関連する香港証券先物条例の主要な規定は、香港証券先物条例第13部、第14部、第14A部及び第15部である。香港証券先物条例第13部及び第14部には、本株式ステープル受益証券の取引における市場違法行為に関する規定が含まれる。禁止行為には、インサイダー取引及び虚偽取引、価格操作又は虚偽若しくは誤解を与え得る情報の開示による市場操作が含まれる。

香港証券先物委員会は、香港証券先物条例第13部又は第14部上の市場違法行為を犯したと疑われる者に対して、市場違法行為審判所において訴訟を提起する権限を有している。市場違法行為審判所が下すことのできる命令には、その者の取締役、清算人又は管財人としての職務資格を剥奪すること、その者が証券取引を行うことを禁じること、違法行為により得た利益以下の金額を支払うよう命じること、訴訟で被った費用に相当する金額を香港政府及び／又は香港証券先物委員会に支払うよう命じること、並びにその構成員の一員としてその者に対して懲戒処分を下すことのできる機関に対して、その者に懲戒処分を下すよう勧告することが含まれる。市場違法行為で有罪となった者は、刑事責任も問われる可能性があり、課される可能性のある刑罰には、最大10年間の懲役及び／又は最大10,000,000香港ドルの罰金が含まれる。

香港証券先物条例第15部は、上場会社の株式持分を開示する一定の者の義務に関連するものである。香港証券先物条例第15部第2章は、上場企業の「株式持分」及び当該株式における「ショート・ポジション」を開示する義務を、当該持分を取得若しくは処分し、又は当該ポジションを有し若しくは解消した者それぞれに対して課している。香港証券先物条例第7章により、類似の開示義務が上場企業の取締役及び最高執行役員に課されている。香港証券先物条例第15部は、企業及び香港証券先物委員会に対して、「株式持分」又は株式における「ショート・ポジション」を有している者を調査する権限も付与している。

本株式ステープル受益証券にはHKTリミテッドの「関連株式資本」における株式が含まれるため、香港証券先物条例第15部第2章に基づく株式持分及びショート・ポジションの開示義務が本株式ステープル受益証券について適用される。同様に、香港証券先物条例第15部第7章の目的上、本株式ステープル受益証券にはHKTリミテッドの「株式持分」が含まれるため、香港証券先物条例第7章に基づき上場企業の取締役及び最高執行役員に課される開示義務が、本株式ステープル受益証券についても同様に適用される。

例えば、発行済本株式ステープル受益証券の5%を保有する者は、HKTリミテッドの「関連株式資本」の5%における、香港証券先物条例第15部第2章上の持分を開示することが求められる。本普通株式及び本優先株式はともに、「関連株式資本」である。発行済本株式ステープル受益証券の5%を保有する者は、その者が保有する本受益証券に紐付けされた本普通株式の5%、及びその者が保有する本受益証券に一体化された本優先株式の5%の持分を保有することとなり、これは合計でHKTリミテッドの発行済議決権付本株式の総数の5%に相当し、ゆえに、HKTリミテッドの「関連株式資本」の5%に相当する。

香港証券先物条例第15部第5章第329条に基づくHKTリミテッドの権限及び香港証券先物条例第15部第11章第356条に基づき株式持分又はショート・ポジションを有する者を調査する香港証券先物委員会の権限はともに、本株式ステープル受益証券についても適用される。

さらに、香港証券先物委員会は、香港証券先物条例第105条(1)により、香港証券先物委員会が適切と考える条件に従い、香港の公衆に対するトラストへの投資に関する広告又は勧誘を認可する権限を付与されている。香港証券先物委員会は、HKTトラスト又はこれに関連する広告若しくは勧誘の認可を随時見直し、香港証券先物委員会が適切と考える条件に従い、認可条件を変更、追加若しくは取り消し、又は認可を取り消すことができる。香港の公衆に対し、認可されていない集団投資スキームへの投資に関する虚偽又は誤解を与え得る広告又は勧誘を行った場合、香港証券先物条例第103条(1)の違反となる可能性がある。

香港証券先物条例第14A部に基づく規定は、一般的な上場会社であるHKTトラスト及びHKTリミテッドに対して、価格に影響を与え得る情報（price sensitive information）及び内部情報の開示に係る一般的な義務を課している。香港証券先物条例第14A部は、特に、以下の事項を定めている。

- (a) 上場会社に関する「内部情報」とは、(i) 上場会社、(ii) 上場会社の株主若しくは役員、又は(iii) 上場会社の上場証券若しくはそのデリバティブに係る特定の情報をいい、かつ当該会社の上場証券の取引を常習的に行う又は行う可能性がある者に公知の情報ではないが、かかる者に公知となる場合、当該上場証券の価格に重大な影響を与える可能性のある特定の情報をいう。
- (b) 上場会社は、要求される内部情報について、(i) かかる情報が、当該会社の「役員」としての役割を履行する過程で当該会社の「役員」の知るところとなる場合若しくは合理的に知らせなくてはならない場合、並びに(ii) かかる会社の「役員」として行為する合理的な者が、かかる情報が当該上場会社に関する内部情報であるとみなす場合には、合理的に実務上可能な限り速やかに開示しなければならない（但し、かかる情報が香港証券先物条例に定められるセーフハーバーに該当する場合を除く。）。「役員」とは、会社の取締役、マネジャー若しくは秘書役又はかかる会社の経営に関与するその他のいずれかの者をいう。

香港上場規則

HKTトラスト及びHKTリミテッドに関する香港上場規則の主要な規定は、HKTトラスト及びHKTリミテッド並びに全取締役の継続的義務に関連するものであり、一定の取引を実行する際、又はこれらの実行を提案する際にHKTトラスト及びHKTリミテッドに対して一定の要件を課し、また2011年－2021年オプション制度に対して一定の要件を課す。香港上場規則には、コーポレート・ガバナンスのベスト・プラクティスに関する指針も含まれている。

特に、継続的義務は香港上場規則第13章に定められており、とりわけ以下の事項が含まれる。

- (a) 本株式ステープル受益証券の虚偽市場が存在する若しくは存在する可能性があるとして香港証券取引所がみなす場合、HKTトラスト及びHKTリミテッドは、合理的に実務上可能な限り速やかに本株式ステープル受益証券の虚偽市場を回避するために必要な情報を公表しなければならない。
- (b) 香港証券先物条例に基づき開示される内部情報は、同時に香港上場規則にも基づき公表されなければならない。

他の継続的義務には、年次総会を毎年開催する義務、規定された期間内に年次報告書及び中間報告書並びに年次計算書類及び中間計算書類を開示し配布する義務、並びに規定された事項について香港証券取引所に通知し、かかる事項を公表する義務が含まれるが、これらに限定されない。義務の遵守方法も規定されている。

香港上場規則第14章及び第14章Aは、第三者との取引及び関連取引に関連する開示、公表及び／又は独立した株主の承認についても追加の義務を課している。各取引に関する要件は、HKTリミテッドの資産、利益、収益、時価総額及び株主資本と比較した取引規模により決定される。

香港上場規則第17章には、2011年－2021年オプション制度に対する要件（2011年－2021年オプション制度の存続期間に関する制限、2011年－2021年オプション制度に従い発行可能な本株式ステープル受益証券の最大数に関する制限、及び2011年－2021年オプション制度に基づくオプション付与の時期に関する制限が含まれるが、これらに限定されない。）も含まれる。

HKTトラスト、HKTリミテッド又は全取締役が香港上場規則に違反した場合、香港証券取引所は、以下の広範な権限を有している。

- (a) 非公開の戒告、批判を含む公式声明又は公開の譴責を發表すること。
- (b) 違反の是正又は他の是正措置を取ることを要求すること。

- (c) 全取締役がその職務に留まることは本株式ステープル受益証券保有者の利益を侵害することとなるとの香港証券取引所の考えを公に表明し、公式声明後も当該全取締役が違反を犯した職務に留まる場合には、本株式ステープル受益証券の取引停止若しくは上場廃止を行うこと。
- (d) 一定期間、HKTトラスト及びHKTリミテッドに対して市場施設の利用禁止を命じ、ディーラー及び財務アドバイザーに対して、HKTトラスト及びHKTリミテッドのために行為すること又は引き続き行為することを禁ずること。
- (e) 香港証券取引所が適切と考えるその他のあらゆる手段を講ずること。

③ HKTリミテッドの定款

基本定款及び附属定款

HKTリミテッドの変更及び書換済基本定款及び附属定款は、2011年11月7日に採択され、2011年11月14日及び2012年5月3日に修正された。当該基本定款は、特に、HKTリミテッドの株主の責任は限定されていること、HKTリミテッドの設立目的に制限はなく、HKTリミテッドは、ケイマン諸島会社法又はケイマン諸島の他のいかなる法によっても禁じられていないあらゆる目的を実施する完全な権能及び権限を有することを規定している。

(5) 【開示制度の概要】

① 香港における開示

(イ) 一般的な開示義務

上場発行会社は、関連する会計年度末から4ヶ月以内に年次報告書を、中間報告書が関連する6ヶ月間については3ヶ月以内に中間報告書を、公表し配布することが要求される。

さらに、HKTリミテッドは、(a) HKTリミテッド・グループの状態の評価を可能にするために必要なグループに関する情報、(b) 本株式ステープル受益証券の虚偽に基づく市場形成を回避するために必要なグループに関する情報、又は(c) 本株式ステープル受益証券の市場取引及び価格に悪影響を及ぼすことが合理的に予想されるグループに関する内部情報を公表しなければならない。公表内容は、上記(a)ないし(c)のいずれかの要件を満たす必要がある。

(ロ) 香港の本株式ステープル受益証券保有者に対する開示

本トラスティ・マネジャーは、関連法令及び香港財務報告基準に従い、HKTトラストの12月31日に終了する会計年度及び6月30日に終了する6ヶ月間の財務諸表を作成する。年次報告書は、本トラスティ・マネジャーにより本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に対して、香港上場規則に記載されるHKTトラストの年次報告書及び財務諸表の開示期間以内に発行されるものとする。

本トラスティ・マネジャー取締役会は、年次報告書において以下を確認する。

- (i) 本トラスティ・マネジャーに対して、HKTトラストの本信託財産から支払われた費用又は支払われるべき費用が、本信託証書に従っていること。
- (ii) 関連取引が、(a) HKTリミテッド・グループの通常及び日常の業務過程において、(b) 一般的な取引条件又はより良い条件に基づき、(c) 公正かつ合理的な条件で本株式ステープル受益証券保有者全体の利益のために、当該取引を支配する関連契約により、締結されていること。
- (iii) 本トラスティ・マネジャー取締役会は、HKTトラストの事業又は本株式ステープル受益証券保有者全体の利益に重大な悪影響を及ぼし得る本トラスティ・マネジャーのいかなる義務違反についても認識していないこと。

当該ステートメントは、HKTトラストの損益計算書に添付されなければならない。

HKTリミテッドは、関連法令及び香港財務報告基準に従い、HKTリミテッドの12月31日に終了する会計年度及び6月30日に終了する6ヶ月間の財務諸表を作成する。年次報告書は、HKTリミテッドにより本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に対して、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の年次株主総会の少なくとも21日前に発行される予定であり、いかなる場合においても、HKTリミテッドの会計年度末から4ヶ月以内、及び中間報告書の対象期間である6ヶ月間の終了後3ヶ月以内に発行される。

HKTトラスト及びHKTリミテッドの最初の報告期間は、2011年1月1日から2011年12月31日までであった。HKTトラスト及びHKTリミテッドの最初の年次報告書は、2011年1月1日から2011年12月31日までの期間を対象とした。

HKTトラスト及びHKTリミテッドはまた、それぞれ適用ある香港上場規則及び全ての関連法令の要件に従い、中間報告書をそれぞれ発行する。

本トラスティ・マネジャーはまた、関連法令及び香港財務報告基準に従い、本トラスティ・マネジャーの12月31日に終了する会計年度及び6月30日に終了する6ヶ月間の財務諸表を作成する。本トラスティ・マネジャーの当該財務諸表は、本トラスティ・マネジャーにより本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に対して、HKTトラストの年次報告書及びHKTリミテッドの年次報告書が本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に対して発行されるのと同時に、すなわち、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の年次株主総会の少なくとも21日前に発行されるものとする。いかなる場合においても、本トラスティ・マネジャーの会計年度末から4ヶ月以内、及び中間報告書の対象期間である6ヶ月間の終了後3ヶ月以内に発行される。

上記に言及するHKTトラスト及びHKTリミテッドの財務書類は、連結ベースで作成される。上記に言及する本トラスティ・マネジャーの財務書類は、本トラスティ・マネジャーに子会社が存在する場合を除き非連結ベースで作成され、本トラスティ・マネジャーに子会社が存在する場合には、当該財務書類は連結ベースで作成される。

上記に言及するHKTトラスト、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの財務書類には、以下に記載の事項が含まれる。

- (i) 貸借対照表、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書
- (ii) (HKTトラスト及びHKTリミテッドのみに関する) 分配金計算書
- (iii) 上述の各事項の対応する前年同期の比較数値
- (iv) 会計原則及び注記
- (v) 通年の会計年度に係る年次会計書については、監査報告書
- (vi) 香港上場規則により規定されることのあるその他の情報（香港上場規則により求められる全てのコーポレート・ガバナンス報告書を含むが、それに限定されない。）

「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制」に記載の「統合コーポレート・ガバナンス報告書」には、HKTトラスト及びHKTリミテッドの事業における潜在的な利益相反の問題を処理するために本トラスティ・マネジャーが採用する方針及び措置に関する説明が含まれる。

② 日本における開示

（イ）監督官庁に対する開示

（a）金融商品取引法上の開示

本トラスティ・マネジャーは、日本において1億円（若しくは他の通貨における同等額）以上の本株式ステープル受益証券の募集をする場合、有価証券届出書を日本国関東財務局長に提出しなければならない。投資者及びその他希望する者は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（以下「EDINET」という。）において、これを閲覧することができる。

本株式ステープル受益証券の日本における販売取扱証券会社は、交付目論見書（金融商品取引法の規定により、あらかじめ又は同時に交付しなければならない目論見書をいう。）を投資者に交付する。また、投資者から請求があった場合は、請求目論見書（金融商品取引法の規定により、投資者から請求された場合に交付しなければならない目論見書をいう。）を交付する。

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの財務状況等を開示するために、各事業年度終了後6ヶ月以内に有価証券報告書を、また各半期終了後3ヶ月以内に半期報告書を、さらに、HKTトラストに関する重要な事項について変更があった場合にはその都度臨時報告書を、それぞれ日本国関東財務局長に提出する。

投資者及びその他希望する者は、これらの書類をEDINET等において閲覧することができる。

（b）投資信託及び投資法人に関する法律上の開示

本トラスティ・マネジャーは、本株式ステーブル受益証券の募集の取扱等を行う場合、あらかじめ、投信法に従い、HKTトラストに係る一定の事項を金融庁長官に届け出なければならない。また、本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの信託証書を変更しようとする場合又は他の信託と併合しようとする場合は、あらかじめ、その旨及びその内容を金融庁長官に届け出なければならない。さらに、本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの資産について、HKTトラストの各計算期間終了後遅滞なく、投信法に従って、投資信託財産の一定の事項に関する運用報告書（以下「運用報告書（全体版）」という。）及び運用報告書（全体版）に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（以下「交付運用報告書」という。）を作成し、金融庁長官に提出しなければならない。

（ロ）日本の本株式ステーブル受益証券保有者に対する開示

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの信託証書を変更しようとする場合であって、その変更の内容が重大なものである場合又は他の信託と併合しようとする場合には、あらかじめ、その内容及び理由等をその2週間前までに、日本の知れている本株式ステーブル受益証券保有者に対し、書面をもって通知しなければならない。

本トラスティ・マネジャーが公表した本株式ステーブル受益証券保有者の投資判断に資する資料等は、日本における販売取扱証券会社を通じて日本の本株式ステーブル受益証券保有者に通知される。但し、本トラスティ・マネジャーにより公表された資料等が国内においてインターネットの利用その他の方法により当該資料等が容易かつ継続的に取得することができる場合は、この限りでない。HKTトラストに関する資料等は、香港証券取引所のウェブサイト（www.hkexnews.hk）及びHKTリミテッドのウェブサイト（www.hkt.com）において閲覧可能である。

HKTトラストの運用報告書（全体版）及び交付運用報告書は、日本の知れている本株式ステーブル受益証券保有者に定期的に交付される。但し、本信託証書において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めている場合には、日本の本株式ステーブル受益証券保有者から交付の請求がある場合を除き、電磁的方法により日本の知れている本株式ステーブル受益証券保有者に対して運用報告書（全体版）を提供することができる。また、日本の知れている本株式ステーブル受益証券保有者の承諾がある場合には、交付運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができる。

（6）【監督官庁の概要】**① 香港証券先物委員会****本トラストに係る監督官庁の名称**

香港証券先物委員会は、香港の証券先物市場の規制に責任を負う、独立の非政府かつ行政機関外の法定機関である。

規制対象

香港証券先物委員会は、香港証券先物委員会条例によって設立された独立した法定機関である。香港証券先物委員会条例及び他の9つの証券先物関連条例は香港証券先物条例に統合され、2003年4月1日に施行された。香港証券先物委員会は、香港の証券先物市場を規制する法律（主として香港証券先物条例）を執行し、また、かかる市場の発展を促し、奨励する責務を負う。

香港証券先物条例第4条に規定された香港証券先物委員会の規制対象は、以下の通りである。

- （i）証券先物業界の公正性、効率性、競争力、透明性及び秩序性を維持し促進すること。
- （ii）証券先物業界の機能及び役割を含む金融サービスに関する公衆の理解を促進すること。
- （iii）金融商品に投資し又はこれらを保有する一般市民を保護すること。
- （iv）証券先物業界における犯罪及び違法行為を最小限に抑えること。
- （v）証券先物業界におけるシステミック・リスクを軽減すること。
- （vi）証券先物業界に関して適切な措置を講じることにより、香港の金融安定性の維持において財政司司長を補佐すること。

コーポレート・ガバナンス

香港証券先物委員会は香港の証券先物市場の法定の規制機関として、公共団体の最良の基準を満たす適切なコーポレート・ガバナンスの実務を採用及び実施することによって、常に公衆に対する説明責任及びその業務の透明性の向上を目指す。

香港証券先物委員会の理事会の構成及び手続は香港証券先物条例に定められている。香港証券先物委員会の理事は全員、香港特別行政区行政長官によって任命される。香港証券先物条例により、香港証券先物委員会の理事の過半数は独立非執行理事であることが要求されている。香港証券先物委員会は、香港証券先物条例により、香港証券先物委員会が適切と考える条件に従い、香港の公衆に対する集団投資スキームへの投資に関する広告又は勧誘を認可する権限を付与されている。

② 香港証券取引所

本トラストに係る監督官庁の名称

香港証券取引所は、香港証券先物条例第19条に基づき取引所会社として認識されている会社であり、香港証券取引所が運営する株式市場の適切な規制及び効率的な運営、取引所参加者及び取引権保有者の適切な規制、並びに投資を行う公衆に対する補償に関する取決の策定及び維持の確保に責任を負う。

規制対象

香港証券先物条例第19条に基づき取引所会社として認識されている香港証券取引所は、香港証券先物条例第21条により以下が求められている。

- (i) 合理的に可能な範囲において、香港証券取引所が運営する株式市場で取引される証券を対象とした、秩序があり、十分な情報を提供する、公正な市場を確保すること。
- (ii) その事業及び運営に関連するリスクを、確実に慎重に管理すること。

香港証券取引所は、香港証券先物条例第23条に基づく権限を活用して、証券を上場する前に達成しなければならない要件、並びに上場の承認後に発行会社及び保証人（該当する場合）が遵守しなければならない継続的義務を定めた香港上場規則を公表している。

香港上場規則ルール2.03は、投資家が市場を信頼しその信頼を維持できるようにすることを目的としており、とりわけ以下を目的としておりと規定している。

- (i) 申請者が上場にふさわしいこと。
- (ii) 証券の発行及び販売が公正かつ秩序ある方法で行われ、投資家となる可能性のある者が適切に、十分な情報に基づいて、発行会社、保証付発行の場合は保証人、及び上場を申請している有価証券を評価できるよう、これらの者に十分な情報を提供すること。
- (iii) 上場会社及び保証付発行の場合は保証人が、投資家及び公衆に対して、その利益に影響を及ぼす可能性のある重要な要因について、常に十分な情報を提供すること。
- (iv) 上場証券の全ての保有者が公正かつ平等に扱われること。
- (v) とりわけ、公衆が少数株主である場合には、上場会社の取締役が株主全体の利益のために行動すること。
- (vi) 上場会社による資本性証券の新規発行は全て、既存株主が別途合意しない限り、まずはライツ・イシューにより既存株主に対して募集されること。

コーポレート・ガバナンス

香港証券先物条例第26条に基づき、香港証券取引所の最高執行役員の任命は、香港証券先物委員会の書面による承認が得られない限り、有効とはならない。

また、香港証券取引所の持株会社である香港エクスチェンジャーズ・アンド・クリアリング・リミテッド（Hong Kong Exchanges and Clearing Limited）は、自身も香港証券取引所における上場会社であるため、他の上場会社と同一のコーポレート・ガバナンス規則に服している。これらの規定は、コーポレート・ガバナンス規範に記載されている。

2【投資方針】

(1)【投資方針】

経営陣によるレビュー

本グループは、本グループのTSSセグメントの規模及び幅広さに支えられ、2020年12月31日に終了した会計年度において強固な財務業績を達成したことを謹んで公表する。新型コロナウイルス（COVID-19）が世界経済を揺るがし、香港の不況を深めたが、本グループは、顧客との関わりを深めるのに役立つような革新的な付加価値サービス及び複数の分野におけるパーソナライズされた体験の提供により、引き続き顧客に注力した。2020年度第4四半期におけるNow TVの組み込みにより、本グループは、製品ライン及びサービス・ラインを横断し、共有の資産を利用する商品やサービスを有する香港における唯一の真のクワドラプル・プレイのサービス・プロバイダーとなった。

当会計年度において、海外旅行は著しく減少し、これにより、本グループのモバイル・ローミングの収益が急激に落ち込み、民間部門及び公共部門における本グループの多くのICTプロジェクトに遅延が生じた。これらのプロジェクトの遅延は、低い市場センチメントに伴うものであり、また、事務機器の売上に悪影響を及ぼした。本グループの小売店舗では、2020年度を通じて香港において実施されたソーシャル・ディスタンスの措置により、客足が減少し、これにより、モバイル製品売上が減少した。

モバイル・セグメントは精彩を欠いたが、TSSセグメントは堅実な業績を上げた。TSSの収益は、より多くの人々がステイホームをし、仕事、勉強及び娯楽のニーズに応えるような信頼できる高速のホーム・ブロードバンド・サービスを求めたことにより、2%増の22,357百万香港ドルとなった。パンデミックにより、大小にかかわらず多くの事業（特に、小売業、旅行業及び接客業）が縮小又は停止を余儀なくされた。この影響に対抗するため、本グループは、当会計年度を通じ、広告宣伝及び販売促進並びに旅行や娯楽といった任意の分野において、経営効率の改善のための措置（ビジネス・プロセスのデジタル化及びオンライン・トゥ・オフライン（online-to-offline）の販売チャネルの最適化を含む。）を講じ、厳しいコスト管理を行った。これにより、EBITDAは1%増の8,412百万香港ドルとなった。

モバイル・サービスの収益は、主にモバイル・ローミングの収益の急激な減少により、8%減の7,757百万香港ドルとなった。しかしながら、コア現地収益は、5GサービスへのアップグレードによるARPUの上昇が市場のローエンド・セグメントにおける厳しい価格競争からの収益圧迫を相殺したことにより、安定していた。低い消費者信頼感がモバイル製品売上を押し下げ、モバイル製品売上は2,609百万香港ドルに減少した。モバイル・セグメントからのEBITDAは、6%減の4,747百万香港ドルとなり、総マージンは、46%に増加した。

結果として、当会計年度の総EBITDAは、前会計年度比2%減の12,527百万香港ドルとなった。

財務費用の節減、税費用の減少及びその他の一時的な利益により、本株式ステープル受益証券の保有者に帰属する利益は、前会計年度から2%増の5,303百万香港ドルとなった。本株式ステープル受益証券1口当たりの基本的利益は70.01香港セントとなった。

2020年12月31日に終了した会計年度の調整資金収支は、賃借料支払額の節減及びより慎重な設備投資により、1%増の5,384百万香港ドルとなった。本株式ステープル受益証券1口当たりの年間調整資金収支は、71.07香港セントとなった。

本トラスティ・マネジャー取締役会は、2020年12月31日に終了した会計年度に関して、本株式ステープル受益証券1口当たり40.97香港セントの最終分配金の支払を提言している。これにより、2020年度の通期分配金は、本株式ステープル受益証券1口当たり71.07香港セント（中間配当金30.10香港セント及び最終分配金40.97香港セント）となり、本株式ステープル受益証券1口当たりの年間調整資金収支が全額支払われることとなった。

展望

香港は回復への困難な道のりに歩み出したが、ワクチンの到来により、この道のりに新たな推進力がもたらされると期待している。対外的には、米国の新政権下における中国と米国間の関係の進展や、かかる進展が回復プロセスに及ぼす影響については、現時点では不明である。

2021年度において、5Gは、消費者の乗り換えに係る大きな潜在的な上昇余地があるだけでなく、商業部門及び公共部門における適用の範囲が非常に大きいと考えており、引き続き注力する分野となる。大規模な政府プロジェクト及び商業ICTプロジェクトの実施において成功を取めた実績を有する本グループは、企業のデジタル化を手助けし、香港のスマートシティへの移行を支援するために最大限の努力を行うつもりである。

本グループは、Now TVの組み込み後、真のクワッドプレイのプロバイダーとして、顧客のニーズや興味により良く応えるため、優れたコネクティビティ、スポーツ生中継を含む優良なコンテンツ及びその他の付加価値サービスといった充実した総合的な商品提供を行う準備ができています。

本グループの実質的な顧客基盤並びに拡大している加盟店及びパートナーから成る本グループのデジタルエコシステムを引き続き成長させていく。本グループは、デジタル事業への慎重な投資を通じて、ニューノーマルにおいて進化していく顧客のニーズに応じるため、より長期的に本グループの収益源を強化しようとしている。

本グループは、その業績の改善を図っている。技術進歩、社会的傾向及び地政学的関係等のマクロ経済における変化に引き続き機敏に対応し、細かく気を配っていく。本グループは、そのサービスの質を犠牲にすることなく支出を慎重に管理していく。強固かつ革新的なサービスの提供を通じて香港の人々の支援を継続すること及び本グループの貴重な投資家に安定した利益をもたらすことが本グループの使命である。

(2) 【投資対象】

活動範囲の限定

HKTトラストは、本信託証書の諸条件に基づきかつ従って、承認事業のみに従事する単一の投資信託（固定型）として設定する。この場合の単一の投資信託（固定型）は、信託は唯一の企業（HKTリミテッド）の有価証券及びその他の持分に投資することのみが可能であり、また信託は信託が保有する具体的に特定される財産（この場合はHKTトラストが保有する本普通株式）における実質的持分を本受益証券の名簿上の保有者に付与することを意味する。

HKTトラストは、本信託証書に従って承認事業に従事する場合を除き、いずれの活動も行うことができない。本信託証書は、HKTトラストの「承認事業」の意味を以下の通り規定している。

- (a) HKTリミテッドに対する投資（HKTリミテッドの有価証券及びその他の持分に対する投資を含むが、これらに限定されない。）
- (b) 本信託証書に基づく本トラスティ・マネジャーの権能、権限及び権利の行使、並びにその義務及び債務の履行
- (c) 上記(a)及び／又は(b)に記載される活動のために又はそれに関連して必要であるか又は望ましいあらゆる事項又は活動

したがって、要約すれば、HKTトラストの活動範囲はHKTリミテッドへの投資に限定されている。

（３）【運用体制】

統合コーポレート・ガバナンス報告書（2021年２月４日現在）

本取締役会は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの2020年12月31日に終了した会計年度の統合ベースによるコーポレート・ガバナンス報告書を提示する。

HKTトラストは香港の法律に基づき2011年11月7日に設定された本トラスティ・マネジャーが運用する信託であり、HKTトラスト、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは高水準のコーポレート・ガバナンスを維持するよう努めている。かかるコーポレート・ガバナンスの原則は、HKTトラスト、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの事業のあらゆる側面において高水準の倫理、透明性、責任及び誠実さを維持し、適用ある法令に従い業務が行われるよう確保するのに役立つものである。

本取締役会は、本グループ全体にわたって本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッド・グループの全従業員（取締役及び役員を含む。）に適用される企業責任に関する方針及びCSRに関する方針を採用している。

企業責任に関する方針は、従業員がHKTリミテッド・グループの業務を遂行する方法について、以下の分野における基準を定めている。すなわち、市民としての義務、機会均等、会社の情報及び財産の保護、個人データの保護、賄賂の禁止、利益相反並びに職場における健康及び安全の確保である。また、この方針は、従業員が経営陣及び取締役に対する懸念を秘密裏に提起することができる手続につき規定している。

CSRに関する方針は、HKTリミテッド・グループが社会及び環境に対する貢献を強化するために、どのように事業を実施すべきかにつき基準を定めている。

経営戦略

HKTリミテッドの固定電話、ブロードバンド、モバイル・コミュニケーション及びメディア・エンタテインメントのサービスは、香港で唯一のクワドラプル・プレイ体験を提供している。受益証券保有者のための価値を創設しかつ維持するためのHKTリミテッドの戦略は、固定電話事業がマーケットリーダーの地位を維持し、ブロードバンド・サービスにおいては超高速コネクティビティを提供し、モバイル・ネットワークのサービス範囲及びスピードを引き続き向上させ、メディア・サービスにおいて視聴者に優良なコンテンツを引き続き提供できるよう、HKTリミテッドの技術及びサービス・プラットフォームに賢明に投資することであり、かつ、全体としては、HKTリミテッドが顧客に提供するサービスの質を持続的に向上できるよう当社の従業員に投資することである。HKTリミテッドは、これらの事業へ投資し、成長機会を追求することにより、価値を創設しかつ維持している。かかる戦略は、イノベーション及び電気通信事業及びその附属事業におけるサービスの幅の拡大を通じて、引き続きマーケットリーダーであり続けるためのものである。

コーポレート・ガバナンス規範

HKTトラスト及びHKTリミテッドは共に香港証券取引所に上場されており、いずれも香港証券取引所における香港上場規則の規定に服している。HKTトラストは独立した法人ではないため、本トラスティ・マネジャーを通じてのみ行為することができる。

本信託証書に基づき、（i）本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストに適用される香港上場規則並びに他の関連する規則及び規制をHKTトラストに対して遵守させる責任を負うとともに、（ii）HKTリミテッドは、HKTリミテッドに適用される香港上場規則並びに他の関連する規則及び規制を遵守する責任を負い、かつ、（iii）本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、各当事者が香港上場規則に基づく義務を遵守できるように、また香港証券取引所に対する開示の調整を行うために協力しなければならない。

HKTトラスト及びHKTリミテッドは、コーポレート・ガバナンス規範をHKTトラスト及びHKTリミテッドのコーポレート・ガバナンス規範として採用した。HKTトラスト及びHKTリミテッドは、2020年12月31日に終了した会計年度においては、下記の規範を除き、香港上場規則の付属書類14に記載される通り、コーポレート・ガバナンス規範の原則を適用し、その関連する行動規範の全てを遵守している。コーポレート・ガバナンス規範の第B.1.2条に従った書面による委任事項が付された別個の本トラスティ・マネジャー報酬委員会の設置要件については、本トラスティ・マネジャー取締役が本信託証書に基づきいかなる報酬も受領する権利を有しないため、かかる規範は実施していない。さらに、HKTトラストの独自の事情（本信託証書上、HKTリミテッド取締役と本トラスティ・マネジャー取締役は常に同じ者でなくてはならないとされている。）を考慮すると、コーポレート・ガバナンス規範第A.5.1条が要求する本トラスティ・マネジャーについての独立した指名委員会の設置についても、本トラスティ・マネジャーについては対象とならないため、かかる規範は実施していない。

COVID-19のパンデミックに関連する世界における強制的な移動制限を考慮して、一定の取締役は、テレビ／音声会議により2020年5月8日に開催された本年次総会に参加した。かかる取締役（本取締役会の会長及び本取締役委員会の会長を含む。）は、コーポレート・ガバナンス規範第E.1.2条に従い、当該総会における質問への回答に対応できるようにしていた。

香港上場規則の付属書類10に記載されるモデル規範

HKTトラスト及びHKTリミテッドは、全取締役並びに本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの従業員（適用ある場合）に適用される香港上場規則の付属書類10に記載されるモデル規範が規定する要求基準と同じく厳密な証券取引に関する自らの行動規範（すなわち、HKT規範）を定めている。

全取締役に対して特別な調査を行った上で、当会計年度において、モデル規範及びHKT規範に記載される要求基準を遵守していることを確認した。

本株式ステーブル受益証券及びHKTトラスト及びHKTリミテッドが合同で発行した本株式ステーブル受益証券並びにHKTリミテッド及びその関係法人の株式、HKTリミテッド及びその関係法人の証券及び債務証券に関する全取締役及び最高執行役員の持分及びショート・ポジションについては、下記「統合取締役報告書」において開示されている。

取締役会

本信託証書に従い、本トラスティ・マネジャー取締役は、HKTリミテッド取締役を務める者と常に同じ者でなければならない。すなわち、同時にHKTリミテッド取締役を務めない限り、本トラスティ・マネジャー取締役は務めることはできず、同時に本トラスティ・マネジャー取締役を務めない限り、HKTリミテッド取締役は務めることはできない。

HKTリミテッド取締役会は、HKTリミテッドの運営における責務を負っている。HKTリミテッド取締役会の主な責務には、HKTリミテッド・グループの全体的な戦略の策定、経営目標の設定及び経営実績の監視が含まれる。HKTリミテッド取締役会は、幅広い方針の決定及び以下に記載される留保される権限の行使のみを行い、より具体的な検討についてはHKTリミテッドの執行役会長を会長とするHKTリミテッド執行委員会に責務を委ねる。

- ・ さまざまな委員会の委託事項（その時々々の修正を含む。）に記載され、HKTリミテッド取締役会の承認を随時求めなければならない職務及び事項
- ・ HKTリミテッド・グループの内部方針（その時々々の修正を含む。）に従ってHKTリミテッド取締役会の承認を求めなければならない職務及び事項
- ・ 中間及び年次報告書におけるHKTリミテッド・グループの財務書類の検討及び承認、並びに中間決算及び年次決算発表
- ・ 本取締役会が採用した分配方針に基づく配当額の検討
- ・ コーポレート・ガバナンスの実践及び手続の監視、並びに適用ある規則及び規制の遵守を確保することを目的としたHKTリミテッド・グループにおける適切かつ効果的なリスク管理及び内部統制制度の維持

本トラスティ・マネジャー取締役会は、HKTトラスト（本信託財産の保護預りを含むがこれに限定されない。）の管理に責任を負う。本トラスティ・マネジャー取締役会の主な責務には、本トラスティ・マネジャーが信託証書に基づくその義務を履行させるために全ての合理的な措置を講じ、本信託財産を適切に計上させ、かつ本信託財産の利用又は不正使用についてHKTトラストの受益証券の保有者に説明できるようにすることが含まれている。本トラスティ・マネジャー取締役会は、幅広い方針を決定し以下の通り留保された権限を行使することのみを行う。

- ・ さまざまな委員会（該当する場合。）の委託事項（その時々々の修正を含む。）に記載され、本トラスティ・マネジャー取締役会の承認を随時求めなければならない職務及び事項
- ・ 中間及び年次報告書におけるHKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの財務書類の検討及び承認、並びに中間決算及び年次決算発表
- ・ 本株式ステープル受益証券の保有者に対する分配の検討
- ・ コーポレート・ガバナンスの実践及び手続の監視、並びに適用ある規則及び規制の遵守を確保することを目的としたHKTトラストにおける適切かつ効果的なリスク管理及び内部統制制度の維持

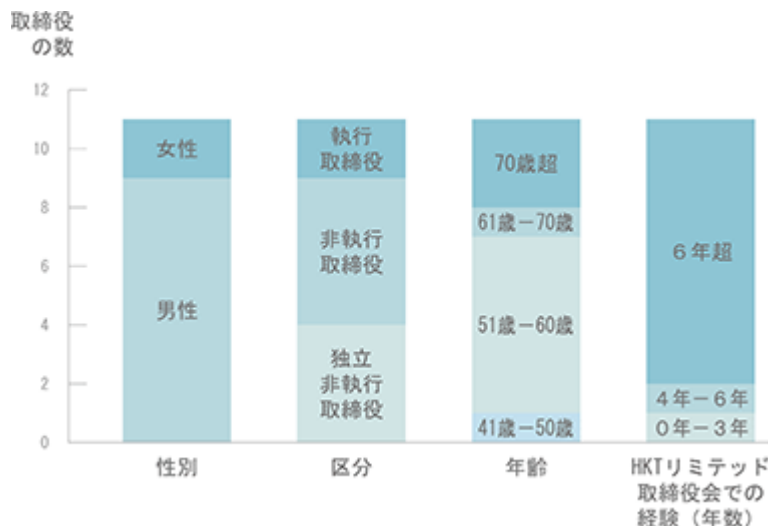
本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの執行役会長及びグループ・マネージング・ディレクターは、それぞれ、リチャード・リ・ツアル・カイ氏及びスザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏である。執行役会長の役割は、グループ・マネージング・ディレクターの役割とは別個のものである。執行役会長は、本取締役会が有効に機能するよう確保し、目標及び戦略の設定において本取締役会のためにリーダーシップを発揮し、優れたコーポレート・ガバナンスの実践がなされるよう確保する責任を有する。グループ・マネージング・ディレクターは、本グループの目標に合致する業務の遂行において本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの経営をリードし、本グループの戦略及び方針を実施する責任を有する。本取締役会の構成については、下記「統合取締役報告書」に記載されている。

全取締役は、経営陣からの最新月次情報、各本取締役会委員会からの定期報告書及び本グループに影響を及ぼす法律、規制又は会計に関する重大な問題の概要報告書を含む全ての関連情報を完全にかつ適時に利用することができる。全取締役は、必要に応じて独立した専門家の助言を受けることができ、本トラスティ・マネジャー又はHKTリミテッドはかかる助言につき支払を行う。

全取締役は、香港財務報告基準、香港会社条例及び香港上場規則に従って、各会計年度における本グループ及びHKTリミテッド・グループ並びに本トラスティ・マネジャーの財政状態並びに本グループ及びHKTリミテッド・グループ並びに本トラスティ・マネジャーの財務業績及びキャッシュ・フローの真実かつ公正な見解を提示する本グループ、HKTリミテッド・グループ及び本トラスティ・マネジャーの財務書類を各会計年度に適宜作成することについて責任を負うことを認める。全取締役は、2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類を作成する際、適切な会計方針の選定及びかかる方針の一貫した適用、慎重かつ合理的な判断及び評価、香港において適用される会計基準からの重大な逸脱に関する理由の記載、並びに継続企業の基準に基づく財務書類の作成を行った。HKTトラスト及びHKTリミテッド並びに本トラスティ・マネジャーの財務書類に関する報告責任についての社外監査人の意見表明書は、本書に添付されるそれぞれの監査報告書に記載されている。

本年次報告書の日付現在、本取締役会はそれぞれ、執行取締役2名、非執行取締役5名及び独立非執行取締役4名を含む11名の取締役で構成されている。本取締役会の少なくとも3分の1は独立非執行取締役であり、そのうち少なくとも1名は適切な専門的資格又は会計若しくは関連する財務管理の専門知識を有している。本取締役会の全てのメンバーの経歴は、下記「取締役会」に記載されており、HKTリミテッドのウェブサイト（www.hkt.com）でも閲覧することができる。本取締役会の構成員間の関係（金銭的關係、取引関係、親族関係その他重要な又は関連する関係を含む。）（もしあれば）については、下記「統合取締役報告書」において開示されている。

取締役会の構成

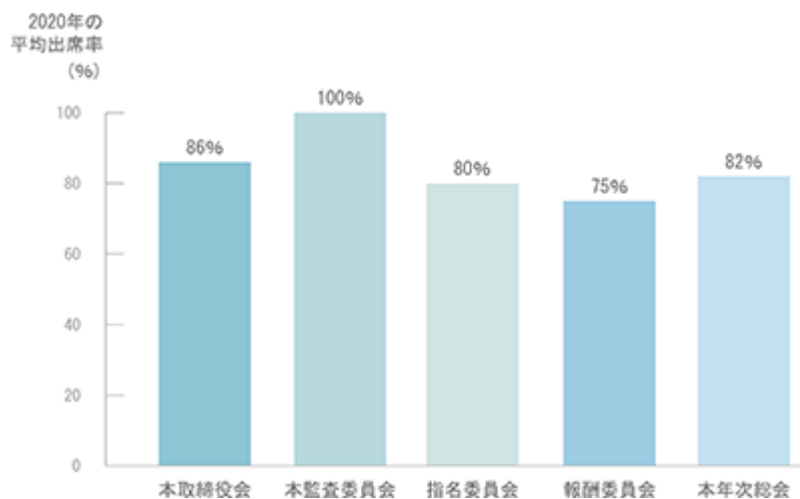


本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、全取締役及び役員のために適切な取締役及び役員賠償責任保険を締結している。

本年次報告書の日付現在のHKTリミテッド・グループの上級執行役員及び事業部門の責任者の経歴については、HKTリミテッドのウェブサイト（www.hkt.com）でも閲覧することができる。

本取締役会はそれぞれ、2020年に4回開催された。本年次総会は2020年5月8日に開催され、社外監査人が出席して質疑に応答した。

2020年の平均会議出席率、並びに2020年に開催された本取締役会及びそのそれぞれの委員会並びに本年次総会への個々の取締役の出席状況は以下のグラフの通りである。



取締役	2020年に出席／出席資格のある会議（注1）						
	HKTリミテッド				本トラスティ・マネジャー		本年次総会 （注4）
	取締役会	監査委員会 （注2）	指名委員会 （注2）	報酬委員会 （注2）	取締役会	監査委員会 （注3）	
執行取締役							
リチャード・リ・ツァル・カイ氏	4／4	該当なし	1／1	該当なし	4／4	該当なし	1／1
スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏	4／4	該当なし	該当なし	該当なし	4／4	該当なし	1／1
非執行取締役							
ピーター・アンソニー・アレン氏	4／4	3／3	該当なし	該当なし	4／4	3／3	1／1
ミコ・チャン・チョ・イー氏	4／4	該当なし	該当なし	該当なし	4／4	該当なし	1／1
リ・フシェン氏	1／4	該当なし	0／1	0／2	1／4	該当なし	0／1
シュ・ケビン氏	1／4	該当なし	該当なし	該当なし	1／4	該当なし	0／1
B.G.スリニバース氏	4／4	該当なし	該当なし	該当なし	4／4	該当なし	1／1
独立非執行取締役							
チャン・シン・カン教授	4／4	3／3	1／1	2／2	4／4	3／3	1／1
スニル・ヴァルマ氏	4／4	3／3	1／1	2／2	4／4	3／3	1／1
アマン・メータ氏	4／4	該当なし	1／1	該当なし	4／4	該当なし	1／1
フランシス・ワイクン・ウォン氏	4／4	該当なし	該当なし	2／2	4／4	該当なし	1／1

（注1） 取締役は、HKTリミテッド附属定款及び本トラスティ・マネジャー附属定款に従って、直接若しくは電話その他の音声通信装置により委員会に出席することができる。

（注2） HKTリミテッドの監査委員会、指名委員会及び報酬委員会の構成並びにHKTリミテッドの監査委員会、指名委員会及び報酬委員会により2020年に開催された委員会数については、本「統合コーポレート・ガバナンス報告書」の「HKTリミテッド取締役会委員会」を参照のこと。

（注3） 本トラスティ・マネジャー監査委員会の構成及び本トラスティ・マネジャー監査委員会により2020年に開催された委員会数については、本「統合コーポレート・ガバナンス報告書」の「本トラスティ・マネジャー取締役会委員会」を参照のこと。

（注4） COVID-19のパンデミックに関連する世界における強制的な移動制限を考慮して、一定の取締役は、テレビ／音声会議により2020年度の本年次総会に参加した。

HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーは共に、香港上場規則ルール3.13に従って各独立非執行取締役より独立性に関する年次確認書を受領しており、本年次報告書の日付現在の独立非執行取締役全4名（チャン・シン・カン教授、スニル・ヴァルマ氏、アマン・メータ氏及びフランシス・ワイクン・ウォン氏）について、香港上場規則ルール3.13に記載される独立性に関する基準に照らして、依然として独立性を有しているとみなしている。詳細については、下記「統合取締役報告書－独立非執行取締役」も参照のこと。

HKTリミテッド附属定款及び本信託証書に従い、HKTリミテッド取締役会により取締役に任命された者は、一時的な欠員の補充のため又は増員のために、本トラスティ・マネジャー取締役としても任命されるものとする。一時的な欠員の補充のために任命された全取締役は、HKTリミテッドの次の年次総会又はHKTトラストの次の年次総会（場合による。）まで在任し、かかる総会において再選される権利を有するものとする。増員の場合、増員された全取締役は、HKTリミテッドの次の年次総会又はHKTトラストの次の年次総会（場合による。）まで在任し、当該年次総会において再選される権利を有するものとする。

また、HKTリミテッド附属定款に従い、HKTリミテッドの各年次総会において、その時の取締役の3分の1が順次退任するものとする。但し、いずれの取締役（特定の任期について任命された者を含む。）も、3年に1度は順次退任の対象となるものとする。各非執行取締役は、HKTリミテッド附属定款に基づく順序による退任とは別に3年の任期を有する。本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャー取締役は、HKTリミテッド取締役を務める者と当該期間中において同じ者でなければならない。同時にHKTリミテッド取締役を務めない限り、本トラスティ・マネジャー取締役を務めることはできないものとする。本トラスティ・マネジャー取締役の役職は、当該取締役がHKTリミテッド取締役でなくなった場合には欠員となる。これらの規定は、本トラスティ・マネジャー附属定款にも記載される。したがって、順次退任に関する規定は、本トラスティ・マネジャー取締役会に関しても間接的に適用される。よって、いかなるHKTリミテッド取締役又は本トラスティ・マネジャー取締役も3年以上在職しない。次の本年次総会においてHKTリミテッド取締役及び本トラスティ・マネジャー取締役を退任する取締役については、下記「統合取締役報告書」に記載されている。

本取締役会は、年毎に自身の業績及び全取締役の貢献を評価することを目的とする体系化された手続（全ての全取締役が記入する自己評価問診表を含む。）を導入している。評価の目的は、本取締役会及び各委員会並びに全取締役がその役割を適切かつ効果的に果たしたか、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの業務に対して十分な時間的貢献をしたか否かを評価し、改善分野を提言することである。当該評価手続によって、本取締役及び各委員会が引き続き効果的に活動すること、並びに2020年12月31日に終了した会計年度における全取締役の業績及び取締役としての職務を遂行するための時間的貢献が概して充分であったことが確認された。

取締役のCPD

各新任取締役は、当該取締役が本グループの運営及び事業について理解するのに役立てるために同僚の取締役及び上級管理職と面談し、また、本グループのガバナンス体制、主要な方針及び取締役の責任の概要が記載されている就任ハンドブック（個々の状況に応じたもの）を受領し、法律上及び規制上の要件に基づく一般的及び特定の取締役の職務に関して資格を有する専門家による説明を受けることになっている。

現在継続中の取締役のCPD研修の一環として、全取締役は、当該取締役の職務に関連する法令要件については、会社秘書役が手配する研修セミナーへの参加を通じて、また、本グループの事業運営、組織及びガバナンス方針については、経営陣との定期会議を通じて、定期的に概要説明を受けている。本グループの事業に関する定期的な最新情報の提供に加えて、当該取締役には、知識及び技能を開発してより新しい知識及び技能を得るのに役立つ文献が随時提供される。会社秘書役は、取締役の義務及び責任に重点を置いた関連題目のセミナー（資格を有する専門家によるもので、CPD研修として考慮される。）を企画する。

HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーに提供された2020年12月31日に終了した会計年度に係る取締役の研修記録によると、当会計年度中に全取締役が受けたCPD研修の概要は以下の通りである。

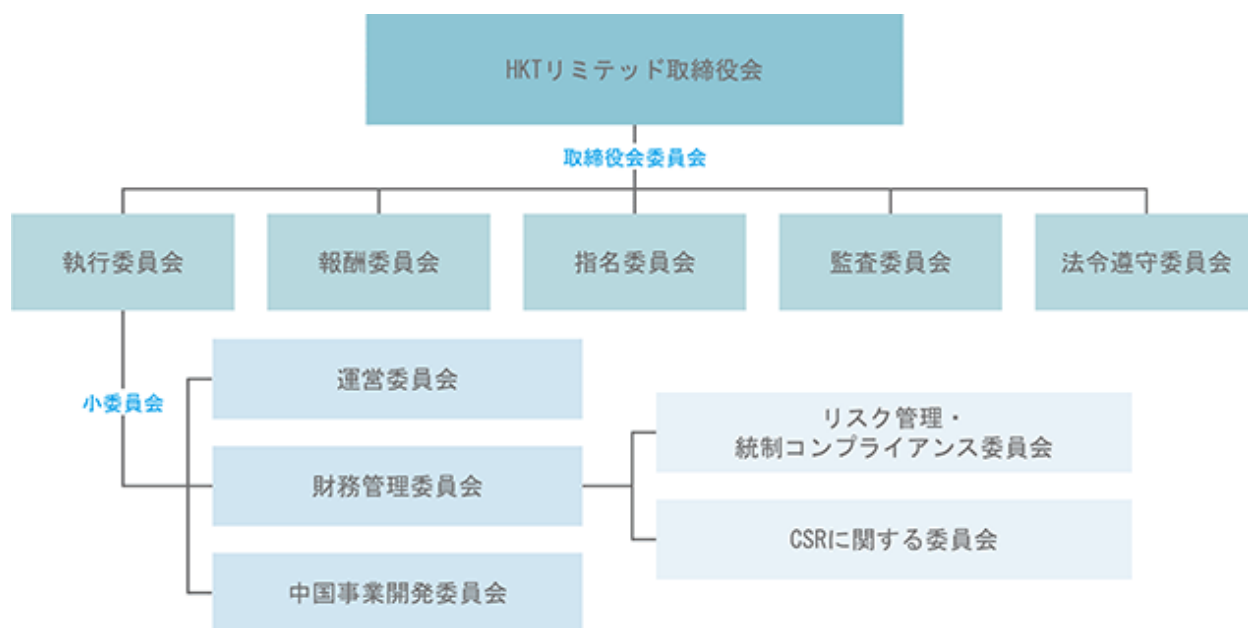
氏名	CPD研修の種類（注）
リチャード・リ・ツァル・カイ氏	(a)、(b)
スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏	(a)、(b)
ピーター・アンソニー・アレン氏	(a)、(b)
ミコ・チャン・チョ・イー氏	(b)
リ・フシェン氏	(a)、(b)
シュ・ケビン氏	(a)、(b)
B.G.スリニバス氏	(a)、(b)
チャン・シン・カン教授	(a)、(b)
スニル・ヴァルマ氏	(a)、(b)
アマン・メータ氏	(a)、(b)
フランシス・ワイケン・ウォン氏	(a)、(b)

(注)

(a) セミナー／フォーラム／カンファレンスに参加した（演説を含む。）。

(b) セミナー資料／ジャーナル／記事／事業又は業界の更新情報を読んだ。

HKTリミテッド取締役会委員会



HKTリミテッド取締役会は、明確な委託事項を付して以下の委員会を設置した。報酬委員会、指名委員会及び監査委員会の委託事項は、コーポレート・ガバナンス規範に記載されるものと同じく厳密なものである。監査委員会、指名委員会、法令遵守委員会及び報酬委員会は過半数を占める独立非執行取締役を含めて構成されている。

執行委員会及び小委員会

HKTリミテッド取締役会の執行委員会は、HKTリミテッド取締役会から全ての権限を委託された総合管理委員会として運営される。執行委員会は、HKTリミテッド・グループの戦略の決定、取引の実績の検討、十分な資金供給の確保、主要な投資の調査及び経営実績の監視を行う。執行委員会は、HKTリミテッド取締役会の執行役会長を通して報告を行う。

執行委員会は、執行取締役2名及び非執行取締役1名を含む3名の委員で構成されている。

2020年度及び本年次報告書の日付までの執行委員会の委員は以下の通りである。

リチャード・リ・ツァル・カイ氏（会長）

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏

リ・フシェン氏

執行委員会の下には、執行取締役及び非執行取締役並びにHKTリミテッド・グループ内の全ての重要な運営及び機能的分野を監督する上級管理職で構成される小委員会がある。各小委員会は、その権限及び義務を包括する明確な委託事項を有し、頻繁に委員会を開催し、かつ執行委員会に定期的に報告を行う。

財務管理委員会が設置され、上場日よりその効力を有している。本委員会は、グループ・マネージング・ディレクターが会長を務め、HKTリミテッド・グループ全体の管理事項及び戦略的事項を検討し、財務目標及び方針を設定するために定期的に委員会を開催する。

運営委員会が設置され、上場日よりその効力を有している。本委員会は、グループ・マネージング・ディレクターが会長を務め、HKTリミテッド・グループの事業部門及び運営の全てを指揮するために定期的に委員会を開催する。

リスク管理・統制コンプライアンス委員会が財務管理委員会の下に設置され、上場日よりその効力を有している。本委員会は、HKTリミテッドのグループ・ファイナンス部門、グループ法務部門、会社秘書役、グループ・コミュニケーション部門、グループ内部監査部門及びグループ・リスク管理・コンプライアンス部門の上級職員で構成される。本委員会は、香港上場規則に基づき課されるさまざまな規則及び義務を遵守できるよう、HKTトラスト及びHKTリミテッドの年次及び中間報告書並びに本グループの方針の作成手続を随時検討し、継続的な本グループのリスク管理及び内部統制制度の有効性の精査において全取締役を補佐する。

CSRに関する委員会が財務管理委員会の下に設置され、上場日よりその効力を有している。本委員会は、個々の事業部門の管理職のみならず、HKTリミテッドのグループ・コミュニケーション部門、グループ人事部門、グループ法務部門、会社秘書役、グループ・ファイナンス部門、グループ・リスク管理・コンプライアンス部門、ネットワーク・プランニング及びオペレーション部門、インベスター・リレーションズ部門並びにグループ購買部門の上級職員で構成される。本委員会は、HKTリミテッドが社会及び環境への貢献を拡大する形で事業を行えるようにする。また、本委員会は、HKTリミテッドのCSRに関する戦略、原則及び方針を精査し、指導、指図及び監督の実務及び手続を定め、HKTリミテッドのCSR及び関連活動の進捗を監視する責任がある。

中国事業開発委員会が設置され、上場日よりその効力を有している。中国事業開発委員会は、中国におけるHKTリミテッド・グループの業務の拡大の機会について助言するとともに、HKTリミテッド取締役会又は関連ある委員会により中国における機会を生かすために配分及び承認された資金の使途を監視する。

報酬委員会

HKTリミテッド取締役会は報酬委員会を設置し、報酬委員会は上場日よりその効力を有している。報酬委員会の主な責任は、HKTリミテッドの成功の基礎となり、かつ本株式ステープル受益証券の保有者の利益のためにHKTリミテッドの価値を高めるようなHKTリミテッドの優秀な取締役及び上級管理職並びにHKTリミテッド・グループの他の職員に魅力を与え、雇用し、かつ意欲を喚起するという目的の達成においてHKTリミテッド取締役会を支援することである。

報酬委員会は、HKTリミテッド取締役及び上級管理職並びにHKTリミテッド・グループの他の職員の報酬パッケージの開発に関して公式かつ透明な手続の確立及び実施を監督し、委任された責任に基づいてHKTリミテッドの各執行取締役及び上級管理職の報酬パッケージを決定する責任を有するとともに、HKTリミテッド取締役会に対して非執行取締役の報酬に関する提案を行う。さらに、本委員会は、HKTリミテッド及びHKTリミテッドの本株式ステープル受益証券オプション制度及び他の本株式ステープル受益証券インセンティブ制度を効果的に監督及び管理する。本委員会の権限及び義務は、HKTリミテッドのウェブサイト（www.hkt.com/ir）及び香港証券取引所のウェブサイト（www.hkexnews.hk）に掲示される書面による委託事項により規定される。本委員会は4名の委員（独立非執行取締役3名及び非執行取締役1名）で構成される。独立非執行取締役が会長を務める。

2020年度及び本年次報告書の日付までの報酬委員会の委員は以下の通りである。

フランシス・ワイクン・ウォン氏（会長）

チャン・シン・カン教授

スニル・ヴァルマ氏

リ・フシェン氏

HKTリミテッドの報酬方針の目的は、HKTリミテッドの業務要件及び業界慣行に基づき公正かつ競争力ある報酬パッケージの設定を支援することにある。HKTリミテッド取締役会の構成員に支払われる報酬及び手数料の水準を決定するため、市場の相場並びに各取締役の業務量、責任及び業務の複雑度などの要因が考慮される。HKTリミテッド取締役及び上級管理職の報酬パッケージを決定する際、以下の要因が考慮される。

- ・ 業務要件
- ・ 個々の業績及び経営成績に対する貢献
- ・ 会社の業績及び収益性

- ・ 従業員の定着要因及び個人の潜在能力
- ・ 会社の目標及び目的
- ・ 需給の変動及び競争状況の変化を含む関連市場の変化
- ・ 一般的な経済状況

検討過程において、いかなる取締役も自らの報酬に関する決定には関与していない。

報酬委員会は、2020年に2回開催された。同委員会への各取締役の出席状況については、上記「取締役会」において表に記載される通りである。

2020年度における報酬委員会の実施実績には下記が含まれる。

- (i) 報酬委員会の委託事項の審査
- (ii) 執行取締役及び上級管理職の報酬（2019年度の業績賞与を含む。）の審査及び承認
- (iii) 本株式ステープル受益証券報奨制度に基づく報奨の付与のための一般的権能に基づく新たな本株式ステープル受益証券の発行及び割当の提案の審査並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (iv) 執行取締役及び上級管理職の2020年度の重要業績評価指標及び業績賞与制度の審査及び承認

各取締役及び上級管理職の報酬の詳細は、「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記12に記載されている。

指名委員会

HKTリミテッド取締役会は、指名委員会を設置し、指名委員会は上場日よりその効力を有している。指名委員会の主な目的は、HKTリミテッド取締役会取締役の選任及び再任に際し、確実に公正かつ透明な手続となるようにし、HKTリミテッド取締役会におけるHKTリミテッドの事業要件に適切な技能、知識、経験及び多様な見識の均衡を維持するうえでHKTリミテッド取締役会を支援することである。指名委員会の義務は、HKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトに掲示される委任事項により定められる。

本取締役会は、本取締役会の多様化を促進及び達成することにより、本取締役会の効率及びコーポレート・ガバナンスの水準を向上させることを主な目的として、取締役多様化方針を共同で採択した。多様な取締役を有することは有効な取締役会を維持するためには不可欠であるが、本グループはその重要性を認識している。

また、本取締役会は、指名委員会が全取締役の選定、任命及び再任に使用する手続及び基準を定める指名方針を共同で採択した。

指名委員会は、HKTリミテッド取締役会の見解の多様性を審査及び評価し、必要に応じて取締役多様化方針及び指名方針の実施を監視する権限を委任されている。取締役多様化方針及び指名方針は、いずれもHKTリミテッドのウェブサイトにおいて閲覧することができる。

指名委員会は、候補者の適正を評価する際に、指名方針及び取締役多様化方針を考慮する。候補者は、客観的な基準における実績に基づいて、HKTリミテッド取締役会の多様化の利点及びHKTリミテッドに関連するその他の要因を十分に考慮して選定される。指名委員会は、とりわけ、候補者が本取締役会に提供できる功績、専門知識、経験及び多様な見識、並びに使用可能時間及び関連する利害に関する候補者のコミットメントを考慮する。指名委員会は、取締役に指名する候補者の選定につき、HKTリミテッド取締役会に提言を行う。独立非執行取締役の任命及び再任の場合、指名委員会は、香港上場規則に規定される基準を考慮して被任命者の独立性を評価し、株主総会における株主による被任命者の再選に関してHKTリミテッド取締役会に提言を行う。

指名委員会は、執行取締役1名、非執行取締役1名及び独立非執行取締役3名を含む5名の委員で構成される。独立非執行取締役が会長を務める。

2020年度及び本年次報告書の日付までの指名委員会の委員は以下の通りである。

アマン・メータ氏（会長）

チャン・シン・カン教授

リチャード・リ・ツァル・カイ氏

リ・フシェン氏

スニル・ヴァルマ氏

2021年2月4日に、指名委員会は、HKTリミテッド取締役会が次の年次株主総会での再選を検討して株主に提言するため、HKTリミテッド取締役会の構造、規模及び構成を精査したうえで、HKTリミテッド取締役会にスザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏、チャン・シン・カン教授、スニル・ヴァルマ氏及びフランシス・ワイクン・ウォン氏を指名した。かかる指名は、指名方針及び取締役多様化方針に従って行われた。指名委員会は、チャン・シン・カン教授、スニル・ヴァルマ氏及びフランシス・ワイクン・ウォン氏の各氏が、本書に提示される経歴に記載される各氏のユニークな経験及び知識により、独立的立場において行為し、HKTリミテッド取締役会の多様化に貢献し続けるために必要な誠実性、技能及び知識を有していることに満足している。指名委員会は、HKTリミテッド取締役会がHKTリミテッドの事業要件に適した技能、知識、経験及び多様な見識につき適切な構成及び均衡を維持していたという見解をまとめた。

指名委員会は、2020年度において1回開催された。同委員会への各取締役の出席状況については、上記「取締役会」において表に記載される通りである。

2020年度における指名委員会の実施実績には以下が含まれる。

- (i) 指名委員会の委託事項の審査
- (ii) HKTリミテッドの全ての独立非執行取締役の独立性の審査及び評価
- (iii) 2020年5月8日に開催された本年次総会における一連のHKTリミテッドの退任取締役の再選の承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (iv) 取締役多様化方針及び指名方針を考慮に入れたHKTリミテッド取締役会の構造、規模及び構成の年次審査並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言

監査委員会

HKTリミテッド取締役会は監査委員会を設置し、監査委員会は上場日よりその効力を有している。監査委員会は、HKTリミテッド・グループの財務報告の客観性及び信頼性を確保し、HKTリミテッド・グループの業績を本株式ステープル受益証券の保有者に提示する際に取締役に対して法の定める配慮、注意及び技能を行使させるためにHKTリミテッド取締役会を補佐する責任を負う。また、監査委員会は、HKTリミテッド・グループの効果的なリスク管理及び内部統制制度が実施され、HKTリミテッド・グループが優れたコーポレート・ガバナンスの水準及び実務を維持するよう確保するためにHKTリミテッド取締役会を補佐する責任を有する。かかる委員会の権限及び義務は、HKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトに掲示される書面による委託事項により規定されている。

また、監査委員会の責任には、社外監査人の任命、報酬の支払及び監督も含まれる。監査委員会は、社外監査人の独立性を監督するため、社外監査人により行われる全ての監査業務及び認められる非監査業務の監視及び承認のための手続を採用した。

HKTリミテッド・グループの社外監査人はプライスウォーターハウスクーパース（PricewaterhouseCoopers）（公認会計士及び社会的影響度の高い事業体の登録監査人）である。プライスウォーターハウスクーパースは、HKTリミテッドから独立していること、並びにその独立性に影響を及ぼすと合理的に考えられるようなプライスウォーターハウスクーパース及びHKTリミテッド間の関係はないことを確認する書簡を監査委員会に宛てている。社外監査人の独立性を維持するため、プライスウォーターハウスクーパースは、社外監査人の独立性を損なわず、かつ、監査委員会により承認された非監査業務にのみ従事する。

当会計年度中に、社外監査人は、HKTリミテッド・グループに対して監査業務、監査関連業務及び認められる非監査業務を提供した。監査業務には、HKTリミテッド・グループの連結財務書類の監査に関連して提供される業務が含まれる。監査関連業務には、社外監査人が監査人としての資格において引き受けるのに最適な立場にある場合における規制上の特別監査又は保証報告書の発行等の業務が含まれる。認められる非監査業務には、税務コンプライアンス及び税務プランニング並びに非財務報告情報システムに係る相談等の業務が含まれ、かかる業務は監査委員会による具体的な検討及び承認を要する。

2020年12月31日に終了した会計年度について、社外監査人がHKTリミテッド・グループに対して提供した監査業務、監査関連業務及び認められる非監査業務に関して支払われた又は支払うべき報酬は、それぞれ、約14百万香港ドル、2百万香港ドル及び3百万香港ドルであった。

2021年2月4日に、監査委員会は、2021年度のHKTリミテッドの法定監査に関して、次回の本年次総会においてプライスウォーターハウスクーパースを再任するようHKTリミテッド取締役会に対して提言した。本信託証書の条件により、HKTトラスト、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーは同一の監査人を有しなければならない。

監査委員会は、独立非執行取締役2名及び非執行取締役1名を含む3名の委員で構成され、独立非執行取締役が会長を務める。

2020年度及び本年次報告書の日付までの監査委員会の委員は以下の通りである。

スニル・ヴァルマ氏（会長）

チャン・シン・カン教授

ピーター・アンソニー・アレン氏

監査委員会はその義務を履行するために十分な資源を提供されており、経営陣、内部監査人及び社外監査人と定期的に会合し、また、それらによる報告を検討する。2020年度において、監査委員会は委員会を3回開催した。同委員会への各取締役の出席状況については、上記「取締役会」において表に記載される通りである。

2020年度における監査委員会の実施実績には下記が含まれる。

- (i) 監査委員会の委託事項の審査
- (ii) 2019年12月31日に終了した会計年度の年次報告書のドラフト及び年次決算発表のドラフトの審査、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (iii) 2019年12月31日に終了した会計年度に係るプライスウォーターハウスクーパースの独立性の確認、監査委員会への報告書及び経営者確認書のドラフトの審査及び承認、並びに2020年度の本年次総会におけるプライスウォーターハウスクーパースの再任に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (iv) 2019年12月31日に終了した会計年度に係るコーポレート・ガバナンス規範に基づくリスク管理及び内部統制制度の有効性の審査及び評価、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (v) 2019年12月31日に終了した会計年度におけるPCCWグループとの継続関連取引（プライスウォーターハウスクーパースによる継続関連取引に関する報告を含む。）の審査及びその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (vi) グループ内部監査部門の報告書（内部監査の作業計画を含む。）及び2020年度になされた内部監査の進捗の審査及び承認
- (vii) 2020年6月30日に終了した6ヶ月間に係る中間報告のドラフト及び中間決算発表のドラフトの審査、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (viii) 2020年6月30日に終了した6ヶ月間に係るプライスウォーターハウスクーパースの独立性の確認及び監査委員会への報告書の審査及び承認
- (ix) 2020年12月31日に終了した会計年度に係る監査戦略覚書の審査及び承認
- (x) 2020年12月31日に終了した会計年度に係るプライスウォーターハウスクーパースの委任契約書のドラフトの審査及び承認
- (xi) 2020年度のリスク管理及び内部統制制度の有効性の審査及び評価
- (xii) 香港におけるNow TV事業の運営者であるPCCWメディア社の全ての発行済株式資本のPCCWグループからHKTリミテッド・グループへの譲渡提案に関するPCCWグループとの関連取引並びにこれに起因するPCCWグループとの継続関連取引の変更の審査、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (xiii) 2020年度のプライスウォーターハウスクーパースの監査委員会に対する前会計年度末報告書の審査及び承認
- (xiv) 2020年度の監査及び非監査業務並びに監査及び非監査業務に係る2021年度の年次予算の検討及び承認
- (xv) 2019年12月31日に終了した会計年度に係るコーポレート・ガバナンス報告書のドラフト及び実務並びに2020年6月30日に終了した6ヶ月間に係るコーポレート・ガバナンスの開示の審査、並びにそのそれぞれの承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言

- (xvi) 2019年12月31日に終了した会計年度に係る環境、社会及びガバナンスに関する報告書のドラフトの審査、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (xvii) 2020年7月1日以降に開始する会計年度に関して発行体が遵守すべき香港証券取引所による環境、社会及びガバナンスの報告指針の重要な変更の精査
- (xviii) HKTリミテッド取締役会、その委員会及び取締役の貢献による成果を評価することを目的とした2019年12月31日に終了した会計年度に係る取締役の自己評価及び取締役会の自己評価の実施結果の審査、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言
- (xix) 取締役及び上級管理職のための研修及びCPDの審査及び監視
- (xx) 2022年12月31日に終了する3年間のHKTリミテッド・グループによるFWDグループに対する一定のサービス及び製品の提供並びにFDWグループからの一定のサービス及び製品の受領に係るFDWグループの関連メンバーとの継続関連取引の審査、並びにその承認に係るHKTリミテッド取締役会への提言

当該会計年度終了後、監査委員会は、2020年12月31日に終了した会計年度に係る年次報告書のドラフト及び年次決算発表のドラフト、リスク管理及び内部統制制度の有効性、並びに環境、社会及びガバナンスに関する報告書のドラフトを審査し、これらを承認するようHKTリミテッド取締役会に対して提言を行った。

法令遵守委員会

HKTリミテッドの法令遵守委員会は、独立非執行取締役2名及び非執行取締役1名を含む3名の委員で構成される。HKTリミテッドの法令遵守委員会は、主としてHKTリミテッド・グループのCKハチソン社グループ、CKアセット社グループ及びHKEJ社との取引を検討及び監視し、かかる法人との全ての取引が独立企業原則に基づき行われ、香港競争条例上の反競争的な懸念を生じさせないよう確保する。HKTリミテッドの法令遵守委員会は、独立非執行取締役が会長を務める。2021年2月4日に、HKTリミテッドの法令遵守委員会の委託事項が変更され、2021年2月5日に施行される香港放送条例の改正を反映するため、HKEJ社との関係を監視する義務が削除された。HKTリミテッドの法令遵守委員会の権限及び義務を規定する委任事項の最新版は、HKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトに掲載されている。

2020年度及び本年次報告書の日付までのHKTリミテッドの法令遵守委員会の委員は以下の通りである。

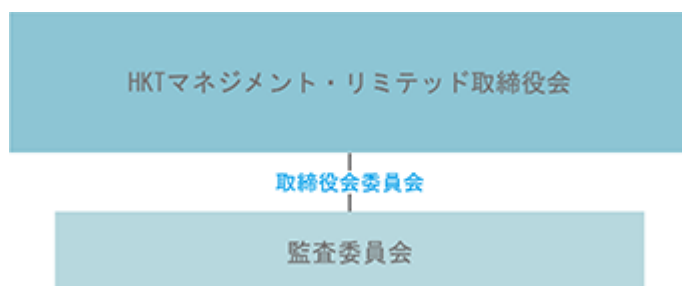
チャン・シン・カン教授（会長）

スニル・ヴァルマ氏

シュ・ケビン氏

PCCWの間接完全子会社であったPCCWメディア社は、2020年9月30日からHKTリミテッドの間接完全子会社になった。PCCWメディア社の法令遵守委員会は、主としてPCCWメディア社のCKハチソン社グループ、CKアセット社グループ及びHKEJ社との取引を検討及び監視し、かかる法人との全ての取引が独立企業原則に基づき行われ、香港競争条例上の反競争的な懸念を生じさせないよう確保する。また、PCCWメディア社の法令遵守委員会は、香港放送条例上の不適格者に係る事項を監視する。2021年2月4日に、PCCWメディア社の法令遵守委員会の委託事項が変更され、2021年2月5日に施行される香港放送条例の改正を反映するため、HKEJ社との関係を監視する義務が削除された。PCCWメディア社の法令遵守委員会の権限及び義務を規定する委任事項の最新版は、HKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトに掲載されている。

本トラスティ・マネジャー取締役会委員会



本トラスティ・マネジャー取締役会は、明確な委託事項を付して本トラスティ・マネジャー監査委員会を設置した。かかる委託事項は、コーポレート・ガバナンス規範が定めるものと同じく厳密なものである。本トラスティ・マネジャー監査委員会は本トラスティ・マネジャーの独立非執行取締役の過半数を含むよう構成されている。

本トラスティ・マネジャー監査委員会は、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの財務報告の客観性及び信頼性を確保し、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの業績を本株式ステープル受益証券の保有者に提示する際に本トラスティ・マネジャー取締役に対して法の定める配慮、注意及び技能を行使させるために本トラスティ・マネジャー取締役会を補佐する責任を負う。また、本トラスティ・マネジャー監査委員会は、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャー（適用ある場合）のそれぞれの効果的なリスク管理及び内部統制制度が実施され、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーが優れたコーポレート・ガバナンスの水準及び実務を維持するよう確保するために本トラスティ・マネジャー取締役会を補佐する責任を有する。かかる委員会の権限及び義務は、HKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトに掲示される書面による委託事項により規定されている。

また、本トラスティ・マネジャー監査委員会の責任には、社外監査人の任命、報酬及び監督も含まれる。本トラスティ・マネジャー監査委員会は、社外監査人の独立性を監督するため、社外監査人により行われる全ての監査業務及び認められる非監査業務の監視及び承認のための手続を採用した。

HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの社外監査人はプライスウォーターハウスクーパース（公認会計士及び社会的影響度の高い事業体の登録監査人）である。プライスウォーターハウスクーパースは、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーから独立していること、並びにその独立性に影響を及ぼすと合理的に考えられるようなプライスウォーターハウスクーパースとHKTトラスト及び本トラスティ・マネジャー間の関係はないことを確認する書簡を本トラスティ・マネジャー監査委員会に宛てている。社外監査人の独立性を維持するため、プライスウォーターハウスクーパースは、社外監査人の独立性を損なわないものであり、かつ、本トラスティ・マネジャー監査委員会により承認された非監査業務にのみ従事する。

当会計年度中に、社外監査人は、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーに対して監査業務を提供した。監査業務には、HKTトラスト及びHKTリミテッド・グループの連結財務書類並びに本トラスティ・マネジャーの財務書類の監査に関連して提供される業務が含まれる。社外監査人による監査関連業務又は非監査業務の提供はなかった。

2020年12月31日に終了した会計年度について、社外監査人がHKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーに対して提供した監査業務に関して支払われた又は支払うべき報酬は、約0.05百万香港ドルであった。

2021年2月4日に開催された本トラスティ・マネジャー監査委員会において、本トラスティ・マネジャー監査委員会は、2021年度のHKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの法定監査に関して、次回の本年次総会においてプライスウォーターハウスクーパースを再任するよう本トラスティ・マネジャー取締役会に対して提言した。本信託証書の条件により、HKTトラスト、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーは同一の監査人を有しなければならない。また、HKTトラストの連結財務書類及び本トラスティ・マネジャーの財務書類の監査に関連するHKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの監査人の報酬及び費用は、（本信託証書に規定される通り）本信託財産から支払われる。また、本信託証書上、本トラスティ・マネジャー監査委員会の構成員がHKTリミテッド取締役会の監査委員会の構成員と同一でなければならない。

本トラスティ・マネジャー監査委員会は、独立非執行取締役2名及び非執行取締役1名を含む3名の委員で構成され、各委員は、HKTリミテッド取締役会の監査委員会の委員である。本トラスティ・マネジャー監査委員会は、独立非執行取締役が会長を務める。

2020年度及び本年次報告書の日付までの本トラスティ・マネジャー監査委員会の委員は以下の通りである。

スニル・ヴァルマ氏（会長）

チャン・シン・カン教授

ピーター・アンソニー・アレン氏

本トラスティ・マネジャー監査委員会はその義務を履行するために十分な材料を提供されており、経営陣、内部監査人及び社外監査人と定期的に会合し、また、それらによる報告を検討する。2020年度において、同委員会は3回開催された。同委員会への各取締役の出席状況については、上記「取締役会」において表に記載される通りである。

本トラスティ・マネジャー監査委員会は、HKTリミテッド監査委員会で可決された決議並びに承認され確認された事項（2020年度及び当該会計年度末以降の実績は、上記「HKTリミテッド取締役会委員会—監査委員会」に記載される。）を審査しまた留意し、適切な場合には、本トラスティ・マネジャー監査委員会は、HKTトラスト及び本トラスティ・マネジャーの特有事項を承認及び確認する。2020年度における本トラスティ・マネジャーの監査委員会のその他の実施実績には、以下が含まれる。

- (i) 本トラスティ・マネジャー監査委員会の委託事項の審査
- (ii) 2019年12月31日に終了した会計年度に係る本トラスティ・マネジャーの財務書類のドラフトの審査及びその承認に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言
- (iii) 2019年12月31日終了した会計年度に係るプライスウォーターハウスクーパースの独立性の確認、本トラスティ・マネジャー監査委員会への報告書及び経営者確認書のドラフトの審査及び承認、並びに2020年度の本年次総会におけるプライスウォーターハウスクーパースの再任に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言
- (iv) 2019年12月31日に終了した会計年度に係るコーポレート・ガバナンス規範に基づくリスク管理及び内部統制制度の有効性の審査及び評価、並びにその承認に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言
- (v) 2019年12月31日に終了した会計年度におけるPCCWグループとの継続関連取引（プライスウォーターハウスクーパースによる継続関連取引に関する報告を含む。）の審査及びその承認に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言
- (vi) グループ内部監査部門の報告書（内部監査の作業計画を含む。）及び2020年度になされた内部監査の進捗の審査及び承認
- (vii) 2020年6月30日に終了した6ヶ月間に係る本トラスティ・マネジャーの財務情報のドラフトの審査及びその承認に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言
- (viii) 2020年6月30日に終了した6ヶ月間に係るプライスウォーターハウスクーパースの独立性の確認及び本トラスティ・マネジャー監査委員会への報告書の審査及び承認
- (ix) 2020年12月31日に終了した会計年度に係る監査戦略覚書の審査及び承認
- (x) 2020年12月31日に終了した会計年度に係るプライスウォーターハウスクーパースの委任契約書のドラフトの審査及び承認
- (xi) 2020年度のリスク管理及び内部統制制度の有効性の審査及び評価
- (xii) PCCWメディア社の全ての発行済株式資本のPCCWグループからHKTリミテッド・グループへの譲渡提案に関するPCCWグループとの関連取引並びにこれに起因するPCCWグループとの継続関連取引の変更の審査、並びにその承認に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言
- (xiii) 2020年度のプライスウォーターハウスクーパースの本トラスティ・マネジャー監査委員会に対する前会計年度末報告書の審査及び承認
- (xiv) 2022年12月31日に終了する3年間のHKTリミテッド・グループによるFDWグループに対する一定のサービス及び製品の提供並びにFDWグループからの一定のサービス及び製品の受領に係るFDWグループの関連メンバーとの継続関連取引の審査、並びにその承認に係る本トラスティ・マネジャー取締役会への提言

当該会計年度終了後、本トラスティ・マネジャー監査委員会は、2020年12月31日に終了した会計年度に係るHKTトラストの年次報告書のドラフト及び年次決算発表のドラフト（本トラスティ・マネジャーの財務書類を含む。）、リスク管理及び内部統制制度の有効性、並びに環境、社会及びガバナンスに関する報告書のドラフトを審査し、これらを承認するよう本トラスティ・マネジャー取締役会に対して提言を行った。

本トラスティ・マネジャー取締役は本信託証書に基づきいかなる報酬も受領する権利を有しないため、またHKTトラスト独特の事情を鑑み、HKTリミテッド取締役及び本トラスティ・マネジャー取締役は常に同一の個人であることが本信託証書により求められているため、本トラスティ・マネジャーは、独自の報酬委員会及び指名委員会を設置していない。

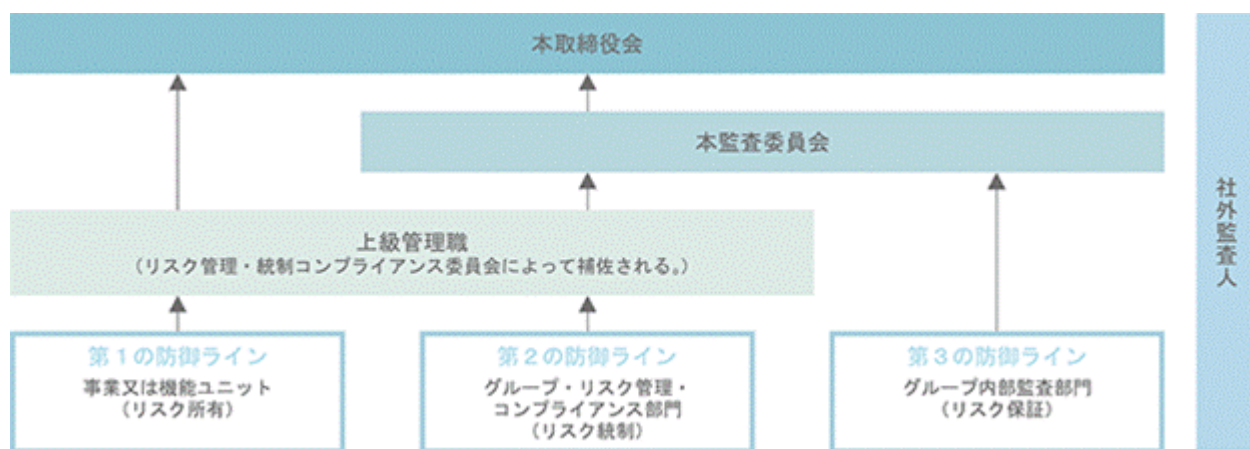
リスク管理及び内部統制

本取締役会は、本グループのリスク管理及び内部統制制度を監督し、本トラスティ・マネジャー監査委員会及びHKTリミテッド監査委員会のそれぞれを通じて、かかるリスク管理及び内部統制制度の有効性を少なくとも年1回精査する責任を認識している。本監査委員会は、本取締役会が、本グループの財務上、業務上、コンプライアンス上及びリスク管理上の統制並びに内部統制において、また、財務上及び内部監査上の機能の調達において、監督の役割及びコーポレート・ガバナンスに関する役割を遂行する際に、補佐を行う。

本グループは、規定の責任及び報告手続を有する組織体制を確立している。リスク管理・統制コンプライアンス委員会及びグループ内部監査部門は、本グループのリスク管理及び内部統制制度の有効性の継続的な評価において、本取締役会及び／又は本監査委員会を補佐する。全取締役は、かかる委員会を通じて、本グループの業績に影響を及ぼす可能性のある重大なリスクについて定期的に確認する。

資産の不正使用又は処分からの保護、関連する規則及び規制の厳守及び遵守、関連する会計基準及び規制報告要件に基づく信用性のある財務及び会計記録の維持並びに本グループの評価及び業績に影響を及ぼす可能性のある重要なリスクの適切な特定及び管理がなされるよう、本グループは適切な方針及び統制を策定及び確立している。かかる制度及び内部統制は、事業目的が達成されないリスクを排除するよりは、むしろこれを軽減するために策定されているため、重大な虚偽記載又は損失に対して合理的な保証を提供するのみであるが、絶対的な保証を提供するものではない。

本グループの企業リスク管理の枠組みは、以下に示す「3つの防御ライン」のオペレーティング・モデルが指針となっている。



第1の防御ラインは、事業及び経営目的の達成に関する説明責任の一環としてリスクを特定及び管理する責任があり、また、日常的に内部統制の手法を策定し実行している。リスク所有者として、第1の防御ラインは、事前に定められた一連の可能性及び影響に関する基準に照らして測定されるリスク特性を継続的に精査及び更新する責任を負っている。

第2の防御ラインは、組み込まれた関連統制が有効であることを確認し、またリスク特性の分類及び測定の一貫性を確保しながら、第1の防御ラインのリスク及びコンプライアンス監視を可能にするための方針、枠組み、手段、技術及び助言によるサポートを提供する。リスク管理プロセスは、リスクの特定、評価及び管理を可能にするため、トップダウン及びボトムアップの両方のアプローチを統合する。既存の統制環境を強化する機会が実行されるであろう場合に軽減の統制が認識される。このプロセスは、本監査委員会及びリスク管理・統制コンプライアンス委員会によって定期的に精査され、精査結果のうち重大なものは本取締役会に報告される。

第3の防御ラインは、本取締役会並びに本グループの役員及び上級管理職に対して保証を提供する。この保証の作業は、本グループがいかに効果的にそのリスクを評価及び管理しているかを対象にしており、第1及び第2の防御ラインの有効性に関する保証を含む。

本グループの全社的リスク管理活動を調整し、リスク管理の重要な側面を精査するグループ・リスク管理・コンプライアンス部門は、必要に応じて、定期的に予定された本監査委員会の各会議において本監査委員会に対し、及びその他の小委員会に対し、とりわけ、本グループの重大なリスク並びに特定されたリスクの適切な軽減及び／又は移転を含む報告を行う。HKTリミテッド・グループの事業ユニットは、リスク所有者として、自己のリスクを特定、評価、軽減及び監視し、かかるリスク管理活動をグループ・リスク管理・コンプライアンス部門に定期的に報告する。グループ・リスク管理・コンプライアンス部門は、評価を行い、定期的に予定された各会議において、リスク管理・統制コンプライアンス委員会に対して定期報告を行う。

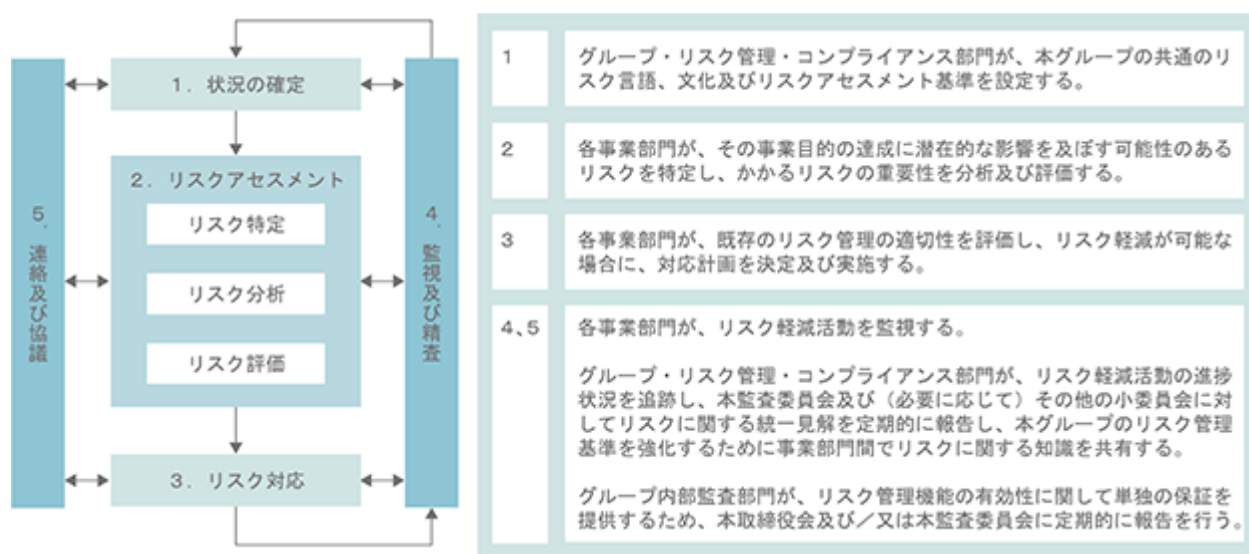
グループ内部監査部門は、会計年度を通じて定期的に予定された各会議において、内部統制の妥当性及び有効性（内部統制の欠陥又は重大な弱点を含むが、これに限定されない。）に関する前期の間の活動の結果を本監査委員会に報告する。

グループ内部監査部門は、リスク及びコントロールに基づく監査アプローチ（risk-and-control-based audit approach）を採用している。グループ内部監査部門の年次作業計画には、本グループの運営、事業及びサービス部門の主要な活動及びプロセスが包括されている。特別検査もまた、経営陣の要請により実施される。これらの監査活動の結果は、本監査委員会並びに本グループの上級経営陣及び上級管理職の主要メンバーに伝えられる。監査上の問題は監視され、適切に施行されるよう継続的な調査が行われ、その進捗状況は本監査委員会並びに本グループの上級経営陣及び上級管理職に定期的に報告される。

グループ内部監査部門は、本取締役会、本監査委員会及び本グループの上級経営陣に対し、本グループの内部統制の妥当性及び有効性に関して単独の保証を提供する。グループ内部監査部門の責任者は、本監査委員会会長、グループ・マネージング・ディレクター及び最高財務責任者に直接報告を行う。

本グループの上級管理職は、リスク管理・統制コンプライアンス委員会、グループ・リスク管理・コンプライアンス部門及びグループ内部監査部門の補佐を受け、リスク管理及び内部統制制度の設計、実施及び監視、並びにかかる制度の有効性に関する本取締役会及び／又は本監査委員会への定期報告について責任を負っている。

本グループは、その事業及び運営リスクを管理するためのアプローチとして、ISO 31000:2018 リスク管理―指針を採用している。以下の略図は、本グループの重要なリスクを特定、評価及び管理するために使用される重要なプロセスを説明するものである。



本グループは、そのリスク管理及び内部統制制度の有効性を評価し、また慎重を期して、これらを改善するための方針及び手続（本グループのコーポレート・ガバナンス及び事業慣行を向上させるであろうという考えの下で、リスク管理及び内部統制制度が適切かつ効果的に機能していることを定期的に評価し、少なくとも年1回は個人的にそれを証明するよう本グループの上級経営陣に対し要求することを含む。）を採用した。

本グループは、そのリスク管理制度を日常的な運営慣行に組み込んでいる。HKTリミテッド・グループの各事業部門は、各事業部門の事業目的及び／又は本グループの事業目的に影響を及ぼす可能性のある潜在的なリスクの状況を継続的に精査及び評価する。この精査プロセスには、既存の内部統制制度が、現状に即した有効なものであるか、潜在的なリスクに適切に対処しているか、及び／又は補完されるべきか否かに関する評価が含まれる。かかる精査の結果は、監視のために事業部門のリスク登録簿に登録され、潜在的な戦略的影響の分析並びに上級管理職及び本グループの取締役に対する定期報告のために本グループの統一登録簿に組み込まれる。

本監査委員会は、従業員、顧客、サプライヤーその他の関係者が、本グループの構成会社に関係する実際に生じたか又はその発生が疑われる不正行為について報告できるようにし、かつかかる事項が適切及び透明な方法により調査され、効果的に処理されるようにする内部告発に係る方針及び一連の包括的な手続を設け、監督する。それぞれの本監査委員会の会長は、自身に代わり、かかる報告を受けてその後の調査の実施を監督し、かつ本監査委員会が検討できるよう、調査から得た情報（提言を含む。）を提供するためのグループ内部監査部門の責任者を指名した。

本グループは、企業責任に関する方針及びさまざまな子会社の手続に規定される通り、内部情報の取扱い及び流布を規制し、内部情報が、その開示を適切に承認され、有効にかつ一貫した流布がなされるまで、秘密に保持されるよう確保する。

本グループは、リスク管理及び内部統制制度の有効性の評価に役立てるため、本グループの経営陣による内部統制及び内部統制に関する年次認証の広範かつ詳細な検証を行うためのプロセスを実施している。

2020年度において、グループ・リスク管理・コンプライアンス部門は、企業リスク管理制度を強化するため、事業部門、上級管理職及び全取締役と密接に協力した。かかる活動には、とりわけ、講習会及びリスク研修会の回数を増やすこと、リスク報告の文言、分類及び定量のさらなる標準化、内部統制の評価と内部統制の潜在的リスクをより密接に連携させること、並びに本グループの企業リスク管理制度の設計、運営及び認定について指定された全取締役とのやりとりの深度及び頻度を高めることが含まれる。グループ・リスク管理・コンプライアンス部門は、本監査委員会に対して、リスク管理の監視に関する最新報告書を提出しており、その後、本監査委員会がこれを精査し、本取締役会に対して報告を行った。また、リスク管理・コンプライアンス部門は、当該会計年度における本グループのリスク管理及び内部統制制度の有効性の精査において全取締役を補佐した。

2020年度において、グループ内部監査部門は、財務、運営及びコンプライアンス統制のうち、特に情報技術及びセキュリティ、データの機密性及び保護、事業継続性管理並びに調達における本グループのリスク管理及び内部統制制度の有効性に関する選択的な精査を行った。さらに、HKTリミテッド・グループの主な事業及び業務の責任者は、その事業ユニットのリスク登録簿を更新するプロセスを通して内部統制の評価を行うことが要求された。これらの結果は、グループ・リスク管理・コンプライアンス部門により評価され、本監査委員会に報告された。本監査委員会は、これを精査し、本取締役会に報告した。グループ内部監査部門は、その年間作業計画の一環としてかかるリスク登録簿を精査し、リスク評価の有効性を判定する。

本監査委員会及び本取締役会は、本グループ（本トラスティ・マネジャーを含む。）の財務状態又は経営成績に重大な影響を及ぼすであろういかなる問題も認識せず、また企業リスク管理及び内部統制制度（資源の十分性、職員の資格及び経験、会計、内部監査及び財務報告の研修プログラム及び予算を含む。）は概して有効かつ妥当であるとみなした。

本グループ内で実施されるリスク管理及び内部統制の審査に加えて、社外監査人は、その法定監査の一環として、一定の重要なリスク管理及び内部統制の充分性及び有効性も評価した。適切な場合には、社外監査人の提言を採用してリスク管理及び内部統制の強化を行う。

本グループが採用及び実施するリスク管理及び内部統制の詳細は、HKTリミテッドのウェブサイトの「コーポレート・ガバナンス」で閲覧することができる。

潜在的利益相反

本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、潜在的利益相反の問題を処理するために以下の手続を定め、以下の措置を講じた。

- 全取締役がHKTリミテッド取締役会又は本トラスティ・マネジャー取締役会により検討される事項について利益相反を有する場合（該当する本取締役会が重大か否かを判断する。）、かかる事項は書面による決議ではなく、実際に取締役会を開催して処理し、また、独立非執行取締役自身及びその近親者がかかる取引に重大な利害関係を有しない場合には当該独立非執行取締役が当該取締役会に出席しなければならない。
- PCCW社及び／又はその子会社が直接的又は間接的に利害関係を有する事項に関して、PCCW社（又はその子会社）の利害関係を示すためにPCCW社及び／又はその子会社によって任命されたHKTリミテッド取締役会又は本トラスティ・マネジャー取締役会のノミニーは、投票を棄権する。かかる事項において、定足数は独立非執行取締役の過半数であり、PCCW社及び／又はその子会社によって任命されたノミニー取締役は除外しなければならない。

- ・ HKTリミテッド・グループに関する事項が本トラスティ・マネジャー（その関係者を含む。）、HKTトラスト又はHKTリミテッドの関連当事者と締結した又は締結される予定の取引に関連する場合、該当する本取締役会は、かかる取引の条件が、一般的な取引条件で行われた取引であり、HKTリミテッド・グループ及び本株式ステーブル受益証券の保有者の利害関係を害するものではなく、かつ当該取引に関連する香港上場規則及び本信託証書の適用要件を遵守していると自らを確信させるものであるかを検討することが要求される。該当する本取締役会はまた、これらの契約が関連取引に関連する香港上場規則及び本信託証書（その時々々の修正を含む。）の規定、並びに香港証券先物委員会及び香港証券取引所がその時々々に規定するHKTトラストに対して適用されるその他のガイドラインを遵守するよう、これらの契約を精査する。
- ・ 全ての既存の継続関連取引に関する制度が既に定められており、当該全ての取引（適用除外の対象であるものを除く。）が独立非執行取締役及び社外監査人によって年1回検討され報告されなければならないという継続的な要件が付されている。
- ・ HKTトラスト及びHKTリミテッドは、特にそれぞれのリスク管理及び内部統制制度並びに内部監査報告書を定期的に検討するために、香港上場規則に従って監査委員会をそれぞれ設置している。

会社秘書役

バーナデット・M・ローマス（Bernadette M. Lomas）氏は、2016年8月から本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドのグループ・ゼネラル・カウンセル兼会社秘書役に任命されている。同氏は、PCCW社のグループ・ゼネラル・カウンセル兼会社秘書役でもある。全取締役は、会社秘書役の助言及びサービスを受けることができる。かかる会社秘書役は、取締役会の手続の遵守を確保し、全てのコーポレート・ガバナンスに関する事項について本取締役会に助言を行い、新任取締役のための法律上及び規制上の要件に基づく一般的及び特定の取締役の職務に関する説明を含む就任プログラムを手配する責任を負う。会社秘書役は、取締役の就任及び専門的能力の向上を促進する。

ローマス氏は、2020年12月31日に終了した会計年度において、新たな技能及び知識を得るために15時間以上の関連ある専門研修を受けている。

本株式ステーブル受益証券の保有者の権利

HKTリミテッド及びHKTトラストの臨時総会の招集並びに総会における議案の提出に係る手順

HKTリミテッドの総会は、HKTリミテッドの2名以上の株主の書面による請求が香港のHKTリミテッドの登録上の事務所になされた場合、招集されるものとする。かかる請求には、当該総会の目的を明記するものとし、当該請求日時点において、本信託証書が効力を有する限りはHKTリミテッドの総会における議決権の5%以上、又は本信託証書の失効後は当該議決権を有するHKTリミテッドの払込資本の10分の1を有する請求者により署名がなされなければならない。

本トラスティ・マネジャーは、いかなる時も香港のいずれかの場所において、HKTトラストの受益証券の名簿上の保有者の総会を随時招集することができる（かつ、本トラスティ・マネジャーは、その時点におけるHKTトラストの発行済受益証券の5%以上を有するHKTトラストの受益証券の名簿上の保有者によって書面により請求がなされる場合は、受益証券の名簿上の保有者の総会を招集しなければならない。）。

HKTリミテッドの株主及び本受益証券の保有者は、HKTリミテッド及びHKTトラストの総会において請求又は提案を行う場合、その要件及び手順につきHKTリミテッド附属定款及び本信託証書の該当箇所に記載される詳細を参照することができる。

本取締役会への問い合わせに係る手順

本株式ステープル受益証券の保有者は、本取締役会に対して、会社秘書役気付（詳細は以下の通り。）の書面により問い合わせを送付することができる。

宛名人：会社秘書役（Company Secretary）

住所：香港、クオーリ・ベイ、979 キングス・ロード、タイクー・プレイス、PCCWタワー、39階

ファックス：+852 2962 5926

電子メール：cosec@hkt.com

投資家向け広報活動及び本株式ステープル受益証券の保有者とのコミュニケーション

HKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）及びHKTリミテッドは、本株式ステープル受益証券の保有者（機関投資家及び個人投資家の両方）及びその他の利害関係者との効果的なコミュニケーションを促進し、維持するよう取り組んでいる。本株式ステープル受益証券の保有者が情報を得た上で権利を行使できるよう並びに投資家が積極的にHKTトラスト及びHKTリミテッドに関心を持てるようにすることを目的として、HKTトラスト及びHKTリミテッドに関する情報を本株式ステープル受益証券の保有者に対して適切かつ適時にHKTトラスト及びHKTリミテッドが提供できるよう、本受益証券保有者とのコミュニケーションに係る方針が採択された。本受益証券保有者とのコミュニケーションに係る方針は、HKTリミテッドのウェブサイト（www.hkt.com/ir）で閲覧することができる。

本取締役会は、本株式ステープル受益証券の保有者に対して着実かつ持続的に利益を還元するためにそれぞれの取締役会の全体目標を定める分配方針を2018年11月に承認及び採択した。分配金の支払を提案する際に、本取締役会は、潜在的な債務の返済に係る調整後（必要な場合）の本グループの調整資金収支、本グループの財務状態及び経営成績、並びに本取締役会が関連する及び適切であるとするその他の要因を含む数多くの要因を考慮する。一般に、各会計年度に係る分配金の支払は、半期毎に行われる。HKTトラストは、本信託証書に基づき、HKTリミテッド・グループから受領した金額の100%につき、本信託証書に基づき控除すること又は支払うことが認められている全ての金額を控除した後、分配を行わなければならない。当該方針は、HKTリミテッド取締役会の現在の意向を示すものであり、変更されることがある。

HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーは、金融アナリスト及び業界アナリストだけでなく機関投資家及び一般投資家との双方向コミュニケーションに努めている。本グループの活動に関する詳細な情報は、本株式ステープル受益証券の保有者に送付される年次及び中間報告書並びに通達において提示され、またHKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトでも閲覧することができる。

本年次報告書を本株式ステープル受益証券の保有者に対して送付することに加え、効果的なコミュニケーションの促進を目的として、財務並びに本グループ、HKTリミテッド・グループ及び本トラスティ・マネジャー並びにそのそれぞれの事業活動に関するその他の情報をHKTリミテッドのウェブサイトで開示している。

投資業界との定期的な対話が行われている。本株式ステープル受益証券の保有、HKTリミテッドの事業及びHKTトラストに関する事項についての個人からの問い合わせは有益かつ適時な方法で処理される。関連ある問い合わせ先については、年次報告書及び本受益証券保有者とのコミュニケーションに係る方針に記載されている。

本株式ステープル受益証券保有者は、HKTリミテッド及びHKTトラストの次回の本年次総会（少なくとも正味20営業日前に通知される。）に参加することを勧められている。かかる本年次総会において、HKTリミテッド・グループに関する事業についての全取締役による質疑応答が可能であり、また監査の実施、監査報告書の作成及び内容、会計方針並びに監査人の独立性についての社外監査人による質疑応答も可能である。

設立文書

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド附属定款及び本信託証書にいかなる変更もなされなかった。かかる設立文書の写しは、HKTリミテッド及び香港証券取引所のウェブサイトでも入手可能である。

取締役会（2021年2月4日現在）**執行取締役****リチャード・リ・ツァル・カイ氏****執行役会長**

リ氏（54歳）は、2011年11月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの執行役会長及び執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッドの執行委員会の会長及びHKTリミテッド取締役会指名委員会の委員である。リ氏はまた、PCCW社において1999年8月より執行取締役兼会長を務めており、PCCW社の執行委員会の会長及びPCCW社の取締役会の指名委員会の委員である。同氏はまた、パシフィック・センチュリー・グループ（Pacific Century Group）の会長兼最高経営責任者、一定のFWDグループの会社の取締役、PCPD社の執行取締役、PCPD社の執行委員会の会長、PCPD社の報酬委員会及び指名委員会の委員、シンガポールに拠点を置くPCRD社の会長兼執行取締役、並びにPCRD社の執行委員会会長である。

リ氏は、ワシントンD.C.にある戦略国際問題研究所の国際顧問グループ（Center for Strategic and International Studies' International Councillors' Group）の会員及びグローバル・インフォメーション・インフラストラクチャー・コミッション（Global Information Infrastructure Commission）の会員である。リ氏は、2011年11月に、アジア・ケーブル及び衛星放送協会（Cable & Satellite Broadcasting Association of Asia）よりライフタイム・アチーブメント・アワード（Lifetime Achievement Award）を授与された。

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏**グループ・マネージング・ディレクター**

フェイ氏（56歳）は、2018年9月よりHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーのグループ・マネージング・ディレクターである。同氏は、2011年11月よりHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの執行取締役である。同氏は、HKTリミテッドの執行委員会の委員であり、さまざまな本グループ会社において取締役の地位を有している。同氏は、2011年11月から2018年8月まで、HKTリミテッドのグループ最高財務責任者であり、主に本グループの財務に関する事項を監督する責任を有していた。フェイ氏はまた、PCCW社のグループ最高財務責任者兼執行取締役、PCCW社の執行委員会の委員及びPCPD社の執行取締役である。

フェイ氏は、1999年9月にケーブル・アンド・ワイヤレスHKTリミテッド（Cable & Wireless HKT Limited）（後にPCCW社により買収された。）に入社した。その後、同氏は、過去22年間において、2006年9月から2007年4月までのPCCWグループのグループ財務取締役並びに電気通信事業セクター及び規制目的会計に関する責任を担うPCCWグループの財務取締役を含むさまざまな職務をPCCWグループにおいて務めてきた。フェイ氏はまた、2009年7月から2011年11月までPCPD社の最高財務責任者であった。

フェイ氏は、ケーブル・アンド・ワイヤレスHKTリミテッドに入社する以前、ホテル及び不動産の投資及び経営に従事する上場会社の最高財務責任者であった。

フェイ氏は、香港大学にて社会科学の学士号を最優等で取得した。同氏は公認会計士であり、香港公認会計士協会会員及び米国公認会計士協会会員である。

非執行取締役

ピーター・アンソニー・アレン氏

非執行取締役

アレン氏（65歳）は、2011年11月に、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの非執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッド監査委員会及び本トラスティ・マネジャー監査委員会の委員である。同氏は、PCRD社の執行取締役兼グループ・マネージング・ディレクター、パシフィック・センチュリー・グループの執行取締役兼最高財務責任者、一定のFWDグループの会社の取締役及びPCCW社の上級顧問である。同氏はまた、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの執行役会長であるリチャード・リ・ツァル・カイ氏が支配するその他の一定の会社の取締役である。アレン氏は1999年8月より2011年11月までPCCW社の執行取締役を務めている。

アレン氏は、パシフィック・センチュリー・グループに入社する以前、1980年にオクシデンタル・インターナショナル・オイル・インコーポレーテッド（Occidental International Oil Incorporated）での役職に就く前には、1976年にKPMGに入社した。同氏は、1983年にシュルンベルジェ・リミテッド（Schlumberger Limited）に入社し、主要な管理職に就いてさまざまな国で勤務した。同氏は、1989年にヴェスティ・グループ（Vestey Group）の地域財務担当役員としてシンガポールに赴任した。

アレン氏は、1995年にモルガン・グレンフェル・インベストメント・マネジメント（アジア）リミテッド（Morgan Grenfell Investment Management (Asia) Limited）において取締役兼最高業務責任者の役職に就く以前、1992年にグループ業務統括者としてバウステッド・シンガポール・リミテッド（Boustead Singapore Limited）に入社した。同氏は、1997年にパシフィック・センチュリー・グループに入社した。

アレン氏は、英国で教育を受け、サセックス大学にて経済学の学士号を取得した。同氏は、イングランド・ウェールズ勅許会計士協会のフェロー、オーストラリア公認会計士協会のフェロー会員、香港取締役協会のフェロー及びシンガポール公認会計士協会のフェローである。

ミコ・チャン・チョ・イー氏

非執行取締役

チャン氏（60歳）は、2011年11月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの非執行取締役に任命された。チャン氏は、2010年5月から2011年11月までPCCW社の非執行取締役を務めた。同氏は、1996年11月よりPCCW社の合併及び買収活動の責任を担う執行取締役であり、2010年5月にPCCW社の非執行取締役に再任された。同氏は、1999年3月にパシフィック・センチュリー・グループに入社した。

チャン氏は、1983年に英国のロンドン大学ユニバーシティ・カレッジにて法学位を取得し、卒業した。

チャン氏は現在、2004年に入社したCSI社の会長兼執行取締役である。同氏はまた、HKC（ホールディングス）リミテッド（HKC (Holdings) Limited）の独立非執行取締役であった。

リ・フシェン氏

非執行取締役

リ氏（58歳）は、2011年11月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの非執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッドの報酬委員会、指名委員会及び執行委員会の委員である。リ氏は、2007年7月にPCCW社の非執行取締役、2018年9月にPCCW社取締役会の副会長に就任した。同氏は、PCCW社執行委員会の委員である。

リ氏は、ユニコムHK社の執行取締役である。同氏はまた、ユニコム社、ユニコムA-シェア社及びCUCL社の取締役である。

同氏は、旧吉林省通信公司(Jilin Provincial Telecommunications Company)及び吉林省通信公司(Jilin Communications Company)のジェネラル・マネジャー代理、チャイナ・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・コーポレーション(China Network Communications Group Corporation)の財務部のジェネラル・マネジャー兼会計主任、チャイナ・ネットコム・グループ・コーポレーション(香港)リミテッド(China Netcom Group Corporation (Hong Kong) Limited)の最高財務責任者、執行取締役兼合併会社秘書役、ユニコム社の副社長兼会計主任、ユニコムA-シェア社の上級副社長、並びにユニコムHK社の上級副社長兼最高財務責任者を務めた。

リ氏は、2004年にオーストラリア国立大学で経営学修士号を取得して卒業し、1988年に吉林工学院で技術管理の学位を取得した。リ氏は、長きにわたり電気通信産業に従事しており、幅広い経営の経験を有している。

シュ・ケビン氏

非執行取締役

シュ氏(46歳)は、2018年9月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの非執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッドの法令遵守委員会の委員である。シュ氏はまた、PCCW社の非執行取締役及びPCCW社の取締役会の指名委員会の委員である。

同氏は、ユニコムHK社の執行取締役兼最高財務責任者、ユニコム社の会計主任、ユニコムA-シェア社の最高財務責任者兼取締役会秘書役及びCUCL社の取締役兼最高財務責任者である。

同氏はこれまでに、バオスチール・グループ・カンパニー・リミテッド(Baosteel Group Co., Ltd.)の財務部副部長及び業務財務部のジェネラル・マネジャー兼予算管理者兼資産運用管理者、バオシャン・アイロン・アンド・スチール・カンパニー・リミテッド(Baoshan Iron and Steel Co., Ltd.)の最高財務責任者兼取締役会秘書役兼監事、チャイナ・バオウ・スチール・グループ・コーポレーション・リミテッド(China Baowu Steel Group Corporation Limited)の産業金融開発センターのジェネラル・マネジャー、上海バオサイト・ソフトウェア・カンパニー・リミテッド(Shanghai Baosight Software Co., Ltd.)の取締役、チャイナ・パシフィック・インシュランス(グループ)カンパニー・リミテッド(China Pacific Insurance (Group) Co., Ltd.)の非執行取締役、ホアバオ・インベストメント・カンパニー・リミテッド(Hwabao Investment Co., Ltd.)のジェネラル・マネジャー、セイリング・キャピタル・インターナショナル・インベストメント・ファンド(上海)カンパニー・リミテッド(Sailing Capital International Investment Fund (Shanghai) Co., Ltd.)の取締役、セイリング・キャピタル・マネジメント・カンパニー・リミテッド(Sailing Capital Management Co., Ltd.)の取締役、シュアンヘ・エクイティ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・リミテッド(Siyuanhe Equity Investment Management Co., Ltd.)の取締役、並びに上海PE協会(PE Association of Shanghai)の副理事長等を務めた。

シュ氏は、1997年にノースイースタン大学を卒業した上級会計士で、2011年に香港中文大学で会計修士(専門職)を取得した。シュ氏は、企業財務及び投資運用に関する豊富な経験を有している。

バンガロール・ガンガイア・スリニバス氏(通称B.G.スリニバス氏)

非執行取締役

スリニバス氏(60歳)は、2014年8月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの非執行取締役に任命された。同氏は、2014年7月からPCCW社の執行取締役兼グループ・マネージング・ディレクターである。また、同氏は、PCCW社の執行委員会の委員である。同氏はまた、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの執行役会長であるリチャード・リ・ツァル・カイ氏が支配する一定のFWDグループの会社の取締役代行者を務めている。

PCCWグループの職責の一環として、スリニバス氏は、各事業ラインを拡大するための戦略を作成すると同時に、PCCWグループが香港におけるその全ての事業ポートフォリオにおいて主導的立場を維持するよう確保することに注力している。同氏は、30年超の経験があり、企業が事業変革のために技術を活用するのを支援してきた。PCCW社に入社する前、スリニバス氏は、インフォシス・グループ（Infosys Group）に15年間勤務し、退社時の役職は、インフォシス・リミテッド（Infosys Limited）の社長兼常勤取締役であった。同氏は、インフォシスのために、いくつかの業種における戦略の作成及び成長の促進において注目すべき役割を果たした。インフォシス・グループに入社する前は、スリニバス氏は、アセア・ブラウン・ボベリ・グループ（Asea Brown Boveri Group）に14年間勤務し、プロセスの自動化及び送電の部門においていくつかの幹部的地位を歴任した。

スリニバス氏は、ヨーロッパ・ビジネス・アワード（EBA）の審査員を3年連続で務め、世界経済フォーラム（World Economic Forum）やインシード（INSEAD）及びエール大学等の学術機関での講演も数多く行っている。

スリニバス氏は、インドのバンガロール大学で機械工学の学位を取得し、米国のウォートン・ビジネス・スクール及びインドのインド経営大学院アーメダバード校（Indian Institute of Management Ahmedabad）（IIMA）の経営幹部プログラムに参加した。

独立非執行取締役

チャン・シン・カン教授、英国王立アカデミーフェロー、金紫荊星章、治安判事

独立非執行取締役

チャン教授（80歳）は、2011年11月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの独立非執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッドの法令遵守委員会の会長並びにHKTリミテッドの監査委員会、報酬委員会及び指名委員会の委員並びに本トラスティ・マネジャー監査委員会の委員を務める。チャン教授は、2000年10月から2011年11月までPCCW社の独立非執行取締役を務めた。

チャン教授は、2005年に北京外国語大学の名誉教授、2006年に北京大学の名誉教授、2007年9月に清華大学の名誉教授、及び2017年に団結香港基金の中国協会（China Institute of Our Hong Kong Foundation）の名誉理事長となった。同氏は、1996年から2007年まで香港城市大学の学長兼教授であった。それ以前に同氏は、1994年から1996年まで米国のピッツバーグ大学工学部部長であり、1990年から1994年まで香港科技大学工学部の初代学部長であり、また1985年から1990年まで米国の南カリフォルニア大学の医用生体工学科長であった。

チャン教授は、英国王立工学アカデミー（the Royal Academy of Engineering of the United Kingdom）の外国人会員、及び国際ユーラシア科学アカデミー（International Eurasian Academy of Sciences）の会員である。また、フランスの教育功労章コマンドゥール（Commandeur dans l'Ordre des Palmes Académiques）のみならず、レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ（Chevalier dans l'Ordre National de la Légion d'Honneur）を受勲している。同氏は、1999年7月に治安判事に任命されており、2002年7月、香港政府により金紫荊星章（Gold Bauhinia Star）を授与された。

チャン教授は、国立台湾大学にて土木工学士号、米国のスタンフォード大学にて構造力学修士号、ノースウェスタン大学にて生物科学工学博士号を取得した。

チャン教授はまた、恒隆地産有限公司（Hang Lung Properties Limited）の独立非執行取締役である。同氏は、漢國置業有限公司（Hon Kwok Land Investment Company, Limited）、光匯石油（控股）有限公司（Brightoil Petroleum (Holdings) Limited）及び南洋商業銀行（Nanyang Commercial Bank, Limited）の独立非執行取締役を務めていた。

スニル・ヴァルマ氏**独立非執行取締役**

ヴァルマ氏（77歳）は、2011年11月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの独立非執行取締役に任命された。同氏はまた、HKTリミテッド監査委員会及び本トラスティ・マネジャー監査委員会の会長並びにHKTリミテッドの指名委員会、報酬委員会及び法令遵守委員会の委員を務める。

同氏は、原価・管理会計士であるのみならず、公認会計士でもある。同氏は、プライス・ウォーターハウス・マネージメント・コンサルタンツ（Price Waterhouse Management Consultants）及びIBMコンサルティング・グループ（IBM Consulting Group）における経験を含む40年超にわたる豊富な勤務経験を有しており、経営及びビジネス問題に関するコンサルティングを専門としている。同氏は、インドネシアにおけるプライス・ウォーターハウスのコンサルティング業の確立及び発展の責任を担うパートナーであり、1994年まで香港におけるプライス・ウォーターハウスのコンサルティング業の責任者であった。ヴァルマ氏は、1996年から1998年までインドにおけるIBMコンサルティング・グループの副社長兼代表であった。同氏は、1999年から2000年までアジア・オンライン・リミテッド（Asia Online, Ltd.）の最高財務責任者代理兼マネージング・ディレクター代理であり、2003年にはインドのHCL-ペロット・システムズ（HCL-Perot Systems）の最高財務責任者代理であった。

以前、ヴァルマ氏は、アフリカ諸国並びにオーストラリア、インド、インドネシア、香港、タイ及び中国を含むアジア太平洋地域において就労していた。同氏は、国内企業のみならず、大手多国籍企業に対してコーポレート・ガバナンス、財務管理、組織力の強化、能率向上、プロセス再構築及び業務システムの分野における助言をしていた。同氏は、金融サービス、情報テクノロジー、エネルギー、肥料及び鋼鉄を含む多様な業界において豊富な経験を有している。同氏は以前に、公的機関における複数の大規模な任務を、世界銀行、アジア開発銀行及び多国間の資金提供機関の出資により行った。

ヴァルマ氏は、インドのドクター・ラル・パスラプス・リミテッド（Dr. Lal PathLabs Limited）の筆頭独立取締役、監査委員会会長及びさまざまな委員会のメンバーである。

ヴァルマ氏は、1962年7月にパンジャブ大学にて数学及び経済学の文学士号を取得した。同氏は、1966年8月からインド勅許会計士協会（Institute of Chartered Accountants of India）のアソシエイトであり、1972年6月からフェローであり、また1975年9月よりインド原価・管理会計士協会（The Institute of Cost and Management Accountants of India）のアソシエイトである。

アマン・メータ氏**独立非執行取締役**

メータ氏（74歳）は、2014年5月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの独立非執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッドの指名委員会の会長である。メータ氏は、2004年2月より、PCCW社の独立非執行取締役を務めている。同氏はまた、PCCW社の取締役会の監査委員会、指名委員会及び報酬委員会の会長を務める。

メータ氏は、国際的な銀行業界で輝かしい経歴を築いた後に、PCCW社の取締役に就任した。同氏は、HSBCの最高経営責任者を、退職する2003年12月まで務めた。

メータ氏は、1946年にインドで生まれ、1967年にボンベイでHSBCグループに入社した。HSBCグループでさまざまな役職に就任した後、メータ氏は、1985年に香港のHSBC本社のマネジャー（経営企画部門）に任命された。サウジアラビアのリヤドにおける3年間の駐在を経て、同氏は1991年にグループ・ジェネラル・マネジャーに任命され、その翌年にはジェネラル・マネジャー（インターナショナル部門）に任命され海外子会社を統括する責任を担った。その後、同氏は、米国で幹部職に就き、南北アメリカにおけるHSBCグループ会社を監督し、その後、中東におけるHSBCの事業活動の責任者となった。

メータ氏は、1998年にインターナショナル部門のジェネラル・マネジャーに再度任命され、その後、インターナショナル部門担当の執行取締役となった。メータ氏は、1999年に最高経営責任者に任命され、退職するまでその職位を務めた。

メータ氏は、2003年12月に退職した後、ニューデリーに居を定めた。メータ氏は、インド及び国外の複数の公開企業及び機関の取締役会において独立取締役を務めている。同氏は、インドのムンバイのゴドレジ・コンシューマー・プロダクツ・リミテッド（Godrej Consumer Products Limited）、ウォックハード・リミテッド（Wockhardt Limited）及びタタ・スチール・リミテッド（Tata Steel Limited）並びにインドのニューデリーのマックス・ファイナンシャル・サービス・リミテッド（Max Financial Services Limited）の独立非執行取締役である。同氏は、エマール・エムジーエフ・ランド・リミテッド（Emaar MGF Land Limited）、ジェット・エアウェイズ（インド）リミテッド（Jet Airways (India) Limited）、ケアン・インド・リミテッド（Cairn India Limited）、ベダント・リソース・ピーエルシー（Vedanta Resources plc）、タタ・コンサルタンシー・サービス・リミテッド（Tata Consultancy Services Limited）及びベダント・リミテッド（Vedanta Limited）の独立非執行取締役並びにオランダ企業であるアイエヌジー・グループ・エヌヴィ（ING Groep N.V.）の監査役会の独立取締役も務めた。

メータ氏はまた、ハイデラバードのインド商科大学院（Indian School of Business）の運営理事会の理事も務めている。

フランシス・ワイクン・ウォン氏

独立非執行取締役

ウォン氏（59歳）は、2015年5月にHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの独立非執行取締役に任命された。同氏は、HKTリミテッドの報酬委員会の会長である。ウォン氏は、2012年3月からPCCW社の独立非執行取締役を務めており、PCCW社取締役会の法令遵守委員会会長並びに指名委員会及び報酬委員会の委員である。同氏はまた、PCRD社の独立非執行取締役である。

ウォン氏は現在、グッド・ハーバー・ファイナンス・リミテッド（Good Harbour Finance Limited）の財務アドバイザーを務めている。同氏は、米国のマッキンゼー・アンド・カンパニー（McKinsey & Company）で経営コンサルタントとしてキャリアをスタートさせた。1988年に香港に戻り、ハチソン・ワンポア（Hutchison Whampoa）のグループ会社に入社し、さまざまなポジションを引き受けた。同氏は、空調設備製造会社であるウェザーリット・マニュファクチャリング・リミテッド（Weatherite Manufacturing Limited）のマネージング・ディレクターを務めていた。その後、新城廣播有限公司（Metro Broadcast Corporation Limited）の最高経営責任者となった。後には、アジア最初の衛星テレビ会社であるスターTV（Star TV）の最高財務責任者となった。ハチソン・ワンポア・グループを退社した後、パシフィック・センチュリー・グループのグループ最高財務責任者となった。パシフィック・センチュリー・グループを退社した後、2000年に香港で独立学校財団を創設した。

ウォン氏は、米国のスタンフォード大学で学び、理学士号を取得した。同氏は、マサチューセッツ工科大学の理学修士号を保有している。同氏は、香港特別行政区中央政策組（Central Policy Unit）（シンクタンク）の委員を務めていた。同氏は、香港カナディアン・インターナショナル・スクール（Canadian International School of Hong Kong）及び香港公開大学（The Open University of Hong Kong）を含む多数の教育機関で委員を務め、学生財政援助機関（Student Financial Assistance Agency）の学生融資に関する合同委員会の委員であった。

統合取締役報告書（2021年2月4日現在）

事業概観

当会計年度における本グループの事業の適正な概観及び2020年度末以降に発生した本グループに影響を及ぼす重要な事象の詳細、並びに本グループの将来の事業開発に関する詳解は、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（1）投資方針」及び「第一部―第1 ファンドの状況―5 運用状況―（1）投資状況―経営陣の報告及び分析」に記載される。

本グループが直面している主なリスク及び不確実性については、以下に記載される。

主なリスク及び不確実性

本取締役会は、本グループ全体においてリスクが有効に管理されるよう確保することに全面的な責任を負っており、本監査委員会は、本取締役会に代わって、本グループで採用されたリスク管理の枠組みとプロセスの有効性を調整及び精査する。グループ・リスク管理・コンプライアンス部門は、事業リスク登録簿の維持について責任を負うとともに、本監査委員会と協力して、登録簿が本グループの全ての業務分野において最新のものであり、事実に基づいており、かつ一貫性のある状態に維持されるよう確保する。全ての本取締役会及び本監査委員会は、本グループが実施している内部リスク統制の枠組みによって、リスク管理及び内部統制制度の完全性を損なうことなく、事業の柔軟性を実現するために必要な要素が継続的に提供されていると引き続き確信している。本グループのリスク管理の能力は、リスクが効果的に特定、評価及び軽減されている健全な状態を確保するリスク管理能力に重点を置くことを通じて持続的に発展している。

本グループが直面している重大なリスク及び不確実性は下記の通りである。かかるリスク及び不確実性は、効果的に管理がなされなかった場合、本グループの全体的な業績、財政状態、経営成績及び成長見通しに悪影響及び／又は重大な影響を及ぼす可能性がある。かかる主要なリスクは、決して完全かつ包括的なものではなく、下記のリスクに加えて、本グループに知れていない又は現在は重大ではないが将来において重大であると判明する可能性のあるその他のリスクが存在する可能性がある。リスクが発生する速度及び性質に基づき、本グループは、引き続き慎重に上記の懸念分野に対処し、適切な統制措置を策定する。

本グループの事業及び本グループが事業を行っている業界に関連する主要なリスク並びに対応する軽減戦略は以下の通りである。

リスク	説明	影響	主要な軽減戦略
業務リスク 感染症／パンデミック	2020年度を通じたコロナウィルス（COVID-19）のパンデミックの発生は香港と世界に深刻な影響を及ぼし、事業中断のリスクを高めている。	本グループは、従業員及び関連する利害関係者のために高い基準の衛生安全措置を維持することの重要性を認識しているが、パンデミックの予測不可能性により本グループの事業運営に不測の影響や課題が生じるおそれがある。	本グループは、事業継続管理方針（Business Continuity Management Policy）及びコーポレート・インシデント対応計画（Corporate Incident Response Plan）を採択しており、本グループの従業員と事業運営を保護するために、報告／上申された当該インシデントが注意深くかつ慎重な方法で速やかに処理されるよう確保している。
業務リスク 第三者ベンダー	第三者サービスの障害による事業中断	このような悪影響は、ベンダー管理に関する研修が不十分である場合や、HKTリミテッドの調達方針に関する企業の監督と理解が不足している場合に生じる可能性がある。	リスク・エクスポージャーを軽減するため、さまざまな法域で営業しているマルチベンダーのソーシング及びそのようなマルチベンダーとの協力を通じた継続的な供給業者／ベンダーのリスク管理、サプライ・チェーンの多様化及び技術展開を行う。

リスク	説明	影響	主要な軽減戦略
技術リスク サイバー・セキュリティ上の脅威	本グループは、その事業のあらゆる側面（サイバー攻撃の脅威を受けやすい顧客データ、個人情報及びその他の商業機微データの取扱いを含む。）を支えるにあたって健全なITインフラ及び業務環境に依存している。	外部の要因、コンピューター・ウイルス／マルウェア又は人的過失によって生じた重大なシステム障害又は機能停止は、長期にわたるサービスの中断、データ・セキュリティ侵害並びに潜在的な財務上の損失及び／又は風評による損失をもたらすおそれがある。	当該リスクの発生可能性及び／又は当該リスクが現実化したときの影響の低減を目的とするセキュリティ措置の特定及び実施を通じて、新たに発生するサイバー・セキュリティ上の脅威を常に把握するため、グループ情報及びサイバー・セキュリティ協議会（Group Information and Cyber Security Council）（以下「GICSC」という。）が設置されている。また、異常なネットワーク活動について警告するとともに管理されていないクラウド・ストレージに対するアクセスを制限するネットワーク行動ツールの実行を通じた、次世代アンチマルウェア・ソリューションのサーバー及びエンドポイントへの展開等の一連の統制措置が実施されている。さらに、新たな国への進出又は新たな製品若しくはサービスの導入に先立ってデータ保護影響分析（Data Protection Impact Analysis）（DPIA）等のデータ・ガバナンスに対する全体論的なアプローチが採用されるとともに、データ保護及びセキュリティに関する適切な従業員研修と周知活動が強化されている。

リスク	説明	影響	主要な軽減戦略
技術リスク 技術動向／インフラストラクチャーの老朽化	新技術及び新興技術並びにその他の市場原理によってもたらされる破壊的イノベーションの急速な進展は、本グループが適切にリスクに対抗及び管理できる能力を上回るペースで進む可能性がある。	本グループは、変化する市況に遅れずに技術発展がなされること、そのような技術が期待通りに性能を発揮すること、又は本グループが採用する技術が商業上受け入れられることを確信できない。また、本グループのネットワーク、サーバー又はデリバリー・チェーンのリンクの継続的な障害は、業務運営上の混乱、自然災害又はその他の理由によるか否かを問わず、本グループの事業、財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性がある。	本グループは、技術によって市場セグメントの成長と開発の機会をもたらす方法を絶えず追求するとともに、潜在的な脆弱性の特定に常に注意を払い、リスク管理における有効なガバナンスと監視に加え、革新中に必要とされる軽減措置を実施している。
規制及び法的リスク 法令の不遵守	本グループは、電気通信、放送、個人データ、財務関連等の多数の規制の遵守が要求される市場及び業界において事業を行っている。	適用法令の遵守が有効に管理されない場合、本グループ又はその取締役に対して多額の罰金が科され、あるいは刑事訴訟が提起されたときには、本グループの評判、信用及びフランチャイズの価値並びに本グループの業績に悪影響が及ぶ可能性がある。	本グループは、適用法令の改正を監視し、コンプライアンスの確保に努めるため、適切な慣行を実施している。
人的リスク 従業員の確保及び動機付け	優れたマルチサービス及び技術のプロバイダーとして、組織のあらゆるレベルにおいて適切なスキルと勤務態度を備えた最良の人員を確保し、動機付けることが、本グループの長期的な成功にとって重要である。	主要な人員を失うか又は新たに適格な人材を見出すことができない場合、本グループの業績見通しと実績に重大な悪影響が生じる可能性がある。	本グループは、従業員を確保し、育成し、動機付けるための研修、業績管理及び報奨のプログラムを策定している。さらに、本グループは、主要な人員が失われた場合に大きな混乱が生じることを避けるための承継計画を継続的に策定している。これは、事業戦略を継続的に実行し、優れた社風を醸成できるようにするための措置である。

リスク	説明	影響	主要な軽減戦略
市場リスク 市場競争	本グループは、競争と消費者保護を推進する規制環境を備える市場及び業界において事業を行っている。2020年度には、世界的なパンデミックの発生と不安定な政治情勢の結果として生じた景気後退により、市場競争がさらに激化した。	消費者が申込や購入を行う際にオンライン・プラットフォームを使用する傾向が強まっていることから、競争の激化、価格圧力、販促マーケティング活動の拡大及び顧客獲得コストの増大が生じている一方で、競合他社の積極的な価格設定もまた、収益と利益率の低下を後押しする可能性がある。	本グループは、20年超にわたってこのような競争的な環境で事業を行っており、主として機能性、カバレッジ、市場化までの時間、統合の容易さ、価格設定、製品及びサービスの質、並びに長期にわたる市場経験、信用及び評判等の属性に基づいて引き続き競争に努めている。 さらに、本グループは、顧客フィードバック管理、カスタマイズされた付加価値サービスのデジタル化及びデータ分析の実行による製品差別化の手法を活用している。

リスク	説明	影響	主要な軽減戦略
戦略的リスク 政治情勢	本グループは多国籍企業として複数の法域で事業を行っている。地政学的な不確実性と政策主導の通貨／金利変動を原因とするマクロ経済の変化により、本グループは潜在的な財務リスク及び戦略的リスクにさらされるおそれがある。	政治情勢の変化により、サプライ・チェーン及び顧客に提供するサービス／製品に変化が生じる場合があり、その結果、本グループの戦略展開がさらなる課題に直面する可能性がある。	政治情勢の動向を継続的に監視するとともに、ヘルステックやフィンテック等の他の産業セグメントへの事業の多様化による収益の傾向を精査する。このような戦略を通じて、本グループは、さまざまなプラットフォーム及び地域においてさらに戦略的な事業機会を追求することが可能になる。
戦略的リスク 戦略の失敗	現行のビジネス・モデルでは、組織的な成長によるか、あるいは新たな事業の合併又は戦略的投資を通じたものかを問わず、電気通信及び／又は技術セクターにおける成長を想定している。	適切な目標を設定できない場合、あるいはそのような目標を上手く統合できない場合、企業の成長計画に悪影響が及ぶことになる。市況が変化した場合若しくは事業から十分なキャッシュ・フローが生じない場合、又はその他の理由によって、本グループは、その事業進行戦略の一定の部分の延期、変更、修正又は放棄を決定する可能性がある。 加えて、本グループは、海外市場における事業運営を引き続き拡大している。これにより、複数の相反することのある規制制度に対する本グループのエクスポージャーが増大しており、かかる規制制度につき、域外条項を含むものの数も増加している。そのような海外市場に精通していないこと、特に、絶えず変更がなされている法令の解釈が明確でないことにより、当該市場におけるさらなる成功を収めるにあたり、本グループの業務リスクは増大する。	リスクを軽減するため、本グループ全体にわたって多くの内部知識と対象分野に関する専門知識を備えるとともに、本グループのフランチャイズ価値に悪影響を及ぼす可能性がある関連事項及び懸案の変更について必要な情報及び助言を提供することができる外部アドバイザーを適切とみなす場合には利用する。

さらに、本グループの環境に関する方針及び実績、主要な利害関係者との関係、並びに本グループに重大な影響を及ぼす関連法令の遵守について、以下に記載する。

環境に関する方針及び実績

HKTリミテッドは、責任ある企業市民として、優れた環境管理の重要性を認識している。これに関連して、HKTリミテッドは、CSRに関する方針並びにその他の関連方針及び手続を実施している。CSR委員会は、HKTリミテッドの環境戦略及びその他のCSRイニシアチブを規定し公表している。グループ・ユニットの長で構成される環境諮問グループは、HKTリミテッドの持続可能性の検討課題に関する提案を行う。

HKTリミテッドは、さまざまな外部の環境ワーキング・グループに積極的に参加している。HKTリミテッドの親会社であるPCCW社は、事業環境審議会（Business Environment Council）のメンバーであるとともに、フード・グレース（Food Grace）の法人会員である。HKTリミテッドは、香港環保促進会（Green Council）及びザ・グリーン・アース（The Green Earth）の法人メンバーである。

光害を最小限に抑えるため、HKTリミテッドは、長年にわたって世界自然保護基金（WWF）の毎年恒例のアース・アワー（Earth Hour）キャンペーンを支援している。HKTリミテッドは、香港環境局（Environment Bureau）の屋外照明憲章（Charter on External Lighting）スキーム及び省エネルギー憲章（Energy Saving Charter）に調印しており、HKTリミテッドの交換局、並びにcsl、1010及びHKTの店舗において省エネルギーの慣行を採用することを誓約している。

本グループは、環境に優しい配慮を持続可能な事業運営に組み入れている。環境改善のための電気自動車の推進のため、CLPホールディングス・リミテッド（CLP Holdings Limited）との間の対等の共同支配企業であるスマート・チャージ（香港）リミテッド（Smart Charge (HK) Limited）を通じて、電気自動車充電ソリューションを提供している。本グループは、エネルギー消費量を削減するため、交換機建屋において、よりエネルギー効率のよい最新の空調システム及び装置に投資してきた。

本グループは、銅及び鉄鋼を含むスクラップ金属並びに廃品材料のリサイクルにおいて確立した慣行がある。廃電気・電子機器に関する生産者責任スキーム（WPRS）に従い、本グループの顧客に対して廃電気・電子機器（WEEE）の撤去サービスを提供している。

本グループは、必要に応じて人事及び調達等の日常業務や小売店において、また、顧客サービスに関して、ペーパーレスのシステム及び慣行を採用している。また、紙消費量の削減のため、顧客に対して電子請求処理サービスを提供している。本グループは、持続可能な資源から得られる森林材料で作られたPEFC（森林認証プログラム）の認証紙をコピー用紙や請求書の印刷用紙に使用している。

本グループの社内報では、環境保護に関する事項（Green Matters）の定期コラムを掲載し、環境問題及び本グループの環境保護への取り組みに関する情報を提供している。

昨年、HKTリミテッドは、廃棄物のリサイクル及び回収に対する貢献について、香港環境保護署（Environmental Protection Department）から2020年フレンズ・オブ・エコパーク賞（Friends of EcoPark 2020 Award）を受賞した。

環境関連の主要業績指標は、2020年のHKTリミテッドの環境、社会及びガバナンスに関する報告書に記載されている。また、HKTリミテッドは、2020年に香港環境保護署の香港の上場会社に関する二酸化炭素排出量レポジトリ（Carbon Footprint Repository for Listed Companies in Hong Kong）に対して二酸化炭素排出量データを引き続き自発的に開示した。

利害関係者との関係

HKTリミテッドは、その従業員、顧客、供給業者、ビジネス・パートナー及び地域社会を含むさまざまな利害関係者の利益のバランスを取りつつ持続可能な方法で事業運営するよう取り組んでいる。

HKTリミテッドは、全世界の従業員のために公平で包摂的な高業績の企業文化を提供するよう努めている。人的資本はHKTリミテッドの長期的な成功を推進する中核的な組織機能であると考えている。HKTリミテッドの包括的な雇用方針は、従業員の権利と利益を保護するとともに、競争力のある給与と昇進の機会を提供している。

HKTリミテッドは、従業員の福利を推進するために香港衛生署（Department of Health）及び職業安全健康局（Occupational Safety and Health Council）が導入したジョイフル@ヘルシー・ワークプレイス憲章（Joyful@Healthy Workplace Charter）に調印している。HKTリミテッドは、従業員の健康を守るために医療給付及びサービスを提供している。昨年度、HKTリミテッドは引き続き、健康的な食事や身体的及び精神的な健康に関する講演会及びワークショップの企画運営を行った。

「選ばれる雇用者（Employer of Choice）」となるための取り組みにおいて、HKTリミテッドは、最良の従業員経験を可能にし、多様性と活力のあるチームを維持することを推進する人材戦略を策定している。HKTリミテッドの人員は、多様な専門知識と経歴を持つ従業員で構成されており、その国籍は60を超えている。HKTリミテッドは、機会均等委員会（Equal Opportunities Commission）の下で雇用者のための人種的多様性及び包摂憲章（Racial Diversity and Inclusion Charter for Employers）に調印している。

HKTリミテッドは、全てのレベルの従業員が最適の水準で業績目標を達成するように動機付けし、報奨を与えることを意図した公平かつ有効な業績評価制度及びインセンティブ賞与制度を実施している。

HKTリミテッドは、経営陣と従業員の間に強固な関係を築くため、直接かつ効果的なコミュニケーションが不可欠であると考えている。HKTリミテッドは、従業員が上級管理職とフィードバックや提案を共有し、会社と事業の発展について理解するための手段を確立している。そのような手段には、対面の会議及び討論会、レッツ・チャット（Let's Chat）のセッションやタウンホール形式の会合が含まれる。

HKTリミテッドは、事業の成長の原動力として必要とされる人材を育てるため、着実な承継及び強力な人材パイプライン、包括的な研修並びにリーダーシップ・プログラムを確立している。HKTリミテッドは、従業員に対して、最先端技術を身に付けさせるプロジェクトに参加する機会を提供している。また、従業員の知識及びスキルが技術の進歩やビジネス感覚に精通し続けるよう確保するため、継続的な能力開発イニシアチブを実施している。HKTリミテッドは、事業を前進させるために若い人材の育成に取り組んでいる。HKTリミテッドは、よく構成された大卒研修生プログラム（Graduate Trainee Program）を通じて、ペースの速い技術部門においてキャリアを築く機会を新卒者に提供している。2020年に、HKTリミテッドは、事業ユニットを横断する協力を推進するとともに、HKTリミテッドの大卒研修員のピア・ラーニングを促進することを目的として、SLASHと呼ばれる革新的なプラットフォームを導入した。このプラットフォームは、事業の革新及びブレイクスルーを推進するために大卒研修員と年長の従業員の間でアイデアや意見を相互に育成することを促進するものである。

従業員の健康と安全は、常に本グループの最優先事項である。本グループ全体を通じて高い職業衛生安全基準を維持するため、新規従業員及び既存従業員に対する安全研修が定期的に実施されている。本グループは、COVID-19の感染拡大中において、在宅勤務及び柔軟な勤務時間構成並びに従業員のためのその他の予防措置を実施した。

本グループは、香港の一流の電気通信サービス・プロバイダーであり、さまざまなサービス分野において幅広い顧客基盤を有している。顧客関連の主要業績評価指標は、「第一部―第1 ファンドの状況―5 運用状況―（1）投資状況―経営陣の報告及び分析」に記載されている。

顧客重視のサービス事業者として、本グループは、顧客を最も重要な利害関係者の1つとみなしている。本グループは、予防措置を通じて顧客を保護し、無料のデータ及び娯楽を提供し、企業がCOVID-19による難局を克服することを支援するために企業向けのさまざまなソリューションを提供した。

継続的な技術革新を通じて顧客のライフスタイルを変革するという取り組みのもと、HKTリミテッドは、コネクティビティを超えて提供サービスを拡充し、フィンテックやヘルステック等の広範なデジタル・サービスを提供している。

本グループは、多種多様な特典を顧客に提供する顧客ロイヤルティ及び特典プログラムであるザ・クラブを実施している。このプログラムは、顧客の維持に役立っており、メンバー個人に合わせた商品及びサービス提供をするための知見を本グループにもたらしめている。

高いレベルの顧客満足度を確保するため、HKTリミテッドの顧客サービス担当者には、サービス・ホットライン、ライブ・ウェブチャット、My HKTポータルでのオンライン照会を通じて、又は小売店及び顧客サービス・センターにおいて、連絡を取ることができる。また、HKTリミテッドは、サービスの質を評価し、顧客のフィードバックを得るために顧客満足度調査、顧客取引調査、ネット・プロモーター・スコア調査及びミステリー・ショッパー・プログラムを実施している。

優れた顧客サービスが認められ、いくつかある賞の中で特に、本グループは、2020年を通じて、香港カスタマー・コンタクト協会（Hong Kong Customer Contact Association）、香港管理專業協会（Hong Kong Management Association）、香港小売業協会（Hong Kong Retail Management Association）及びミステリー・ショッパー・サービス協会（Mystery Shopper Service Association）のさまざまなカテゴリーにおいて190を超える賞を受賞した。2020年に、HKTリミテッドは57,800件を超える顧客の賛辞を受けた。

個人情報の保護の必要性に対する社会の意識の高まりを受けて、HKTリミテッドは、顧客情報を収集、使用及び管理する方法について定めた内部の方針、手続及びコンプライアンス・ガイドラインを強化している。本グループの中核的なネットワーク、サーバー及びエンドポイントの保護に関するあらゆるサイバー・セキュリティ関連のイニシアチブ、投資及び継続的な保守を監督するため、グループ情報・サイバー・セキュリティ評議会が設置されている。グループ・リスク管理・コンプライアンス部門の専門チームが、本グループ全体の技術リスク管理及びデータ・プライバシー・コンプライアンスを監督している。当会計年度中において、本グループは、データ侵害の処理の上申方法を強化し、利害関係者への速やかな通知を可能にするため、データ侵害対応計画（Data Breach Response Plan）を策定した。

一定の適用対象の事業ユニット又は機能が情報セキュリティ管理システムについてISO 27001認証を取得していることから、HKTリミテッドは、国際基準に基づいてデータ・セキュリティ慣行を整備することが可能になっている。

HKTリミテッドは、供給業者及び請負業者と取引をする際に最高水準の倫理及び業務基準を維持するよう取り組んでいる。本グループは、世界中で約3,100の供給業者と関係を維持している。COVID-19のパンデミックの中で世界のサプライ・チェーンは混乱に陥ったが、効果的なサプライ・チェーン管理により、HKTリミテッドの日常の業務に対する影響は限定的であった。

HKTリミテッドは、サプライ・チェーン全体を通じてCSRの原則を一元化するため、共通手段を促進させるグループ購買方針及び原則（Group Purchasing Policy and Principles）並びに供給業者行動規範（Supplier Code of Conduct）を設定しており、これにより、HKTリミテッドは、ビジネス・パートナーの労務、健康及び安全並びに環境を管理する現地法令の遵守に関して、ビジネス・パートナーとより良いコミュニケーションを取ることができる。供給業者の業績をより良くかつ厳密に監視するため、HKTリミテッドの購買部門は、年間を通じて、主要な供給業者及び請負業者を対象とする業績の審査及び供給業者の視察を行い、不十分な評価の供給業者と修正又は改善に関してコミュニケーションを取る。

2018年度からHKTリミテッドは、ISO 9001：2015品質管理システム認証を取得している。これにより、HKTリミテッドは、調達プロセスの継続的な改善と最高水準の事業慣行及びサービス提供の達成が可能となる。HKTリミテッドは、香港環保促進会（Green Council）が導入した持続可能な調達の憲章（Sustainable Procurement Charter）の創設メンバーの一員である。

HKTリミテッドは、PCCW社と共に、高齢者、学生及び若者、障害者並びにその他の集団に奉仕するさまざまなイニシアチブを通じて香港の地域社会を支援している。HKTリミテッドは、地域社会のためにさまざまな物資及び金銭の寄付を行い、また、さまざまなコミュニティ・プログラムやボランティア活動を企画運営した。

パンデミック中の恵まれないセグメントのニーズに応じて、さまざまな場面でかかるセグメントに対する即時の支援を行うため、当会計年度を通じて多くのプログラムが実施された。また、HKTリミテッドは、より長期の革新的なプログラムを通じて地域社会のニーズに対応しようとした。例えば、2020年度において、HKTリミテッドは、支援を必要としている地域社会に関する市民の認識を高め、慈善組織のために資金調達をすることを目的とする長期的なオンラインCSRプラットフォームであるクラブ・ホープ（Club Hope）を導入した。

香港の主要な電気通信サービス・プロバイダーである本グループは、慈善団体及びさまざまな困窮している地域団体にハードウェア及び通信サービスを提供している。また、HKTリミテッドは、活力がありかつ洗練された年齢の重ね方を促進するテクノロジーと高齢者を結び付けることに努めている。HKTリミテッドは、ワンストップのHKT高齢者ホットライン（HKT Elderly Hotline）を通じて、65歳以上の高齢の市民向けに適時の技術サポートを提供するとともに、契約及び請求書並びにサービス移転について支援している。低所得世帯の適格申請者は、自宅電話、ブロードバンド及びモバイル・サービスについて特別割引を利用可能である。

本グループの従業員、その家族及び退職者で構成される企業ボランティア・チームは、過去25年間にわたってより良い地域社会を築くために協力して取り組んできた。2020年において、ボランティア・チームは、2019年における地域社会への10,000時間超のボランティア活動に関して、香港社会福利署（Social Welfare Department）のボランティア活動推進運営委員会（Steering Committee on Promotion of Volunteer Service）によって、10,000時間のボランティア活動賞（Award of 10,000 Hours for Volunteer Service）及び2019年最高活動時間功績賞（民間組織－カテゴリー1）（Merit of Highest Service Hour Award 2018 (Private Organizations - Category 1)）を再び授与された。さらに、HKTリミテッドは、香港勞工福利局（Labour and Welfare Bureau）の地域社会投資統合基金（Community Investment and Inclusion Fund）からソーシャル・キャピタル・ビルダー（Social Capital Builder）ロゴを授与された。職員ボランティアの取組の評価にあたって、HKTリミテッドは、ボランティア評価制度（Volunteer Appreciation Scheme）を実施している。これにより、社会奉仕に参加する従業員は、ボランティア休暇を取得する権利が与えられる。

HKTリミテッドは、7年連続でケアリング・カンパニーとしての活動を評価され、香港社会服務連会（Hong Kong Council of Social Service）のケアリング・カンパニー・スキーム（Caring Company Scheme）からファイブ・イヤーズ・プラス・ケアリング・カンパニー・ロゴ（5 Years Plus Caring Company Logo）を授与されている。

本グループに重大な影響を及ぼす関連法令の遵守

本グループ及びその活動は、さまざまな法令上の義務の対象となっている。かかる法律には、とりわけ、香港電気通信条例、香港放送条例（香港法第562章）、香港商品表示条例（香港法第362章）、香港競争条例（香港法第619章）、香港個人情報（プライバシー）条例（香港法第486章）、香港仲裁システム及びストアドバリュー・ファシリティに関する条例（香港法第584章）、香港雇用条例（香港法第57章）、並びにこれらの法律に基づいて又は関連して発行又は公布された関係規則、ガイドライン、政策、及び許可条件が含まれる。また、香港上場規則が、HKTトラスト、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーに適用される。HKTリミテッドは、本グループのさまざまなレベルの指定資源を有するさまざまな事業部門の内部統制及び承認手順、研修並びに監督等のさまざまな施策によって、これらの義務を確実に遵守するよう努めている。かかる施策は、相当量の内部資源を要し、追加の運営費用が生じるが、本グループは、適用ある法律上及び規制上の要件の確実な遵守の重要性を高く評価している。

香港電気通信条例

電気通信事業の自由化に関する香港政府の政策により、本グループをめぐる競争が増大した。香港電気通信条例に基づき、本グループは一定の義務を負っており、香港通信当局は、本グループに対し、特定の行為（例えば、一定の相互接続サービス及び設備を引き受けかつ提供すること）を命じ、かつ相互接続の条件を課す一定の権限を有している。また香港通信当局は、免許事業者に対し、その所有する設備を公共の利益のため共同運用し共用するよう命ずることができる。免許事業者は、香港電気通信条例に基づき、度重なる違反に対して1百万香港ドルを上限とする（裁判所が認めればさらに高額の）罰金を科される可能性がある。また、悪質性が強い極端な場合には、免許が取り消されることがある。

香港放送条例

HKTリミテッドは、その間接子会社であるPCCWメディア社を通じて、域内の有料テレビ番組サービスに係る免許を保有している。香港における有料テレビ市場は競争が非常に激しい。香港放送条例に基づき、免許事業者は、さまざまなコンテンツ及びコンプライアンスに関する義務を負っている。香港放送条例、免許付与の条件、香港通信当局が発出した関連する指示、命令、決定、規則及び／又は規範に違反した場合、罰金（最高1百万香港ドル）又は極端な場合には免許取消処分を受ける可能性がある。

香港商品表示条例

香港商品表示条例の施行は、通常、香港税関が行うが、香港通信当局は、電気通信業及び放送業免許事業者について共同管轄権を有している。香港商品表示条例の遵守を確保するため、本グループは、年1回の再研修に加え、販売及びマーケティングに従事する全ての新規従業員向けの講習会を行っている。また、香港商品表示条例の遵守を確保するため、販売及びマーケティングに関する全ての資料が精査される。香港商品表示条例において、商品又はサービスの販売に関する虚偽表示、不適切な販売慣行及び関連情報の記載漏れは、犯罪となり、500,000香港ドル以下の罰金及び5年以下の懲役が科される可能性がある。責任は、本グループ及び関連従業員にまで及ぶ可能性がある。

香港競争条例

香港競争条例は、2015年12月に発効し、一般に他の競争法との整合性が取れている。香港競争条例の施行は、通常、香港競争委員会が行うが、香港通信当局は、香港競争委員会とともに、電気通信業及び放送業部門において事業を運営している企業についての共同管轄権を有している。香港競争条例及び香港競争条例に基づき発行されるさまざまなガイドラインの遵守を確保するため、本グループは、販売、マーケティング、入札、価格決定、契約、戦略形成、経営管理等に従事する全ての職員に向けて講習会を実施するとともに、継続的に事業慣行の精査及び監視を行っている。香港競争条例において、重大な反競争的行為に対しては、最大で香港における年間売上高の10%の罰金（最大3年）が科される。また、個人も罰金科料の対象になる可能性があり、さらに、企業の取締役の資格を失う可能性がある。

香港個人情報（プライバシー）条例

香港個人情報（プライバシー）条例は、個人情報の収集、保持及び取扱いを規制することにより情報プライバシーの権利を保護することを目的としている。香港個人情報（プライバシー）条例のデータ保護原則又は特定の規定を遵守しなかった場合、プライバシー保護官事務所（Privacy Commissioner）から執行通知を受ける可能性があり、さらに罰金及び懲役の対象となる犯罪になる可能性さえある。本グループは、個人情報が十分な注意をもって、かつ法律上の要件に従って適正に処理及び管理されるよう確保するため、さまざまな内部方針及び手続を維持するとともに、定期的な精査、研修及び監査を実施している。規制当局との効果的なコミュニケーションを行い、一般データ保護規則（General Data Protection Regulation）の要件を遵守するため、グループ・プライバシー・コンプライアンス・オフィサーが任命され、情報プライバシーの遵守に関するあらゆる業務を監視している。

取締役

当会計年度中及び本統合取締役報告書の日付（2021年2月4日）までに在職していたHKTリミテッド取締役及び本トラスティ・マネジャー取締役は、下記の通りである。

執行取締役

リチャード・リ・ツァル・カイ、執行役会長
スザンナ・フェイ・ホン・ヒン、グループ・マネージング・ディレクター

非執行取締役

ピーター・アンソニー・アレン
ミコ・チャン・チョ・イー
リ・フシェン
シュ・ケビン
バンガロール・ガンガイア・スリニバス（通称B.G.スリニバス）

独立非執行取締役

チャン・シン・カン教授、英国王立アカデミーフェロー、金紫荊星章、治安判事
スニル・ヴァルマ
アマン・メータ
フランシス・ワイクン・ウォン

本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャー取締役は、HKTリミテッド取締役を務める個人と同一人物でなければならない。したがって、順番に退任する旨を定めた条項は、本トラスティ・マネジャー取締役にも間接的に適用される。

HKTリミテッド附属定款及び本信託証書により、スザンナ・フェイ・ホン・ヒン、チャン・シン・カン教授、スニル・ヴァルマ及びフランシス・ワイクン・ウォンは、次回の本年次総会においてHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの両方の取締役職を退任し、適格であるため再任を希望する旨を申し出ている。

独立非執行取締役

本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、香港上場規則ルール3.13に従い、それぞれの各独立非執行取締役から、その者の独立性に関する年次の確認書を共同で受領しており、香港上場規則ルール3.13に記載の独立性ガイドラインに照らして、本統合取締役報告書の日付現在においても全ての独立非執行取締役4名（チャン・シン・カン教授、スニル・ヴァルマ、アマン・メータ及びフランシス・ワイクン・ウォン）が依然として独立性を有しているとみなしている。

アマン・メータに関して、PCCW社の大株主であるPCRD社は2013年2月15日に、PCRD社の完全子会社であるPCRDサービズ社と、とりわけKSHディストリパークス社、パシャ・ベンチャーズ社、アマン・メータ（独立非執行取締役）及びアカシュ・メータ（アマン・メータの成人の息子）（以下「メータ家」と総称する。）並びにアカシュ・メータが支配する会社であるスカイ・アドバンス社間で、合併によるパシャ・ベンチャーズ社及びKSHディストリパークス社のそれぞれの持分に係る再編成案（以下「本再編成」という。）に関するタムシートを締結したことを公表した。2012年3月11日現在、PCRDサービズ社、アマン・メータ及びアカシュ・メータは、パシャ・ベンチャーズ社の払込済発行済株式をそれぞれ74%、21%及び5%を保有していた。KSHディストリパークス社は、プネーに陸上コンテナ倉庫を持つインドの物流の非公開有限会社であり、当時、PCRDサービズ社及びスカイ・アドバンス社のそれぞれにより25.94%及び5.19%が保有されていた。本再編成が実施された結果、パシャ・ベンチャーズ社はKSHディストリパークス社に合併され、パシャ・ベンチャーズ社はPCRD社の子会社でなくなり、2013年6月に解散となった。その結果、PCRDサービズ社、スカイ・アドバンス社及びメータ家のKSHディストリパークス社に係る株式保有比率は、それぞれ約49.87%、2.61%及び12.94%となった。ボンベイ高等裁判所に提出され、承認を受けた会社分割計画に基づき、KSHディストリパークス社の完全子会社であったKSHインフラ社は、2016年1月31日付でKSHディストリパークス社から分割され（以下「本会社分割」という。）、KSHインフラ社の株主は、本会社分割の時点のKSHディストリパークス社に対する株式保有比率と同じ比率でKSHインフラ社の株式資本を保有することになった。PCRDサービズ社、スカイ・アドバンス社及びメータ家が保有していたKSHインフラ社の持分は、2019年1月に処分された。2020年に、スカイ・アドバンス社は、KSHディストリパークス社の2.61%の持分を処分した。2020年12月31日現在、PCRDサービズ社及びメータ家のKSHディストリパークス社に対する株式保有比率は、それぞれ約49.87%及び8.23%であった。アマン・メータはKSHディストリパークス社の受動的投資家であり、KSHディストリパークス社においていかなる取締役の地位も有していない。上記に開示した事項を除き、アマン・メータは、PCRD社、PCRDサービズ社、PCCW社、HKTリミテッド又は本トラスティ・マネジャーとは一切関連していない。

アマン・メータは、KSHディストリパークス社への投資を行っているが、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの理解では、アマン・メータの継続的な独立性は、上場規則ルール3.13が定める独立性のガイドラインの定めに基づき、（i）アマン・メータのKSHディストリパークス社に対する投資は、純粋に個人的な受動的投資であり、かつ、アマン・メータはKSHディストリパークス社の取締役職に就任しておらず、KSHディストリパークス社の日常業務及び経営に関与又は参加していない、（ii）KSHディストリパークス社の事業は、HKTリミテッドの事業と重複又は競合していない、並びに（iii）上記を除き、アマン・メータ又はアカシュ・メータのいずれもPCRD社及び／又はその子会社に対して直接的又は間接的にいかなる持分も有していないことから、当該投資により一切の影響を受けていない。

取締役の役務提供契約

次回の本年次総会における再任の議案を提出された取締役はいずれも、HKTリミテッド・グループが（法定の報酬以外の）報酬を支払うことなく1年以内に終了させることができない、期間満了前のHKTリミテッド・グループとの役務提供契約を有していない。

取締役及び最高執行役員の本株式ステープル受益証券並びにHKTリミテッド及びその関係法人の株式、原株式及び債務証券に係る持分及びショート・ポジション

香港証券先物条例第352条に基づき保管が義務付けられている登録簿に登録されているか、香港上場規則の付属書類10に記載のモデル規範に従い、HKTリミテッド、本トラスティ・マネジャー及び香港証券取引所に通知されているところによると、2020年12月31日現在、全取締役、最高執行役員及びそれぞれの近親者は、本株式ステープル受益証券並びにHKTリミテッド及びその関係法人（香港証券先物条例第15部に定義される。）の株式、原株式及び債務証券に係る持分又はショート・ポジションを以下の通り有していた。

1. HKTトラスト及びHKTリミテッドに対する持分

下表は、全取締役及びHKTリミテッドの最高執行役員が保有する本株式ステープル受益証券のロング・ポジションの総計を示したものである。

取締役／最高執行 役員の氏名	本株式ステープル受益証券の保有数			合計	発行済本株式 ステープル 受益証券総数 に対する 概算割合
	個人持分	会社持分	その他		
リチャード・リ・ ツァル・カイ	—	66,247,614 (注1(a))	158,764,423 (注1(b))	225,012,037	2.97%
スザンナ・フェ イ・ホン・ヒン	3,862,498	—	780,458 (注2)	4,642,956	0.06%
ピーター・アンソ ニー・アレン (注3)	21,530	—	—	21,530	0.0003%
バンガロール・ガ ンガイア・スリニ バス	50,000	—	—	50,000	0.0007%

各本株式ステープル受益証券は、香港証券先物条例第15部の目的上、HKTトラストの受益証券1口の持分に加えて、以下に係る持分を付与する。

(a) 0.0005香港ドルの議決権付HKTリミテッド本普通株式1株

(b) 0.0005香港ドルの議決権付HKTリミテッド本優先株式1株

本信託証書及びHKTリミテッド附属定款に基づき、発行済の本普通株式及び本優先株式の数量は常に同数でなければならない、かつ、いずれの場合も発行済本受益証券数と等しくなければならない、これらはいずれも発行済の本株式ステープル受益証券の数量と等しい。

(注1) (a) 上記の本株式ステープル受益証券のうち、チルトンリンク社の完全子会社であるPCD社は、20,227,614口を保有し、アйсナー社は、46,020,000口を保有していた。リチャード・リ・ツァル・カイは、チルトンリンク社及びアйсナー社の発行済株式資本の100%を保有していた。

(b) 上記の持分は下記に相当する。

(i) PCGH社が保有する本株式ステープル受益証券13,159,619口のみなし持分。リチャード・リ・ツァル・カイは、PCGH社の100%持分を保有する一定の信託の設立者である。したがって、リチャード・リ・ツァル・カイは、香港証券先物条例に基づき、PCGH社が保有している本株式ステープル受益証券13,159,619口に持分を有しているとみなされる。

(ii) PCRD社が保有する本株式ステープル受益証券145,604,804口のみなし持分。PCGH社は、自社並びに一定の完全子会社（アングラング・インベストメンツ・リミテッド（Anglang Investments Limited）、パシフィック・センチュリー・グループ（ケイマン諸島）リミテッド（Pacific Century Group (Cayman Islands) Limited）、パシフィック・センチュリー・インターナショナル・リミテッド（Pacific Century International Limited）及びボーシングトン・リミテッド（Borsington Limited））を通じて、総計88.63%の持分を有していた。リチャード・リ・ツァル・カイは、PCGH社の100%持分を保有する一定の信託の設立者である。したがって、リチャード・リ・ツァル・カイは、香港証券先物条例に基づき、PCRD社が保有する本株式ステープル受益証券145,604,804口に持分を有しているとみなされる。リチャード・リ・ツァル・カイはまた、自らの完全所有会社であるホープスター・ホールディングス・リミテッド（Hopestar Holdings Limited）を通じて、PCRD社の発行済株式資本の1.06%に持分を有しているとみなされる。

- (注2) 上記の持分は、HKTリミテッド及びPCCW社の関連報奨制度であるHKT株式ステーブル受益証券買入制度及び買入制度に基づく一定の権利確定の条件に従ってスザンナ・フェイ・ホン・ヒンに付与された報奨を示している。HKT株式ステーブル受益証券買入制度の詳細については、下記「本株式ステーブル受益証券報奨制度」の項を参照のこと。
- (注3) HKTトラスト及びHKTリミテッドの以前の年次報告書及び中間報告書において開示された通り、リチャード・リ・ツァル・カイが所有する私会社は、ピーター・A・アレンの要請に応じて、かつ、個人的理由により、同氏に対し25,000,000シンガポール・ドル（約148,000,000香港ドルに相当する^(*)。）を超えない金額の無利息の融資枠を提供している。当事者は、この融資枠の条件を修正し、融資の元本額を23,000,000シンガポール・ドル（約136,000,000香港ドルに相当する^(*)。）増額し、総額を48,000,000シンガポール・ドル（約284,000,000香港ドルに相当する^(*)。）以下にすることで合意した。この融資は、当該私会社が6ヶ月前の通知により書面で請求した場合に返済される。この個人的な取決は、ピーター・A・アレンのHKTトラスト及びHKTリミテッドにおける職務と関係がなく、また、かかる職務に抵触するものでもない。
- (*) 香港ドルの金額は参考用のものである。

2. HKTリミテッドの関係法人に対する持分

A. PCCW社（HKTトラスト及びHKTリミテッドの持株会社）

下表は、全取締役及び最高執行役員が保有するPCCW社の株式のロング・ポジションの総計を示したものである。

取締役／最高執行 役員の氏名	PCCW社普通株式の保有数			合計	PCCW社の 発行済株式総数 に対する 概算割合
	個人持分	会社持分	その他		
リチャード・リ・ ツァル・カイ	—	462,287,134 (注1(a))	1,928,842,224 (注1(b))	2,391,129,358	30.93%
スザンナ・フェ イ・ホン・ヒン	7,242,175	—	2,030,070 (注2)	9,272,245	0.12%
ピーター・アンソ ニー・アレン	246,596	—	—	246,596	0.003%
バンガロール・ガ ンガイア・スリニ バス	2,218,768	—	2,097,217 (注2)	4,315,985	0.06%

- (注1) (a) 上記のPCCW社の株式のうち、PCD社は269,471,956株を保有し、アイスナー社は38,222,413株を保有し、エクセル・グローバル社の完全子会社であるトレード・チャンピオン・リミテッド (Trade Champion Limited) は154,592,765株を保有していた。リチャード・リ・ツァル・カイは、エクセル・グローバル社の発行済株式資本の100%を保有していた。

- (b) 上記の持分は下記に相当する。

- (i) PCGH社が保有するPCCW社株式175,312,270株のみなし持分。リチャード・リ・ツァル・カイは、香港証券先物条例に基づき、PCGH社が保有するPCCW社株式175,312,270株に持分を有しているとみなされた。
- (ii) PCRD社が保有するPCCW社株式1,753,529,954株のみなし持分。リチャード・リ・ツァル・カイは、香港証券先物条例に基づき、PCRD社が保有するPCCW社株式1,753,529,954株に持分を有しているとみなされた。

- (注2) 上記の持分は、PCCW社の報奨制度である買入制度に基づく一定の権利確定の条件に従って上記取締役に付与された報奨を示している。

B. PCPD社（PCCW社の間接子会社）

2020年12月31日付で、PCPD社は、ライツ・イシュー案（以下「PCPD社ライツ・イシュー」という。）を公表した（以下「PCPD社アナウンスメント」という。）が、これは、当該時点で保有されているPCPD社の既存株式（以下「PCPD社株式」という。）2株につきPCPD社の新規株式（以下「PCPD社ライツ・イシュー株式」という。）1株の割合での、PCPD社ライツ・イシュー株式1株当たり0.82香港ドルの引受価格によるPCPD社ライツ・イシュー株式793,627,989株の発行を伴うものである。発行済PCPD社株式の総数は、完了時のPCPD社ライツ・イシュー株式の割当及び発行により増加することになる。

下表は、全取締役及び最高執行役員が保有するPCPD社株式及び未払込みPCPD社ライツ・イシュー株式（以下「PCPD社NPR」という。）のロング・ポジションの総計を示したものである。

取締役／最高執行 役員の氏名	PCPD社株式及びPCPD社NPRの保有数			合計	発行済PCPD社 株式の総数 に対する 概算割合
	個人持分	会社持分	その他		
リチャード・リ・ ツァル・カイ	—	273,898,539 (注1(a)、 注1(b)及び 注1(d))	440,128,563 (注1(a)、 1(c)及び 1(d))	714,027,102	29.99%
ピーター・アンソ ニー・アレン	29,398	—	—	29,398	0.002%
バンガロール・ガ ンガイア・スリニ バス	239,627	—	—	239,627	0.02%

(注1) (a) PCPD社アナウンスメントで開示されているとおり、

- (i) PCRD社は、特に、PCPD社ライツ・イシューに基づくその全ての権利について引受を行うことを約束している（以下「PCRD社引受」という。）。
 - (ii) PCGH社は、特に、その全ての権利について引受を行うこと、並びにPCD社及びアイスナー社にその全ての権利について引受を行わせることを約束しており、さらに、追加的なPCPD社ライツ・イシュー株式の超過申込の方法により、申込を行い、並びに／又はPCD社及び／若しくはアイスナー社に申込を行わせる予定である（以下「PCGH社引受」という。）。
- (b) 上記の持分は下記に相当する。
- (i) PCD社が保有するPCPD社株式29,102,971株、及びPCD社に暫定的に割り当てられるPCPD社NPR210,771,338株。また、PCD社は、PCGH社がPCGH社引受に従って約束している超過申込の方法による申込を行うことができる。
 - (ii) アイスナー社が保有するPCPD社株式4,128,021株、及びアイスナー社に暫定的に割り当てられるPCPD社NPR29,896,209株。また、アイスナー社は、PCGH社がPCGH社引受に従って約束している超過申込の方法による申込を行うことができる。
- (c) 上記の持分は下記に相当する。
- (i) PCGH社が保有するPCPD社株式18,933,724株及びPCGH社に暫定的に割り当てられるPCPD社NPR137,122,988株のみなし持分。また、PCGH社は、PCGH社がPCGH社引受に従って約束している超過申込の方法による申込を行うことができる。リチャード・リ・ツァル・カイは、香港証券先物条例に基づき、PCGH社が保有するPCPD社株式18,933,724株及びPCPD社NPR137,122,988株に持分を有しているとみなされた。
 - (ii) PCRD社が保有するPCPD社株式189,381,234株及びPCRD社引受に従ってPCRD社が約束している、PCRD社に暫定的に割り当てられるPCPD社NPR94,690,617株のみなし持分。リチャード・リ・ツァル・カイは、香港証券先物条例に基づき、PCRD社が保有するPCPD社株式189,381,234株及びPCPD社NPR94,690,617株に持分を有しているとみなされた。
- (d) PCPD社NPRの数は以下に基づいて計算された。
- (i) PCPD社ライツ・イシューの完了時において増加した発行済PCPD社株式の数の29.99%
 - (ii) 2020年12月31日付のPCRD社引受及びPCGH社引受に従って持分を有し得るPCPD社株式及びPCPD社NPRの最大の数（最良推定）（PCPD社ライツ・イシューに基づく全ての権利及び超過申込を含む。）。

C. PCPDキャピタル・リミテッド (PCPD Capital Limited) (PCCW社の間接子会社)

フランシス・ワイケン・ウォンは、裁量信託の創設者の資格において、HKTリミテッドの関連会社であるPCPDキャピタル・リミテッドが発行した元本金額500,000米ドルの2022年満期4.75%利付債券を保有していた。

D. SSH社 (PCCW社の間接子会社)

CSI社の間接完全子会社であるRTH社は、PCPD社の間接完全子会社であるSSH社及びCSI社との間で2018年1月15日付で売買契約（以下「本売買契約」という。）を締結した。本売買契約に基づき、2018年3月23日の本売買契約の成立時にRTH社に対し支払われた対価の一部として、SSH社の無議決権参加株式1株が、1.00米ドルの発行価格の全額が払込済としてRTH社に割り当てられ、発行された。ミコ・チャン・チョ・イーは、CSI社の支配株主及び取締役である。

上記において開示したものを除き、2020年12月31日現在、香港証券先物条例第352条に基づき保管が義務付けられている登録簿に登録されているか、香港上場規則のモデル規範に従い、HKTリミテッド、本トラスティ・マネジャー及び香港証券取引所に通知されているところによると、全取締役、最高執行役員又はそれぞれの近親者のいずれも、本株式ステープル受益証券又はHKTリミテッド若しくはその関係法人（香港証券先物条例第15部に定義される。）の株式、原株式若しくは債務証券に係る持分又はショート・ポジションを有していない。

本株式ステープル受益証券オプション制度

HKTトラスト及びHKTリミテッドは、2011年11月7日付で2011年－2021年オプション制度を条件付きで採択した。当該制度は本株式ステープル受益証券の上場時に効力を生じた。2011年－2021年オプション制度に基づき、本取締役会は、本取締役会がその絶対的な裁量により選定する適格参加者に対して本株式ステープル受益証券オプションを付与することを申し出ることができるものとする。2011年－2021年オプション制度の主な条件は以下に記載する通りである。

- （1）2011年－2021年オプション制度の目的は、両者間の合意に従い共同で行為するHKTトラスト及びHKTリミテッドが、適格参加者に、本グループの成長に貢献するインセンティブ又は報奨としてオプションを付与することを可能にし、本グループに、適格参加者に対して報奨を与え、報酬を支払い、補償し、及び／又は福利厚生を提供するためのより柔軟な手段を提供することである。
- （2）適格参加者には、（a）HKTリミテッド及び／又はその一切の子会社の正規従業員又は非正規従業員、（b）HKTリミテッド及び／又はその一切の子会社の取締役（執行取締役、非執行取締役及び独立非執行取締役を含む。）及び（c）HKTリミテッド及び／又はその一切の子会社のコンサルタント又はアドバイザー（専門家であるかその他であるかを問わず、雇用によるか、契約によるか、名目上のものか若しくはその他であるかを問わず、又は有給か無給かを問わない。）、代理店、請負業者、供給業者、接統業者、代理人、顧客及びビジネス・パートナーが含まれる。本トラスティ・マネジャーは、2011年－2021年オプション制度の適格参加者ではない。

- (3) (i) 2011年－2021年オプション制度の他の規定にかかわらず、オプションの行使により、PCCW社の発行済本株式ステープル受益証券の保有割合が（本株式ステープル受益証券に係る全ての未行使オプション並びにその他の引受、転換及び交換の権利が完全に転換又は行使されることを前提とする完全な希薄化ベースで）51%未満となる場合、2011年－2021年オプション制度の下では一切のオプションを付与することはできない。
- (ii) 上記(i)の追加的な上限に従うことを条件として、香港上場規則で義務付けられている通り、2011年－2021年オプション制度並びにHKTトラスト及びHKTリミテッドの他の株式オプション制度に基づき付与される全オプションの行使により発行可能な本株式ステープル受益証券の総数は、本株式ステープル受益証券保有者の承認が得られていない限り、合計で、2011年11月29日現在の発行済本株式ステープル受益証券の10%を超えてはならない。
- (iii) また、香港上場規則に規定されている通り、2011年－2021年オプション制度並びにHKTトラスト及びHKTリミテッドの他の株式オプション制度に基づき付与されたが未だ行使されていない、全ての未行使オプションの行使により発行可能な本株式ステープル受益証券の最大総数は、随時発行済の本株式ステープル受益証券の30%を超えてはならない。かかる上限を超えることとなる場合は、2011年－2021年オプション制度に基づきいかなるオプションも付与することはできない。
- 本年次報告書の日付時点で、2011年－2021年オプション制度に基づきオプションを付与することができる本株式ステープル受益証券の発行可能総数は、641,673,079口であり、当該日における発行済本株式ステープル受益証券の約8.47%に相当する。
- (4) 12ヶ月間に2011年－2021年オプション制度に基づき各適格参加者（本株式ステープル受益証券の大量保有者若しくはHKTリミテッドの独立非執行取締役又はそのそれぞれの関係者を除く。）に付与されたオプション及び今後付与されるオプション（2011年－2021年オプション制度に基づき行使されたオプション、取り消されたオプション及び未行使オプションを含む。）の行使により発行された及び今後発行される本株式ステープル受益証券の総数は、かかる時点における発行済本株式ステープル受益証券の1%を超えないものとする。本株式ステープル受益証券の大量保有者若しくはHKTリミテッドの独立非執行取締役又はそのそれぞれの関係者に付与されたオプション又は今後付与されるオプションについては、かかる上限は、発行済本株式ステープル受益証券の0.1%、及び各付与日における本株式ステープル受益証券の終値に基づき総額で5百万香港ドルまで引き下げられる。かかる上限を超える本株式ステープル受益証券オプションのさらなる付与は、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の総会における承認を必要とする。
- (5) 2011年－2021年オプション制度は、オプションが保有されるべき最低期間及びオプションを行使する前に達成しなければならない業績目標を規定していない。2011年－2021年オプション制度に基づきオプションを行使することができる条件及び期間は、本取締役会によって決定されるものとする。但し、当該条件は、2011年－2021年オプション制度と矛盾してはならず、付与日から10年間はいかなるオプションも行使できないものとする。
- (6) 募集が受諾された場合、被付与人は、付与の対価としてHKTリミテッドに1.00香港ドルを支払い、オプションの募集が行われた日は該当するオプションの付与日とみなされるものとする。但し、2011年－2021年オプション制度の規定に基づき本株式ステープル受益証券の保有者による承認を必要とする付与に関する引受価格の算定を目的として付与日を決定する場合を除く。

- (7) 特定のオプションについての本株式ステープル受益証券の引受価格は、(i) 付与日（営業日でなければならない。）の、香港証券取引所の日次相場シートに記載されているメインボードにおける本株式ステープル受益証券の1口当たりの終値、(ii) 付与日の直前5営業日間の、香港証券取引所の日次相場シートに記載されているメインボードにおける本株式ステープル受益証券の1口当たりの終値の平均値、並びに(iii) 本株式ステープル受益証券の構成要素である、本優先株式及び本普通株式の額面価格の合計額のうち、最高額のものを下回らないものとする。
- (8) 本株式ステープル受益証券の名簿上の所有者の総会における普通決議又は本取締役会の決議により早期に終了することを条件として、2011年－2021年オプション制度は、2011年11月7日の採択日から10年間有効かつ効力を有し、採択日の10年目の応当日をもって期間満了するものとし、当該期間の後には、追加的なオプションの付与は行われないが、2011年－2021年オプション制度の規定は、その他のあらゆる点について、完全な効力をもって有効に存続するものとする。

2011年－2021年オプション制度の採択日から2020年12月31日まで（同日を含む。）、2011年－2021年オプション制度に基づき、いかなる本株式ステープル受益証券オプションも付与されていない。

2021年11月に2011年－2021年オプション制度が期間満了することを踏まえ、次の本年次総会において、2011年－2021年オプション制度の終了と新たな本株式ステープル受益証券オプション制度の採択について承認を受けるための通常決議が提案される。また、香港上場規則ルール17.01(4)に従い、HKTトラスト及びHKTリミテッドによる新たな本株式ステープル受益証券オプション制度の採択は、PCCW社の次の年次総会において同社株主による承認の通常決議が可決されることが条件とされている。2011年－2021年オプション制度の終了後は、当該制度に基づきいかなる追加の本株式ステープル受益証券オプションも付与されないが、その他のあらゆる点において2011年－2021年オプション制度の規定は完全な効力をもって存続する。

本株式ステープル受益証券報奨制度

2011年10月11日、HKTリミテッドは、2つの報奨制度を採用した。当該制度とは、HKT株式ステープル受益証券買入制度及びHKT株式ステープル受益証券引受制度であり、これらに基づき、本株式ステープル受益証券の報奨が行われる。本株式ステープル受益証券報奨制度の目的は、参加者に対してHKTリミテッド・グループの成長への貢献に対して奨励し報奨を与えること、並びに参加者に報奨や報酬を与え、及び／又は給付を提供するためのより柔軟な手段をHKTリミテッド・グループに提供することである。

本株式ステープル受益証券報奨制度の参加者には、HKTリミテッド及びその全ての子会社の取締役や従業員が含まれる。

本株式ステープル受益証券報奨制度は、承認機関、及び本株式ステープル受益証券の権利が選定された参加者に付与されるまで関連する本株式ステープル受益証券を保管するために任命されたトラスティが管理する。

制度の規則に従い、いかなる金額の金銭も引き当てられることはなく、本株式ステーブル受益証券が購入されることも、（場合により）引き受けられることもない。また、かかる買入又は引受の結果、各制度に基づき管理される本株式ステーブル受益証券の数がその時々における発行済本株式ステーブル受益証券（権利が確定し特定参加者に移管されている本株式ステーブル受益証券を除く。）の総数の1%を超える場合、かかる買入又は引受を行うことを目的としてトラスティに対していかなる金額も支払われることはない。さらに、HKT株式ステーブル受益証券引受制度に基づき、以下の場合において、いかなる金額の金銭も引き当てられることはなく、本株式ステーブル受益証券が引き受けられることもない。また、かかる引受を行うことを目的としてトラスティに対していかなる金額も支払われることはない。

- （i）かかる引受の結果、PCCW社による本株式ステーブル受益証券の保有総数が、完全希薄化ベース（HKT株式ステーブル受益証券引受制度に基づき実施が提案された当該引受、2011年－2021年オプション制度に従い付与された本株式ステーブル受益証券に関する全ての未行使オプションの額、及び新たな本株式ステーブル受益証券の予定される割当に関してHKTリミテッドによって付与されたその他全ての権利又は資格を考慮するものとする。）で、新たな本株式ステーブル受益証券を割り当てるという全ての約定が正当に充足された場合に存在するであろう本株式ステーブル受益証券の総数の51%未満である場合
- （ii）HKTリミテッドが、当該制度に従い、本株式ステーブル受益証券の割当及び発行を実行するために必要な本株式ステーブル受益証券の保有者からの一般的委任又は特定の委任を受けていない場合

HKT株式ステーブル受益証券買入制度について、承認機関は、（i）一定の金額の金銭を引き当てるか、又は（ii）承認機関が賞与支給の対象とすることを希望する本株式ステーブル受益証券の数を決定するか、若しくは一定の本株式ステーブル受益証券を引き当てるものとする。承認機関は、一定の金額の金銭を引き当てている（又は本株式ステーブル受益証券の数を決定している）場合、HKTリミテッド・グループの財源から、当該金額、又は本株式ステーブル受益証券の該当数を購入するに十分な金額を支払うものとする（又は支払われるようにするものとする）。また、トラスティは、信託証書に従い、香港証券取引所における該当する本株式ステーブル受益証券の買入に対して、同様の手順を適用する。

HKT株式ステーブル受益証券引受制度について、承認機関は、（i）想定現金額を決定するか、又は（ii）承認機関が賞与支給の対象とすることを希望する本株式ステーブル受益証券の数を決定するか、若しくは一定の本株式ステーブル受益証券を引き当てるものとする。承認機関は、想定現金額を決定している場合、当該想定現金額により香港証券取引所において取得可能な本株式ステーブル受益証券の最大数（端数切捨）を決定するものとする。承認機関は、HKTリミテッド・グループの財源から、（i）（承認機関が想定現金額を決定している場合は）当該想定現金額により香港証券取引所において取得可能な本株式ステーブル受益証券の最大数（端数切捨）又は（ii）（承認機関が上記の賞与支給の対象とすることを希望する本株式ステーブル受益証券の数を決定している場合は）当該本株式ステーブル受益証券の数のいずれかの引受価格の総額に等しい金額（かかる金額は、HKTリミテッドが指示する金額であるが、本株式ステーブル受益証券1口当たりの額面金額となることのみが想定されており、又はHKTリミテッドの関連する一般的権能に従い割当を実施するために必要とされるその他の金額とする。）を支払うものとする（又は支払われるようにするものとする）。また、トラスティは、本株式ステーブル受益証券の引受に対して、同様の手順を適用する。但し、いかなる場合においても、HKTリミテッドがかかる本株式ステーブル受益証券の上場許可及び取引許可を香港証券取引所から受け、かつ、かかる割当が承認機関及び本株式ステーブル受益証券保有者（要求される場合）により承認されるまでは、かかる引受に関して本株式ステーブル受益証券は割り当てられないものとする。

当該制度の規則に従うことを条件として、各制度は、特定参加者に対する当該制度に基づく報奨の権利確定前は、関連する本株式ステーブル受益証券は、かかる特定参加者のためにトラスティによって信託で保管され、各特定参加者が、常に、関連する権利確定日（該当する場合は、それぞれの関連する権利確定日）まで（同日を含む。）、HKTリミテッド・グループの従業員又は取締役であり続けること、及び承認機関が自由にかかる条件を放棄することができる場合であっても、報奨の付与時に指定されたその他の条件を満たしていることを条件として、承認機関が決定する期間にわたりその権利が確定する旨を定めている。権利確定条件を満たすこと以外に、特定参加者は、当該制度に基づき付与された本株式ステーブル受益証券を取得するために何らかの対価を支払うことを求められない。

本株式ステープル受益証券報奨制度は、早期に終了しない限り、採択日である2011年10月11日から10年間にわたって有効かつ効力を有するものとする。承認機関は、当該制度の条件に従い、当該制度の運用を決議によりいつでも終了することができる。

HKT株式ステープル受益証券買入制度に関して、2020年12月31日に終了した会計年度中に、一定の権利確定条件に従い、HKT株式ステープル受益証券買入制度に基づいて合計405,362口の本株式ステープル受益証券が付与された。これには、スザンナ・フェイ・ホン・ヒン（本取締役）に対し付与された240,391口の本株式ステープル受益証券に係る報奨が含まれる。また、当会計年度中に失効及び／又は権利喪失した本株式ステープル受益証券は24,393口、当会計年度中に権利確定した本株式ステープル受益証券は1,194,672口であった。2020年12月31日現在、HKT株式ステープル受益証券買入制度に基づき付与された本株式ステープル受益証券の合計614,201口が権利未確定のままであった。

HKT株式ステープル受益証券引受制度に関して、2020年12月31日に終了した会計年度中に、一定の権利確定条件に従い、HKT株式ステープル受益証券引受制度に基づいて合計1,209,551口の本株式ステープル受益証券が付与された。また、当会計年度中に失効及び／又は権利喪失した本株式ステープル受益証券は67,211口であり、当会計年度中に権利確定した本株式ステープル受益証券は561,114口であった。2020年12月31日現在、HKT株式ステープル受益証券引受制度に基づき付与された本株式ステープル受益証券の合計1,687,043口が権利未確定のままであった。

本年次報告書の日付現在において、本株式ステープル受益証券報奨制度に基づき付与された本株式ステープル受益証券の合計2,301,244口が権利未確定のままであり、これは当該日付現在における発行済本株式ステープル受益証券の総数の約0.03%に相当する。

本株式ステープル受益証券報奨制度（各報奨付与日における本株式ステープル受益証券の公正価格を含む。）の詳細については、「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記30(b)に記載される。

上記で開示したものを除き、当会計年度中のいかなる時も、本トラスティ・マネジャー、HKTリミテッド又はそれぞれの子会社、持株会社若しくは兄弟会社は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの本株式ステープル受益証券又はHKTリミテッドその他の法人の株式若しくは債務証券を取得することにより全取締役が利益を得られるような取決の当事者になっておらず、全取締役、最高執行役員又はこれらの配偶者若しくは18歳未満の子供のいずれも、当会計年度中、HKTトラスト及び／又はHKTリミテッド又はその関係法人の資本性証券又は負債性証券を引き受ける権利を有しておらず、当該権利を行使していない。

株式連動契約

HKTトラスト及びHKTリミテッドによって採択された2011年―2021年オプション制度の詳細については、上記「本株式ステープル受益証券オプション制度」及び「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記30(b)に記載される。

また、HKTリミテッドによって採択された本株式ステープル受益証券報奨制度の詳細についても、上記「本株式ステープル受益証券報奨制度」及び「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記30(b)に記載される。

本株式ステーブル受益証券の大量保有者の持分及びショート・ポジション

香港証券先物条例第336条により保管が義務付けられている登録簿に登録されているところによると、2020年12月31日現在、（全取締役又は最高執行役員以外では）以下の者が本株式ステーブル受益証券並びに本普通株式及び本優先株式の大量保有者であり、本株式ステーブル受益証券並びにHKTリミテッドの株式及び原株式の持分又はショート・ポジションを有していた。

名称	内容	本株式ステーブル 受益証券の保有数	発行済本株式 ステーブル 受益証券総数に 対する概算割合 (%)	注記 事項
PCCW社	支配事業体の持分	3,934,967,681	51.94	(注1)
CASホールディング・ナンバーワン・リミテッド (CAS Holding No.1 Limited)	実質的持分	3,934,967,681	51.94	

各本株式ステーブル受益証券は、香港証券先物条例第15部の目的上、HKTトラストの受益証券1個の持分に加えて、以下に係る持分を付与する。

(a) 0.0005香港ドルの議決権付HKTリミテッド本普通株式1株

(b) 0.0005香港ドルの議決権付HKTリミテッド本優先株式1株

本信託証書及びHKTリミテッド附属定款に基づき、発行済本普通株式及び発行済本優先株式の数は、常に同じでなければならず、いずれも発行済本受益証券の数と等しくなくてはならない。また、これらはいずれも発行済の本株式ステーブル受益証券の数と等しい。

注：

本信託証書の条件に従い、本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストのトラスティ及びマネジャーとしての資格において、全ての発行済本普通株式を保有していた。

(注1) PCCW社は、その直接完全子会社であるCASホールディング・ナンバーワン・リミテッドを通じて、これらの持分を間接的に保有していた。

本項目の上記において開示したものを除き、香港証券先物条例第336条に従いHKTリミテッドによる保管が義務付けられている登録簿に登録されているところによると、2020年12月31日現在、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、本株式ステーブル受益証券又はHKTリミテッドの株式、原株式若しくは債務証券に持分又はショート・ポジションを有している（全取締役又はHKTリミテッドの最高執行役員以外の）他の者について通知を受けていない。

重要な取引、取決及び契約における取締役の利害関係

関連取引及び継続関連取引並びに重要な関連当事者取引に関する詳細は、本「統合取締役報告書」及び「第一部－第3 ファンドの経理状況－1 財務諸表－（1）貸借対照表－A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記6、並びに「第二部－第1 管理会社の概況－3 管理会社の経理状況－（1）貸借対照表－A. 2020年12月31日に終了した事業年度の財務書類」に記載の「（6）HKTマネジメント・リミテッド財務書類に対する注記」の注記4に開示されている。

上記を除き、本グループの事業に関連するその他の重要な取引、取決又は契約であって、本トラスティ・マネジャー、HKTリミテッド又はその子会社のいずれか、兄弟会社若しくは親会社が当事者であり、取締役又はその関連事業体が（直接的か間接的かを問わず）重要な利害関係を有するものは、当会計年度の末日においても、当会計年度中いずれの時点においても存在しない。

管理契約

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理業務を履行するため、本信託証書に基づき必要な権限を有する。

本信託証書を除き、HKTトラスト、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの事業の全て又は相当な部分の経営及び管理に関して、雇用契約以外の契約は、当会計年度中に締結又は存在していない。

競業事業における取締役の利害関係

香港上場規則ルール8.10により開示が義務付けられている、2020年12月31日に終了した会計年度中の全取締役の競合事業における利害関係は、下記の通りである。

リチャード・リ・ツァル・カイ

リチャード・リ・ツァル・カイは、CKハチソン社の株式75,240株の個人的な持分を有し、いくつかの裁量信託の裁量的受益者の一人である。当該裁量信託は、CKハチソン社の一定の株式に関係を有していたユニット・トラストの受益証券を保有している。CKハチソン社及びその子会社は、港湾及び関連サービス、小売、インフラ、エネルギー及び電気通信の中核事業に従事している。CKハチソン社の一定の事業は、当会計年度中にHKTリミテッド・グループの事業の一定の側面と競合する可能性がある。

リ・フシェン及びシュ・ケビン

リ・フシェンは、ユニコムHK社の執行取締役である。同氏はまた、ユニコム社、ユニコムA-シェア社及びCUCL社の取締役でもある。

シュ・ケビンは、ユニコムHK社の執行取締役兼最高財務責任者、ユニコム社の会計主任、ユニコムA-シェア社の最高財務責任者兼取締役会秘書役及びCUCL社の取締役兼最高財務責任者である。

ユニコム社は、ユニコムHK社の最終親会社であり、ユニコムA-シェア社は、ユニコムHK社の株主である。CUCL社は、ユニコムHK社の子会社である。ユニコムA-シェア社は、上海証券取引所に上場している会社である。リ・フシェン及びシュ・ケビンを除き、これらの各会社は、HKTリミテッド・グループとは別に独自の経営チームを有する。これらの会社は、電気通信事業及びその他の関連事業に従事しており、HKTリミテッド・グループの事業の一定の側面と競合する。

上記に開示した事項以外に、取締役は、HKTリミテッド・グループの事業を別にすれば、（直接的か間接的かを問わず）HKTリミテッド・グループの事業と競合又は競合する可能性のあるいかなる事業にも利害関係を有していない。

認められた免責

本信託証書で認められている通り、本トラスティ・マネジャー及び本トラスティ・マネジャーの各取締役は、本トラスティ・マネジャー及び当該取締役がHKTトラストのトラスティ・マネジャー及び本トラスティ・マネジャー取締役として対象となる可能性のあるいずれかの行為、費用、請求、損害、支出、違約金又は要求のいずれかについて、本信託財産又はその一部から補償され、また、補償を目的とする訴求権を有する。

HKTリミテッド附属定款に基づき、各取締役は、当該取締役を支持する判決がなされているか、又は当該取締役が無罪となっている訴訟（民事か刑事かを問わない。）の防御において、HKTリミテッド取締役として当該取締役が負担した又は被った全ての損失又は債務について、HKTリミテッドの資産から補償を受ける権利を有する。

本トラスティ・マネジャー附属定款に基づき、及び香港会社条例の規定に従い、本トラスティ・マネジャーの各取締役及びその時々におけるマネージング・ディレクターは、当該取締役及びマネージング・ディレクターを支持する判決がなされているか、又は当該取締役及びマネージング・ディレクターが無罪となっている訴訟（民事か刑事かを問わない。）の防御において、本トラスティ・マネジャーに関連して当該取締役及びマネージング・ディレクターが負担した債務について、本トラスティ・マネジャーの資産（疑義を避けるために付言すると、本信託財産を除く。）から補償を受ける権利を有する。

また、PCCW社は、その子会社（HKTリミテッド・グループ及び本トラスティ・マネジャーを含む。）の取締役及び役員のために、取締役及び役員に関する適切な賠償責任保険の付保を維持している。

寄付

当会計年度中、本グループは、慈善及びその他の目的で約500,000香港ドルの寄付を行った（2019年度：3,600,000香港ドル）。

上場証券の購入、売却又は償還

本信託証書に基づき、かつ、本信託証書が効力を有している限り、本株式ステープル受益証券については、買戻し又は償還を明示的に認める具体的な規則が証券先物委員会により採用されるまで、HKTトラスト及びHKTリミテッドが買戻し又は償還を行うことはできない。よって、本株式ステープル受益証券の保有者は、自らの本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還を本トラスティ・マネジャーに要請することはできず、HKTトラスト及びHKTリミテッドは、自己の本株式ステープル受益証券を買い戻すことを認められていない。

2020年12月31日に終了した会計年度中において、HKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）、HKTリミテッド又はHKTリミテッドの子会社のいずれも、本株式ステープル受益証券を購入、売却又は償還していない。

関連取引及び継続関連取引

関連取引

2020年8月6日付で、HKTリミテッドを（その完全子会社を通じて）買主とし、PCCW社を（その完全子会社を通じて）売主として、両者は、「Now TV」事業の運営者であるPCCWメディア社の全ての発行済株式資本を、一定の停止条件の達成又は放棄を条件として、250百万米ドルの対価で取得すること（以下「本件取得」という。）に関する株式売買契約を締結した。本件取得は、事業上のシナジー効果の拡大と経営効率の改善を通じて、顧客体験及び事業生産性の向上を実現することが期待されている。PCCW社は、発行済本株式ステープル受益証券の支配的保有者であり、したがって、香港上場規則第14A章に基づくHKTトラスト及びHKTリミテッドの関連当事者である。本件取得はHKTトラスト及びHKTリミテッドに係る関連取引を構成しており、その詳細は、2020年8月6日付のHKTトラストとHKTリミテッドの共同公表物において開示された。本件取得は、株式売買契約の条件に従って2020年9月30日付で完了しており、PCCWメディア社は、HKTリミテッドの間接完全子会社になっている。

継続関連取引

2020年12月31日に終了した会計年度中に、HKTリミテッド・グループの構成会社は、下記のさまざまな契約に基づく継続関連取引を締結した。

A. PCCWグループ（HKTリミテッド・グループを除く。）

2019年にHKTリミテッド・グループの構成会社は、PCCWグループとの間で、特に、継続関連取引契約を更新し、2022年12月31日に終了する3会計年度について新たな年間上限額を設定するためにさまざまな契約を締結した。これらの契約の詳細は、2019年7月18日付のHKTトラストとHKTリミテッドの共同公表物において開示された。

2020年9月30日付で、HKTリミテッド・グループの関連構成会社とPCCWグループは、（i）下記（1）から（5）及び（7）から（9）に記載される当該継続関連取引契約に基づくPCCWメディア社の全ての権利及び義務を、PCCWメディア社から、PCCW社の間接完全子会社であるPCCWメディア・ホールディングス社に承継すること、（ii）下記（5）に記載される通り、PCCWメディア社が、メディア・グループに対し、一定のフロアスペースに対するアクセス及び使用に係る一定の制限付権利を付与すること、並びに（iii）下記（6）に記載される通り、PCCWメディア社が、メディア・グループに対し、コンテンツ・サービスを提供することについて、PCCWメディア社の全ての発行済株式資本の取得の完了の停止条件である一連の契約を締結した。当該契約の詳細は、2020年9月30日付のHKTトラストとHKTリミテッドの共同公表物において開示された。

PCCW社は、発行済本株式ステーブル受益証券の支配的保有者であり、結果としてHKTトラスト及びHKTリミテッドにとって関連当事者である。PCCWグループと継続関連取引契約を締結することにより、HKTリミテッド・グループは、その事業及び運営の継続的な成長及び発展に対する要求を満たし、事業の継続性及び効率性の達成を促し、HKTリミテッド・グループの日常の運営上の潜在的な混乱を最小限に抑え、香港における主要な電気通信サービス・プロバイダーとしてのHKTリミテッド・グループの地位をさらに強化することができると考えられる。

2020年12月31日に終了した会計年度中のHKTリミテッド・グループとPCCWグループの間における3年を超えない期間の該当する契約に基づく継続関連取引は以下の通りである。本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、当会計年度における下記の継続関連取引に関して、香港上場規則第14A章に基づく適用要件を遵守している。

HKTリミテッド・グループがメディア・グループに提供した製品及びサービス並びにフロアスペース

（１）伝送サービスの提供

2019年7月18日、HKTリミテッドの間接完全子会社である香港テレコム社とPCCW社のその当時の間接完全子会社であるPCCWメディア社は、伝送サービス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結し、当該契約に基づき、香港テレコム社は、自社の有料テレビ、無料テレビ及びその他のサービスがメディア・グループより自社の顧客へ配信されることを促進するために、メディア・グループに伝送サービスを提供するか又は提供させることに合意した。

（２）マーケティング・販売サービスの提供

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWメディア社は、マーケティング・販売サービス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結し、当該契約に基づき、香港テレコム社は、HKTリミテッド・グループのダイレクト・マーケティング・スタッフ、フロントライン（すなわち、街頭）での販売チーム、店頭及びそのコールセンター経由により、メディア・グループの製品及びサービスのマーケティング及び販売を行うこと並びに統合コールセンター・サポート・サービスを提供することに合意した。この契約は、メディア・グループの専任販売スタッフによるHKTリミテッド・グループの商品及びサービスの販売について定めた下記（８）等而言及される契約の相互的な取決である。

（３）内部（スペシャリスト通信）サービスの提供

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWメディア社は、内部（スペシャリスト通信）サービス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結し、当該契約に基づき、香港テレコム社は、HKTリミテッド・グループの該当構成会社をして、本メディア事業の運営に必要な不可欠なさまざまな特化されたサポート・サービスをメディア・グループに対して提供することに合意した。

（４）CPEソリューション及びネットワークキング・サービスの提供

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWメディア社は、CPEサービス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結し、当該契約に基づき、香港テレコム社は、メディア・グループの継続的なインフラストラクチャーの改良及び拡張の計画に関する需要を満たすため、CPE及びソリューション、ネットワーク接続の再配置及びセットアップ並びにその他の関連サービスをメディア・グループに提供することに合意した。特に、この契約は、HKTリミテッド・グループによる関連設備及び施設のセットアップ、新たな固定回線及びブロードバンド回線の提供並びにITインフラストラクチャーのセットアップ（ケーブル網及びセキュリティ・システムを含む。）を要するPCCWメディア社のオフィス移転プロジェクトを対象としている。

（５）フロアスペースへの使用許諾されたアクセス

2019年7月18日付のライセンス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）に基づき、PCCWメディア・ホールディングス社は、多数のHKTC社の施設内における自社及びメディア・グループの構成会社のためのフロアスペースに限定的にアクセスできる一定のライセンスが付与された。香港テレコム社とHKTC社との間で締結されたライセンス契約に基づき、HKTC社は、香港テレコム社に対してHKTC社の施設内で特に機器、機械、動産及び装置を設置、保管、運転及び維持するためのライセンスを付与した。HKTC社は、引き続きHKTC社の施設に係るコスト、費用及び支出に対応して負担するが、香港テレコム社は、当該支出について定期的にHKTC社に対して補償する義務を負っている。また、HKTC社は、HKTC社の施設に関連してHKTC社が受領した又は受領する一切の収益又は利益につき、香港テレコム社に支払う義務を負う。そのため、メディア・グループにより支払われるライセンス料は、当該契約に従ってHKTC社から香港テレコム社に支払われる。したがって、当該ライセンス契約は、実質的には香港テレコム社とメディア・グループとの間の直接契約に等しい。

2020年9月30日、PCCWメディア社とPCCWメディア・ホールディングス社はライセンス契約を締結し、当該契約に基づき、PCCWメディア社は、メディア・グループの構成会社に対し、一定のフロアスペースに対するアクセス及び使用に係る一定の制限付権利を付与することに合意した。ライセンス料及び関連手数料はメディア・グループが使用する面積に基づいて請求され、該当する場合、PCCWメディア社によってリースされたフロアスペースの合計に応じて按分比例の方式により請求される。

（６）コンテンツ提供の取決

2020年9月30日、PCCWメディア社とPCCWメディア・ホールディングス社はコンテンツ・サービス契約を締結し、当該契約に基づき、PCCWメディア社は、メディア・グループに対し、そのさまざまなプラットフォームを通じた配信のため、メディア・コンテンツの供給、管理及び制作支援サービスを提供すること、又はかかるサービスの提供を確保することに合意した。

メディア・グループがHKTリミテッド・グループに提供した製品及びサービス

（７）サービス及び製品パッケージの提供

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWメディア社は、サービス・製品パッケージ契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結した。当該契約は以下の2つの側面から構成されている。

- ・ 結果的にダイナミックかつ継続的な一連の販売促進パッケージ（例えば、一定のブロードバンド購入契約に係る一定のチャンネル）が生み出されるような、HKTリミテッド・グループの製品及びサービス並びにメディア・グループの製品及びサービスを随時一括化する相互の義務。
- ・ 一定のサービス及び製品（構成内容は両当事者間で随時合意される。）をHKTリミテッド・グループ及び／又はその顧客に提供するメディア・グループによる義務。

（８）マーケティング・販売サービスの提供

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWメディア社は、上記（２）に記載の契約に規定される互恵的取決に相当するマーケティング・販売サービス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結した。この契約により、PCCWメディア・ホールディングス社は、メディア・グループの関連ある構成会社をしてHKTリミテッド・グループの製品及びサービスのマーケティングを行わせることに合意した。

（９）コンテンツ提供の取決

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWメディア社は、メディア・コンテンツ・サービス契約（その後、2020年9月30日付でPCCWメディア社からPCCWメディア・ホールディングス社に承継された。）を締結した。当該契約に基づき、PCCWメディア・ホールディングス社は、「eye」プラットフォーム及びモバイル・プラットフォーム又はその他のプラットフォームを含むさまざまなプラットフォームを通じた配信のため、HKTリミテッド・グループに対してコンテンツの管理及び制作サポート・サービスを提供する第一提供権を有し、また、これらを提供し、提供させ又は供給することに合意した。

HKTリミテッド・グループがソリューションズ・グループに提供したサービス及びフロアスペース

（10）電気通信及びその他の各種サービスの提供

2019年7月18日、香港テレコム社と、PCCW社の間接完全子会社であるPCCWソリューションズ社は、電気通信及びその他の各種サービス契約を締結し、香港テレコム社及びHKTリミテッド・グループ内の香港テレコム社の特定の関係者は、当該契約に従い、ソリューションズ・グループに対して、一定の合意された電気通信サービス及びその関連サービスを通常取引条件で提供することに合意している。

（11）フロアスペースへの使用許諾されたアクセス

2019年7月18日付のライセンス契約に基づき、PCCWソリューションズ社は、多数のHKTC社の施設内における自社及びソリューションズ・グループの構成会社のためのフロアスペースに限定的にアクセスできる一定のライセンスが付与された。香港テレコム社とHKTC社との間で締結されたライセンス契約に従い、HKTC社は香港テレコム社に、HKTC社の施設内で、特に機器、機械、動産及び装置を設置、保管、運転及び維持するためのライセンスを付与した。HKTC社は、引き続き、HKTC社の施設に係るコスト、費用及び支出に対応して負担するが、香港テレコム社は、当該支出について定期的にHKTC社に対して補償する義務を負っている。また、HKTC社は、HKTC社の施設に関連してHKTC社が受領した又は受領する一切の収益又は利益につき、香港テレコム社に支払う義務を負う。そのため、ソリューションズ・グループにより支払われるライセンス料は、当該契約に従ってHKTC社から香港テレコム社に支払われる。したがって、当該ライセンス契約は、実質的には香港テレコム社とソリューションズ・グループとの間の直接契約に等しい。

ソリューションズ・グループがHKTリミテッド・グループに提供したサービス

（12）ソリューション・サービス（情報技術、物流及びその他の契約者サービス）の提供

2019年7月18日、香港テレコム社とPCCWソリューションズ社は、情報技術、物流及びその他の契約者サービスに関する統合契約を締結し、当該契約に従い、PCCWソリューションズ社及び／又はその関係会社は、HKTリミテッド・グループに対して一定のソリューション・サービス（ビューロー・サービス、アプリケーション管理サービス、システム開発サービス、業務処理、受注処理及び物流サービス等）を提供することに合意した。

（13）委託契約

2019年7月18日、HKTリミテッド・グループ内の会社であるPCCW社マカオとPCCW社の間接完全子会社であるPCCS社は、委託契約を締結した。PCCW社マカオは、ホテル及びカジノ内の情報技術関連システム等、マカオにおける複数のオペレーターのソリューション・サービスの提供について、いくつかの第三者と契約している。PCCW社マカオ又はその関係会社は、業務を自社で遂行する代わりに、PCCS社又はその関係会社に委託している。したがって、PCCS社又はその関係会社によって遂行される業務及び当該業務に関して受領される全ての手数料は、PCCW社マカオが一定の委託手数料を差し引いた後に、PCCW社マカオからPCCS社に引き渡される。適切な場合、マカオ以外の場所における業務も委託される場合がある。

HKTリミテッド・グループとPCCWグループの間のその他の取引

(14) 法人共有サービスの提供

2019年7月18日、HKTリミテッド・グループ内の会社であるHKTサービズ社とPCCW社の直接完全子会社であるPCCWサービズ・リミテッドは、共有サービス契約を締結し、当該契約に従い、HKTサービズ社及びその関係会社は、PCCWグループの一定の会社、経営上のサポートを含め両グループの業務に必要なさまざまな法人サポート・サービスを提供することに合意した。

(15) マーケティング・販売促進サービスの提供

2019年7月18日、香港テレコム社とHKTL社は、マーケティング・販売促進サービス契約を締結し、当該契約に従い、香港テレコム社はPCCWグループの構成会社に対して、PCCWグループの製品及びサービスのマーケティング及び販売促進活動のため、マーケティング及び販売促進サービスを提供することに合意した。

(16) キャパシティ・アクセス権の提供

2019年7月18日、HKTリミテッドの間接完全子会社であるPCCWグローバル・リミテッド（PCCW Global Limited）とPCCW社の直接完全子会社であるシームレス・インダストリーズ社は、キャパシティ・アクセス契約を締結し、当該契約に従い、シームレス・インダストリーズ社は、HKTリミテッド・グループの要請に応じて、英国において第三者モバイル・ネットワークに対するキャパシティ・アクセス権を提供することで合意した。このキャパシティ・アクセス権には、例えば、2017年2月6日及び2017年5月31日付でPCCW社が発行した公表物において開示されている通り、2017年におけるスリーUK社に対するトランスビジョン・インベストメンツ・リミテッド（Transvision Investments Limited）の全ての発行済株式資本の売却の対価の一部としてシームレス・インダストリーズ社が取得したスリーUK社のモバイル・ネットワークに対するキャパシティ・アクセス権が含まれている可能性がある。

上記（1）から（16）に記載された継続関連取引の部門ごとの2020年12月31日に終了した会計年度の総額（概算）及び既存の年間上限額／修正後の年間上限額は下記の通りである。

契約／サービス	2020年12月31日に終了した 会計年度の総額（概算） （1千香港ドル（別段の表 示がある場合を除く。））	2020年12月31日に終了した 会計年度の既存の 年間上限額／修正後の 年間上限額 （1千香港ドル（別段の表 示がある場合を除く。））
HKTリミテッド・グループがメディア・グループに 提供した製品及びサービス並びにフロアスペース		
（1）伝送サービスの提供	122,700	171,300
（2）マーケティング・販売サービスの提供	177,592	379,900
（3）内部（スペシャリスト通信）サービスの提供	30,653	38,500
（4）CPEソリューション及び ネットワーク・サービスの提供	20,111	160,000
（5）フロアスペースへの使用許諾されたアクセス	14,251	30,000
（6）コンテンツ提供の取決	12,204	50,000
メディア・グループがHKTリミテッド・グループに 提供した製品及びサービス		
（7）サービス及び製品パッケージの提供	489,976	912,300
（8）マーケティング・販売サービスの提供	22,064	119,100
（9）コンテンツ提供の取決	382,852	669,000
HKTリミテッド・グループがソリューションズ・グ ループに提供したサービス及びフロアスペース		
（10）電気通信及びその他の各種サービスの提供	1,341,904	1,510,300
（11）フロアスペースへの使用許諾されたアクセス	4,600	5,100
ソリューションズ・グループがHKTリミテッド・グ ループに提供したサービス		
（12）ソリューション・サービス（情報技術、物流 及びその他の契約者サービス）の提供	1,491,100	1,587,200
（13）（a）PCCW社マカオからPCCS社に対する 委託業務の手数料	21,700	150,000
（b）PCCS社からPCCW社マカオに対する 委託手数料	900	7,500
HKTリミテッド・グループとPCCWグループの間のそ の他の取引		
（14）法人共有サービスの提供	150,399	298,100
（15）マーケティング・販売促進サービスの提供	100,388	201,400
（16）キャパシティ・アクセス権の提供	0.49	42.5
	（百万ポンド）	（百万ポンド）
	（注1）	（注2）

（注1） 1ポンド＝9.7601香港ドルの為替レートに基づき約4.8百万香港ドルに相当する。

（注2） 1ポンド＝9.9278香港ドルの為替レートに基づき約422百万香港ドルに相当する（通貨価値の換算は、HKTトラスト及びHKTリミテッドが共同で発行した2019年7月18日付の過去の公表物において開示されている。）。

B. FWDグループ

HKTリミテッド・グループの構成会社は、HKTリミテッド・グループによるFWDグループに対する一定のサービス及び製品の提供並びにFWDグループからの一定のサービス及び製品の受領について、FWDグループとの間でさまざまな継続関連取引契約を締結し、2022年12月31日に終了する3会計年度について新たな年間上限額を設定した。これらの契約及び年間上限額の詳細は、2020年12月24日付のHKTトラスト及びHKTリミテッド並びにPCCW社の共同公表物において開示された。これらのサービスの提供により、当該サービスを提供するHKTリミテッド・グループの関連構成会社に追加的な収益と営業利益がもたらされ、当該構成会社の既存資源の利用が拡大されることが期待されることが考えられる。

FWDグループは、リチャード・リ・ツァル・カイ（香港証券先物条例第15部に基づき開示される通り本株式ステープル受益証券の持分を有するHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの取締役であり、したがって、HKTトラスト及びHKTリミテッドの関連当事者である。）が設立者である一定の信託によって所有及び支配されているパシフィック・センチュリー・グループによって過半数を所有及び支配されており、したがって、FWDグループの構成会社は、リチャード・リ・ツァル・カイの関係者であり、HKTトラスト及びHKTリミテッドの関連当事者である。

2020年12月31日に終了した会計年度中のHKTリミテッド・グループとFWDグループの間における3年を超えない期間の該当する契約に基づく継続関連取引は以下の通りである。本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、当会計年度における下記継続関連取引に関して、香港上場規則第14A章に基づく適用要件を遵守している。

HKTリミテッド・グループがFWDグループに提供したサービス

（I）電気通信及び関連サービス

2020年12月24日、香港テレコム社と、FWDグループの構成会社であるFWDグループ・マネジメント・ホールディングス・リミテッド（FWD Group Management Holdings Limited）は、電気通信及び関連サービス契約を締結し、当該契約に従い、香港テレコム社は、FWDグループに対し、電気通信及び関連サービスを提供すること、又はHKTリミテッド・グループのその他の構成会社をして当該サービスを提供させることに合意している。当該サービスには下記が含まれる予定であるが、これらに限定されない。

1. 電話サービス（固定回線、ユニファイド・コミュニケーション及びモバイル・サービス）等の電気通信サービス及び機器、コネクティビティ・サービス（ローカル・データ、ブロードバンド、WiFi、データパック（Datapak）、プライベート・ネットワーク・コネクティビティ、スカイエクスチェンジ（SkyExchange）、クラウド・コネクティビティ、施設運営ネットワーク・サービス、インターネット・アクセス、国際電気通信、国際専用線及びその他のネットワーク・サービスを含む。）、クラウド・コンピューティング・サービス、モノのインターネット製品及びサービス、並びにHKTリミテッド・グループの構成会社からFWDグループに提供されることが合意されたその他の電気通信サービス。当該サービスは、HKTリミテッド・グループの関連構成会社とFWDグループが随時合意する、類似の範囲、規模、品質、信頼度及びサービス水準のサービスについて独立の第三者の顧客に請求されるであろう実勢市場料率で料金が請求される。
2. コンピュータ及びCPEレンタル・サービス等のその他のサポート・サービス、テレサービス、ネットワーク、運用及び保守支援サービス、機器及び設備リース・サービス、並びにHKTリミテッド・グループの構成会社からFWDグループに提供されることが合意されたその他のサポート・サービス。当該サービスは、HKTリミテッド・グループの関連構成会社とFWDグループが随時合意するコストプラス方式で料金が請求される。

（Ⅱ）保険及び関連サービス

2020年12月24日、HKTリミテッドの間接完全子会社であるHKTIA社と、FWDグループの構成会社であるFWDライフ・インシュランス社は、保険及び関連サービス契約を締結し、当該契約に従い、HKTIA社は、FWDグループに対し、保険及び関連サービスを提供すること、又はHKTリミテッド・グループのその他の構成会社をして当該サービスを提供させることに合意した。当該サービスには下記が含まれる予定であるが、これらに限定されない。

1. FWDグループの構成会社の一定の保険商品の販売に関する香港における保険代理店としてHKTリミテッド・グループの構成会社が提供する香港における保険代理店サービス。かかる保険代理店サービスの手数料は、HKTリミテッド・グループの関連構成会社とFWDグループが合意する通り類似の保険商品又はサービスについて第三者保険代理店が請求する市場料率を参考にして決定される料率で請求される。
2. HKTリミテッド・グループがFWDグループに対して提供する再保険サービス。これに基づき、HKTリミテッド・グループの関連構成会社（バミューダにおける登録保険会社であるPCCWリスク・ファイナンス・リミテッド（PCCW Risk Finance Limited）等）は、HKTリミテッド・グループの構成会社に対して香港で発行された保険証券から生じるFWDグループの保険引受責任の一部を再保険することができる。FWDグループからHKTリミテッド・グループが受領すべき保険料は、実勢市場料率及びHKTリミテッド・グループの関連構成会社とFWDグループの保険数理レビューに基づいて決定される。
3. HKTリミテッド・グループの構成会社とFWDグループが随時合意するその他の保険及び関連サービス。

FWDグループがHKTリミテッド・グループに提供したサービス**（Ⅲ）FWD保険サービス及び商品**

2020年12月24日、HKTサービズ社とFWDライフ・インシュランス社は、FWD保険サービス及び商品契約を締結し、当該契約に従い、FWDライフ・インシュランス社は、HKTリミテッド・グループに対し、保険サービス及び商品並びに関連サービス及び商品を提供すること、又はFWDグループのその他の構成会社をして当該サービス及び商品を提供させることに合意した。当該サービス及び商品には下記が含まれる予定であるが、これらに限定されない。

1. FWDグループの保険サービス及び商品。当該サービス及び商品は、HKTリミテッド・グループの構成会社とFWDグループが合意する通り類似の保険サービス又は商品についての市場料率を参考にして決定される料率で料金が請求される。
2. HKTリミテッド・グループの構成会社とFWDグループが随時合意するその他の保険サービス及び商品並びに関連サービス及び商品。

上記（Ⅰ）から（Ⅲ）に記載された継続関連取引の部門ごとの2020年12月31日に終了した会計年度の総額（概算）及び年間上限額は下記の通りである。

契約／サービス	2020年12月31日に終了した 会計年度の総額（概算） （1千香港ドル）	2020年12月31日に終了した 会計年度の年間上限額 （1千香港ドル）
HKTリミテッド・グループがFWDグループに提供した サービス		
（Ⅰ）電気通信及び関連サービス	38,198	50,000
（Ⅱ）保険及び関連サービス	7,856	30,000
FWDグループがHKTリミテッド・グループに提供した サービス		
（Ⅲ）FWD保険サービス及び商品	6,144	420,000

継続関連取引の年次審査

HKTリミテッドの社外監査人は、「過去の財務情報の監査又は審査以外のアシュアランス業務」に関して定めたアシュアランス業務香港基準3000(改定)に従い、かつ香港公認会計士協会が発行した実務指針第740号「香港上場規則に基づく継続関連取引に関する監査人のレター」に言及し、2020年12月31日に終了した会計年度にHKTリミテッド・グループとPCCWグループとの間で締結された上記（１）から（16）及びHKTリミテッド・グループとFWDグループとの間で締結された上記（Ⅰ）から（Ⅲ）に記載された継続関連取引について報告するために任用された。社外監査人は、香港上場規則ルール14A.56に従い、上記継続関連取引に関する調査結果及び結論を記載した無資格レターを発行している。社外監査人のレターの写しは、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが共同で香港証券取引所に提出している。

本取締役会（独立非執行取締役を含む。）は、上記（１）から（16）及び（Ⅰ）から（Ⅲ）に記載された継続関連取引が下記の条件で締結されたことを審査及び確認した。

- （i） HKTリミテッド・グループの通常及び日常の業務過程において締結されたこと。
- （ii） 一般的な取引条件又はより有利な条件に基づき締結されたこと。
- （iii） 公正かつ合理的な条件で本株式ステープル受益証券保有者全体の利益のために、当該取引を支配する関連契約に従って締結されていること。

また、本トラスティ・マネジャー取締役会は、HKTトラストの本信託財産（本信託証書に定義される。）から本トラスティ・マネジャーに支払われた若しくは支払われるべき費用は、本信託証書に従っていることを確認した。また、本トラスティ・マネジャー取締役会は、HKTトラストの事業又は本株式ステープル受益証券保有者全体の利益に重大な悪影響を及ぼし得る本トラスティ・マネジャーのいかなる義務違反についても認識していない。

関連当事者取引

通常の業務過程において行われた重要な関連当事者取引は、「第一部－第3 ファンドの経理状況－1 財務諸表－（1）貸借対照表－A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記6及び「第二部－第1 管理会社の概況－3 管理会社の経理状況－（1）貸借対照表－A. 2020年12月31日に終了した事業年度の財務書類」に記載の「（6）HKTマネジメント・リミテッド財務書類に対する注記」の注記4に記載される。香港上場規則に基づく関連取引又は継続関連取引（場合による。）を構成していた関連取引及び関連当事者取引（上記「継続関連取引」に記載されているものを除く。）について、これらの取引は、香港上場規則第14A章に基づく報告、年次審査、公表及び独立株主承認要件を免除されている。

新株引受権

HKTリミテッド附属定款及びケイマン諸島の法律において、既存の株主の割合に応じて新株を発行する義務をHKTリミテッドに課すいかなる新株引受権も定められていない。

流通株式総数（Public Float）

本統合取締役報告書の日付現在、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが一般に入手できる情報に基づき並びに全取締役の知り得る範囲で、HKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）及びHKTリミテッドは、香港上場規則により定められる流通株式総数に係る要件を遵守している。

監査人

2020年12月31日に終了した会計年度のHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類並びに2020年12月31日に終了した会計年度の本トラスティ・マネジャー財務書類は、プライスウォーターハウスクーパースによって監査された。プライスウォーターハウスクーパースは、次回の本年次総会において退任し、適格であるため再任を希望する旨を申し出る。HKTトラスト、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの監査人としてプライスウォーターハウスクーパースを再任する決議が次回の本年次総会において提案される予定である。

（４）【分配方針】

本「（４）分配方針」に記載される定義語は、別段の定義がなされない限り本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

① 現金の分配

- （a）関連法令及び本信託証書第14.1条（b）項及び第14.1条（c）項に反しない限り、本トラスティ・マネジャーは、自らが適切と判断する期間について、自らが適切と判断する金額で、自らが適切と判断する期日に、本受益証券の名簿上の保有者を対象に、本信託財産から現金による分配を実施することを発表することができる。
- （b）本トラスティ・マネジャーは、本普通株式に関してHKTリミテッドが本トラスティ・マネジャーに配当し又は支払う全ての金額分を、本信託証書に基づき本信託財産から控除し又は支払うことの認められた一切の金額を控除した上で、本受益証券の名簿上の保有者に分配させるものとする。
- （c）HKTリミテッド取締役会は、本信託証書の日付現在、本トラスティ・マネジャーが支払う本株式ステーブル受益証券に係る分配金の資金に充てるために、本グループの各会計年度の年間調整資金収支（必要があれば、潜在的な債務返済額調整後）の100%を、本トラスティ・マネジャーに対して配当発表をして配当することを意図している。HKTリミテッド取締役会は、本信託証書の日付現在、本グループがHKTトラストに対し半期ベースで配当を発表して実施し、通年の会計年度に係る中間配当金及び期末配当金の合計は、当該会計年度に関する本グループの年間調整資金収支の100%（必要な当該会計年度の潜在的な債務返済額調整後）と同額となるようにすることを意図している。中間配当金及び期末配当金として年間に支払われる配当金合計額に占めるそれぞれの割合は、HKTリミテッド取締役会がその裁量により決定し、また中間配当金の金額は、当該会計年度の当初6ヶ月（又は支払われた配当金に係るその他の期間）に関する本グループの年間調整資金収支（必要があれば、潜在的な債務返済額調整後）と同額であること又は当該会計年度に関する年間調整資金収支（必要があれば、潜在的な債務返済額調整後）に比例していることを要しない。
- （d）本トラスティ・マネジャーは、本信託証書第14.1条（c）項におけるHKTリミテッドから本トラスティ・マネジャーに支払われる中間配当金及び期末配当金の中から本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者に対して半期ベースで配当を支払う。本トラスティ・マネジャーは、各年の6月30日から4ヶ月以内に中間配当金を、12月31日から6ヶ月以内に期末配当金を支払うものとする。本トラスティ・マネジャーは、会計年度毎に、（本信託証書に基づき本信託財産から控除又は支払を行うことが許可されているあらゆる控除を行った後に）本普通株式に関して本トラスティ・マネジャーに支払われた配当金の100%を、本信託証書第14.1条（d）項において言及する中間配当金及び期末配当金によって分配する。
- （e）本グループの年間調整資金収支（各会計年度の潜在的な債務返済額（必要な場合）の調整後）の100%を本株式ステーブル受益証券に係る分配金の資金に充てるために本トラスティ・マネジャーに配当することを発表・実施するというHKTリミテッドの本信託証書の日付現在の意図は、配当方針に過ぎず、HKTリミテッドの本信託証書の日付現在の意図を記載したものに過ぎない。これは、HKTリミテッド、本トラスティ・マネジャー又は本トラストに対して法的に拘束力を有する義務ではなく、変更される可能性がある（疑義を避けるために付言すると、かかる配当方針の変更は、本信託証書の修正、改変、変更又は追加を構成又はそれらを要するものではないが、香港証券取引所に通知し、本信託証書第14.3条に基づく公表を行う必要がある。）。この方針は、いかなる者によっても保証されるものではない。本株式ステーブル受益証券に係る将来の分配金（もしあれば）の形式、頻度及び金額は、本グループの利益、財政状態及び経営成績をはじめ、契約上の制限（本信託証書上の本トラスティ・マネジャーによる借入制限並びに本グループの融資枠契約に基づき課せられる財務制限の遵守を含む。）、適用ある法令の規定並びにその他の要因（一般的な事業環境及び経営状況並びに拡大計画を考慮した資金需要、その他資本管理に関する検討事項、分配の全体的な安定性並びに業界慣行の状況を含むが、これらに限定されない。）に依存する。

- (f) 本トラスティ・マネジャーが本トラストに代わって行う本受益証券1口当たりの分配金を発表したときには、本トラストは、当該分配の基準日における発行済本受益証券の口数にかかわらず、当該本受益証券1口当たりの分配金を支払う義務を負うものとする。但し、本受益証券の併合又は分割が行われる場合には、当該併合又は分割に応じた適切な調整を行うこととする。

② 分配受領権

- (a) 本トラスティ・マネジャーが分配の実施を発表したときに、本受益証券の名簿上の保有者はそれぞれ、当該分配の実施期日と表明された日以降、発表された分配のうち、本受益証券の名簿上の保有者それぞれが当該分配の基準日に保有する全額払込済本受益証券の口数に基づき比例按分により算定された各自の受取分を受領する権利を有するものとする。
- (b) 基準日に本受益証券の名簿上の保有者である者は、当該基準日に係る一定期間につき、本トラスティ・マネジャーが発表した分配金を受領する権利を有する。
- (c) 分配の発表後当該分配の基準日以前に本受益証券が新規発行される場合には、本トラストによる分配金の総額は、当該分配基準日現在の本受益証券の名簿上の保有者が全て、発表された本受益証券1口当たりの分配金を受領することとなるよう、比例按分により増額されるものとする。本信託証書第14.2条 (b) 項及び第14.2条 (c) 項前段の定めにかかわらず、分配の発表後に本受益証券を新規発行し、かつ本信託証書第14.1条 (f) 項を適用した結果として、本トラストが本受益証券の名簿上の保有者を対象とする分配金の支払に見合う十分なキャッシュ・フローを有しない場合、又は本受益証券の名簿上の保有者を対象とする分配金の支払（行われた場合）が、本トラスト又は本グループが従う適用のある合意に違反する場合は、かかる未払分配金が発生し、HKTトラストに債務の支払に見合う十分なキャッシュ・フローが生じた後、又は適用ある合意に違反することなく債務の支払に応じることが可能となった後（場合による。）、実行可能な限り速やかに、受領権を有する者に対して支払われるものとする。但し、本受益証券の名簿上の保有者が有する発生済未払の分配金受領権については利息の支払を行わないものとし、また本受益証券の名簿上の保有者は支払停止の通知を受けるものとする。
- (d) 本トラスティ・マネジャーは、各本受益証券の名簿上の保有者が受領する権利を有する分配金額から、以下の金額を全て控除することができる。
- (i) 1セントの端数を分配することを回避するために必要な金額（当該金額に最も近い1セント単位まで切り下げを行う。）
 - (ii) 分配日に分配することが現実的ではないと本トラスティ・マネジャーが判断した金額
 - (iii) 本受益証券の名簿上の保有者に帰属する本トラストの利益について、又は控除しなければ本受益証券の名簿上の保有者に分配された分配金額について、本トラスティ・マネジャーにより支払われた税金の額、又は本トラスティ・マネジャーが支払わなければならない若しくはそのおそれがあると判断する税金の額相当。本トラスティ・マネジャーは、（1）会計士、税務顧問若しくは本トラスト監査人の助言若しくは計算、又は（2）上記の控除を実施する前に当該税金の一切について税務当局若しくは行政機関から得た一切の情報に依拠することができる（但し、依拠する義務は負わない。）。本トラスティ・マネジャーは、自らが誠実に、かつ、不正行為、故意の不履行又は過失を犯すことなく実施し又は負担する一切の控除又は支払について、いずれの保有者その他の者にも説明する責任を負わないものとする（かかる控除又は支払を実施し若しくは負担すべきではなく、又は実施し若しくは負担する必要がなかったかは問わない。）。実施し若しくは負担すべきではなく、又は実施し若しくは負担する必要がなかった控除を税務当局に支払うことが要求されなかった場合、又は実施し若しくは負担すべきではなく、若しくは実施し若しくは負担する必要がなかった税金の額がその後還付された場合には、当該金額は本信託財産を構成し、本信託証書の条件に基づき本トラスティ・マネジャーが保有し、本トラスティ・マネジャーにより行われる次の中間分配又は年次分配に関して本受益証券の名簿上の保有者に分配される金額に加算されるものとする。
 - (iv) 関連法令又は本信託証書によって控除することが必要とされる金額
 - (v) 本受益証券の名簿上の保有者が本トラスティ・マネジャー又はHKTリミテッドに対し支払わなければならない金額

- (e) 本トラスティ・マネジャーは、会計年度毎に本受益証券の名簿上の保有者が本受益証券1口につき受領する権利を有する分配金を決定するものとし、かかる決定は、登録機関（任命している場合）に通知するものとする。本トラスティ・マネジャーは、自らが算定した当該会計年度につき本受益証券の名簿上の保有者が本受益証券1口当たり受領する権利を有する分配金について、これを本トラスト監査人に調査・検証させ、確認書を本トラスティ・マネジャーに送付させるよう取り計らうものとする。本トラスティ・マネジャーは、会計年度毎に、登録機関（任命している場合）に対して、各会計年度の分配日までに本受益証券の名簿上の保有者がそれぞれ受領する権利を有する分配金をかかる保有者に支払うよう指図を出すものとする。
- (f) 本受益証券について又は関して支払うべき分配金又はその他の金員に、本トラストの負うべき利息は付されないものとする。未請求金は全て、本信託証書第15.3条に定める方法で処理するものとする。

③ 本トラスティ・マネジャーの公表義務

- (a) 本トラスティ・マネジャーは、香港証券取引所に対して下記に掲げる事項を直ちに通知しなければならない。
- (i) 分配、当該分配の料率及び金額の発表、推奨又は支払の決定
 - (ii) 本来適正な過程を経ていれば発表し、推奨し、又は支払ったであろう分配の発表、推奨又は支払を実施しない決定
 - (iii) 年間、半期又はその他の期間における損益の速報
- (b) 本トラスティ・マネジャーは、本信託証書第14.3条(a)項(i)又は(ii)に定める決定を公表することにより本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者に通知するものとする。かかる公表は、当該決定後実務上可能な限り速やかに実施しなければならないが、市場が開く前、市場での取引終了後又は昼休みの間にのみ公表すべきとする。
- (c) 分配の発表、推奨又は支払の決定について行う公表には、下記の事項を含めなければならない。
- (i) 分配金額、及び本受益証券の名簿上の保有者が本受益証券1口当たり受領する権利を有する分配
 - (ii) 分配の基準日及びおおよその支払日
 - (iii) 本信託証書第14.2条(e)項に従って本トラスティ・マネジャーが算定した本受益証券1口当たり受領することができる分配について、本トラスト監査人が調査し検証した事実の確認
 - (iv) あらゆる相当な調査を実施した上で、本受益証券の名簿上の保有者を対象に当該分配を実施後直ちに本トラスティ・マネジャーが本トラストの負債を期日の到来時に本信託財産を原資として弁済することができるという本トラスティ・マネジャー取締役会による確認

④ 本受益証券保有者の通知義務

各本受益証券保有者は、本トラスティ・マネジャーから要請された時に、その居住地に関する情報、又は本トラスティ・マネジャーがその時々において決定する租税目的のためのその他の関連情報を提供しなければならない。

⑤ 分配金の再投資に係る取決

本トラスティ・マネジャーは、本受益証券の名簿上の保有者に支払われる特定の分配金の全部又は一部を、本信託証書第3条に従って本トラスティ・マネジャーが決定する条件及び発行価格で（本株式ステーブル受益証券の構成要素として）本受益証券を追加発行するのに充当するように本受益証券の名簿上の保有者が要請することができる取決に、各本受益証券の名簿上の保有者が通知に定められた条件に従って参加することができる旨を、事前にHKTリミテッドから同意を得て、本受益証券の名簿上の保有者に対して書面にて随時通知することができる。発行される本受益証券は、当該本受益証券の名簿上の保有者によって購入されたものとみなされる。本トラスティ・マネジャーは、HKTリミテッドから事前に同意を得れば、本受益証券の名簿上の保有者に対する書面による通知により、随時、当該分配金の再投資に係る取決の条件を変更することができる。

⑥ 現金以外の分配

本信託証書第14.1条に従って現金の分配を実施する権能、及び本トラスティ・マネジャーが随時明示する分配方針を損なうことなく、かつ関連法令及び本受益証券の名簿上の保有者の普通決議に従うことを条件として、本トラスティ・マネジャーは、本受益証券の名簿上の保有者を対象とした、本信託財産を原資とする現金以外の分配の実施を発表することができる。本信託証書第14条のその他の条項を現金以外の分配に適用する場合には、その限りにおいて、本信託証書第14条のその他の条項を準用するものとする。

⑦ 資本及び未実現利益の分配

本トラスティ・マネジャーは、以下の金額の分配を行うことができる。

- (a) 本トラストの資本の一部であって、本トラスティ・マネジャーが本トラストの資金需要を上回っていると合理的に判断するもの
- (b) 未実現利益の一部又は全部

⑧ 利益の区分及び源泉

- (a) 利益の区分又は源泉に関しては、本トラスティ・マネジャーは、別個の勘定を設け、本受益証券の名簿上の保有者に係る区分又は源泉とは別に利益を割り当てることができる。
- (b) 本トラスティ・マネジャーは、本信託証書第14.8条(a)項に従って設ける勘定又は記録に記録した一切の金額を、その他の金額を分配する前に、分配させることができる。

⑨ 分配に係る制限

本トラスティ・マネジャーは、分配を行えば本トラストが債務を弁済することができなくなる場合には、その限りにおいて、分配を行ってはならない。

(5) 【投資制限】

HKTトラストは、本信託証書の諸条件に基づきかつ従って、承認事業のみに従事する単一の投資信託（固定型）として設定された。この場合の単一の投資信託（固定型）は、信託は唯一の企業（HKTリミテッド）の有価証券及びその他の持分に投資することのみが可能であり、また信託は信託が保有する具体的に特定される財産（この場合はHKTトラストが保有する本普通株式）における実質的持分を本受益証券の名簿上の保有者に付与することを意味する。

HKTトラストは、本信託証書に従って承認事業に従事する場合を除き、いずれの活動も行うことができない。本信託証書は、HKTトラストの「承認事業」の意味を以下の通り規定している。

- (a) HKTリミテッドに対する投資（HKTリミテッドの有価証券及びその他の持分に対する投資を含むが、これらに限定されない。）
- (b) 本信託証書に基づく本トラスティ・マネジャーの権能、権限及び権利の行使、並びにその義務及び債務の履行
- (c) 上記(a)及び／又は(b)に記載される活動のために又はそれに関連して必要であるか又は望ましいあらゆる事項又は活動

したがって、要約すれば、HKTトラストの活動範囲はHKTリミテッドへの投資に限定されている。

3【投資リスク】

(1) リスク要因

本株式ステープル受益証券への投資には一定のリスクが伴う。投資しようとする者は、本株式ステープル受益証券への投資を決定する前に、本書に含まれる他の全ての情報と合わせて、以下のリスク要因を注意深く検討すべきである。以下に記載する発生する可能性のある事由のいずれかが発生した場合、HKTリミテッド・グループの事業、財務状態又は経営成績に重大な悪影響を与える可能性がある。これらのリスクのいずれかにより本株式ステープル受益証券の市場価格が著しく下落する可能性があり、また、投資しようとする者はその投資の全部又は一部を失う可能性がある。

本株式ステープル受益証券への投資に関するリスク

HKTトラスト、HKTリミテッド及び本株式ステープル受益証券が関係する上場形態は、新たな試みであり、香港市場において先例がなかった。香港証券取引所に上場している会社の株主が享受しているそれと同等の投資家保護の利益を、投資家が本株式ステープル受益証券の保有者として享受することができるよう多大な努力が行われているものの、関連ある投資家保護法が本株式ステープル受益証券構造に適用されるか否かは香港裁判所の解釈に服する。

香港証券取引所に上場されている会社の株主に対し適用されるものと同水準の投資家保護を本株式ステープル受益証券の保有者に提供するため多大な努力が行われているものの、関連ある投資家保護法が本株式ステープル受益証券構造に適用されるか否かは香港裁判所の解釈に服する。このリスクを軽減するため、本株式ステープル受益証券（したがって、HKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）及びHKTリミテッド）が香港証券先物条例に服する旨の意見書を主要な法律顧問より取得している。

HKTトラストが本株式ステープル受益証券保有者に対する分配を全く行うことができない可能性、又は分配水準が下落する可能性がある。

HKTリミテッド・グループの事業が十分な利益を生まなかった場合、HKTリミテッド・グループのキャッシュ・フロー並びにHKTリミテッド・グループの（また、ひいてはHKTトラストの）分配金支払能力は悪影響を受ける。

本株式ステープル受益証券保有者に対する分配を行うためには、HKTトラストは、HKTリミテッドからの配当、分配及びその他の支払の受領に頼ることとなる。HKTリミテッド又はその他のHKTリミテッド・グループの構成会社が将来のいずれかの期間において、HKTトラストによる本株式ステープル受益証券保有者への分配を可能とする目的で、HKTトラストに対し配当、分配又はその他の支払を行うために十分な分配可能利益又は配当可能利益を有するという保証はない。HKTリミテッド・グループがHKTトラストに対する配当の支払及び／又はその他の分配を行うことができるか否かは、とりわけ以下を含む多くの要因による影響を受ける可能性がある。

- ・ HKTリミテッド・グループの事業及びそれぞれの財務状態。
- ・ HKTリミテッド・グループが保有する資産からのキャッシュ・フローが不十分であること。
- ・ 適用法令。これによりHKTリミテッド・グループ会社による配当の支払が制限される可能性がある。
- ・ HKTリミテッド・グループ会社がいずれかの会計年度において負担する営業損失。
- ・ 香港及び／又はケイマン諸島における会計原則、税法令、資金の外国為替本国送金に関する法令、これらに関する会社法令の変更。
- ・ （適用ある会計原則に基づき減価償却を会計費用として取り扱わなければならないことに起因する）HKTリミテッド・グループ会社の利用できない現金。かかる現金は、香港会社の既存株主貸付金が全額返済された場合に有効に使用することができない。
- ・ HKTリミテッド・グループ会社が当事者であるか当事者となる可能性がある契約の条項。
- ・ EBITDAの利息に占める割合及び純債務のEBITDAに占める割合等、HKTリミテッド・グループの融資枠に基づき課せられる財務制限の遵守。
- ・ 一般的な事業環境及び事業運営、拡大計画、その他の資本管理上の考慮、全般的な分配の安定性並びに一般的な業界の慣行を参照した資金需要。

さらに、香港及び／又はケイマン諸島の適用法の変更により、HKTリミテッド・グループによるHKTトラストに対する配当及び／又はその他の分配の支払が制限される可能性があり、また、これにより、HKTトラストによる本株式ステーブル受益証券保有者に対する分配の支払又は維持が制限される可能性がある。

HKTトラストが本株式ステーブル受益証券に関する分配金を支払い若しくは維持することができるという保証又は分配金の水準が経時増加するという保証はない。

HKTトラスト、HKTリミテッド及び本株式ステーブル受益証券が関係する上場形態は新たな試みであったため、HKTトラスト及び／又はHKTリミテッドは、当該上場に影響する新たな法律、規則、指針又は指令の導入による影響を受ける可能性がある。

HKTトラスト、HKTリミテッド及び本株式ステーブル受益証券が関係する上場形態は新たな試みであったため、HKTトラスト及び／又はHKTリミテッドに影響する新たな法律、規則、指針又は指令の導入が、HKTトラスト及び／若しくはHKTリミテッド及び／若しくはHKTリミテッド・グループの財務状態及び経営成績並びに／又は本株式ステーブル受益証券保有者による投資に悪影響を及ぼさないという保証はない。

HKTリミテッドが配当を行うための源泉として許可された資金に適用される新たな法律が、ケイマン諸島において導入された場合又はそのような既存の法律が改正された場合、本株式ステーブル受益証券保有者に対する分配金の水準が下落する可能性がある。

本株式ステーブル受益証券保有者に対する分配を行うためには、HKTトラストは、HKTリミテッドからの配当に頼ることとなる。HKTリミテッドが配当を行うための源泉として許可された資金に適用される新たな法律が、ケイマン諸島において導入されず、又は、そのような既存の法律が改正若しくは廃止されないという保証はなく、したがって、本株式ステーブル受益証券保有者に対する分配金の水準が下落する可能性がある。

本株式ステーブル受益証券構造は新たな試みであったため、HKTトラストによる本株式ステーブル受益証券保有者への分配金に係る収益税の課税上の取扱いについての不確実性がある。

HKTリミテッドが税務顧問から取得した法律上の見解によると、香港内国歳入局の現在の実務のもとでは、一般的に他の香港上場ユニット・トラストによる配当の際、受益証券保有者には香港の収益税の支払義務はないと理解されている。しかしながら、香港内国歳入局がHKTトラストによる本株式ステーブル受益証券保有者への分配金にこの実務を適用するという保証はない。仮に香港内国歳入局が現在の実務を適用せず、かつ／又は現在の実務に変更があった場合、本株式ステーブル受益証券保有者への税引後分配金に影響することとなる。投資しようとする者は、各自の特定の税務上の状況について、各自の専門家である顧問に助言を求めるべきである。

事業に関するリスク

HKTリミテッド・グループの事業に関する主なリスク及び不確実性については、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制―統合取締役報告書―事業概観」を参照のこと。

本株式ステーブル受益証券への投資に関するその他のリスク

公開市場におけるPCCW社（ロックアップに関する合意の期間満了後）による相当数の本株式ステーブル受益証券の売却が、本株式ステーブル受益証券の価格に悪影響を与える可能性がある。

HKTトラスト、HKTリミテッド及びPCCW社は（その完全子会社であるCASホールディング・ナンバーワン・リミテッドを通じて）一定数の発行済の本株式ステーブル受益証券を保有する。PCCW社及び／若しくは本株式ステーブル受益証券の（該当するそれぞれのロックアップに関する合意の期間満了後の又は適用ある免除に基づく）譲受人が、自らの本株式ステーブル受益証券の相当数を売却するか若しくは売却を意図しているとみなされる場合、又は本株式ステーブル受益証券の追加募集が他の証券取引所に対する追加上場に関連して行われる場合、本株式ステーブル受益証券の市場価格が悪影響を受ける可能性がある。

PCCW社は、HKTリミテッド・グループの事業に対し、他の本株式ステープル受益証券保有者とは異なる利益を有する可能性があり、HKTリミテッド・グループの一定の活動に対して大きな影響力を行使することができる。

PCCW社、その各子会社、関係法人及び／又は関連会社は、とりわけ、電気通信、メディア及びソリューションの業界において事業を行っている。PCCW社は、（その完全子会社であるCASホールディング・ナンバーワン・リミテッドを通じて）一定数の本株式ステープル受益証券を保有する。（詳細については「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制―統合取締役報告書―本株式ステープル受益証券の大量保有者の持分及びショート・ポジション」を参照のこと。）。

したがって、PCCW社及びその究極的な支配株主は、本株式ステープル受益証券保有者の承認を必要とする事項に対して大きな影響力を行使する立場にある。（下記「本トラスティ・マネジャーは本受益証券の名簿上の保有者の普通決議によってのみ解任及び変更することができる。」を参照のこと。）本株式ステープル受益証券の支配的保有者としてのPCCW社の利益は、他の本株式ステープル受益証券保有者の最善の利益とは必ずしも一致しない可能性がある。PCCW社の行為は、他の本株式ステープル受益証券保有者の利益以上に、自己の利益に有利となる可能性があり、それにより、HKTリミテッド・グループの事業、財務状態、経営成績及び見通しに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

HKTトラスト及び／又はHKTリミテッドの解散による収入は、本グローバル・オファリングに基づき投資家が投資した金額を下回る可能性がある。

本株式ステープル受益証券の市場価格は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの正味資産価値にプレミアムを付して行われる可能性がある。HKTトラスト及び／又はHKTリミテッドが解散した場合、本グローバル・オファリングに基づく投資家が、その投資の全部又は一部を回収するという保証はない。

市況及び経済状態が、本株式ステープル受益証券の市場価格及び需要に影響を及ぼす可能性がある。

香港内及び国際的な証券市場、経済状態、外国為替レート及び金利の動向が、本株式ステープル受益証券の市場価格及び需要に影響を及ぼす可能性がある。市場金利の上昇は、本株式ステープル受益証券につき支払われた価格に対する年利回りが、他の投資と比べて低い収益しか投資家にもたらさない場合には、本株式ステープル受益証券の市場価格に悪影響を及ぼす可能性がある。

HKTリミテッド・グループの実績は、本書における将来予想に関する記述、予測及び見通しとは著しく異なる可能性がある。

本書には、将来予想に関する記述が含まれている可能性がある。これらの将来予想に関する記述は、重要な不確実性及び偶発事象に服する多くの仮定に基づいているが、かかる不確実性及び偶発事象の多くは、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーには制御不能である。

HKTリミテッド・グループの収益は、顧客からの支払の受領を含む多くの要因に依存しており、料金の低下、顧客の支払不能及び顧客からの支払の遅延を含む多くの原因により減少する可能性がある。仮定された事由及び状況の一部若しくは全部が予想された通りに発生しない可能性、又は現在予期されていない事由及び状況が発生する可能性があるため、本書の他の箇所に記載される予想及び見通し分配金並びに利益予想及び収益の見通しを実現するHKTリミテッド・グループの能力に悪影響が及ぶ可能性がある。

仮定が実現し、実際の分配が予想通りとなるという保証はない。加えて、本書に含まれる主要財務情報及び業務データは、必ずしもHKTリミテッド・グループの将来の業績を示すものではない。

本トラスティ・マネジャーは、本株式ステープル受益証券を償還する義務を負わず、また、かかる償還を認められていない。

本株式ステープル受益証券保有者は、本トラスティ・マネジャーに対して、自らの本株式ステープル受益証券を償還するよう要求する権利を有さず、また、本トラスティ・マネジャーがかかる償還を行うことは認められていない。本株式ステープル受益証券保有者は上場された本株式ステープル受益証券を香港証券取引所を通じてのみ取引することができると意図されている。

本トラスティ・マネジャーは本受益証券の名簿上の保有者の普通決議によってのみ解任及び変更することができる。

本信託証書においては、HKTトラストのトラスティ・マネジャーを解任するためには、本受益証券の名簿上の保有者の普通決議、すなわち出席して議決権を行使する本受益証券の名簿上の保有者全員の議決権の50%超を保有する本受益証券の名簿上の保有者の承認を得た決議が必要とされている。PCCW社は、本書提出日の直近日現在、普通議決権及び全ての発行済本株式ステープル受益証券の51.94%の持分を保有する。これにより、PCCW社は、本受益証券の名簿上の保有者による本トラスティ・マネジャーの解任決議を阻止し得る。

本トラスティ・マネジャーが退任した場合又は本受益証券の名簿上の保有者により解任された場合には、HKTトラストは、その後新たなトラスティ・マネジャーを適時に又は同様の条件により選任することができない可能性がある。

本信託証書においては、本トラスティ・マネジャーは、本受益証券の名簿上の保有者の普通決議により、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての職務を解任される可能性があり、また、本トラスティ・マネジャーは、自らトラスティ・マネジャーとしての職務を退任することができる。本トラスティ・マネジャーの解任又は退任は、本信託証書に定める手続に従い行われなければならない。また、解任される在職中のトラスティ・マネジャー又は退任する在職中のトラスティ・マネジャー（場合による。）が、全ての本信託財産（本普通株式を含むがこれに限定されない。）の法律上の所有権を、次期トラスティ・マネジャーに譲渡するために必要な全ての手続を踏むことによつてのみその効力が生じるものとする。解任される本トラスティ・マネジャー又は退任する本トラスティ・マネジャーの責任及び義務は、かかる必要手続の全てが完了した場合にのみ終了し、また、次期トラスティ・マネジャーの責任及び義務は、かかる回復手続の全てが完了した場合にのみ有効となる。HKTトラストの本トラスティ・マネジャーの変更を意図した手続であっても、本信託証書に従いなされたものでない限り、当該手続は無効である。このため、本トラスティ・マネジャーの退任又は本受益証券の名簿上の保有者の普通決議による本トラスティ・マネジャーの解任後、HKTトラストは、適時に又は本信託証書に基づくものと同様の条件により、本トラスティ・マネジャーを代理することができない可能性がある。本信託証書には、その固有の管轄権に基づき、又は香港受託者条例に基づき、後任の本トラスティ・マネジャーの選任に係る申請を香港裁判所に提出できる旨規定されている。しかしながら、本トラスティ・マネジャーを代理するために選任された新任のトラスティ・マネジャーが、本信託証書に基づくその職務の遂行に関連する経験を有するという保証はない。

本トラスティ・マネジャーが解任されたにもかかわらず、その地位を引き継ぐ意思を有する新たなトラスティ・マネジャーが現れない場合、HKTトラストは裁判所命令により終了させられる可能性がある。

本信託証書においては、本トラスティ・マネジャーが本受益証券の名簿上の保有者の普通決議により解任され、かかる解任から60日以内に本トラスティ・マネジャーの地位を引き継ぐ意思を有する新たなトラスティ・マネジャーが現れない場合には、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者は、香港裁判所に対し、その固有の管轄権又は香港受託者条例に基づき、トラスティ・マネジャーとして行為する会社を選任すべき旨又はHKTトラストを終了すべき旨命令を発するよう申請することができる。

本株式ステープル受益証券は、公開市場で取引されたことはなく、香港証券取引所のメインボードへの本株式ステープル受益証券の上場によって、本株式ステープル受益証券の活発な又は流動的な市場とはならない可能性がある。

本グローバル・オファリング前には本株式ステープル受益証券のための公開市場はなく、本グローバル・オファリング後に本株式ステープル受益証券の活発な公開市場が発展し又は維持されない可能性がある。しかし、上場及び相場付けは、本株式ステープル受益証券のための取引市場が発展すること又は市場が発展した場合の本株式ステープル受益証券の市場の流動性を保証するものではない。本株式ステープル受益証券保有者になろうとする者は、本株式ステープル受益証券を非流動的なものとして見るべきであり、本株式ステープル受益証券の無期限での保有に備えなければならない。

日本における本優先株式の募集に関連して有価証券届出書は提出されておらず、今後提出される予定もない。また、現時点において、HKTリミテッドに関する金融商品取引法に従った開示が行われることは想定されていない。

日本における本優先株式の募集に関しては、2011年11月8日に有価証券通知書が関東財務局に提出されているが、当該有価証券通知書は一般に開示されるものではない。また、日本における本優先株式の募集に関して、有価証券届出書は提出されておらず、今後提出される予定もない。

本グローバル・オファリングの終了後も、HKTリミテッドについて、金融商品取引法上、継続開示書類（有価証券報告書、半期報告書、臨時報告書）の提出は要請されておらず、またこれらが提出される予定はない。交換権の行使により、本受益証券及び本優先株式の交換及び消却が行われ、本株式ステープル受益証券の保有者がHKTリミテッド発行に係る本普通株式を保有することになった場合でも、HKTリミテッドについて、金融商品取引法上、現時点において、上記と同様の継続開示書類の提出は要請されておらず、また想定されていない。

したがって、HKTリミテッドに関する情報は、（特に交換権の行使後は）重要となる可能性があるが、その重要性の如何にかかわらず、日本の投資家が当該情報を入手するのは困難となるおそれがある。

本株式ステープル受益証券が香港証券取引所に上場され続けるという保証はない。

現在においては本株式ステープル受益証券の香港証券取引所上場が維持される予定であるが、本株式ステープル受益証券の上場が継続するという保証はない。要因の1つとして、HKTトラスト及び／又はHKTリミテッドが香港証券取引所の上場要件を満たし続けることができない可能性がある。本株式ステープル受益証券が香港証券取引所に上場されなくなった場合、本株式ステープル受益証券保有者は、香港証券取引所を通じて本株式ステープル受益証券を売却することができなくなる。

本株式ステープル受益証券の価格が下落する可能性がある。

本株式ステープル受益証券の取引価格は、多くの要因により左右される。かかる要因には以下が含まれるが、これらに限定されない。

- ・ HKTリミテッド・グループの事業及び投資並びに電気通信サービスの市場に対する認知された展望。
- ・ HKTリミテッド・グループの財務及び営業実績と、投資家及びアナリストによる予測との相違。
- ・ リサーチ・アナリストの推奨又は見通しの変化。
- ・ 一般的な経済状況又は市況の変化。
- ・ HKTリミテッド・グループの資産の市場価値。
- ・ 他の信託の受益証券、資本性証券又は負債性証券に対する本株式ステープル受益証券の認知された魅力。
- ・ 本株式ステープル受益証券の需給動向。
- ・ 当該性質の有価証券に係る香港市場の規模及び流動性。
- ・ HKTトラスト及び／又はHKTリミテッドに全般的にかつ具体的に関連する規制制度（税制を含む。）の変更。
- ・ HKTリミテッド・グループが投資及び成長戦略を成功裏に実施できるか否か。
- ・ 外国為替レート。
- ・ 広範な市場変動（金利の上昇及び株式・債券市場の低迷を含む。）。

HKTリミテッド・グループが投資目的、運転資本準備金又はその他の目的で営業キャッシュ・フローを保持している限り、かかる保持された資金により、その原資産の価値は増加するが、本株式ステープル受益証券の市場価格はそれに応じて増加しない可能性がある。HKTリミテッド・グループが将来の利益及び現金配当に関する市場の期待を満たすことができない場合、本株式ステープル受益証券の市場価格に悪影響が及ぶ可能性がある。

新規の本株式ステープル受益証券が本株式ステープル受益証券の市場価格を下回る価格で発行された場合、本株式ステープル受益証券に対する投資の価値が影響を受ける可能性がある。加えて、本株式ステープル受益証券の新規発行に参加しない又は参加することができない本株式ステープル受益証券保有者は、HKTトラスト及びHKTリミテッドにおける持分の希薄化を経験する可能性がある。

加えて、本株式ステープル受益証券は元本保証の商品ではなく、本株式ステープル受益証券保有者が投資した金額を取り戻すことができるという保証はない。HKTトラストが終了若しくは清算され、又はHKTリミテッドが清算された場合、投資家は本株式ステープル受益証券に対する投資の一部又は全部を失う可能性がある。

本トラスティ・マネジャーによる信託違反の責任を証明することは困難である可能性があり、また、HKTトラスト及び本株式ステープル受益証券保有者が本トラスティ・マネジャーに対する請求を回収する権利は制限される。

信託証書に記載され又は法律により義務付けられている職務及び義務を履行しないトラスティ・マネジャーは、信託違反となり、本株式ステープル受益証券保有者に対し責任を負う。一般的にコモン・ローにおいては、信託違反があった場合には、トラスティ・マネジャーは、信託により要求される事項を行うこと又は信託により禁止される事項を行わないことを義務付けられる可能性がある。また、トラスティ・マネジャーは、違反により喪失した信託財産を回復すること、喪失した財産の価値と同等の価値を提供すること又は受益者の損失を補償するために公平な補償を信託に支払うことを求められる可能性がある。トラスティ・マネジャーはまた、信託財産を、違反が無かったならばそうになっていたであろう状態に戻すことを義務付けられる可能性がある。しかしながらコモン・ローにおいては、本株式ステープル受益証券保有者は、本信託財産に損失が生じ、かつ違反が無ければかかる損失が生じなかったという事実を証明しなければならないため、信託違反の責任を立証することは困難である可能性がある。トラスティ・マネジャーはまた、コモン・ローに基づき信託違反に対する一定の防御を行使する権利を有する。また、信託会社の取締役が、信託の受益者に対し個人的に責任を有するか否かという点は、コモン・ロー上明確ではない。

本信託証書は、不正行為、故意の不履行、過失又は本信託証書違反がある場合を除き、本トラスティ・マネジャー（その取締役、従業員、代理人若しくは代行者を含む。）の責任を限定している。また、本信託証書には、本トラスティ・マネジャー並びにその取締役、従業員、使用人及び代理人のいずれもが、同人がHKTトラストのトラスティ・マネジャー（又はその取締役、従業員、代理人若しくは代行者）として対象となる訴訟、費用、請求、損害、経費、処罰若しくは要求に対し補償を受ける権利を有する旨が規定されている。但し、かかる訴訟、費用、請求、損害、経費、処罰又は要求が不正行為、故意の不履行又は過失によるものである場合は、この限りでない。この結果、本トラスティ・マネジャーに対するHKTトラスト及び本株式ステープル受益証券の保有者の回復請求権は制限される。

本トラスティ・マネジャーは本信託財産以外に多くの資産を持つ事業体ではないため、第三者は、本トラスティ・マネジャーに対して提起した請求について回収することができない可能性がある。HKTトラストは、本トラスティ・マネジャーを通じてのみ行為することができる。

第三者は、将来において、本トラスティ・マネジャーに対してHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての義務の遂行（本グローバル・オファリング及び香港目論見書に関するものを含む。）に関連して請求権を持つ可能性がある。

本信託証書の条項に基づき、本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストのトラスティ・マネジャーとして受けるあらゆる訴訟、費用、請求、損害、経費、処罰又は要求について、不正行為、故意の不履行又は過失によるものでない限り、本信託財産から補償を受ける。かかる不正行為、故意の不履行又は過失の場合には、本信託財産ではなく本トラスティ・マネジャー自身の資産のみが請求を満たすために利用可能となる。かかる詳細は、以下に記載されている。

HKTトラストは、本トラスティ・マネジャーを通じてのみ行為することができる。本トラスティ・マネジャーが第三者との間で契約を締結した場合、本トラスティ・マネジャーは、当該契約に基づき潜在的に無限責任を負うこととなる。同様に、本トラスティ・マネジャーはまた、HKTトラストの運用に関する自己の若しくはその代理人の行為又は不作為について、個人的な不法行為責任を負う可能性がある。

HKTトラストは独立した法人格を有さないため、一般原則として、HKTトラストの債権者及び契約上の相手方並びにその他の第三者は、本信託財産を直接的に利用することはできない。本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの運用中に、本信託証書により付与された権能の範囲内において、かつ本トラスティ・マネジャーによる不正行為、故意の不履行又は過失なくして契約が適正に締結された場合、本トラスティ・マネジャーの個人的責任に関し、本信託証書に基づき本信託財産から補償を受ける権利を有する。同様に、本トラスティ・マネジャーが本信託証書に基づく権能の範囲内において行為した場合には、本トラスティ・マネジャーは、本トラスティ・マネジャー側に不正行為、故意の不履行又は過失がある場合を除き、第三者からの不法行為に基づく損害賠償請求について補償を受ける権利を有する。

債権者、その他の契約上の相手方及びその他の第三者の本信託財産を利用する唯一の手段は、上記に記載の状況下において本信託財産から補償を受ける本トラスティ・マネジャーの権利を代位することである。

本トラスティ・マネジャーは新規に設立された事業体であるため、投資家が投資に関する決定を行う際に依拠することのできる確立された事業運営実績を有しておらず、財産管理手続又は清算手続を受ける可能性がある。

本トラスティ・マネジャーは、2011年6月14日に設立された。したがって、本トラスティ・マネジャーは、過去の実績を評価することのできる事業運営実績を持たず、投資しようとする者にとって、本トラスティ・マネジャーの事業及び見通しを評価することが困難である可能性がある。本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャーは、本信託証書に基づくサービスを提供するために負担した費用について払戻を受ける。当該費用の払戻を除き、本トラスティ・マネジャーは、キャッシュ・フローに係るその他の重要な源泉を有さない可能性がある。かかる事実、HKTトラストを有効的に運用するのに十分な運転資本を確保するために本トラスティ・マネジャーが利用可能な運転資本の額に悪影響を及ぼす可能性がある。将来本トラスティ・マネジャーの財務状態が悪化した場合、本トラスティ・マネジャーが財産管理手続又は清算手続を受けないという保証はない。

（２）リスク管理体制

HKTリミテッド・グループは、HKTリミテッド・グループの事業に重大な悪影響を及ぼす可能性のある全ての予見可能な業務リスク（自然災害、契約上のリスク、情報リスク、一般的な業務上の物的損害及び一般債務等）を認識し、報告し、これに対処することを可能とする、一連の正式な手続及び文書化を実施している。当該手続には、とりわけ、新規投資及び責任限定のない契約に対する内部承認が含まれ、また、当該手続は、リスクの性質及び蓋然性を認識し、潜在的な影響を定量化し、HKTリミテッドの経営幹部に対して軽減要素を報告し、当該軽減要素並びに適切なリスクの保有、移転及び／又は資金調達に関する戦略を勧告することを目的としている。HKTリミテッドの内部監査部門もリスク管理体制を精査し、HKTリミテッドの監査委員会に対して定期的に報告書を作成する。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

本受益証券の申込人は、本受益証券及び本優先株式の双方につき申込みを行わなければならない、申込みにあたり、本受益証券１口当たりの募集価格及び本優先株式１株当たりの募集価格、すなわち本株式ステープル受益証券１口当たりの募集価格に、（いずれの場合も本株式ステープル受益証券の募集価格に対して）1.0%の仲介手数料、0.0027%の香港証券先物委員会取引賦課金及び0.005%の香港証券取引所取引手数料を加えた金額を支払わなければならない。

（２）【買戻し手数料】

該当事項なし。

本信託証書に基づき、かつ、本信託証書が効力を有している限り、本株式ステープル受益証券については、買戻し又は償還を明示的に認める具体的な規則が証券先物委員会により採用されるまで、HKTトラスト及びHKTリミテッドが買戻し又は償還を行うことはできない。よって、本株式ステープル受益証券の保有者は、自らの本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還を本トラスティ・マネジャーに要請することはできず、HKTトラスト及びHKTリミテッドは、自己の本株式ステープル受益証券を買い戻すことを認められていない。

2020年12月31日に終了した会計年度中において、HKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）、HKTリミテッド又はHKTリミテッドの子会社のいずれも、本株式ステープル受益証券を購入、売却又は償還していない。

（３）【管理報酬等】

HKTトラストの管理に係る費用及び経費は、本信託財産から差し引くことができるが、その役割が具体的かつ限定的であることに応じて、本トラスティ・マネジャーは個別の管理手数料を受領しない。

（４）【その他の手数料等】

HKTトラストの費用

関連法令に反しない限りで、本トラスティ・マネジャーは、（本トラスティ・マネジャーが具体的な場合に依拠して決定する時期及び期間に）本信託証書に基づき義務を履行し若しくは権能を行使するにあたって適切に被り若しくは負担することのある、又はその他の本信託証書に起因する若しくは関連して生じる全ての負債、手数料、諸費用、負担並びに支出（本信託証書の別紙２に定める金員を含むが、これらに限らない。）に本信託財産を充当し又は本信託財産から補償を受ける権利を有するものとする。

（５）【課税上の取扱い】

① 日本における課税

日本の居住者又は日本法人である投資家に対する課税上の一般的取扱いは、以下の通りである。なお、以下の内容は外国金融商品市場に上場され、売買される公募の外国投資信託（所得税法第２条に規定する公社債投資信託及び公社債等運用投資信託に該当しないもの）並びに外国株式（以下「本株式ステープル受益証券」と総称する。）についての2021年４月30日現在施行の日本の税法に基づく取扱いであり、税法等が改正された場合は、以下の内容が変更になることがある。また、以下は国税当局の確認を得たものではなく、個々の投資家の固有の事情によっては、異なる取扱いがなされることがある。

日本の個人投資家（以下「個人投資家」という。）に対する課税

本株式ステープル受益証券は、税法上、上場株式等として取り扱われる。

（イ） 本株式ステープル受益証券の収益分配金に係る税務

個人投資家が国内の支払の取扱者を通じて支払を受ける本株式ステープル受益証券の収益分配金（外国所得税が課されている場合にはその金額を控除した金額）に対しては、20%（所得税15%及び住民税5%）の税率による源泉徴収が行われる。なお、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に生ずる収益分配金に課される所得税の額に対しては、2.1%の税率により復興特別所得税が課されるため、所得税及び住民税の額とあわせると、20.315%の税率により源泉徴収される。個人投資家は本株式ステープル受益証券の収益分配金の金額にかかわらず申告不要制度の選択が可能となり、源泉徴収のみで課税関係を終了することができる。個人投資家が確定申告を行う場合には、本株式ステープル受益証券の収益分配金は上場株式等に係る配当所得等として総合課税又は申告分離課税の対象となるが、総合課税を選択する場合でも配当控除の適用対象とはならない。本株式ステープル受益証券の収益分配金に源泉税等の外国所得税が課されている場合には、一定の条件のもと外国税額控除の対象とすることができるが、HKTトラストの投資対象に課された外国税については控除することができない。

本株式ステープル受益証券の収益分配金を含む上場株式等に係る配当所得等の金額について申告分離課税を選択した場合、上場株式等に係る配当所得等の金額に対し20%（所得税15%及び住民税5%）の税率が適用される。なお、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に生ずる上場株式等に係る配当所得等の金額に課される所得税の額に対しては、2.1%の税率により復興特別所得税が課される。また、個人投資家が申告分離課税を選択する場合には、上場株式等に係る配当所得等と上場株式等に係る一定の譲渡損失の金額との損益通算が可能である。

個人投資家が支払を受ける本株式ステープル受益証券の収益分配金については、金融商品取引業者等における源泉徴収選択口座（源泉徴収を選択した特定口座）内に受け入れることを選択できる。

2014年1月1日以後、金融商品取引業者等の営業所に開設した非課税口座（租税特別措置法第37条の14第5項第1号に定める口座をいう。）内において管理されている上場株式等のうち、非課税管理勘定（租税特別措置法第37条の14第5項第3号に定めるものをいう。）に係るもの（2014年1月1日から2023年12月31日までの10年間、それぞれその年中に受け入れた取得対価の額の合計額が100万円（2016年1月1日以後に設けられる非課税管理勘定に係るものについては120万円）を超えないもの等一定のものに限る。）及び特定非課税管理勘定（租税特別措置法第37条の14第5項第8号に定めるものをいう。）に係るもの（2024年1月1日から2028年12月31日までの5年間、それぞれの年中に受け入れた取得対価の額の合計額が102万円を超えないもの等一定のものに限る。）の配当等で、非課税口座に非課税管理勘定及び特定非課税管理勘定を設けた日から同日の属する年の1月1日以後5年を経過する日までの間に支払を受けるべきものについては、所得税及び住民税が課されない。なお、非課税口座を開設できるのは、その年の1月1日において満20歳以上（2023年1月1日以後は満18歳以上）の個人投資家に限られる。

2016年4月1日以後、金融商品取引業者等の営業所に開設した未成年者口座（租税特別措置法第37条の14の2第5項第1号に定める口座をいう。）内において管理されている上場株式等のうち、非課税管理勘定（租税特別措置法第37条の14の2第5項第3号に定めるものをいう。）に係るもの（2016年4月1日から2023年12月31日までの期間、それぞれの年中に受け入れた取得対価の額の合計額が80万円を超えないもの等一定のものに限る。）の配当等で、未成年者口座に非課税管理勘定を設けた日から同日の属する年の1月1日以後5年を経過する日までの間に支払を受けるべきものについては、所得税及び住民税が課されない。なお、未成年者口座を開設できるのは、その年の1月1日において満20歳未満（2023年は満18歳未満）である個人投資家又は年中に出生した個人投資家に限られる。

個人投資家が本株式ステープル受益証券の収益分配金を国内の支払の取扱者を経ないで支払を受ける場合、源泉税は課されないが、確定申告が必要となり、配当所得として総合課税又は申告分離課税の対象となる。

（ロ） 本株式ステープル受益証券の譲渡損益に係る税務

個人投資家が本株式ステープル受益証券を譲渡して譲渡益が生じた場合は、上場株式等に係る譲渡所得等として20%（所得税15%及び住民税5%）の税率による申告分離課税の対象となる。なお、2013年1月1日から2037年12月31日までの各年分の上場株式等に係る譲渡所得等に課される所得税の額に対しては、2.1%の税率により復興特別所得税が課される。

個人投資家が本株式ステープル受益証券を譲渡して譲渡損失が生じた場合は、申告分離課税の適用上、他の上場株式等に係る譲渡益との通算は認められるが、上場株式等に係る譲渡所得等の合計額が損失となった場合は、原則としてその損失は他の所得と通算することはできない。但し、日本の金融商品取引業者等を通じて本株式ステープル受益証券を譲渡した場合等には、以下の特例の対象となる。

- （i） 本株式ステープル受益証券の譲渡により生じた譲渡損失のうち、その譲渡の日の属する年分の上場株式等に係る譲渡所得等の金額の計算上控除しきれない金額は、一定の条件のもとにその年の翌年以後3年内の各年分の上場株式等に係る譲渡所得等の金額・上場株式等に係る配当所得等の金額から繰越控除することが認められる。
- （ii） 本株式ステープル受益証券の譲渡により生じた譲渡損失のうち、その譲渡の日の属する年分の上場株式等に係る譲渡所得等の金額の計算上控除しきれない金額は、申告を要件に当該損失をその年分の上場株式等に係る配当所得等の金額（申告分離課税を選択したものに限り。）から控除することが認められる。

本株式ステープル受益証券は特定口座制度の対象となる。個人投資家が金融商品取引業者等に特定口座を開設し、その特定口座に保管されている本株式ステープル受益証券を含む上場株式等に係る譲渡所得等について「特定口座源泉徴収選択届出書」を提出した場合には、一定の要件のもとに本株式ステープル受益証券の譲渡に係る所得について譲渡対価の支払の際に源泉徴収がなされ、申告不要制度の選択が可能となる。源泉税率は、20%（所得税15%及び住民税5%）となる。なお、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に生ずる上場株式等に係る譲渡所得等に課される所得税の額に対しては、2.1%の税率により復興特別所得税が課されるため、所得税及び住民税の額とあわせると、20.315%の税率により源泉徴収される。

個人投資家が金融商品取引業者等における特定口座の源泉徴収選択口座内に本株式ステープル受益証券の収益分配金を含む上場株式等の配当等を受け入れることを選択した場合において、その源泉徴収選択口座における本株式ステープル受益証券を含む上場株式等に係る譲渡損益を通算して譲渡損失が残ったときは、その源泉徴収選択口座における上場株式等の配当等の総額から当該譲渡損失の金額が控除され、控除後の配当等の金額に源泉徴収税率を乗じた金額へと源泉徴収税額が調整される。

2014年1月1日以後、金融商品取引業者等の営業所に開設した非課税口座内において管理されている上場株式等のうち、非課税管理勘定及び特定非課税管理勘定に係るものについて、非課税口座に非課税管理勘定及び特定非課税管理勘定を設けた日から同日の属する年の1月1日以後5年を経過する日までの間に、金融商品取引業者等への売委託による方法等により上場株式等の譲渡をした場合には、当該譲渡による譲渡所得等については、所得税及び住民税が課されない。なお、非課税口座を開設できるのは、その年の1月1日において満20歳以上（2023年1月1日以後は満18歳以上）である個人投資家に限られる。

2016年4月1日以後、金融商品取引業者等の営業所に開設した未成年者口座内において管理されている上場会社株式等のうち、非課税管理勘定に係るものについて、未成年者口座に非課税管理勘定を設けた日から同日の属する年の1月1日以後5年を経過する日までの間に、金融商品取引業者等への売委託による方法等により上場会社株式の譲渡をした場合には、当該譲渡による譲渡所得等については、所得税及び住民税が課されない。なお、未成年者口座を開設できるのは、その年の1月1日において満20歳未満（2023年は満18歳未満）である個人投資家又はその年中に出生した個人投資家に限られる。

（ハ） タックス・ハイブン対策税制

日本の法人投資家及び個人投資家（これらと特殊関係のある非居住者を含む。）等が、本株式ステープル受益証券の総口数の50%超を直接及び間接に保有する場合、HKTトラスト等の所得が日本の課税対象となる可能性がある。すなわち、本株式ステープル受益証券の総口数のうち10%以上の口数を直接及び間接に保有する個人投資家においては、HKTトラスト等の所得のうち当該個人投資家の有する本株式ステープル受益証券の口数に対応する部分の金額について、当該個人投資家の所得に合算して課税される可能性がある。

日本の法人投資家（以下「法人投資家」という。）に対する課税

（イ） 本株式ステープル受益証券の収益分配金に係る税務

法人投資家が国内の支払の取扱者を通じて支払を受ける本株式ステープル受益証券の収益分配金（外国所得税が課されている場合にはその金額を控除した金額）に対しては、15%の税率による源泉徴収が行われる。なお、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に生ずる収益分配金に課される所得税の額に対しては、2.1%の税率により復興特別所得税が課されるため、所得税の額とあわせると、15.315%の税率により源泉徴収される。

法人投資家が本株式ステープル受益証券の収益分配金を国内の支払の取扱者を経ないで支払を受ける場合、源泉税は課されない。

本株式ステープル受益証券の収益分配金は法人税法上の所得金額の計算上、益金の額に算入されるが、受取配当等の益金不算入の規定の適用はない。法人投資家は、本株式ステープル受益証券の収益分配金に課された源泉税について、収益分配金の支払を受けた事業年度の法人税額の計算上、元本所有期間に応じて控除又は還付を受けることができる。また、本株式ステープル受益証券の収益分配金に源泉税等の外国所得税が課されている場合には、一定の条件のもとに外国税額控除の対象とすることができるが、HKTトラストの投資対象に課された外国税については控除することができない。

（ロ） 本株式ステープル受益証券の譲渡に係る税務

法人投資家が本株式ステープル受益証券を譲渡した場合に生ずる譲渡損益は、譲渡の日の属する事業年度の法人税法上の所得金額の計算上、益金又は損金に算入される。

（ハ） タックス・ハイブン対策税制

日本の法人投資家及び個人投資家（これらと特殊関係のある非居住者を含む。）等が、本株式ステープル受益証券の総口数の50%超を直接及び間接に保有する場合、HKTトラスト等の所得が日本の課税対象となる可能性がある。すなわち、本株式ステープル受益証券の総口数のうち10%以上の口数を直接及び間接に保有する法人投資家においては、HKTトラスト等の所得のうち当該法人投資家の有する本株式ステープル受益証券の口数に対応する部分の金額について、当該法人投資家の所得に合算して課税される可能性がある。

② 外国における課税

A. 香港におけるHKTトラストへの課税

収益税

香港において発生し又は香港においてHKTトラストが得た利益は、通常、現在16.5%の税率で、香港の収益税の課税対象となる。HKTトラストがHKTリミテッドから得た配当収入は香港の収益税から控除される。

印紙税

本株式ステープル受益証券の新規発行について、HKTトラストはいかなる香港の印紙税の支払義務も負わない。

B. 香港におけるHKTリミテッドへの課税

収益税

HKTリミテッドは、香港において発生し又は香港において得た利益に関して、現在16.5%の税率で、香港の収益税の課税対象となる。HKTリミテッドがその子会社から得た配当収入は香港の収益税から控除される。

C. 香港における本トラスティ・マネジャーへの課税

収益税

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストに対する経営管理サービスの提供により得た利益に関して、現在16.5%の税率で、香港の収益税の課税対象となる。

D. 香港における本株式ステープル受益証券保有者への課税

収益税

HKTリミテッドが税務顧問から取得した法律上の見解によると、香港内国歳入局の現在の実務のもとでは、一般的に他の香港上場ユニット・トラストによる分配の際、受益証券保有者には香港の収益税の支払義務はないと理解されている。本株式ステープル受益証券保有者は、各自の特定の税務上の状況について、各自の専門家である顧問から助言を得るべきである。

本株式ステープル受益証券の売却又はその他の処分から生じたキャピタル・ゲインについて、本株式ステープル受益証券保有者（香港において取引、職業又は事業を行い、取引を目的として本株式ステープル受益証券を保有している本株式ステープル受益証券保有者を除く。）は香港の収益税の支払義務を負わない。

印紙税

香港内国歳入局から取得した見解に基づくと、本株式ステープル受益証券（それぞれ本受益証券、本普通株式及び本優先株式からなる。）の売買についてのみ、当該売買が香港証券取引所内外のいずれで行われるかにかかわらず、売却又は購入される本株式ステープル受益証券の売買対価又は当該本株式ステープル受益証券の公正価値のいずれか高い方の現在0.2%の税率（立法手続が完了することを前提として、印紙税の税率は2021年8月1日から0.26%に上昇する。）で、香港の印紙税が生じる。本株式ステープル受益証券を売却する本株式ステープル受益証券保有者及び買主は、当該譲渡に際して支払義務のある香港の印紙税の半額をそれぞれ支払う責任を有する。さらに、本株式ステープル受益証券の譲渡証書について、現在、5香港ドルの固定税の支払義務がある。

相続税

香港の相続税は、2006年2月11日より廃止された。死亡時に本株式ステープル受益証券保有者が保有していた本株式ステープル受益証券に関して、本株式ステープル受益証券保有者により香港の相続税が支払われることはない。

5【運用状況】

(1)【投資状況】

(2020年12月31日現在)

資産の種類	地域	保有総額 (百万香港ドル)	投資比率 (%)
株式	香港 (注1)	— (注2)	— (注2)
現金及びその他の資産	—	—	—
純資産価額		37,900 (注3)	100

(注1) 本トラスティ・マネジャーが保有し、HKTトラスト及びHKTリミテッドが共同で発行した本株式ステープル受益証券の構成要素である本普通株式は香港証券取引所に上場されているが、交換権が行使されるまでは、本普通株式は本株式ステープル受益証券の形態でのみ取引される。

(注2) 本トラスティ・マネジャーが運用するHKTトラストは、単一の投資信託（固定型）として設立され、その活動はHKTリミテッドへの投資及びHKTリミテッドへの投資に必要若しくは望ましい又はHKTリミテッドへの投資に関連するいずれかの活動に限定されている。これは、HKTトラストによって、本信託証書の条項に従いHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格において本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式の実質的持分が本受益証券の名簿上の保有者に付与されていることを意味する。但し、本株式ステープル受益証券が香港証券取引所に上場されている限り、本株式ステープル受益証券の一部を成し、上場されている本普通株式の相場は個別に公表されないため、本普通株式の2020年12月31日現在の保有総額を算定することはできない。

なお、香港証券取引所における2020年12月31日現在での本株式ステープル受益証券7,575,742,334口の時価総額が本トラスティ・マネジャーの同日現在保有に係るHKTリミテッドの全発行済本普通株式7,575,742,334株の時価に等しいと仮定して算出した場合、本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式の2020年12月31日現在での保有総額は約76,211百万香港ドルである。

(注3) 当該純資産価額は、2020年12月31日現在における本グループの連結財務書類に基づくものである。

経営陣の報告及び分析

セグメント別による財務報告

12月31日に終了した会計年度 (百万香港ドル)	2019年			2020年			増加／（減少） (前年度比)
	上半期	下半期	通年	上半期	下半期	通年	
収益							
TSS	10,209	11,744	21,953	10,386	11,971	22,357	2%
モバイル	5,222	6,592	11,814	4,543	5,823	10,366	(12)%
－モバイル・サービス	3,881	4,533	8,414	3,573	4,184	7,757	(8)%
－モバイル製品売上	1,341	2,059	3,400	970	1,639	2,609	(23)%
有料テレビ	—	—	—	—	647	647	該当なし
その他の事業	103	133	236	106	135	241	2%
相殺消去	(425)	(475)	(900)	(429)	(793)	(1,222)	(36)%
総収益	15,109	17,994	33,103	14,606	17,783	32,389	(2)%
総収益 (モバイル製品売上を除く)	13,768	15,935	29,703	13,636	16,144	29,780	0%
売上原価	(6,950)	(8,837)	(15,787)	(6,941)	(8,762)	(15,703)	1%
減価償却費、償却費及び有形固定資産の処分による利益/(損失)(純額)控除前の営業費	(2,426)	(2,073)	(4,499)	(2,119)	(2,040)	(4,159)	8%
EBITDA (注1)							
TSS	3,828	4,532	8,360	3,801	4,611	8,412	1%
モバイル	2,206	2,862	5,068	2,050	2,697	4,747	(6)%
－モバイル・サービス	2,222	2,879	5,101	2,057	2,639	4,696	(8)%
－モバイル製品売上	(16)	(17)	(33)	(7)	58	51	該当なし
有料テレビ	—	—	—	—	174	174	該当なし
その他の事業	(301)	(310)	(611)	(305)	(501)	(806)	(32)%
総EBITDA (注1)	5,733	7,084	12,817	5,546	6,981	12,527	(2)%
TSS EBITDA (注1)	37%	39%	38%	37%	39%	38%	
マージン							
モバイルEBITDA (注1)	42%	43%	43%	45%	46%	46%	
マージン							
－モバイル・サービス	57%	64%	61%	58%	63%	61%	
EBITDA (注1) マージン							
有料テレビEBITDA (注1)	—	—	—	—	27%	27%	
マージン							
総EBITDA (注1) マージン	38%	39%	39%	38%	39%	39%	
総EBITDA (注1) マージン (モバイル製品売上を除く)	42%	45%	43%	41%	43%	42%	
減価償却費及び償却費	(2,371)	(2,750)	(5,121)	(2,491)	(2,850)	(5,341)	(4)%
有形固定資産の処分による利益/(損失)(純額)	1	(3)	(2)	2	—	2	該当なし
その他の利益/(損失)(純額)	1	2	3	(50)	411	361	>500%
財務費用(純額)	(662)	(710)	(1,372)	(658)	(638)	(1,296)	6%
関連会社及び共同支配企業の損益に対する持分	(23)	(28)	(51)	(30)	(49)	(79)	(55)%
税引前利益	2,679	3,595	6,274	2,319	3,855	6,174	(2)%

調整資金収支（注3）

12月31日に終了した会計年度 （百万香港ドル）	2019年			2020年			増加／（減少） （前年度比）
	上半期	下半期	通年	上半期	下半期	通年	
総EBITDA（注1）	5,733	7,084	12,817	5,546	6,981	12,527	(2)%
資本的支出、顧客獲得 コスト及び免許料について 控除されるキャッシュ・ アウトフロー（注2）							
資本的支出	(1,292)	(1,350)	(2,642)	(1,169)	(1,208)	(2,377)	10%
顧客獲得コスト及び 免許料	(401)	(796)	(1,197)	(411)	(921)	(1,332)	(11)%
履行コスト	(273)	(222)	(495)	(289)	(228)	(517)	(4)%
使用権資産	(849)	(795)	(1,644)	(764)	(826)	(1,590)	31%
税金支払額、正味財務費用 支払額及び運転資本変動額 控除前の調整資金収支（注3）	2,918	3,921	6,839	2,913	3,798	6,711	(2)%
調整額							
正味財務費用支払額	(473)	(420)	(893)	(378)	(372)	(750)	16%
税金支払額	(185)	—	(185)	(149)	(367)	(516)	(179)%
運転資本変動額	12	(444)	(432)	(106)	45	(61)	86%
調整資金収支（注3）	2,272	3,057	5,329	2,280	3,104	5,384	1%
本株式ステーブル受益証券 1口当たりの年間調整資金 収支（香港セント）（注4）			70.38			71.07	

主たる事業（注5）

	2019年		2020年		増加／（減少） （前年度比）
	上半期	下半期	上半期	下半期	
稼働中の交換回線（千）	2,616	2,598	2,564	2,522	(2.9)%
業務用回線（千）	1,247	1,240	1,227	1,212	(2.3)%
住居用回線（千）	1,369	1,358	1,337	1,310	(3.5)%
ブロードバンド・アクセス回線総数 （千）（個人、企業及び卸売顧客）	1,615	1,620	1,622	1,627	0.4%
小売消費者用ブロードバンド・ アクセス回線（千）	1,446	1,450	1,454	1,457	0.5%
小売業務用ブロードバンド・ アクセス回線（千）	158	159	157	160	0.6%
モバイル加入者（千）	4,592	4,679	4,372	4,605	(1.6)%
後払い加入者（千）	3,247	3,250	3,250	3,252	0.1%
前払い加入者（千）	1,345	1,429	1,122	1,353	(5.3)%
有料テレビ設置基盤（千）	—	—	—	1,348	該当なし
ザ・クラブ会員（千）	2,845	2,953	3,043	3,178	7.6%
タッチ&ゴー（Tap & Go）の 稼働中のアカウント（千）	2,086	2,476	2,629	2,744	10.8%

（注1） EBITDAは受取利息、財務費用、法人所得税、減価償却費及び償却費、有形固定資産、借地権、使用権資産及び無形資産の処分に係る損益、その他の損益（純額）、有形固定資産に係る損失、再編費用、のれん、有形資産及び無形資産並びに関連会社及び共同支配企業に対する持分に係る減損損失、並びに関連会社及び共同支配企業の損益に対する本グループの持分考慮前の利益を表している。EBITDAは世界の電気通信業界で業績、レバレッジ及び流動性の指標として一般的に使用されているが、香港財務報告基準に準拠した業績指標として表示したものではなく、正味営業キャッシュ・フローに相当するものとみなしてはならない。本グループのEBITDAの計算結果は、同様の名称をもつ他社の指標と比較することはできない可能性がある。

（注2） 本グループの資本的支出は、有形固定資産の増設及び借地権である。履行コスト及び使用権資産はそれぞれ、調整資金収支の計算において、顧客獲得コスト及び資本的支出の一部とみなされる。

（注3） 調整資金収支の定義は、資本的支出、顧客獲得コスト及び免許料支払額、税金支払額、財務費用支払額並びに利息支払額を控除し、受取利息額及び運転資本変動額を調整した後のEBITDAである。調整資金収支は香港財務報告基準に準拠したレバレッジ又は流動性の指標として表示されているものではなく、香港財務報告基準に基づき得られる正味キャッシュ・フロー若しくはその他類似の指標又は営業キャッシュ・フロー若しくは流動性の指標に代わるものとみなすべきではない。本グループの調整資金収支は、本グループの監査済連結財務書類からの財務情報を使用し、上記の定義に従って計算されたものである。調整資金収支は債務の返済に使用される可能性がある。

（注4） 本株式ステープル受益証券1口当たりの年間調整資金収支は、当会計年度における調整資金収支を各会計年度末現在の発行済本株式ステープル受益証券の数で除して算出したものである。

（注5） 記載される数値は期末時点におけるものである。

（注6） 負債総額は、短期借入金及び長期借入金の元本額をいう。

TSS

12月31日に終了した会計年度 (百万香港ドル)	2019年			2020年			増加／（減少） (前年度比)
	上半期	下半期	通年	上半期	下半期	通年	
TSS収益							
地域電話サービス	1,612	1,648	3,260	1,532	1,552	3,084	(5)%
ローカル・データ・サービス	3,619	4,168	7,787	3,696	4,521	8,217	6%
国際電気通信サービス	3,440	3,906	7,346	3,764	3,880	7,644	4%
その他のサービス	1,538	2,022	3,560	1,394	2,018	3,412	(4)%
総TSS収益	10,209	11,744	21,953	10,386	11,971	22,357	2%
売上原価	(4,864)	(5,975)	(10,839)	(5,346)	(6,539)	(11,885)	(10)%
減価償却費及び償却費控除前 営業費	(1,517)	(1,237)	(2,754)	(1,239)	(821)	(2,060)	25%
総TSS EBITDA (注1)	3,828	4,532	8,360	3,801	4,611	8,412	1%
TSS EBITDA (注1) マージン	37%	39%	38%	37%	39%	38%	

当会計年度において、TSSは、その強固な基盤を活用し、収益が前会計年度の21,953百万香港ドルから2%増の22,357百万香港ドルとなった。

地域電話サービス 地域電話サービスの収益は、前会計年度の3,260百万香港ドルに対し、2020年12月31日に終了した会計年度では3,084百万香港ドルとなった。2020年12月末現在において稼働中の固定回線総数は、前会計年度末の2.598百万回線に対し、2.522百万回線であった。かかる減少は、主に、当会計年度中における中小企業の閉鎖及び経営合理化による事業用回線の減少に伴い、域内固定回線顧客が本グループのブロードバンド及びモバイル・サービスへ引き続き移行したことによるものであった。

ローカル・データ・サービス ブロードバンド・ネットワークの収益及びローカル・データの収益で構成されるローカル・データ・サービスの収益は、2020年12月31日に終了した会計年度において6%増の8,217百万香港ドルとなった。

ブロードバンド・ネットワークの収益は、13会計年度連続で成長した。熾烈な価格競争にもかかわらず、ブロードバンド・アクセス回線の合計数は、2020年度末までに2019年12月末現在の1.62百万回線から1.627百万回線に微増した。これらのブロードバンド・アクセス回線のうち、892,000回線はFTTH分野に属するものであったが、これは、前会計年度から59,000回線又は7%の純増加であった。また、本グループのホームWi-Fiソリューションの普及率は、当会計年度において上昇を続け、本グループの全消費者用ブロードバンド基盤の21%超となり、顧客総数は前会計年度より7%増の307,000名に達した。これらの回線に伴う成長の中核となったのは、香港全体にわたるFTTHサービスの提供、「HKTプレミア（HKT Premier）」、「ネットビゲーター（NETVIGATOR）」及び「ライク100（Like100）」ブランドを通じたさまざまな市場セグメントへの対応、並びにホームWi-Fi及びスマート・リビング（Smart Living）等の質の高いサービス及び付加価値ソリューションの組み合わせ販売というHKTリミテッドの多方面からの戦略であった。また、この業績は、パンデミック下において顧客がより長時間自宅で過ごし、インターネットにより多くの時間を費やしたことによって生じた信頼できるブロードバンド・サービス及び関連ソリューションに対する需要の急増を色濃く反映している。

リモート・オフィスというニューノーマルにより、業務継続性を確保したい企業顧客からの帯域幅要求が高まり、これはローカル・データ・サービスの収益の大幅な成長を支えた。ローカル・データ・サービスの収益の成長の一部は、本グループがその企業顧客のデジタルトランスフォーメーションの過程の一環としてのクラウドへの移行を支援した民間部門プロジェクト及び香港のスマート・モビリティへの意欲の鍵となる香港政府プロジェクトの提供によってもたらされた。

国際電気通信サービス 2020年12月31日に終了した会計年度における国際電気通信サービスの収益は、前会計年度の7,346百万香港ドルから4%増の7,644百万香港ドルとなった。国際音声ホールセール事業からの収益の増加及び世界的なロックダウンに起因するデータ・コネクティビティ・サービスに対する需要の増加という2つの要素がこの成長の主な貢献要因であった。

その他のサービス その他のサービスの収益は、主として、ネットワーク機器及びCPEの販売、並びにテクニカル及びメンテナンスに関する請負サービス並びにテレサービスの提供から得られる。全般的な景気減退に起因するCPE売上の減少及びプロジェクトの遅延により、2020年12月31日に終了した会計年度におけるその他のサービスの収益は、4%減の3,412百万香港ドルとなった。

当会計年度中に実施されたさらなる経営効率化及び費用管理策への継続的な注力が収益構成の転換により一部相殺されたことに起因して、TSS EBITDAは、1%増の8,412百万香港ドルとなった。EBITDAマージンは、38%と安定した水準を維持した。

モバイル

12月31日に終了した会計年度 (百万香港ドル)	2019年			2020年			増加／（減少） (前年度比)
	上半期	下半期	通年	上半期	下半期	通年	
モバイル収益							
モバイル・サービス	3,881	4,533	8,414	3,573	4,184	7,757	(8)%
モバイル製品売上	1,341	2,059	3,400	970	1,639	2,609	(23)%
総モバイル収益	5,222	6,592	11,814	4,543	5,823	10,366	(12)%
モバイルEBITDA (注1)							
モバイル・サービス	2,222	2,879	5,101	2,057	2,639	4,696	(8)%
モバイル製品売上	(16)	(17)	(33)	(7)	58	51	該当なし
総モバイルEBITDA (注1)	2,206	2,862	5,068	2,050	2,697	4,747	(6)%
モバイルEBITDA (注1) マージン	42%	43%	43%	45%	46%	46%	
モバイル・サービス EBITDA (注1) マージン	57%	64%	61%	58%	63%	61%	

激しい競争の真ただ中において、2020年度下半期のモバイル事業の後払い顧客基盤は、上半期と比べてわずかに増加し、3.252百万名となった。当会計年度中に、後払い顧客の乗換率はさらに減少して0.9%となった。この乗換率の改善は、円滑な顧客体験を生み出し、より有効なデジタル・マーケティングを実現するために本グループのロイヤルティ・プラットフォームであるザ・クラブを活用している本グループの顧客獲得戦略の有効性を証明している。2020年度末現在、264,000名の顧客が本グループの5Gサービスを契約している。消費者心理の低迷及び限定的な端末の選択肢（5Gその他）という要素の組み合わせにより、モバイル製品売上は鈍り、前会計年度の3,400百万香港ドルから2,609百万香港ドルに減少した。様々な予算に適合するより多種類の5G端末が2021年度に発売されることにより、5Gの採用がさらに促進され、願わくば、モバイル製品売上が再び増加することが期待される。

香港発着の航空便が停止され、国境を越える交通量が大幅に減少したことにより、本グループのローミング収益は下落した。その結果、モバイル・サービス収益は、前会計年度の8,414百万香港ドルから7,757百万香港ドルに減少した。しかしながら、当会計年度中のモバイル・サービス収益の中核的な域内部分は、5Gプランへの顧客のアップグレードによる利益が、市場のローエンド・セグメントにおける継続的な価格競争を相殺したことを反映して、安定した水準を維持した。

2020年12月現在における後払いエグジットARPUは、2020年6月の181香港ドルに対して184香港ドルとなった。この成長は、主に5GのARPUの向上によってもたらされ、ローエンドの市場における熾烈な競争がなければより高い成長になったと思われる。

当会計年度におけるモバイル・サービスのEBITDAは、4,696百万香港ドルに減少した。その一方で、マージンは、ネットワーク費用の節減及び広告宣伝費や販売促進費の削減によって営業費用が減少したことにより、61%の安定した水準を維持した。当会計年度の総モバイルEBITDAは、前会計年度の5,068百万香港ドルから6%減の4,747百万香港ドルとなった。しかしながら、モバイル製品売上が減少要因となり、マージンは、前会計年度の43%から46%に改善した。

有料テレビ

PCCW社から本グループへのNow TV事業の譲渡は2020年9月30日に完了した。この事業は、譲渡完了日から2020年12月31日までの3ヶ月間で647百万香港ドルの収益を生み出した。全般的には、主に、当会計年度の大半における世界中でのスポーツイベントの中止及びテレビでスポーツの生中継をストリーミング配信するバーやパブの断続的な閉鎖により、収益は軟調であった。それにもかかわらず、ホテルやオフィスからの新規申込み、並びに特に第4四半期の広告収益及びNow E（デジタル世代の人々及びモバイル人口を対象とするストリーミング・サービス）の収益の両方における成長があり、本グループが巻き返しを図る一助となった。2020年12月31日現在、Now TVの設置基盤は、1.348百万個であった。

3ヶ月間のEBITDAは、コンテンツ費用の合理化及び経営効率の改善による追い風を受け、174百万香港ドルとなり、マージンは27%であった。

Now TV事業は、パンデミックにより延期されたUEFA EURO 2020TMの独占放送が大いに期待され、2021年度に勢いを盛り返すことが予測される。スポーツの他に、当会計年度のNow TVの非常に素晴らしいコンテンツ・スレートには、一連の香港の視聴者の関心を惹く自己監修コンテンツ及び最近開始されたNow Trueによる最新のコンテンツが含まれる。2020年度後半における5件までのユーザープロファイルを支援する新しいホームページの作成及び個別のプログラム推奨により、顧客体験は次の段階に進むと思われる。本グループは、テレビによるかNow Playerアプリケーションによるかにかかわらず家族内の3名までが同時にNow TVのコンテンツにアクセスできるようにすることにより、1件の利用契約の価値をさらに高めている。また、Now TVは、HKTリミテッドのロイヤルティ・プラットフォームであるザ・クラブも新たに活用しており、新規利用契約又は契約更新についてクラブポイント（Clubpoint）を提供することにより、顧客を惹きつけて獲得する。さらに、アジア、ハリウッド及びスポーツのコンテンツについて柔軟な価格設定を提供することにより、Now Eは、Now TV事業の勢いを押し上げられると思われる。これは、Now TV事業はHKTリミテッド内でより深く一体化しているためである。

その他の事業

その他の事業は、主に、ザ・クラブ及びHKTフィナンシャル・サービスズ（HKT Financial Services）等の新規事業分野並びに法人サポート機能から構成されており、2020年12月31日に終了した会計年度において、前会計年度の236百万香港ドルに対し、241百万香港ドルの安定した収益を記録した。ザ・クラブの会員基盤は、前会計年度の2.95百万アカウントから8%増の3.18百万アカウントとなった。ザ・クラブは、連携パートナー及び償還項目の範囲を拡大し、新規会員を呼び込むだけでなく、HKTリミテッドの顧客獲得の支援においても成功を収めた。

相殺消去

2020年12月31日に終了した会計年度における相殺消去は、前会計年度の900百万香港ドルに対して1,222百万香港ドルであった。これは、全ての本グループの事業セグメント間での共同業務が増加したことを反映している。

売上原価

2020年12月31日に終了した会計年度の売上原価は、主に、モバイル製品売上に関連する費用の減少が国際音声の収益の確保及び企業プロジェクトの実行において発生した費用の増加によって一部相殺されたことにより、1%減の15,703百万香港ドルとなった。

一般管理費

2020年度において、本グループは、本グループの業績に対する困難な市況の影響を緩和するためにいくつかの措置を講じた。かかる措置には、経営効率の改善のためのビジネス・プロセスのデジタル化及び流通効率の向上のためのオンライン・トゥ・オフラインの販売チャネルの最適化が含まれていた。広告宣伝及び販売促進並びに旅行や娯楽に対する支出の減少、並びに政府の感染症に対抗する救済措置も、本グループの費用を引き続き減少させた。

結果として、2020年12月31日に終了した会計年度において、本グループは、営業費用の8%の削減を達成し、営業費用は前会計年度の4,499百万香港ドルから4,159百万香港ドルとなった。したがって、全般的な収益に占める営業費用の割合は、前会計年度の13.6%に対し、12.8%に改善した。

減価償却費は、当会計年度において2%減少した。償却費は、4月の商用サービス開始後の5Gスペクトラムのライセンスの償却、並びに顧客体験の強化のためのバックエンドの事業化可能なプラットフォームへの継続的な投資により、11%増加した。その結果、2020年12月31日に終了した会計年度の減価償却費及び償却費の合計は、4%増の5,341百万香港ドルとなった。

上記の結果、2020年12月31日に終了した会計年度における一般管理費は、前会計年度の9,622百万香港ドルに対し、1%減の9,498百万香港ドルとなった。

EBITDA (注1)

2020年12月31日に終了した会計年度における総EBITDAは、2%減少して12,527百万香港ドルとなった。総EBITDAマージンは、本グループの業績に対する不利な外的環境の影響を軽減するために講じた費用管理策の有効性を反映して、39%を維持した。モバイル製品売上を除いた当会計年度のEBITDAマージンは、42%と安定した水準を維持した。

その他の利益（純額）

2020年12月31日に終了した会計年度のその他の利益（純額）は、361百万香港ドルであったが、これは、主としてNow TVの取得及び米国のテレサービス事業を含む非中核事業の売却による会計損益を表している。

財務費用（純額）

2020年12月31日に終了した会計年度の正味財務費用は、主として当会計年度中の実勢HIBORが低下したことにより、前会計年度の1,372百万香港ドルから6%減少して1,296百万香港ドルとなった。平均債務コストは、前会計年度の3.2%に対し、当会計年度は2.9%に減少した。本グループは、変動金利債務の固定金利債務に対する比率を最適化するため、引き続き金利の状況を注意深く監視していく。

法人所得税

2020年12月31日に終了した会計年度に係る法人所得税費用は、前会計年度が1,037百万香港ドルであったのに対して、855百万香港ドルとなった。当会計年度の実効税率は、主として税効果による便益並びに当会計年度中に認識された一定のキャピタル・ゲイン及び非課税利益により、前会計年度の16.5%に対して、13.8%であった。

非支配持分

16百万香港ドル（2019年度：20百万香港ドル）の非支配持分は、主にサン・モバイル・リミテッド（Sun Mobile Limited）の少数株主に帰属する純利益から構成されている。

本株式ステープル受益証券／本株式の保有者に帰属する利益

2020年12月31日に終了した会計年度の本株式ステープル受益証券／本株式の保有者に帰属する利益は、2%増加して5,303百万香港ドル（2019年度：5,217百万香港ドル）となった。

流動性及び資本源

本グループは、株主の収益と健全な資本基盤とのバランスを維持するために、自己の資本構造を積極的かつ定期的に精査し、管理する。経済状況の変化を踏まえた最適な資本構成を維持し、資本コストを削減するために、必要に応じて調整が行われる。

本グループの負債総額（注6）は、2020年12月31日現在において42,493百万香港ドル（2019年12月31日現在：40,713百万香港ドル）であった。現金及び短期預金は、2020年12月31日現在において合計で2,630百万香港ドル（2019年12月31日現在：2,903百万香港ドル）であった。2020年12月31日現在、総資産に対して本グループの負債総額（注6）が占める割合は、41%（2019年12月31日現在：41%）であった。

2020年12月31日現在において、総額30,007百万香港ドルの銀行融資枠から分かる通り、本グループは十分な流動性を有していた。このうち9,069百万香港ドルは、未使用であった。

香港テレコム社の信用格付け

2020年12月31日現在、HKTリミテッドの間接完全子会社である香港テレコム社の投資適格格付けは、ムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's Investors Service）の（Baa2）及びS&Pグローバル・レーティング（S&P Global Ratings）の（BBB）であった。

資本的支出（注2）

2020年12月31日に終了した会計年度の資本的支出（資産化利子を含む。）は、2,437百万香港ドル（2019年度：2,702百万香港ドル）であった。2020年12月31日に終了した会計年度の収益に占める資本的支出の割合は、7.5%（2019年度：8.2%）であった。

2020年度において、本グループのモバイル事業の資本的支出は一定の水準を維持したが、これは、4Gネットワークに係るこれまでの支出に代わって、5Gの展開及び重要なインフラの強化に係る支出が計上されたためである。当会計年度において、これまでになされた大規模な域内ファイバー・バックボーン及び国際ケーブルに対する投資を反映して、TSSの資本的支出の必要性は小さくなった。

本グループは市況の実勢を考慮し、かつ内部利益比率、正味現在価値及び返済期間を含む評価基準を用いて、既存の事業を支援し、新たな分野での成長を可能にするためのデジタル機能の構築に引き続き投資し、5Gネットワークの構築に慎重に投資する。

調整資金収支（注3）

2020年12月31日に終了した会計年度に係る調整資金収支は、2019年12月31日に終了した会計年度の5,329百万香港ドルから1%増の5,384百万香港ドルとなった。EBITDAは、若干減少したものの、より規律ある設備投資の10%の減少及び本グループの小売店舗の継続的な合理化に伴う賃料支払額の節減によって相殺された。2020年4月1日の5Gネットワークの開始及び2020年9月30日のNow TVの統合により生じた顧客獲得費用及びライセンス費用は増加した。また、当会計年度中の正味財務費用は16%減少した。税金支払額及び運転資本変動額は、前会計年度では課税査定の遅延を反映していたため、当会計年度中に標準化した。

調整資金収支の計算について表示されている金額は、当会計年度における本グループに対するそれぞれのキャッシュ・フローを示しているが、連結損益計算書における非現金項目の計上及び会計上の認識と実際のキャッシュ・フローとの間の時間差等のさまざまな理由により、連結損益計算書に計上されている関連の対応する金額とは異なる場合がある。

ヘッジ

市場リスクは、投資及び借入金に関連する外貨及び金利のエクスポージャーより生じる。本グループは方針上、営業及び財務に直接の関連のある市場リスクを引き続き管理し、投機目的のデリバティブ取引活動を行わない。HKTリミテッド取締役会の執行委員会の小委員会である財務管理委員会は、本グループの通常の業務過程で締結される取引に関連した市場リスクを慎重に管理することを目的として、適切なリスク管理活動を決定している。全ての財務リスク管理活動は、財務管理委員会が承認した方針及び指針（定期的に見直される。）に従い実施されている。

3四半期を超える期間にわたって、本グループの連結収益及び費用は香港ドル建てとなっている。外貨建ての収益を有する事業については、通常、関連費用は同一の外貨建てとなっており、互いにナチュラルヘッジしている。したがって、本グループは、事業からの重大な為替変動リスクには晒されていない。

資金調達に関して、本グループの負債の大部分は、米ドルを含む外貨建てとなっている。したがって、本グループは、外国為替相場及び金利の不利な変動に対するエクスポージャーを管理することを目的として、先渡契約及びスワップ契約を締結している。これらの商品は、信用力の高い金融機関と締結されている。2020年12月31日現在、先渡契約及びスワップ契約の大部分は、本グループの関連する借入金のためのキャッシュ・フロー・ヘッジとして指定されていた。

その結果、本グループに対するこれらの事業上及び財務上のリスクは重要でないと考えられる。

資産に係る担保権

2020年12月31日現在、いかなる本グループの資産にも、本グループのローン及び銀行融資枠を確保するための担保権は付されていない（2019年度：なし）。

偶発債務

12月31日現在（百万香港ドル）	2019年	2020年
契約履行保証	740	955
その他	63	18
	803	973

本グループは、通常の業務過程において、その子会社の履行を保証する目的で特定の企業保証債務を引き受けている。かかる債務から生じる負債額（もしあれば）を確定することはできないが、本取締役は、結果として生じるいかなる債務も本グループの財政状態に重要な影響を及ぼさないであろうとの見解を示している。

人事

2020年12月31日現在、本グループは、48の国及び都市に16,300名超の従業員を有する（2019年度：17,500名）。これらの従業員の約67%は香港で勤務しており、その他の者は主に中国本土、フィリピン、米国及び英国で勤務している。本グループは、業績目標を達成するため、全てのレベルの従業員を動機付けし、報いるための業績連動型賞与及びインセンティブ制度を確立している。業績連動型賞与の支払は通常、本グループ全体として及び個々の事業部として、並びに従業員の業績評価として、収益、EBITDA及びフリー・キャッシュ・フロー目標の達成に基づいている。

最終配当／分配

2020年12月31日に終了した会計年度について、（本信託証書に基づき認められる運営費の控除後における）本株式ステープル受益証券1口当たり40.97香港セントのHKTトラストによる最終分配（及びHKTトラストが当該分配の支払ができるよう、同会計年度に係る本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式に係る1株当たり40.97香港セントのHKTリミテッドによる最終配当）に関する普通決議が2021年5月7日に本株式ステープル受益証券保有者によって可決された。当該分配は、2021年5月に本株式ステープル受益証券保有者に対して支払われた。2020年6月30日に終了した6ヶ月に係る本株式ステープル受益証券1口／本普通株式1株当たり30.10香港セントの中間分配／配当は、2020年9月に本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者／本株主に対して支払われた。

本トラスティ・マネジャー取締役会は、本信託証書に基づき、（i）本トラスティ・マネジャーが算出した本株式ステープル受益証券1口当たりの当該分配金の審査及び認証を目的として、本グループの監査人は、香港公認会計士協会が発行した「過去の財務情報の監査及び審査以外のアシュアランス業務」に関して定めたアシュアランス業務香港基準3000（改定）に従って制限されたアシュアランスに係る手続を履行したこと、並びに（ii）本トラスティ・マネジャーは、当該分配がHKTトラストの名簿上の受益証券保有者に対して行われた直後から全ての合理的な問い合わせを行った上で、期限が到来したHKTトラストの債務を本信託財産から返済することができることを確認した。

（2）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

（2020年12月31日現在）

順位	発行体 名称	種類	地域	業種	数量	簿価		時価		投資 比率 (%)
						単価 (香港ドル)	総額 (香港ドル)	単価 (香港ドル)	総額 (百万香港ドル)	
1	HKTリミ テッド	普通 株式	香港 (注1)	電気通信 サービス・ プロバイダー	7,575,742,334	0.0005 (注2)	3,787,871 (注2)	— (注3)	— (注3)	100

（注1） 本トラスティ・マネジャーが保有し、HKTトラスト及びHKTリミテッドが共同で発行した本株式ステープル受益証券の構成要素である本普通株式は香港証券取引所に上場されているが、交換権が行使されるまでは、本普通株式は本株式ステープル受益証券の形態でのみ取引される。

（注2） 上記は、HKTリミテッドの発行済普通株式1株当たりの額面金額（2020年12月31日現在）を示したものである。

（注3） 本トラスティ・マネジャーが運用するHKTトラストは、単一の投資信託（固定型）として設立され、その活動はHKTリミテッドへの投資及びHKTリミテッドへの投資に必要若しくは望ましい又はHKTリミテッドへの投資に関連するいずれかの活動に限定されている。これは、HKTトラストによって、本信託証書の条項に従いHKTトラストのトラスティ・マネジャーとしての資格において本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式の実質的持分が本受益証券の名簿上の保有者に付与されていることを意味する。但し、本株式ステープル受益証券が香港証券取引所に上場されている限り、本株式ステープル受益証券の一部を成し、上場されている本普通株式の相場は個別に公表されないため、本普通株式の2020年12月31日現在の保有総額を算定することはできない。

なお、香港証券取引所における2020年12月31日現在での本株式ステープル受益証券7,575,742,334口の時価総額が本トラスティ・マネジャーの同日現在保有に係るHKTリミテッドの全発行済本普通株式7,575,742,334株の時価に等しいと仮定して算出した場合、本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式の2020年12月31日現在での保有総額は約76,211百万香港ドルである。

種類別投資比率

事業の種類	投資比率（％）
電気通信サービス	100
合計	100

②【投資不動産物件】

該当事項なし。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項なし。

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

第10会計年度の末日及び直近３会計年度末におけるHKTトラストの純資産価額及び１口当たりの純資産価額は以下の通りである。純資産価額及び１口当たりの純資産価額について第10会計年度の期中では正確に把握することが困難なため、各月末における推移は記載していない。

	純資産価額				１口当たりの純資産価額			
	百万 香港ドル (注１)	百万円 (注２)	百万 香港ドル	百万円 (注２)	香港ドル (注１)	円 (注２)	香港ドル	円 (注２)
第８会計年度期末 (2018年12月31日現在)	39,799	567,533	37,594 (注３)	536,090	5.2562	74.95	4.9650 (注３)	70.80
第９会計年度期末 (2019年12月31日現在)	40,242	573,850	37,970 (注４)	541,452	5.3147	75.78	5.0146 (注４)	71.50
第10会計年度期末 (2020年12月31日現在)	40,180	572,966	37,900 (注５)	540,454	5.3037	75.63	5.0028 (注５)	71.33

(注１) 上表における「純資産価額」及び「１口当たりの純資産価額」は、中間及び最終分配の金額であり、中間及び最終分配の純資産価額に基づき算定した本株式ステープル受益証券１口当たりの純資産価額である。

(注２) 当該数値は、株式会社三菱UFJ銀行が公表した2021年４月１日現在における対顧客電信直物売買相場の仲値である１香港ドル＝14.26円の換算率で日本円に換算されたものである。

（注３） 上表における「純資産価額」及び「１口当たりの純資産価額」は、中間分配落かつ最終分配の金額である。第８会計年度において、HKTトラストは、2018年９月に2,205百万香港ドルの中間分配金を本受益証券保有者に支払った。また、当該第８会計年度の終了後、HKTトラストは、2019年５月に2,966百万香港ドルの最終分配金を本受益証券保有者に支払った。貸借対照表の作成日以降に提案された当該最終分配／配当は、貸借対照表の作成日現在、負債として認識されていない。2019年６月27日に提出された有価証券報告書の「第一部－第３ ファンドの経理状況－１ 財務諸表－（１）貸借対照表－A、2018年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（６）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記15を参照のこと。

（注４） 上表における「純資産価額」及び「１口当たりの純資産価額」は、中間分配落かつ最終分配の金額である。第９会計年度において、HKTトラストは、2019年９月に2,272百万香港ドルの中間分配金を本受益証券保有者に支払った。また、当該第９会計年度の終了後、HKTトラストは、2020年５月に3,058百万香港ドルの最終分配金を本受益証券保有者に支払った。貸借対照表の作成日以降に提案された当該最終分配／配当は、貸借対照表の作成日現在、負債として認識されていない。2020年６月26日に提出された有価証券報告書の「第一部－第３ ファンドの経理状況－１ 財務諸表－（１）貸借対照表－A、2019年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（６）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記13を参照のこと。

（注５） 上表における「純資産価額」及び「１口当たりの純資産価額」は、中間分配落かつ最終分配の金額である。第10会計年度において、HKTトラストは、2020年９月に2,280百万香港ドルの中間分配金を本受益証券保有者に支払った。また、当該第10会計年度の終了後、HKTトラストは、2021年５月に3,104百万香港ドルの最終分配金を本受益証券保有者に支払った。貸借対照表の作成日以降に提案された当該最終分配／配当は、貸借対照表の作成日現在、負債として認識されていない。「第一部－第３ ファンドの経理状況－１ 財務諸表－（１）貸借対照表－A、2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（６）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記14を参照のこと。

香港証券取引所における最近の市場相場は以下の通りである。

	終値	
	香港ドル	円
2020年５月末	11.02	157.14
2020年６月末	11.34	161.70
2020年７月末	11.42	162.84
2020年８月末	11.08	158.00
2020年９月末	10.26	146.30
2020年10月末	10.02	142.88
2020年11月末	10.14	144.59
2020年12月末	10.06	143.45
2021年１月末	10.22	145.73
2021年２月末	10.54	150.30
2021年３月末	11.08	158.00
2021年４月末	11.28	160.85
2021年５月末	10.52	150.01

②【分配の推移】

直近３会計年度における本株式ステープル受益証券１口当たり分配金は以下の通りである。

期間	分配金総額 (百万香港ドル)	１口当たり分配金 (香港セント)
第８会計年度 (自2018年１月１日至2018年12月31日)	5,171 (注１)	68.29
第９会計年度 (自2019年１月１日至2019年12月31日)	5,330 (注２)	70.38
第10会計年度 (自2020年１月１日至2020年12月31日)	5,384 (注３)	71.07

(注１) HKTトラストは、本受益証券保有者に対して、2018年９月に2,205百万香港ドルの中間分配金を支払い、2019年５月に2,966百万香港ドルの最終分配金を支払った。

(注２) HKTトラストは、本受益証券保有者に対して、2019年９月に2,272百万香港ドルの中間分配金を支払い、2020年５月に3,058百万香港ドルの最終分配金を支払った。2020年３月16日における4,000,000個の新たな本株式ステープル受益証券の割当により、当該4,000,000個の新たな本株式ステープル受益証券の保有者は、１百万香港ドルの最終分配金を受領する権利を有することとなった。かかる１百万香港ドルの最終分配金は、2020年５月に支払われた3,058百万香港ドルの最終分配金合計額に含まれている。

(注３) HKTトラストは、本受益証券保有者に対して、2020年９月に2,280百万香港ドルの中間分配金を支払い、2021年５月に3,104百万香港ドルの最終分配金を支払った。

③【収益率の推移】

直近３会計年度における収益率は以下の通りである。

期間	収益率(%) (注)
第８会計年度 (自2018年１月１日至2018年12月31日)	5.03
第９会計年度 (自2019年１月１日至2019年12月31日)	7.04
第10会計年度 (自2020年１月１日至2020年12月31日)	5.76

(注) 上記の収益性は、以下に基づき算出された。

$$\text{収益率}(\%) = (A - B) \div B \times 100$$

A＝期末の１口当たり純資産価額（中間及び最終分配付の金額）

B＝期首における１口当たりの純資産価額

(４)【販売及び買戻しの実績】

直近３会計年度中における販売／発行口数及び買戻口数は、以下の通りである。

	期間中の 販売／発行口数		買戻口数
		本邦内	
第８会計年度 (自2018年１月１日至2018年12月31日)	-	-	該当なし
第９会計年度 (自2019年１月１日至2019年12月31日)	-	-	該当なし
第10会計年度 (自2020年１月１日至2020年12月31日)	-	-	該当なし

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

該当事項なし。

2【買戻し手続等】

上場証券の買戻し、売却又は償還

本信託証書に基づき、かつ本信託証書が効力を有する間は、買戻し又は償還を明示的に許可する特別規則が香港証券先物委員会により導入されない限り、HKTトラスト及びHKTリミテッドは本ステープル受益証券を買戻す若しくは償還することができない。そのため、本株式ステープル受益証券の保有者は、本トラスティ・マネジャーに所有する本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還を請求する権利を有さず、またHKTトラスト及びHKTリミテッドは、所有する本株式ステープル受益証券を買戻すことができない。

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTトラスト（本トラスティ・マネジャーを含む。）、HKTリミテッド又はHKTリミテッドの子会社は、いずれの本株式ステープル受益証券も買戻し、売却又は償還していない。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

本グループの現行の会計方針に従い、本グループが保有する資産の年次評価は、損益を通じて公正価値で測定される金融資産、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産及びデリバティブを除き行われたい予定である。損益を通じて公正価値で測定される金融資産、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産及びデリバティブの評価は、本グループが報告を行う各会計期間について行われる必要がある。したがって、本グループの半期報告書及び年次報告書で開示される本グループの損益を通じて公正価値で測定される金融資産、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産及びデリバティブは、各会計期間末日現在の公正価値で記載される。

本グループの詳細な会計方針は、「第一部―第3 ファンドの経理状況―1 財務諸表―（1）貸借対照表―A. 2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類」に記載の「（6）HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記」の注記3に記載されている（損益を通じて公正価値で測定される金融資産、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産及びデリバティブに関する特定の方針は、それぞれ注記3の(n)及び(p)に記載されている。）。

本トラスティ・マネジャーは、会計年度末を12月31日、半期末を6月30日として、関連する法令及び香港財務報告基準に準拠して本グループの連結財務書類を作成する。年次報告書は、本グループの年次報告書及び連結財務書類の公表に関する香港上場規則が規定する期間内に、本トラスティ・マネジャーにより、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に対して発行される。当該年次報告書の詳細については、「第一部―第1 ファンドの状況―1 ファンドの性格―（5）開示制度の概要―①香港における開示―（ロ）香港の本株式ステープル受益証券保有者に対する開示」を参照のこと。

（2）【保管】

香港証券取引所における本株式ステープル受益証券の取引開始日から、本株式ステープル受益証券は、CCASSにおける預託、清算及び決済のための適格証券として、HKSCCにより承認される。香港証券取引所の参加者間で行う取引の決済は、いずれの取引日の場合も、当該取引日から2営業日目に、CCASSにおいて行わなければならない。

CCASSにおける全ての行為は、随時効力を有するCCASSの一般規則及びCCASS業務手続書に従う。

本株式ステープル受益証券がCCASSにおいて認められるために必要な全ての取決がすでに行われている。

（３）【信託期間】

本信託証書により設定するトラストの存続期間は、80年から1日を差し引いた期間とする。但し、（i）HKTトラストを継続することを違法とするか、又は（本トラスティ・マネジャーの意見において）不可能若しくは不適當とする法が可決され、かつ本信託証書に従って本受益証券の名簿上の保有者の普通決議により清算が承認された場合、又は、（ii）その時期を問わず、本信託証書に従って本受益証券の名簿上の保有者の特別決議により終了が承認された場合には、関連法令の定めを妨げることなく、本トラスティ・マネジャーはHKTトラストを終了することができる。

（４）【計算期間】

本グループの会計期間は毎年1月1日から12月31日までの1年の期間である。但し、本グループの第1期の会計期間は、HKTトラストの上場日である2011年11月29日から2011年12月31日までであった。

（５）【その他】

① ファンドの終了

本信託証書により設定するトラストの存続期間は、80年から1日を差し引いた期間とする。但し、（i）HKTトラストを継続することを違法とするか、又は（本トラスティ・マネジャーの意見において）不可能若しくは不適當とする法が可決され、かつ本信託証書に従って本受益証券の名簿上の保有者の普通決議により清算が承認された場合、又は、（ii）その時期を問わず、本信託証書に従って本受益証券の名簿上の保有者の特別決議により終了が承認された場合には、関連法令の定めを妨げることなく、本トラスティ・マネジャーはHKTトラストを終了することができる。

HKTトラストは、本受益証券の名簿上の保有者が本信託証書に従って交換権の行使を完了したときに、終了するものとする。また、本トラスティ・マネジャーが本信託証書に基づき解任され、かつ新任のトラスティ・マネジャーが本トラスティ・マネジャーの解任後60日以内（又はこれよりも長い期間で、本トラスティ・マネジャーが適切と判断する期間内）に既存の本トラスティ・マネジャーに代わって就任しようとし不在の場合には、本受益証券の名簿上の保有者はいずれも、裁判所に対し、香港受託者条例に基づき又は裁判所に本来備わっている管轄権に基づき、トラスティ・マネジャーを務める会社の任命又はHKTトラストの終了のいずれかを命令するよう申し立てることができる。

HKTトラストは、本信託証書の日付に開始する、80年から1日を差し引いた期間の満了によっても終了するものとする。

本トラスティ・マネジャーは、不正行為、故意の不履行又は過失がないことを条件として、本受益証券の名簿上の保有者の普通決議若しくは本受益証券の名簿上の保有者の特別決議をもって承認を受けたHKTトラストの終了、又は交換権の行使の完了に起因するHKTトラストの終了により発生した結果について、何ら責任を負わないものとする。本トラスティ・マネジャーは、80年から1日を差し引いた期間の満了によるHKTトラストの終了により発生した結果について、何ら責任を負わないものとする。

HKTトラストを終了させ、又はHKTトラストが80年から1日を差し引いた期間の満了により終了する場合、本トラスティ・マネジャーは、上記の本受益証券の名簿上の保有者の普通決議をもって又は上記の本受益証券の名簿上の保有者の特別決議（適用ある場合）をもって与える本トラスティ・マネジャーに対する承認又は指示（もしあれば）に従い、以下の通り処理する。

- （a） 本トラスティ・マネジャーは、本受益証券の名簿上の保有者それぞれが保有する全額払込済本受益証券の口数に応じて、本受益証券の名簿上の保有者に本普通株式を現物で分配し、かつ残りの本信託財産があれば、本受益証券の名簿上の保有者に分配するものとする。但し、本トラスティ・マネジャーは、本信託財産の一部として手元に有する金銭のうち、HKTトラストの終了並びに本信託財産の分配及び／又は換金に関して負担し、実施し若しくは把握し、又はそれらから生じる全ての報酬、費用、負担、支出、請求及び要求の全部に充当する相当額を保持する権利を有し、保持する金銭の中から補償を受け、かかる一切の費用、負担、支出、請求及び要求につき一切の責任を免れるものとする。

- (b) 本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの終了後、上記に定める分配を、本トラスティ・マネジャーがその絶対的な裁量で望ましいと判断する方法により、本トラスティ・マネジャーがその絶対的な裁量で望ましいと判断する期限までに、実施するものとする。本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの負う一切の義務及び負債を適切に履行させ、かかる義務及び負債に適切に備えさせるものとする。但し、上記の期限は、6ヶ月間を越えてはならない。

HKTトラストを終了させ、又はHKTトラストが80年から1日を差し引いた期間の満了により終了する場合には、(i) HKTリミテッドは、HKTリミテッド附属定款に従って発行済本優先株式の全てを償還するものとし（HKTトラストが終了した結果、本優先株式の償還に際してHKTリミテッドにより支払われる本優先株式1株当たりの償還価格は、本優先株式の額面価格に等しい金額とする。）、また(ii) 上記(a)に記載の本受益証券の名簿上の保有者に対する分配の完了後、本受益証券は消却される。

HKTトラストの清算終了時に、下記に掲げる書類を作成するものとする。

- (a) HKTトラストの資産の清算終了後3ヶ月以内に、本受益証券の名簿上の保有者に配付するHKTトラストの財務書類
- (b) 上記財務書類に関する監査人の報告書

HKTトラストの清算完了時に、本信託証書は終了するものとし、HKTトラストは消滅する。本信託証書に基づく交換権の行使完了時にも、本信託証書は終了するものとし、HKTトラストは消滅する。

② 受益証券の償還

「第一部 第2 管理及び運営 4 受益者の権利等 (1) 受益者の権利等 本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還」を参照のこと。

③ 信託証書の修正等

関連法令に従い、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、本信託証書の規定を修正、改変、変更又は追加する場合に、当該修正、改変、変更又は追加が以下のいずれかに該当するときにはその限りで、追補証書により当該修正、改変、変更又は追加を双方の合意によって共同で行うことができるものとする。

- (a) 当該修正、改変、変更又は追加が、本受益証券保有者の利益に不利益を及ぼすことはなく若しくは不利益があっても軽微であり、かつ本受益証券保有者に対する本トラスティ・マネジャーの責任を重要な程度に免除する効果を有せず、かつ本信託財産から支払うべき費用若しくは負担が増えない場合（但し、上記追補証書に関連して負う負担、手数料及び支出を除く。）
- (b) 適用ある財務上、法令上若しくはその他の公的な要求（法的効力を有するか否かを問わないものとし、適用ある法令に基づく要求を含むがこれらに限られない。）を遵守するために当該修正、改変、変更若しくは追加が必要である場合
- (c) 明白な過誤の是正のために当該修正、改変、変更若しくは追加を行う場合
- (d) 上場日より後に行われる適用ある法令の改正点を反映するために、当該修正、改変、変更若しくは追加を行う場合（但し、当該修正、改変、変更若しくは追加がかかる法令の改正点に合致し、かつ本受益証券の名簿上の保有者の特別決議により承認されることを条件とする。）。本規定により、双方の合意により共同で行為する本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、本受益証券の名簿上の保有者の特別決議による事前承認に従い、下記の目的で、本信託証書の規定を修正、改変、変更又は追加することを許容されることとなる。すなわち、本信託証書に記載する取決が、唯一又は主要な信託財産として運営事業を保有する（運営事業を行う一又は複数の会社の株式を保有することによりかかる事業を保有することを含む。）上場信託の上場、運営及び管理を特に規定するために今後香港で採択される関連法令（以下「新たな特別規程」という。）に準拠した構造に合致するよう、当該取決を変更すること。かかる新たな特別規程が今後採択された場合、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、本受益証券の名簿上の保有者の特別決議による事前承認に従い、本信託証書に記載する取決を、新たな特別規程に基づいて承認されかつこれに完全に合致する構造へ変更する権限、及び本信託証書に記載する取決のうちかかる新たな特別規程に基づいて要求されない部分の適用を免除する権限を有することとなる。但し、変更後の構造及び本信託証書の規定の修正、改変、変更又は追加について、新たな特別規程が完全に遵守されていることを条件とする。

本トラスティ・マネジャーは、当該修正、改変、変更又は追加が、上記の一項目又は複数項目に該当すると判断している旨を、書面により証するものとする。

本信託証書は、上記に従うことを条件として、本信託証書の下記のいずれの規定に対しても、いかなる修正、改変、変更又は追加も行ってはならない、と規定している。

- ・第2条（本トラストの設定）（これは、とりわけ、本信託財産に関するトラストの宣言、承認事業のみに従事する固定型投資信託としてのHKTトラストの設定、本トラスティ・マネジャーの任命、香港受託者条例の適用、及び本トラスティ・マネジャーの一定の義務を扱った規定である。）
- ・第3条（本普通株式に紐付けられ、かつ、本優先株式に一体化された本受益証券）（これは、「第一部―第1 ファンドの状況―1 ファンドの性格―（3）ファンドの仕組み―①ファンドの仕組み図―本株式ステープル受益証券」に記載された事項を扱った規定である。）
- ・第4条（協力及び協議）（これは、とりわけ、紐付け及び一体化の規定並びに本受益証券保有者総会及び本株主総会の調整に関する規定等、本信託証書の規定を有効にするために本トラスティ・マネジャーとHKTリミテッドが協力すべき事項を扱った規定である。）
- ・第5.11条（本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還）（これは、「第一部―第2 管理及び運営―4 受益者の権利等―（1）受益者の権利等―本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還」に要約された事項を扱った規定である。）
- ・第7条（香港上場規則及びその他の関連法令の遵守）（これは、とりわけ、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、HKTトラスト及びHKTリミテッドがそれぞれに適用される香港上場規則を確実に遵守するために協力しなければならない、と規定するものである。）
- ・第9条（本株式ステープル受益証券登録簿及び本株式ステープル受益証券の譲渡）（これは、とりわけ、本株式ステープル受益証券登録簿を維持する本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの義務、並びに「第一部―第2 管理及び運営―4 受益者の権利等―（1）受益者の権利等―本株式ステープル受益証券の譲渡」に記載された本株式ステープル受益証券の譲渡に関する規定を扱った規定である。）
- ・第10条（本受益証券登録簿及び本受益証券の譲渡）（これは、とりわけ、本受益証券登録簿を維持する本トラスティ・マネジャーの義務及び本受益証券の譲渡に関する規定を扱った規定である。）
- ・第11条（本株主名簿、本普通株式に係る実質的持分の譲渡、及び実質的持分登録簿）（これは、とりわけ、本株主名簿及び実質的持分登録簿の維持、並びに本普通株式に係る実質的持分の譲渡に関する規定を扱った規定である。）
- ・第12条（交換）（これは、「第一部―第2 管理及び運営―4 受益者の権利等―（1）受益者の権利等―交換」に要約された交換権を扱った規定である。）
- ・第13条（本トラストの目的）（これは、とりわけ、HKTトラストの投資スキーム及び本トラスティ・マネジャーの事業範囲に対する制約を扱った規定である。）
- ・第14.1条(b)項（これは、本トラスティ・マネジャーは、本普通株式に関してHKTリミテッドが本トラスティ・マネジャーに配当し又は支払う全ての金額分を、本信託証書に基づき本信託財産から控除し又は支払うことの認められた一切の金額を控除した上で、本受益証券の名簿上の保有者に分配させるものとする）と規定するものだが、（疑義を避けるため付言すると）本信託証書第14条の他の全ての規定を除く。）
- ・第18.1条から第18.5条（これは、本信託財産の保護預り及び分離保管された口座に関連するもの。）
- ・第20.1条（これは、本受益証券の名簿上の保有者はHKTトラスト及びHKTリミテッド両方に関する全ての通知を受領するものとする）と規定するものだが、（疑義を避けるため付言すると）本信託証書第20条の他の全ての規定を除く。）
- ・第23条（本トラスティ・マネジャーの任命、解任又は辞任）（これは、とりわけ、「第一部―第2 管理及び運営―4 受益者の権利等―（1）受益者の権利等―一定足数及び議決―（c）」に要約された事項を扱った規定である。）
- ・第26条（本信託証書の修正）（これは、上記に記載されている通り、本信託証書の修正が可能な状況並びにかかる修正を行う要件及び制限を扱った規定である。）

- ・第29条（本トラスティ・マネジャーの取締役）（これは、とりわけ、本トラスティ・マネジャーとHKTリミテッドの取締役が同じ者でなければならないこと、本トラスティ・マネジャーの取締役の義務、及び本トラスティ・マネジャーによる本トラスティ・マネジャーの取締役への貸付の禁止を扱った規定である。）
- ・第32条（本普通株式の売却又はその他の処分への出の受諾禁止）（これは、とりわけ、本トラスティ・マネジャーは本トラスティ・マネジャーが保有する本普通株式の売却又はその他の処分についての出に応じることは許されない、と規定するものである。）

・第36条（準拠法）

また、本信託証書は、本トラスティ・マネジャーは、PCCW社の子会社である限りはPCCW社の完全子会社でなければならないと規定する本信託証書第23.1条（i）項に対して、いかなる修正、改変、変更又は追加も行ってはならない、と規定している。

上記に従うことを条件として、本信託証書の規定に対する上記以外の修正、改変、変更又は追加は、本受益証券の名簿上の保有者の特別決議による承認がある場合にのみ行うことができる。

本信託証書の規定のいかなる修正、改変、変更又は追加によっても、（i）いずれの本受益証券保有者にも、当該保有者の保有する本株式ステープル受益証券の一部を成す本受益証券（当該本受益証券の発行価格は既に全額払込済とする。）につき、追加の金員を支払い、又は負債を引き受ける義務を負わせてはならず、（ii）本優先株式又は本普通株式の保有者のいずれにも、当該保有者の保有する本株式ステープル受益証券の一部を成す本株式（当該本株式の発行価格は既に全額払込済とする。）につき、追加の金員を支払う義務を負わせてはならない。

本トラスティ・マネジャーは、本信託証書の定めを修正し、改変し、変更し又は追加した場合には、その後実務上可能な限り速やかに、当該修正、改変、変更又は追加に関する通知を本受益証券の保有者に交付するものとする。但し、当該修正、改変、変更又は追加が重大な意義を有しないと本トラスティ・マネジャーが判断する場合には、この限りでない。本信託証書の当該追補証書に関して本トラスティ・マネジャーに生じた一切の報酬、費用及び支出（必要な場合において、本受益証券の名簿上の保有者の総会を招集するため生じた費用を含む。）は、本信託財産に対して請求される。

本信託証書には、HKTトラスト及びHKTリミテッドが発行する上場書類及び年次報告書において仕組を開示しなければならないこと、並びに仕組に対する変更案を香港上場規則に従って公告により開示しなければならないことも規定されている。

④ 関連契約の更改等

HKTトラストが当事者であり、それに拘束される重要な契約は、本信託証書1つである。本信託証書は、2011年11月14日及び2012年5月3日に変更又は修正された。

4 【受益者の権利等】

（1）【受益者の権利等】

分配受領権は、本信託証書第14.2条により以下の通り定められている。

分配受領権に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

分配受領権

- （a） 本トラスティ・マネジャーが分配の実施を発表したときに、本受益証券の名簿上の保有者はそれぞれ、当該分配の実施期日と表明された日以降、発表された分配のうち、本受益証券の名簿上の保有者それぞれが当該分配の基準日に保有する全額払込済本受益証券の口数に基づき比例按分により算定された各自の受取分を受領する権利を有するものとする。
- （b） 基準日に本受益証券の名簿上の保有者である者は、当該基準日に係る一定期間につき、本トラスティ・マネジャーが発表した分配金を受領する権利を有する。

- (c) 分配の発表後当該分配の基準日以前に本受益証券が新規発行される場合には、本トラストによる分配金の総額は、当該分配基準日現在の本受益証券の名簿上の保有者が全て、発表された本受益証券1口当たりの分配金を受領することとなるよう、比例按分により増額されるものとする。本信託証書第14.2条（b）項及び第14.2条（c）項前段の定めにかかわらず、分配の発表後に本受益証券を新規発行し、かつ本信託証書第14.1条（f）項を適用した結果として、本トラストが本受益証券の名簿上の保有者を対象とする分配金の支払に見合う十分なキャッシュ・フローを有しない場合、又は本受益証券の名簿上の保有者を対象とする分配金の支払（行われた場合）が、本トラスト又はHKTリミテッド・グループが従う適用のある合意に違反する場合は、かかる未払分配金が発生し、HKTトラストに債務の支払に見合う十分なキャッシュ・フローが生じた後、又は適用ある合意に違反することなく債務の支払に応じることが可能となった後（場合による。）、実行可能な限り速やかに、受領権を有する者に対して支払われるものとする。但し、本受益証券の名簿上の保有者が有する発生済未払の分配金受領権については利息の支払を行わないものとし、また本受益証券の名簿上の保有者は支払停止の通知を受けるものとする。
- (d) 本トラスティ・マネジャーは、各本受益証券の名簿上の保有者が受領する権利を有する分配金額から、以下の金額を全て控除することができる。
- (i) 1セントの端数を分配することを回避するために必要な金額（当該金額に最も近い1セント単位まで切り下げを行う。）
 - (ii) 分配日に分配することが現実的ではないと本トラスティ・マネジャーが判断した金額
 - (iii) 本受益証券の名簿上の保有者に帰属する本トラストの利益について、又は控除しなければ本受益証券の名簿上の保有者に分配された分配金額について、本トラスティ・マネジャーにより支払われた税金の額、又は本トラスティ・マネジャーが支払わなければならない若しくはそのおそれがあると判断する税金の額相当。本トラスティ・マネジャーは、（1）会計士、税務顧問若しくは本トラスト監査人の助言若しくは計算、又は（2）上記の控除を実施する前に当該税金の一切について税務当局若しくは行政機関から得た一切の情報に依拠することができる（但し、依拠する義務は負わない。）。本トラスティ・マネジャーは、自らが誠実に、かつ、不正行為、故意の不履行又は過失を犯すことなく実施し又は負担する一切の控除又は支払について、いずれの保有者その他の者にも説明する責任を負わないものとする（かかる控除又は支払を実施し若しくは負担すべきではなく、又は実施し若しくは負担する必要がなかったかは問わない。）。実施し若しくは負担すべきではなく、又は実施し若しくは負担する必要がなかった控除を税務当局に支払うことが要求されなかった場合、又は実施し若しくは負担すべきではなく、若しくは実施し若しくは負担する必要がなかった税金の額がその後還付された場合には、当該金額は本信託財産を構成し、本信託証書の条件に基づき本トラスティ・マネジャーが保有し、本トラスティ・マネジャーにより行われる次の中間分配又は年次分配に関して本受益証券の名簿上の保有者に分配される金額に加算されるものとする。
 - (iv) 関連法令又は本信託証書によって控除することが必要とされる金額
 - (v) 本受益証券の名簿上の保有者が本トラスティ・マネジャー又はHKTリミテッドに対し支払わなければならない金額
- (e) 本トラスティ・マネジャーは、会計年度毎に本受益証券の名簿上の保有者が本受益証券1口につき受領する権利を有する分配金を決定するものとし、かかる決定は、登録機関（任命している場合）に通知するものとする。本トラスティ・マネジャーは、自らが算定した当該会計年度につき本受益証券の名簿上の保有者が本受益証券1口当たり受領する権利を有する分配金について、これを本トラスト監査人に調査・検証させ、確認書を本トラスティ・マネジャーに送付させるよう取り計らうものとする。本トラスティ・マネジャーは、会計年度毎に、登録機関（任命している場合）に対して、各会計年度の分配日までに本受益証券の名簿上の保有者がそれぞれ受領する権利を有する分配金をかかる保有者に支払うよう指図を出すものとする。

- (f) 本受益証券について又は關して支払うべき分配金又はその他の金員に、本トラストの負うべき利息は付されないものとする。未請求金は全て、本信託証書第15.3条に定める方法で処理するものとする。

本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還は、本信託証書第5.11条により以下の通り定められている。

本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還

- (a) 本株式ステープル受益証券保有者は、保有する本株式ステープル受益証券の買戻し又は償還を要求する権利を一切有さない。
- (b) 本信託証書及びHKTリミテッド附属定款の規定に従った本優先株式の買戻し又は償還を除き、本トラスティ・マネジャーは、香港証券先物委員会が随時発する関連ある法典及び指針により明示的に許されるのでない限り、本トラストのために本株式ステープル受益証券を買い戻し又は償還してはならない。明示的に許された場合には、本トラスティ・マネジャーは、関連法令並びに香港証券先物委員会が随時発する一切の適用ある法典及び指針により許される限り、かつ関連法令並びにかかる法典及び指針の定めに従い、本株式ステープル受益証券を買い戻し又は償還することができる。但し、HKTリミテッドの合意を得ること、かつHKTリミテッドが買い戻され、又は償還される本株式ステープル受益証券の一部である本普通株式及び本優先株式を買い戻し、又は償還することを条件とする。

移転に関する本株式ステープル受益証券保有者の権利は、本信託証書第9.7条により以下の通り定められている。

移転に関する本株式ステープル受益証券保有者の権利に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

本株式ステープル受益証券の譲渡

- (a) 本株式ステープル受益証券を香港証券取引所に上場している場合には、その限りにおいて、CCASS参加者間における本株式ステープル受益証券の譲渡は、CCASSの規則及び手続に従って、CCASSを通じて電子的に実行され、当該譲渡した本株式ステープル受益証券に関する適切な記録をCCASSの記録簿に記載するものとし、本信託証書第9.7条(b)項から第9.7条(1)項までに定める規定は、適用しないものとする。
- (b) CCASSに預託されていない本株式ステープル受益証券について、各本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者はいずれも、当該保有者が保有する本株式ステープル受益証券(本株式ステープル受益証券の名簿上の共同保有者の場合には、当該共同保有者全員が保有する本株式ステープル受益証券)を以下の通り譲渡することができる。
- (i) 本株式ステープル受益証券の譲渡は、(1)当該本株式ステープル受益証券につき発行された本券面を添付したHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーが随時承認する様式による書面の譲渡証書によって、又は(2)その他の随時本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが承認する方法により行われる。
- (ii) 本株式ステープル受益証券に係る本信託証書第9.7条(b)項(i)における譲渡証書はいずれも、譲渡人及び譲受人が署名することを要する。当該譲渡に関して譲受人の氏名が本株式ステープル受益証券登録簿に記載されるまでは、譲渡人は、引き続き当該譲渡される本株式ステープル受益証券の保有者とみなすものとする。譲渡証書は、捺印証書であることを要しない。本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、譲渡人又は譲受人から要求を受けたときに、機械による署名を付して作成された譲渡証書を受理することに同意することができる。決済機関の機械による印字の署名を付して作成された譲渡証書は、受理可能なものとする。

- (c) 本信託証書第9.7条 (b) 項における譲渡証書はいずれも、（法令により要求されている場合に）適式に印紙が貼付され、当該本株式ステープル受益証券につき発行された本券面、関連法令に基づき要求される必要な申告書その他の文書及び譲渡人の有する権原又は本株式ステープル受益証券を譲渡する権利を証明するために登録機関又は本トラスティ・マネジャー又はHKTリミテッドが要求する証拠を添付して、登録のために登録機関（登録機関が存在しない場合には、本トラスティ・マネジャー）に預託しなければならない。登録機関（登録機関が存在しない場合には、本トラスティ・マネジャー）は、譲渡人が本券面の代替券面を申請する場合に生じる要件と同様の要件を充足すれば、紛失、盗失又は破棄された本券面の提出を免除することができる。
- (d) CCASSに預託されていない本株式ステープル受益証券については、本株式ステープル受益証券の各譲渡の日付並びに譲受人の氏名及び住所を記載するために、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが本株式ステープル受益証券登録簿（及びその他の本トラスト登録簿）を変更するか、又は変更させるものとする。
- (e) 本株式ステープル受益証券の譲渡時に発行する新規の本券面はそれぞれ、適式に記載した譲渡証書及び元の本券面並びにその他の本信託証書第9.7条 (c) 項に基づき必要な書類を登録機関が受領後10営業日以内に、本信託証書第9.7条に定める要件に従って、登録機関の指定事務所（登録機関が存在しない場合には、本トラスティ・マネジャーの事務所）において回収可能な状態に置くか、又は譲渡証書という形式で要求を受けた場合には、無保険の郵便により、当該本株式ステープル受益証券に対する権利を有する保有者の危険負担で（但し、当該保有者に費用を負担させることなく）、譲渡証書に明記された住所に宛てて郵送する。
- (f) 本券面が発行される本株式ステープル受益証券のうち一部しか譲渡しない場合には、当該譲渡しない本株式ステープル受益証券について新たに交付する本券面は、元の本券面を登録機関（登録機関が存在しない場合には、本トラスティ・マネジャー）に預託し又は引き渡してから10営業日以内に、登録機関の指定事務所において回収可能な状態に置くか、又は当該譲渡しない本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者が要求する場合には、無保険の郵便により、当該本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の危険負担で（但し、当該本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に費用を負担させることなく）、本株式ステープル受益証券登録簿に記載された当該本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者の住所に宛てて郵送する。
- (g) 本株式ステープル受益証券の譲渡登録は、税金又はその他の当該登録に関して行政機関から課される公課について本トラスティ・マネジャー、HKTリミテッド又は登録機関が要求する通りに支払ったとき（又は補償したとき）に、本トラスト、本トラスティ・マネジャー、HKTリミテッド又は登録機関が自ら又は第三者をして、無償で実施する。
- (h) 本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者はいずれも、本信託証書第9.5条に基づき本株式ステープル受益証券登録簿が閉鎖されている期間中、本株式ステープル受益証券の譲渡登録を要求することはできない。
- (i) 本株式ステープル受益証券は、下記の条件をいずれも満たす場合に限り譲渡することができるものとする。
- (i) 本株式ステープル受益証券の個々の構成要素（すなわち、本受益証券、本普通株式に係る実質的持分及び本優先株式）としてではなく、本株式ステープル受益証券に関する譲渡
 - (ii) 本株式ステープル受益証券1口の倍数単位の譲渡
- いずれの譲渡も、譲渡登録することにより譲渡人又は譲受人が1口に満たない本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者となる場合には、登録してはならない。
- (j) 本信託証書第9.7条に従って行われる譲渡を除く本株式ステープル受益証券の譲渡又は企図された譲渡については、譲受人は、当該譲渡を登録することができない。（上記以外の）譲渡又は企図された譲渡についての通知は、本株式ステープル受益証券登録簿又はその他の登録簿には記載することはできない。

- (k) 本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、一切の全額払込済本株式ステープル受益証券に係る先取特権を有さない。
- (l) 関連法令及び管轄権を有する裁判所又はその他の監督官庁による一切の命令に従い、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、本信託証書第9.7条に従い行われた一切の全額払込済本株式ステープル受益証券の譲渡の登録を拒否する権利を有さない。

本受益証券の譲渡に関する本株式ステープル受益証券保有者の権利は、本信託証書第10.2条及び第10.3条により以下の通り定められている。

本受益証券の譲渡に関する本株式ステープル受益証券保有者の権利に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

本受益証券の譲渡

- (a) 本受益証券は、本株式ステープル受益証券の構成要素としてしか譲渡し取引することができない。
- (b) 本信託証書第9条の定めは、本株式ステープル受益証券の構成要素である本受益証券の譲渡に関する事項に適用するものとする。

本受益証券の権原

- (a) 本受益証券の権原は、本株式ステープル受益証券の構成要素である本受益証券が譲渡され、かつ本信託証書第10.1条に従って本受益証券登録簿に譲受人を登録した場合、又は本株式ステープル受益証券の構成要素である本受益証券が移転し、かつ本受益証券登録簿に登録した場合のみ移転する。
- (b) 本受益証券登録簿への記載は、（明白な誤りがある場合を除き）本受益証券の名簿上の保有者それぞれが保有する本受益証券の口数、及び本受益証券の名簿上の保有者それぞれが当該本受益証券に対して有する権原を示す確定証拠とする。

交換権は、本信託証書第12.1条及び第12.2条により、以下の通り定められている。

交換権に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

交換

交換期間及び価格

- (a) 本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者は、その時期を問わず、本株式ステープル受益証券を本普通株式と交換する旨を定めた本受益証券の名簿上の保有者の特別決議を可決することにより、全ての本株式ステープル受益証券を本普通株式に交換する権利を有する。本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者が保有する本株式ステープル受益証券を本普通株式に交換する権利は、本信託証書において「交換権」という。上記の本受益証券の名簿上の保有者の特別決議はいずれも、適式に可決すれば、適時に全ての発行済本株式ステープル受益証券について交換権を行使する効力を有するものとし、本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者全員に対する拘束力を有するものとする。
- (b) 本信託証書第12.1条（a）項に従って本受益証券の名簿上の保有者の特別決議を可決することにより交換権を行使したときに、発行済本株式ステープル受益証券の一部を成す本受益証券及び本優先株式を本トラスティ・マネジャーと交換して消却するものとし、当該消却分の対価としてかつ当該消却分に代えて、本トラスティ・マネジャーは、消却された本株式ステープル受益証券の一部を成す本受益証券に紐付けられ、具体的に特定された本普通株式で自らの保有するものを、当該本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者として本株式ステープル受益証券登録簿に登録された者に移転するものとする。

- (c) 本株式ステーブル受益証券と交換して移転する本普通株式の株式数は、当該本株式ステーブル受益証券の構成要素である本受益証券1口につき1株とする。したがって、各本株式ステーブル受益証券には本受益証券1口が含まれるので、本株式ステーブル受益証券の交換時に移転する本普通株式の株式は、本株式ステーブル受益証券1口につき1株となる。
- (d) 交換権は、本信託証書第25条に基づき可決された本トラスの終了を指図する本受益証券の名簿上の保有者の普通決議又は本受益証券の名簿上の保有者の特別決議の後には行使することができない。

交換手続

- (a) 交換権は、交換権の行使を目的とする基準日（本受益証券の名簿上の保有者の特別決議において指定し又は特別決議に従って決定される。）時点で本普通株式と発行済全本株式ステーブル受益証券の交換を定める本受益証券の名簿上の保有者の特別決議を可決する本受益証券の名簿上の保有者しか行使することができない。
- (b) 本株式ステーブル受益証券の交換日（以下「交換日」という。）は、本株式ステーブル受益証券に付帯する交換権を行使可能として本信託証書に明示されている時期に到来させなければならず、全ての発行済本株式ステーブル受益証券の交換を定めた本受益証券の名簿上の保有者の特別決議で指定する交換日又はかかる特別決議の定めに従って決定する交換日とする。
- (c) 本信託証書第9.2条にいう本株式ステーブル受益証券の本券面は全て、交換日をもって消却したものとみなし、本株式ステーブル受益証券の権原を示す証拠とはならなくなるものとする。
- (d) 実務上可能な限り速やかに（但し、いかなる場合も遅くとも交換日から10営業日以内に）、本トラスティ・マネジャーは、本信託証書第12.1条（c）項に従って算定した株式数の本普通株式を、交換権を行使した本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者として本株式ステーブル受益証券登録簿に登録されている一名又は複数名に移転させ、当該一人又は複数名を、当該株式数の本普通株式の保有者として本株主名簿に登録するものとする。
- (e) 本信託証書第12.2条（d）項に定める一名又は複数名は、あらゆる目的上、交換日をもって交換権の行使により交換する株式数の本普通株式について、名簿上の保有者であるとみなす。本株式ステーブル受益証券の交換権の行使により移転する本普通株式の保有者は、交換日に先立つ基準日においてはいかなる権利も有さないものとする。
- (f) 本信託証書第12.2条に定める上記の手続を完了後、本普通株式は、本信託証書第11.5条（a）項に従って、香港支店株主名簿に（当該本普通株式の名簿上の保有者名義で）移転するものとする。その後実務上可能な限り速やかに（但し、いかなる場合も交換日から10営業日以内に）、本トラスティ・マネジャーは、当該本普通株式の株券を当該本普通株式の名簿上の保有者として香港支店株主名簿に登録された者（名簿上の共同保有者の場合には、共同保有者のうち未成年ではない名簿上最初に氏名の記載された者）に香港支店株主名簿に記載されたかかる者の住所に宛てて郵送するものとする。
- (g) 交換日をもって、
 - (i) 本受益証券及び本優先株式は、交換権の行使に従い本受益証券に紐付けされた本普通株式を受領する権利を除き、追加の権利を付与しなくなり、消却されるものとし、また、
 - (ii) 本株式ステーブル受益証券に係る本券面は、その効力を失い、また、（当該本株式ステーブル受益証券に係る本券面が、交換又は消却のために登録機関又は本トラスティ・マネジャーに対して交付されるか否かを問わず）一切の有価証券の権原又はその他の権利（本券面が発行されている本受益証券に紐付けされた本普通株式を受領する権利を除く。）を示す証拠とはならなくなるものとする。

本受益証券の名簿上の保有者の有する権利

本受益証券の名簿上の保有者は、本信託証書に基づき、本受益証券の名簿上の保有者の有する権利、並びに本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが本受益証券の名簿上の保有者に対して負う義務を執行する権利を有するものとする。

本株式ステープル受益証券が香港証券取引所に上場されている限り、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、下記に掲げる事項を実現するためにそれぞれ相当な努力を尽くすものとする。

- (a) 本株式ステープル受益証券を、CCASSの利用資格が認められるものとする。
- (b) 本トラスティ・マネジャーが、HKSCCノミニーズをCCASSに預託された発行済本株式ステープル受益証券全部の名簿上の保有者として記載し、（HKSCCノミニーズ以外の）保有者を当該保有者が保有しているがCCASSに預託していない本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者として記載すること。
- (c) （HKSCCノミニーズ以外の）本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者名義で本株式ステープル受益証券登録簿に記載することにより表章される本株式ステープル受益証券を、CCASS要件に従って並びにその他のCCASS又は共同で行為する本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが定めることのある条件に基づき、CCASSに預託し、HKSCCノミニーズ名義で本株式ステープル受益証券登録簿に記載することが可能であること。
- (d) CCASSに預託された本株式ステープル受益証券を、CCASS要件に従って並びにその他のCCASS又は共同で行為する本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが定めることのある条件に基づき、CCASSから引き揚げ、（HKSCCノミニーズ以外の）本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者名義で本株式ステープル受益証券登録簿に記載することにより表章することが可能であること。

本株式ステープル受益証券及びその移転に関して本信託証書に定める事項は、本株式ステープル受益証券登録簿に記載しなければならない。また、本株式ステープル受益証券の構成要素に当たる本受益証券及び一体化された本優先株式並びにかかる本受益証券及び一体化された本優先株式の移転に関して本信託証書に定める事項は、それぞれ本受益証券登録簿及び香港株主名簿にも記録しなければならない。さらに、本株式ステープル受益証券の構成要素に当たる紐付けされた本普通株式の実質的持分及びかかる実質的持分の移転に関して本信託証書に明記する事項は、実質的持分登録簿に記載しなければならない。本株式ステープル受益証券登録簿に明示する本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者、かかる本株式ステープル受益証券の構成要素に当たる本受益証券の名簿上の保有者、具体的に特定された本普通株式で上記本受益証券に紐付けされたものの実質的持分保有者、及びかかる本株式ステープル受益証券の構成要素に当たる具体的に特定された本優先株式の名簿上の保有者は、常に、同じ者でなければならない。

本株式ステープル受益証券を表章する証書は、香港証券取引所の定める全ての適用要件に従って印刷し、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの承認する様式とする。かかる証書は、本株式ステープル受益証券の証書において氏名を明記する者の有する権原を証す一応の証拠とする。

本受益証券保有者の定足数及び議決権は、本信託証書別紙1の第3条により以下の通り定められている。

本受益証券保有者の定足数及び議決権に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

定足数及び議決

- (a) 本受益証券の名簿上の保有者の総会においては、自ら、法人代表者をもって又は代理人をもって出席する2名以上の本受益証券の名簿上の保有者を、定足数とする。いずれの総会においても、議事の開始時に必要な定足数が出席していなければ、いずれの議事もこれを取り扱ってはならない。疑義を避けるため付言すると、議決権の不統一行使は認められる（これにより、本受益証券の名簿上の保有者は、自らの名義で登録されている本受益証券の一部につき、決議に賛成票を投じ、別の一部につき、決議に反対票を投じることができる。）。但し、（適用ある場合には）本信託証書第4.8条（f）項の定めを遵守しなければならない。

- (b) 本受益証券の名簿上の保有者が、香港上場規則に基づき、特定の決議案に対する議決権を棄権することを求められている場合又は特定の決議案に対して賛成票若しくは反対票のみを投じるべき旨の制限を課されている場合には、当該本受益証券の名簿上の保有者又はその代理人がかかる要求又は制限に反して投じた票は、算入されないものとする。
- (c) 本受益証券の名簿上の保有者は全員、本トラスティ・マネジャーを解任し、かつ／又は本トラストの後任のトラスティ・マネジャーを任命する本受益証券の名簿上の保有者の普通決議につき、保有する本受益証券に係る議決権を行使する権利を有し、かかる本受益証券の名簿上の保有者の普通決議の可決を目的とする定足数に本受益証券の名簿上の保有者全員を算入することができる。
- (d) ① 下記②に従うことを条件として、いずれの総会においても、当該総会において提案する議案は、投票により決するものとし、投票結果は、当該総会の決議とみなすものとする。投票は議長が指示する方法（投票用紙又は候補者名を列挙した用紙の使用を含む。）によって行い、投票の結果は、当該投票が要求された総会の決議とみなされる。議長は、検査人を任命し得るものとし（総会において要求された場合は任命しなければならない。）、投票の結果を宣言するため、検査人が定める日時及び場所に総会を延会することができる。投票は、議長の指図する日時及び場所において行うものとする。投票により、当該投票が要求された議題以外の議事の取扱を目的とする総会の継続を妨げてはならない。
- ② (A) 総会の議長は、挙手により議決される手続上又は管理上の事項に純粋に関連する決議を誠実に承認することができる。挙手により議決される場合、自ら、法人代表者をもって又は代理人により出席する全ての本受益証券の名簿上の保有者は、1個の議決権を有するものとする。但し、決済機関である本受益証券の名簿上の保有者（又はそのノミニー）により1名以上の代理人が任命される場合、当該各代理人は、1個の挙手による議決権を有する。本②の目的上、手続上及び管理上の事項は、香港上場規則に基づき挙手により議決される。
- (B) 挙手が認められる場合、挙手の結果の宣言前又は宣言時に、以下のいずれかにより投票が要求される可能性がある。
- (i) 議長
- (ii) 総会における議決権を有する期間に自ら又は代理人をもって出席する、少なくとも3名の本受益証券の名簿上の保有者
- (iii) 自ら又は代理人により出席する、総会における議決権を有する全ての本受益証券の名簿上の保有者の総議決権の10分の1以上の議決権を付与された本受益証券の名簿上の保有者
- (iv) 自ら又は代理人により出席し、総会における議決権を付与する全ての本受益証券について支払われる総額の10分の1以上に相当する合計額が支払われた本受益証券である、総会における議決権を付与する本受益証券を保有する本受益証券の名簿上の保有者
- 投票がそのように要求されない限り、またかかる要求が撤回されない限り、決議が可決され、決議が全会一致で若しくは特定多数決をもって可決され、又は否決されたという議長の声明及び総会手続についての議事録を含む記録簿へのその旨の記入は、当該決議の賛成票又は反対票として記録された議決の数又は割合を示す証拠がなくても、当該事実を示す確定証拠であるものとする。投票の要求は撤回されることがある。
- (e) 挙手により許可された投票に際し、自ら（又は本受益証券の名簿上の保有者が法人である場合は、適式に授權された法人代表者をもって）出席する全ての本受益証券の名簿上の保有者は、1個の議決権を有し、投票に際し、自ら、法人代表者をもって又は代理人により出席する全ての本受益証券の名簿上の保有者は、自己が名簿上の保有者である各本受益証券につき1個の議決権を有する（但し、当該本受益証券は、全額払込済でなければならない。）。本受益証券の名簿上の保有者が香港上場規則の適用規定に違反して投じた票は、算入しないものとする。

- (f) 本受益証券の名簿上の共同保有者の場合は、自ら又は代理人を通じて投じるかにかかわらず、いずれかの者がかかる本受益証券に関する総会において投票を行うことができる。但し、自ら又は代理人により出席した者が複数いる場合には、出席した本受益証券の名簿上の共同保有者のうち最も又はより優先順位が高い者の投票を受理するものとし、当該保有者以外の名簿上の共同保有者による票は除外する。本項において、かかる共同保有者間の優先順位は、当該共有関係につき本受益証券登録簿に本受益証券の名簿上の共同保有者の氏名が記載された順序により決定するものとする。本受益証券の名義人である死亡した者の複数の遺言執行人又は遺産管理人は、本項において共同保有者とみなすものとする。
- (g) 投票においては、自ら、法人代表者をもって、又は代理人をもって、票を投じることができる。
- (h) 議決権行使代理証書は、通常の様式又は本トラスティ・マネジャーが承認するその他の様式による。賛否いずれかに投票できる議決権行使代理証書の使用を妨げない。
- (i) 代理人を任命する証書は書面によるものとし、指名者若しくは書面をもって適式に授權されたその代理人の署名、又は指名者が会社である場合は会社印若しくはかかる署名を記す権限を有する役員若しくは代理人の署名を要する。本トラスティ・マネジャーは、代理人を任命する証書で、適切に作成されていないものを拒否する権利を有するものとする。議決権及びその他の必要事項を記載して本トラスティ・マネジャーに提出された議決権行使代理証書に係る事項について判断を下すにあたって、本トラスティ・マネジャーは、当該議決権行使代理証書に記載された一切の指図及び／又は注記を考慮するものとする。
- (j) 議決権行使代理証書の条件に従って投じる票は、本人が当該票を投じる時まで死亡し若しくは精神障害に陥り（若しくは議決権行使代理証書若しくは委任状若しくはその他の議決権行使代理証書に署名する権限が撤回され）、又は当該議決権行使代理証書を交付する根拠となった本受益証券が移転しても、これにかかわらず、有効とする。但し、当該議決権行使代理証書を使用する総会又は延会の開始時刻の少なくとも2時間前までに、議決権行使代理証書の預託指定場所（かかる場所が指定されていない場合には、登録機関の登録上の事務所）において、かかる死亡、精神障害、撤回又は移転を通知する書面を一切受け取っていないことを条件とする。
- (k) 法人である本受益証券の名簿上の保有者はいずれも、当該法人の取締役（又はその他の運営組織）による決議をもって、本受益証券の名簿上の保有者の総会において、当該法人の代表者を務める権限を、いずれの者にも付与することができる。権限の付与を受けた者は、当該総会において、当該法人に代わって、当該法人が自然人の本受益証券の名簿上の保有者であれば行使し得る権能と同一の権能を行使することができるものとする。
- (l) 本受益証券の名簿上の保有者は、同一の総会に出席し議決する代理人（人数は問わない。）を任命することができる。
- (m) かかる代表者は、自らの任命に関する権原証書又は権限を付与する公正証書を呈示する義務を負わない。本受益証券の名簿上の保有者が（香港証券先物条例に定める）認知された決済機関又はそのノミニーである場合には、自らが適切と判断する一名又は複数名の者に、本受益証券の名簿上の保有者の総会又はいずれかの種類の本受益証券の名簿上の保有者の総会において、自己の代表者又は代理人を務める権限を付与することができる。但し、複数名の者に権限を付与する場合には、権限を付与する証書又は議決権行使代理証書には、当該複数名の者がそれぞれ権限の付与を受けている本受益証券の口数及び種類を明記しておかなければならない。そのように権限の付与を受けた者は、権原証書、権限を付与する公正証書及び／又は適式に権原の付与を受けた事実を立証する追加の証拠を提示することなく、適式に権原の付与を受けたとみなされる。権限の付与を受けた者はいずれも、当該認知された決済機関又はそのノミニーである保有者に代わって、当該決済機関である保有者又はそのノミニーが権限を付与する証書に明記された本受益証券の口数を保有する自然人の本受益証券の名簿上の保有者であれば行使し得るであろう権能（挙手が認められる場合には、挙手による個人の議決権を含む。）と同一の権能を行使することができる。

- (n) 代理人を任命する証書及び（本トラスティ・マネジャーが要求する場合には）委任状若しくは署名の権限を証するその他の証書（もしあれば）、又はかかる代理権若しくは権限を証する認証を受けた写しは、当該証書に記載された者が議決権を行使しようとする総会又は延会の指定開催時間の48時間前までに（当該総会若しくは延会の会日以降に行う投票の場合、当該投票を行うため指定された時間の48時間前までに）、総会の招集通知若しくは延会の招集通知又はかかる通知と一緒に送付する文書において指示する場所（かかる場所が指定されない場合は、登録機関の登録上の事務所）に預託するものとする。これを懈怠した場合、議決権行使代理証書は有効なものとして扱われない。代理人を任命する証書は、その署名日として記載された日から12ヶ月を経過した後は無効とする。代理人を任命する証書を交付しても、本受益証券の名簿上の保有者は、当該総会又は当該投票に自ら出席し議決することができ、かかる場合には、代理人を任命する証書は撤回されたものとみなす。代理人として任命された者は、本受益証券の名簿上の保有者であることを要しない。
- (o) 本受益証券の名簿上の保有者はいずれも、本トラスティ・マネジャーが別段決定しない限り、自らが保有する本受益証券につき、自らが当該時点で支払義務を負っている払込金又はその他の金員が未払のままとされている場合には、自ら又は代理人をもって総会で議決し、又はその他の本受益証券を保有しているがゆえに総会に関して認められるはずの一切の権利を行使することができないものとする。
- (p) 本受益証券の名簿上の保有者の特別決議又は本受益証券の名簿上の保有者の普通決議は、当該総会に出席したか否かを問わず全ての本受益証券の名簿上の保有者を拘束し、各本受益証券の名簿上の保有者及び本トラスティ・マネジャーは、本信託証書中の補償に関する規定に従い、かかる決議に従ってかかる決議を実施する義務を負う。

種類ごとの権利の変更は、本信託証書第33.4条により以下の通り定められている。

種類ごとの権利の変更に関する本記載の定義語は、別段の定義がなされていない限り、本信託証書において定められるものと同様の意味を有するものとする。

時期を問わず、本トラストの本受益証券が異なる種類の本受益証券に分割される場合、本トラストのいずれかの種類の本受益証券に付された権利は、当該種類の本受益証券の名簿上の保有者の個別の総会において可決された当該種類の本受益証券の名簿上の保有者の特別決議による事前の承認がある場合のみ変更できる。いずれかの種類の本受益証券の名簿上の保有者に付与された権利は、当該本受益証券に付された権利又は当該本受益証券の発行条件に明示的に別途定められない限り、当該本受益証券と同等の追加の本受益証券の創設又は発行により改められたものとみなす。本信託証書の別紙1における別段の規定にかかわらず、1つの種類の本受益証券の名簿上の保有者の個別の総会の定足数は、当該種類の発行済本受益証券の保有者の少なくとも3分の1である。

本株式ステーブル受益証券保有者は、上記に記載される権利以外にも本信託証書に記載される権限及び権利を有する。

(2) 【為替管理上の取扱い】

香港では為替管理は行われていない。

ケイマン諸島には、いかなる為替管理規則も通貨制限もない。

(3) 【本邦における代理人】

該当事項なし。

（４）【裁判管轄等】

準拠法

本信託証書は、あらゆる点において、香港法に準拠し、同法に従って解釈される。本トラスティ・マネジャー、HKTリミテッド、各本受益証券保有者及び本株式ステーブル受益証券の保有者は、本条項をもって香港の裁判所の非専属管轄に服する。

香港の裁判所に対する申立

A. 香港の裁判所の固有の管轄権

- (a) 香港の裁判所は、HKTトラストの運営並びにその他のHKTトラスト及び／又は本信託証書に起因し若しくは本信託証書に関する事項を管轄する管轄権を有している。
- (b) 本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者又は本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの運営又はその他のHKTトラスト若しくは本信託証書に起因し若しくは本信託証書に関する事項について、香港の裁判所に対し、当該裁判所が有する管轄権に基づき、申立を提起することができる。

B. 本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者による香港の裁判所に対する申立

- (a) 上記「A. 香港の裁判所の固有の管轄権」の定めが一般に意味するところを損なうことなく、本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者は、下記に掲げる事項を行うことができる。
 - 本トラスティ・マネジャーに本信託証書に定める義務を履行させる命令を発するよう裁判所に申し立てること。裁判所は、適切と判断する条件でかかる命令を発するか、又は当該申立を棄却することができる。
 - 本トラスティ・マネジャー若しくはその取締役のいずれかが若しくはHKTリミテッド若しくはその取締役のいずれかが、本信託証書違反に該当する若しくは該当することになる行為に従事している場合、又は、本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者が、かかる者のいずれかがかかる行為に従事することを検討していると信じるに足る合理的な根拠を有する場合には、当該者に当該行為に従事するのを止めさせる差止命令（暫定的差止命令を含む。）、又は当該者にある行為若しくは事項を強制的に行わせる特定履行を命ずる命令を発するよう裁判所に申し立てること。裁判所は、適切と判断する条件でかかる命令を発するか、又は当該申立を棄却することができる。
- (b) 上記「A. 香港の裁判所の固有の管轄権」の定めが一般に意味するところを損なうことなく、本受益証券の名簿上の保有者はいずれも、下記のいずれかに掲げる事由を根拠として、命令を発するよう香港の裁判所に申し立てることができる。
 - 1名又は複数名の本受益証券の名簿上の保有者（申立人を含む。）に対する不当な方法で、又は自ら若しくは複数名の本受益証券の名簿上の保有者（申立人を含む。）が本受益証券の名簿上の保有者として有する利益を無視して、本トラスティ・マネジャー若しくはその取締役がHKTトラストの業務を遂行し、又は本トラスティ・マネジャー若しくはその取締役が自らの権能を行使したこと。
 - 本トラスティ・マネジャーがHKTトラストのトラスティ・マネジャーの資格で行う何らかの行為が、1名若しくは複数名の本受益証券の名簿上の保有者（申立人を含む。）を不当に差別し若しくはその他の損なうような形式で行われ若しくはそのおそれがあり、又は本受益証券の名簿上の保有者による何らかの決議で、1名若しくは複数名の本受益証券の名簿上の保有者（申立人を含む。）を不当に差別し若しくはその他の損なうようなものが可決された若しくは提議されたこと。

本（b）項に基づき裁判所が発する命令は全て、裁判所が適切と判断する条件で発するものとするが、下記に掲げる事項を命ずる命令を含めることができる。

- 何らかの行為を命じ若しくは禁止し、又は何らかの取引若しくは決議を取り消し若しくは変更すること。
- 本トラスティ・マネジャーの将来の業務遂行を規制すること。
- 本株式ステーブル受益証券の名簿上の保有者全員の名において又はこれらに代わって、本トラスティ・マネジャー取締役を相手方として提起される民事訴訟手続を認めること。

- 申立人が保有する本株式ステープル受益証券を他の本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者に買い取らせること。
- HKTトラストを終了させること。
- 当該命令を目的とする申立に要した並びにこれに伴う費用及び支出を本信託財産から支払わせ、又は裁判所が適切と判断する方法で支払わせること。

C. 本トラスティ・マネジャーによる香港の裁判所に対する申立

本信託証書を本信託証書第26条(c)に基づき変更する場合に、当該変更により本トラスティ・マネジャーが不利益を被るときには、本トラスティ・マネジャーは、本受益証券の名簿上の保有者による当該変更を実施する特別決議の可決後21日以内に、当該変更を取り消す命令を発するように裁判所に申し立てることができる。裁判所は、適切と判断する条件でかかる命令を発するか、又は当該申立を棄却することができる。

D. 正当かつ公正な理由に基づく香港の裁判所に対する清算の申立

本トラスティ・マネジャー、本トラスティ・マネジャー取締役又は本受益証券の名簿上の保有者は、HKTトラストの終了及び清算について、香港の裁判所に対し、裁判所が正当かつ公正と判断する場合には、HKTトラストの終了及び清算を命ずる命令を発するように申し立てることができる。裁判所は、適切と判断する条件で命令を発するか（HKTトラストの終了及び清算又はその他を目的とするかを問わない。）、又は当該申立を棄却することができる。

第3【ファンドの経理状況】

1【財務諸表】

- (1) 以下に記載されている2019年及び2020年12月31日に終了した会計年度の本グループ及びHKTリミテッド・グループの連結財務書類の原文（英文）は、本信託証書の規定及び香港財務報告基準に準拠して作成されたものである。日本語は、これらの原文を翻訳したものである。
- 以下に記載されている本グループ及びHKTリミテッド・グループの連結財務書類は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。その後の改正を含む。）第131条第5項但書の規定の適用を受けている。
- (2) 以下に記載されている本グループ及びHKTリミテッド・グループの連結財務書類は、本ファンドの本国における独立監査人であり、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定される外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース 香港による、香港公認会計士協会が公表した香港監査基準に準拠した監査手続を受けており、金融商品取引法第193条の2第1項第1号に規定される監査証明に相当すると認められる独立監査人の監査報告書（Independent Auditor's Report）を添付の通り受領している。
- (3) 本グループ及びHKTリミテッド・グループの連結財務書類（原文）は、香港ドルで表示されている。主要な勘定科目について円で表示されている金額は、2021年4月1日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値である1香港ドル＝14.26円で換算された金額である。金額は百万円単位で表示されている。この換算は、その金額が上記レートで実際に日本円に交換されるか、又は交換され得たであろうというように解釈すべきものではない。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。
- (注) 本書に掲載する本グループ及びHKTリミテッド・グループの連結財務書類（原文）において、各頁の末尾に頁数及び他頁への参照が記載されていることがあるが、当該頁数及び参照先として記載されている頁数は、香港において開示されている年次報告書における頁数であり、本書の頁数とは一致しない。

（１）【貸借対照表】

A．2020年12月31日に終了した会計年度の財務書類

(1) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結損益計算書（2020年12月31日に終了した会計年度）

科目	期別	注記	2019年		2020年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
収益	7, 8		33,103	472,049	32,389	461,867
売上原価	10(b)		(15,787)	(225,123)	(15,703)	(223,925)
一般管理費	10(c)		(9,622)	(137,210)	(9,498)	(135,441)
その他の利益(純額)	9		3	43	361	5,148
財務費用(純額)	11		(1,372)	(19,565)	(1,296)	(18,481)
関連会社の損益に対する持分			(33)	(471)	(68)	(970)
共同支配企業の損益に対する持分			(18)	(257)	(11)	(157)
税引前利益	7, 10		6,274	89,467	6,174	88,041
法人所得税	13		(1,037)	(14,788)	(855)	(12,192)
当期利益			5,237	74,680	5,319	75,849
以下に帰属する当期利益：						
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者			5,217	74,394	5,303	75,621
非支配持分			20	285	16	228
当期利益			5,237	74,680	5,319	75,849
			香港セント	円	香港セント	円
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり利益	15					
基本的			68.91	10	70.01	10
希薄化後			68.89	10	70.00	10

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(2) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結包括利益計算書（2020年12月31日に終了した会計年度）

科目	期別	2019年		2020年	
		百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
当期利益		5,237	74,680	5,319	75,849
その他の包括(損失)/利益					
連結損益計算書に組替えられた又は その後に組替えられる可能性のある項目：					
海外事業に係る為替換算差額		(2)	(29)	75	1,070
子会社の処分に係る為替換算準備金の 組替		—	—	5	71
キャッシュ・フロー・ヘッジ：					
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分		257	3,665	(268)	(3,822)
－資本から連結損益計算書への振替		152	2,168	(82)	(1,169)
ヘッジのコスト		11	157	181	2,581
当期その他の包括利益/(損失)		418	5,961	(89)	(1,269)
当期包括利益合計		5,655	80,640	5,230	74,580
以下に帰属する包括利益合計：					
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド 株式の保有者		5,635	80,355	5,216	74,380
非支配持分		20	285	14	200
当期包括利益合計		5,655	80,640	5,230	74,580

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(3) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結持分変動計算書（2020年12月31日に終了した会計年度）

	注記	2019年					
		株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属するもの		非支配持分		資本合計	
		百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円
2019年1月1日現在		37,555	535,534	39	556	37,594	536,090
当期包括利益合計							
当期利益		5,217	74,394	20	285	5,237	74,680
その他の包括(損失)/利益							
連結損益計算書に組替えられた又はその後に組替えられる可能性のある項目：							
海外事業に係る為替換算差額		(2)	(29)	—	—	(2)	(29)
キャッシュ・フロー・ヘッジ：							
—公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	29(c)	257	3,665	—	—	257	3,665
—資本から連結損益計算書への振替	29(c)	152	2,168	—	—	152	2,168
ヘッジのコスト	29(c)	11	157	—	—	11	157
その他の包括利益		418	5,961	—	—	418	5,961
当期包括利益合計		5,635	80,355	20	285	5,655	80,640
株主との取引							
HKT株式ステープル受益証券買入制度に基づく株式ステープル受益証券の購入		(38)	(542)	—	—	(38)	(542)
従業員株式報酬		17	242	—	—	17	242
前年度に関する分配金/配当金支払額	14	(2,966)	(42,295)	—	—	(2,966)	(42,295)
当年度に関する中間分配金/配当金宣言額及び支払額	14	(2,272)	(32,399)	—	—	(2,272)	(32,399)
子会社の非支配株主に 対する配当金宣言額及び 支払額		—	—	(13)	(185)	(13)	(185)
株主からの拠出金及び株主に 対する分配金合計		(5,259)	(74,993)	(13)	(185)	(5,272)	(75,179)
子会社の取得		—	—	1	14	1	14
子会社に対する支配の喪失を 伴わない所有者持分の変動		(19)	(271)	11	157	(8)	(114)
子会社に対する支配の喪失を 伴わない所有者持分の変動合計		(19)	(271)	12	171	(7)	(100)
株主との取引合計		(5,278)	(75,264)	(1)	(14)	(5,279)	(75,279)
2019年12月31日現在残高		37,912	540,625	58	827	37,970	541,452

	注記	2020年					
		株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属するもの		非支配持分		資本合計	
		百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円
2020年1月1日現在		37,912	540,625	58	827	37,970	541,452
当期包括利益合計							
当期利益		5,303	75,621	16	228	5,319	75,849
その他の包括利益/(損失)							
連結損益計算書に組替えられた又はその後に組替えられる可能性のある項目：							
海外事業に係る為替換算差額		77	1,098	(2)	(29)	75	1,070
子会社の処分に係る為替換算準備金の組替		5	71	—	—	5	71
キャッシュ・フロー・ヘッジ：							
—公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	29(c)	(268)	(3,822)	—	—	(268)	(3,822)
—資本から連結損益計算書への振替	29(c)	(82)	(1,169)	—	—	(82)	(1,169)
ヘッジのコスト	29(c)	181	2,581	—	—	181	2,581
その他の包括損失		(87)	(1,241)	(2)	(29)	(89)	(1,269)
当期包括利益合計		5,216	74,380	14	200	5,230	74,580
株主との取引							
HKT株式ステーブル受益証券引受制度に基づく株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の発行	31(a)(i)	48	684	—	—	48	684
株式ステーブル受益証券報奨制度に基づく株式ステーブル受益証券の購入/引受		(52)	(742)	—	—	(52)	(742)
PCCW引受制度に基づくPCCW社株式の受領		32	456	—	—	32	456
従業員株式報酬		20	285	—	—	20	285
株式ステーブル受益証券報奨制度に基づく株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の分配金/配当金		(2)	(29)	—	—	(2)	(29)
前年度に関する分配金/配当金支払額	14	(3,057)	(43,593)	—	—	(3,057)	(43,593)
当年度に関する中間分配金/配当金宣言額及び支払額	14	(2,279)	(32,499)	—	—	(2,279)	(32,499)
子会社の非支配株主に 対する配当金宣言額及び 支払額		—	—	(14)	(200)	(14)	(200)
株主からの拠出金及び株主に 対する分配金合計		(5,290)	(75,435)	(14)	(200)	(5,304)	(75,635)
子会社の取得		—	—	4	57	4	57
子会社に対する支配の喪失を 伴わない所有者持分の変動合計		—	—	4	57	4	57
株主との取引合計		(5,290)	(75,435)	(10)	(143)	(5,300)	(75,578)
2020年12月31日現在残高		37,838	539,570	62	884	37,900	540,454

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(4) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財政状態計算書（2020年12月31日現在）

科目	期別	注記	2019年		2020年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
資産及び負債						
非流動資産						
有形固定資産	16		22,177	316,244	24,019	342,511
使用権資産	17		2,436	34,737	2,430	34,652
借地権	18		215	3,066	202	2,881
のれん	19		49,814	710,348	49,816	710,376
無形資産	20		10,118	144,283	11,408	162,678
履行コスト			1,342	19,137	1,418	20,221
顧客獲得コスト			592	8,442	670	9,554
契約資産			346	4,934	354	5,048
関連会社に対する持分	21		209	2,980	211	3,009
共同支配企業に対する持分	22		643	9,169	602	8,585
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	23		124	1,768	124	1,768
純損益を通じて公正価値で 測定する金融資産	24		32	456	49	699
デリバティブ	29		284	4,050	214	3,052
繰延税金資産	33		410	5,847	841	11,993
その他の非流動資産	26		1,106	15,772	1,076	15,344
			89,848	1,281,232	93,434	1,332,369
流動資産						
棚卸資産	27(a)		803	11,451	820	11,693
前払金、預け金及びその他の 流動資産	27(b)		1,811	25,825	2,209	31,500
契約資産			576	8,214	657	9,369
売掛金(純額)	27(c)		3,600	51,336	3,253	46,388
関係会社に対する債権	6(c)		95	1,355	40	570
純損益を通じて公正価値で測 定する金融資産	24		12	171	16	228
デリバティブ	29		6	86	—	—
未収還付税額			—	—	5	71
拘束性預金	27(d)		115	1,640	107	1,526
短期性預金			486	6,930	538	7,672
現金及び現金同等物	35(c)		2,417	34,466	2,092	29,832
			9,921	141,473	9,737	138,850
流動負債						
短期借入金	27(e)		—	—	(1,552)	(22,132)
買掛金	27(f)		(2,342)	(33,397)	(3,945)	(56,256)
未払費用及びその他の未払金			(3,904)	(55,671)	(4,084)	(58,238)
デリバティブ	29		—	—	(24)	(342)
未払通信事業者免許料	34		(195)	(2,781)	(215)	(3,066)
兄弟会社に対する債務	6(c)		(2,855)	(40,712)	(1,585)	(22,602)
関係会社に対する債務	6(c)		—	—	(42)	(599)
顧客からの前受金			(291)	(4,150)	(247)	(3,522)
契約負債			(1,361)	(19,408)	(1,423)	(20,292)
リース負債			(1,065)	(15,187)	(1,251)	(17,839)
当期税金負債			(1,078)	(15,372)	(1,001)	(14,274)
			(13,091)	(186,678)	(15,369)	(219,162)

科目	期別	注記	2019年		2020年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
非流動負債						
長期借入金	28		(40,358)	(575,505)	(40,719)	(580,653)
デリバティブ	29		(38)	(542)	(128)	(1,825)
繰延税金負債	33		(3,874)	(55,243)	(4,253)	(60,648)
未払通信事業者免許料	34		(527)	(7,515)	(627)	(8,941)
契約負債			(1,001)	(14,274)	(1,074)	(15,315)
リース負債			(1,697)	(24,199)	(1,458)	(20,791)
その他の長期性負債			(1,213)	(17,297)	(1,643)	(23,429)
			(48,708)	(694,576)	(49,902)	(711,603)
純資産			37,970	541,452	37,900	540,454
資本金及び剰余金						
発行済資本	31(a)		8	114	8	114
剰余金	32		37,904	540,511	37,830	539,456
株式ステープル受益証券/HKT リミテッド株式の所有者に 帰属する持分			37,912	540,625	37,838	539,570
非支配持分	25(b)		58	827	62	884
資本合計			37,970	541,452	37,900	540,454

本財務書類は、2021年2月4日に、HKTマネジメント・リミテッド及びHKTリミテッドの取締役会（以下総称して「取締役会」という。）により承認され、公表を承認され、取締役会を代表して以下の取締役により署名された。

リチャード・リ・ツアル・カイ

取締役

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン

取締役

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(5) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結キャッシュ・フロー計算書（2020年12月31日に終了した会計年度）

科目	期別	注記	2019年		2020年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
営業活動から得た正味現金		35(a)	11,084	158,058	10,540	150,300
投資活動						
有形固定資産の処分による収入			4	57	3	43
有形固定資産の購入			(2,642)	(37,675)	(2,377)	(33,896)
無形資産の取得			(2,487)	(35,465)	(2,391)	(34,096)
企業結合に関する現金及び現金同等物の純流出額			(4)	(57)	(1,881)	(26,823)
子会社の処分に関する現金及び現金同等物の純流入額			—	—	136	1,939
関連会社への投資			(242)	(3,451)	(70)	(998)
共同支配企業への投資			(35)	(499)	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産への投資			(47)	(670)	—	—
損益を通じて公正価値で測定する金融資産への投資			(31)	(442)	—	—
関連会社への貸付金			(46)	(656)	(11)	(157)
共同支配企業への貸付金			(50)	(713)	(56)	(799)
関連会社からの貸付金の返済			34	485	11	157
リース債権からの現金受領額			71	1,012	69	984
償還日までの期間が3ヵ月超の短期性預金の減少/(増加)			37	528	(52)	(742)
投資活動に使用した正味現金			(5,438)	(77,546)	(6,619)	(94,387)
財務活動						
新規借入金		35(b)	12,948	184,638	19,511	278,227
財務費用支払額		35(b)	(928)	(13,233)	(772)	(11,009)
借入金の返済		35(b)	(12,570)	(179,248)	(17,693)	(252,302)
リース負債の返済(利息を含む)		35(b)	(1,644)	(23,443)	(1,590)	(22,673)
兄弟会社に対する債務の変動		35(b)	1,698	24,213	1,575	22,460
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の発行による収入			—	—	48	684
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に対する分配金/配当金支払額		14	(5,238)	(74,694)	(5,336)	(76,091)
子会社の非支配株主に対する配当金支払額			(13)	(185)	(14)	(200)
子会社の非支配持分取得に対する対価支払額			—	—	(8)	(114)
財務活動に使用した正味現金			(5,747)	(81,952)	(4,279)	(61,019)
現金及び現金同等物の純減少			(101)	(1,440)	(358)	(5,105)
為替換算差額			(16)	(228)	33	471
現金及び現金同等物						
期首現在			2,534	36,135	2,417	34,466
期末現在		35(c)	2,417	34,466	2,092	29,832

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

[次へ](#)

(6) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記（2020年12月31日に終了した会計年度）

1 表示基準

本信託証書（以下に定義されている。）に従い、HKTトラスト（以下「HKTトラスト」という。）及びHKTリミテッド（以下「HKTリミテッド」という。）はそれぞれ、自社の財務書類を連結ベースで作成することが求められている。HKTトラストの2020年12月31日に終了した会計年度の連結財務書類は、HKTトラスト、HKTリミテッド及びその子会社（以下総称して「本グループ」という。）、並びに関連会社及び共同支配企業に対する本グループの持分の連結財務書類で構成されている。HKTリミテッドの2020年12月31日に終了した会計年度の連結財務書類は、HKTリミテッド及びその子会社（以下総称して「HKTリミテッド・グループ」という。）、並びに関連会社及び共同支配企業に対するHKTリミテッド・グループの持分の連結財務書類、さらにHKTリミテッドの財政状態計算書で構成されている。

HKTトラストは、HKTリミテッドを支配しており、2020年12月31日に終了した会計年度におけるHKTトラストの唯一の活動は、HKTリミテッドへの投資であった。したがって、HKTトラストの連結財務書類に表示され则认为される連結経営成績及び連結財政状態は、HKTリミテッドの連結経営成績及び連結財政状態と同一であり、唯一の相違点は、HKTリミテッドの資本の開示である。このため、本トラスティ・マネジャー（以下に定義されている。）の取締役及びHKTリミテッドの取締役は、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類を一緒に表示する方がより明確であると考えている。HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は、同一である限り、一緒に表示されており、ここでは「HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類」と呼ばれている。

連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結財政状態計算書、連結持分変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、主要な会計方針及び関連情報は、HKTトラストとHKTリミテッドに共通している。HKTリミテッドの連結財務書類には、注記5に記載されている通り、HKTリミテッドの個別財政状態計算書も含まれており、また注記31の関連情報にはHKTリミテッドに固有の情報が別途開示されている。

本グループとHKTリミテッド・グループは総称して「本グループ」という。

2 一般事項

HKTトラストは、HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」といい、HKTトラストの受託会社及び管理会社の立場である。）とHKTリミテッドの間で締結された、香港の法律に基づく信託証書（その時々における補足、修正、代替を含む。）（以下「本信託証書」という。）により設立されたトラストである。本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャーはHKTトラストの受託会社及び管理会社に任命されている。本信託証書に規定されているHKTトラストの活動範囲は、基本的にHKTリミテッドへの投資に限定されており、HKTリミテッドの全発行済払込済普通株式はHKTトラストが保有している。HKTリミテッドは、2011年6月14日に、ケイマン諸島の会社法第22章（1961年の法律3（統合・改正済））に基づく特例有限責任会社として、ケイマン諸島で設立された。HKTリミテッドは、香港特別行政区（以下「香港」という。）、クオーリ・ベイ、979 キングス・ロード、タイクー・プレイス、PCCWタワー、39階に、香港における主要な営業所を開設しており、非香港会社として登記されている。HKTリミテッド・グループは、主に、電気通信及び関連サービス（地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、モバイル、メディア・エンタテインメント、企業ソリューション並びに顧客構内設備の販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他の電気通信事業を含む。）の提供に従事している。HKTリミテッド・グループは、主に香港で営業活動を行っており、また中国本土及び世界のその他の地域において顧客にサービスを提供している。

株式ステープル受益証券（以下「本株式ステープル受益証券」という。）は、(a) HKTトラストの受益証券、(b) 本受益証券に「紐付け」され、HKTトラストの受託会社及び管理会社の立場にある法的所有者として本トラスティ・マネジャーが保有する、HKTリミテッドの具体的に特定された普通株式の受益持分、及び(c) 本受益証券に「一体化された」HKTリミテッドの具体的に特定された優先株式で構成されている。HKTトラストとHKTリミテッドが共同で発行した本株式ステープル受益証券は、香港証券取引所のメインボードに上場されている。

HKTトラストとHKTリミテッドのいずれも、最終的な持株会社は、香港において設立されたPCCWリミテッド（以下「PCCW社」という。）であり、その株式は香港証券取引所のメインボードに上場され、米国のOTCマーケット・グループ・インクにおいて米国預託証券の形式で取引されている。

本財務書類は、別途記載のない限り、香港ドル単位で表示されている。

3 作成基準及び主要な会計方針

a. 法令遵守の声明

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類は、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している個々の香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）、香港会計基準（以下「HKAS」という。）及び解釈指針の全てに対する総称であり、全てに適用される香港財務報告基準、香港で一般に公正妥当と認められている会計原則並びに香港会社条例の開示要件（第622章）に準拠して作成されている。本グループが適用している主な会計方針の要約は、以下の記載の通りである。

b. 財務書類の作成基準

以下の新規の又は修正された香港財務報告基準（以下「新規の又は修正HKFRS」という。）は、2020年1月1日に開始する会計年度において適用されているが、当会計期間及び前会計期間の本グループの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすものではない。

- － HKAS第1号(改訂)(修正) 財務諸表の表示
- － HKAS第8号(修正) 会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬
- － HKAS第39号(修正) 金融商品：認識及び測定
- － HKFRS第3号(改訂)(修正) 企業結合
- － HKFRS第7号(修正) 金融商品：開示
- － HKFRS第9号(2014年)(修正) 金融商品
- － HKFRS第16号(修正) リース
- － 2018年財務報告に関する概念フレームワーク

本グループは、当会計期間においてまだ効力を生じていない他の新規の又は修正されたHKFRS及びHKASのいずれも早期適用しておらず、その詳細は注記43に記載されている。

2020年12月31日に終了した会計年度における連結財務書類は、本グループの財務書類並びに関連会社及び共同支配企業に対する本グループの持分で構成されている。

財務書類の作成にあたり用いられた測定基準は取得原価主義であるが、以下の資産及び負債は、以下の会計方針に記載の通り、公正価値で表示されている。

- － 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産（注記3(n)を参照のこと。）
- － その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産（注記3(n)を参照のこと。）
- － デリバティブ（注記3(p)を参照のこと。）

2020年12月31日現在、本グループの流動負債は、流動資産を5,632百万香港ドル上回っていた。流動負債には、(i) 短期借入金1,552百万香港ドル（今後12ヵ月以内に満期日が到来するため、この金額は、主に当年度における非流動負債から流動負債への借入金の組替えを示しており、本グループはこの残高を長期借入金へ借換える手配をしている。）及び(ii) 認識された契約債務の流動部分1,423百万香港ドル（この金額は、直接的な現金決済を必要とせず、履行義務の充足により、契約期間にわたり徐々に減少する。）が含まれていた。また、本グループの営業活動からの純キャッシュ・インフローを生成する能力及び2020年12月31日現在における未使用の銀行融資枠9,069百万香港ドルを考慮すると、経営陣は、本グループが今後12ヵ月以内の期日到来時にその負債の履行を行うことは可能であると考えている。したがって、本連結財務書類は継続企業の前提に基づいて作成されている。

香港財務報告基準に準拠した財務書類の作成において、経営陣は、会計方針の適用、並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り、仮定を行うことが求められる。見積り及び関連する仮定は、過去の経験及びその状況において合理的と考えられる様々なその他の要因に基づいており、その結果は、他の情報源からは直ちに明白でない資産及び負債の帳簿価額についての判断の基礎を形成する。実際の結果は、これらの見積りと異なる場合がある。

見積り及びその基礎となる仮定は継続的に見直しが行われる。会計上の見積りの変更は、変更がその期間のみに影響を及ぼす場合には見積りが変更された期間において認識され、変更が当期と将来の期間の両方に影響を及ぼす場合には変更された期間と将来の期間において認識される。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に重大な影響を及ぼす香港財務報告基準の適用にあたり経営陣が行う判断、並びに翌年度の重要な調整という重大なリスクを伴う見積りについては、注記4を参照のこと。

c. 子会社及び非支配持分

子会社とは、本グループに支配される企業（ストラクチャード・エンティティを含む）である。本グループが、企業への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャー又は権利を有し、かつ、当該企業に対するパワーによりそれらのリターンに影響を及ぼす能力を有している場合には、支配が存在する。

子会社に対する持分は、支配を開始した日から支配を喪失した日までの間、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類において連結される。

本グループによる子会社取得の会計処理には取得法が用いられる。取得コストは、交換日現在の移転した資産、発行した資本性金融商品、及び発生した又は引き受けた負債の公正価値総額として測定される。移転した対価には、条件付対価契約から生じる資産、負債又は資本の公正価値が含まれる。資産又は負債とみなされる条件付対価の公正価値のその後の変動は、HKFRS第9号（2014年）「金融商品」に従って、連結損益計算書に認識される。資本に分類される条件付対価は再測定が行われず、その後の決済は資本内で会計処理される。

取得関連コストは発生時に費用計上される。企業結合において取得した識別可能な資産並びに引き受けた負債及び偶発負債は、取得日現在の公正価値で当初測定される。被取得企業の非支配持分について、本グループは、取得案件ごとに、公正価値、又は被取得企業の純資産に対する非支配持分の比例持分のいずれかで認識する。非支配持分のその他の構成要素は全て、香港財務報告基準によって別の測定基準が要求されない限り、その取得日現在の公正価値で測定される。

移転した対価、被取得企業の非支配持分の金額及び以前から保有していた被取得企業に対する持分の取得日現在の公正価値の合計額が、取得した識別可能な純資産の公正価値を超過する部分は、のれんとして計上される（注記3(i)を参照のこと。）。割安購入において、この合計額が被取得子会社の純資産の公正価値を下回る場合、差額は連結損益計算書に直接認識される。事業を取得し、取得した事業の純資産の公正価値が取得日から12ヵ月以内に最終決定される場合、公正価値調整は全て、取得日に発生したものとして計上され、その後、過年度に報告された財務業績の修正再表示が行われる可能性がある。

企業結合が段階的に行われた場合、取得企業が以前から保有している被取得企業の持分の取得日現在の帳簿価額は、取得日現在の公正価値で再測定される。かかる再測定によって発生する利益又は損失があれば、連結損益計算書に認識される。

本グループは、支配の喪失を伴わない非支配持分との取引を、本グループの株主との取引として処理している。支払った対価の公正価値と取得した子会社の純資産の帳簿価額の適切な持分との差額が資本に計上される。非支配持分の処分による利益又は損失も資本に計上される。

会計年度末が本グループと異なる子会社については、連結の目的で、子会社は本グループと同日までの期間及び同日現在の財務書類を作成する。

本グループが採用した会計方針との整合性を確保するために子会社の会計方針を調整する必要がある場合、当該子会社の財務書類は調整される。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の作成にあたり、グループ会社間債権債務残高及び取引並びにグループ会社間取引から生じた未実現利益は全額相殺消去される。グループ会社間取引から生じた未認識損失は、未実現利益と同様に相殺消去される。

HKTリミテッドの財政状態計算書上では、子会社に対する持分は取得原価から減損損失を控除した金額で表示されている。取得原価には、投資に直接起因するコストが含まれている。取得原価は条件付対価の修正から生じる対価の変動を反映するように調整される。子会社の経営成績は、受取配当金に基づきHKTリミテッドによって会計処理される。

d. 関連会社

関連会社とは、本グループが重要な影響力を有するが支配を有していない事業体であり、一般的に議決権の20%から50%の株式保有を伴う。

関連会社への投資は、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類において、持分法で会計処理され、取得原価で当初計上される。関連会社に対する本グループの持分には、取得により識別されたのれん（減損損失累計額控除後）が含まれ、その後、関連会社の純資産に対する本グループの持分の取得後の変動に応じて調整される。連結損益計算書には、関連会社の取得後の税引後損益及び当期減損損失に対する本グループの持分が含まれる。連結包括利益計算書には、関連会社の取得後かつ税引後のその他の包括利益項目に対する本グループの持分が含まれる。

損失に対する本グループの持分が関連会社に対する持分を上回る場合、本グループの持分はゼロに減額され、追加の損失認識は中止される。ただし、本グループが法的若しくは推定的な債務を負っている場合、又は関連会社に代わって支払を行った場合には、関連会社に対する本グループの持分は、持分法による投資の帳簿価額及び当該関連会社に対する本グループの正味持分の一部を実質的に構成する本グループの長期持分となる。

本グループとその関連会社の間の取引から生じた未実現損益は、関連会社に対する本グループの持分の範囲まで相殺消去される。ただし、未実現損失が移転された資産の減損の証拠となる場合、その未実現損失は直ちに連結損益計算書に認識される。

関連会社に対する所有持分が減少するものの、重要な影響力は保持される場合、過年度にその他の包括利益に認識された金額の比例持分のみが、適宜、連結損益計算書に組替えられる。

本グループが採用した会計方針との整合性を確保するために関連会社の会計方針を調整する必要がある場合、当該関連会社の財務書類は調整される。

e. 共同支配の取決

本グループは、全ての共同支配の取決に対してHKFRS第11号「共同支配の取決」を適用している。HKFRS第11号に基づき、共同支配の取決は、各投資者の契約上の権利及び義務によって、共同支配企業又は共同支配事業のいずれかに分類される。

本グループは、共同支配の取決の純資産に対する権利を有する場合、共同支配の取決を共同支配企業に分類している。

共同支配企業への投資は、注記3(d)に記載の通り、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類において持分法で会計処理される。

本グループが採用した会計方針との整合性を確保するために共同支配企業の会計方針を調整する必要がある場合、当該共同支配企業の財務書類は調整される。

f. 支配の獲得又は喪失

本グループが支配を喪失した場合、当該事業体に対する留保持分は、支配を喪失した日に公正価値で再測定され、帳簿価額の変動は連結損益計算書に認識される。この公正価値は、その後に留保持分を関連会社、共同支配の取決又は金融資産として会計処理する際の当初の帳簿価額となる。また、当該事業体に関して過年度にその他の包括利益に認識された金額は、本グループが関連する資産又は負債を処分したものと仮定して会計処理される。これは、過年度にその他の包括利益に認識された金額が連結損益計算書に組替られたことにあたる。

g. 有形固定資産

以下の有形固定資産項目は、連結財政状態計算書において、減価償却累計額及び減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される（注記3(o)(ii)を参照のこと。）。

- 借地に建設された自社使用目的で保有する建物のうち、賃借開始時に借地の公正価値とは別に建物の公正価値を測定するもの（注記3(h)を参照のこと。）
- その他の設備及び装置項目

有形固定資産項目の取得原価は、(i)その購入価格、(ii)当該資産を意図した用途で稼働可能にし、設置するために直接起因する費用、及び(iii)当該資産項目の解体及び除去費用並びに当該資産が所在している敷地の原状回復費用に関する設置時及び使用期間（該当する場合）における当初見積額からなる。

取得後のコストは、有形固定資産項目項目に係る将来の経済的便益が本グループに流入する可能性が高く、かつ当該項目のコストについて信頼性をもって測定できる場合に限り、適宜、当該項目の帳簿価額に含めるか、又は個別の有形固定資産項目として認識される。修繕維持費及び整備費等のその他の費用は全て、発生した期間の連結損益計算書に費用として認識される。

有形固定資産項目の除却又は処分による損益は、除却又は処分日に当該項目の処分による純収入と帳簿価額との差額として算定され、連結損益計算書に認識される。

建設中のプロジェクトについては減価償却が行われない。その他の有形固定資産の減価償却費は、有形固定資産項目の取得原価から見積残存価値（該当する場合）を控除後の金額を、以下の見積耐用年数にわたり定額法で償却するように計算される。

建物	満了前の土地貸借期間と見積耐用年数のいずれか短い期間
交換機	5年から25年
送電設備	5年から40年
その他の設備及び装置	1年から20年

資産の耐用年数及び残存価値（該当する場合）は、各報告期間末現在で見直され、必要に応じて修正される。

h. リース資産

取引又は一連の取引から成る取決が、対価と交換に、特定された資産の使用を一定期間にわたり支配する権利を移転すると本グループが判断した場合、その取決はリース契約又はリースを含む契約である。かかる判断は、取決の実質に関する評価に基づき下され、取決がリースの法的形式を伴うか否かを問わない。

i. 本グループが借手である資産

リースは、本グループがリース資産を使用可能となった日に、使用权資産／借地権及び対応する負債（該当する場合）として当初認識される。各リース料は負債と財務費用の間で配分される。財務費用は、各期間において負債の残高に対して一定の期間金利をもたらすように、リース期間にわたり連結損益計算書に費用計上される。使用权資産は、資産の耐用年数とリース期間のいずれか短い方の期間にわたり定額法で減価償却される。借地権は、リース期間にわたり定額法で償却される。

本グループは、原資産の特定のクラスのリース構成単位と非リース構成単位を区別せず、またリース負債及び使用权資産の測定において全体を単一のリース構成単位として会計処理する実務上の便法を選択した。

本グループが借手である資産及び対応する負債は、現在価値で当初測定される。リース負債には、以下のリース料の正味現在価値が含まれる。

- － 固定リース料（実質的な固定リース料を含む）から、リース・インセンティブ債権を控除した金額
- － 指数又はレートに応じて決まる変動リース料
- － リースの解約に関するペナルティの支払額（リース期間が賃借人である本グループによるリース解約オプションの行使を反映している場合）

また、合理的な特定の延長オプションに基づき支払われるリース料も、負債の測定に含まれる。

リース料は、リースに内在する利率（その利率を決定できる場合）又は各事業体の追加借入利率率を用いて割引かれる。使用权資産は以下の項目から構成される取得原価で測定される。

- － リース負債の当初測定額
- － 開始日以前に支払ったリース料から、受取ったリース・インセンティブを控除した金額
- － 当初直接コスト
- － 原状回復コスト

短期リース及び少額資産のリースに関連するリース料は、連結損益計算書に費用として、定額法で認識される。短期リースとはリース期間が12ヵ月以下のリースである。少額資産は機器及び小型のオフィス家具で構成される。

ii. 本グループが貸手である資産

リースは、原資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんど全てを移転する場合には、ファイナンス・リースとして分類される。リースは、原資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんど全てを移転するものではない場合には、オペレーティング・リースとして分類される。

本グループが使用権資産の貸手である場合（以下「サブリース」という。）、中間の貸手である本グループは、原リースから生じた使用権資産を参照して、このサブリースをファイナンス・リース又はオペレーティング・リースに分類する。

本グループがオペレーティング・リースにより資産を貸出している場合、資産はそれぞれの性質に応じて連結財政状態計算書に計上され、該当する場合は、本グループの減価償却の方針に従い減価償却が行われる。減損損失は注記3(o)(ii)に記載の会計方針に従い会計処理される。オペレーティング・リースから生じた収益は、リース期間を網羅する会計期間にわたり均等額で連結損益計算書に認識される。付与されたリース・インセンティブは正味受取リース料合計の不可欠な部分として連結損益計算書に認識される。条件付リース料は、稼得した会計期間において収益認識される。

本グループがファイナンス・リースに基づき資産を貸出している場合、受取リース料の現在価値は、債権として認識される。各受取リース料は、債権と受取利息の間で配分される。受取リース料の利息部分は、各期間の債権残高に対して一定の期間金利をもたらすように、リース期間にわたり連結損益計算書に認識される。

i. のれん

のれんは、移転した対価、被取得企業の非支配持分の金額及び以前から保有していた被取得企業に対する持分の取得日現在の公正価値から構成される取得原価が、取得日現在の被取得企業の識別可能な資産、負債及び偶発負債の正味公正価値に対する本グループの持分を超過する部分を示している。

のれんは、減損損失累計額控除後の取得原価で連結財政状態計算書に計上される。のれんは資金生成単位（以下「CGU」という。）に配分され、減損テストが少なくとも年1回は実施される（注記3(o)(ii)を参照のこと。）。関連会社及び共同支配企業ののれんの帳簿価額は、関連会社及び共同支配企業に対する持分の帳簿価額に含まれる。

期中のCGU若しくはCGUの一部、関連会社又は共同支配企業の処分にあたり、購入したのれんに帰属する金額は処分に係る利益又は損失の計算に含まれる。

j. 無形資産（のれん以外）

i. 通信事業者免許

電気通信ネットワークを設定・維持し、電気通信サービスを提供するための通信事業者免許は無形資産として計上される。通信事業者免許の発行にあたり、その費用は、通信事業者免許期間にわたる最低年間通信事業者免許料の割引後の価値に当該資産を意図した用途で使用するための準備に直接帰属する費用を加えたものであり、無形資産として計上され、関連する債務も計上される。本グループに当該通信事業者免許を返還する権利があり、その予定である場合、当該資産及び関連する債務には通信事業者免許の保有予定期間が反映される。償却費は、該当する電気通信サービスの開始日から、通信事業者免許の見積使用期間にわたり定額法で計上される。

割引後の価値と最低年間通信事業者免許料合計との差額は実効金融費用を示している。かかる金融費用は実効金利法を用いて発生した期間の連結損益計算書に費用計上されることとなる。

最低年間通信事業者免許料に加えて変動年間通信事業者免許料がある場合、発生時に連結損益計算書に認識される。

ii. 資産計上された番組費用

本グループが放映スケジュールを決定することができるテレビ番組の制作又は放映権の取得のために発生した費用は、無形資産として資産計上される。無形資産は、予想される経済的耐用年数である2年から3年とライセンス期間のいずれか短い期間にわたり加速償却される。番組、スポーツイベントや映画を本グループのテレビ局で放映するための放映権に係るその他の費用（複数のシーズン又は競技会のスポーツ権を含むが、そのうち、放映スケジュールはコンテンツ提供者により決定される。）は、シーズン又は競技会全体にまたがる放映権の期間にわたって定額法で連結損益計算書に計上される。前払い又は後払いのその他の番組費用の支払いは、適宜、前払金、預け金及びその他の流動資産又は未払費用及びその他の未払金として連結財政状態計算書に認識される。

iii. ソフトウェア

科学的又は技術的知識、新しいプロセス又はシステムの設計及び導入、免許並びに市場知識を取得、開発又は強化するために発生した費用は、識別可能であり、その基礎となるリソースからもたらされる将来の経済的便益を得る権限が本グループにある場合、無形資産として資産計上される。

識別可能なソフトウェアの設計及びテストに直接起因する開発費は、以下の基準を満たした場合、無形資産として資産計上される。

- － ソフトウェアの完成が技術的に実現可能であるため、利用可能と見込まれる。
- － 開発の完成及びソフトウェアの利用のために技術上、財務上及びその他の適切なリソースが利用可能である。
- － ソフトウェアの取得、開発及び強化に起因する費用を、信頼性をもって測定することができる。
- － その基礎となるリソースからもたらされる将来の経済的便益を得る権限が本グループにある。

上記の基準を満たさない開発費は、発生時に連結損益計算書に費用計上される。

資産計上されたソフトウェア費用は8年から10年の見積使用期間にわたり定額法で償却される。

iv. その他の無形資産

本グループが取得したその他の無形資産は、償却累計額（見積耐用年数が確定できる場合）及び減損損失（注記3(o)(ii)を参照のこと。）を控除後の取得原価で連結財政状態計算書に計上される。自己創設のれん及び商標に係る支出は発生した期間において費用として認識される。

見積耐用年数が確定できる無形資産の償却については、それぞれの見積耐用年数にわたり定額法で連結損益計算書に費用計上される。以下の見積耐用年数が確定できる無形資産は、使用可能になった日より、以下の見積耐用年数にわたり償却される。

商標権	20年
顧客基盤	8年から10年

当該資産の耐用年数及びその償却方法は年1回見直しが行われる。

k. 履行コスト

顧客との契約を履行するために発生した直接コストは、本グループの電気通信サービス及び有料テレビ・サービスに関する設置及び関連コストから主に構成され、将来における履行義務の充足に使用される本グループの資源を創出又は増価させ、かつ回収が見込まれる場合に、資産として計上される。履行コストは、顧客との契約の予想期間にわたり定額法で償却される。

l. 顧客獲得コスト

顧客との契約を獲得するために発生した増分コストは、主に販売手数料で構成され、本グループがこれらのコストの回収を見込んでいる場合、顧客獲得コストとして資産計上される。契約獲得コストは、顧客との契約の予想期間にわたり規則的に償却される。

m. 契約資産/負債

顧客は事前に合意した支払スケジュールに基づき支払う。本グループが履行した履行義務が、これまでに受領した払戻不可の支払額と契約対価に対する無条件の権利の合計を超過する場合、契約資産が認識される。これまでに受領した払戻不可の支払額と契約対価に対する無条件の権利の合計が履行した履行義務を超過する場合には、契約負債が認識される。契約資産は、契約対価に対する本グループの権利が無条件となった時点で、債権に振替えられる。

顧客からの前受金は、払戻可能な前受金を示す。この会計方針に関して、注記3(u)を参照のこと。

n. 負債性証券及び資本性証券への投資

分類

本グループは、子会社、関連会社及び共同支配の取決以外の負債性証券及び資本性証券への投資を以下の通りに分類している。

- 公正価値で事後測定するもの（その他の包括利益を通じて公正価値で測定する（以下「FVOCI」という。）又は純損益を通じて公正価値で測定する（以下「FVPL」という。））
- 償却原価で測定するもの

分類は、金融資産を管理する本グループの事業モデル及びキャッシュ・フローの契約上の条件に応じて行われる。

公正価値で測定する資産に係る利益又は損失は、純損益又はその他の包括利益のいずれかに計上される。負債性金融商品への投資については、投資が保有される事業モデルによって異なる。売買目的保有でない資本性金融商品への投資については、本グループが当初認識時に資本性金融商品をFVOCIで会計処理するという取消不能の選択を行ったか否かによって異なる。

本グループは、これらの資産を管理する事業モデルが変更された場合にのみ、負債性金融商品を分類変更する。

認識及び認識の中止

金融資産の通常の方法による売買は、本グループが当該資産の売買を約定する日である約定日に認識される。金融資産は、金融資産からキャッシュ・フローを受け取る権利が消滅又は譲渡され、本グループが所有に係るリスクと経済価値のほとんど全てを移転した時点で認識を中止する。

当初測定

当初認識時に、本グループは、金融資産を公正価値で（FVPLで測定しない金融資産については、それに当該金融資産の取得に直接起因する取引コストを加算した金額で）測定する。FVPLで測定する金融資産の取引コストは、連結損益計算書に費用計上される。

組込デリバティブを伴う金融資産は、そのキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるか否かを判断する際に、全体として検討される。

事後測定

負債性金融商品

負債性金融商品の事後測定は、資産を管理する本グループの事業モデル及び資産のキャッシュ・フロー特性によって異なる。本グループが負債性金融商品を分類する3つの測定区分は以下の通りである。

- 償却原価：契約上のキャッシュ・フローの回収を目的として保有する資産で、そのキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみを表すものは、償却原価で測定する。償却原価で事後測定する負債性金融商品に係る損益は、当該資産の認識の中止又は減損の時点で連結損益計算書に認識される。これらの金融資産からの受取利息は、実効金利法を用いて受取利息に含まれる。
- FVOCI：契約上のキャッシュ・フローの回収及び売却を目的として保有する資産で、当該資産のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみを表すものは、FVOCIで測定する。帳簿価額の変動はその他の包括利益に計上される。ただし、減損損失、実効金利法を用いた受取利息及び為替差損益は、連結損益計算書に認識される。金融資産の認識が中止された場合、従来その他の包括利益に認識されていた累積損益は、資本から連結損益計算書に分類変更され、「その他の利益/（損失）（純額）」に認識される。
- FVPL：償却原価又はFVOCIの基準を満たさない資産は、FVPLで測定する。FVPLで事後測定する負債性金融商品に係る損益は、その発生期間に連結損益計算書の「その他の利益/（損失）（純額）」に純額で認識及び表示される。

資本性金融商品

本グループは、全ての資本性金融商品を公正価値で事後測定する。本グループの経営陣が、当初認識時に、資本性金融商品に係る公正価値の利得及び損失をその他の包括利益に表示するという取消不能な選択を行った場合、投資の認識の中止後に、公正価値の利得及び損失を連結損益計算書に事後的に振替えることはなく、FVOCIで測定する金融資産準備金のうち当該資本性金融商品に関する残高は利益剰余金に分類変更される。当該投資からの配当金は引き続き、本グループの支払を受ける権利が確定した時点で、連結損益計算書の「その他の利益/（損失）（純額）」に認識される。

FVPLで測定する金融資産の公正価値の変動は、適宜、連結損益計算書の「その他の利益/（損失）（純額）」に認識される。

FVOCIで測定する資本性金融商品に係る減損損失（及び減損損失の戻入れ）は、その他の公正価値の変動から区分して計上されない。

o. 資産の減損

i. 負債性金融商品、売掛金及びその他の債権への投資

本グループは、償却原価又はFVOCIで計上する負債性金融商品、並びに償却原価で計上する売掛金及びその他の債権に関連する予想信用損失について、将来予測ベースで評価している。

負債性金融商品及びその他の債権への投資について、本グループは、資産の当初認識時に債務不履行の可能性を、また各報告期間を通じて継続的に信用リスクの著しい増大の有無を検討している。信用リスクの著しい増大の有無を評価するために、本グループは、入手可能な合理的かつ裏付可能な将来予測情報を考慮して、報告日現在の資産に発生している債務不履行リスクと当初認識日時点の債務不履行リスクを比較する。検討事項には以下が含まれる：

- － 内部信用格付け
- － 外部信用格付け（入手可能な範囲）
- － 借手の債務履行能力に著しい変化をもたらすと予想される事業、財務又は経済状況の実際の又は予想される著しい不利な変化
- － 借手の経営成績の実際の又は予想される著しい変化
- － 同一の借手の他の金融商品に係る信用リスクの著しい増大
- － 本グループにおける借手の支払状況の変化や借手の経営成績の変化を含む、借手の予想されるパフォーマンスや行動の著しい変化

上記の分析にかかわらず、債務者が延滞し、請求書の支払期日の翌日に未決済残高があるという債務不履行状態にある場合には、信用リスクが著しく増大していると推定する。

各報告日において、ある金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合、本グループは、全期間の予想信用損失に等しい金額で、当該金融資産に対する損失引当金を測定する。報告日において、ある金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、本グループは、12ヵ月の予想信用損失に等しい金額で当該金融資産に対する損失引当金を測定する。

売掛金及び契約資産について、本グループは、簡便法を適用して予想信用損失に対する引当てを行っている。この方法では、全ての売掛金及び契約資産に対して、全期間の予想損失引当金を使用することができる。予想信用損失を測定するために、売掛金は、共通の信用リスク特性及び期日経過日数に基づきグルーピングされている。本グループは、予想信用損失を測定する際に、信用損失が発生する可能性及び信用損失が発生しない可能性を反映させることにより、信用損失が発生するリスク又は可能性を検討している。

金融資産は、回収が合理的に見込めない場合に直接償却される。本グループは、債務者が所定の限度を超える期間にわたり契約上の支払を行わない場合に、金融資産を直接償却している。貸付金又は債権が直接償却された場合でも、本グループは、期日が到来した債権の回収を試みるために、引き続き履行強制活動を行う。回収が行われた場合には、連結損益計算書に認識される。

ii. その他の資産の減損

以下の資産が減損している可能性を示す兆候、又は（のれんのケースを除き）過年度に認識された減損損失が存在しなくなった、若しくは減少している可能性を示す兆候を識別するために、各報告期間末において、又は帳簿価額が回収できない可能性があることを示すような事象若しくは状況の変化が発生した場合はいつでも、内部及び外部の情報源が再検討される。

- － 有形固定資産
- － 使用権資産
- － 借地権
- － 履行コスト
- － 顧客獲得コスト
- － 無形資産
- － 関連会社及び共同支配企業に対する持分
- － のれん

かかる兆候が存在する場合、当該資産の回収可能額が見積られる。のれん、まだ使用できる状態にない無形資産及び耐用年数を確定できない無形資産を含むCGUについては、減損の兆候の有無にかかわらず、減損テストが年1回実施される。

－ 回収可能額の算定

資産の回収可能額は、その公正価値から売却コストを控除した金額と使用価値のいずれか高い金額である。公正価値から売却コストを控除した金額とは、取引の知識がある自発的な当事者が独立第三者間取引において資産の売却により得る金額から、売却コストを控除した金額である。使用価値の評価にあたり、見積将来キャッシュ・フローは、貨幣の時間的価値及び当該資産に固有のリスクに関する現在の市場の評価を反映した税引前割引率を用いて、現在価値まで割引かれる。資産が概ね他の資産から独立したキャッシュ・インフローを生成しない場合、回収可能額は独立してキャッシュ・インフローを生成する資産グループの最小単位（すなわち、1単位のCGU）について算定される。

ー 減損損失の認識

資産又は資産が帰属するCGUの帳簿価額がその回収可能額を上回る場合、減損損失が連結損益計算書に認識される。CGUに関して認識された減損損失は、最初に、当該CGUに配分されたのれんの帳簿価額を減額し、次に比例按分によって、当該CGU内のその他の資産の帳簿価額を減額するよう配分される。ただし、資産の帳簿価額が個々の資産の売却コスト控除後の公正価値又は使用価値（算定可能な場合）を下回るほど減額されることはない。

ー 減損損失の戻入

のれん以外の資産に関して、回収可能額の算定に使用した見積りに有利な変化が生じている場合には減損損失が戻入られる。のれんに関する減損損失は戻入れが認められていない。

減損損失の戻入額は、当該資産について過年度に認識された減損損失がなかったならば算定されたと考えられる帳簿価額までに限られる。減損損失の戻入れは、戻入れが認識された期間の連結損益計算書に費用の減額として計上される。

iii. 中間財務報告及び減損

香港証券取引所の有価証券上場規則に基づき、本グループは、会計年度の期首から6ヵ月間に関して、HKAS第34号「中間財務報告」に準拠して中間財務報告書を作成することが求められている。中間期末現在において、本グループは、会計年度末現在におけるものと同じ減損テスト、認識及び戻入れの基準を適用している（注記3(o)(i)及び3(o)(ii)を参照のこと。）。

のれんに関して中間期間に認識された減損損失については、その後の期間に戻入れは行われない。当該中間期間が関連する会計年度末現在においてのみ減損の評価が行われていたならば、損失が認識されなかったか、又は損失の金額がより少なかったと考えられる場合でも同様である。

p. デリバティブ

デリバティブは、デリバティブ契約締結日に公正価値で当初認識され、その後、各報告期間末現在において公正価値で再測定される。公正価値での再測定に係る利益又は損失は、直ちに連結損益計算書に認識される。ただし、デリバティブがヘッジ会計として指定され、適格である場合には、結果として生じる利益又は損失の認識はヘッジ対象の性質により異なる（注記3(q)を参照のこと。）。

ヘッジ手段であるデリバティブの公正価値は全額、ヘッジ対象の満期までの残存期間が12ヵ月超の場合は非流動資産又は負債に分類され、ヘッジ対象の満期までの残存期間が12ヵ月以下の場合は流動資産又は負債に分類される。トレーディング目的のデリバティブは流動資産又は負債に分類される。

q. ヘッジ

ヘッジ関係の開始時に、本グループは、ヘッジ手段のキャッシュ・フローの変動がヘッジ対象のキャッシュ・フローの変動を相殺することが見込まれるどうかを含め、ヘッジ手段とヘッジ対象の間の経済的関係を文書化している。本グループは、ヘッジ取引を行うためのリスク管理の目的と戦略を文書化している。

キャッシュ・フロー・ヘッジ

キャッシュ・フロー・ヘッジとして指定された適格デリバティブの公正価値の変動のうち有効部分は、資本の部のヘッジ準備金に認識される。非有効部分に係る損益は、連結損益計算書の財務費用に直ちに認識される。

本グループは、予定取引のヘッジに先渡契約を利用する場合、先渡契約の公正価値の変動のうち直物要素に関する部分のみをヘッジ手段として指定している。先渡契約の直物要素の変動の有効部分に係る損益は、資本の部のヘッジ準備金に認識される。先渡要素の変動は連結損益計算書に認識される。

本グループは、将来のキャッシュ・フローのヘッジにクロスカレンシー・スワップ契約を利用する場合、外貨ベースのスプレッド要素を除いたスワップ契約の公正価値の変動のみをヘッジ手段として指定している。外貨ベースのスプレッド要素を除いたスワップ契約の有効部分に係る損益は、資本の部のヘッジ準備金に認識される。スワップ契約の外貨ベースのスプレッドの公正価値の変動は、ヘッジ対象に関連する場合、資本の部のヘッジのコスト準備金に認識される。

資本の部の累計額は、ヘッジ対象が連結損益計算書に影響を与える期間に以下の通りに分類変更される。

- － 先渡契約の有効部分に係る損益は、ヘッジ対象が純損益に影響を与える時点で、連結損益計算書に認識される。
- － 外貨建借入金をヘッジするクロスカレンシー・スワップ契約の有効部分に係る損益は、ヘッジ対象の借入金の支払利息と同時に、連結損益計算書の財務費用に認識される。
- － 変動利付借入金をヘッジする金利スワップ契約の有効部分に係る損益は、ヘッジ対象の借入金の支払利息と同時に、連結損益計算書の財務費用に認識される。

ヘッジ手段が終了、売却若しくは解約された場合、又はヘッジがヘッジ会計の基準を満たさなくなった場合、その時点の資本の部の累積繰延損益及び繰延ヘッジのコストは、予定取引が発生し、純損益に影響を与えるまで、引き続き資本の部に計上される。予定取引が発生しなくなると見込まれる場合、資本の部に計上された累積損益及び繰延ヘッジのコストは、直ちに連結損益計算書に分類変更される。

ヘッジの非有効部分は、連結損益計算書の財務費用に認識される。

r. 棚卸資産

棚卸資産は、購入した部品及び原材料、完成品並びに消耗品で構成されている。

購入した部品及び原材料並びに完成品は、原価と正味実現可能価額のいずれか低い方の金額で計上される。正味実現可能価額とは、通常の業務取引における見積販売価格から、完成までに要する見積原価及び販売に要する見積費用を控除した金額である。

本グループの電気通信システムの保守管理及び拡充に使用する目的で保有している消耗品は劣化及び陳腐化引当金控除後の取得原価で計上される。

原価計算は加重平均法を用いて行われており、仕入原価、加工費及び在庫を現在の場所に移動し、現在の状態にするために発生したその他の費用全てが含まれる。

s. 売掛金及びその他の債権

売掛金及びその他の債権は、公正価値で認識される場合、重大な金融要素を含んでいない限り、無条件の対価の金額で当初認識される。本グループは、契約上のキャッシュ・フローの回収を目的として、売掛金及びその他の債権を保有しているため、実効金利法を用いた償却原価から予想信用損失引当金（注記3(o)(i)を参照のこと。）を控除した金額で事後測定している。

t. 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物は、銀行預金、手元現金、銀行及びその他の金融機関の要求払預金（拘束性預金を除く）、並びに容易に一定の金額に換金可能であり、かつ、価値変動のリスクが僅少で、取得時の満期までの期間が3ヵ月以内の短期の流動性の高い投資で構成され、本グループの資金管理において不可欠な部分を構成している。

u. 買掛金及びその他の未払金

買掛金、顧客からの前受金及びその他の未払金は公正価値で当初認識され、その後、実効金利法を用いた償却原価で計上される。

v. 借入金

借入金は関連する取引費用控除後の公正価値で当初認識される。当初認識後、借入金は償却原価で計上され、取引費用控除後の手取金である当初認識額と償還価値との差額は、実効金利法を用いて借入期間にわたり連結損益計算書に認識される。

w. 引当金及び偶発負債

引当金は、(i)過去の事象の結果として、本グループが現在の法的又は推定的な債務を有しており、(ii)当該債務を決済するために経済的便益の流出が必要となる可能性が高く、(iii)債務の金額について信頼性をもって見積ることが可能である場合に認識される。貨幣の時間的価値に重要性がある場合、引当金は債務を決済するために見込まれる支出の現在価値で計上される。時間の経過に伴う引当金の増加額は支払利息として認識される。

経済的便益の流出が必要となる可能性が高くない、又は債務の金額について信頼性をもって見積ることができない場合には、経済的便益をもつ資源の流出の可能性がほとんどない場合を除き、当該債務は偶発負債として開示される。発生する可能性があり、その存在が将来の1つ以上の事象の発生又は不発生によってのみ確認される債務もまた、経済的便益の流出の可能性がほとんどない場合を除き、偶発負債として開示される。

x. 収益認識

本グループの収益は主に以下の(i) 電気通信事業部門及び(ii) 有料テレビ事業部門から得られる。

収益は、本グループの通常の活動の過程において、財の販売及びサービスの提供に対して受領した又は受領予定の対価の公正価値で測定される。収益は、財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で認識される。契約条件及び契約に適用される法律に応じて、財又はサービスの支配は一定の期間にわたり又は一時点で移転される。

本グループは、電気通信サービス、メディア・エンタテインメント及びその他のサービスの提供以外に、端末、機器、景品並びに多様な財及びサービスを提供する本グループの顧客ロイヤリティ・プログラムによるリワード・ポイント（以下「リワード・ポイント」という。）の引渡しなど、他の特定の履行義務を顧客に対して負う一括販売契約を顧客と締結することが多い。複数要素の取決が存在する場合、顧客から受領する取引価格の合計は、独立販売価格の比率に基づき、本グループの履行義務に配分される。経営陣は、主に類似した状況における類似の顧客に対する各履行義務についての観察可能な小売価格及び観察可能な市場データに基づき、契約開始時に独立販売価格を見積もっている。一括販売による割引が付与された場合、割引は、独立販売価格の比率に基づき、各履行義務に配分される。引渡された各端末、機器及び景品の取得原価は、対応する収益が認識された時点で、売上原価として認識する。

顧客が財又はサービスに対して支払を行う時期が履行義務の充足の時期と異なる場合には、重大な金融要素が存在する可能性がある。このような金融要素は本グループにとって重大なものではない。

i. 電気通信

電気通信サービスは、地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、モバイル、企業ソリューション並びに顧客構内設備の販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他の電気通信事業からなる。

地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信並びにモバイル事業は主に、国内及び国際的な電気通信ネットワークへのアクセス及び利用の提供によって収益を稼得している。また、一括サービス提供の一環として、本グループは、端末、機器、景品及びリワード・ポイントの引渡しが行われ、これらは個別の履行義務とみなされる。

電気通信サービスの収益は、本グループが顧客へのサービスの移転により履行義務を充足するパターンを反映しているため、本グループの履行に応じて提供される便益を顧客が受領すると同時に消費する一定期間にわたり認識され、サービス割当単位の使用又は時間の経過のいずれかに応じてアウトプット法に基づき認識される。使用量に基づくサービスプランのうち月額使用量が割当量を上回る場合、超過使用は顧客が追加的なサービスを受けるために保有するオプションを表わし、顧客がこのオプションを行使した場合、従量制の料金が認識される。その他の電気通信サービス収益は、サービス提供時に認識される。顧客は、月次で事前に請求されるか、顧客との契約に規定され、事前に合意された支払スケジュールに従って請求される。

端末、機器及び景品の販売の収益は、一般的に、支配が顧客に移転した時点、すなわち製品が顧客に引渡され顧客が検収した時点で認識される。顧客は、端末、機器及び景品に対して完全な裁量を有しており、顧客によるそれらの財の検収に影響を及ぼす可能性のある未履行の義務はない。顧客は、即時に請求されるか、顧客との契約に規定され、事前に合意された支払スケジュールに従って請求される。

加入者にリワード・ポイントが付与された場合、かかる収益は、独立販売価格の比率で測定され、リワード・ポイントが引き換えられるまで負債として繰り延べられる。ブレイキッジ（失効する見込みのリワード・ポイントを指す。）は、過去の実績、将来の引き換えパターン及びプログラム設計等の仮定に基づき、認識及び算定される。

企業ソリューション・サービスからの収益は、本グループの履行が顧客によって支配される資産を創出又は増価させる一定期間にわたり認識される。資産の支配の移転における本グループの履行を表すことから、進捗度を測定するためにインプット法が使用される。進捗度は、当該契約の見積契約原価合計に対する累計発生契約原価の割合を参照して測定される。契約の結果について信頼性をもって見積ることができない場合、発生した契約原価が回収可能となる可能性が高い部分についてのみ、収益が認識される。顧客は、事前に合意した支払スケジュールに従って契約期間にわたり定期的に決済を行う。重大な戻入れが発生しない可能性が高い変動対価の見積りには、期待値法を用いてこれまでの実績が使用され、これは取引価格に含まれる。

ii. 有料テレビ

有料テレビには、香港の双方向型有料テレビ・サービスが含まれている。

双方向型有料テレビ・サービスの利用料収入は、契約期間に応じて認識されるが、これは通常、サービスの提供時と一致する。

双方向型有料テレビ・サービスからの広告収入は、(i) 広告が有料テレビで放映され、インターネット及びモバイルプラットフォームを通じて配信された時点、又は(ii) 広告が本グループのウェブサイト及びモバイルプラットフォームに掲載された時点で、契約上の表示期間にわたって一定の割合で認識される。

顧客への請求は、月次ベースでの前払い、又は顧客との契約で事前に合意した支払スケジュールに従って行われる。

y. 利息収入

利息収入は、実効金利法を用いて、時間の経過に応じた配分により認識される。

z. 配当収入

配当収入は、支払を受ける株主の権利の確定時に認識される。

aa. 借入コスト

借入コストは、意図した使用又は販売を可能にするために相当の期間を要する資産の取得、建設又は製造に直接起因するために資産計上する場合を除き、発生した期間の連結損益計算書に費用計上される。

適格資産の取得原価の一部としての借入コストの資産化は、資産に係る支出が発生し、借入コストが発生し、意図した使用又は販売に向けて資産を準備するために必要な活動に着手している時点で開始する。意図した使用又は販売に向けて適格資産を準備するために必要な活動の実質的に全てが中断又は完了した時点で、借入コストの資産化は中断又は終了する。

借入契約に伴い発生した借入に関する割引又はプレミアム及び付帯費用は、利息費用の調整と見なされる範囲内で、実効金利法を用いて借入期間にわたり費用として認識される。

ab. 売上原価及び一般管理費

一般管理費は、売上原価以外に発生した営業費用を表している。売上原価には、主に売却した棚卸資産の原価、コネクティビティ費用及び人件費が含まれ、一般管理費には、主に有形固定資産の減価償却費、使用権資産の減価償却費、借地プレミアムの償却費、無形資産の償却費、履行コストの償却費、顧客獲得コストの償却費、売掛金の減損損失及びその他の人件費が含まれる。

ac. 法人所得税

- i. 当期の法人所得税は、当期の法人所得税並びに繰延税金資産及び負債の変動で構成される。当期の法人所得税並びに繰延税金資産及び負債の変動は、連結損益計算書に認識される。ただし、その他の包括利益又は資本に直接認識された項目に関連する場合、関連する金額はそれぞれ、その他の包括利益又は資本に直接認識される。
- ii. 当期の法人所得税は、報告期間末現在で施行されている、又は実質的に施行されている法人税率を使用して算定した当年度の課税所得に対して予想される未払法人所得税、及び過年度の未払法人税に対する調整である。
- iii. 繰延税金資産及び負債は、資産及び負債の財務報告目的の帳簿価額と税務上の基準額との差異による将来減算一時差異と将来加算一時差異により生じる。また繰延税金資産は未使用の繰越欠損金及び未使用の税額控除からも生じる。繰延税金負債の全額、及び繰延税金資産については資産が利用可能な将来の課税所得が稼得できる可能性が高い範囲内での全額が認識される。将来減算一時差異により生じる繰延税金資産の認識を裏付ける将来の課税所得は、現存する将来加算一時差異の解消（これらの差異が同一の税務当局及び同一の課税事業者に関連する場合に限る）により生じるものを含んでおり、将来減算一時差異の解消が見込まれるのと同じ期間か、又は繰延税金資産により生じた税務上の欠損金を繰戻控除若しくは繰延控除可能な期間のいずれかにおいて解消すると見込まれる。現存する将来加算一時差異が未使用の繰越欠損金及び未使用の税額控除から生じた繰延税金資産の認識を裏付けているかどうかを決定する際には同じ基準が適用される。すなわち、これらの差異が同一の税務当局及び同一の課税事業者に関連する場合、これらの差異が考慮され、税務上の欠損金又は税額控除を利用できる期間において解消すると見込まれる。認識される繰延税金の金額は、繰延税金資産及び負債の帳簿価額の実現又は解消が予想される方法に基づき、報告期間末現在で施行、又は実質的に施行されており、関連する繰延税金資産が実現し、繰延税金負債が解消する時に適用される見込みの税率を使用して測定される。繰延税金資産及び負債は割引されない。繰延税金資産の帳簿価額は各報告期間末現在で見直しが行われ、関連する税金減額効果を享受できるような十分な課税所得が得られる可能性が高くなった場合は、その範囲まで減額される。十分な課税所得を得る可能性が高くなった場合、かかる減額はその範囲まで戻入れられる。

iv. 当期の法人所得税の残高及び繰延税金の残高並びにこれらの変動はそれぞれ個別に表示され、相殺されない。本グループが当期の税金資産を当期の税金負債に対して相殺する法的強制力のある権利を有し、かつ以下の追加条件を満たしている場合、当期の税金資産は当期の税金負債に対して、また繰延税金資産は繰延税金負債に対して相殺される。

- 当期の税金資産及び負債の場合、本グループは、純額ベースで解消するか、又は資産の実現と負債の解消を同時に行うかのいずれかの予定である。
- 繰延税金資産及び負債の場合で、これらが同一の税務当局によって課税される法人所得税に関するものであり、以下のいずれかの場合、
 - 同一の課税事業者、又は、
 - 異なる課税事業者が、相当額の繰延税金負債の解消又は繰延税金資産の回収が予想される将来の各期間において、当期の税金資産の実現及び当期の税金負債の解消を純額ベースで行うか、又は実現と決済を同時に行う予定である。

ad. 従業員給付

i. 短期従業員給付

給与、年次賞与、年次休暇及び非貨幣性給付費用は、従業員が関連する勤務を提供した期間において引当てられる。支払又は決済が繰延べられ、その影響が重要となる場合、これらの金額は現在価値で計上される。

ii. 退職給付

本グループは従業員向けの確定拠出退職制度（強制準備基金を含む）を運営しており、その制度資産は通常、受託者が管理する基金で別途保管される。この制度は通常、本グループの関連する会社が拠出を行っている。

確定拠出退職制度において、本グループは、公的又は私的に管理されている年金保険制度に対して、強制的に、契約により、又は任意で拠出金を支払う。拠出金を支払えば、本グループに追加支払義務はない。

本グループの確定拠出退職制度への拠出は、かかる拠出に関連する期間の連結損益計算書に費用として認識される。

iii. 株式報酬

PCCW社及び本グループは株式オプション制度を運営しており、当該制度では本グループの従業員（及び取締役を含む）は、指定された行使価格でPCCW社株式（以下「PCCW社株式」という。）及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションを付与される。PCCW社株式及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションの付与と引き換えに受け取った従業員のサービスの公正価値は、連結損益計算書に人件費として認識され、それぞれ資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出及び従業員株式報酬準備金が同額増加する。付与したオプションの公正価値は、3項式オプション価格決定モデルを用い、オプション付与時の諸条件を考慮に入れて、付与日現在で測定され、従業員が無条件にオプションの権利を与えられる各権利確定期間にわたり配分される。権利確定期間において、権利確定が見込まれるオプション数の見直しが行われる。PCCW社株式及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションに関して過年度に認識された公正価値累計額に対する調整は、当初の人件費が資産としての認識に適格である場合を除き、見直しが行われた年度の連結損益計算書に費用計上され、又は費用の減額が行われ、それぞれ資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出及び従業員株式報酬準備金も同額が調整される。権利確定日において、権利が確定したオプションの実際の数に反映させるために、PCCW社株式及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションに関して人件費として認識された金額が調整される（それぞれ資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出及び従業員株式報酬準備金も同額が調整される）。PCCW社株式を取得できるオプションに関する資本の部の金額は、資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出に引続き計上される。本株式ステープル受益証券を取得できるオプションに関する資本の部の金額は、オプションが行使されるまで、又はオプションが失効するまで、従業員株式報酬準備金に認識され、株式オプションの行使時には株式資本及び株式払込剰余金に振替えられ、株式オプションの失効時には利益剰余金に直接振替えられる。

本株式ステープル受益証券は、HKTリミテッドの株式ステープル受益証券報奨制度に基づき無対価で従業員に付与することができ、当該制度に基づき付与された本株式ステープル受益証券は、発行価格で新規発行されるか（以下「HKT株式ステープル受益証券引受制度」という。）、又は公開市場から買入れられる（以下「HKT株式ステープル受益証券買入制度」という。）。

HKT株式ステープル受益証券買入制度に基づき公開市場から買入れた本株式ステープル受益証券の取得原価及びHKT株式ステープル受益証券引受制度に基づき新規発行された本株式ステープル受益証券の発行価格は、資本の部に自己株式として認識される。両制度において本株式ステープル受益証券の付与と引き換えに受け取った従業員のサービスの公正価値は、連結損益計算書に人件費として認識され、資本の部の従業員株式報酬準備金が同額増加する。付与された本株式ステープル受益証券の公正価値は、付与日現在の本株式ステープル受益証券の市場相場価格で測定され、それぞれの権利確定期間にわたり連結損益計算書に費用計上される。権利確定期間において、付与された本株式ステープル受益証券のうち権利確定が見込まれる数の見直しが行われる。過年度に認識された公正価値累計額に対する調整は、当初の人件費が資産としての認識に適格である場合を除き、見直しが行われた年度の連結損益計算書に費用計上され、又は費用の減額が行われ、従業員株式報酬準備金も同額が調整される。権利確定日において、付与された本株式ステープル受益証券のうち権利が確定した実際の数に反映させるために、人件費として認識された金額が調整され（従業員株式報酬準備金も同額が調整される）、また、自己株式として認識された本株式ステープル受益証券の取得原価は、従業員株式報酬準備金に振替えられ、差額は資本の部に認識される。

PCCW社もまた、PCCW社及びその制度への加入会社の従業員に対して、当該株式報奨制度に基づき無対価でPCCW社株式を付与することができ、当該制度に基づき付与されたPCCW社株式は、発行価格で新規発行されるか（以下「PCCW引受制度」という。）、又は公開市場から買入れられる（以下「PCCW買入制度」という。）。

PCCW買入制度及びPCCW引受制度に基づく報奨は、現金決済型の株式報酬として会計処理される。付与されたPCCW社株式の公正価値は、PCCW買入制度においては公開市場から買入れたPCCW社株式の市場相場価格を表し、PCCW引受制度においてはPCCW社株式の発行価格を表し、これらPCCW社株式はFVPLで測定する金融資産として認識され、公正価値で事後測定される。PCCW社株式の付与と引き換えに受け取った従業員のサービスの公正価値は、それぞれの権利確定期間にわたり連結損益計算書に人件費として認識され、それと同額の債務が認識される。権利確定期間において、付与されたPCCW社株式のうち権利確定が見込まれる数の見直しが行われる。当初の人件費が資産としての認識に適格である場合を除き、過年度に認識された公正価値累計額に対する調整は、見直しが行われた年度の連結損益計算書に費用計上され、又は費用の減額が行われ、債務も同額が調整される。権利確定日において、付与されたPCCW社株式のうち権利確定した実際の数を反映させるために、人件費として認識された金額が調整され（債務も同額が調整される）、FVPLで測定する金融資産に認識されたPCCW社株式の帳簿価額は、当該債務と相殺される。

iv. 解雇給付

解雇給付は、余剰人員の解雇の条件及び影響を受ける従業員の数を明確にして適切な従業員代表と合意に至った後、又は個々の従業員が具体的な条件の通知を受けた後のいずれかの場合に限り認識される。

ae. 外貨換算

本グループの各事業体の財務書類に含まれている項目は、かかる事業体が事業を運営する主たる経済環境の通貨（以下「機能通貨」という。）を用いて測定される。HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの機能通貨並びに本グループの表示通貨である香港ドルで表示される。

期中の外貨建て取引は、取引日現在の実勢為替レートで換算される。外貨建ての貨幣性資産及び負債は、報告期間末現在の実勢為替レートで換算される。為替差損益は、適格キャッシュ・フロー・ヘッジとしてその他の包括利益において繰延べられない限り、連結損益計算書に認識される。

外貨建ての取得原価で測定される非貨幣性資産及び負債は、取引日現在の実勢為替レートを用いて換算される。公正価値で計上される外貨建ての非貨幣性資産及び負債は、公正価値の算定日現在の実勢為替レートを用いて換算される。FVPLで測定する資本性金融商品等の非貨幣性資産及び負債の換算から生じる為替換算差額は、連結損益計算書に公正価値利益又は損失の一部として計上される。FVOCIで測定する資本性金融商品等の非貨幣性資産及び負債の換算から生じる為替換算差額は、資本の部のFVOCIで測定する金融資産準備金の公正価値利益又は損失に含まれる。

海外事業の業績は、取引日現在の実勢為替レートに概ね一致する為替レートで香港ドルに換算される。海外事業の連結から生じたのれんを含む、連結財政状態計算書の海外事業項目は、報告期間末現在の実勢為替レートで香港ドルに換算される。この結果生じる為替換算差額はその他の包括利益に認識され、資本の部の為替換算準備金において別途累積される。

連結に際して、海外事業への純投資、並びにかかる投資のヘッジに指定された借入金及びその他の通貨商品があれば、その換算から生じる為替換算差額はその他の包括利益に計上され、資本の部の為替換算準備金において別途累積される。海外事業の処分に際しては、資本の部の為替換算準備金に認識された当該海外事業に関連する為替換算差額の累計額が、処分に係る損益の計算に含まれる。

af. 関連当事者

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の目的上、以下の当事者は本グループに関連するとみなされる。

- i. 当事者は、財務及び経営方針の決定にあたり、直接的に若しくは1社以上の仲介者を通じて間接的に、本グループを支配する、又は本グループに対して重要な影響力を行使する能力を有しているか、あるいは本グループに対する共同支配権を有している。
- ii. 本グループと当事者は共通の支配下にある。
- iii. 当事者は本グループの関連会社であるか、又は本グループが出資する共同支配企業である。
- iv. 当事者は、本グループ若しくは本グループの親会社の重要な経営幹部の一員であるか、又はその経営幹部個人の近親者であるか、あるいはかかる個人の支配下、共同支配下又は重要な影響下にある事業体である。
- v. 当事者が上記の注 i の近親者であるか、又はその支配下、共同支配下若しくは重要な影響下にある事業体である。
- vi. 当事者は、本グループ又は本グループの関連当事者である事業体の従業員の利益を目的とした退職後給付制度である。あるいは、
- vii. 当該事業体、又はその一部である本グループのメンバーが、本グループに主要な経営幹部サービスを提供している。

個人の近親者とは、事業体との取引において、かかる個人に影響を与える、又は影響を受けることが見込まれる家族のことである。

ag. セグメント報告

事業セグメントは、最高意思決定責任者（以下「CODM」という。）に提供される内部報告と一致する方法で報告される。事業セグメントの資源配分及び業績評価の責任を負うCODMは、本グループの上級執行役員とされている。

セグメント収益、費用、業績及び資産には、セグメントに直接帰属する項目や、そのセグメントに対して合理的な基準で配分可能な項目が含まれる。セグメント収益、費用及びセグメントの業績にはセグメント間取引が含まれる。セグメント間の価格決定は、類似サービスに関して他の外部当事者が利用可能な類似条件に基づいている。セグメント間取引は、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の作成時に全額相殺消去される。

セグメントの資本的支出とは、1年超の使用が見込まれるセグメント資産（有形固定資産及び借地権を含む）を取得するにあたり期中に発生した費用合計である。

ah. 株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に対する分配金/配当金

株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に対する分配金/配当金は、分配金/配当金が取締役会又は適切な場合には株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に承認された期間に、HKTトラスト及びHKTリミテッドの連結財務書類並びにHKTリミテッドの財務書類に負債として認識される。

ai. 政府補助金

政府からの補助金は、補助金の受領可能性及び本グループが付随する全ての条件を遵守することに合理的な保証がある場合に、公正価値で認識される。費用に関連する政府補助金は繰り延べられ、補助対象の費用と一致させるために必要な期間にわたって純損益で認識される。本グループは、従業員給付に関連する政府補助金を、資産計上されていない売上原価及び一般管理費の人件費と相殺した。資産計上された人件費に関連する政府補助金は、認識された各資産の帳簿価額から直接控除され、関連する資産の予想耐用年数にわたって定額法で連結損益計算書に計上される。

4 重要な会計上の見積り及び判断

見積り及び判断は継続的に評価されており、これらは過去の実績、及びその状況において合理的と考えられる将来の事象の予測を含む、その他の要因に基づいている。

本グループは将来を考慮して見積り及び仮定を策定する。その結果となる会計上の見積りが、関連する実績と等しい結果になることは本質的に稀である。注記19及び37には、のれんの減損及び金融商品に関連する仮定及びそのリスク要因の情報が含まれている。経営陣は、本グループの会計方針の適用に際しても判断を行った。これらの判断及び見積りの不確実性のその他の主な原因は、以下に記載の通りである。

i. 資産の減損（負債性金融商品への投資並びに売掛金及びその他の債権を除く）

各報告期間末現在で、本グループは、以下の資産が減損している可能性を示す兆候、又は（のれんのケースを除き）過年度に認識された減損損失が存在しなくなった、若しくは減少している可能性を示す兆候を識別するために、内部及び外部の情報源を再検討する。

- － 有形固定資産

- － 使用権資産
- － 借地権
- － 履行コスト
- － 顧客獲得コスト
- － 無形資産
- － 関連会社及び共同支配企業に対する持分
- － のれん

かかる兆候が存在する場合、当該資産の回収可能額が見積られる。のれん、まだ使用できる状態にない無形資産及び耐用年数を確定できない無形資産を含むCGUについては、減損の兆候の有無にかかわらず、減損テストが毎年行われる。CGUを適切に識別するために、重要な判断が用いられる。資産の帳簿価額が回収可能額を超過する場合はいつでも、減損損失が連結損益計算書に認識される。

減損の兆候を識別する目的で利用した情報源は本質的に主観的であることが多いため、本グループはかかる情報を業務に適用する際に判断が求められる。当該情報に関する本グループの解釈は、特定の報告期間末現在で減損の評価を実施するか否かについて直接的な影響を及ぼす。かかる情報は、本グループの香港における電気通信サービス及びインフラ事業に関連するため、特に重要である。

減損の兆候が識別された場合、本グループは回収可能額（資産の売却コスト控除後の公正価値又は使用価値のいずれか高い方の金額）を見積る必要があるため、かかる情報をさらに用いることになる。見直しの対象となる資産の全体的な重要性や回収可能額の合理的な見積りの算定の複雑性に関する本グループの評価に応じて、本グループは内部リソースを利用してかかる評価を実施することもあれば、外部のアドバイザーと契約して助言を得ることもある。利用するリソースにかかわらず、本グループはこれらの評価の実施に際して、かかる資産の利用、生み出されるキャッシュ・フロー、適切な市場割引率並びに予想される市況及び規制状況を含むさまざまな仮定を行うことが求められる。これらの仮定の変更により、資産の回収可能額の将来の見積りに重要な変更が生じることがある。

ii. 収益認識

特定の取決に基づき、本グループは、電気通信サービス、メディア・エンタテインメントサービス、及びその他のサービスの提供以外に、端末、機器、景品及びリワード・ポイントの引渡しなど、顧客に対するその他の特定の履行義務を負っている。複数要素の取決が存在する場合、顧客から受領する取引価格の合計は、独立販売価格の比率に基づき、本グループの履行義務に配分される。経営陣は、主に類似した状況における類似の顧客に対する各履行義務の観察可能な小売価格及び観察可能な市場データに基づき、契約開始時に独立販売価格を見積もっている。一括販売による割引が付与された場合、割引は、独立販売価格の比率に基づき、各履行義務に配分される。本グループは、独立販売価格の見積りに関連して相当の判断を行うことが求められる。

iii. 繰延税金

繰延税金負債が加算可能な一時差異の全てに全額対応するように計上される一方で、繰延税金資産は、減算可能な一時差異の利用が可能となる将来の課税所得が発生する可能性が高い範囲でのみ認識される。認識すべき繰延税金資産の金額の評価にあたり、本グループは将来の課税所得及び事業計画を考慮する。将来の予想課税所得及び利用可能な事業計画からの税金減額効果に関する本グループの見積りに変更がある場合、又は現行の法人税制を変更する法案が成立して今後の繰越欠損金による税金減額効果を活用する本グループの能力の時期又は範囲に影響を及ぼす場合、正味繰延税金資産及び法人所得税の計上額が修正されることがある。

iv. 法人所得税

本グループは、当会計年度における課税所得の見積額に基づいて法人所得税の引当金を設定する。税金負債の見積額は、主に本グループが作成した税金計算に基づいて算定される。しかし時折、税金計算に含まれる項目及び特定の非経常的な取引の税務上の取扱いについて香港及び他の各地の税務当局から質問を受けることがある。これらの質問又は判断により異なる税務ポジションがもたらされる可能性が高いと本グループが考える場合、その結果として最も可能性の高い金額が見積られ、それに応じて法人所得税及び税金負債が修正されることになる。

v. 有形固定資産、無形資産（のれんを除く）、履行コスト及び顧客獲得コストの耐用年数

本グループは、多くの有形固定資産、無形資産（のれんを除く）、履行コスト及び顧客獲得コストを保有している。本グループは、各報告期間の減価償却費及び償却費の金額を確定するために、有形固定資産、無形資産（のれんを除く）、履行コスト及び顧客獲得コストの耐用年数を見積ることが求められる。

耐用年数は、将来の技術の変化、事業展開、本グループの戦略及び顧客との契約の予想期間を考慮した上で、これらの資産の購入時、又は顧客との契約を履行若しくは獲得する際の直接コストの発生時に見積られる。本グループは毎年見直しを実施して見積耐用年数の妥当性を評価する。かかる見直しには、予想経営成績の減少、業界又は経済動向のマイナス成長及び技術の急速な発展を含む、状況や事象の予想外の不利な変動を考慮に入れている。本グループは見直しの結果に従って、耐用年数の延長又は短縮を行う。

vi. リース期間及び割引率の決定

経営陣は、リース期間を決定する際に、本グループの既存のリースの状況、将来の技術の変化、事業展開及び本グループの戦略など、延長オプションを行使する又は解約オプションを行使しないという経済的インセンティブを創出するような事実及び状況を検討する。延長オプション（又は解約オプション後の期間）は、リースが延長される（又は解約されない）ことが合理的に確実な場合に限り、リース期間に含まれる。潜在的な将来キャッシュ・アウトフローは、リースが延長される（又は解約されない）ことが合理的に確実でないため、リース負債には含まれない。この評価は、当該評価に影響を与えるような、かつ借手の統制の及ぶ範囲内にある、重大な事象又は状況の重大な変化が発生した場合に見直される。2020年12月31日現在、リースが延長される（又は解約されない）ことが合理的に確実でないため、潜在的な割引前の将来キャッシュ・アウトフロー570百万香港ドル（2019年：445百万香港ドル）は、リース負債に含まれていない。

割引率の決定にあたり、本グループは、リースの開始日と変更発効日（該当する場合）のいずれにおいても、原資産の性質及びリースの条件を考慮して、相当の判断を行うことが求められる。

5 HKTリミテッドの財政状態計算書

科目	期別	注記	2019年		2020年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
資産及び負債						
非流動資産						
子会社に対する持分			28,497	406,367	30,517	435,172
			28,497	406,367	30,517	435,172
流動資産						
前払金及び預け金			2	29	4	57
子会社に対する債権			7,140	101,816	5,074	72,355
未収還付税額			—	—	4	57
			7,142	101,845	5,082	72,469
流動負債						
未払費用及びその他の未払金			(4)	(57)	(3)	(43)
子会社に対する債務			(107)	(1,526)	(158)	(2,253)
当期税金負債			(32)	(456)	—	—
			(143)	(2,039)	(161)	(2,296)
純資産			35,496	506,173	35,438	505,346
資本金及び剰余金						
株式資本	31(a)		8	114	8	114
剰余金	31(b)		35,488	506,059	35,430	505,232
資本合計			35,496	506,173	35,438	505,346

本財務書類は、2021年2月4日に、HKTリミテッド取締役会により承認され、公表を承認され、HKTリミテッド取締役会を代表して以下の取締役により署名された。

リチャード・リ・ツァル・カイ
取締役

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン
取締役

6 関連当事者取引

PCCW社は本株式ステープル受益証券の支配保有者である。CAS ホールディング・ナンバーワン・リミテッド及びPCCW社はそれぞれ、HKTリミテッドの直接的及び最終的な持株会社である。

当期において、本グループは関連当事者と以下の取引を実施した。

(単位：百万香港ドル)			
	注記	2019年	2020年
PCCW社の実質的な株主から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬及びデータセンター・サービス報酬	a	71	77
PCCW社の実質的な株主へ支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬及びデータセンター・サービス報酬	a	95	101
共同支配企業から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、コンサルティング・サービス費用及び利息収入	a	42	36
共同支配企業へ支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬、機器購入費用、外部委託費用、賃借料及び利息	a	292	241
関連会社から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、接続サービス報酬、利息収入、コールセンター・サービス費用、機器販売代金、コンサルティング・サービス費用及びその他の再計上費用	a	6	20
HKTリミテッドと共通の株式ステープル受益証券保有者/株主を有する関連当事者から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、データセンター・サービス報酬、接続サービス報酬、機器販売代金、保険料、保険代理店サービス費用及びその他の再計上費用	a	44	47
HKTリミテッドと共通の株式ステープル受益証券保有者/株主を有する関連当事者に支払った又は支払予定の保険料及びその他の再計上費用	a	10	8
兄弟会社から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、接続サービス報酬、管理報酬、機器販売代金、コンテンツ提供報酬及びその他の再計上費用	a	2,109	2,043
兄弟会社へ支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬、IT及びロジスティック費、システム開発及び統合費、コンサルティング・サービス費用、賃借料及び施設管理費用、管理報酬並びにその他の再計上費用	a	2,968	2,421
主要な経営陣の報酬	b	26	27

- a. 上記の取引は、通常の事業活動において本グループと関連当事者が協議した後に実施されたものであり、取締役が決定した見積市場価値に基づいている。価格又は取引量に関して該当する関連当事者と合意に至っていない取引については、取締役は最善の見積に基づいて金額を決定している。

b. 主要な経営陣の報酬

(単位：百万香港ドル)		
	2019年	2020年
給与及びその他の短期従業員給付	20	20
株式報酬	5	6
退職給付	1	1
	26	27

c. 関係会社及び兄弟会社との間の債権債務残高

2020年12月31日現在、注記21及び22に明記されているもの、並びに24百万香港ドルの無担保貸付金及び18百万香港ドルの無担保貸付金（それぞれ年利2.5%及び年利5%で1年以内に返済予定）で構成される関係会社に対する債務を除き、兄弟会社に対する債務及び関係会社に対するその他の債権は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。

2019年12月31日現在、注記21及び22に明記されているもの、及び関係会社に対する債権に含まれている、年利3%で1年以内に返済予定の合計19百万香港ドルの特定の無担保貸付金を除き、兄弟会社に対する債務及び関係会社に対するその他の債権は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。

7 セグメント情報

CODMは本グループの上級執行役員である。CODMは、業績を評価し資源を配分するため、本グループの内部報告を検討しており、セグメント情報はこの内部報告に従って以下のように報告される。

CODMは製品の観点から事業を検討し、以下のセグメントの業績を評価している。

- 電気通信サービス（以下「TSS」という。）は、電気通信及び関連サービス（地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、企業ソリューション、並びに顧客構内設備の販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他の電気通信事業）の提供を行う大手プロバイダーである。TSSは主に香港で事業を行っており、また、中国本土及び世界のその他の地域の顧客にもサービスを提供している。
- モバイルには香港における本グループのモバイル通信事業が含まれる。
- 有料テレビには香港における双方向型有料テレビ・サービスが含まれる。
- 本グループのその他の事業（以下「その他の事業」という。）は主に、ザ・クラブ及びHKTフィナンシャル・サービス等の新規事業分野、並びに本社サポート機能で構成されている。

CODMは利息、税金、減価償却費及び償却費考慮前の調整後利益（以下「EBITDA」という。）の測定値に基づき、事業セグメントの業績を評価している。EBITDAは受取利息、財務費用、法人所得税、減価償却費及び償却費、有形固定資産、借地権、使用権資産及び無形資産の処分に係る利益/損失、その他の利益/損失（純額）、有形固定資産に係る損失、再編費用、のれん、有形資産及び無形資産並びに関連会社及び共同支配企業に対する持分に係る減損損失、並びに関連会社及び共同支配企業の損益に対する本グループの持分考慮前の利益を表している。

セグメントの収益、費用及びセグメントの業績にはセグメント間の取引が含まれる。セグメント間の価格は、類似のサービスに関する他の外部当事者に適用可能な類似の条件に基づいている。CODMに報告される外部当事者からの収益は連結損益計算書の収益と同じ方法で測定される。

本グループのCODMへ提供された、本グループの報告セグメントに関する情報は以下の通りである。

(単位：百万香港ドル)

	2019年				
	TSS	モバイル	その他の事業	相殺消去	連結
収益					
外部の収益	21,265	11,612	226	—	33,103
セグメント間の収益	688	202	10	(900)	—
収益合計	21,953	11,814	236	(900)	33,103
顧客との契約からの外部収益：					
収益認識のタイミング					
一時点	2,324	3,306	72	—	5,702
一定の期間	18,874	8,306	154	—	27,334
その他からの外部収益：					
賃貸料収入	67	—	—	—	67
	21,265	11,612	226	—	33,103
損益					
EBITDA	8,360	5,068	(611)	—	12,817
その他の情報					
当期に発生した資本的支出(有形固定資産及び借地権を含む)	1,675	881	146	—	2,702

(単位：百万香港ドル)

	2020年					
	TSS	モバイル	有料 テレビ	その他の 事業	相殺消去	連結
収益						
外部の収益	21,608	10,130	418	233	—	32,389
セグメント間の収益	749	236	229	8	(1,222)	—
収益合計	22,357	10,366	647	241	(1,222)	32,389
顧客との契約からの外部収益：						
収益認識のタイミング						
一時点	2,672	2,519	9	61	—	5,261
一定の期間	18,868	7,611	409	161	—	27,049
その他からの外部収益：						
賃貸料収入	68	—	—	11	—	79
	21,608	10,130	418	233	—	32,389
損益						
EBITDA	8,412	4,747	174	(806)	—	12,527
その他の情報						
当期に発生した資本的支出(有形 固定資産及び借地権を含む)	1,419	875	31	112	—	2,437

セグメントEBITDA合計から税引前利益への調整は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
セグメントEBITDA合計	12,817	12,527
有形固定資産の処分に係る(損失)/利益(純額)	(2)	2
減価償却費及び償却費	(5,121)	(5,341)
その他の利益(純額)	3	361
財務費用(純額)	(1,372)	(1,296)
関連会社の損益に対する持分	(33)	(68)
共同支配企業の損益に対する持分	(18)	(11)
税引前利益	6,274	6,174

外部顧客からの本グループの収益の地域別情報は、以下の表の通りである。地域別セグメントの情報の表示において、セグメント収益は本グループが顧客から収益を得られる拠点を基準にしている。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
香港(所在地)	28,201	27,024
中国本土及び中国のその他の地域	544	942
その他	4,358	4,423
	33,103	32,389

2020年12月31日現在、香港内にある金融商品及び繰延税金資産以外の非流動資産合計は、88,937百万香港ドル（2019年：85,692百万香港ドル）であり、その他の国にあるこれら非流動資産の合計は、2,957百万香港ドル（2019年：2,909百万香港ドル）であった。

8 収益

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
顧客との契約からの収益	33,036	32,310
その他からの収益：賃貸料収入	67	79
	33,103	32,389

a. 契約負債に関連する収益認識

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
認識した収益のうち、期首の契約負債残高に含まれていたもの	1,415	1,361

b. 未充足の長期固定価格契約

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
12月31日現在で、部分的又は全て未充足の 長期固定価格契約に配分した取引価格の合計額	16,658	18,670

2020年12月31日現在、経営陣は、未充足の長期固定価格契約に配分した取引価格のうち58%及び25%（2019年：60%及び25%）がそれぞれ報告期間末の翌年度及び翌々年度において収益として認識されると予想した。残りの17%（2019年：15%）は、その後の期間において収益として認識される見込みである。上記の開示金額には、期間が1年以内の本グループの顧客との契約及びこれまでに完了した履行に従って直接請求される顧客との契約に関連する未充足の履行義務は含まれていない。

9 その他の利益(純額)

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
子会社の取得に伴う負ののれん(注記41(a)(i))	—	692
無形資産の直接償却(注記20)	—	(302)
子会社の処分に係る損失(純額)	—	(35)
その他	3	6
	3	361

10 税引前利益

税引前利益は以下の項目考慮後で計上された。

a. 人件費

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
給与、賞与及びその他の給付	2,057	1,803
株式報酬費用	39	39
確定拠出退職制度に基づく職員向退職手当	308	296
	2,404	2,138
控除：売上原価に含まれる人件費	(835)	(733)
一般管理費に含まれる人件費	1,569	1,405

b. 売上原価

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
売却した棚卸資産の原価	5,469	5,130
コネクティビティ費用	6,386	6,741
人件費	835	733
棚卸資産の陳腐化に対する引当金戻入額（純額）	(2)	(16)
その他	3,099	3,115
	15,787	15,703

c. 一般管理費

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
人件費	1,569	1,405
売掛金の減損損失	222	256
有形固定資産の減価償却費	1,150	1,118
使用権資産の減価償却費－土地及び建物	1,259	1,302
使用権資産の減価償却費－ネットワーク容量及び装置	234	175
借地プレミアムの償却費－借地権	12	13
無形資産の償却費	1,126	1,327
履行コストの償却費	489	481
顧客獲得コストの償却費	851	925
為替差(益)/損(純額)	(145)	107
控除：キャッシュ・フロー・ヘッジ：資本からの振替	160	(73)
有形固定資産の処分に係る損失/(利益)(純額)	2	(2)
HKTリミテッドの監査人に対する報酬		
－監査及び監査関連業務	15	16
－非監査業務	3	3
その他の監査人に対する報酬		
－監査及び監査関連業務	6	7
－非監査業務	2	1
その他	2,667	2,437
	9,622	9,498

2020年12月31日に終了した会計年度において、本グループは、香港が導入した雇用支援制度からの365百万香港ドルの補助金を連結損益計算書に認識した。

11 財務費用（純額）

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
支払利息(リース負債に係る支払利息を除く)	(1,441)	(1,314)
リース負債に係る支払利息	(92)	(86)
未払通信事業者免許料の名目額増価	(35)	(36)
その他の財務費用	(6)	(4)
ヘッジの無効部分：クロスカレンシー・スワップ契約及び為替先渡契約－為替リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ	48	4
ヘッジの無効部分：金利スワップ契約－金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ	7	(2)
キャッシュ・フロー・ヘッジ：資本からの振替	8	9
公正価値ヘッジの再設計の影響	(16)	(16)
	(1,527)	(1,445)
有形固定資産及び無形資産に資産計上された利息(注a)	91	105
財務費用合計	(1,436)	(1,340)
受取利息	56	37
リースに対する純投資からの受取利息	8	7
受取利息合計	64	44
財務費用(純額)	(1,372)	(1,296)

- a. 有形固定資産及び無形資産への資産計上に適格な利息の金額を算定するため用いられた資産化率は、2020年12月31日に終了した会計年度において、2.88%から3.49%（2019年：2.97%から3.47%）であった。

12 取締役及び上級執行役の報酬

取締役の報酬は以下の通りである。

a. 取締役の報酬－現金及び現金同等物支払額/支払予定額

（単位：百万香港ドル）

	2019年							
	取締役 報酬	給与	手当	現物 給付 ¹	賞与 ²	退職制度 拠出金	株式 報酬 ³	合計
執行取締役								
リチャード・リ・ツァル・カイ氏	—	—	—	—	—	—	—	—
スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏	—	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	20.79
非執行取締役								
バンガロール・ガンガイア・スリニバス氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ピーター・アンソニー・アレン氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ミコ・チャン・チョ・イー氏	0.25	—	—	—	—	—	—	0.25
リ・フシェン氏	0.25 ⁴	—	—	—	—	—	—	0.25
シュ・ケビン氏	0.25 ⁵	—	—	—	—	—	—	0.25
独立非執行取締役								
チャン・シン・カン教授	0.25	—	—	—	—	—	—	0.25
スニル・ヴァルマ氏	0.37 ⁶	—	—	—	—	—	—	0.37
アマン・メータ氏	0.37 ⁷	—	—	—	—	—	—	0.37
フランシス・ワイクン・ウォン氏	0.37 ⁸	—	—	—	—	—	—	0.37
	2.11	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	22.90

脚注

- 1 現物給付は、主に医療保険料を含む。
- 2 上記の賞与の金額は、2018年度賞与のうち、2019年度の支払額を表す。これは、2018年12月31日に終了した会計年度における本グループ及び個人の業績を参照して決定された。
- 3 上記の株式報酬の金額は、株式報酬制度に基づき取締役に対して2019年度に権利が確定したPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の各付与日現在の公正価値の合計を表す。
- 4 2019年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、リ・フシェン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 5 2019年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、シュ・ケビン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 6 監査委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。
- 7 指名委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。
- 8 報酬委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。

(単位：百万香港ドル)

	2020年							
	取締役報酬	給与	手当	現物 給付 ¹	賞与 ²	退職制度 拠出金	株式 報酬 ³	合計
執行取締役								
リチャード・リ・ツァル・カイ氏	—	—	—	—	—	—	—	—
スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏	—	4.69	4.69	0.05	5.56	0.56	5.54	21.09
非執行取締役								
バンガロール・ガンガイア・スリニバス氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ピーター・アンソニー・アレン氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ミコ・チャン・チョ・イー氏	0.25	—	—	—	—	—	—	0.25
リ・フシェン氏	0.25 ⁴	—	—	—	—	—	—	0.25
シュ・ケビン氏	0.25 ⁵	—	—	—	—	—	—	0.25
独立非執行取締役								
チャン・シン・カン教授	0.25	—	—	—	—	—	—	0.25
スニル・ヴァルマ氏	0.37 ⁶	—	—	—	—	—	—	0.37
アマン・メータ氏	0.37 ⁷	—	—	—	—	—	—	0.37
フランシス・ワイクン・ウォン氏	0.37 ⁸	—	—	—	—	—	—	0.37
	2.11	4.69	4.69	0.05	5.56	0.56	5.54	23.20

脚注

- 1 現物給付は、主に医療保険料を含む。
- 2 上記の賞与の金額は、2019年度賞与のうち、2020年度の支払額を表す。これは、2019年12月31日に終了した会計年度における本グループ及び個人の業績を参照して決定された。
- 3 上記の株式報酬の金額は、株式報奨制度に基づき取締役に対して2020年度に権利が確定したPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の各付与日現在の公正価値の合計を表す。
- 4 2020年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、リ・フシェン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 5 2020年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、シュ・ケビン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 6 監査委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。
- 7 指名委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。
- 8 報酬委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。

b. 取締役の他の役務

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド又はその子会社の業務管理に関連する取締役の他の役務に関して、取締役に支払われた又は取締役が受領予定のその他の報酬はなかった（2019年：なし）。

c. 取締役の退職給付

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド及びその子会社の取締役としての役務に関して、本グループが運営している確定拠出退職制度より取締役に支払われた又は取締役が受領予定の退職給付はなかった（2019年：なし）。

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド又はその子会社の業務管理に関連する他の役務に関して、取締役に支払われた又は取締役が受領予定のその他の退職給付はなかった（2019年：なし）。

d. 取締役の満了給付

2020年12月31日に終了した会計年度において、取締役としての役務の満了に関して、取締役に支払われた又は取締役が受領予定の給付はなかった（2019年：なし）。

e. 取締役の役務提供のための第三者への対価

2020年12月31日に終了した会計年度において、取締役の役務提供のために第三者に支払った又は第三者が受領予定の対価はなかった（2019年：なし）。

f. 取締役に有利な条件で（該当する場合）、HKTリミテッド又はその子会社が締結した貸付金、貸付類似金及びその他の取引に関する情報

2020年12月31日に終了した会計年度において、取締役、その被支配会社及び関連当事者に有利な条件での貸付金、貸付類似金又はその他の取引はなかった（2019年：なし）。

g. 取引、取決又は契約に対する取締役の重大な利害関係

報告期間末現在又は2020年12月31日に終了した会計年度のいずれの時点においても、HKTリミテッドが当事者であり、かつHKTリミテッドの取締役が直接的か間接的かを問わず重大な利害関係を有している本グループの事業に関連する重要な取引、取決又は契約は存在しなかった（2019年：なし）。

h. 報酬額上位者

- i. 報酬額上位5名のうち、1名（2019年：1名）はHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの取締役であり、その報酬は注記12(a)に開示されている。2020年12月31日に終了した会計年度における取締役以外の4名（2019年：4名）の報酬は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
給与、株式報酬、手当及び現物給付	18	18
賞与	3	3
退職制度拠出金	1	1
	22	22

- ii. 2020年12月31日に終了した会計年度における取締役以外の4名（2019年：4名）の報酬は、以下の報酬額の範囲内にあった。

	人数	
	2019年	2020年
4,500,001－5,000,000香港ドル	—	2
5,000,001－5,500,000香港ドル	3	1
6,500,001－7,000,000香港ドル	1	1
	4	4

13 法人所得税

a. 連結損益計算書上の法人所得税

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
当期法人所得税		
香港の収益税		
－当期計上額	484	413
－過年度に関する引当(超過)/不足額	(9)	4
海外の税金		
－当期計上額	32	14
－過年度に関する引当(超過)/不足額	(6)	3
繰延税金の変動(注記33(a))	536	421
	1,037	855

香港の収益税は、当期の課税所得の見積額の16.5%（2019年：16.5%）で計上されている。

海外の税金は、当期の課税所得の見積額にそれぞれの税管轄における実効税率を乗じて計算されている。

b. 法人所得税と会計上の利益に適用税率を乗じた金額との調整

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
税引前利益	6,274	6,174
香港の税率16.5%(2019年：16.5%)により計算された、 税引前利益に係る想定税金額	1,035	1,019
海外で営業活動を行っている子会社に係る異なる税率の影響	18	10
課税対象外の収益	(25)	(225)
税務上損金不算入の費用	56	66
認識されない税務上の欠損金	47	67
過年度に関する引当(超過)/不足額(純額)	(15)	7
過年度に認識されていなかった税務上の欠損金の利用	(10)	(13)
過年度に認識されていなかった一時差異の認識	(11)	(6)
税務上損金不算入の関連会社及び共同支配企業の純損失	8	13
法人所得税の優遇措置	(66)	(83)
法人所得税	1,037	855

14 分配金/配当金

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
当会計年度に関して宣言及び支払が行われた株式ステープル 受益証券/HKTリミテッド普通株式1株当たり30.10香港セン ト(2019年：30.01香港セント)の期中分配金/配当金	2,272	2,280
控除：株式ステープル受益証券報奨制度が保有する株式ス テープル受益証券/HKTリミテッド普通株式に関する分配金/ 配当金	—	(1)
	2,272	2,279
前会計年度に関して宣言され、当会計年度に承認及び支払が 行われた株式ステープル受益証券/HKTリミテッド普通株式 1株当たり40.37香港セント(2019年：39.17香港セント)の 最終分配金/配当金	2,966	3,058
控除：株式ステープル受益証券報奨制度が保有する株式ス テープル受益証券/HKTリミテッド普通株式に関する分配金/ 配当金	—	(1)
	2,966	3,057
	5,238	5,336

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッドは、報告期間末以降に、HKTトラストに対して、普通株式1株当たり40.97香港セント、合計3,104百万香港ドル（2019年：普通株式1株当たり40.37香港セント、合計3,058百万香港ドル）の最終配当金を提案した。

2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTトラストは、報告期間末以降に、株式ステープル受益証券の保有者に対して、株式ステープル受益証券1口当たり40.97香港セント、合計3,104百万香港ドル（2019年：株式ステープル受益証券1口当たり40.37香港セント、合計3,058百万香港ドル）の最終分配金を提案した。

上記の報告期間末以降に提案された最終分配金/配当金は、報告期間末現在の負債として認識されていない。

15 株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり利益

株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の1株当たり基本的利益及び希薄化後利益の計算は、以下のデータに基づいて行われた。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
利益		
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の1株当たり基本的利益及び希薄化後利益に用いられる利益	5,217	5,303
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の株式数		
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド普通株式の加重平均株式数	7,571,742,334株	7,574,922,662株
株式ステープル受益証券報奨制度に基づき保有される株式ステープル受益証券の影響	(642,588)株	(195,875)株
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり基本的利益に用いられる株式ステープル受益証券/HKTリミテッド普通株式の加重平均株式数	7,571,099,746株	7,574,726,787株
株式ステープル受益証券報奨制度に基づき付与された株式ステープル受益証券の影響	1,775,583株	1,477,218株
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり希薄化後利益に用いられる株式ステープル受益証券/HKTリミテッド普通株式の加重平均株式数	7,572,875,329株	7,576,204,005株

16 有形固定資産

(単位：百万香港ドル)

	2019年					
	建物	交換機	送電設備	その他の設備及び機器	建設中のプロジェクト	合計
取得原価						
期首現在	1,389	22,508	25,306	14,253	2,622	66,078
取得	—	552	399	430	1,321	2,702
企業結合に伴う取得	—	—	—	15	—	15
処分	—	(388)	(3)	(106)	—	(497)
移転	—	314	762	526	(1,602)	—
為替換算差額	—	1	30	(18)	—	13
期末現在	1,389	22,987	26,494	15,100	2,341	68,311
減価償却累計額及び減損累計額						
期首現在	713	17,682	16,043	11,039	—	45,477
当期計上額	29	316	489	316	—	1,150
処分	—	(388)	(3)	(100)	—	(491)
為替換算差額	—	—	14	(16)	—	(2)
期末現在	742	17,610	16,543	11,239	—	46,134
正味帳簿価額						
期末現在	647	5,377	9,951	3,861	2,341	22,177
期首現在	676	4,826	9,263	3,214	2,622	20,601

（単位：百万香港ドル）

	2020年					
	建物	交換機	送電設備	その他の設備及び機器	建設中のプロジェクト	合計
取得原価						
期首現在	1,389	22,987	26,494	15,100	2,341	68,311
取得	—	319	617	303	1,198	2,437
企業結合に伴う取得	—	—	—	403	151	554
子会社の処分	—	—	—	(249)	—	(249)
処分	—	(383)	(3)	(74)	—	(460)
移転	—	435	979	182	(1,596)	—
為替換算差額	—	11	57	45	—	113
期末現在	1,389	23,369	28,144	15,710	2,094	70,706
減価償却累計額及び減損累計額						
期首現在	742	17,610	16,543	11,239	—	46,134
当期計上額	29	371	443	275	—	1,118
子会社の処分	—	—	—	(183)	—	(183)
処分	—	(382)	(3)	(74)	—	(459)
為替換算差額	—	6	35	36	—	77
期末現在	771	17,605	17,018	11,293	—	46,687
正味帳簿価額						
期末現在	618	5,764	11,126	4,417	2,094	24,019
期首現在	647	5,377	9,951	3,861	2,341	22,177

減価償却費の当期計上額は連結損益計算書の一般管理費に含まれている。

2019年12月31日に終了した会計年度において、本グループは、本グループの運営管理及び技術的動向の予想に基づき、本グループの一部の有形固定資産の耐用年数の再評価を行った。当該再評価の結果、これらの資産の見積耐用年数が変更された。本グループは、これを会計上の見積の変更とみなしているため、将来に向かってこの変更の会計処理を行った。この会計上の見積の変更の結果、本グループの2019年12月31日に終了した会計年度における株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属する利益は204百万香港ドル増加し、2019年12月31日現在の株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属する持分は204百万香港ドル増加した。

17 使用権資産

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
土地及び建物	2,164	2,183
ネットワーク容量及び装置	272	247
合計	2,436	2,430

本グループは、リース契約を通じて、一定の期間にわたり、様々な土地及び建物、並びにネットワーク容量及び装置の使用を支配する権利を取得している。リース契約は、個別に交渉され、支払リース料及びリース期間を含む広範囲の様々な条件を含んでおり、リース期間は土地及び建物に関しては1年から16年、ネットワーク容量及び装置に関しては1年から10年の範囲である。主にリース契約において一般的なリース資産の維持及び使用に関連するリース条項を除き、リース契約によって課される他の条項又は制限はない。リース資産は、借入目的の担保として利用することはできない。本グループはまた、特定の建物について原リースの残存期間全体をリース期間とするサブリースを行っており、当該サブリースをファイナンス・リースに分類している。

2020年12月31日に終了した会計年度における使用権資産の増加は、1,336百万香港ドル（2019年：1,136百万香港ドル）であった。

2020年12月31日に終了した会計年度において、リースについてのキャッシュ・アウトフロー合計は、1,712百万香港ドル（2019年：1,749百万香港ドル）であり、これには短期リース費用のキャッシュ・アウトフロー122百万香港ドル（2019年：105百万香港ドル）が含まれており、これは連結損益計算書に認識された。

18 借地権

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
取得原価		
期首及び期末現在	536	536
償却累計額		
期首現在	309	321
当期計上額	12	13
期末現在	321	334
正味帳簿価額		
期末現在	215	202
期首現在	227	215

19 のれん

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
取得原価		
期首現在	49,805	49,814
企業結合に伴う取得	5	43
子会社の処分	—	(47)
為替換算差額	4	6
期末現在	49,814	49,816

のれんを含むCGUの減損テスト

のれんは事業セグメントに従って識別された本グループのCGUに対して以下の通り配分された。

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
TSS		
ー地域電話及びデータ・サービス	31,698	31,739
ーグローバル	1,263	1,224
モバイル	16,853	16,853
合計	49,814	49,816

CGUの回収可能額は使用価値に基づいて算定される。これらの計算には、経営陣が承認した通常5年間の財務予算に基づくキャッシュ・フロー予測が用いられる。予測期間より先のキャッシュ・フローは下記の見積最終成長率を用いて推定される。

2020年度に使用価値の計算に使用された主な仮定は以下の通りであった。

	2019年				2020年			
	平均収益 成長率	平均 EBITDA 成長率	最終 成長率	税引前 割引率	平均収益 成長率	平均 EBITDA 成長率	最終 成長率	税引前 割引率
TSS								
ー地域電話及び データ・サービス	1%	1%	1%	8%	1%	1%	1%	8%
ーグローバル	1%	2%	3%	13%	1%	3%	3%	13%
モバイル	3%	2%	2%	11%	3%	3%	2%	12%

これらの仮定は各CGUの分析に用いられた。

のれんの評価から要求される減損はなかった。合理的に考え得る仮定の変動によって減損が発生することはないため、感応度分析の開示は必要とは考えられていない。

経営陣は、過去の実績及び市場の展望の予想に基づき収益及びEBITDA成長率の予算を算定した。使用された平均成長率は業界レポートに含まれる予測と一致した。最終成長率はCGUの事業における長期的な平均成長率を超えるものではなかった。

20 無形資産

(単位：百万香港ドル)

	2019年				
	商号	通信事業者 免許	顧客基盤	ソフト ウェア	合計
取得原価					
期首現在	1,859	4,552	2,764	4,500	13,675
取得	—	421	—	2,132	2,553
直接償却	—	(101)	—	—	(101)
為替換算差額	1	—	—	—	1
期末現在	1,860	4,872	2,764	6,632	16,128
償却累計額					
期首現在	567	1,301	2,151	965	4,984
当期計上額	90	412	187	437	1,126
直接償却	—	(101)	—	—	(101)
為替換算差額	—	—	1	—	1
期末現在	657	1,612	2,339	1,402	6,010
正味帳簿価額					
期末現在	1,203	3,260	425	5,230	10,118
期首現在	1,292	3,251	613	3,535	8,691

(単位：百万香港ドル)

	2020年						
	商号	通信事業者 免許	顧客基盤	ソフト ウェア	資産計上され た番組費用	その他	合計
取得原価							
期首現在	1,860	4,872	2,764	6,632	—	—	16,128
取得	1	364	—	1,956	69	8	2,398
企業結合に伴う取得	192	—	210	—	59	59	520
直接償却	—	(98)	(10)	(338)	—	—	(446)
為替換算差額	1	—	—	—	—	—	1
期末現在	2,054	5,138	2,964	8,250	128	67	18,601
償却累計額							
期首現在	657	1,612	2,339	1,402	—	—	6,010
当期計上額	96	439	190	575	25	2	1,327
直接償却	—	(98)	(10)	(36)	—	—	(144)
為替換算差額	1	—	(1)	—	—	—	—
期末現在	754	1,953	2,518	1,941	25	2	7,193
正味帳簿価額							
期末現在	1,300	3,185	446	6,309	103	65	11,408
期首現在	1,203	3,260	425	5,230	—	—	10,118

償却費の当期計上額は連結損益計算書の一般管理費に含まれている。

2019年及び2020年12月31日現在、無形資産に係る減損損失は認識されなかった。無形資産に係る減損評価は、対応するCGUにおける減損評価の一環として実施される。会計方針及び減損評価に関する詳細は、注記3(o)(ii)及び注記19を参照のこと。

21 関連会社に対する持分

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
関連会社の純資産に対する持分	272	278
関連会社に対する貸付金(純額)	233	8
減損引当金	(296)	(75)
	209	211
取得原価で測定する投資(非上場)	353	387

2020年12月31日に終了した会計年度において、連結損益計算書に認識された減損引当金はなかった。(2019年：なし)

2020年12月31日に終了した会計年度において、東莞捷通達電訊有限公司（ドングァン・ジトンダ・テレコミュニケーションズ・カンパニー・リミテッド^{*}）（以下「ジトンダ」という。）は、HKTリミテッドの56.5%所有の間接子会社となり、本グループによって統合されている。その詳細は注記41(b)に記載されている。

^{*} 非公式の社名である。

香港でバーチャル・バンク運営事業に行うための共同支配企業の設立を目的とした、いずれも2019年3月27日付の引受契約及び株主合意に従い、HKTリミテッド・グループは、2019年12月31日に終了した会計年度において、香港において設立されたモックス・バンク・リミテッド（旧SCデジタル・ソリューション・リミテッド）の発行済株式資本合計の15%を総額242百万香港ドルで引き受けた。モックス・バンク・リミテッドは、香港金融管理局から香港でバーチャル・バンクを運営する免許を得ている。

2019年12月31日現在、関連会社に対する貸付金の内訳は、年率3%で1年以内に返済予定の特定の無担保貸付金合計340百万香港ドル、年率8%で1年以内に返済予定の担保付貸付金合計6百万香港ドルであった。2020年12月31日現在、かかる残高の内訳は、担保付貸付金8百万香港ドルであり、これは年率8%、1年以内に返済予定であった。これらの貸付金は資本性のものと考えられ、2019年及び2020年12月31日現在、これらに対して減損引当金が全額引当てられている。

a. 2019年及び2020年12月31日現在、本グループは主要な関連会社がないものと考えていた。

b. 関連会社に関する偶発負債

関連会社に関連する本グループの偶発負債は、注記39に開示されている。2020年12月31日現在、本グループの関連会社の偶発負債に対する持分は、3百万香港ドルであった（2019年：なし）。

c. 本グループの関連会社の要約未監査財務情報

2020年12月31日に終了した会計年度において、持分法で会計処理されており、個別に重要性のない関連会社の税引後損失、その他の包括損失及び包括損失合計に対する本グループの持分の純額合計は、それぞれ68百万香港ドル（2019年：33百万香港ドル）、なし（2019年：なし）、68百万香港ドル（2019年：33百万香港ドル）であった。

d. 本グループの関連会社の要約非監査財務情報の調整

2020年12月31日現在、持分法で会計処理されており、個別には重要性のない関連会社に対する持分の帳簿価額合計は211百万香港ドル（2019年：209百万香港ドル）であった。

2020年12月31日に終了した会計年度において、本グループの関連会社の損失に対する未認識の持分はなかった（2019年：3百万香港ドル）。2020年12月31日現在、本グループが認識していない関連会社の損失に対する持分累計額はなかった（2019年：10百万香港ドル）。

22 共同支配企業に対する持分

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
共同支配企業の純資産に対する持分	306	306
共同支配企業に対する貸付金	337	296
	643	602
取得原価で測定する投資(非上場)	343	343

2020年12月31日現在、共同支配企業に対する全ての残高は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。ただし、共同支配企業に対する貸付金296百万香港ドル（2019年：337百万香港ドル）には、HIBORに年率3%を加えた金利（2019年：同じ）で利息が付されている。これらの金額は共同支配企業に対する持分の一部とみなされる。

a. 2020年12月31日現在の本グループの主な共同支配企業の詳細

会社名	主たる事業の所在地/設立地	主たる事業内容	発行資本額	HKTリミテッドの保有持分		
				直接	間接	測定方法
ジーニアス・ブランド・リミテッド (以下「GBL」という。)	香港	香港におけるモバイル通信サービスの提供	10,000香港ドル	—	50%	持分法

GBLは本グループの戦略的パートナーシップと位置付けられており、モバイル事業の発展のために香港において先進的な接続サービスへのアクセスを提供している。

GBLは非公開企業であり、株式の市場相場価格はない。

b. 共同支配企業に関するコミットメント及び偶発負債

2020年12月31日現在、共同支配企業に関する本グループのコミットメントは以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
本グループによる資金提供のコミットメント	59	29
承認済み、かつ契約締結済の有形固定資産の取得に係る共同支配企業の資本コミットメントに対する本グループの持分	12	6
共同支配企業のその他のコミットメントに対する本グループの持分	22	24

共同支配企業に対する本グループの持分に関する偶発負債はなかった。2020年12月31日現在、共同支配企業に関する偶発負債に対する本グループの持分はなかった（2019年：なし）。

c. 本グループの共同支配企業の要約未監査財務情報

本グループの主な共同支配企業であり、持分法で会計処理されているGBLの要約未監査財務情報は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	12月31日現在	
	2019年	2020年
非流動資産	801	698
流動資産		
現金及び現金同等物	6	13
その他の流動資産(現金及び現金同等物を除く)	31	27
流動資産合計	37	40
流動負債		
金融負債(買掛金、未払費用及びその他の未払金を除く)	(323)	(320)
その他の流動負債(買掛金、未払費用及びその他の未払金を含む)	(72)	(60)
流動負債合計	(395)	(380)
非流動負債		
金融負債	(494)	(419)
その他の非流動負債	(33)	(33)
非流動負債合計	(527)	(452)
純負債	(84)	(94)
株式の保有者に帰属する持分	(84)	(94)

(単位：百万香港ドル)

	12月31日に終了した会計年度	
	2019年	2020年
収益	255	236
減価償却費及び償却費	(97)	(94)
支払利息	(41)	(30)
税引前利益	1	2
法人所得税	(11)	(12)
税引後損失及び包括損失合計	(10)	(10)
共同支配企業からの受取配当金	—	—

上記の情報は、本グループと共同支配企業の間には会計方針の相違があった場合には相違に関する調整後の共同支配企業の財務書類に表示された金額を反映している（それらの金額に対する本グループの持分ではない）。

2020年12月31日に終了した会計年度において、持分法で会計処理されており、個別には重要性のない共同支配企業の税引後損失、その他の包括利益及び包括利益合計に対する本グループの持分の純額合計は、それぞれ6百万香港ドル（2019年：13百万香港ドル）、11百万香港ドル（2019年：その他の包括損失7百万香港ドル）及び5百万香港ドル（2019年：包括損失合計20百万香港ドル）であった。

d. 本グループの共同支配企業の要約未監査財務情報の調整

要約未監査財務情報から、主な共同支配企業であるGBLに対する本グループの持分の帳簿価額への調整は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
純負債		
期首残高	(74)	(84)
当期損失及び包括損失合計	(10)	(10)
期末残高	(84)	(94)
共同支配企業に対する持分割合	50%	50%
	(42)	(47)
共同支配企業に対する貸付金	337	296
帳簿価額	295	249

2020年12月31日現在、持分法で会計処理されており、個別には重要性のない共同支配企業に対する持分の帳簿価額合計は、353百万香港ドル（2019年：348百万香港ドル）であった。

2020年12月31日に終了した会計年度において、本グループには、共同支配企業の損失に対する未認識の持分はなかった（2019年：なし）。2020年12月31日現在、本グループが認識していない共同支配企業の損失に対する持分累計額はなかった（2019年：なし）。

23 その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
非上場証券		
期首	77	124
取得	47	—
期末	124	124

2020年12月31日現在、FVOCIで測定する金融資産は、戦略目的で保有されている非上場持分投資で構成されていた（2019年：同じ）。

24 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
上場証券	13	34
控除：流動資産に分類されている、1年以内に権利確定予定の従業員株式報奨制度のために保有されている有価証券	(12)	(16)
上場証券(非流動)	1	18
非上場証券(非流動)	31	31
非流動部分合計	32	49

FVPLで測定する金融資産は主に以下のもので構成されている。

- 償却原価で測定又はFVOCIで測定のどちらにも適格でない負債性金融商品
- PCCW買入制度及びPCCW引受制度に基づき取得及び引受したPCCW社株式。PCCW社の株式報奨制度の詳細については、注記30(b)(ii)を参照のこと。

2020年12月31日に終了した会計年度において、FVPLで測定する金融資産として認識される非上場証券の取得はなかった（2019年：31百万香港ドル）。

25 子会社への投資

a. 2020年12月31日現在の主な子会社の詳細

会社名	設立地/ 営業地	発行済株式資本/ 登記資本額	HKTリミテッドの 保有持分		主たる事業内容
			直接	間接	
HKTグループ・ホールディングス・リミテッド(以下「HKTGH社」という。)	ケイマン諸島	636,000,021米ドル	100%	—	投資持株
HKTサービシズ・リミテッド	香港	1香港ドル	—	100%	グループ会社への管理サービスの提供
香港テレコミュニケーションズ(HKT)リミテッド(以下「HKT社」という。)	香港	9,945,156,001香港ドル	—	100%	電気通信サービスの提供
電訊盈科科技(北京)有限公司 ³ (PCCWテクノロジー(北京)リミテッド ⁴)	中華人民共和国(以下「中国」という。)	40,000,000人民元	—	100%	システム統合、ソフトウェア開発及びテクニカル・サービス・コンサルティング
CSLモバイル・リミテッド	香港	普通株式 7,900,280,100香港ドル 及び 議決権のない 繰延株式 1,254,000,000香港ドル	—	100%	顧客へのモバイル・サービスの提供、並びにモバイル通信端末及び付属品の販売
サン・モバイル・リミテッド	香港	41,600,002香港ドル	—	60% ¹	香港の顧客へのモバイル通信サービスの提供
クラブHKT・リミテッド	香港	1香港ドル	—	100%	香港の顧客ロイヤルティ・プログラム及びオンライン商品販売の運営
ゲートウェイ・グローバル・コミュニケーションズ・リミテッド	英国	1英ポンド	—	100%	外部顧客及び関係会社へのネットワーク・ベースの電気通信サービスの提供
PCCWグローバルB.V.	オランダ/フランス	18,000ユーロ	—	100%	電気通信サービス及び製品の販売、流通及びマーケティング
PCCWグローバル・インターネット	米国デラウェア州	18.01米ドル	—	100%	ブロードバンド・インターネット・アクセスのソリューション及びウェブサービスの提供
PCCWグローバル・リミテッド	香港/ ドバイ・メディア・シティ	240,016,690.65香港ドル	—	100%	ネットワーク・ベースの電気通信サービスの提供
PCCWグローバル・ジャパン株式会社	日本	10,000,000円	—	100%	電気通信サービスの提供
PCCWグローバル(HK)リミテッド	香港	10香港ドル	—	100%	衛星回線及びネットワーク・ベースの電気通信サービスの提供
HKTグローバル(シンガポール)プライベート・リミテッド	シンガポール/マレーシア	60,956,485.64シンガポール・ドル	—	100%	電気通信ソリューション関連サービスの提供

会社名	設立国/ 営業地	発行済株式資本/ 登記資本額	HKTリミテッドの 保有持分		主たる事業内容
			直接	間接	
PCCW(マカオ)リミター ダ	マカオ	2,000,000 マカオ・パタカ	—	75% ²	顧客構内設備及び関連ソ リューションの販売、シス テム統合プロジェクトの実 施、委託コールセンター・ サービスの提供
PCCWメディア・リミ テッド	香港	普通株式 8,041,216,269 香港ドル、 クラスA株式 1香港ドル 及び クラスB株式 4香港ドル 1香港ドル	—	100%	有料テレビ番組サービス、 双方向型マルチメディア・ サービスの提供、各種電話 帳への広告の販売、香港で のそれらの電話帳の発行、 及びインターネット上での 広告の販売
PCCWコンテンツ・リミ テッド	香港	1香港ドル	—	100%	メディア・コンテンツの配 信
廣州電盈綜合客戶服務 技術發展有限公司 ³ (PCCWカスタマー・マ ネジメント・テクノロ ジー・アンド・サービ シズ(広州)リミテッド ⁴)	中国	93,240,000香港ドル	—	100%	カスタマー・サービス及び コンサルティング
HKTテレサービス・ インターナショナル・ リミテッド	香港	350,000,002 香港ドル	—	100%	顧客管理及び顧客対応管理 のソリューション及びサー ビスの提供
盈環網絡技術(上海)有 限公司 ³ (HKTテレサー ビスズ(中国)リミテッ ド ⁴)	中国	14,000,000人民元	—	100%	付加価値のある電気通信 サービスにおけるコールセ ンター・サービス並びに電 気通信ソリューション関連 サービス及びコンサルティ ングの提供

本グループの経営成績又は財政状態に重要な影響を及ぼさない一部の子会社は、上記の表から除外されている。

脚注

- 1 2020年12月31日現在、非支配持分が保有している株主持分は40%である。
- 2 2020年12月31日現在、非支配持分が保有している株主持分は25%である。
- 3 外資系企業が完全所有する子会社を示す。
- 4 非公式の社名である。

b. 本グループの子会社の非支配持分

2020年12月31日現在、非支配持分の合計は62百万香港ドル（2019年：58百万香港ドル）であり、そのうち、54百万香港ドル（2019年：56百万香港ドル）は主にサン・モバイル・リミテッド及びPCCW（マカオ）リミターダの非支配持分に帰属していた。

26 その他の非流動資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
前払金	709	764
預金	203	154
その他	194	158
	1,106	1,076

27 流動資産及び負債

a. 棚卸資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
購入した部品及び原材料	414	467
完成品	318	293
消耗品	71	60
	803	820

b. 前払金、預金及びその他の流動資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
前払金	565	826
預金	256	318
その他の流動資産	990	1,065
	1,811	2,209

2020年12月31日現在、前払金には、前払番組費用190百万香港ドル（2019年：なし）が含まれていた。

c. 売掛金（純額）

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
売掛金(注 i)	3,743	3,448
控除：損失引当金(注 ii)	(143)	(195)
売掛金(純額)	3,600	3,253

残高は、通常の事業の過程において販売した財又は実施したサービスについての顧客に対する債権である。これらは一般的に、請求書の発行日付から30日以内に決済期限が到来するため、全て流動資産に分類される。本グループの減損の方針の詳細は、注記3(o)(i)に記載されている。

2020年12月31日現在、売掛金（純額）には、関連当事者に対する債権21百万香港ドル（2019年：36百万香港ドル）が含まれていた。

i. 請求書の発行日付に基づく売掛金の回収期間別内訳

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
1－30日	2,594	2,043
31－60日	346	455
61－90日	272	274
91－120日	98	106
120日超	433	570
	3,743	3,448

ii. 売掛金の減損

本グループは、売掛金に対して、全期間の予想損失引当金を使用するHKFRS第9号（2014年）の簡便法を適用して、予想信用損失に対する損失引当金を測定している。

予想信用損失を測定するため、売掛金は、共通の信用リスク特性及び期日経過日数に基づきグルーピングされている。予想損失率は、対応する過去の信用損失に基づき見積もられ、マクロ経済要因に関する現在の情報と将来予測情報の間の予想される変化が重要な場合にはこれについて調整する。これに基づき、2020年12月31日現在の損失引当金は以下の通り算定されていた。

	2019年	2020年
予想信用損失率		
延滞なし	1%	1%
1－120日延滞	3%	5%
120日超延滞	26%	36%

当期における損失引当金の増減は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
期首残高	135	143
減損損失認識額(純額)	222	256
直接償却された未回収額	(214)	(204)
期末残高	143	195

d. 拘束性預金

2020年12月31日現在、107百万香港ドル（2019年：115百万香港ドル）の現金残高が特定の顧客より入金され、その顧客の使用に限定されている。

e. 短期借入金

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
銀行借入金	—	1,552
担保付	—	—
無担保	—	1,552

本グループの銀行融資枠の詳細については注記40を参照のこと。

f. 買掛金

買掛金の支払期間別の内訳は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
1－30日	1,269	1,708
31－60日	556	906
61－90日	100	548
91－120日	31	268
120日超	386	515
	2,342	3,945

2020年12月31日現在、買掛金には、関連当事者に対する債務28百万香港ドル（2019年：12百万香港ドル）が含まれていた。

28 長期借入金

(単位：百万香港ドル)		
	2019年	2020年
以下の期間内に返済		
－ 1 年超 2 年以内	5,202	2,640
－ 2 年超 5 年以内	17,619	24,283
－ 5 年超	17,537	13,796
	40,358	40,719
内訳：		
2023年満期3.75%利付保証付手形500百万米ドル(注a)	3,819	3,824
2030年満期ゼロクーポン保証付手形300百万米ドル(注b)	2,324	2,314
2025年満期3.625%利付保証付手形500百万米ドル(注c)	3,862	3,850
2027年満期1.65%利付保証付手形200百万ユーロ(注d)	1,713	1,878
2026年満期3.00%利付保証付手形750百万米ドル(注e)	5,812	5,789
2029年満期3.25%利付保証付手形500百万米ドル(注f)	3,826	3,815
銀行借入金(注g)	19,002	19,249
	40,358	40,719
担保付	—	—
無担保	40,358	40,719

a. 2023年満期3.75%利付保証付手形500百万米ドル

2013年3月8日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるPCCW-HKTキャピタルNo.5リミテッドは、2023年満期3.75%利付保証付手形を500百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

b. 2030年満期ゼロクーポン保証付手形300百万米ドル

2015年1月15日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.1リミテッドは、2030年満期ゼロクーポン保証付手形を300百万米ドル発行し、このノートは台北証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

c. 2025年満期3.625%利付保証付手形500百万米ドル

2015年4月2日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.2リミテッドは、2025年満期3.625%利付保証付手形を500百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

d. 2027年満期1.65%利付保証付手形200百万ユーロ

2015年4月10日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.3リミテッドは、2027年満期1.65%利付保証付手形を200百万ユーロ発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

e. 2026年満期3.00%利付保証付手形750百万米ドル

2016年7月14日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.4リミテッドは、2026年満期3.00%利付保証付手形を750百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

f. 2029年満期3.25%利付保証付手形500百万米ドル

2019年9月30日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.5リミテッドは、2029年満期3.25%利付保証付手形を500百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

g. 本グループの銀行借入枠の詳細については注記40を参照のこと。

29 デリバティブ

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
非流動資産		
クロスカレンシー・スワップ契約 －外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注a)	240	214
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	44	—
	284	214
流動資産		
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	6	—
流動負債		
為替予約	—	(3)
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	—	(21)
	—	(24)
非流動負債		
クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約 －外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注a)	(12)	(37)
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	(26)	(91)
	(38)	(128)

デリバティブは主に、投機的投資としてではなく、経済的ヘッジ目的で利用されている。しかし、デリバティブがヘッジ会計の要件を満たさない場合には、FVPLで会計処理される。

ヘッジの有効性は、ヘッジ関係の開始時及び定期的に行う将来予測的な有効性評価を通じて、ヘッジ対象とヘッジ手段の間に経済的関係が存在することを確認することによって決定される。

本グループのクロスカレンシー・スワップ契約、為替予約及び金利スワップ契約のヘッジ非有効部分は、以下に起因して発生する可能性がある。

- － ヘッジ対象とヘッジ手段の間の重要な条件の相違
- － デリバティブの相手方の信用リスクの変動

a. 外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ

本グループは、特定の外貨建借入金について、外貨リスクをヘッジするために、クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約を行っている。本グループは、ヘッジの有効性について定性的な評価を行った。クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約は、想定元本、満期日、支払日等の重要な条件がヘッジ対象と類似しているため、ヘッジ対象とヘッジ手段の間に経済的な関係が存在する。

報告期間末現在の外貨関連のヘッジ手段残高が本グループの財政状態及び経営成績に与える影響は以下の通りである。

	2019年	2020年
帳簿価額(資産)	228百万香港ドル	177百万香港ドル
想定元本	200百万ユーロ及び 2,720百万米ドル	200百万ユーロ及び 2,220百万米ドル
満期日	2023年3月から 2029年9月	2023年3月から 2029年9月
ヘッジ比率	1 : 1 *	1 : 1 *
当期におけるヘッジ手段の公正価値の変動 [#]	293百万香港ドル	(210百万香港ドル)
当期におけるヘッジ対象の価値の変動 [#]	(245百万香港ドル)	212百万香港ドル
当期におけるヘッジ対象の加重平均為替レート	1ユーロ : 8.32香港ドル 1米ドル : 7.79香港ドル	1ユーロ : 8.32香港ドル 1米ドル : 7.79香港ドル

* ヘッジ手段の想定元本及び時期はヘッジ対象と一致しているため、ヘッジ比率は1 : 1である。

プラスの変動は純資産の増加を表し、マイナスの変動は純資産の減少を表す。

b. 金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ

本グループは、特定のキャッシュ・フロー金利リスクにさらされている借入金について、変動対固定への金利スワップ契約を行っている。本グループは、ヘッジの有効性について定性的な評価を行った。金利スワップ契約は、想定元本、満期日、支払日等の重要な条件がヘッジ対象と類似しているため、ヘッジ対象とヘッジ手段の間に経済的な関係が存在する。

報告期間末現在の金利関連のヘッジ手段残高が本グループの財政状態及び経営成績に与える影響は以下の通りである。

	2019年	2020年
帳簿価額(資産/(負債))(純額)	24百万香港ドル	(112百万香港ドル)
想定元本	6,370百万香港ドル	4,450百万香港ドル
満期日	2020年8月から 2023年3月	2021年3月から 2023年3月
ヘッジ比率	1 : 1 *	1 : 1 *
当期におけるヘッジ手段の公正価値の変動 [#]	19百万香港ドル	(100百万香港ドル)
当期におけるヘッジ対象の価値の変動 [#]	(12百万香港ドル)	96百万香港ドル
受取/支払の加重平均金利比率	1.15	0.61

* ヘッジ手段の想定元本及び時期はヘッジ対象と一致しているため、ヘッジ比率は1 : 1である。

プラスの変動は純資産の増加を表し、マイナスの変動は純資産の減少を表す。

c. ヘッジ準備金及びヘッジ費用

本グループのヘッジ準備金及びヘッジのコスト準備金は、以下のヘッジ手段に関連している。

	(単位：百万香港ドル)		
	外貨リスクに 対する キャッシュ・ フロー・ヘッジ	金利リスクに 対する キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計
ヘッジ準備金			
2019年1月1日現在	(6)	35	29
キャッシュ・フロー・ヘッジ：			
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	245	12	257
－資本から連結損益計算書への振替	152	—	152
2019年12月31日及び2020年1月1日現在	391	47	438
キャッシュ・フロー・ヘッジ：			
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	(164)	(104)	(268)
－資本から連結損益計算書への振替	(92)	3	(89)
2020年12月31日現在	135	(54)	81

	(単位：百万香港ドル)	
	外貨リスクに対する キャッシュ・ フロー・ヘッジ	
ヘッジのコスト準備金		
2019年1月1日現在		(169)
ヘッジのコスト		11
2019年12月31日及び2020年1月1日現在		(158)
キャッシュ・フロー・ヘッジ：		
－資本から連結損益計算書への振替		7
ヘッジのコスト		181
2020年12月31日現在		30

30 従業員給付

a. 従業員退職給付－確定拠出退職制度

本グループは、香港雇用条例（Hong Kong Employment Ordinance）の管轄で雇用された従業員向けに、香港強制退職積立金制度条例（Hong Kong Mandatory Provident Fund Schemes Ordinance）による強制退職積立金制度（Mandatory Provident Fund Scheme、以下「MPF制度」という。）を含む確定拠出退職制度を運営している。この制度は独立した受託者により管理されている。

確定拠出退職制度の下では、雇用主は制度の規則で定められた比率で制度に拠出することが求められる。雇用主による拠出が全額権利確定する前に従業員が制度から退会する場合、失効した拠出金額を使用して本グループの支払拠出額が減額される。

MPF制度の下では、雇用主と従業員がそれぞれ、30,000香港ドルを毎月の収入の現在の上限として、その従業員の対象となる収入の5%を制度に拠出することが求められる。制度への拠出は、対象となる役務提供期間における役務完了時に直ちに権利が確定する。

2020年12月31日に終了した会計年度において、合計8百万香港ドル（2019年：11百万香港ドル）の失効した拠出金が拠出金の削減に使用され、報告期間末現在において利用可能な失効した拠出金はなかった（2019年：なし）。

b. 持分報酬給付

PCCW社及び本グループは、以下の株式オプション制度及び株式報奨制度を運営している。

株式オプション制度

- PCCW社の株式オプション制度は、2014年5月8日に採択された（以下「PCCW2014年制度」という。）。
- HKTトラスト及びHKTリミテッドの株式ステープル受益証券オプション制度は、2011年11月7日に条件付で採択された（以下「2011年－2021年オプション制度」という。）。

株式報奨制度

- PCCW社の株式報奨制度、すなわちPCCW買入制度及びPCCW引受制度（以下総称して「PCCW株式報奨制度」という。）。
- HKTリミテッドの株式ステープル受益証券報奨制度、すなわちHKT株式ステープル受益証券買入制度及びHKT株式ステープル受益証券引受制度（以下総称して「株式ステープル受益証券報奨制度」という。）。

2011年－2021年オプション制度及び株式ステープル受益証券報奨制度の詳細は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの2020年度年次報告書の「統合取締役報告書」の「株式ステープル受益証券オプション制度」及び「株式ステープル受益証券報奨制度」のセクションにおいて開示されている。

i. 株式オプション制度

採択日以降2020年12月31日まで（同日を含む）に、PCCW2014年制度及び2011年－2021年オプション制度に基づき付与された株式オプション/株式ステープル受益証券オプションはない。

ii. 株式報奨制度

PCCW株式報奨制度及び株式ステープル受益証券報奨制度の関連する制度の規則を前提として、各制度は、特定の参加者（PCCW株式報奨制度についてはPCCW社及びその参加会社の取締役又は従業員、株式ステープル受益証券報奨制度についてはHKTリミテッド又はその子会社の取締役又は従業員を含む）に対する関連制度における報奨の権利確定に先立ち、該当するPCCW社株式/株式ステープル受益証券はその特定の参加者のために受託者によって信託に保管され、その後、特定の参加者それぞれが該当する権利確定日（又は場合によっては該当する各権利確定日）まで（同日を含む）の全期間にわたり継続してPCCW社、HKTリミテッド、関連する参加会社又は子会社の従業員又は取締役であり、報奨が付与された時点で規定されているその他の条件を満たすならば、各承認機関が決定した一定の期間にわたり権利が確定する。なお、各承認機関はかかる条件を自由に免除することができる。権利確定条件の充足以外に、特定の参加者は該当する制度に基づき付与されたPCCW社株式/株式ステープル受益証券を取得するためのいかなる対価の提供も要求されない。

2020年12月31日に終了した会計年度において、PCCW株式報奨制度に関する株式報酬費用19百万香港ドル（2019年：20百万香港ドル）が連結損益計算書に、また連結財政状態計算書の負債に債務として認識された。

2020年12月31日に終了した会計年度において、株式ステープル受益証券報奨制度に関する株式報酬費用20百万香港ドル（2019年：19百万香港ドル）が連結損益計算書に、また連結財政状態計算書の従業員株式報酬準備金に認識された。

(1) PCCW株式報奨制度に基づき本グループが保有するPCCW社株式数及び株式ステープル受益証券報奨制度に基づき保有する株式ステープル受益証券数の増減

	PCCW社株式数	
	2019年	2020年
PCCW買入制度：		
期首残高	366	1,081,428
PCCW社株式1株当たり4.72香港ドル(2019年：4.56香港ドル)の加重平均市場価格で受託者が行った市場からの購入	2,155,000	542,000
権利が確定したPCCW社株式	(1,073,938)	(1,080,909)
期末残高	1,081,428	542,519
PCCW引受制度：		
期首残高	4,476,981	1,797,145
取得したPCCW社株式	—	7,500,000
権利が確定したPCCW社株式	(2,679,836)	(2,754,506)
期末残高	1,797,145	6,542,639
	株式ステープル受益証券数	
	2019年	2020年
HKT株式ステープル受益証券買入制度：		
期首残高	245	1,227,922
株式ステープル受益証券1口当たり11.56香港ドル(2019年：12.45香港ドル)の加重平均市場価格で受託者が行った市場からの購入	3,086,000	379,000
権利が確定した株式ステープル受益証券	(1,858,323)	(1,194,672)
期末残高	1,227,922	412,250
HKT株式ステープル受益証券引受制度：		
期首残高	—	—
株式ステープル受益証券1口当たり11.86香港ドルの発行価格でHKTトラストとHKTリミテッドが合同で発行した新規の株式ステープル受益証券	—	4,000,000
権利が確定した株式ステープル受益証券	—	(561,114)
期末残高	—	3,438,886

(2) 権利未確定のPCCW社株式数及び株式ステープル受益証券数の増減、並びに付与日の関連する加重平均公正価値

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2019年					
付与日	権利確定期間		PCCW社株式/株式ステープル受益証券数					
			2019年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2019年 12月31日現在	
PCCW買入制度(PCCW社株式)								
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	4.60	539,077	—	(3,595)	(535,482)	—	
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	4.66	538,456	—	—	(538,456)	—	
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	538,444	—	—	—	538,444	
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	4.74	—	542,465	—	—	542,465	
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	4.74	—	542,457	—	—	542,457	
合計			1,615,977	1,084,922	(3,595)	(1,073,938)	1,623,366	
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.64	4.74	4.60	4.63	4.71	
PCCW引受制度(PCCW社株式)								
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	4.60	1,303,748	—	(15,161)	(1,288,587)	—	
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	4.66	1,407,350	—	(16,101)	(1,391,249)	—	
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	1,406,388	—	(49,514)	—	1,356,874	
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	4.74	—	1,434,666	(40,738)	—	1,393,928	
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	4.74	—	1,433,531	(40,681)	—	1,392,850	
合計			4,117,486	2,868,197	(162,195)	(2,679,836)	4,143,652	
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.64	4.74	4.69	4.63	4.71	

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2019年				
付与日	権利確定期間		PCCW社株式/株式ステープル受益証券数				
			2019年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2019年 12月31日現在
HKT株式ステープル受益証券買入制度(株式ステープル受益証券)							
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	10.04	840,167	—	(8,539)	(831,628)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	9.94	904,158	—	(7,463)	(896,695)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	9.94	903,139	—	(22,920)	—	880,219
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2019年4月10日	10.40	100,000	—	—	(100,000)	—
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2020年4月10日	10.40	100,000	—	—	—	100,000
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2019年10月5日	10.34	15,000	—	—	(15,000)	—
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2020年10月5日	10.34	15,000	—	—	—	15,000
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2019年11月5日	10.66	15,000	—	—	(15,000)	—
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2020年11月5日	10.66	15,000	—	—	—	15,000
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	12.38	—	208,846	—	—	208,846
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	12.38	—	208,839	—	—	208,839
合計			2,907,464	417,685	(38,922)	(1,858,323)	1,427,904
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			10.01	12.38	9.96	10.02	10.70
HKT株式ステープル受益証券引受制度(株式ステープル受益証券)							
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	12.38	—	569,169	(15,718)	—	553,451
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	12.38	—	568,030	(15,664)	—	552,366
合計			—	1,137,199	(31,382)	—	1,105,817
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			—	12.38	12.38	—	12.38

付与日	権利確定期間	付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2020年				
			PCCW社株式数				
			2020年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2020年 12月31日現在
PCCW買入制度(PCCW社株式)							
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	538,444	—	—	(538,444)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	4.74	542,465	—	—	(542,465)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	4.74	542,457	—	—	—	542,457
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2021年4月16日	4.64	—	527,425	—	—	527,425
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2022年4月16日	4.64	—	527,418	—	—	527,418
合計			1,623,366	1,054,843	—	(1,080,909)	1,597,300
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.71	4.64	—	4.70	4.67
PCCW引受制度(PCCW社株式)							
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	1,356,874	—	(14,825)	(1,342,049)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	4.74	1,393,928	—	(17,344)	(1,376,584)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	4.74	1,392,850	—	(57,671)	—	1,335,179
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2020年4月17日	4.69	—	35,873	—	(35,873)	—
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2021年4月17日	4.69	—	35,873	—	—	35,873
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2022年4月17日	4.69	—	9,612	—	—	9,612
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2023年4月17日	4.69	—	9,610	—	—	9,610
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2021年4月16日	4.64	—	1,474,991	(49,843)	—	1,425,148
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2022年4月16日	4.64	—	1,473,905	(49,784)	—	1,424,121
2020年 5月11日	2020年5月11日から 2021年4月16日	4.77	—	40,900	—	—	40,900
2020年 5月11日	2020年5月11日から 2022年4月16日	4.77	—	40,900	—	—	40,900
2020年 5月11日	2020年5月11日から 2023年4月16日	4.77	—	20,448	—	—	20,448
合計			4,143,652	3,142,112	(189,467)	(2,754,506)	4,341,791
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.71	4.65	4.68	4.70	4.67

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2020年				
付与日	権利確定期間		株式ステーブル受益証券数				
			2020年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2020年 12月31日現在
HKT株式ステーブル受益証券買入制度(株式ステーブル受益証券)							
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	9.94	880,219	—	(9,393)	(870,826)	—
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2020年4月10日	10.40	100,000	—	—	(100,000)	—
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2020年10月5日	10.34	15,000	—	(15,000)	—	—
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2020年11月5日	10.66	15,000	—	—	(15,000)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	12.38	208,846	—	—	(208,846)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	12.38	208,839	—	—	—	208,839
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2021年4月16日	11.86	—	202,686	—	—	202,686
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2022年4月16日	11.86	—	202,676	—	—	202,676
合計			1,427,904	405,362	(24,393)	(1,194,672)	614,201
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			10.70	11.86	10.19	10.41	12.04
HKT株式ステーブル受益証券引受制度(株式ステーブル受益証券)							
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	12.38	553,451	—	(6,687)	(546,764)	—
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	12.38	552,366	—	(22,202)	—	530,164
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2020年4月17日	11.66	—	14,350	—	(14,350)	—
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2021年4月17日	11.66	—	14,349	—	—	14,349
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2022年4月17日	11.66	—	3,845	—	—	3,845
2020年 2月28日	2020年2月28日から 2023年4月17日	11.66	—	3,844	—	—	3,844
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2021年4月16日	11.86	—	567,489	(19,191)	—	548,298
2020年 4月16日	2020年4月16日から 2022年4月16日	11.86	—	566,382	(19,131)	—	547,251
2020年 5月11日	2020年5月11日から 2021年4月16日	12.86	—	15,717	—	—	15,717
2020年 5月11日	2020年5月11日から 2022年4月16日	12.86	—	15,717	—	—	15,717
2020年 5月11日	2020年5月11日から 2023年4月16日	12.86	—	7,858	—	—	7,858
合計			1,105,817	1,209,551	(67,211)	(561,114)	1,687,043
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			12.38	11.89	12.08	12.36	12.04

当期に付与されたPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の付与日の公正価値は、各付与日現在のPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の各市場相場価格で測定される。

権利が確定していないPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の報告期間末現在の加重平均残存権利確定期間は以下の通りである。

	2019年	2020年
PCCW買入制度(PCCW社株式)	0.62年	0.62年
PCCW引受制度(PCCW社株式)	0.63年	0.64年
HKT株式ステープル受益証券買入制度 (株式ステープル受益証券)	0.44年	0.62年
HKT株式ステープル受益証券引受制度 (株式ステープル受益証券)	0.80年	0.64年

31 HKTリミテッドの資本

a. HKTリミテッドの株式資本

	2019年		2020年	
	株式数	名目額 (単位：香港ドル)	株式数	名目額 (単位：香港ドル)
授権済：				
1株当たり0.0005香港ドルの普通株式				
期首及び期末残高	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
1株当たり0.0005香港ドルの優先株式				
期首及び期末残高	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
発行済かつ全額払込済：				
1株当たり0.0005香港ドルの普通株式				
期首残高	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871
当期における発行(脚注(i))	—	—	4,000,000	2,000
期末残高	7,571,742,334	3,785,871	7,575,742,334	3,787,871
1株当たり0.0005香港ドルの優先株式				
期首残高	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871
当期における発行(脚注(i))	—	—	4,000,000	2,000
期末残高	7,571,742,334	3,785,871	7,575,742,334	3,787,871

- (i) 2020年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッドは、1株当たり額面0.0005香港ドルの新規の全額払込済普通株式4,000,000株及び1株当たり額面0.0005香港ドルの新規の全額払込済優先株式4,000,000株をそれぞれ発行し、割当を行った。これは、HKT株式ステープル受益証券引受制度に従い総額約48百万香港ドルでの報奨の付与に関する株主総会での決議に基づくものであった。

b. HKTリミテッドの剰余金の変動

(単位：百万香港ドル)

	2019年		
	株式払込剰余金	利益剰余金	合計
2019年1月1日現在	35,113	256	35,369
当期包括利益合計	—	5,357	5,357
前年度に関する配当金支払額	—	(2,966)	(2,966)
当年度に関する期中配当金宣言済支払額	—	(2,272)	(2,272)
2019年12月31日現在	35,113	375	35,488

(単位：百万香港ドル)

	2020年		
	株式払込剰余金	利益剰余金	合計
2020年1月1日現在	35,113	375	35,488
当期包括利益合計	—	5,232	5,232
株式発行(注記31(a)(i))	48	—	48
前年度に関する配当金支払額	—	(3,058)	(3,058)
当年度に関する期中配当金宣言済支払額	—	(2,280)	(2,280)
2020年12月31日現在	35,161	269	35,430

32 剰余金

(単位：百万香港ドル)

	2019年										
	株式払込 剰余金	資本拋出 準備金	合併 準備金	自己 株式	従業員 株式報酬 準備金	為替換算 準備金	ヘッジ 準備金	ヘッジの コスト 準備金	その他の 準備金	利益 剰余金	合計
2019年1月1日 現在残高	7,769	26,250	(347)	—	16	120	29	(169)	26	3,853	37,547
当期包括利益/(損失) 合計											
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,217	5,217
その他の包括利益/ (損失)											
連結損益計算書に 組替えられた又は その後組替えら れる可能性のある 項目：											
海外事業に係る 為替換算差額	—	—	—	—	—	(2)	—	—	—	—	(2)
キャッシュ・フ ロー・ヘッジ：											
ー公正価値の変 動のうち、ヘッ ジ有効部分	—	—	—	—	—	—	257	—	—	—	257
ー資本から連結 損益計算書への 振替	—	—	—	—	—	—	152	—	—	—	152
ヘッジのコスト	—	—	—	—	—	—	—	11	—	—	11
当期包括利益/(損失) 合計	—	—	—	—	—	(2)	409	11	—	5,217	5,635
株主との取引											
HKT株式ステープル 受益証券購入制 度に基づく株式 ステープル受益 証券の購入	—	—	—	(38)	—	—	—	—	—	—	(38)
従業員株式報酬	—	—	—	—	17	—	—	—	—	—	17
株式ステープル受 益証券報奨制度 に基づく株式ス テープル受益証 券の権利確定	—	—	—	22	(17)	—	—	—	—	(5)	—
前年度に関する 分配金/配当金 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,966)	(2,966)
当年度に関する 中間分配金/配 当金宣言額及び 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,272)	(2,272)
株主からの拋出/株 主への配当 合計	—	—	—	(16)	—	—	—	—	—	(5,243)	(5,259)
子会社に対する支 配の喪失を伴わ ない持分比率の 変動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(19)	(19)
子会社に対する支 配の喪失を伴わ ない持分比率の 変動合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(19)	(19)
株主との取引合計	—	—	—	(16)	—	—	—	—	—	(5,262)	(5,278)
2019年12月31日現在 残高	7,769	26,250	(347)	(16)	16	118	438	(158)	26	3,808	37,904

	2020年										
	株式払込 剰余金	資本拠出 準備金	合併 準備金	自己 株式	従業員 株式報酬 準備金	為替換算 準備金	ヘッジ 準備金	ヘッジの コスト 準備金	その他の 準備金	利益 剰余金	合計
2020年1月1日 現在残高	7,769	26,250	(347)	(16)	16	118	438	(158)	26	3,808	37,904
当期包括利益/(損失) 合計											
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,303	5,303
その他の包括利益/ (損失)											
連結損益計算書に 組替えられた又は その後組替えら れる可能性のある 項目：											
海外事業に係る 為替換算差額	—	—	—	—	—	77	—	—	—	—	77
子会社の処分に 係る為替換算 準備金の組替	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	5
キャッシュ・フ ロー・ヘッジ： —公正価値の変 動のうち、ヘッ ジ有効部分	—	—	—	—	—	—	(268)	—	—	—	(268)
—資本から連結 損益計算書への 振替	—	—	—	—	—	—	(89)	7	—	—	(82)
ヘッジのコスト	—	—	—	—	—	—	—	181	—	—	181
当期包括利益/(損失) 合計	—	—	—	—	—	82	(357)	188	—	5,303	5,216
株主との取引											
HKT株式ステーブル 受益証券引受制 度に基づく株式 ステーブル受益 証券/HKTリミ テッド株式の発 行(注記31(a) (i))	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48
株式ステーブル受 益証券報奨制度 に基づく株式ス テーブル受益証 券の購入/引受	—	—	—	(52)	—	—	—	—	—	—	(52)
PCCW引受制度に基 づくPCCW株式 の受領	—	—	—	—	—	—	—	—	32	—	32
従業員株式報酬 株式ステーブル受 益証券報奨制度 に基づく株式ス テーブル受益証 券の権利確定	—	—	—	22	(18)	—	—	—	—	(4)	—
株式ステーブル 受益証券報奨 制度に基づく 株式ステー ブル受益証 券/HKTリミ テッド株式の 分配金/配当金	—	—	—	—	(2)	—	—	—	—	—	(2)
前年度に関する 分配金/配当金 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(3,057)	(3,057)
当年度に関する 中間分配金/配 当金宣言額及び 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,279)	(2,279)
株主からの拠出/株 主への配当 合計	48	—	—	(30)	—	—	—	—	32	(5,340)	(5,290)
子会社の処分に係 るその他の準備 金の組替	—	—	—	—	—	—	—	—	30	(30)	—
株主との取引合計	48	—	—	(30)	—	—	—	—	62	(5,370)	(5,290)
2020年12月31日 現在残高	7,817	26,250	(347)	(46)	16	200	81	30	88	3,741	37,830

33 繰延税金

2020年12月31日現在、繰延税金負債/（資産）は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
繰延税金資産	(410)	(841)
繰延税金負債	3,874	4,253
	3,464	3,412

a. 繰延税金負債/（資産）の変動は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)			
	2019年			
	税務上の 加速償却	税務上の 欠損金	その他	合計
期首残高	3,417	(485)	(4)	2,928
連結損益計算書への計上(注記13(a))	481	55	—	536
期末残高	3,898	(430)	(4)	3,464

	(単位：百万香港ドル)			
	2020年			
	税務上の 加速償却	税務上の 欠損金	その他	合計
期首残高	3,898	(430)	(4)	3,464
企業結合に伴う取得	112	(592)	—	(480)
子会社の処分	—	8	—	8
連結損益計算書への計上(注記13(a))	356	64	1	421
為替換算差額	(1)	—	—	(1)
期末残高	4,365	(950)	(3)	3,412

- b. 繰延税金資産は、税務上の繰越欠損金について、将来の課税所得に対して利用することによって関連する税金減額効果を享受できる可能性が高い範囲で認識されている。2020年12月31日現在、本グループは繰延税金資産が認識されていないために未使用の税務上の見積欠損金4,635百万香港ドル（2019年：2,377百万香港ドル）を有しており、これらは将来の課税所得に対する相殺減額として繰越される。税務上の見積欠損金のうち、172百万香港ドル（2019年：84百万香港ドル）及び37百万香港ドル（2019年：253百万香港ドル）は、それぞれ2020年12月31日から1年から5年以内及び5年より後に失効する。税務上の欠損金の残りの部分は、主に香港の事業体に関連するものであり、無期限に繰り越すことが可能である。

34 未払通信事業者免許料

2020年12月31日現在、本グループの未払通信事業者免許料は以下の通りであった。

（単位：百万香港ドル）

	2019年			2020年		
	最低年間 免許料の 現在価値	将来の期間に 関連する 支払利息	最低年間 免許料合計	最低年間 免許料の 現在価値	将来の期間に 関連する 支払利息	最低年間 免許料合計
以下の期間内に 支払予定						
－ 1 年以内	195	14	209	215	7	222
－ 1 年超 2 年以内	145	25	170	88	6	94
－ 2 年超 5 年以内	192	42	234	210	25	235
－ 5 年超	190	29	219	329	86	415
	722	110	832	842	124	966
控除：流動負債に 含まれる 1 年以内 の支払予定額	(195)	(14)	(209)	(215)	(7)	(222)
非流動部分	527	96	623	627	117	744

35 連結キャッシュ・フロー計算書に対する注記

a. 税引前利益から営業活動から得た正味現金への調整

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
税引前利益	6,274	6,174
調整項目：		
その他の利益(純額)	(3)	(361)
財務費用(純額)	1,372	1,296
有形固定資産の処分に係る損失/(利益)(純額)	2	(2)
棚卸資産陳腐化に対する引当金戻入額(純額)	(2)	(16)
売掛金に対する減損損失	222	256
有形固定資産の減価償却費	1,150	1,118
使用権資産の減価償却費	1,493	1,477
借地プレミアムの償却費－借地権	12	13
無形資産の償却費	1,126	1,327
履行コストの償却費	489	481
顧客獲得コストの償却費	851	925
関連会社の損益に対する持分	33	68
共同支配企業の損益に対する持分	18	11
株式報酬費用	39	39
株式報奨制度に基づくPCCW社株式及び株式ステップル受益証券の増加	(48)	(55)
営業資産の減/(増)		
－棚卸資産	279	44
－売掛金、前払金、預け金及びその他の流動資産	121	96
－契約資産	3	(101)
－関係会社に対する債権	(13)	16
－拘束性預金	(27)	8
－履行コスト	(495)	(517)
－顧客獲得コスト	(811)	(851)
－その他の非流動資産	(92)	10
営業負債の増/(減)		
－買掛金	555	1,596
－未払費用及びその他の未払金	(754)	(290)
－兄弟会社に対する債務	(518)	(1,746)
－関係会社に対する債務	—	9
－顧客からの前受金	25	(56)
－契約負債	(63)	78
－その他の長期性負債	(4)	(13)
営業から得た現金	11,234	11,034
利息受取額	35	22
法人所得税支払額(還付金控除後)		
－香港の収益税支払額*	(175)	(495)
－海外の収益税支払額	(10)	(21)
営業活動から得た正味現金	11,084	10,540

* 2019年及び2020年12月31日現在、本グループにおける特定の子会社は、2018/2019及び2019/2020税務調査年度に係る香港所得税調査をまだ受けていなかった。そのため対応する税金の確定は今後の会計年度に繰延べられることになる。

b. 財務活動から生じる金融（資産）/負債の増減

財務活動から生じる金融（資産）/負債の増減は以下の通りである。

（単位：百万香港ドル）

	2019年						
	前払財務 費用(前払 金、預け 金及びそ の他の流 動資産に 含まれる)	未払利息 (未払費用 及びその 他の未払 金に含ま れる)	借入金	デリバ ティブ (純額)	兄弟会社 に対する 債務	リース 負債	合計
2019年1月1日現在	(10)	261	40,169	4	1,675	3,193	45,292
財務活動におけるキャッシュ・フロー					—		
新規借入金	—	(8)	12,956	—	—	—	12,948
財務費用(支払額)/受領額	—	(1,148)	—	220	—	—	(928)
借入金の返済	—	—	(12,570)	—	—	—	(12,570)
リース負債の支払(利息を含む)	—	—	—	—	—	(1,644)	(1,644)
兄弟会社に対する債務の変動	—	—	—	—	1,698	—	1,698
投資活動におけるキャッシュ・フローに分類							
ライセンス料に係る借入金の返済 (注記 37(b)(i))	—	—	(130)	—	—	—	(130)
営業活動におけるキャッシュ・フロー	—	—	—	—	(518)	—	(518)
非資金変動	(10)	1,146	(67)	(476)	—	1,213	1,806
2019年12月31日現在	(20)	251	40,358	(252)	2,855	2,762	45,954

（単位：百万香港ドル）

	2020年						
	前払財務 費用(前払 金、預け 金及びそ の他の流 動資産に 含まれる)	未払利息 (未払費用 及びその 他の未払 金に含ま れる)	借入金	デリバ ティブ (純額)	兄弟会社 に対する 債務	リース 負債	合計
2020年1月1日現在	(20)	251	40,358	(252)	2,855	2,762	45,954
財務活動におけるキャッシュ・フロー							
新規借入金	—	10	19,501	—	—	—	19,511
財務費用(支払額)/受領額	—	(1,011)	—	239	—	—	(772)
借入金の返済	—	—	(17,693)	—	—	—	(17,693)
リース負債の支払(利息を含む)	—	—	—	—	—	(1,590)	(1,590)
兄弟会社に対する債務の変動	—	—	—	—	1,575	—	1,575
投資活動におけるキャッシュ・フローに分類							
ライセンス料に係る借入金の返済 (注記 37(b)(i))	—	—	(130)	—	—	—	(130)
営業活動におけるキャッシュ・フロー	—	—	—	—	(1,746)	—	(1,746)
非資金変動	(5)	956	235	(49)	(1,099)	1,537	1,575
2020年12月31日現在	(25)	206	42,271	(62)	1,585	2,709	46,684

c. 現金及び現金同等物の内訳

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
現金及び銀行預金残高合計	3,018	2,737
控除：短期性預金	(486)	(538)
控除：拘束性預金	(115)	(107)
12月31日現在の現金及び現金同等物	2,417	2,092

36 資本管理

資本管理における本グループの主要な目的は、継続企業としての存続を前提とした本グループの能力を保護するとともに、本グループの持分保有者への利益及びその他の利害関係者への利益の提供並びに本グループの安定性及び発展性の支援を継続的に可能とし、かつ本グループが営業活動を行う事業水準及び市場リスクに相応な利ざやを稼得することである。

本グループでは、本グループの将来の資本要件、現行及び予測ベースでの収益性、予測営業キャッシュ・フロー、資本的支出の予測及び戦略的投資機会の予測を考慮に入れつつ、本グループの処分時点の資本水準（以下「調整後資本」という。）を見直すことにより資本をモニターしている。調整後資本は、全ての資本項目で構成される。

外部当事者との借入契約条項の要件及びバミューダ金融庁の規制下にある子会社の最低自己資本要件を除き、本グループは外部から課される自己資本要件の対象になっていない。本グループの子会社には、香港金融管理局からストアドバリュー・ファシリティ・ライセンスの条件としての最低自己資本要件も設定されている。

37 金融商品

カテゴリー別の金融商品の内訳は以下の通りである。

(単位：百万香港ドル)

	2019年				合計
	償却原価で 測定する 金融資産	FVOCIで 測定する 金融資産	FVPLで 測定する 金融資産	ヘッジに 用いられた デリバティブ	
非流動資産					
FVOCIで測定する金融資産	—	124	—	—	124
FVPLで測定する金融資産	—	—	32	—	32
デリバティブ	—	—	—	284	284
その他の非流動資産 (前払金を除く)	397	—	—	—	397
	397	124	32	284	837
流動資産					
前払金、預け金及びその他の 流動資産(前払金を除く)	1,246	—	—	—	1,246
売掛金(純額)	3,600	—	—	—	3,600
関係会社に対する債権	95	—	—	—	95
FVPLで測定する金融資産	—	—	12	—	12
デリバティブ	—	—	—	6	6
拘束性預金	115	—	—	—	115
短期性預金	486	—	—	—	486
現金及び現金同等物	2,417	—	—	—	2,417
	7,959	—	12	6	7,977
合計	8,356	124	44	290	8,814

（単位：百万香港ドル）

	2019年		
	ヘッジに 用いられた デリバティブ	償却原価で 測定する その他の 金融負債	合計
流動負債			
買掛金	—	(2,342)	(2,342)
未払費用及びその他の未払金	—	(3,887)	(3,887)
未払通信事業者免許料	—	(195)	(195)
兄弟会社に対する債務	—	(2,855)	(2,855)
顧客からの前受金	—	(291)	(291)
リース負債	—	(1,065)	(1,065)
	—	(10,635)	(10,635)
非流動負債			
長期借入金	—	(40,358)	(40,358)
デリバティブ*	(38)	—	(38)
未払通信事業者免許料	—	(527)	(527)
リース負債	—	(1,697)	(1,697)
その他の長期性負債	—	(1,197)	(1,197)
	(38)	(43,779)	(43,817)
合計	(38)	(54,414)	(54,452)

（単位：百万香港ドル）

	2020年				合計
	償却原価で 測定する 金融資産	FVOCIで 測定する 金融資産	FVPLで 測定する 金融資産	ヘッジに 用いられた デリバティブ	
非流動資産					
FVOCIで測定する金融資産	—	124	—	—	124
FVPLで測定する金融資産	—	—	49	—	49
デリバティブ	—	—	—	214	214
その他の非流動資産 （前払金を除く）	312	—	—	—	312
	312	124	49	214	699
流動資産					
前払金、預け金及びその他の 流動資産（前払金を除く）	1,383	—	—	—	1,383
売掛金（純額）	3,253	—	—	—	3,253
関係会社に対する債権	40	—	—	—	40
FVPLで測定する金融資産	—	—	16	—	16
拘束性預金	107	—	—	—	107
短期性預金	538	—	—	—	538
現金及び現金同等物	2,092	—	—	—	2,092
	7,413	—	16	—	7,429
合計	7,725	124	65	214	8,128

（単位：百万香港ドル）

	2020年			
	ヘッジに 用いられた デリバティブ	FVPLで測定する デリバティブ	償却原価で 測定する その他の 金融負債	合計
流動負債				
短期借入金	—	—	(1,552)	(1,552)
買掛金	—	—	(3,945)	(3,945)
未払費用及びその他の未払金	—	—	(4,066)	(4,066)
デリバティブ	(21)	(3)	—	(24)
未払通信事業者免許料	—	—	(215)	(215)
兄弟会社に対する債務	—	—	(1,585)	(1,585)
関係会社に対する債務	—	—	(42)	(42)
顧客からの前受金	—	—	(247)	(247)
リース負債	—	—	(1,251)	(1,251)
	(21)	(3)	(12,903)	(12,927)
非流動負債				
長期借入金	—	—	(40,719)	(40,719)
デリバティブ*	(128)	—	—	(128)
未払通信事業者免許料	—	—	(627)	(627)
リース負債	—	—	(1,458)	(1,458)
その他の長期性負債	—	—	(1,628)	(1,628)
	(128)	—	(44,432)	(44,560)
合計	(149)	(3)	(57,335)	(57,487)

* 2020年12月31日現在、契約上の想定元本合計470百万米ドル（約3,686百万香港ドル）（2019年：470百万米ドル（約3,686百万香港ドル））の為替予約に関連して、非流動負債に分類されているデリバティブ36百万香港ドル（2019年：4百万香港ドル）は、2030年満期ゼロクーポン保証付手形300百万米ドルに対するキャッシュ・フロー・ヘッジとして設定されていた。この300百万米ドルの保証付手形は、本グループの選択により、2025年1月15日に470百万米ドル（2019年：470百万米ドル）の早期償還価額で償還することができる。この保証付手形及び為替予約についての詳細は、注記28(b)及び注記29(a)をそれぞれ参照のこと。

信用、流動性及び市場リスク（外貨リスク及び金利リスクを含む）に対するエクスポージャーは、本グループの通常の事業活動において生じる。本グループは、他の事業体に対する株式投資から生じる株価リスクにも晒されている。これらのリスクに対するエクスポージャーは、以下に記載される本グループの財務管理の方針及び慣行によって統制されている。

a. 信用リスク

本グループの信用リスクは、主に現金及び現金同等物、短期性預金、拘束性預金、売掛金、契約資産、関係会社に対する債権、未収利息、リース債権、負債性金融証券への投資、デリバティブ、並びにその他の債権に起因する。経営陣は方針を整備しており、当該信用リスクに対するエクスポージャーを継続的にモニターしている。

本グループの顧客に対する通常の与信期間は、与信期間の延長に関する双方の合意が別個にない限り、請求書の発行日付から30日以内である。本グループでは明確に定義された与信方針を維持しており、一定額以上の与信枠を必要とする全ての顧客について個別の与信評価が実施される。これらの評価では、顧客の過去の期日到来時の支払履歴と現在の支払能力を重視しており、また顧客に特有な情報や、顧客が事業を営む経済環境に付随する情報も考慮に入れている。延滞残高を有する債務者は、追加の与信が認められる前に未払残高の全額決済が求められる。通常、本グループは顧客からの担保を受け入れていない。2019年及び2020年12月31日現在、本グループは個人債務者又は取引先に対する重要なエクスポージャーを有していなかった。

売掛金から生じる信用リスクに対する本グループのエクスポージャーに関する他の定量的開示は注記27(c)に記載されている。

契約資産の減損がHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に及ぼす全体的な影響については、経営陣によって検討されている。経営陣は、2019年及び2020年12月31日現在のこれらの契約資産に関する全期間の予想損失は僅少であると考えており、2019年及び2020年12月31日に終了した会計年度において本グループは当該契約資産に対する直接償却又は引当金の設定を行わなかった。

負債性金融証券への投資、関係会社に対する債権、リース債権及びその他の債権は信用リスクが低いとみなされている。これらの資産は、取引先の財政状態、過去の実績及びその他の要因を考慮に入れて、取引先の信用度を評価することにより継続的にモニターされている。必要な場合には、回収不能額の見積に対して減損引当金が計上される。2019年及び2020年12月31日現在、負債性金融証券への投資、関係会社に対する債権、リース債権及びその他の債権は正常債権であった。

デリバティブ、未収利息、拘束性預金、短期性預金、並びに現金及び現金同等物は信用リスクが低いとみなされている。これらの資産は、信用力のある金融機関又は投資相手との間で実行されており、本グループは重要な取引先リスクを予想していない。さらに、個々の取引先毎に与信の限度枠が設定されており、その限度枠が厳密に守られていることを確認するために定期的な見直しが実施されている。

信用リスクに対するエクスポージャー最大額は、デリバティブを含む、連結財政状態計算書上の各金融資産の帳簿価額を表している。注記39に開示されている保証を除き、本グループは、本グループを信用リスクに晒す可能性があるその他の保証を提供していない。

b. 流動性リスク

本グループの方針は、短期的及び長期的な流動性要件に対応すべく、十分な現金の積立や主要金融機関からの資金調達源となる適正な融資枠の維持を確実にするため、現行及び予想される流動性要件及び債務借入条項の遵守を定期的にモニターすることである。本グループは営業活動及び債務の支払要求に充てるための十分な現金及び銀行融資枠を有しているため、重要な流動性リスクはないと経営陣は考えている。

本グループは通常の事業活動において、子会社の履行を保証する目的で特定の企業保証債務を引受けている。詳細については注記39を参照のこと。

以下の表は、本グループのデリバティブ以外の金融負債及びデリバティブ負債に関する報告期間末現在の契約上の期日までの残存期間の詳細であり、これらは契約上の割引前キャッシュ・フロー（契約上の利率を用いて、また変動利率の場合は報告期間末現在の最新の利率に基づき、算定された支払利息を含む）及び本グループが支払を求められる最も早い日に基づいている。

（単位：百万香港ドル）

	2019年					帳簿価額
	1年以内 又は 要求払い	1年超 2年以内	2年超 5年以内	5年超	契約上の 割引前 キャッシュ・ フロー合計	
流動負債						
買掛金	(2,342)	—	—	—	(2,342)	(2,342)
未払費用及びその他の未払金	(3,887)	—	—	—	(3,887)	(3,887)
未払通信事業者免許料	(209)	—	—	—	(209)	(195)
兄弟会社に対する債務	(2,855)	—	—	—	(2,855)	(2,855)
顧客からの前受金	(291)	—	—	—	(291)	(291)
リース負債	(1,119)	—	—	—	(1,119)	(1,065)
	(10,703)	—	—	—	(10,703)	(10,635)
非流動負債						
長期借入金(注(i))	(985)	(6,118)	(19,959)	(20,865)	(47,927)	(40,358)
デリバティブ(注(ii))	28	27	(72)	(28)	(45)	(38)
未払通信事業者免許料	—	(170)	(234)	(219)	(623)	(527)
リース負債	—	(696)	(865)	(250)	(1,811)	(1,697)
その他の長期性負債(注(iii))	(15)	(2)	(767)	(1,035)	(1,819)	(1,197)
	(972)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(52,225)	(43,817)
合計	(11,675)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(62,928)	(54,452)

（単位：百万香港ドル）

	2020年					帳簿価額
	1年以内 又は 要求払い	1年超 2年以内	2年超 5年以内	5年超	契約上の 割引前 キャッシュ・ フロー合計	
流動負債						
短期借入金	(1,561)	—	—	—	(1,561)	(1,552)
買掛金	(3,945)	—	—	—	(3,945)	(3,945)
未払費用及びその他の未払金	(4,066)	—	—	—	(4,066)	(4,066)
デリバティブ	(24)	—	—	—	(24)	(24)
未払通信事業者免許料	(222)	—	—	—	(222)	(215)
兄弟会社に対する債務	(1,585)	—	—	—	(1,585)	(1,585)
関係会社に対する債務	(42)	—	—	—	(42)	(42)
顧客からの前受金	(247)	—	—	—	(247)	(247)
リース負債	(1,265)	—	—	—	(1,265)	(1,251)
	(12,957)	—	—	—	(12,957)	(12,927)
非流動負債						
長期借入金(脚注(i))	(629)	(3,246)	(26,014)	(16,718)	(46,607)	(40,719)
デリバティブ(脚注(ii))	11	11	(104)	(12)	(94)	(128)
未払通信事業者免許料	—	(94)	(235)	(415)	(744)	(627)
リース負債	—	(671)	(716)	(86)	(1,473)	(1,458)
その他の長期性負債(脚注(iii))	—	(65)	(798)	(975)	(1,838)	(1,628)
	(618)	(4,065)	(27,867)	(18,206)	(50,756)	(44,560)
合計	(13,575)	(4,065)	(27,867)	(18,206)	(63,713)	(57,487)

脚注：

- (i) 2020年12月31日現在、長期借入金に含まれている銀行借入金1,430百万香港ドル（2019年：1,560百万香港ドル）は、本グループが一括前払いで支払った15年間の3Gスペクトラム利用料の資金調達のための残高であった。
- (ii) 2020年12月31日現在、デリバティブには長期性未払利息49百万香港ドル（2019年：21百万香港ドル）が含まれており、これは契約上の想定元本1,000百万香港ドル（2019年：1,000百万香港ドル）の変動対固定金利スワップ契約の利息の支払を決済するために同意された金額を分割で受取るという銀行との契約に基づき発生する利息に関するものである。
- (iii) 2020年12月31日現在、その他の長期性負債には、長期性未払利息378百万香港ドル（2019年：304百万香港ドル）が含まれており、これは契約上の想定元本200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル）（2019年：200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル））の固定対固定クロスカレンシー・スワップ契約の利息の支払を決済するために同意された金額を分割で受取るという銀行との契約に基づき発生する利息に関するものである。その他の長期性負債にはまた、長期性未払利息379百万香港ドル（2019年：211百万香港ドル）が含まれており、これは契約上の想定元本総額500百万米ドル（約3,879百万香港ドル）（2019年：500百万米ドル（約3,879百万香港ドル））の固定対固定クロスカレンシー・スワップ契約の利息の支払を決済するために同意された金額を分割で受取るという銀行との契約に基づき発生する利息に関するものである。保証付手形及びデリバティブの詳細については、それぞれ注記28(d)、28(a)及び29(a)を参照のこと。

c. 市場リスク

市場リスクは、本グループの営業、投資及び財務活動から派生する外貨、金利及び株価に対するエクスポージャーからなる。本グループは方針上、営業及び財務に直接関連する市場リスクに対するエクスポージャーを管理する目的で、クロスカレンシー・スワップ契約、金利スワップ契約、為替予約及びその他の金融商品を締結している。本グループは、これらの金融商品に関連した投機的な売買活動に従事することも、また、売買目的で市場リスクの高い商品を締結又は取得することもない。

HKTリミテッドの取締役会の執行委員会の小委員会である財政及び管理委員会は、本グループの通常の事業活動において行っている取引に関連した市場リスクを慎重に管理することを目的として適切なリスク管理活動を決定している。

全ての財務リスク管理活動は財政及び管理委員会によって承認された方針及び指針に準拠して実施され、これらの方針及び指針は定期的に見直される。早期解約及び取引条件の変更は通常、原資産若しくは負債又は本グループのリスク管理戦略に変更がある場合に発生する。

通常の事業活動において、本グループは為替レート及び金利の不利な変動に対するエクスポージャーを制限する目的で上記の金融商品を用いている。これらの商品は信用力の高い金融機関と締結しており、全ての契約が主要通貨建てである。

i. 外貨リスク

本グループは国際的に事業を行っているため、さまざまな通貨エクスポージャーから生じる外貨リスクに晒されている。外貨リスクは、本グループの認識した資産及び負債が関連するグループ事業体の機能通貨ではない通貨建てである場合に生じる。

本グループの借入金は、大部分が香港ドル、米ドル及びユーロ建てである。2019年及び2020年12月31日現在、本グループの米ドル/ユーロ建て借入金は全て、クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約により香港ドルへとスワップされていた。これを前提として、経営陣は本グループの借入金に関連した重要な外貨リスクを予想していない。2020年12月31日現在、契約上の想定元本総額2,220百万米ドル（約17,301百万香港ドル）（2019年：2,720百万米ドル（約21,178百万香港ドル））及び200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル）（2019年：200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル））のクロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約の残高が、外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジとして指定又は再指定されていた。

関連業務の機能通貨以外の通貨で保有される売掛金及び買掛金については、本グループは短期的な不均衡の対策として、必要に応じて外貨を直物又は先渡相場で売買することにより正味エクスポージャーを許容レベルに保つよう努めている。

重要な外貨建て貨幣性資産又は負債から生じる通貨リスクに対する、報告期間末現在の本グループのエクスポージャーの詳細は以下の表の通りである。

	(単位：百万香港ドル)			
	2019年		2020年	
	米ドル	ユーロ	米ドル	ユーロ
売掛金	1,329	86	1,199	53
現金及び現金同等物	715	58	677	40
買掛金	(1,542)	(67)	(2,739)	(67)
顧客からの前受金	(18)	(2)	(16)	(1)
リース負債	(107)	(14)	(89)	(8)
長期借入金	(19,643)	(1,713)	(19,592)	(1,878)
純貨幣性負債から生じるエクスポージャー総額	(19,266)	(1,652)	(20,560)	(1,861)
各事業体の機能通貨建ての純貨幣性負債/(資産)	83	(56)	(159)	(7)
ヘッジ手段付借入金	19,643	1,713	19,592	1,878
正味エクスポージャー合計	460	5	(1,127)	10

他の全ての変数が一定であると仮定して、2020年12月31日現在において香港ドルが対米ドルで1%（2019年：同じ）下落／上昇したならば、本グループの当期税引後利益は約9百万香港ドル減少／増加（2019年：約4百万香港ドル増加／減少）していたと考えられ、これは主にヘッジ手段でヘッジされていない米ドル建て貨幣性資産及び負債の換算に係る為替差損／益によるものである。一方で、2020年12月31日現在の本グループのヘッジ準備金及びヘッジのコスト準備金は、合わせて約157百万香港ドル（2019年：196百万香港ドル）借方／貸方計上されていたと考えられ、これは主にクロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約によりヘッジされた長期借入金に係る為替差損／益によるものである。

他の全ての変数が一定であると仮定して、2020年12月31日現在において香港ドルが対ユーロで5%（2019年：同じ）下落／上昇したならば、本グループの当期税引後利益の増加／減少は軽微な金額（2019年：軽微な金額）であったと考えられ、これは主にヘッジ手段でヘッジされていないユーロ建て貨幣性資産及び負債の換算に係る為替差益／損によるものである。一方で、2020年12月31日現在の本グループのヘッジ準備金及びヘッジのコスト準備金は、約94百万香港ドル（2019年：86百万香港ドル）借方／貸方計上されていたと考えられ、これは主にクロスカレンシー・スワップ契約によりヘッジされた長期借入金に係る為替差損／益によるものである。

感応度分析は、報告期間末現在で為替レートの変動が起こり、同日に残高を有する貨幣性資産及び負債の通貨リスクに対する本グループのエクスポージャーに適用されること、かつ他の全ての変数、特に金利が一定であることを仮定した上で算定されている。

記載された変動は、翌年度の報告期間末までの期間にわたり為替レートの変動が合理的に発生する可能性があるという経営陣の評価を示すものである。これは、香港ドルと米ドルの間の固定相場が、米ドルの他の通貨に対する価値の変動により重要な影響を受けないことを前提としている。この分析は、2019年12月31日に終了した会計年度と2020年12月31日に終了した会計年度について、同じ手法で実施された。

ii. 金利リスク

利付資産の金額が比較的僅少であることから、本グループの利益及び営業キャッシュ・フローは市場金利の変動とは実質的に無関係である。

本グループの金利リスクは、主に短期及び長期借入金から生じる。変動利付及び固定利付借入金により、本グループはそれぞれキャッシュ・フロー金利リスク及び公正価値金利リスクに晒されている。さらに、本グループは随時、これらのリボルビング・クレジット・ファシリティから資金を調達しており、その大部分が変動金利を付された香港ドル建てである。

本グループは、変動利付短期及び長期借入金の一部から生じるキャッシュ・フロー金利リスクをヘッジするために、変動対固定の金利スワップ契約を締結している。

報告期間末現在における本グループの借入金の金利プロファイル（キャッシュ・フロー・ヘッジ手段の影響を考慮後）の詳細は、以下の表の通りである。

	2019年		2020年	
	実効金利		実効金利	
	%	百万香港ドル	%	百万香港ドル
固定利付借入金(純額)：				
短期銀行借入金(ヘッジ手段付)	—	—	1.84	1,499
長期借入金	—	—	3.80	3,850
長期銀行借入金(ヘッジ手段付)	2.34	6,320	2.46	2,927
長期借入金(ヘッジ手段付)	3.74	21,356	3.74	17,620
変動利付借入金：				
短期銀行借入金	—	—	5.68	53
長期銀行借入金	2.75	12,682	1.20	16,322
借入金合計		40,358		42,271

他の全ての変数が一定であると仮定して、2020年12月31日現在において変動利付借入金に係る金利が50ペイシス・ポイント（2019年：同じ）上昇／低下したならば、主に報告期間末現在で残高を有する変動利付借入金に係る支払利息の増加／減少により、本グループの当期税引後利益は約69百万香港ドル（2019年：53百万香港ドル）減少／増加していたと考えられる。

上記の感応度分析は、報告期間末現在で金利の変動が起こり、また同日に残高を有する本グループの変動利付借入金の金利リスクに対するエクスポージャーに適用されることを仮定して算定されている。50ペイシス・ポイント（2019年：同じ）の増加又は減少は、翌年度の報告期間末までの期間にわたり金利の変動が合理的に発生する可能性があるという経営陣の評価を示すものである。この分析は、2019年及び2020年12月31日に終了した会計年度において、同じ手法で実施された。

iii. 株価リスク

本グループは、株式投資から生じる株価の変動に晒されている。戦略目的で保有する非上場持分証券を除き、これら全ての投資は、広く認められている証券取引所に上場している。

本グループが保有する上場持分証券ポートフォリオの規模が小さいことから、本グループの株価リスクは最小限であると経営陣は考えている。

長期的戦略目的で保有する本グループの非上場投資のパフォーマンスは、本グループの長期戦略計画との関連性の評価と共に、少なくとも半年ごとに、本グループが入手可能な限定的な情報に基づき、関連事業の業績及び類似する上場企業の業績との比較によって評価される。

d. 償却原価で測定する金融商品の公正価値

2020年12月31日現在、以下を除く全ての金融商品はその公正価値と大きな違いのない価額で計上されていた。

（単位：百万香港ドル）

	2019年		2020年	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
長期借入金	40,358	40,860	40,719	42,155

長期借入金の公正価値は、実勢市場金利で割り引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値である。この公正価値は公正価値ヒエラルキーのレベル2に該当する（注記37(e)に定義されている。）。

e. 公正価値の見積り

公正価値で計上される金融商品は評価手法によって分析されており、各レベルの定義は以下の通りである。

- － レベル1：活発な市場で取引されている金融商品（上場デリバティブや株式など）の公正価値は、報告期間末現在の市場相場価格に基づいている。本グループが保有する金融資産に用いられる市場相場価格は、最新の買呼値である。これらの金融商品はレベル1に含まれる。
- － レベル2：活発な市場で取引されていない金融商品（例えば、店頭デリバティブ）の公正価値は、観察可能な市場データを最大限使用し、企業独自の見積りを可能な限り最小限使用する評価技法を用いて決定される。金融商品の公正価値測定に必要な全ての重要なインプットが観察可能な場合、当該金融商品はレベル2に含まれる。
- － レベル3：1つ以上の重要なインプットが観察可能な市場データに基づいていない場合、当該金融商品はレベル3に含まれる。これは非上場証券が該当する。

公正価値で測定される本グループの金融資産及び負債は、以下の表の通りである。

（単位：百万香港ドル）

2019年				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
FVOCIで測定する金融資産				
－非上場証券	—	—	124	124
FVPLで測定する金融資産				
－非上場証券(非流動)	—	—	31	31
－上場証券(非流動)	1	—	—	1
－上場証券(流動)	12	—	—	12
デリバティブ				
－非流動	—	284	—	284
－流動	—	6	—	6
資産合計	13	290	155	458
負債				
デリバティブ				
－非流動	—	(38)	—	(38)

（単位：百万香港ドル）

2020年				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
FVOCIで測定する金融資産				
－非上場証券	—	—	124	124
FVPLで測定する金融資産				
－非上場証券(非流動)	—	—	31	31
－上場証券(非流動)	18	—	—	18
－上場証券(流動)	16	—	—	16
デリバティブ				
－非流動	—	214	—	214
資産合計	34	214	155	403
負債				
デリバティブ				
－流動	—	(24)	—	(24)
－非流動	—	(128)	—	(128)
負債合計	—	(152)	—	(152)

レベル1に含まれる金融商品は、PCCW株式報奨制度に基づき取得又は引受け、FVPLで測定する金融資産に分類されているPCCW社株式で構成された。

レベル2に含まれる金融商品は、デリバティブに分類されるクロスカレンシー・スワップ契約、金利スワップ契約及び為替予約で構成された。スワップ契約を測定する際の公正価値は、スワップの市場相場金利で割引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値である。為替予約の公正価値は、満期日の相違について調整された同額の想定元本の契約についての相場である市場実勢為替レートに基づき算出される。

レベル3に含まれる金融商品は、FVOCIで測定する金融資産若しくはFVPLで測定する金融資産に分類される非上場金融商品への投資で構成されている。2020年12月31日に終了した会計年度において、レベル3に含まれる金融商品に変動はなかった（2019年：78百万香港ドルの取得）。

活発な市場のない非上場証券又は金融資産について、本グループは、最近の独立第三者間取引の利用、実質的に同一の他の金融商品の参照、及び割引キャッシュ・フロー分析を含む評価技法を用い、市場インプットを最大限利用し、事業体独自のインプットへの依拠は可能な限り少なくして公正価値を算定している。

2019年及び2020年12月31日に終了した会計年度において、公正価値のヒエラルキーの分類の間に金融資産及び金融負債の振替はなかった。

2019年及び2020年12月31日に終了した会計年度において、評価技法の重大な変更はなかった。

f. 本グループの評価プロセス

本グループは、レベル3の公正価値を含む、財務報告目的で要求される金融資産の評価を実施及び監視している。評価の重要な変動は、直ちに上級経営陣に報告される。評価の結果は、少なくとも半年ごとに上級経営陣によって見直される。

38 コミットメント

a. 資本

2020年12月31日現在、承認済みかつ契約締結済みの資本コミットメントの性質別内訳は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
投資	239	169
有形固定資産の取得	1,020	828
	1,259	997

b. 約定済みであるがまだ開始していないリース

2020年12月31日現在、約定済みであるがまだ開始していないリースに基づく将来支払リース料総額は、以下の通りに支払われるとした。

土地及び建物

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
1年以内	11	9
1年超5年以内	12	64
	23	73

ネットワーク容量及び装置

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
1年以内	111	20
1年超5年以内	28	15
	139	35

c. その他

2020年12月31日現在、本グループのその他のコミットメント残高は以下の通りであった。

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
特定のテレビコンテンツの放映権の購入	—	1,547
営業支出コミットメント	4,037	3,455
	4,037	5,002

d. リース債権

i. 2020年12月31日現在、解約不能なファイナンス・リースに基づくリース債権の満期日別内訳は以下の通りである。

(単位：百万香港ドル)

	2019年	2020年
1年以内	58	51
1年超2年以内	42	40
2年超3年以内	40	33
3年超4年以内	33	14
4年超5年以内	14	11
5年超	93	82
契約上の割引前リース債権*	280	231
控除：将来の期間に関する受取利息	(32)	(26)
帳簿価額	248	205
控除：流動資産に含まれる1年以内に受領予定の金額	(54)	(47)
非流動部分	194	158

* リースの大部分は通常2年から15年（2019年：3年から15年）の期間である。

- ii. 2020年12月31日現在、解約不能なオペレーティング・リースに係る将来最低受取リース料総額の満期日別内訳は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
1年以内	50	43
1年超2年以内	31	20
2年超3年以内	10	5
	91	68

本グループは、オペレーティング・リースにより不動産の賃貸を行っている。リースの大部分は、通常1年から15年（2019年：1年から15年）の期間である。重要な条件付賃貸料を含むリースはない。

39 偶発負債

	(単位：百万香港ドル)	
	2019年	2020年
契約履行保証	740	955
関連会社に付与した与信枠に関する銀行に対する保証	52	—
その他	11	18
	803	973

本グループは通常の事業活動において、子会社の履行を保証する目的で特定の企業保証債務を引受けている。かかる債務から生じる負債の金額はあっても確定することができないが、取締役は、結果として生じるいかなる負債も本グループの財政状態に重要な影響を及ぼすことはないという見解を示している。

40 銀行融資枠

2020年12月31日現在の銀行融資枠総額は、30,007百万香港ドル（2019年：28,348百万香港ドル）であり、このうち未使用額は9,069百万香港ドル（2019年：9,190百万香港ドル）であった。

本グループの大部分の銀行融資枠は、本グループの財務比率の一部に関連する借入条項の履行が条件となっており、このような借入条項は金融機関との融資契約で一般的に用いられるものである。本グループが当該条項に違反した場合、引出された融資枠は要求払いとなり、未使用の融資枠は取り消される。本グループは、これらの条項を遵守していることを定期的にモニターしている。2020年12月31日現在、本グループは銀行融資枠に関連する借入条項を遵守していた。本グループの流動性リスク管理の詳細については、注記37(b)に記載されている。

短期及び長期借入金の要約は、注記27(e)及び28にそれぞれ記載されている。

41 企業結合

a. 2020年度におけるPCCWメディア・リミテッド（以下「PCCWメディア」という。）及びその子会社並びに共同支配企業（以下総称して「PCCWメディア・グループ」という。）の取得

2020年8月6日付の株式購入契約に従い、本グループは、PCCW社の間接完全所有子会社であるPCCWインタラクティブ・メディア・ホールディングス・リミテッドから、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTインタラクティブ・メディア・ホールディングス・リミテッドによるPCCWメディアの全ての発行済株式資本の取得を、2020年9月30日に総額250百万米ドル（又は1,950百万香港ドル）で完了した。完了に伴い、PCCWメディアはHKTリミテッドの間接完全所有子会社となった。PCCWメディア・グループは、香港の大手有料テレビ・サービス・プロバイダーである「Now TV」事業を展開しており、リニアTVチャンネル、オンデマンド、アプリを通じて、国内外の幅広いコンテンツを提供している。

本グループは、取得日の公正価値で認識規準を満たす被取得企業の識別可能な資産、負債及び偶発負債を認識することが求められている。HKTトラスト及びHKTリミテッドの連結財務書類の作成において、本グループは、取得した資産及び負債の公正価値が取得原価を上回る金額を負ののれんとして連結損益計算書に計上した。

i. 取得日現在におけるPCCWメディア・グループの取得に関する取得した純資産及び負ののれんの詳細は、以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)
	取得した純資産及び負ののれん
現金で決済された購入対価	1,950
控除：取得した純資産の公正価値	(2,642)
取得に伴う負ののれん(注記9)	(692)

負ののれんのいずれも、税務上の課税対象とは見込まれていない。

取得日現在におけるPCCWメディア・グループの資産及び負債は、以下の通りであった。

(単位：百万香港ドル)	
	公正価値
有形固定資産	548
使用権資産	145
無形資産	519
履行コスト	40
繰延税金資産	518
その他の非流動資産	16
売掛金	67
前払金、預け金及びその他の流動資産並びに兄弟会社及び関係会社に対する債権	1,467
棚卸資産及び契約資産	24
現金及び現金同等物	61
買掛金、未払費用及びその他の未払金	(413)
顧客からの前受金及び契約負債	(76)
リース負債	(134)
繰延税金負債	(38)
その他の長期性負債	(65)
	2,679
非支配持分	(37)
取得した純資産	2,642

(単位：百万香港ドル)	
	純キャッシュ・アウトフロー
現金で決済された購入対価	1,950
控除：取得した現金及び現金同等物	(61)
2020年12月31日に終了した会計年度における純キャッシュ・アウトフロー合計	1,889

ii. 取得関連コスト

2020年12月31日に終了した会計年度における連結損益計算書の一般管理費には、取得関連コスト 3 百万香港ドルが含まれている。

iii. 収益及び利益への貢献

PCCWメディア・グループは、2020年9月30日の取得完了日から2020年12月31日までの期間に、本グループに対して418百万香港ドルの収益及び63百万香港ドルの税引前利益の貢献をなした。取得が2020年1月1日に行われた場合、2020年12月31日に終了した会計年度における収益及び税引前利益は、それぞれ1,535百万香港ドル及び53百万香港ドルであった。

b. 2020年度におけるジトンダの21.5%の株式持分の取得

本グループは、2020年7月1日付で、中国に設立された有限責任会社であるジトンダの21.5%の株主持分をHKTリミテッドの非完全子会社を通じて取得した。ジトンダは、モバイル・サービス加入者へのサポート・サービスの提供並びに消費者向け通信機器及び付属品の販売を行っている。この取得は、中国における本グループの電気通信事業の推進を目的としている。取得総額は、本グループにとって重要なものではなかった。本グループは、取得前にジトンダを関連会社として計上していた。取得後、ジトンダはHKTリミテッドの56.5%保有の間接子会社となり、本グループに連結される。

c. 2019年度における北京訊通通信服務有限公司（北京シュン・トン・コミュニケーションズ・サービシズ・リミテッド^{*}）（以下「シュン・トン」という。）の取得

2019年3月11日、本グループは、中国に設立された有限責任会社であるシュン・トンの50%の株式持分の取得を完了した。シュン・トンは、電気通信サービス、インターネット情報サービス及びコンピューター・システム・サービスの提供を行っている。この取得は、中国における本グループの電気通信事業の推進を目的としている。取得総額は、本グループにとって重要なものではなかった。本グループがシュン・トンの取締役会において過半数を超える議決権を有しているため、同社は本グループに連結される。

* 非公式の社名である。

42 支配の喪失を伴わない子会社に対する所有持分の変動

2019年12月31日に終了した会計年度において、本グループは、その時点で間接非完全子会社であった盈環網絡技術（上海）有限公司（HKTテレサービシズ（中国）リミテッド^{*}）に対する残り50%の株主持分を取得総額7百万人民元（約8百万香港ドルに相当）で取得した。取得日における非支配持分の帳簿価額の借方残高は11百万香港ドルであった。本グループは、株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属する資本の減少19百万香港ドルを認識した。取得直後に、本グループはHKTテレサービシズ（中国）リミテッド^{*}の全株主持分を保有した。

* 非公式の社名である。

43 公表済みであるが2020年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じていない新規及び修正された基準の影響の可能性

本連結財務書類の承認日までに、HKICPAは、以下の新規及び修正された基準を公表したが、2020年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本連結財務書類においても早期適用は行われていない。

		適用される会計期間 の開始日
HKAS第1号(改訂)(修正)	財務諸表の表示	2023年1月1日
HKAS第16号(修正)	有形固定資産	2022年1月1日
HKAS第28号(2011年)(修正)	関連会社及び共同支配企業に対する投資	未定
HKAS第37号(修正)	引当金、偶発負債及び偶発資産	2022年1月1日
HKFRS第3号(改訂)(修正)	企業結合	2022年1月1日
HKFRS第10号(修正)	連結財務諸表	未定
HKFRS第17号	保険契約	2023年1月1日
HKFRS2018年－2020年年次改善		2022年1月1日

上記の他に、多数の香港財務報告基準の改善及び軽微な修正もHKICPAによって公表されているが、これらは2020年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本連結財務書類においても早期適用は行われていない。

上記のいずれも、本グループの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすとは見込まれていない。

[次へ](#)

CONSOLIDATED INCOME STATEMENT OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$ million (except for earnings per Share Stapled Unit/share of the Company)	Note(s)	2019	2020
Revenue	7, 8	33,103	32,389
Cost of sales	10(b)	(15,787)	(15,703)
General and administrative expenses	10(c)	(9,622)	(9,498)
Other gains, net	9	3	361
Finance costs, net	11	(1,372)	(1,296)
Share of results of associates		(33)	(68)
Share of results of joint ventures		(18)	(11)
Profit before income tax	7, 10	6,274	6,174
Income tax	13	(1,037)	(855)
Profit for the year		5,237	5,319
Profit attributable to:			
Holders of Share Stapled Units/shares of the Company		5,217	5,303
Non-controlling interests		20	16
Profit for the year		5,237	5,319
Earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	15		
Basic		68.91 cents	70.01 cents
Diluted		68.89 cents	70.00 cents

The notes on pages 109 to 198 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF COMPREHENSIVE INCOME OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$ million	2019	2020
Profit for the year	5,237	5,319
Other comprehensive (loss)/income		
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:		
Exchange differences on translating foreign operations	(2)	75
Reclassification of currency translation reserve on disposal of subsidiaries	–	5
Cash flow hedges:		
– effective portion of changes in fair value	257	(268)
– transfer from equity to consolidated income statement	152	(82)
Costs of hedging	11	181
Other comprehensive income/(loss) for the year	418	(89)
Total comprehensive income for the year	5,655	5,230
Attributable to:		
Holders of Share Stapled Units/shares of the Company	5,635	5,216
Non-controlling interests	20	14
Total comprehensive income for the year	5,655	5,230

The notes on pages 109 to 198 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF CHANGES IN EQUITY OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

		2019		
In HK\$ million	Note	Attributable to holders of Share Stapled Units/shares of the Company	Non-controlling interests	Total equity
At January 1, 2019		37,555	39	37,594
Total comprehensive income for the year				
Profit for the year		5,217	20	5,237
Other comprehensive (loss)/income				
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:				
Exchange differences on translating foreign operations		(2)	–	(2)
Cash flow hedges:				
– effective portion of changes in fair value	29(c)	257	–	257
– transfer from equity to consolidated income statement	29(c)	152	–	152
Costs of hedging	29(c)	11	–	11
Other comprehensive income		418	–	418
Total comprehensive income for the year		5,635	20	5,655
Transactions with equity holders				
Purchase of Share Stapled Units under the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme		(38)	–	(38)
Employee share-based compensation		17	–	17
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	14	(2,966)	–	(2,966)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	14	(2,272)	–	(2,272)
Dividends declared and paid to non-controlling shareholders of subsidiaries		–	(13)	(13)
Total contributions by and distributions to equity holders		(5,259)	(13)	(5,272)
Acquisition of a subsidiary		–	1	1
Change in ownership interests in a subsidiary that does not result in a loss of control		(19)	11	(8)
Total changes in ownership interests in subsidiaries that do not result in a loss of control		(19)	12	(7)
Total transactions with equity holders		(5,278)	(1)	(5,279)
At December 31, 2019		37,912	58	37,970

In HK\$ million	Note	2020		
		Attributable to holders of Share Stapled Units/shares of the Company	Non-controlling interests	Total equity
At January 1, 2020		37,912	58	37,970
Total comprehensive income for the year				
Profit for the year		5,303	16	5,319
Other comprehensive income/(loss)				
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:				
Exchange differences on translating foreign operations		77	(2)	75
Reclassification of currency translation reserve on disposal of subsidiaries		5	–	5
Cash flow hedges:				
– effective portion of changes in fair value	29(c)	(268)	–	(268)
– transfer from equity to consolidated income statement	29(c)	(82)	–	(82)
Costs of hedging	29(c)	181	–	181
Other comprehensive loss		(87)	(2)	(89)
Total comprehensive income for the year		5,216	14	5,230
Transactions with equity holders				
Issue of Share Stapled Units/shares of the Company under the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme	31(a)(i)	48	–	48
Purchase/subscription of Share Stapled Units under the Share Stapled Units Award Schemes		(52)	–	(52)
Receipt of PCCW Shares under the PCCW Subscription Scheme		32	–	32
Employee share-based compensation		20	–	20
Distribution/dividend for Share Stapled Units/shares of the Company granted under the Share Stapled Units Award Schemes		(2)	–	(2)
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	14	(3,057)	–	(3,057)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	14	(2,279)	–	(2,279)
Dividends declared and paid to non-controlling shareholders of subsidiaries		–	(14)	(14)
Total contributions by and distributions to equity holders		(5,290)	(14)	(5,304)
Acquisition of subsidiaries		–	4	4
Total changes in ownership interests in subsidiaries that do not result in a loss of control		–	4	4
Total transactions with equity holders		(5,290)	(10)	(5,300)
At December 31, 2020		37,838	62	37,900

The notes on pages 109 to 198 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

As at December 31, 2020

In HK\$ million	Note	2019	2020
ASSETS AND LIABILITIES			
Non-current assets			
Property, plant and equipment	16	22,177	24,019
Right-of-use assets	17	2,436	2,430
Interests in leasehold land	18	215	202
Goodwill	19	49,814	49,816
Intangible assets	20	10,118	11,408
Fulfillment costs		1,342	1,418
Customer acquisition costs		592	670
Contract assets		346	354
Interests in associates	21	209	211
Interests in joint ventures	22	643	602
Financial assets at fair value through other comprehensive income	23	124	124
Financial assets at fair value through profit or loss	24	32	49
Derivative financial instruments	29	284	214
Deferred income tax assets	33	410	841
Other non-current assets	26	1,106	1,076
		89,848	93,434
Current assets			
Inventories	27(a)	803	820
Prepayments, deposits and other current assets	27(b)	1,811	2,209
Contract assets		576	657
Trade receivables, net	27(c)	3,600	3,253
Amounts due from related companies	6(c)	95	40
Financial assets at fair value through profit or loss	24	12	16
Derivative financial instruments	29	6	-
Tax recoverable		-	5
Restricted cash	27(d)	115	107
Short-term deposits		486	538
Cash and cash equivalents	35(c)	2,417	2,092
		9,921	9,737
Current liabilities			
Short-term borrowings	27(e)	-	(1,552)
Trade payables	27(f)	(2,342)	(3,945)
Accruals and other payables		(3,904)	(4,084)
Derivative financial instruments	29	-	(24)
Carrier licence fee liabilities	34	(195)	(215)
Amount due to a fellow subsidiary	6(c)	(2,855)	(1,585)
Amount due to a related company	6(c)	-	(42)
Advances from customers		(291)	(247)
Contract liabilities		(1,361)	(1,423)
Lease liabilities		(1,065)	(1,251)
Current income tax liabilities		(1,078)	(1,001)
		(13,091)	(15,369)

In HK\$ million	Note	2019	2020
Non-current liabilities			
Long-term borrowings	28	(40,358)	(40,719)
Derivative financial instruments	29	(38)	(128)
Deferred income tax liabilities	33	(3,874)	(4,253)
Carrier licence fee liabilities	34	(527)	(627)
Contract liabilities		(1,001)	(1,074)
Lease liabilities		(1,697)	(1,458)
Other long-term liabilities		(1,213)	(1,643)
		(48,708)	(49,902)
Net assets		37,970	37,900
CAPITAL AND RESERVES			
Share capital	31(a)	8	8
Reserves	32	37,904	37,830
Equity attributable to holders of Share Stapled Units/shares of the Company		37,912	37,838
Non-controlling interests	25(b)	58	62
Total equity		37,970	37,900

Approved and authorized for issue by the boards of directors of HKT Management Limited and HKT Limited (collectively, the "Boards") on February 4, 2021 and signed on behalf of the Boards by

Li Tzar Kai, Richard
Director

Hui Hon Hing, Susanna
Director

The notes on pages 109 to 198 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$ million	Note	2019	2020
NET CASH GENERATED FROM OPERATING ACTIVITIES	35(a)	11,084	10,540
INVESTING ACTIVITIES			
Proceeds from disposal of property, plant and equipment		4	3
Purchases of property, plant and equipment		(2,642)	(2,377)
Additions of intangible assets		(2,487)	(2,391)
Net outflow of cash and cash equivalents in respect of business combinations		(4)	(1,881)
Net inflow of cash and cash equivalents in respect of disposal of subsidiaries		–	136
Investment in an associate		(242)	(70)
Investment in a joint venture		(35)	–
Investment in a financial asset at fair value through other comprehensive income		(47)	–
Investments in financial assets at fair value through profit or loss		(31)	–
Loans to an associate		(46)	(11)
Loans to a joint venture		(50)	(56)
Repayment of loan from an associate		34	11
Cash received from lease receivables		71	69
Decrease/(Increase) in short-term deposits with maturity more than three months		37	(52)
NET CASH USED IN INVESTING ACTIVITIES		(5,438)	(6,619)
FINANCING ACTIVITIES			
New borrowings raised	35(b)	12,948	19,511
Finance costs paid	35(b)	(928)	(772)
Repayments of borrowings	35(b)	(12,570)	(17,693)
Payment for lease liabilities (including interest)	35(b)	(1,644)	(1,590)
Movement in amount due to a fellow subsidiary	35(b)	1,698	1,575
Proceeds from issue of Share Stapled Units/shares of the Company		–	48
Distributions/dividends paid to holders of Share Stapled Units/ shareholders of the Company	14	(5,238)	(5,336)
Dividends paid to non-controlling shareholders of subsidiaries		(13)	(14)
Consideration paid to acquire non-controlling interests of a subsidiary		–	(8)
NET CASH USED IN FINANCING ACTIVITIES		(5,747)	(4,279)
NET DECREASE IN CASH AND CASH EQUIVALENTS		(101)	(358)
Exchange differences		(16)	33
CASH AND CASH EQUIVALENTS			
Beginning of year		2,534	2,417
End of year	35(c)	2,417	2,092

The notes on pages 109 to 198 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

December 31, 2020

1 BASIS OF PRESENTATION

In accordance with the Trust Deed (as defined below), HKT Trust (the "HKT Trust") and HKT Limited (the "Company") are each required to prepare their own sets of financial statements on a consolidated basis. The HKT Trust consolidated financial statements for the year ended December 31, 2020 comprise the consolidated financial statements of the HKT Trust, the Company and its subsidiaries (together the "Group"), and the Group's interests in associates and joint ventures. The HKT Limited consolidated financial statements for the year ended December 31, 2020 comprise the consolidated financial statements of the Company and its subsidiaries (together the "HKT Limited Group") and the HKT Limited Group's interests in associates and joint ventures, and the Company's statement of financial position.

The HKT Trust controls the Company and the sole activity of the HKT Trust during the year ended December 31, 2020 was investing in the Company. Therefore, the consolidated financial results and financial position that would be presented in the consolidated financial statements of the HKT Trust are identical to the consolidated financial results and financial position of the Company with the only differences being disclosures of the capital of the Company. The directors of the Trustee-Manager (as defined below) and the directors of the Company believe therefore that it is clearer to present the consolidated financial statements of the HKT Trust and of the Company together. The consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of the Company are presented together to the extent they are identical and are hereinafter referred to as the "HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements".

The consolidated income statements, consolidated statements of comprehensive income, consolidated statements of financial position, consolidated statements of changes in equity, consolidated statements of cash flows, principal accounting policies and the related explanatory information are common to the HKT Trust and the Company. The HKT Limited consolidated financial statements also include the stand-alone statement of financial position of the Company as shown in note 5, and the relevant explanatory information in note 31 where information specific to the Company are disclosed separately.

The Group and the HKT Limited Group are referred to as the "Groups".

2 GENERAL INFORMATION

The HKT Trust is constituted by a Hong Kong law governed trust deed and as supplemented, amended or substituted from time to time (the "Trust Deed"), entered into between HKT Management Limited (the "Trustee-Manager", in its capacity as the trustee-manager of the HKT Trust) and the Company. Under the Trust Deed, the Trustee-Manager has been appointed as the trustee and manager of the HKT Trust. The scope of activities of the HKT Trust specified in the Trust Deed is essentially limited to investing in the Company and all the issued and paid-up ordinary shares of the Company are held by the HKT Trust. The Company was incorporated in the Cayman Islands as an exempted company with limited liability under the Companies Law, Cap. 22 (Law 3 of 1961, as consolidated and revised) of the Cayman Islands on June 14, 2011. The Company has established a principal place of business in the Hong Kong Special Administrative Region ("Hong Kong") at 39th Floor, PCCW Tower, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong and was registered as a non-Hong Kong company. The HKT Limited Group is principally engaged in the provision of telecommunications and related services which include local telephony, local data and broadband, international telecommunications, mobile, media entertainment, enterprise solutions, and other telecommunications businesses such as customer premises equipment sales, outsourcing, consulting, and contact centers. It operates primarily in Hong Kong, and also serves customers in mainland China and other parts of the world.

The share stapled units (the "Share Stapled Units") structure comprises: (a) a unit in the HKT Trust; (b) a beneficial interest in a specifically identified ordinary share in the Company is "linked" to the unit and held by the Trustee-Manager as legal owner in its capacity as the trustee-manager of the HKT Trust; and (c) a specifically identified preference share in the Company which is "stapled" to the unit. The Share Stapled Units, which are jointly issued by the HKT Trust and the Company, are listed on the Main Board of The Stock Exchange of Hong Kong Limited (the "Stock Exchange").

The ultimate holding company of both the HKT Trust and the Company is PCCW Limited ("PCCW"), a company incorporated in Hong Kong with its shares listed on the Main Board of the Stock Exchange and traded in the form of American Depositary Receipts on the OTC Markets Group Inc. in the United States.

These financial statements are presented in Hong Kong dollars, unless otherwise stated.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES**a. Statement of compliance**

The HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements have been prepared in accordance with all applicable Hong Kong Financial Reporting Standards, which is a collective term for all individual Hong Kong Financial Reporting Standards ("HKFRSs"), Hong Kong Accounting Standards ("HKASs") and Interpretations issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants ("HKICPA"), accounting principles generally accepted in Hong Kong and the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance (Cap. 622). A summary of the principal accounting policies adopted by the Groups is set out below.

b. Basis of preparation of the financial statements

The following new or amended Hong Kong Financial Reporting Standards (the "new or amended HKFRSs") are adopted for the financial year beginning January 1, 2020, but have no material effect on the Groups' reported results and financial position for the current and prior accounting periods.

- HKAS 1 (Revised) (Amendments), *Presentation of Financial Statements*
- HKAS 8 (Amendments), *Accounting Policies, Changes in Accounting Estimates and Errors*
- HKAS 39 (Amendments), *Financial Instruments: Recognition and Measurement*
- HKFRS 3 (Revised) (Amendments), *Business Combinations*
- HKFRS 7 (Amendments), *Financial Instruments: Disclosures*
- HKFRS 9 (2014) (Amendments), *Financial Instruments*
- HKFRS 16 (Amendments), *Leases*
- Conceptual Framework for Financial Reporting 2018

The Groups have not early adopted any other new or amended HKFRSs and HKASs that are not yet effective for the current accounting period, details of which are set out in note 43.

The consolidated financial statements for the year ended December 31, 2020 comprise the financial statements of the Groups, and the Groups' interests in associates and joint ventures.

The measurement basis used in the preparation of the financial statements is the historical cost basis, except that the following assets and liabilities are stated at fair value as explained in the accounting policies set out below:

- financial assets at fair value through profit or loss (see note 3(n));
- financial assets at fair value through other comprehensive income (see note 3(n)); and
- derivative financial instruments (see note 3(p)).

As at December 31, 2020, the current liabilities of the Groups exceeded their current assets by HK\$5,632 million. Included in the current liabilities were (i) short-term borrowings of HK\$1,552 million, which mainly represented the reclassification of borrowings from non-current liabilities to current liabilities in the current year as their maturity dates fall due within the next twelve-month period and the Groups have arrangements to refinance this balance via long-term borrowings; and (ii) current portion of contract liabilities of HK\$1,423 million recognized for which no direct cash settlement is required but will gradually reduce over the contract terms through the satisfaction of performance obligations. Also, considering the Groups' ability to generate net operating cash inflows and the undrawn banking facilities totaling HK\$9,069 million as at December 31, 2020, management considers the Groups are able to meet their liabilities as and when they fall due within the next twelve-month period. Accordingly, these consolidated financial statements have been prepared on a going concern basis.

The preparation of financial statements in conformity with Hong Kong Financial Reporting Standards requires management to make judgements, estimates and assumptions that affect the application of accounting policies and reported amounts of assets, liabilities, income and expenses. The estimates and associated assumptions are based on historical experience and various other factors that are believed to be reasonable under the circumstances, the results of which form the basis of judgements about the carrying amounts of assets and liabilities that are not readily apparent from other sources. Actual results may differ from these estimates.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

b. Basis of preparation of the financial statements (continued)

The estimates and underlying assumptions are reviewed on an ongoing basis. Revisions to accounting estimates are recognized in the period in which the estimate is revised if the revision affects only that period, or in the period of the revision and future periods if the revision affects both current and future periods.

Judgements made by management in the application of Hong Kong Financial Reporting Standards that have significant effect on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements and estimates with a significant risk of material adjustment in the next year are discussed in note 4.

c. Subsidiaries and non-controlling interests

Subsidiaries are entities (including structured entities) controlled by the Groups. Control exists when the Groups are exposed to, or have rights to, variable returns from their involvement with the entity and have the ability to affect those returns through their power over the entity.

An interest in a subsidiary is consolidated into the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements from the date that control commences until the date that control ceases.

The acquisition method of accounting is used to account for the acquisition of subsidiaries by the Groups. The cost of an acquisition is measured as the aggregate fair value of the assets transferred, equity instruments issued and liabilities incurred or assumed at the date of exchange. The consideration transferred includes the fair value of any asset, liability or equity resulting from a contingent consideration arrangement. A subsequent change to the fair value of the contingent consideration that is deemed to be an asset or a liability is recognized in accordance with HKFRS 9 (2014) *Financial Instruments* in the consolidated income statement. Contingent consideration that is classified as equity is not remeasured, and its subsequent settlement is accounted for within equity.

Acquisition-related costs are expensed as incurred. Identifiable assets acquired and liabilities and contingent liabilities assumed in a business combination are measured initially at their fair values at the acquisition date. On an acquisition-by-acquisition basis, the Groups recognize any non-controlling interest in the acquiree either at fair value or at the non-controlling interest's proportionate share of the acquiree's net assets. All other components of non-controlling interests are measured at their acquisition-date fair value, unless another measurement basis is required by Hong Kong Financial Reporting Standards.

The excess of the consideration transferred, the amount of any non-controlling interest in the acquiree and the acquisition-date fair value of any previous equity interest in the acquiree over the fair value of the identifiable net assets acquired is recorded as goodwill (see note 3(i)). If this is less than the fair value of the net assets of the subsidiary acquired in the case of a bargain purchase, the difference is recognized directly in the consolidated income statement. Where businesses are acquired and fair values of the net assets of the acquired business are finalized within 12 months of the acquisition date, all fair value adjustments are recorded with effect from the date of acquisition and consequently may result in the restatement of previously reported financial results.

If the business combination is achieved in stages, the acquisition-date carrying amount of the acquirer's previously held equity interest in the acquiree is remeasured to fair value at the acquisition date; any gains or losses arising from such remeasurement are recognized in the consolidated income statement.

The Groups treat transactions with non-controlling interests that do not result in a loss of control as transactions with equity holders of the Groups. The difference between the fair value of any consideration paid and the relevant share acquired of the carrying amount of net assets of the subsidiary is recorded in equity. Gains or losses on disposals to non-controlling interests are also recorded in equity.

For subsidiaries which have accounting year ends different from the Groups, the subsidiaries prepare, for the purpose of consolidation, financial statements up to and as at the same date as the Groups.

Adjustments are made to the financial statements of subsidiaries when necessary to align their accounting policies to ensure consistency with policies adopted by the Groups.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**c. Subsidiaries and non-controlling interests (continued)**

Intra-group balances and transactions and any unrealized profits arising from intra-group transactions are eliminated in full in preparing the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements. Unrealized losses resulting from intra-group transactions are eliminated in the same way as unrealized profits.

In the Company's statement of financial position, interests in subsidiaries are stated at cost less impairment losses. Cost includes direct attributable costs of investment. Cost is adjusted to reflect changes in consideration arising from contingent consideration amendments. The results of subsidiaries are accounted for by the Company on the basis of dividends received and receivable.

d. Associates

An associate is an entity over which the Groups have significant influence but not control, generally accompanying a shareholding of between 20% and 50% of the voting rights.

Investments in associates are accounted for in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements using the equity method and are initially recorded at cost. The Groups' interests in associates include goodwill identified on acquisition, net of any accumulated impairment loss and adjust thereafter for the post-acquisition changes in the Groups' share of the associates' net assets. The consolidated income statement includes the Groups' share of post-acquisition, post-tax results of the associates and any impairment losses for the year. The consolidated statement of comprehensive income includes the Groups' share of the post-acquisition, post-tax items of the associates' other comprehensive income.

When the Groups' share of losses exceeds their interest in the associate, the Groups' interest is reduced to nil and recognition of further losses is discontinued except to the extent that the Groups have incurred legal or constructive obligations or made payments on behalf of the associate. For this purpose, the Groups' interest in the associate is the carrying amount of the investment using the equity method together with the Groups' long-term interests that in substance form part of the Groups' net interest in the associate.

Unrealized profits and losses resulting from transactions between the Groups and their associates are eliminated to the extent of the Groups' interests in the associates, except where unrealized losses provide evidence of an impairment of the asset transferred, in which case they are recognized immediately in the consolidated income statement.

If the ownership interest in an associate is reduced but significant influence is retained, only a proportionate share of the amounts previously recognized in other comprehensive income is reclassified to the consolidated income statement where appropriate.

Adjustments are made to the financial statements of associates when necessary to align their accounting policies to ensure consistency with policies adopted by the Groups.

e. Joint arrangements

The Groups apply HKFRS 11 *Joint Arrangements* to all joint arrangements. Under HKFRS 11, joint arrangements are classified as either joint ventures or joint operations depending on the contractual rights and obligations of each investor.

The Groups classify joint arrangements as joint ventures when the Groups have rights to the net assets of the joint arrangement.

Investments in joint ventures are accounted for in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements using the equity method, as described in note 3(d).

Adjustments are made to the financial statements of joint ventures when necessary to align their accounting policies to ensure consistency with policies adopted by the Groups.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

f. Gaining or losing control

When the Groups cease to have control, any retained interest in the entity is remeasured to its fair value at the date when control is lost, with the change in carrying amount recognized in the consolidated income statement. The fair value is the initial carrying amount for the purposes of subsequently accounting for the retained interest as an associate, joint arrangement or financial asset. In addition, any amounts previously recognized in other comprehensive income in respect of that entity are accounted for as if the Groups had disposed of the related assets or liabilities. This may mean that amounts previously recognized in other comprehensive income are reclassified to the consolidated income statement.

g. Property, plant and equipment

The following items of property, plant and equipment are stated in the consolidated statement of financial position at cost less accumulated depreciation and impairment losses (see note 3(o)(iii)):

- buildings held for own use which are situated on leasehold land, where the fair value of the building could be measured separately from the fair value of the leasehold land at the inception of the lease (see note 3(h)); and
- other items of plant and equipment.

The cost of an item of property, plant and equipment comprises (i) its purchase price, (ii) any directly attributable costs of bringing the asset to its working condition and location for its intended use; and (iii) the initial estimate at the time of installation and during the period of use, where relevant, of the costs of dismantling and removing the items and restoring the site on which they are located.

Subsequent costs are included in the carrying amount of an item of property, plant and equipment or recognized as a separate item of property, plant and equipment, as appropriate, only when it is probable that future economic benefits associated with the item will flow to the Groups and the cost of the item can be measured reliably. All other costs, such as repairs and maintenance and overhaul costs, are recognized in the consolidated income statement as an expense in the period in which they are incurred.

Gains or losses arising from the retirement or disposal of an item of property, plant and equipment are determined as the difference between the net disposal proceeds and the carrying amount of the item and are recognized in the consolidated income statement on the date of retirement or disposal.

Projects under construction are not depreciated. Depreciation on other property, plant and equipment is calculated to write off the cost of items of property, plant and equipment, less their expected residual value, if any, using the straight-line method over their estimated useful lives as follows:

Buildings	Over the shorter of the unexpired term of land lease and the estimated useful life
Exchange equipment	5 to 25 years
Transmission plant	5 to 40 years
Other plant and equipment	1 to 20 years

The assets' useful lives and residual values, if any, are reviewed, and adjusted if appropriate, at the end of each reporting period.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**h. Leased assets**

An arrangement, comprising a transaction or a series of transactions, is or contains a lease if the Groups determine that the arrangement conveys a right to control the use of an identified asset for a period of time in exchange for consideration. Such determination is made on an evaluation of the substance of the arrangement, regardless of whether the arrangements take the legal form of a lease.

i. Assets leased to the Groups

Leases are initially recognized as a right-of-use asset/interest in leasehold land and corresponding liability, where applicable, at the date of which the leased asset is available for use by the Groups. Each lease payment is allocated between the liability and finance cost. The finance cost is charged to the consolidated income statement over the lease term so as to produce a constant periodic rate of interest on the remaining balance of the liability for each period. The right-of-use asset is depreciated on a straight-line basis over the shorter of the asset's useful life and the lease term. Interest in leasehold land is amortized on a straight-line basis over the lease term.

The Groups have elected the practical expedient not to separate lease and non-lease components of certain class of underlying assets and account for whole as a single lease component in the measurement of lease liabilities and right-of-use assets.

Assets leased to the Groups and the corresponding liabilities are initially measured on a present value basis. Lease liabilities include the net present value of the following lease payments:

- fixed payments (including in-substance fixed payments), less any lease incentives receivable;
- variable lease payments that are based on an index or a rate; and
- payments of penalties for terminating the lease, if the lease term reflects the Groups, as lessees, exercising an option to terminate the lease.

Lease payments to be made under reasonably certain extension options are also included in the measurement of the liability.

The lease payments are discounted using the interest rate implicit in the lease, if that rate can be determined, or the incremental borrowing rate of respective entities. Right-of-use assets are measured at cost comprising the following:

- the amount of the initial measurement of lease liabilities;
- any lease payments made at or before the commencement date, less any lease incentives received;
- any initial direct costs; and
- restoration costs.

Payments associated with short-term leases and leases of low-value assets are recognized on a straight-line basis as an expense in the consolidated income statement. Short-term leases are leases with a lease term of 12 months or less. Low-value assets comprise equipment and small items of office furniture.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

h. Leased assets (continued)

ii. Assets leased out by the Groups

A lease is classified as a finance lease if it transfers substantially all the risks and rewards incidental to ownership of an underlying asset. A lease is classified as an operating lease if it does not transfer substantially all the risks and rewards incidental to ownership of an underlying asset.

Where the Groups lease out right-of-use assets ("sublease"), the Groups as an intermediate lessor classify the sublease as a finance lease or an operating lease by reference to the right-of-use asset arising from the head lease.

Where the Groups lease out assets under operating leases, the assets are included in the consolidated statement of financial position according to their nature and, where applicable, are depreciated in accordance with the Groups' depreciation policies. Impairment losses are accounted for in accordance with the accounting policy as set out in note 3(o)(ii). Revenue arising from operating leases is recognized in the consolidated income statement in equal installments over the accounting periods covered by the lease term. Lease incentives granted are recognized in the consolidated income statement as an integral part of the aggregate net lease payments receivable. Contingent rentals are recognized as income in the accounting period in which they are earned.

Where the Groups lease out assets under finance leases, the present value of lease receipts is recognized as a receivable. Each lease receipt is allocated between the receivable and interest income. The interest element of the lease receipt is recognized in the consolidated income statement over the lease term so as to produce a constant periodic rate of interest on the remaining balance of the receivable for each period.

i. Goodwill

Goodwill represents the excess of the cost of the consideration transferred, the amount of any non-controlling interest in the acquiree and the acquisition-date fair value of any previous equity interest in the acquiree over the Groups' interest in the net fair value of the acquiree's identifiable assets, liabilities and contingent liabilities at the date of acquisition.

Goodwill is stated in the consolidated statement of financial position at cost less accumulated impairment losses. Goodwill is allocated to cash-generating units ("CGUs") and is tested at least annually for impairment (see note 3(o)(ii)). In respect of associates and joint ventures, the carrying amount of goodwill is included in the carrying amount of the interests in associates and joint ventures.

On disposal of a CGU or part of a CGU, an associate or a joint venture during the year, any attributable amount of purchased goodwill is included in the calculation of the gain or loss on disposal.

j. Intangible assets (other than goodwill)

i. Carrier licences

Carrier licences to establish and maintain the telecommunications network and to provide telecommunications services are recorded as intangible assets. Upon the issuance of the licence, the cost thereof, which is the discounted value of the minimum annual fees payable over the period of the licence and directly attributable costs of preparing the asset for its intended use, is recorded as an intangible asset together with the related obligations. Where the Groups have the right to return a licence and expect to do so, the asset and the related obligation recorded reflect the expected period that the licence will be held. Amortization is provided on a straight-line basis over the estimated useful life of the licence, commencing from the date of launch of the relevant telecommunications services.

The difference between the discounted value and the total minimum annual fee payments represents the effective cost of financing. Such finance cost will be charged to the consolidated income statement in the period in which it is incurred using the effective interest method.

Variable annual payments on top of the minimum annual payments, if any, are recognized in the consolidated income statement as incurred.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**j. Intangible assets (other than goodwill) (continued)****ii. Capitalized programme costs**

Costs incurred to produce or acquire television rights, for which the Groups can determine the broadcasting schedules, are capitalized as intangible assets. The intangible assets are amortized on an accelerated basis over the shorter of the expected economic life of 2 to 3 years and the licence period. Other costs incurred for the transmission rights for showing programmes, sports events and films on the Groups' television channels, including sport rights for multiple seasons or competitions, of which the broadcasting schedules are determined by the content providers, are recognized in the consolidated income statement on a straight-line basis over the period of transmission rights across the season or competition. Other payments of programme costs made in advance or in arrears are recognized in the consolidated statement of financial position as prepayments, deposits and other current assets or accruals and other payables, as appropriate.

iii. Software

Costs incurred to acquire, develop or enhance scientific or technical knowledge, and design and implement new process or systems, licences and market knowledge are capitalized as intangible assets if they are identifiable and the Groups have power to obtain future economic benefits flowing from the underlying resource.

Development costs that are directly attributable to the design and testing of the identifiable software are capitalized as intangible assets if the following criteria are met:

- it is technically feasible to complete the software so that it will be available for use;
- adequate technical, financial and other resources are available to complete the development and to use the software;
- the costs attributable to acquisition, development and enhancement of the software can be reliably measured; and
- the Groups have power to obtain future economic benefits flowing from the underlying resource.

Development costs that do not meet the above criteria are expensed in the consolidated income statement as incurred.

Capitalized software costs are amortized on a straight-line basis over the estimated useful life of 8 to 10 years.

iv. Other intangible assets

Other intangible assets that are acquired by the Groups are stated in the consolidated statement of financial position at cost less accumulated amortization (where the estimated useful life is finite) and impairment losses (see note 3(o)(ii)). Expenditures on internally generated goodwill and brands are recognized as expenses in the period in which they are incurred.

Amortization of intangible assets with finite useful lives is charged to the consolidated income statement on a straight-line basis over their estimated useful lives. The following intangible assets with finite useful lives are amortized from the date they are available for use and their estimated useful lives are as follows:

Trademarks	20 years
Customer base	8 to 10 years

The assets' useful lives and their amortization methods are reviewed annually.

k. Fulfillment costs

Direct costs incurred in fulfilling a contract with a customer, which mainly comprise setup and related costs in respect of the Groups' telecommunications and pay-TV services, are capitalized as an asset to the extent that the cost generates or enhances resources of the Groups that will be used in satisfying performance obligations in the future and are expected to be recovered. Fulfillment costs are amortized on a straight-line basis over the expected life of the customer contract.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

l. Customer acquisition costs

Incremental costs incurred to obtain a contract with a customer, which mainly comprise sales commission, are capitalized as customer acquisition costs if the Groups expect to recover those costs. Costs of obtaining a contract are amortized on a systematic basis over the expected life of the customer contract.

m. Contract assets/liabilities

Customer pays according to a pre-agreed payment schedule. If the performance obligations fulfilled by the Groups exceed the total non-refundable payments received and unconditional rights to contract consideration to date, a contract asset is recognized. If the total non-refundable payments received and unconditional rights to contract consideration to date exceed the performance obligation fulfilled, a contract liability is recognized. The contract assets are transferred to receivables when the Groups' rights to the contract consideration become unconditional.

Advances from customers represent refundable customer advances, please refer to note 3(u) for the accounting policies.

n. Investments in debt and equity securities

Classification

The Groups classify their investments in debt and equity securities, other than interests in subsidiaries, associates, and joint arrangements, as:

- those to be measured subsequently at fair value (at either fair value through other comprehensive income ("FVOCI") or fair value through profit or loss ("FVPL")); and
- those to be measured at amortized cost.

The classification depends on the Groups' business model for managing the financial assets and the contractual terms of the cash flows.

For assets measured at fair value, gains and losses will either be recorded in profit or loss or other comprehensive income. For investments in debt instruments, this will depend on the business model in which the investment is held. For investments in equity instruments that are not held for trading, this will depend on whether the Groups have made an irrevocable election at the time of initial recognition to account for the equity instrument at FVOCI.

The Groups reclassify debt instruments when and only when their business model for managing those assets changes.

Recognition and derecognition

Regular way purchases and sales of financial assets are recognized on trade-date, the date on which the Groups commit to purchase or sell the asset. Financial assets are derecognized when the rights to receive cash flows from the financial assets have expired or have been transferred and the Groups have transferred substantially all the risks and rewards of ownerships.

Initial measurement

At initial recognition, the Groups measure a financial asset at its fair value plus, in the case of a financial asset not at FVPL, transaction costs that are directly attributable to the acquisition of the financial asset. Transaction costs of financial assets carried at FVPL are expensed in the consolidated income statement.

Financial assets with embedded derivatives are considered in their entirety when determining whether their cash flows are solely payments of principal and interest.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**n. Investments in debt and equity securities (continued)****Subsequent measurement****Debt instruments**

Subsequent measurement of debt instruments depends on the Groups' business model for managing the asset and the cash flow characteristics of the asset. There are three measurement categories into which the Groups classify their debt instruments:

- **Amortized cost:** Assets that are held for collection of contractual cash flows where those cash flows represent solely payments of principal and interest are measured at amortized cost. A gain or loss on a debt instrument that is subsequently measured at amortized cost is recognized in the consolidated income statement when the asset is derecognized or impaired. Interest income from these financial assets is included in interest income using the effective interest method.
- **FVOCI:** Assets that are held for collection of contractual cash flows and for sale, where the assets' cash flows represent solely payments of principal and interest, are measured at FVOCI. Movements in the carrying amount are taken through other comprehensive income, except for the recognition of impairment losses, interest income using the effective interest method and foreign exchange gains and losses which are recognized in the consolidated income statement. When the financial asset is derecognized, the cumulative gain or loss previously recognized in other comprehensive income is reclassified from equity to the consolidated income statement and recognized in other gains/(losses), net.
- **FVPL:** Assets that do not meet the criteria for amortized cost or FVOCI are measured at FVPL. A gain or loss on a debt instrument that is subsequently measured at FVPL is recognized and presented net in the consolidated income statement within other gains/(losses), net in the period in which it arises.

Equity instruments

The Groups subsequently measure all equity instruments at fair value. Where the Groups' management has made an irrevocable election at initial recognition to present fair value gains and losses on equity instruments in other comprehensive income, there is no subsequent reclassification of fair value gains and losses to the consolidated income statement following the derecognition of the investment, any balance within the financial assets at FVOCI reserve for these equity investments is reclassified to retained profits. Dividends from such investments continue to be recognized in the consolidated income statement as other gains/(losses), net when the Groups' right to receive payments is established.

Changes in the fair value of financial assets at FVPL are recognized in other gains/(losses), net in the consolidated income statement as applicable.

Impairment losses (and reversal of impairment losses) on equity instruments measured at FVOCI are not reported separately from other changes in fair value.

o. Impairment of assets**i. Investments in debt instruments and trade and other receivables**

The Groups assess on forward-looking basis the expected credit losses associated with their debt instruments carried at amortized cost or FVOCI, and trade and other receivables carried at amortized cost.

For investments in debt instruments and other receivables, the Groups consider the probability of default upon initial recognition of asset and whether there has been a significant increase in credit risk on an ongoing basis throughout each reporting period. To assess whether there is a significant increase in credit risk, the Groups compare the risk of a default occurring on the asset as at the reporting date with the risk of default as at the date of initial recognition by considering available reasonable and supportive forward-looking information. Considerations may include:

- internal credit rating;
- external credit rating (as far as available);

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

o. Impairment of assets (continued)

i. Investments in debt instruments and trade and other receivables (continued)

- actual or expected significant adverse changes in business, financial or economic conditions that are expected to cause a significant change to the borrower's ability to meet its obligations;
- actual or expected significant changes in the operating results of the borrower;
- significant increases in credit risk on other financial instruments of the same borrower; and
- significant changes in the expected performance and behavior of the borrower, including changes in the payment status of the borrower in the Groups and changes in the operating results of the borrower.

Regardless of the analysis above, a significant increase in credit risk is presumed if a debtor is delinquent and in default status when there are unsettled amounts remaining on the account on the day after the invoice due date.

At each reporting date, the Groups measure the loss allowance for a financial asset at an amount equal to the lifetime expected credit losses if the credit risk on that financial asset has increased significantly since initial recognition. If, at the reporting date, the credit risk on a financial asset has not increased significantly since initial recognition, the Groups measure the loss allowance for that financial asset at an amount equal to 12-month expected credit losses.

For trade receivables and contract assets, the Groups apply the simplified approach to providing for expected credit losses, which permits the use of the lifetime expected loss provision for all trade receivables and contract assets. To measure the expected credit losses, trade receivables have been grouped based on shared credit risk characteristics and the days past due. When measuring expected credit losses, the Groups consider the risk or probability that a credit loss occurs by reflecting the possibility that a credit loss occurs and possibility that no credit loss occurs.

Financial assets are written off when there is no reasonable expectation of recovery. The Groups categorize a financial asset for write off when a debtor fails to make contractual payments for a period greater than predefined limit. Where loans or receivables have been written off, the Groups continue to engage in enforcement activity to attempt to recover the receivable due. Where recoveries are made, these are recognized in the consolidated income statement.

ii. Impairment of other assets

Internal and external sources of information are reviewed at the end of each reporting period, or whenever events or changes in circumstances indicate that the carrying amount may not be recoverable, to identify indications that the following assets may be impaired or, except in the case of goodwill, an impairment loss previously recognized no longer exists or may have decreased:

- property, plant and equipment;
- right-of-use assets;
- interests in leasehold land;
- fulfillment costs;
- customer acquisition costs;
- intangible assets;
- interests in associates and joint ventures; and
- goodwill.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**o. Impairment of assets (continued)****ii. Impairment of other assets (continued)**

If any such indication exists, the asset's recoverable amount is estimated. Impairment tests are performed for CGUs containing goodwill, intangible assets that are not yet available for use and intangible assets that have indefinite useful lives annually whether or not there is any indication of impairment.

- Calculation of recoverable amount

The recoverable amount of an asset is the higher of its fair value less costs of disposal and value in use. Fair value less costs of disposal is the amount obtainable from the sale of an asset in an arm's length transaction between knowledgeable, willing parties, less the costs of disposal. In assessing value in use, the estimated future cash flows are discounted to their present value using a pre-tax discount rate that reflects current market assessments of the time value of money and the risks specific to the asset. Where an asset does not generate cash inflows largely independent of those from other assets, the recoverable amount is determined for the smallest group of assets that generates cash inflows independently (i.e. a CGU).

- Recognition of impairment losses

An impairment loss is recognized in the consolidated income statement whenever the carrying amount of an asset, or the CGU to which it belongs, exceeds its recoverable amount. Impairment losses recognized in respect of CGUs are allocated first to reduce the carrying amount of any goodwill allocated to the CGU and then, to reduce the carrying amount of the other assets in the CGU on a pro rata basis, except that the carrying amount of an asset will not be reduced below its individual fair value less costs of disposal, or value in use, if determinable.

- Reversals of impairment losses

In respect of assets other than goodwill, an impairment loss is reversed if there has been a favourable change in the estimates used to determine the recoverable amount. An impairment loss in respect of goodwill is not allowed to be reversed.

A reversal of an impairment loss is limited to the asset's carrying amount that would have been determined had no impairment loss been recognized in prior years. Reversals of impairment losses are credited to the consolidated income statement in the period in which the reversals are recognized.

iii. Interim financial reporting and impairment

Under the Rules Governing the Listing of Securities on The Stock Exchange of Hong Kong Limited, the Groups are required to prepare an interim financial report in compliance with HKAS 34 *Interim Financial Reporting*, in respect of the first six months of the financial year. At the end of the interim period, the Groups apply the same impairment testing, recognition, and reversal criteria as it would at the end of the financial year (see notes 3(o)(i) and 3(o)(ii)).

Impairment losses recognized in an interim period in respect of goodwill are not reversed in a subsequent period. This is the case even if no loss, or a smaller loss, would have been recognized had the impairment been assessed only at the end of the financial year to which the interim period relates.

p. Derivative financial instruments

Derivative financial instruments are initially recognized at fair value on the date a derivative contract is entered into and are subsequently remeasured at their fair value at the end of each reporting period. The gain or loss on remeasurement to fair value is recognized immediately in the consolidated income statement, except where the derivatives are designated and qualify for hedge accounting, in which case recognition of any resultant gain or loss depends on the nature of the item being hedged (see note 3(q)).

The full fair value of a hedging derivative is classified as a non-current asset or liability when the remaining maturity of the hedged item is more than 12 months, and as a current asset or liability when the remaining maturity of the hedged item is 12 months or less than 12 months. Trading derivatives are classified as current assets or liabilities.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

q. Hedging

At inception of the hedge relationship, the Groups document the economic relationship between hedging instruments and hedged items including whether changes in the cash flows of the hedging instruments are expected to offset changes in the cash flows of hedged items. The Groups document their risk management objective and strategy for undertaking their hedge transactions.

Cash flow hedges

The effective portion of changes in the fair value of derivatives that are designated and qualify as cash flow hedges is recognized in the hedging reserve within equity. The gain or loss relating to the ineffective portion is recognized immediately in the consolidated income statement, within finance costs.

When forward contracts are used to hedge forecast transactions, the Groups designate only the change in fair value of the forward contract related to the spot component as the hedging instrument. Gains or losses relating to the effective portion of the change in the spot component of the forward contracts are recognized in the hedging reserve within equity. The change in the forward element is recognized in the consolidated income statement.

When cross currency swap contracts are used to hedge future cash flows, the Groups designate only the change in fair value of the swap contract after exclusion of the foreign currency basis spread component as the hedging instrument. Gains or losses relating to the effective portion of the swap contract after exclusion of foreign currency basis spread component are recognized in the hedging reserve within equity. The change in fair value of the foreign currency basis spread of the swap contract to the extent it relates to the hedged item is recognized in the costs of hedging reserve within equity.

Amounts accumulated in equity are reclassified in the periods when the hedged item affects the consolidated income statement, as follows:

- The gain or loss relating to the effective portion of forward contracts is recognized in the consolidated income statement as the hedged item affects profit or loss.
- The gain or loss relating to the effective portion of the cross currency swap contracts hedging borrowings in foreign currency is recognized in the consolidated income statement within finance costs at the same time as the interest expense on the hedged borrowings.
- The gain or loss relating to the effective portion of the interest rate swap contracts hedging variable rate borrowings is recognized in the consolidated income statement within finance costs at the same time as the interest expense on the hedged borrowings.

When a hedging instrument expires, or is sold or terminated, or when a hedge no longer meets the criteria for hedge accounting, any cumulative deferred gain or loss and deferred costs of hedging in equity at that time remains in equity until the forecast transaction occurs and affects profit or loss. When the forecast transaction is no longer expected to occur, the cumulative gain or loss and deferred costs of hedging that were reported in equity are immediately reclassified to the consolidated income statement.

Hedge ineffectiveness is recognized in the consolidated income statement within finance costs.

r. Inventories

Inventories consist of purchased parts and materials, finished goods and consumable inventories.

Purchased parts and materials and finished goods are carried at the lower of cost and net realizable value. Net realizable value is the estimated selling price in the ordinary course of business less the estimated costs of completion and the estimated costs necessary to make the sale.

Consumable inventories, held for use in the maintenance and expansion of the Groups' telecommunications systems, are stated at cost less provision for deterioration and obsolescence.

Cost is calculated using the weighted average cost formula and comprises all costs of purchase, costs of conversion and other costs incurred in bringing the inventories to their present location and condition.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**s. Trade and other receivables**

Trade and other receivables are recognized initially at the amount of consideration that is unconditional unless they contain significant financing component, when they are recognized at fair value. The Groups hold trade and other receivables with the objective to collect the contractual cash flows and therefore measure them subsequently at amortized cost using the effective interest method, less loss allowance for expected credit losses (see note 3(o)(i)).

t. Cash and cash equivalents

Cash and cash equivalents comprise cash at bank and on hand, demand deposits with banks and other financial institutions (other than restricted cash), and short-term, highly liquid investments that are readily convertible into known amounts of cash and which are subject to an insignificant risk of changes in value, having been within three months of maturity at acquisition and form an integral part of the Groups' cash management.

u. Trade and other payables

Trade payables, advances from customers and other payables are initially recognized at fair value and subsequently stated at amortized cost using the effective interest method.

v. Borrowings

Borrowings are recognized initially at fair value less attributable transaction costs. Subsequent to initial recognition, borrowings are stated at amortized cost with any difference between the amount initially recognized, being the proceeds net of transaction costs, and the redemption value being recognized in the consolidated income statement over the period of the borrowings, using the effective interest method.

w. Provisions and contingent liabilities

Provisions are recognized when (i) the Groups have a present legal or constructive obligation arising as a result of a past event; (ii) it is probable that an outflow of economic benefits will be required to settle the obligation; and (iii) a reliable estimate can be made of the amount of the obligation. Where the time value of money is material, provisions are stated at the present value of the expenditure expected to settle the obligation. The increase in provision due to the passage of time is recognized as interest expense.

Where it is not probable that an outflow of economic benefits will be required, or the amount cannot be estimated reliably, the obligation is disclosed as a contingent liability, unless the probability of outflow of economic benefits is remote. Possible obligations, whose existence will only be confirmed by the occurrence or non-occurrence of one or more future events, are also disclosed as contingent liabilities unless the probability of outflow of economic benefits is remote.

x. Revenue recognition

The Groups' revenue is primarily earned from the following business units (i) Telecommunications and (ii) Pay TV.

Revenue is measured at the fair value of the consideration received or receivable for the sales of goods and rendering of services in the ordinary course of the Groups' activities. Revenue is recognized when the control of the goods or services is transferred to the customer. Depending on the terms of the contract and the laws that apply to the contract, control of the goods or services may be transferred over time or at a point in time.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

x. Revenue recognition (continued)

The Groups often enter into bundled sale contracts with customers in which, apart from the provision of telecommunications, media entertainment, and other services, the Groups have certain other performance obligations to customers such as the delivery of handsets, equipment, gifts and reward points from the Groups' customer loyalty programme offering a variety of goods and services ("Reward Points"). When multiple-element arrangements exist, the total transaction price receivable from customers is allocated among the Groups' performance obligations on a relative stand-alone selling price basis. Management estimates the stand-alone selling price at contract inception mainly based on observable retail prices and observable market data of the respective performance obligations in similar circumstances to similar customers. If a bundled discount is granted, it is allocated to respective performance obligations based on their relative stand-alone selling prices. The costs of respective handsets, equipment and gifts delivered are recognized as cost of sales when the corresponding revenue is recognized.

A financing component, if any, might exist when timing of the payment for goods or services by the customers, differs from the timing of satisfaction of the performance obligation. Such financing component is not significant to the Groups.

i. Telecommunications

Telecommunications services comprise local telephony, local data and broadband, international telecommunications, mobile, enterprise solutions, and other telecommunications businesses such as customer premises equipment sales, outsourcing, consulting, and contact centers.

Local telephony, local data and broadband, international telecommunications and mobile businesses earn revenue primarily by providing access to and usage of the telecommunications network locally and internationally. As part of the bundled service offerings, the Groups also deliver handsets, equipment, gifts and Reward Points, which are considered as separate performance obligations.

For the telecommunications services, revenue is recognized over time as the customer simultaneously receives and consumes the benefits provided by the Groups' performance as the Groups perform and is based on the output method, either as the service allowance units are used or as time elapses, because it reflects the pattern by which the Groups satisfy the performance obligation through the transfer of services to the customer. For service plan based on usage, where monthly usage exceeds the allowance, the overage usage represents options held by the customer for incremental services and the usage-based fee is recognized when the customer exercises the option. Income from other telecommunications services are recognized when services are rendered. Customers are invoiced in advance on a monthly basis or invoiced according to the pre-agreed payment schedule as set out in the customer contracts.

For the sales of the handsets, equipment and gifts, revenue is generally recognized when control passes to the customer, being when the products are delivered to and accepted by the customer. The customer has full discretion over the handsets, equipment and gifts and there are no unfulfilled obligations that can affect the customer's acceptance of those goods. Customers are invoiced immediately or invoiced according to the pre-agreed payment schedule as set out in the customer contracts.

When the Reward Points are awarded to the members, such revenue at their relative stand-alone selling price is deferred as a liability until the Reward Points are redeemed. Breakage, referring to Reward Points that are expected to expire, is recognized and determined based on assumptions such as historical experience, future redemption pattern and programme design.

Revenue from enterprise solutions services is recognized over time as the Groups' performance creates or enhances an asset that the customer controls as the asset is created or enhanced. Input method is used to measure the progress as it depicts the Groups' performance in transferring the control of the asset. The progress is measured by reference to the percentage of contract costs incurred to date to estimated total contract costs for the contract. When the outcome of a contract cannot be estimated reliably, revenue is recognized only to the extent that it is probable the contract costs incurred will be recoverable. Customers make settlement periodically throughout the contract period according to the pre-agreed payment schedule. Accumulated experience is used to estimate the variable consideration to the extent that it is highly probable that a significant reversal will not occur, using the expected value method, to be included in the transaction price.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**x. Revenue recognition (continued)****ii. Pay TV**

Pay TV includes interactive pay-TV services in Hong Kong.

Subscription income from the interactive pay-TV services is recognized ratably over the contract period which generally coincides with when the services are rendered.

Advertising income from interactive pay-TV services is recognized (i) when the advertisements are telecast on pay-TV, delivered through internet and mobile platforms; or (ii) ratably over the contractual display period of the contract when the advertisements are placed on the Groups' website and mobile platforms.

Customers are invoiced in advance on a monthly basis or invoiced according to the pre-agreed payment schedule as set out in the customer contracts.

y. Interest income

Interest income is recognized on a time-apportioned basis using the effective interest method.

z. Dividend income

Dividend income is recognized when the shareholder's right to receive payment is established.

aa. Borrowing costs

Borrowing costs are expensed in the consolidated income statement in the period in which they are incurred, except to the extent that they are capitalized as being directly attributable to the acquisition, construction or production of an asset which necessarily takes a substantial period of time to get ready for its intended use or sale.

The capitalization of borrowing costs as part of the cost of a qualifying asset commences when expenditure for the asset is being incurred, borrowing costs are being incurred and activities that are necessary to prepare the asset for its intended use or sale are in progress. Capitalization of borrowing costs is suspended or ceases when substantially all the activities necessary to prepare the qualifying asset for its intended use or sale are interrupted or completed.

Discounts or premiums relating to borrowings, and ancillary costs incurred in connection with arranging borrowings, to the extent that they are regarded as adjustments to interest costs, are recognized as expenses over the period of the borrowing using the effective interest method.

ab. Cost of sales and general and administrative expenses

General and administrative expenses represent operating costs incurred other than cost of sales. Cost of sales mainly includes cost of inventories sold, connectivity costs and staff costs relating to sales; while general and administrative expenses mainly include depreciation of property, plant and equipment, depreciation of right-of-use assets, amortization of land lease premium, amortization of intangible assets, amortization of fulfillment costs, amortization of customer acquisition costs, impairment loss for trade receivables and other staff costs.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

ac. Income tax

- i. Income tax for the year comprises current income tax and movements in deferred income tax assets and liabilities. Current income tax and movements in deferred income tax assets and liabilities are recognized in the consolidated income statement except to the extent that they relate to items recognized in other comprehensive income or directly in equity, in which case the relevant amounts are recognized in other comprehensive income or directly in equity, respectively.
- ii. Current income tax is the expected tax payable on the taxable income for the year, using tax rates enacted or substantively enacted at the end of the reporting period, and any adjustment to income tax payable in respect of previous years.
- iii. Deferred income tax assets and liabilities arise from deductible and taxable temporary differences respectively, being the differences between the carrying amounts of assets and liabilities for financial reporting purposes and the tax bases. Deferred income tax assets also arise from unused tax losses and unused tax credits.

All deferred income tax liabilities, and all deferred income tax assets to the extent that it is probable that future taxable profits will be available against which the asset can be utilized, are recognized. Future taxable profits that may support the recognition of deferred income tax assets arising from deductible temporary differences include those that will arise from the reversal of existing taxable temporary differences, provided those differences relate to the same taxation authority and the same taxable entity, and are expected to reverse either in the same period as the expected reversal of the deductible temporary difference or in periods into which a tax loss arising from the deferred income tax asset can be carried back or forward. The same criteria are adopted when determining whether existing taxable temporary differences support the recognition of deferred income tax assets arising from unused tax losses and credits, that is, those differences are taken into account if they relate to the same taxation authority and the same taxable entity, and are expected to reverse in a period, or periods, in which the tax loss or credit can be utilized.

The amount of deferred income tax recognized is measured based on the expected manner of realization or settlement of the carrying amount of the assets and liabilities, using tax rates enacted or substantively enacted at the end of the reporting period and are expected to apply when the related deferred income tax asset is realized and the deferred income tax liability is settled. Deferred income tax assets and liabilities are not discounted.

The carrying amount of a deferred income tax asset is reviewed at the end of each reporting period and is reduced to the extent that it is no longer probable that sufficient taxable profits will be available to allow the related tax benefit to be utilized. Any such reduction is reversed to the extent that it becomes probable that sufficient taxable profits will be available.

- iv. Current income tax balances and deferred income tax balances, and movements therein, are presented separately from each other and are not offset. Current income tax assets are offset against current income tax liabilities, and deferred income tax assets against deferred income tax liabilities, if the Groups have the legally enforceable right to set off current income tax assets against current income tax liabilities and the following additional conditions are met:
 - in the case of current income tax assets and liabilities, the Groups intend either to settle on a net basis, or to realize the asset and settle the liability simultaneously; or
 - in the case of deferred income tax assets and liabilities, if they relate to income taxes levied by the same taxation authority on either:
 - the same taxable entity; or
 - different taxable entities, which, in each future period in which significant amounts of deferred income tax liabilities or assets are expected to be settled or recovered, intend to realize the current income tax assets and settle the current income tax liabilities on a net basis or realize and settle simultaneously.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**ad. Employee benefits****i. Short-term employee benefits**

Salaries, annual bonuses, annual leave and the cost of non-monetary benefits are accrued in the year in which the associated services are rendered by employees. Where payment or settlement is deferred and the effect would be material, these amounts are stated at their present values.

ii. Retirement benefits

The Groups operate defined contribution retirement schemes (including the Mandatory Provident Fund) for their employees, the assets of which are generally held in separate trustee-administered funds. The schemes are generally funded by contributions from the relevant companies in the Groups.

For defined contribution retirement schemes, the Groups pay contributions to publicly or privately administered pension insurance plans on a mandatory, contractual or voluntary basis. The Groups have no further payment obligations once the contributions have been paid.

The Groups' contributions to the defined contribution retirement schemes are recognized as an expense in the consolidated income statement in the period to which the contributions relate.

iii. Share-based payments

PCCW and the Groups operate share option schemes where employees of the Groups (and including directors) are granted options to acquire shares of PCCW (the "PCCW Shares") and Share Stapled Units at specified exercise prices. The fair value of the employee services received in exchange for the grant of options to acquire PCCW Shares and Share Stapled Units is recognized as staff costs in the consolidated income statement with a corresponding increase in a capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity and an employee share-based compensation reserve respectively. The fair value of the options granted is measured at grant date using the trinomial option pricing model, taking into account the terms and conditions upon which the options were granted, and spread over the respective vesting period during which the employees become unconditionally entitled to the options. During the vesting period, the number of options that are expected to vest is reviewed. Any adjustment to the cumulative fair value recognized in prior years regarding the options to acquire PCCW Shares and options to acquire Share Stapled Units is charged or credited in the consolidated income statement for the year of the review, unless the original staff costs qualify for recognition as an asset, with a corresponding adjustment to the capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity and the employee share-based compensation reserve respectively. On vesting date, the amount recognized as staff costs regarding the options to acquire PCCW Shares and options to acquire Share Stapled Units is adjusted to reflect the actual number of options that vest (with a corresponding adjustment to the capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity and the employee share-based compensation reserve respectively). The equity amount regarding the options to acquire PCCW Shares remains in the capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity. The equity amount regarding the options to acquire Share Stapled Units is recognized in the employee share-based compensation reserve until either the options are exercised (when it is transferred to the share capital and share premium account) or the options expire (when it is released directly to retained profits).

Share Stapled Units may be granted to employees at nil consideration under the Company's Share Stapled Units award schemes, under which the awarded Share Stapled Units are either newly issued at issue price (the "HKT Share Stapled Units Subscription Scheme") or purchased from the open market (the "HKT Share Stapled Units Purchase Scheme").

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

ad. Employee benefits (continued)

iii. Share-based payments (continued)

The cost of Share Stapled Units purchased from the open market under the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme and the issue price of newly issued Share Stapled Units under the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme are recognized in equity as treasury stock. The fair value of the employee services received in exchange for the grant of Share Stapled Units under both schemes is recognized as staff costs in the consolidated income statement with a corresponding increase in an employee share-based compensation reserve under equity. The fair value of the awarded Share Stapled Units is measured by the quoted market price of the Share Stapled Units at grant date and is charged to the consolidated income statement over the respective vesting period. During the vesting period, the number of awarded Share Stapled Units that are expected to vest is reviewed. Any adjustment to the cumulative fair value recognized in prior years is charged or credited in the consolidated income statement for the year of the review, unless the original staff costs qualify for recognition as an asset, with a corresponding adjustment to the employee share-based compensation reserve. On vesting date, the amount recognized as staff costs is adjusted to reflect the actual number of awarded Share Stapled Units that vest (with a corresponding adjustment to the employee share-based compensation reserve) and the cost of awarded Share Stapled Units recognized as treasury stock is transferred to the employee share-based compensation reserve with the difference recognized in equity.

PCCW also grants PCCW Shares to employees of PCCW and its participating companies at nil consideration under its share award schemes, under which the awarded PCCW Shares are either newly issued at issue price (the "PCCW Subscription Scheme") or purchased from the open market (the "PCCW Purchase Scheme").

Awards under the PCCW Purchase Scheme and the PCCW Subscription Scheme are accounted for as cash-settled share-based payments. The fair value of the awarded PCCW Shares represents the quoted market price of PCCW Shares purchased from the open market under the PCCW Purchase Scheme and the issue price of PCCW Shares under the PCCW Subscription Scheme is recognized as financial assets at FVPL, and subsequently measured at fair value. The fair value of the employee services received in exchange for the grant of PCCW Shares is recognized as staff costs in the consolidated income statement over the respective vesting period with a corresponding obligation being recognized. During the vesting period, the number of awarded PCCW Shares that are expected to vest is reviewed. Any adjustment to the cumulative fair value recognized in prior years is charged or credited in the consolidated income statement for the year of the review, unless the original staff costs qualify for recognition as an asset, with a corresponding adjustment to the obligation. On vesting date, the amount recognized as staff costs is adjusted to reflect the actual number of awarded PCCW Shares that vest (with a corresponding adjustment to the obligation) and the carrying amount of awarded PCCW Shares recognized in the financial assets at FVPL is offset with the obligation.

iv. Termination benefits

Termination benefits are recognized only after either an agreement is in place with the appropriate employee representatives specifying the terms of redundancy and the number of employees affected, or individual employees have been advised of the specific terms.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**ae. Translation of foreign currencies**

Items included in the financial statements of each of the Groups' entities are measured using the currency of the primary economic environment in which the entity operates (the "functional currency"). The HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements are presented in Hong Kong dollars (HK\$), which is the functional currency of HKT Trust and HKT Limited and presentation currency of the Groups.

Foreign currency transactions during the year are translated at the foreign exchange rates ruling at the transaction dates. Monetary assets and liabilities denominated in foreign currencies are translated at the foreign exchange rates ruling at the end of the reporting period. Exchange gains and losses are recognized in the consolidated income statement, except when deferred in other comprehensive income as qualifying cash flow hedges.

Non-monetary assets and liabilities that are measured in terms of historical cost in a foreign currency are translated using the foreign exchange rates ruling at the transaction dates. Non-monetary assets and liabilities denominated in foreign currencies that are stated at fair value are translated using the foreign exchange rates ruling at the dates when the fair values are determined. Exchange differences arising on translation of non-monetary assets and liabilities, such as equity instruments at FVPL, are reported as part of the fair value gain or loss in the consolidated income statement. Exchange differences arising on translation of non-monetary assets and liabilities, such as equity instruments measured at FVOCI, are included in the fair value gain or loss in the financial assets at FVOCI reserve under equity.

The results of foreign operations are translated into Hong Kong dollars at the exchange rates approximating the foreign exchange rates ruling at the dates of transactions. Items of foreign operations in the consolidated statement of financial position, including goodwill arising on consolidation of foreign operations, are translated into Hong Kong dollars at the foreign exchange rates ruling at the end of the reporting period. The resulting exchange differences are recognized in other comprehensive income and accumulated separately in the currency translation reserve under equity.

On consolidation, exchange differences arising from the translation of the net investment in foreign operations, and of borrowings and other currency instruments designated as hedges of such investments, if any, are taken to other comprehensive income and accumulated separately in the currency translation reserve under equity. On disposal of a foreign operation, the cumulative amount of the exchange differences recognized in the currency translation reserve under equity which relates to that foreign operation is included in the calculation of the profit or loss on disposal.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

af. Related parties

For the purposes of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, a party is considered to be related to the Groups if:

- i. the party has the ability, directly or indirectly through one or more intermediaries, to control the Groups or exercise significant influence over the Groups in making financial and operating policy decisions, or has joint control over the Groups;
- ii. the Groups and the party are subject to common control;
- iii. the party is an associate of the Groups or a joint venture in which the Groups are venturers;
- iv. the party is a member of key management personnel of the Groups or the Groups' parent, or a close family member of such an individual, or is an entity under the control, joint control or significant influence of such individual;
- v. the party is a close family member of a party referred to in note i above or is an entity under the control, joint control or significant influence of such party;
- vi. the party is a post-employment benefit plan which is for the benefit of employees of the Groups or of any entity that is a related party of the Groups; or
- vii. the entity, or any member of the Groups of which it is a part, provides key management personnel services to the Groups.

Close family members of an individual are those family members who may be expected to influence, or be influenced by, that individual in their dealings with the entity.

ag. Segment reporting

Operating segments are reported in a manner consistent with the internal reporting provided to the chief operating decision-maker (the "CODM"). The CODM, who is responsible for allocating resources and assessing performance of the operating segments, has been identified as the Groups' senior executive management.

Segment revenue, expenses, results and assets include items directly attributable to a segment as well as those that can be allocated on a reasonable basis to that segment. Segment revenue, expense and segment performance include transactions between segments. Inter-segment pricing is based on similar terms to those available to other external parties for similar services. Inter-segment transactions are eliminated in full in preparing the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements.

Segment capital expenditure is the total cost incurred during the year to acquire segment assets (including property, plant and equipment and interests in leasehold land) that are expected to be used for more than one year.

ah. Distribution/dividend to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company

Distribution/dividend to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company is recognized as a liability in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements and the Company's financial statements in the period in which the distribution/dividend is approved by the Boards or holders of Share Stapled Units/shares of the Company, where appropriate.

ai. Government grants

Grants from the government are recognized at their fair value where there is a reasonable assurance that the grant will be received and the Groups will comply with all attached conditions. Government grants relating to costs are deferred and recognized in the profit or loss over the period necessary to match them with the costs that they are intended to compensate. The Groups netted off government grants relating to employee benefits with staff cost in cost of sales and general and administrative expenses that are not capitalized. Government grants relating to capitalized staff cost are directly deducted from the carrying amount of the respective assets recognized and credited to the consolidated income statement on a straight-line basis over the expected lives of the related assets.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

4 CRITICAL ACCOUNTING ESTIMATES AND JUDGEMENTS

Estimates and judgements are continually evaluated and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be reasonable under the circumstances.

The Groups make estimates and assumptions concerning the future. The resulting accounting estimates will, by definition, seldom equal the related actual results. Notes 19 and 37 contain information about the assumptions and their risk factors relating to goodwill impairment and financial instruments. Management has also made judgements in applying the Groups' accounting policies. These judgements and other key sources of estimation uncertainty are discussed below:

i. Impairment of assets (other than investments in debt instruments and trade and other receivables)

At the end of each reporting period, the Groups review internal and external sources of information to identify indications that the following assets may be impaired or, except in the case of goodwill, an impairment loss previously recognized no longer exists or may have decreased:

- property, plant and equipment;
- right-of-use assets;
- interests in leasehold land;
- fulfillment costs;
- customer acquisition costs;
- intangible assets;
- interests in associates and joint ventures; and
- goodwill.

If any such indication exists, the asset's recoverable amount is estimated. Impairment tests are performed for CGUs containing goodwill, intangible assets that are not yet available for use and intangible assets that have indefinite useful lives annually whether or not there is any indication of impairment. Significant judgement is used to identify CGUs appropriately. An impairment loss is recognized in the consolidated income statement whenever the carrying amount of an asset exceeds its recoverable amount.

The sources utilized to identify indications of impairment are often subjective in nature and the Groups are required to use judgement in applying such information to their business. The Groups' interpretation of this information has a direct impact on whether an impairment assessment is performed as at the end of any given reporting period. Such information is particularly significant as it relates to the Groups' telecommunications services and infrastructure businesses in Hong Kong.

If an indication of impairment is identified, such information is further subject to an exercise that requires the Groups to estimate the recoverable amount, representing the greater of the asset's fair value less costs of disposal or its value in use. Depending on the Groups' assessment of the overall materiality of the asset under review and complexity of deriving a reasonable estimate of the recoverable amount, the Groups may perform such assessments utilizing internal resources or the Groups may engage external advisors to counsel the Groups. Regardless of the resources utilized, the Groups are required to make many assumptions to make these assessments, including the utilization of such asset, the cash flows to be generated, appropriate market discount rates and the projected market and regulatory conditions. Changes in any of these assumptions could result in a material change to future estimates of the recoverable amount of any asset.

4 CRITICAL ACCOUNTING ESTIMATES AND JUDGEMENTS (CONTINUED)

ii. Revenue recognition

Under certain arrangements, apart from the provision of telecommunications, media entertainment, and other services, the Groups have certain other performance obligations to customers such as the delivery of handsets, equipment, gifts and Reward Points. When multiple-element arrangements exist, the total transaction price receivable from customers is allocated among the Groups' performance obligations on a relative stand-alone selling price basis. Management estimates the stand-alone selling price at contract inception mainly based on observable retail prices and observable market data of the respective performance obligations in similar circumstances to similar customers. If a bundled discount is granted, it is allocated to respective performance obligations based on their relative stand-alone selling prices. The Groups are required to exercise considerable judgement in relation to estimating the stand-alone selling price.

iii. Deferred income tax

While deferred income tax liabilities are provided in full on all taxable temporary differences, deferred income tax assets are recognized only to the extent that it is probable that future taxable profit will be available against which the temporary differences can be utilized. In assessing the amount of deferred income tax assets that need to be recognized, the Groups consider future taxable income and business plans. In the event that the Groups' estimates of projected future taxable income and benefits from available business plans are changed, or changes in current income tax regulations are enacted that would impact the timing or extent of the Groups' ability to utilize the tax benefits of net operating loss carry-forwards in the future, adjustments to the recorded amount of net deferred income tax assets and income tax expense would be made.

iv. Current income tax

The Groups make a provision for current income tax based on estimated taxable income for the year. The estimated income tax liabilities are primarily computed based on the tax computations as prepared by the Groups. Nevertheless, from time to time, there are queries raised by the tax authorities of Hong Kong and elsewhere on the tax treatment of items included in the tax computations and certain non-routine transactions. If the Groups consider it probable that these queries or judgements will result in different tax positions, the most likely amounts of the outcome will be estimated and adjustments to the income tax expense and income tax liabilities will be made accordingly.

v. Lives of property, plant and equipment, intangible assets (other than goodwill), fulfillment costs and customer acquisition costs

The Groups have significant property, plant and equipment, intangible assets (other than goodwill), fulfillment costs and customer acquisition costs. The Groups are required to estimate the lives of property, plant and equipment, intangible assets (other than goodwill), fulfillment costs and customer acquisition costs in order to ascertain the amount of depreciation and amortization charges for each reporting period.

The lives are estimated at the time of purchase of these assets or direct costs incurred in fulfilling or acquiring a contract with a customer after considering future technology changes, business developments, the Groups' strategies and expected lives of customer contracts. The Groups perform annual reviews to assess the appropriateness of the estimated lives. Such reviews take into account any unexpected adverse changes in circumstances or events, including declines in projected operating results, negative industry or economic trends and rapid advancements in technology. The Groups extend or shorten the lives according to the results of the reviews.

vi. Lease term and discount rate determination

In determining the lease term, management considers facts and circumstances such as conditions of the Groups' existing leases, future technology changes, business developments and the Groups' strategies, that create an economic incentive to exercise an extension option, or not exercise a termination option. Extension options (or periods after termination options) are only included in the lease term if the lease is reasonably certain to be extended (or not terminated). Potential future cash outflows are not included in the lease liability because it is not reasonably certain that the leases will be extended (or not terminated). The assessment is reviewed if a significant event or a significant change in circumstances occurs which affects this assessment and that is within the control of the lessee. As at December 31, 2020, potential future undiscounted cash outflows of HK\$570 million (2019: HK\$445 million) have not been included in the lease liabilities because it is not reasonably certain that the lease will be extended (or not terminated).

In determining the discount rate, the Groups are required to exercise considerable judgement by taking into account the nature of the underlying assets and the terms and conditions of the leases, at both the commencement date and the effective date of the lease modification (if any).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

5 STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF THE COMPANY

In HK\$ million	Note	2019	2020
ASSETS AND LIABILITIES			
Non-current assets			
Interests in subsidiaries		28,497	30,517
		28,497	30,517
Current assets			
Prepayments and deposits		2	4
Amounts due from subsidiaries		7,140	5,074
Tax recoverable		–	4
		7,142	5,082
Current liabilities			
Accruals and other payables		(4)	(3)
Amounts due to subsidiaries		(107)	(158)
Current income tax liabilities		(32)	–
		(143)	(161)
Net assets		35,496	35,438
CAPITAL AND RESERVES			
Share capital	31(a)	8	8
Reserves	31(b)	35,488	35,430
Total equity		35,496	35,438

Approved and authorized for issue by the board of directors of the Company on February 4, 2021 and signed on behalf of the board of directors of the Company by

Li Tzar Kai, Richard
Director

Hui Hon Hing, Susanna
Director

6 RELATED PARTY TRANSACTIONS

PCCW is the controlling holder of Share Stapled Units. CAS Holding No. 1 Limited and PCCW are the immediate and ultimate holding companies of the Company respectively.

During the year, the Groups had the following significant transactions with related parties:

In HK\$ million	Note	2019	2020
Telecommunications service fees and data center service fees received or receivable from a substantial shareholder of PCCW	a	71	77
Telecommunications service fees and data center service fees paid or payable to a substantial shareholder of PCCW	a	95	101
Telecommunications service fees, consultancy service charges and interest income received or receivable from joint ventures	a	42	36
Telecommunications service fees, equipment purchase costs, outsourcing fees, rental charges and interest expense paid or payable to joint ventures	a	292	241
Telecommunications service fees, connectivity service fees, interest income, call center service charges, equipment sales, consultancy service charges and other costs recharge received or receivable from associates	a	6	20
Telecommunications service fees, data center service fees, connectivity service fees, equipment sales, insurance premium, insurance agency service charges and other costs recharge received or receivable from related parties under a common holder of Share Stapled Units/shareholder with the Company	a	44	47
Insurance premium and other costs recharge paid or payable to related parties under a common holder of Share Stapled Units/shareholder with the Company	a	10	8
Telecommunications service fees, connectivity service fees, management fee, equipment sales, content provision fees and other costs recharge received or receivable from fellow subsidiaries	a	2,109	2,043
Telecommunications service fees, IT and logistics charges, system development and integration charges, consultancy service charges, rental and facilities management charges, management fee and other costs recharge paid or payable to fellow subsidiaries	a	2,968	2,421
Key management compensation	b	26	27

a. The above transactions were carried out after negotiations between the Groups and the related parties in the ordinary course of business and on the basis of estimated market value as determined by the directors. In respect of transactions for which the price or volume has not yet been agreed with the relevant related parties, the directors have determined the relevant amounts based on their best estimation.

b. Details of key management compensation

In HK\$ million	2019	2020
Salaries and other short-term employee benefits	20	20
Share-based compensation	5	6
Post-employment benefits	1	1
	26	27

c. Balances with related companies and a fellow subsidiary

As at December 31, 2020, other than as specified in notes 21 and 22 and the amount due to a related company which comprised an unsecured loan of HK\$24 million and an unsecured loan of HK\$18 million which bears interest at 2.5% per annum and 5% per annum respectively and are repayable within 1 year, the amount due to a fellow subsidiary and the other amounts due from related companies are unsecured, non-interest bearing, and have no fixed repayment terms.

As at December 31, 2019, other than as specified in notes 21 and 22 and certain unsecured loans included in the amounts due from related companies totaling HK\$19 million which bear interest at 3% per annum and are repayable within 1 year, the amount due to a fellow subsidiary and the other amounts due from related companies are unsecured, non-interest bearing, and have no fixed repayment terms.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

7 SEGMENT INFORMATION

The CODM is the Groups' senior executive management. The CODM reviews the Groups' internal reporting in order to assess performance and allocate resources and the segment information is reported below in accordance with this internal reporting.

The CODM considers the business from the product perspective and assesses the performance of the following segments:

- Telecommunications Services ("TSS") is the leading provider of telecommunications and related services which include local telephony, local data and broadband, international telecommunications, enterprise solutions, and other telecommunications businesses such as customer premises equipment sales, outsourcing, consulting, and contact centers. It operates primarily in Hong Kong, and also serves customers in mainland China and other parts of the world.
- Mobile includes the Groups' mobile telecommunications businesses in Hong Kong.
- Pay TV includes interactive pay-TV services in Hong Kong.
- Other businesses of the Groups ("Other Businesses") primarily comprises new business areas such as The Club and HKT Financial Services, and corporate support functions.

The CODM assesses the performance of the operating segments based on a measure of adjusted earnings before interest, tax, depreciation and amortization ("EBITDA"). EBITDA represents earnings before interest income, finance costs, income tax, depreciation and amortization, gain/loss on disposal of property, plant and equipment, interests in leasehold land, right-of-use assets and intangible assets, net other gains/losses, losses on property, plant and equipment, restructuring costs, impairment losses on goodwill, tangible and intangible assets and interests in associates and joint ventures, and the Groups' share of results of associates and joint ventures.

Segment revenue, expense and segment performance include transactions between segments. Inter-segment pricing is based on similar terms to those available to other external parties for similar services. The revenue from external parties reported to the CODM is measured in a manner consistent with that in the consolidated income statement.

Information regarding the Groups' reportable segments as provided to the Groups' CODM is set out below:

In HK\$ million	TSS	Mobile	2019 Other Businesses	Eliminations	Consolidated
Revenue					
External revenue	21,265	11,612	226	–	33,103
Inter-segment revenue	688	202	10	(900)	–
Total revenue	21,953	11,814	236	(900)	33,103
External revenue from contracts with customers:					
Timing of revenue recognition					
At a point in time	2,324	3,306	72	–	5,702
Over time	18,874	8,306	154	–	27,334
External revenue from other sources:					
Rental income	67	–	–	–	67
	21,265	11,612	226	–	33,103
Results					
EBITDA	8,360	5,068	(611)	–	12,817
Other information					
Capital expenditure (including property, plant and equipment and interests in leasehold land) incurred during the year	1,675	881	146	–	2,702

7 SEGMENT INFORMATION (CONTINUED)

In HK\$ million	2020					Consolidated
	TSS	Mobile	Pay TV	Other Businesses	Eliminations	
Revenue						
External revenue	21,608	10,130	418	233	–	32,389
Inter-segment revenue	749	236	229	8	(1,222)	–
Total revenue	22,357	10,366	647	241	(1,222)	32,389
External revenue from contracts with customers:						
Timing of revenue recognition						
At a point in time	2,672	2,519	9	61	–	5,261
Over time	18,868	7,611	409	161	–	27,049
External revenue from other sources:						
Rental income	68	–	–	11	–	79
	21,608	10,130	418	233	–	32,389
Results						
EBITDA	8,412	4,747	174	(806)	–	12,527
Other information						
Capital expenditure (including property, plant and equipment and interests in leasehold land) incurred during the year	1,419	875	31	112	–	2,437

A reconciliation of total segment EBITDA to profit before income tax is provided as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Total segment EBITDA	12,817	12,527
(Loss)/Gain on disposal of property, plant and equipment, net	(2)	2
Depreciation and amortization	(5,121)	(5,341)
Other gains, net	3	361
Finance costs, net	(1,372)	(1,296)
Share of results of associates	(33)	(68)
Share of results of joint ventures	(18)	(11)
Profit before income tax	6,274	6,174

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

7 SEGMENT INFORMATION (CONTINUED)

The following table sets out information about the geographical location of the Groups' revenue from external customers. In presenting information on the basis of geographical segments, segment revenue is based on the geographical location that the Groups derive revenue from customers.

In HK\$ million	2019	2020
Hong Kong (place of domicile)	28,201	27,024
Mainland and other parts of China	544	942
Others	4,358	4,423
	33,103	32,389

As at December 31, 2020, the total of non-current assets, other than financial instruments and deferred income tax assets, located in Hong Kong was HK\$88,937 million (2019: HK\$85,692 million), and the total of these non-current assets located in other countries was HK\$2,957 million (2019: HK\$2,909 million).

8 REVENUE

In HK\$ million	2019	2020
Revenue from contracts with customers	33,036	32,310
Revenue from other sources: rental income	67	79
	33,103	32,389

a. Revenue recognition in relation to contract liabilities

In HK\$ million	2019	2020
Revenue recognized that was included in the contract liability balance at the beginning of the year	1,415	1,361

b. Unsatisfied long-term fixed-price contracts

In HK\$ million	2019	2020
Aggregate amount of the transaction price allocated to long-term fixed-price contracts that are partially or fully unsatisfied as at December 31,	16,658	18,670

As at December 31, 2020, management expected that 58% and 25% (2019: 60% and 25%) of the transaction price allocated to the unsatisfied long-term fixed-price contracts would be recognized as revenue during the first and second year respectively after the end of the reporting period. The remaining 17% (2019: 15%) would be recognized as revenue in the periods afterwards. The amount disclosed above does not include unsatisfied performance obligation that is related to the Groups' contracts with customers with duration of one year or less and contracts with customers billed directly according to performance completed to date.

9 OTHER GAINS, NET

In HK\$ million	2019	2020
Negative goodwill on acquisition of subsidiaries (note 41(a)(i))	–	692
Write-off of intangible assets (note 20)	–	(302)
Loss on disposal of subsidiaries, net	–	(35)
Others	3	6
	3	361

10 PROFIT BEFORE INCOME TAX

Profit before income tax was stated after charging and crediting the following:

a. Staff costs

In HK\$ million	2019	2020
Salaries, bonuses and other benefits	2,057	1,803
Share-based compensation expenses	39	39
Retirement costs for staff under defined contribution retirement schemes	308	296
	2,404	2,138
Less: staff costs included in cost of sales	(835)	(733)
Staff costs included in general and administrative expenses	1,569	1,405

b. Cost of sales

In HK\$ million	2019	2020
Cost of inventories sold	5,469	5,130
Connectivity costs	6,386	6,741
Staff costs	835	733
Write-back of provision for inventory obsolescence, net	(2)	(16)
Others	3,099	3,115
	15,787	15,703

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

10 PROFIT BEFORE INCOME TAX (CONTINUED)

Profit before income tax was stated after charging and crediting the following: (continued)

c. General and administrative expenses

In HK\$ million	2019	2020
Staff costs	1,569	1,405
Impairment loss for trade receivables	222	256
Depreciation of property, plant and equipment	1,150	1,118
Depreciation of right-of-use assets – land and buildings	1,259	1,302
Depreciation of right-of-use assets – network capacity and equipment	234	175
Amortization of land lease premium – interests in leasehold land	12	13
Amortization of intangible assets	1,126	1,327
Amortization of fulfillment costs	489	481
Amortization of customer acquisition costs	851	925
Exchange (gains)/losses, net	(145)	107
Less: cash flow hedges: transfer from equity	160	(73)
Loss/(Gain) on disposal of property, plant and equipment, net	2	(2)
Remuneration to the Company's auditor		
– audit and audit related services	15	16
– non-audit services	3	3
Remuneration to other auditors		
– audit and audit related services	6	7
– non-audit services	2	1
Others	2,667	2,437
	9,622	9,498

During the year ended December 31, 2020, the Groups have recognized in the consolidated income statement a subsidy of HK\$365 million from the Employment Support Scheme introduced by the Government of Hong Kong.

11 FINANCE COSTS, NET

In HK\$ million	2019	2020
Interest expense, excluding interest expense on lease liabilities	(1,441)	(1,314)
Interest expense on lease liabilities	(92)	(86)
Notional accretion on carrier licence fee liabilities	(35)	(36)
Other finance costs	(6)	(4)
Hedge ineffectiveness: cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts		
– cash flow hedges for foreign currency risk	48	4
Hedge ineffectiveness: interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk	7	(2)
Cash flow hedges: transfer from equity	8	9
Impact of re-designation of fair value hedges	(16)	(16)
	(1,527)	(1,445)
Interest capitalized in property, plant and equipment and intangible assets (note a)	91	105
Total finance costs	(1,436)	(1,340)
Interest income	56	37
Interest income from net investment in leases	8	7
Total interest income	64	44
Finance costs, net	(1,372)	(1,296)

a. The capitalization rate used to determine the amount of interest eligible for capitalization in property, plant and equipment and intangible assets ranged from 2.88% to 3.49% for the year ended December 31, 2020 (2019: from 2.97% to 3.47%).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

12 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS

Details of directors' emoluments are set out below:

a. Directors' emoluments – cash and cash equivalents paid/payable

	2019							
In HK\$ million	Directors' fees	Salaries	Allowances	Benefits in kind ¹	Bonuses ²	Retirement scheme contributions	Share-based compensation ³	Total
Executive directors								
Li Tzar Kai, Richard	–	–	–	–	–	–	–	–
Hui Hon Hing, Susanna	–	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	20.79
Non-executive directors								
Srinivas Bangalore Gangaiah	–	–	–	–	–	–	–	–
Peter Anthony Allen	–	–	–	–	–	–	–	–
Chang Cho Yee, Mico	0.25	–	–	–	–	–	–	0.25
Li Fushen	0.25 ⁴	–	–	–	–	–	–	0.25
Zhu Kebing	0.25 ⁵	–	–	–	–	–	–	0.25
Independent non-executive directors								
Professor Chung Hsin Kang	0.25	–	–	–	–	–	–	0.25
Sunil Yama	0.37 ⁶	–	–	–	–	–	–	0.37
Aman Mehta	0.37 ⁷	–	–	–	–	–	–	0.37
Frances Walkaun Wong	0.37 ⁸	–	–	–	–	–	–	0.37
	2.11	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	22.90

Notes:

1. Benefits in kind mainly includes medical insurance premium.
2. Bonus amount shown above represents the 2018 bonuses that were paid in 2019. It was determined by reference to the Groups and the individual performance during the year ended December 31, 2018.
3. Share-based compensation amount shown above represents the aggregate fair values at the respective award dates of the PCCW Shares and Share Stapled Units vested in 2019 for the director under the share award schemes.
4. Fee receivable as a non-executive director in 2019 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Li Fushen and China United Network Communications Group Company Limited.
5. Fee receivable as a non-executive director in 2019 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Zhu Kebing and China United Network Communications Group Company Limited.
6. Includes HK\$124,400 fee as Chairman of Audit Committee.
7. Includes HK\$124,400 fee as Chairman of Nomination Committee.
8. Includes HK\$124,400 fee as Chairwoman of Remuneration Committee.

12 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS (CONTINUED)**a. Directors' emoluments – cash and cash equivalents paid/payable (continued)**

In HK\$ million	2020							Total
	Directors' fees	Salaries	Allowances	Benefits in kind ¹	Bonuses ²	Retirement scheme contributions	Share-based compensation ³	
Executive directors								
Li Tzar Kai, Richard	–	–	–	–	–	–	–	–
Hui Hon Hing, Susanna	–	4.69	4.69	0.05	5.56	0.56	5.54	21.09
Non-executive directors								
Srinivas Bangalore Gangalah	–	–	–	–	–	–	–	–
Peter Anthony Allen	–	–	–	–	–	–	–	–
Chung Cho Yee, Mico	0.25	–	–	–	–	–	–	0.25
Li Fushen	0.25 ⁴	–	–	–	–	–	–	0.25
Zhu Kebing	0.25 ⁵	–	–	–	–	–	–	0.25
Independent non-executive directors								
Professor Chang Hsin Kang	0.25	–	–	–	–	–	–	0.25
Sunil Varna	0.37 ⁶	–	–	–	–	–	–	0.37
Aman Mehta	0.37 ⁷	–	–	–	–	–	–	0.37
Frances Waiwun Wong	0.37 ⁸	–	–	–	–	–	–	0.37
	2.11	4.69	4.69	0.05	5.56	0.56	5.54	23.20

Notes:

1. Benefits in kind mainly includes medical insurance premiums.
2. Bonus amount shown above represents the 2019 bonuses that were paid in 2020. It was determined by reference to the Groups and the individual performance during the year ended December 31, 2019.
3. Share-based compensation amount shown above represents the aggregate fair values at the respective award dates of the PCCW Shares and Share Stipled Units vested in 2020 for the director under the share award schemes.
4. Fee receivable as a non-executive director in 2020 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Li Fushen and China United Network Communications Group Company Limited.
5. Fee receivable as a non-executive director in 2020 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Zhu Kebing and China United Network Communications Group Company Limited.
6. Includes HK\$124,400 fee as Chairman of Audit Committee.
7. Includes HK\$124,400 fee as Chairman of Nomination Committee.
8. Includes HK\$124,400 fee as Chairwoman of Remuneration Committee.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

12 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS (CONTINUED)**b. Directors' other services**

No other emoluments were paid to or receivable by any director in respect of directors' other services in connection with the management of the affairs of the Company or its subsidiary undertakings during the year ended December 31, 2020 (2019: nil).

c. Directors' retirement benefits

No retirement benefits were paid to or receivable by any director during the year ended December 31, 2020 by a defined contribution retirement scheme operated by the Groups in respect of services as a director of the Company and its subsidiaries (2019: nil).

No other retirement benefits were paid to or receivable by any director in respect of other services in connection with the management of the affairs of the Company or its subsidiary undertakings during the year ended December 31, 2020 (2019: nil).

d. Directors' termination benefits

No payments or benefits in respect of the termination of directors' services were paid to or receivable by the directors during the year ended December 31, 2020 (2019: nil).

e. Consideration provided to third parties for making available directors' services

No consideration was provided to or receivable by third parties for making available directors' services during the year ended December 31, 2020 (2019: nil).

f. Information about loans, quasi-loans and other dealings entered into by the Company or subsidiary undertakings of the Company, where applicable, in favour of directors

There were no loans, quasi-loans or other dealings in favour of directors, their controlled bodies corporate and connected entities during the year ended December 31, 2020 (2019: nil).

g. Directors' material interests in transactions, arrangements or contracts

No significant transactions, arrangements and contracts in relation to the Groups' business to which the Company was a party and in which a director of the Company had a material interest, whether directly or indirectly, subsisted at the end of the reporting period or at any time during the year ended December 31, 2020 (2019: nil).

12 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS (CONTINUED)**h. Individuals with highest emoluments**

- i. Of the five individuals with the highest emoluments, one (2019: one) is a director of the Company and the Trustee-Manager whose emoluments are disclosed in note 12(a). The emoluments in respect of the four (2019: four) non-director individuals for the year ended December 31, 2020 were as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Salaries, share-based compensation, allowances and benefits in kind	18	18
Bonuses	3	3
Retirement scheme contributions	1	1
	22	22

- ii. The emoluments of the four (2019: four) non-director individuals for the year ended December 31, 2020 were within the following emolument ranges:

	Number of individuals	
	2019	2020
HK\$4,500,001 – HK\$5,000,000	–	2
HK\$5,000,001 – HK\$5,500,000	3	1
HK\$6,500,001 – HK\$7,000,000	1	1
	4	4

13 INCOME TAX**a. Income tax in the consolidated income statement represents:**

In HK\$ million	2019	2020
Current income tax:		
Hong Kong profits tax		
– provision for current year	484	413
– (over)/under provision in respect of prior years	(9)	4
Overseas tax		
– provision for current year	32	14
– (over)/under provision in respect of prior years	(6)	3
Movement of deferred income tax (note 33(a))	536	421
	1,037	855

Hong Kong profits tax is provided at the rate of 16.5% (2019: 16.5%) on the estimated assessable profits for the year.

Overseas tax is calculated on the estimated assessable profits for the year at the rates of taxation prevailing in the respective jurisdictions.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

13 INCOME TAX (CONTINUED)**b. Reconciliation between income tax expense and accounting profit at applicable tax rate:**

In HK\$ million	2019	2020
Profit before income tax	6,274	6,174
Notional tax on profit before income tax, calculated at the Hong Kong tax rate of 16.5% (2019: 16.5%)	1,035	1,019
Effect of different tax rates of subsidiaries operating overseas	18	10
Income not subject to tax	(25)	(225)
Expenses not deductible for tax purposes	56	66
Tax losses not recognized	47	67
(Over)/Under provision in respect of prior years, net	(15)	7
Utilization of previously unrecognized tax losses	(10)	(13)
Recognition of previously unrecognized temporary differences	(11)	(6)
Net losses of associates and joint ventures not deductible for tax purposes	8	13
Corporate income tax incentives	(56)	(83)
Income tax expense	1,037	855

14 DISTRIBUTIONS/DIVIDENDS

In HK\$ million	2019	2020
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year of 30.10 HK cents (2019: 30.01 HK cents) per Share Stapled Unit/ordinary share of the Company	2,272	2,280
Less: distribution/dividend for Share Stapled Units/ordinary shares of the Company held by the Share Stapled Units Award Schemes	-	(1)
	2,272	2,279
Final distribution/dividend declared in respect of the previous financial year, approved and paid during the year of 40.37 HK cents (2019: 39.17 HK cents) per Share Stapled Unit/ordinary share of the Company	2,966	3,058
Less: distribution/dividend for Share Stapled Units/ordinary shares of the Company held by the Share Stapled Units Award Schemes	-	(1)
	2,966	3,057
	5,238	5,336

For the year ended December 31, 2020, the Company proposed a final dividend of 40.97 HK cents per ordinary share, totaling HK\$3,104 million (2019: 40.37 HK cents per ordinary share, totaling HK\$3,058 million) to the HKT Trust after the end of the reporting period.

For the year ended December 31, 2020, the HKT Trust proposed a final distribution of 40.97 HK cents per Share Stapled Unit, totaling HK\$3,104 million (2019: 40.37 HK cents per Share Stapled Unit, totaling HK\$3,058 million) to holders of Share Stapled Units after the end of the reporting period.

The final distribution/dividend proposed after the end of the reporting period, referred to above, is not recognized as a liability as at the end of the reporting period.

15 EARNINGS PER SHARE STAPLED UNIT/SHARE OF THE COMPANY

The calculations of basic and diluted earnings per Share Stapled Unit/share of the Company were based on the following data:

	2019	2020
Earnings (in HK\$ million)		
Earnings for the purpose of basic and diluted earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	5,217	5,303
Number of Share Stapled Units/shares of the Company		
Weighted average number of Share Stapled Units/ordinary shares of the Company	7,571,742,334	7,574,922,662
Effect of Share Stapled Units held under the Share Stapled Units Award Schemes	(642,588)	(195,875)
Weighted average number of Share Stapled Units/ordinary shares of the Company for the purpose of basic earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	7,571,099,746	7,574,726,787
Effect of Share Stapled Units awarded under the Share Stapled Units Award Schemes	1,775,583	1,477,218
Weighted average number of Share Stapled Units/ordinary shares of the Company for the purpose of diluted earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	7,572,875,329	7,576,204,005

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

16 PROPERTY, PLANT AND EQUIPMENT

In HK\$ million	2019					Total
	Buildings	Exchange equipment	Transmission plant	Other plant and equipment	Projects under construction	
Cost						
Beginning of year	1,389	22,508	25,306	14,253	2,622	66,078
Additions	–	552	399	430	1,321	2,702
Additions upon business combination	–	–	–	15	–	15
Disposals	–	(388)	(3)	(106)	–	(497)
Transfers	–	314	762	526	(1,602)	–
Exchange differences	–	1	30	(18)	–	13
End of year	1,389	22,987	26,494	15,100	2,341	68,311
Accumulated depreciation and impairment						
Beginning of year	713	17,682	16,043	11,039	–	45,477
Charge for the year	29	316	489	316	–	1,150
Disposals	–	(388)	(3)	(100)	–	(491)
Exchange differences	–	–	14	(16)	–	(2)
End of year	742	17,610	16,543	11,239	–	46,134
Net book value						
End of year	647	5,377	9,951	3,861	2,341	22,177
Beginning of year	676	4,826	9,263	3,214	2,622	20,601

16 PROPERTY, PLANT AND EQUIPMENT (CONTINUED)

In HK\$ million	2020					Total
	Buildings	Exchange equipment	Transmission plant	Other plant and equipment	Projects under construction	
Cost						
Beginning of year	1,389	22,987	26,494	15,100	2,341	68,311
Additions	-	319	617	303	1,198	2,437
Additions upon business combinations	-	-	-	403	151	554
Disposal of subsidiaries	-	-	-	(249)	-	(249)
Disposals	-	(383)	(3)	(74)	-	(460)
Transfers	-	435	979	182	(1,596)	-
Exchange differences	-	11	57	45	-	113
End of year	1,389	23,369	28,144	15,710	2,094	70,706
Accumulated depreciation and impairment						
Beginning of year	742	17,610	16,543	11,239	-	46,134
Charge for the year	29	371	443	275	-	1,118
Disposal of subsidiaries	-	-	-	(183)	-	(183)
Disposals	-	(382)	(3)	(74)	-	(459)
Exchange differences	-	6	35	36	-	77
End of year	771	17,605	17,018	11,293	-	46,687
Net book value						
End of year	618	5,764	11,126	4,417	2,094	24,019
Beginning of year	647	5,377	9,951	3,861	2,341	22,177

The depreciation charge for the year is included in general and administrative expenses in the consolidated income statement.

During the year ended December 31, 2019, the Groups performed a review to reassess the useful lives of certain property, plant and equipment of the Groups, based on the expectations of the Groups' operational management and technological trends. The reassessment resulted in changes in the estimated useful lives of these assets. The Groups considered this to be a change in accounting estimate and therefore accounted for the change on a prospective basis. As a result of this change in accounting estimate, the Groups' profit attributable to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company for the year ended December 31, 2019 increased by HK\$204 million and the equity attributable to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company as at December 31, 2019 increased by HK\$204 million.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

17 RIGHT-OF-USE ASSETS

In HK\$ million	2019	2020
Land and buildings	2,164	2,183
Network capacity and equipment	272	247
Total	2,436	2,430

The Groups obtain right to control the use of various land and buildings, and network capacity and equipment for a period of time through lease arrangements. Lease arrangements are negotiated on an individual basis and contain a wide range of different terms and conditions including lease payments and lease terms ranging from 1 to 16 years for land and buildings, and from 1 to 10 years for network capacity and equipment. Except for lease covenants mainly related to the maintenance and use of the leased assets that are commonly found in lease arrangements, there are no other covenants or restrictions imposed by the lease agreements. The leased assets may not be used as security for borrowing purposes. The Groups also sublease certain buildings whose lease terms are for the whole of the remaining term of the head leases and have classified the subleases as finance leases.

Additions to the right-of-use assets during the year ended December 31, 2020 were HK\$1,336 million (2019: HK\$1,136 million).

During the year ended December 31, 2020, total cash outflow for leases amounted to HK\$1,712 million (2019: HK\$1,749 million), which included cash outflow for short-term lease expenses amounted to HK\$122 million (2019: HK\$105 million) that were recognized in the consolidated income statement.

The depreciation charge for the year is included in general and administrative expenses in the consolidated income statement.

18 INTERESTS IN LEASEHOLD LAND

In HK\$ million	2019	2020
Cost		
Beginning and end of year	536	536
Accumulated amortization		
Beginning of year	309	321
Charge for the year	12	13
End of year	321	334
Net book value		
End of year	215	202
Beginning of year	227	215

19 GOODWILL

In HK\$ million	2019	2020
Cost		
Beginning of year	49,805	49,814
Additions upon business combination	5	43
Disposal of a subsidiary	–	(47)
Exchange differences	4	6
End of year	49,814	49,816

Impairment tests for CGUs containing goodwill

Goodwill was allocated to the Groups' CGUs identified according to operating segments as follows:

In HK\$ million	2019	2020
TSS		
– Local telephony and data services	31,698	31,739
– Global	1,263	1,224
Mobile	16,853	16,853
Total	49,814	49,816

The recoverable amounts of the CGUs are determined based on value-in-use calculations. These calculations use cash flow projections based on financial budgets approved by management generally covering a 5-year period. Cash flows beyond the projection period are extrapolated using the estimated terminal growth rates stated below.

The key assumptions used for value-in-use calculations in 2020 were as follows:

	2019				2020			
	Average revenue growth rate	Average EBITDA growth rate	Terminal growth rate	Pre-tax discount rate	Average revenue growth rate	Average EBITDA growth rate	Terminal growth rate	Pre-tax discount rate
TSS								
– Local telephony and data services	1%	1%	1%	8%	1%	1%	1%	8%
– Global	1%	2%	3%	13%	1%	3%	3%	13%
Mobile	3%	2%	2%	11%	3%	3%	2%	12%

These assumptions were used for the analysis of each CGU.

There was no impairment required from the review on goodwill. A reasonably possible change in assumptions would not result in impairment and as such disclosure of sensitivity analysis is not considered necessary.

Management determined budgeted revenue and EBITDA growth rates based on past performance and its expectations for market development. The average growth rates used were consistent with the forecasts included in industry reports. The terminal growth rates did not exceed the long-term average growth rates for the businesses in which the CGUs operate.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

20 INTANGIBLE ASSETS

In HK\$ million	Trademarks	Carrier licences	2019 Customer base	Software	Total
Cost					
Beginning of year	1,859	4,552	2,764	4,500	13,675
Additions	–	421	–	2,132	2,553
Write-off	–	(101)	–	–	(101)
Exchange differences	1	–	–	–	1
End of year	1,860	4,872	2,764	6,632	16,128
Accumulated amortization					
Beginning of year	567	1,301	2,151	965	4,984
Charge for the year	90	412	187	437	1,126
Write-off	–	(101)	–	–	(101)
Exchange differences	–	–	1	–	1
End of year	657	1,612	2,339	1,402	6,010
Net book value					
End of year	1,203	3,260	425	5,230	10,118
Beginning of year	1,292	3,251	613	3,535	8,691

In HK\$ million	Trademarks	Carrier licences	Customer base	Software	Capitalized programme costs	Others	Total
Cost							
Beginning of year	1,860	4,872	2,764	6,632	–	–	16,128
Additions	1	364	–	1,956	69	8	2,398
Additions upon business combinations	192	–	210	–	59	59	520
Write-off	–	(98)	(10)	(338)	–	–	(446)
Exchange differences	1	–	–	–	–	–	1
End of year	2,054	5,138	2,964	8,250	128	67	18,601
Accumulated amortization							
Beginning of year	657	1,612	2,339	1,402	–	–	6,010
Charge for the year	96	439	190	575	25	2	1,327
Write-off	–	(98)	(10)	(36)	–	–	(144)
Exchange differences	1	–	(1)	–	–	–	–
End of year	754	1,953	2,518	1,941	25	2	7,193
Net book value							
End of year	1,300	3,185	446	6,309	103	65	11,408
Beginning of year	1,203	3,260	425	5,230	–	–	10,118

The amortization charge for the year is included in general and administrative expenses in the consolidated income statement.

As at December 31, 2019 and 2020, no impairment loss was recognized for the intangible assets. Impairment assessments for intangible assets are performed as part of the impairment assessments for the corresponding CGUs. For details of the accounting policies and the impairment assessments, please refer to notes 3(o)(ii) and 19.

21 INTERESTS IN ASSOCIATES

In HK\$ million	2019	2020
Share of net assets of associates	272	278
Loans due from associates, net	233	8
Provision for impairment	(296)	(75)
	209	211
Investments at cost, unlisted shares	353	387

During the year ended December 31, 2020, no provision for impairment was recognized in the consolidated income statement (2019: nil).

During the year ended December 31, 2020, 東莞捷通達電訊有限公司 (Dongguan Jietongda Telecommunications Company Limited*) ("Jietongda") became a 56.5% owned indirect subsidiary of the Company and is consolidated by the Groups, details of which are set out in note 41(b).

* Unofficial company name

Pursuant to the subscription agreement and the shareholders' agreement, both dated March 27, 2019, for the formation of a joint venture to undertake the business of operating a virtual bank in Hong Kong, the HKT Limited Group subscribed for 15% of the total issued share capital of Mox Bank Limited (formerly known as SC Digital Solutions Limited), a company incorporated in Hong Kong, for an aggregate price of HK\$242 million during the year ended December 31, 2019. Mox Bank Limited is licensed by the Hong Kong Monetary Authority to operate a virtual bank in Hong Kong.

As at December 31, 2019, loans due from associates comprised certain unsecured loans totaling HK\$340 million which bear interest at 3% per annum and are repayable within 1 year, and a secured loan amounted to HK\$6 million, which bears interest at 8% per annum and is repayable within 1 year. As at December 31, 2020, such balance comprised a secured loan amounted to HK\$8 million, which bears interest at 8% per annum and is repayable within 1 year. These loans are considered as equity in nature for which full provision for impairment has been made as at December 31, 2019 and 2020.

a. As at December 31, 2019 and 2020, the Groups considered that there were no principal associates.

b. Contingent liabilities in respect of associates

The Groups' contingent liabilities relating to their associates are disclosed in note 39. As at December 31, 2020, the Groups' share of the contingent liabilities of an associate was HK\$3 million (2019: nil).

c. Summarized unaudited financial information of the Groups' associates

For the year ended December 31, 2020, the aggregate net amounts of the Groups' share of loss after income tax, other comprehensive loss and total comprehensive loss of the individually immaterial associates that are accounted for using the equity method were HK\$68 million (2019: HK\$33 million), nil (2019: nil) and HK\$68 million (2019: HK\$33 million), respectively.

d. Reconciliation of summarized unaudited financial information of the Groups' associates

As at December 31, 2020, the aggregate carrying amount of interests in individually immaterial associates that are accounted for using the equity method was HK\$211 million (2019: HK\$209 million).

During the year ended December 31, 2020, the Groups did not have any unrecognized share of losses of associates (2019: HK\$3 million). As at December 31, 2020, there was no accumulated share of losses of associates unrecognized by the Groups (2019: HK\$10 million).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

22 INTERESTS IN JOINT VENTURES

In HK\$ million	2019	2020
Share of net assets of joint ventures	306	306
Loan due from a joint venture	337	296
	643	602
Investments at cost, unlisted shares	343	343

As at December 31, 2020, all balances with joint ventures are unsecured and non-interest bearing, and have no fixed terms of repayment except that the loan due from a joint venture of HK\$296 million (2019: HK\$337 million) bears interest at HIBOR plus 3% per annum (2019: same). The amount is considered as part of the interests in joint ventures.

a. Particulars of the principal joint venture of the Groups as at December 31, 2020 are as follows:

Company name	Principal place of business/place of incorporation	Principal activities	Amount of issued capital	Interest held by the Company		Measurement method
				Directly	Indirectly	
Genius Brand Limited ("GBL")	Hong Kong	Provision of mobile telecommunications services in Hong Kong	HK\$10,000	–	50%	Equity

GBL is a strategic partnership of the Groups, providing access to advanced connectivity services in Hong Kong for the development of mobile business.

GBL is a private company and there is no quoted market price available for its shares.

b. Commitments and contingent liabilities in respect of joint ventures

As at December 31, 2020, the Groups' commitments in respect of joint ventures are as follows:

In HK\$ million	2019	2020
The Groups' commitments to provide funding	59	29
The Groups' share of joint ventures' capital commitments authorized and contracted for acquisition of property, plant and equipment	12	6
The Groups' share of joint ventures' other commitments	22	24

There were no contingent liabilities relating to the Groups' interests in the joint ventures. As at December 31, 2020, the Groups had no share of contingent liabilities related to the joint ventures (2019: nil).

22 INTERESTS IN JOINT VENTURES (CONTINUED)**c. Summarized unaudited financial information of the Groups' joint ventures**

Set out below is the summarized unaudited financial information of GBL, the principal joint venture of the Groups and being accounted for using the equity method.

In HK\$ million	As at December 31,	
	2019	2020
Non-current assets	801	698
Current assets		
Cash and cash equivalents	6	13
Other current assets (excluding cash and cash equivalents)	31	27
Total current assets	37	40
Current liabilities		
Financial liabilities (excluding trade payables, accruals and other payables)	(323)	(320)
Other current liabilities (including trade payables, accruals and other payables)	(72)	(60)
Total current liabilities	(395)	(380)
Non-current liabilities		
Financial liabilities	(494)	(419)
Other non-current liabilities	(33)	(33)
Total non-current liabilities	(527)	(452)
Net liabilities	(84)	(94)
Equity attributable to equity holders	(84)	(94)

In HK\$ million	For the year ended December 31,	
	2019	2020
Revenue	255	236
Depreciation and amortization	(97)	(94)
Interest expense	(41)	(30)
Profit before income tax	1	2
Income tax	(11)	(12)
Loss after income tax and total comprehensive loss	(10)	(10)
Dividend received from the joint venture	—	—

The information above reflects the amounts presented in the financial statements of the joint venture (not the Groups' share of those amounts) and adjusted for differences in accounting policies between the Groups and the joint venture, if any.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

22 INTERESTS IN JOINT VENTURES (CONTINUED)**c. Summarized unaudited financial information of the Groups' joint ventures (continued)**

For the year ended December 31, 2020, the aggregate net amounts of the Groups' share of loss after income tax, other comprehensive income and total comprehensive income of the individually immaterial joint ventures that are accounted for using the equity method were HK\$6 million (2019: HK\$13 million), HK\$11 million (2019: other comprehensive loss of HK\$7 million) and HK\$5 million (2019: total comprehensive loss of HK\$20 million), respectively.

d. Reconciliation of summarized unaudited financial information of the Groups' joint ventures

Reconciliation of the summarized unaudited financial information presented to the carrying amount of the Groups' interest in GBL, the principal joint venture.

In HK\$ million	2019	2020
Net liabilities		
Beginning of year	(74)	(84)
Loss and total comprehensive loss for the year	(10)	(10)
End of year	(84)	(94)
Interest in a joint venture	50%	50%
	(42)	(47)
Loan due from a joint venture	337	296
Carrying amount	295	249

As at December 31, 2020, the aggregate carrying amount of interests in individually immaterial joint ventures that are accounted for using the equity method was HK\$353 million (2019: HK\$348 million).

During the year ended December 31, 2020, the Groups did not have any unrecognized share of losses of joint ventures (2019: nil).

As at December 31, 2020, there was no accumulated share of losses of joint ventures unrecognized by the Groups (2019: nil).

23 FINANCIAL ASSETS AT FAIR VALUE THROUGH OTHER COMPREHENSIVE INCOME

In HK\$ million	2019	2020
Unlisted securities		
Beginning of year	77	124
Additions	47	–
End of year	124	124

As at December 31, 2020, financial assets at FVOCI comprised unlisted equity investments which are held for strategic purposes (2019: same).

24 FINANCIAL ASSETS AT FAIR VALUE THROUGH PROFIT OR LOSS

In HK\$ million	2019	2020
Listed securities	13	34
Less: securities held for employee share award schemes to be vested within one year classified as current assets	(12)	(16)
Listed securities (non-current)	1	18
Unlisted securities (non-current)	31	31
Total non-current portion	32	49

Financial assets at FVPL mainly comprise:

- debt instrument that does not qualify for measurement either at amortized cost or at FVOCI; and
- PCCW Shares acquired and subscribed under the PCCW Purchase Scheme and PCCW Subscription Scheme. Refer to note 30(b)(iii) for details of the share award schemes of PCCW.

During the year ended December 31, 2020, there were no additions of unlisted securities recognized as financial assets at FVPL (2019: HK\$31 million).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

25 INTERESTS IN SUBSIDIARIES

a. Particulars of the principal subsidiaries of the Company as at December 31, 2020 are as follows:

Company name	Place of incorporation/ operations	Amount of issued capital/ registered capital	Interest held by the Company		Principal activities
			Directly	Indirectly	
HKT Group Holdings Limited ("HKTGH")	Cayman Islands	US\$636,000,021	100%	–	Investment holding
HKT Services Limited	Hong Kong	HK\$1	–	100%	Provision of management services to group companies
Hong Kong Telecommunications (HKT) Limited ("HKTL")	Hong Kong	HK\$9,945,156,001	–	100%	Provision of telecommunications services
電訊盈科科技(北京)有限公司 ¹ (PCCW Technology (Beijing) Limited ¹)	The People's Republic of China (the "PRC")	RMB40,000,000	–	100%	System integration, software development and technical services consultancy
CSL Mobile Limited	Hong Kong	HK\$7,900,280,100 ordinary shares and HK\$1,254,000,000 non-voting deferred shares	–	100%	Provision of mobile services to its customers and the sale of mobile handsets and accessories
Sun Mobile Limited	Hong Kong	HK\$41,600,002	–	60% ¹	Provision of mobile telecommunications services to customers in Hong Kong
Club HKT Limited	Hong Kong	HK\$1	–	100%	Operating customer loyalty programme and online merchandise sales in Hong Kong
Gateway Global Communications Limited	United Kingdom	GBP1	–	100%	Provision of network-based telecommunications services to external customers and related companies
PCCW Global B.V.	Netherlands/ France	EUR18,000	–	100%	Sales, distribution and marketing of telecommunications services and products
PCCW Global, Inc.	Delaware, U.S.	US\$18.01	–	100%	Supply of broadband internet access solutions and web services

25 INTERESTS IN SUBSIDIARIES (CONTINUED)**a. Particulars of the principal subsidiaries of the Company as at December 31, 2020 are as follows: (continued)**

Company name	Place of incorporation/ operations	Amount of issued capital/ registered capital	Interest held by the Company		Principal activities
			Directly	Indirectly	
PCCW Global Limited	Hong Kong/ Dubai Media City	HK\$240,016,690.65	–	100%	Provision of network-based telecommunications services
PCCW Global (Japan) K.K.	Japan	JPY10,000,000	–	100%	Provision of telecommunications services
PCCW Global (HK) Limited	Hong Kong	HK\$10	–	100%	Provision of satellite-based and network-based telecommunications services
HKT Global (Singapore) Pte. Ltd.	Singapore/ Malaysia	S\$60,956,485.64	–	100%	Provision of telecommunications solutions related services
PCCW (Macau), Limitada	Macau	MOP2,000,000	–	75% ²	Selling customer premises equipment and related solutions, conducting systems integration projects and providing outsourced call center services
PCCW Media Limited	Hong Kong	HK\$8,041,216,269 ordinary shares, HK\$1 "A" Class share and HK\$4 "B" Class shares	–	100%	Provision of pay television programme services, interactive multimedia services, the sale of advertising in various telephone directories, the publishing of those directories in Hong Kong and the sale of advertising on the internet
PCCW Content Limited	Hong Kong	HK\$1	–	100%	Distribution of media content

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

25 INTERESTS IN SUBSIDIARIES (CONTINUED)

a. Particulars of the principal subsidiaries of the Company as at December 31, 2020 are as follows: (continued)

Company name	Place of incorporation/ operations	Amount of issued capital/ registered capital	Interest held by the Company		Principal activities
			Directly	Indirectly	
廣州電盈綜合客戶服務技術發展有限公司 ³ (PCCW Customer Management Technology and Services (Guangzhou) Limited ⁴)	The PRC	HK\$93,240,000	—	100%	Customer service and consultancy
HKT Teleservices International Limited	Hong Kong	HK\$350,000,002	—	100%	Provision of customer relationship management and customer contact management solutions and services
盈環網絡技術(上海)有限公司 ³ (HKT Teleservices (China) Limited ⁴)	The PRC	RMB14,000,000	—	100%	Provision of call center service in value-added telecommunications services and telecommunications solutions related services and consultancy

Certain subsidiaries which do not materially affect the results or financial position of the Groups are not included in the above.

Notes:

- 1 The equity interest held by non-controlling interest is 40% as at December 31, 2020.
- 2 The equity interest held by non-controlling interest is 25% as at December 31, 2020.
- 3 Represents a wholly-foreign owned enterprise.
- 4 Unofficial company name.

b. Non-controlling interests of the Groups' subsidiaries

The total of non-controlling interests as at December 31, 2020 was HK\$62 million (2019: HK\$58 million), of which HK\$54 million (2019: HK\$56 million) was mainly attributable to non-controlling interests in Sun Mobile Limited and PCCW (Macau), Limitada.

26 OTHER NON-CURRENT ASSETS

In HK\$ million	2019	2020
Prepayments	709	764
Deposits	203	154
Others	194	158
	1,106	1,076

27 CURRENT ASSETS AND LIABILITIES**a. Inventories**

In HK\$ million	2019	2020
Purchased parts and materials	414	467
Finished goods	318	293
Consumable inventories	71	60
	803	820

b. Prepayments, deposits and other current assets

In HK\$ million	2019	2020
Prepayments	565	826
Deposits	256	318
Other current assets	990	1,065
	1,811	2,209

As at December 31, 2020, included in prepayments were prepaid programme costs of HK\$190 million (2019: nil).

c. Trade receivables, net

In HK\$ million	2019	2020
Trade receivables (note i)	3,743	3,448
Less: loss allowance (note ii)	(143)	(195)
Trade receivables, net	3,600	3,253

The balance represents amounts due from customers for goods sold or services performed in the ordinary course of business. They are generally due for settlement within 30 days from the date of invoice and therefore are all classified as current. Details about the Groups' impairment policies are provided in note 3(o)(i).

As at December 31, 2020, included in trade receivables, net were amounts due from related parties of HK\$21 million (2019: HK\$36 million).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

27 CURRENT ASSETS AND LIABILITIES (CONTINUED)**c. Trade receivables, net (continued)**

i. The aging of trade receivables based on the date of invoice is set out below:

In HK\$ million	2019	2020
1 – 30 days	2,594	2,043
31 – 60 days	346	455
61 – 90 days	272	274
91 – 120 days	98	106
Over 120 days	433	570
	3,743	3,448

ii. Impairment for trade receivables

The Groups apply the HKFRS 9 (2014) simplified approach to measure loss allowance for expected credit losses which uses a lifetime expected loss allowance for trade receivables.

To measure the expected credit losses, trade receivables are grouped based on shared credit risk characteristics and the days past due. The expected loss rates are estimated based on the corresponding historical credit losses experienced, adjusted with the expected change between current and forward-looking information on macroeconomic factors, if material. On that basis, the loss allowance as at December 31, 2020 was determined as follows:

Expected credit loss rate	2019	2020
Current	1%	1%
1 – 120 days past due	3%	5%
Over 120 days past due	26%	36%

The movements in the loss allowance during the year were as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Beginning of year	135	143
Net impairment loss recognized	222	256
Uncollectible amounts written off	(214)	(204)
End of year	143	195

d. Restricted cash

As at December 31, 2020, cash balance of HK\$107 million (2019: HK\$115 million) has been received from and restricted for the use of certain customers.

27 CURRENT ASSETS AND LIABILITIES (CONTINUED)**e. Short-term borrowings**

In HK\$ million	2019	2020
Bank borrowings	–	1,552
Secured	–	–
Unsecured	–	1,552

Refer to note 40 for details of the Groups' banking facilities.

f. Trade payables

The aging of trade payables based on the date of invoice is set out below:

In HK\$ million	2019	2020
1 – 30 days	1,269	1,708
31 – 60 days	556	906
61 – 90 days	100	548
91 – 120 days	31	268
Over 120 days	386	515
	2,342	3,945

As at December 31, 2020, included in trade payables were amounts due to related parties of HK\$28 million (2019: HK\$12 million).

28 LONG-TERM BORROWINGS

In HK\$ million	2019	2020
Repayable within a period		
– over one year, but not exceeding two years	5,202	2,640
– over two years, but not exceeding five years	17,619	24,283
– over five years	17,537	13,796
	40,358	40,719
Representing:		
US\$500 million 3.75% guaranteed notes due 2023 (note a)	3,819	3,824
US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030 (note b)	2,324	2,314
US\$500 million 3.625% guaranteed notes due 2025 (note c)	3,862	3,850
EUR200 million 1.65% guaranteed notes due 2027 (note d)	1,713	1,878
US\$750 million 3.00% guaranteed notes due 2026 (note e)	5,812	5,789
US\$500 million 3.25% guaranteed notes due 2029 (note f)	3,826	3,815
Bank borrowings (note g)	19,002	19,249
	40,358	40,719
Secured	–	–
Unsecured	40,358	40,719

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

28 LONG-TERM BORROWINGS (CONTINUED)**a. US\$500 million 3.75% guaranteed notes due 2023**

On March 8, 2013, PCCW-HKT Capital No.5 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$500 million 3.75% guaranteed notes due 2023, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

b. US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030

On January 15, 2015, HKT Capital No. 1 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030, which are listed on the Taipei Exchange. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

c. US\$500 million 3.625% guaranteed notes due 2025

On April 2, 2015, HKT Capital No. 2 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$500 million 3.625% guaranteed notes due 2025, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

d. EUR200 million 1.65% guaranteed notes due 2027

On April 10, 2015, HKT Capital No. 3 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued EUR200 million 1.65% guaranteed notes due 2027, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

e. US\$750 million 3.00% guaranteed notes due 2026

On July 14, 2016, HKT Capital No. 4 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$750 million 3.00% guaranteed notes due 2026, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

f. US\$500 million 3.25% guaranteed notes due 2029

On September 30, 2019, HKT Capital No. 5 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$500 million 3.25% guaranteed notes due 2029, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

g. Refer to note 40 for details of the Groups' banking facilities.

29 DERIVATIVE FINANCIAL INSTRUMENTS

In HK\$ million	2019	2020
Non-current assets		
Cross currency swap contracts – cash flow hedges for foreign currency risk (<i>note a</i>)	240	214
Interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk (<i>note b</i>)	44	–
	284	214
Current assets		
Interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk (<i>note b</i>)	6	–
Current liabilities		
Foreign exchange forward contracts	–	(3)
Interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk (<i>note b</i>)	–	(21)
	–	(24)
Non-current liabilities		
Cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts – cash flow hedges for foreign currency risk (<i>note a</i>)	(12)	(37)
Interest rate swap contract – cash flow hedge for interest rate risk (<i>note b</i>)	(26)	(91)
	(38)	(128)

Derivatives are mainly used for economic hedging purposes and not as speculative investments. However, where derivatives do not meet the hedge accounting criteria, they are accounted for at FVPL.

Hedge effectiveness is determined at the inception of the hedging relationship and through periodic prospective effectiveness assessments to ensure that an economic relationship exists between the hedged item and the hedging instrument.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

29 DERIVATIVE FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

Hedge ineffectiveness for the Groups' cross currency swap, foreign exchange forward and interest rate swap contracts may occur due to:

- differences in critical terms between the hedged item and the hedging instrument; and
- changes in credit risk of the derivative counterparty.

a. Cash flow hedges for foreign currency risk

For certain borrowings denominated in foreign currencies, the Groups have entered into cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts to hedge the foreign currency risk. The Groups performed qualitative assessment of hedge effectiveness. As the cross currency swap contracts and the foreign exchange forward contracts have similar critical terms as the hedged items, such as notional amounts, maturity dates and payment dates, the economic relationship exists between the hedged items and the hedging instruments.

The effects of the foreign currency related hedging instruments outstanding at the end of the reporting period on the Groups' financial position and performance are as follows:

	2019	2020
Net carrying amount (assets)	HK\$228 million	HK\$177 million
Notional amount	EUR200 million and US\$2,720 million	EUR200 million and US\$2,220 million
Maturity date	March 2023 to September 2029	March 2023 to September 2029
Hedge ratio	1:1*	1:1*
Change* in fair value of the hedging instruments during the year	HK\$293 million	(HK\$210 million)
Change* in value of the hedged items during the year	(HK\$245 million)	HK\$212 million
Weighted average hedged exchange rate for the year	EUR1:HK\$8.32 US\$1:HK\$7.79	EUR1:HK\$8.32 US\$1:HK\$7.79

* The hedge ratio is 1:1 as the notional amount and timing of the hedging instruments match with that of the hedged items.

* Positive change refers to increase in net assets, whereas negative change refers to decrease in net assets.

b. Cash flow hedges for interest rate risk

For certain borrowings subject to cash flow interest rate risk, the Groups have entered into floating-to-fixed interest rate swap contracts. The Groups performed qualitative assessment of hedge effectiveness. As the interest rate swap contracts have similar critical terms as the hedged items, such as notional amounts, maturity dates and payment dates, the economic relationship exists between the hedged items and the hedging instruments.

The effects of the interest rate related hedging instruments outstanding at the end of the reporting period on the Groups' financial position and performance are as follows:

	2019	2020
Net carrying amount (assets/(liabilities))	HK\$24 million	(HK\$112 million)
Notional amount	HK\$6,370 million	HK\$4,450 million
Maturity date	August 2020 to March 2023	March 2021 to March 2023
Hedge ratio	1:1*	1:1*
Change* in fair value of the hedging instruments during the year	HK\$19 million	(HK\$100 million)
Change* in value of the hedged items during the year	(HK\$12 million)	HK\$96 million
Weighted average receive leg/pay leg interest ratio	1.15	0.61

* The hedge ratio is 1:1 as the notional amount and timing of the hedging instruments match with that of the hedged items.

* Positive change refers to increase in net assets, whereas negative change refers to decrease in net assets.

29 DERIVATIVE FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**c. Hedging reserve and costs of hedging reserve**

The Groups' hedging reserve and costs of hedging reserve relate to the following hedging instruments:

In HK\$ million	Cash flow hedges for foreign currency risk	Cash flow hedges for interest rate risk	Total
Hedging reserve			
As at January 1, 2019	(6)	35	29
Cash flow hedges:			
– effective portion of changes in fair value	245	12	257
– transfer from equity to consolidated income statement	152	–	152
As at December 31, 2019 and January 1, 2020	391	47	438
Cash flow hedges:			
– effective portion of changes in fair value	(164)	(104)	(268)
– transfer from equity to consolidated income statement	(92)	3	(89)
As at December 31, 2020	135	(54)	81
Costs of hedging reserve			
As at January 1, 2019			(169)
Costs of hedging			11
As at December 31, 2019 and January 1, 2020			(158)
Cash flow hedges:			
– transfer from equity to consolidated income statement			7
Costs of hedging			181
As at December 31, 2020			30

30 EMPLOYEE BENEFITS**a. Employee retirement benefits – Defined contribution retirement schemes**

The Groups operate defined contribution retirement schemes, including the Mandatory Provident Fund Scheme (the "MPF scheme") under the Hong Kong Mandatory Provident Fund Schemes Ordinance, for employees employed under the jurisdiction of the Hong Kong Employment Ordinance. The schemes are administered by independent trustees.

Under the defined contribution retirement scheme, the employer is required to make contributions to the scheme at rates specified under the rules of the scheme. Where employees leave the scheme prior to the full vesting of the employer's contributions, the amount of forfeited contributions is used to reduce the contributions payable by the Groups.

Under the MPF scheme, the employer and its employees are each required to make contributions to the scheme at 5% of the employees' relevant income, subject to a current cap of monthly relevant income of HK\$30,000. Contributions to the scheme vest immediately upon the completion of the services in the relevant service period.

Forfeited contributions totaling HK\$8 million (2019: HK\$11 million) were utilized during the year ended December 31, 2020 to reduce contributions and no forfeited contribution (2019: nil) was available as at December 31, 2020.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

30 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits**

PCCW and the Groups operate the following share option schemes and share award schemes:

Share option schemes

- Share option scheme of PCCW adopted on May 8, 2014 (the "PCCW 2014 Scheme").
- Share Stapled Units option scheme of the HKT Trust and the Company conditionally adopted on November 7, 2011 (the "2011-2021 Option Scheme").

Share award schemes

- Share award schemes of PCCW namely the PCCW Purchase Scheme and the PCCW Subscription Scheme (collectively the "PCCW Share Award Schemes").
- Share Stapled Units award schemes of the Company namely the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme and the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (collectively the "Share Stapled Units Award Schemes").

The details of the 2011-2021 Option Scheme and the Share Stapled Units Award Schemes are disclosed under sections "Share Stapled Units Option Scheme" and "Share Stapled Units Award Schemes" in the Combined Report of the Directors of the 2020 Annual Report of the HKT Trust and the Company.

i. Share option schemes

No share options/Share Stapled Unit options have been granted under the PCCW 2014 Scheme and the 2011-2021 Option Scheme since their adoption and up to and including December 31, 2020.

ii. Share award schemes

Subject to the relevant scheme rules of the PCCW Share Award Schemes and the Share Stapled Units Award Schemes, each scheme provides that prior to the vesting of the awards under the relevant schemes to selected participants (including any director or employee of PCCW and its participating companies for the PCCW Share Award Schemes, and any director or employee of the Company or any of its subsidiaries for the Share Stapled Units Award Schemes), the relevant PCCW Shares/Share Stapled Units will be held in trust by the trustee for such selected participants, and will be vested over a period of time determined by the respective approving body, provided that each selected participant shall remain at all times up to and including the relevant vesting date (or, as the case may be, each relevant vesting date) an employee or director of PCCW, the Company, the relevant participating company or subsidiary, and satisfies any other conditions specified at the time the award is made, notwithstanding that the respective approving body shall be at liberty to waive such conditions. Other than satisfying the vesting conditions, selected participants are not required to provide any consideration in order to acquire the PCCW Shares/Share Stapled Units awarded to him/her under the relevant schemes.

During the year ended December 31, 2020, share-based compensation expenses in respect of the PCCW Share Award Schemes of HK\$19 million (2019: HK\$20 million) were recognized in the consolidated income statement and as an obligation in liabilities in the consolidated statement of financial position, respectively.

During the year ended December 31, 2020, share-based compensation expenses in respect of the Share Stapled Units Award Schemes of HK\$20 million (2019: HK\$19 million) were recognized in the consolidated income statement and employee share-based compensation reserve in the consolidated statement of financial position, respectively.

30 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits (continued)****ii. Share award schemes (continued)**

(1) Movements in the number of PCCW Shares held by the Groups under the PCCW Share Award Schemes and the Share Stapled Units held under the Share Stapled Units Award Schemes

	Number of PCCW Shares	
	2019	2020
PCCW Purchase Scheme:		
Beginning of year	366	1,081,428
Purchase from the market by the trustee at weighted average market price of HK\$4.72 (2019: HK\$4.56) per PCCW Share	2,155,000	542,000
PCCW Shares vested	(1,073,938)	(1,080,909)
End of year	1,081,428	542,519
PCCW Subscription Scheme:		
Beginning of year	4,476,981	1,797,145
PCCW Shares obtained	–	7,500,000
PCCW Shares vested	(2,679,836)	(2,754,506)
End of year	1,797,145	6,542,639
	Number of Share Stapled Units	
	2019	2020
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme:		
Beginning of year	245	1,227,922
Purchase from the market by the trustee at weighted average market price of HK\$11.56 (2019: HK\$12.45) per Share Stapled Unit	3,086,000	379,000
Share Stapled Units vested	(1,858,323)	(1,194,672)
End of year	1,227,922	412,250
HKT Share Stapled Units Subscription Scheme:		
Beginning of year	–	–
New Share Stapled Units jointly issued by the HKT Trust and the Company at issue price of HK\$11.86 per Share Stapled Unit	–	4,000,000
Share Stapled Units vested	–	(561,114)
End of year	–	3,438,886

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

30 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)

b. Equity compensation benefits (continued)

ii. Share award schemes (continued)

(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award

Date of award	Vesting period	Fair value on the date of award HK\$	2019 Number of PCCW Shares/Share Stapled Units				At December 31, 2019
			At January 1, 2019	Awarded	Forfeited	Vested	
PCCW Purchase Scheme (PCCW Shares)							
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	4.60	539,077	-	(3,595)	(535,482)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	4.66	538,456	-	-	(538,456)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	538,444	-	-	-	538,444
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	4.74	-	542,465	-	-	542,465
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	4.74	-	542,457	-	-	542,457
Total			1,615,977	1,084,922	(3,595)	(1,073,938)	1,623,366
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.64	4.74	4.60	4.63	4.71
PCCW Subscription Scheme (PCCW Shares)							
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	4.60	1,303,748	-	(15,151)	(1,288,597)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	4.66	1,407,350	-	(16,101)	(1,391,249)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	1,406,388	-	(49,514)	-	1,356,874
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	4.74	-	1,434,666	(40,738)	-	1,393,928
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	4.74	-	1,433,531	(40,681)	-	1,392,850
Total			4,117,486	2,868,197	(162,195)	(2,679,836)	4,143,652
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.64	4.74	4.69	4.63	4.71
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme (Share Stapled Units)							
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	10.04	840,167	-	(8,539)	(831,628)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	9.94	904,158	-	(7,463)	(896,695)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	9.94	903,139	-	(22,920)	-	880,219
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2019	10.40	100,000	-	-	(100,000)	-
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2020	10.40	100,000	-	-	-	100,000
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2019	10.34	15,000	-	-	(15,000)	-
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2020	10.34	15,000	-	-	-	15,000
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2019	10.66	15,000	-	-	(15,000)	-
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2020	10.66	15,000	-	-	-	15,000
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	12.38	-	208,846	-	-	208,846
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	12.38	-	208,839	-	-	208,839
Total			2,907,464	417,685	(38,922)	(1,858,323)	1,427,904
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			10.01	12.38	9.96	10.02	10.70
HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (Share Stapled Units)							
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	12.38	-	569,169	(15,718)	-	553,451
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	12.38	-	568,030	(15,664)	-	552,366
Total			-	1,137,199	(31,382)	-	1,105,817
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			-	12.38	12.38	-	12.38

30 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits (continued)****ii. Share award schemes (continued)**

(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award (continued)

Date of award	Vesting period	Fair value on the date of award HK\$	At January 1, 2020	2020 Number of PCCW Shares			At December 31, 2020
				Awarded	Forfeited	Vested	
PCCW Purchase Scheme (PCCW Shares)							
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	538,444	-	-	(538,444)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	4.74	542,465	-	-	(542,465)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	4.74	542,457	-	-	-	542,457
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2021	4.64	-	527,425	-	-	527,425
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2022	4.64	-	527,418	-	-	527,418
Total			1,623,366	1,054,843	-	(1,080,909)	1,597,300
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.71	4.64	-	4.70	4.67
PCCW Subscription Scheme (PCCW Shares)							
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	1,356,874	-	(14,825)	(1,342,049)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	4.74	1,393,928	-	(17,344)	(1,376,584)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	4.74	1,392,850	-	(57,671)	-	1,335,179
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2020	4.69	-	35,873	-	(35,873)	-
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2021	4.69	-	35,873	-	-	35,873
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2022	4.69	-	9,612	-	-	9,612
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2023	4.69	-	9,610	-	-	9,610
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2021	4.64	-	1,474,991	(49,843)	-	1,425,148
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2022	4.64	-	1,473,905	(49,784)	-	1,424,121
May 11, 2020	May 11, 2020 to April 16, 2021	4.77	-	40,900	-	-	40,900
May 11, 2020	May 11, 2020 to April 16, 2022	4.77	-	40,900	-	-	40,900
May 11, 2020	May 11, 2020 to April 16, 2023	4.77	-	20,448	-	-	20,448
Total			4,143,652	3,142,112	(189,467)	(2,754,506)	4,341,791
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.71	4.65	4.68	4.70	4.67

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

30 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)

b. Equity compensation benefits (continued)

ii. Share award schemes (continued)

(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award (continued)

Date of award	Vesting period	Fair value on the date of award HK\$	At January 1, 2020	2020 Number of Share Stapled Units			At December 31, 2020
				Awarded	Forfeited	Vested	
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme (Share Stapled Units)							
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	9.94	880,219	-	(9,393)	(870,826)	-
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2020	10.40	100,000	-	-	(100,000)	-
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2020	10.34	15,000	-	(15,000)	-	-
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2020	10.66	15,000	-	-	(15,000)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	12.38	208,846	-	-	(208,846)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	12.38	208,839	-	-	-	208,839
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2021	11.86	-	202,686	-	-	202,686
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2022	11.86	-	202,676	-	-	202,676
Total			1,427,904	405,362	(24,393)	(1,194,672)	614,201
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			10.70	11.86	10.19	10.41	12.04
HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (Share Stapled Units)							
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	12.38	553,451	-	(6,687)	(546,764)	-
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	12.38	552,366	-	(22,202)	-	530,164
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2020	11.66	-	14,350	-	(14,350)	-
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2021	11.66	-	14,349	-	-	14,349
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2022	11.66	-	3,845	-	-	3,845
February 28, 2020	February 28, 2020 to April 17, 2023	11.66	-	3,844	-	-	3,844
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2021	11.86	-	567,489	(19,191)	-	548,298
April 16, 2020	April 16, 2020 to April 16, 2022	11.86	-	566,382	(19,131)	-	547,251
May 11, 2020	May 11, 2020 to April 16, 2021	12.86	-	15,717	-	-	15,717
May 11, 2020	May 11, 2020 to April 16, 2022	12.86	-	15,717	-	-	15,717
May 11, 2020	May 11, 2020 to April 16, 2023	12.86	-	7,858	-	-	7,858
Total			1,105,817	1,209,551	(67,211)	(561,114)	1,587,043
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			12.38	11.89	12.08	12.36	12.04

30 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits (continued)****ii. Share award schemes (continued)****(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award (continued)**

The fair values of the PCCW Shares and the Share Stapled Units awarded during the year on the dates of award are measured by the respective quoted market prices of the PCCW Shares and the Share Stapled Units at the respective award dates.

The PCCW Shares and the Share Stapled Units unvested had a weighted average remaining vesting period at the end of the reporting period as follows:

	2019	2020
PCCW Purchase Scheme (PCCW Shares)	0.62 year	0.62 year
PCCW Subscription Scheme (PCCW Shares)	0.63 year	0.64 year
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme (Share Stapled Units)	0.44 year	0.62 year
HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (Share Stapled Units)	0.80 year	0.64 year

31 EQUITY OF HKT LIMITED**a. Share capital of HKT Limited**

	2019		2020	
	Number of shares	Nominal value HK\$	Number of shares	Nominal value HK\$
Authorized:				
Ordinary shares of HK\$0.0005 each:				
Beginning and end of year	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
Preference shares of HK\$0.0005 each:				
Beginning and end of year	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
Issued and fully paid:				
Ordinary shares of HK\$0.0005 each:				
Beginning of year	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871
Issued during the year (note (i))	–	–	4,000,000	2,000
End of year	7,571,742,334	3,785,871	7,575,742,334	3,787,871
Preference shares of HK\$0.0005 each:				
Beginning of year	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871
Issued during the year (note (i))	–	–	4,000,000	2,000
End of year	7,571,742,334	3,785,871	7,575,742,334	3,787,871

(i) During the year ended December 31, 2020, the Company issued and allotted 4,000,000 new fully paid ordinary shares with nominal value of HK\$0.0005 per share and 4,000,000 new fully paid preference shares with nominal value of HK\$0.0005 per share respectively under general mandate for grant of awards pursuant to the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme with a consideration of approximately HK\$48 million in total.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

31 EQUITY OF HKT LIMITED (CONTINUED)

b. Movements in reserves of the Company are as follows:

In HK\$ million	2019		Total
	Share premium	Retained profits	
At January 1, 2019	35,113	256	35,369
Total comprehensive income for the year	–	5,357	5,357
Dividend paid in respect of the previous year	–	(2,966)	(2,966)
Interim dividend declared and paid in respect of the current year	–	(2,272)	(2,272)
At December 31, 2019	35,113	375	35,488

In HK\$ million	2020		Total
	Share premium	Retained profits	
At January 1, 2020	35,113	375	35,488
Total comprehensive income for the year	–	5,232	5,232
Issue of shares (note 31(a)(i))	48	–	48
Dividend paid in respect of the previous year	–	(3,058)	(3,058)
Interim dividend declared and paid in respect of the current year	–	(2,280)	(2,280)
At December 31, 2020	35,161	269	35,430

32 RESERVES

In HK\$ million	2019										Total
	Share premium	Capital contribution reserve	Merger reserve	Treasury stock	Employee share-based compensation reserve	Currency translation reserve	Hedging reserve	Costs of hedging reserve	Other reserves	Retained profits	
At January 1, 2019	7,769	26,250	(347)	-	16	120	29	(169)	26	3,853	37,547
Total comprehensive income(loss) for the year											
Profit for the year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,217	5,217
Other comprehensive income(loss)											
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:											
Exchange differences on translating foreign operations	-	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	(2)
Cash flow hedges:											
- effective portion of changes in fair value	-	-	-	-	-	-	257	-	-	-	257
- transfer from equity to consolidated income statement	-	-	-	-	-	-	152	-	-	-	152
Costs of hedging	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	11
Total comprehensive income(loss) for the year	-	-	-	-	-	(2)	409	11	-	5,217	5,635
Transactions with equity holders											
Purchase of Share Stapled Units under the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme	-	-	-	(38)	-	-	-	-	-	-	(38)
Employee share-based compensation	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	17
Issuing of Share Stapled Units under the Share Stapled Units Award Schemes	-	-	-	22	(17)	-	-	-	-	(5)	-
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,966)	(2,966)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,272)	(2,272)
Total contributions by and distributions to equity holders	-	-	-	(16)	-	-	-	-	-	(5,243)	(5,259)
Change in ownership interests in a subsidiary that does not result in a loss of control	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19)	(19)
Total change in ownership interests in a subsidiary that does not result in a loss of control	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19)	(19)
Total transactions with equity holders	-	-	-	(16)	-	-	-	-	-	(5,262)	(5,278)
At December 31, 2019	7,769	26,250	(347)	(16)	16	118	438	(158)	26	3,838	37,904

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

32 RESERVES (CONTINUED)

In HK\$ million	2020										Total
	Share premium	Capital contribution reserve	Merger reserve	Treasury stock	Employee share-based compensation reserve	Currency translation reserve	Hedging reserve	Costs of hedging reserve	Other reserves	Retained profits	
At January 1, 2020	7,769	26,250	(347)	(16)	16	118	438	(158)	26	3,808	37,904
Total comprehensive income/(loss) for the year											
Profit for the year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,303	5,303
Other comprehensive income/(loss)											
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement											
Exchange differences on translating foreign operations	-	-	-	-	-	77	-	-	-	-	77
Reclassification of currency translation reserve on disposal of subsidiaries	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	5
Cash flow hedges:											
- effective portion of changes in fair value	-	-	-	-	-	-	(268)	-	-	-	(268)
- transfer from equity to consolidated income statement	-	-	-	-	-	-	(89)	7	-	-	(82)
Costs of hedging	-	-	-	-	-	-	-	181	-	-	181
Total comprehensive income/(loss) for the year	-	-	-	-	-	82	(357)	188	-	5,303	5,216
Transactions with equity holders											
Issue of Share Stapled Units/shares of the Company under the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (note 31(a)(i))	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
Purchase/subscription of Share Stapled Units under the Share Stapled Units Award Schemes	-	-	-	(52)	-	-	-	-	-	-	(52)
Receipt of PCCW Shares under the PCCW Subscription Scheme	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	32
Employee share-based compensation	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	20
Vesting of Share Stapled Units under the Share Stapled Units Award Schemes	-	-	-	22	(38)	-	-	-	-	(4)	-
Distribution/dividend for Share Stapled Units/shares of the Company granted under the Share Stapled Units Award Schemes	-	-	-	-	(2)	-	-	-	-	-	(2)
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(3,057)	(3,057)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,279)	(2,279)
Total contributions by and distributions to equity holders	48	-	-	(30)	-	-	-	-	32	(5,340)	(5,290)
Reclassification of other reserve on disposal of subsidiaries	-	-	-	-	-	-	-	-	30	(30)	-
Total transactions with equity holders	48	-	-	(30)	-	-	-	-	62	(5,370)	(5,290)
At December 31, 2020	7,817	26,250	(347)	(46)	16	200	81	30	88	3,741	37,830

33 DEFERRED INCOME TAX

As at December 31, 2020, deferred income tax liabilities/(assets) represent:

In HK\$ million	2019	2020
Deferred income tax assets	(410)	(841)
Deferred income tax liabilities	3,874	4,253
	3,464	3,412

a. Movements in deferred income tax liabilities/(assets) were as follows:

In HK\$ million	2019			
	Accelerated tax depreciation and amortization	Tax losses	Others	Total
Beginning of year	3,417	(485)	(4)	2,928
Charged to the consolidated income statement (note 13(a))	481	55	—	536
End of year	3,898	(430)	(4)	3,464

In HK\$ million	2020			
	Accelerated tax depreciation and amortization	Tax losses	Others	Total
Beginning of year	3,898	(430)	(4)	3,464
Additions upon business combination	112	(592)	—	(480)
Disposal of subsidiaries	—	8	—	8
Charged to the consolidated income statement (note 13(a))	356	64	1	421
Exchange difference	(1)	—	—	(1)
End of year	4,365	(950)	(3)	3,412

b. Deferred income tax assets are recognized for tax losses carry-forward to the extent that realization of the related tax benefit through utilization against future taxable profits is probable. As at December 31, 2020, the Groups had unutilized estimated tax losses for which no deferred income tax assets have been recognized of HK\$4,635 million (2019: HK\$2,377 million) to carry forward for deduction against future taxable income. Estimated tax losses of HK\$172 million (2019: HK\$84 million) and HK\$37 million (2019: HK\$253 million) will expire within 1 to 5 years and after 5 years from December 31, 2020 respectively. The remaining portion of the tax losses, mainly relating to Hong Kong companies, can be carried-forward indefinitely.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

34 CARRIER LICENCE FEE LIABILITIES

As at December 31, 2020, the Groups had carrier licence fee liabilities payable as follows:

In HK\$ million	Present value of the minimum annual fees	2019 Interest expense relating to future periods	Total minimum annual fees	Present value of the minimum annual fees	2020 Interest expense relating to future periods	Total minimum annual fees
Payable within a period						
– not exceeding one year	195	14	209	215	7	222
– over one year, but not exceeding two years	145	25	170	88	6	94
– over two years, but not exceeding five years	192	42	234	210	25	235
– over five years	190	29	219	329	86	415
	722	110	832	842	124	966
Less: amounts payable within one year included under current liabilities	(195)	(14)	(209)	(215)	(7)	(222)
Non-current portion	527	96	623	627	117	744

35 NOTES TO THE CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS

a. Reconciliation of profit before income tax to net cash generated from operating activities

In HK\$ million	2019	2020
Profit before income tax	6,274	6,174
Adjustments for:		
Other gains, net	(3)	(361)
Finance costs, net	1,372	1,296
Loss/(Gain) on disposal of property, plant and equipment, net	2	(2)
Write-back of provision for inventory obsolescence, net	(2)	(16)
Impairment loss for trade receivables	222	256
Depreciation of property, plant and equipment	1,150	1,118
Depreciation of right-of-use assets	1,493	1,477
Amortization of land lease premium – interests in leasehold land	12	13
Amortization of intangible assets	1,126	1,327
Amortization of fulfillment costs	489	481
Amortization of customer acquisition costs	851	925
Share of results of associates	33	68
Share of results of joint ventures	18	11
Share-based compensation expenses	39	39
Increase in PCCW Shares and Share Stapled Units under share award schemes	(48)	(55)
Decrease/(Increase) in operating assets		
– inventories	279	44
– trade receivables, prepayments, deposits and other current assets	121	96
– contract assets	3	(101)
– amounts due from related companies	(13)	16
– restricted cash	(27)	8
– fulfillment costs	(495)	(517)
– customer acquisition costs	(811)	(851)
– other non-current assets	(92)	10
Increase/(Decrease) in operating liabilities		
– trade payables	555	1,596
– accruals and other payables	(754)	(290)
– amount due to a fellow subsidiary	(518)	(1,746)
– amount due to a related company	–	9
– advances from customers	25	(56)
– contract liabilities	(63)	78
– other long-term liabilities	(4)	(13)
CASH GENERATED FROM OPERATIONS	11,234	11,034
Interest received	35	22
Income tax paid, net of tax refund		
– Hong Kong profits tax paid*	(175)	(495)
– overseas profits tax paid	(10)	(21)
NET CASH GENERATED FROM OPERATING ACTIVITIES	11,084	10,540

* As at December 31, 2019 and 2020, certain subsidiaries of the Groups had not yet received the Hong Kong profits tax assessments for the tax assessment year 2018/19 and/or 2019/20, such that any corresponding tax charge settlement would be deferred to upcoming financial years.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

35 NOTES TO THE CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS (CONTINUED)

b. Movements of financial (assets)/liabilities arising from financing activities

Movements of financial (assets)/liabilities arising from financing activities are as follows:

In HK\$ million	2019						Total
	Prepaid finance costs (included in prepayments, deposits and other current assets)	Interest payable (included in accruals and other payables)	Borrowings	Derivative financial instruments, net	Amount due to a fellow subsidiary	Lease liabilities	
As at January 1, 2019	(10)	261	40,169	4	1,675	3,193	45,292
Cash flows in financing activities							
New borrowings raised	-	(8)	12,956	-	-	-	12,948
Finance costs (paid)/received	-	(1,148)	-	220	-	-	(928)
Repayments of borrowings	-	-	(12,570)	-	-	-	(12,570)
Payment for lease liabilities (including interest)	-	-	-	-	-	(1,644)	(1,644)
Movement in amount due to a fellow subsidiary	-	-	-	-	1,698	-	1,698
Classified as cash flows in investing activities							
Loan repayment in relation to licence fee (note 37(b)(i))	-	-	(130)	-	-	-	(130)
Cash flows in operating activities	-	-	-	-	(518)	-	(518)
Non-cash movements	(10)	1,146	(57)	(476)	-	1,213	1,806
As at December 31, 2019	(20)	251	40,358	(252)	2,855	2,762	45,954

In HK\$ million	2020						Total
	Prepaid finance costs (included in prepayments, deposits and other current assets)	Interest payable (included in accruals and other payables)	Borrowings	Derivative financial instruments, net	Amount due to a fellow subsidiary	Lease liabilities	
As at January 1, 2020	(20)	251	40,358	(252)	2,855	2,762	45,954
Cash flows in financing activities							
New borrowings raised	-	10	19,501	-	-	-	19,511
Finance costs (paid)/received	-	(1,011)	-	239	-	-	(772)
Repayments of borrowings	-	-	(17,693)	-	-	-	(17,693)
Payment for lease liabilities (including interest)	-	-	-	-	-	(1,590)	(1,590)
Movement in amount due to a fellow subsidiary	-	-	-	-	1,575	-	1,575
Classified as cash flows in investing activities							
Loan repayment in relation to licence fee (note 37(b)(i))	-	-	(130)	-	-	-	(130)
Cash flows in operating activities	-	-	-	-	(1,746)	-	(1,746)
Non-cash movements	(5)	956	235	(49)	(1,099)	1,537	1,575
As at December 31, 2020	(25)	206	42,271	(52)	1,585	2,709	46,684

35 NOTES TO THE CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS (CONTINUED)**c. Analysis of cash and cash equivalents**

In HK\$ million	2019	2020
Total cash and bank balances	3,018	2,737
Less: short-term deposits	(486)	(538)
Less: restricted cash	(115)	(107)
Cash and cash equivalents as at December 31,	2,417	2,092

36 CAPITAL MANAGEMENT

The Groups' primary objectives when managing capital are to safeguard the Groups' ability to continue as a going concern, so that they can continue to provide returns for equity holders of the Groups and benefits for other stakeholders to support the Groups' stability and growth; and to earn a margin commensurate with the level of business and market risks in the Groups' operation.

The Groups monitor capital by reviewing the level of capital that is at the disposal of the Groups ("Adjusted Capital"), taking into consideration the future capital requirements of the Groups, prevailing and projected profitability, projected operating cash flows, projected capital expenditures and projected strategic investment opportunities. Adjusted Capital comprises all components of equity.

The Groups are not subject to externally imposed capital requirements, except for the debt covenant requirement of loan agreements with external parties and the minimum capital requirement of a subsidiary regulated by the Bermuda Monetary Authority. A subsidiary of the Groups also has a minimum capital requirement as a condition for a stored value facilities licence granted by the Hong Kong Monetary Authority.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS

The tables below analyze financial instruments by category:

In HK\$ million	2019				Total
	Financial assets at amortized cost	Financial assets at FVOCI	Financial assets at FVPL	Derivatives used for hedging	
Non-current assets					
Financial assets at FVOCI	–	124	–	–	124
Financial assets at FVPL	–	–	32	–	32
Derivative financial instruments	–	–	–	284	284
Other non-current assets (excluding prepayments)	397	–	–	–	397
	397	124	32	284	837
Current assets					
Prepayments, deposits and other current assets (excluding prepayments)	1,246	–	–	–	1,246
Trade receivables, net	3,600	–	–	–	3,600
Amounts due from related companies	95	–	–	–	95
Financial assets at FVPL	–	–	12	–	12
Derivative financial instruments	–	–	–	6	6
Restricted cash	115	–	–	–	115
Short-term deposits	486	–	–	–	486
Cash and cash equivalents	2,417	–	–	–	2,417
	7,959	–	12	6	7,977
Total	8,356	124	44	290	8,814

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

The tables below analyze financial instruments by category: (continued)

In HK\$ million	Derivatives used for hedging	2019 Other financial liabilities at amortized cost	Total
Current liabilities			
Trade payables	–	(2,342)	(2,342)
Accruals and other payables	–	(3,887)	(3,887)
Carrier licence fee liabilities	–	(195)	(195)
Amount due to a fellow subsidiary	–	(2,855)	(2,855)
Advances from customers	–	(291)	(291)
Lease liabilities	–	(1,065)	(1,065)
	–	(10,635)	(10,635)
Non-current liabilities			
Long-term borrowings	–	(40,358)	(40,358)
Derivative financial instruments*	(38)	–	(38)
Carrier licence fee liabilities	–	(527)	(527)
Lease liabilities	–	(1,697)	(1,697)
Other long-term liabilities	–	(1,197)	(1,197)
	(38)	(43,779)	(43,817)
Total	(38)	(54,414)	(54,452)

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

The tables below analyze financial instruments by category: (continued)

In HK\$ million	2020				Total
	Financial assets at amortized cost	Financial assets at FVOCI	Financial assets at FVPL	Derivatives used for hedging	
Non-current assets					
Financial assets at FVOCI	-	124	-	-	124
Financial assets at FVPL	-	-	49	-	49
Derivative financial instruments	-	-	-	214	214
Other non-current assets (excluding prepayments)	312	-	-	-	312
	312	124	49	214	699
Current assets					
Prepayments, deposits and other current assets (excluding prepayments)	1,383	-	-	-	1,383
Trade receivables, net	3,253	-	-	-	3,253
Amounts due from related companies	40	-	-	-	40
Financial assets at FVPL	-	-	16	-	16
Restricted cash	107	-	-	-	107
Short-term deposits	538	-	-	-	538
Cash and cash equivalents	2,092	-	-	-	2,092
	7,413	-	16	-	7,429
Total	7,725	124	65	214	8,128

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

The tables below analyze financial instruments by category: (continued)

In HK\$ million	Derivatives used for hedging	2020		Total
		Derivatives at FVPL	Other financial liabilities at amortized cost	
Current liabilities				
Short-term borrowings	–	–	(1,552)	(1,552)
Trade payables	–	–	(3,945)	(3,945)
Accruals and other payables	–	–	(4,066)	(4,066)
Derivative financial instruments	(21)	(3)	–	(24)
Carrier licence fee liabilities	–	–	(215)	(215)
Amount due to a fellow subsidiary	–	–	(1,585)	(1,585)
Amount due to a related company	–	–	(42)	(42)
Advances from customers	–	–	(247)	(247)
Lease liabilities	–	–	(1,251)	(1,251)
	(21)	(3)	(12,903)	(12,927)
Non-current liabilities				
Long-term borrowings	–	–	(40,719)	(40,719)
Derivative financial instruments*	(128)	–	–	(128)
Carrier licence fee liabilities	–	–	(627)	(627)
Lease liabilities	–	–	(1,458)	(1,458)
Other long-term liabilities	–	–	(1,628)	(1,628)
	(128)	–	(44,432)	(44,560)
Total	(149)	(3)	(57,335)	(57,487)

* As at December 31, 2020, derivative financial instruments classified as non-current liabilities of HK\$36 million (2019: HK\$4 million) related to foreign exchange forward contracts with an aggregate notional contract amount of US\$470 million (approximately HK\$3,686 million) (2019: US\$470 million (approximately HK\$3,686 million)) were designated as cash flow hedges of US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030. The US\$300 million guaranteed notes may be redeemed at the option of the Groups on January 15, 2025 at an early redemption amount of US\$470 million (2019: US\$470 million). Refer to notes 28(b) and 29(a) for details of the guaranteed notes and the foreign exchange forward contracts respectively.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

Exposure to credit, liquidity and market risk (including foreign currency risk and interest rate risk) arises in the normal course of the Groups' business. The Groups are also exposed to equity price risk arising from their equity investments in other entities. Exposure to these risks is controlled by the Groups' financial management policies and practices described below.

a. Credit risk

The Groups' credit risk is primarily attributable to cash and cash equivalents, short-term deposits, restricted cash, trade receivables, contract assets, amounts due from related companies, interest receivable, lease receivables, investments in debt instruments, derivative financial instruments, and other receivables. Management has policies in place and exposure to these credit risks is monitored on an ongoing basis.

The Groups' normal credit period for customers is ranging up to 30 days from the date of invoice unless there is a separate mutual agreement on extension of the credit period. The Groups maintain a well-defined credit policy and individual credit evaluations are performed on all customers requiring credit over a certain amount. These evaluations focus on the customer's past history of making payments when due and current ability to pay, and take into account information specific to the customer as well as pertaining to the economic environment in which the customer operates. Debtors who have overdue balances are requested to settle all outstanding balances before any further credit is granted. Normally, the Groups do not obtain collateral from customers. As at December 31, 2019 and 2020, the Groups did not have a significant exposure to any individual debtors or counterparties.

Further quantitative disclosures in respect of the Groups' exposure to credit risk arising from trade receivables are set out in note 27(c).

The overall impact of impairment of the contract assets on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements is considered by management. Management considered the lifetime expected losses with respect to these contract assets were minimal as at December 31, 2019 and 2020 and the Groups made no write-off or provision for these contract assets during the years ended December 31, 2019 and 2020.

Investments in debt instruments, amounts due from related companies, lease receivables and other receivables are considered to have low credit risk. These assets are continuously monitored by assessing the credit quality of the counterparty, taking into account its financial position, past experience and other factors. Where necessary, provision for impairment loss is made for estimated irrecoverable amounts. As at December 31, 2019 and 2020, investments in debt instruments, amounts due from related companies, lease receivables and other receivables were fully performing.

Derivative financial instruments, interest receivable, restricted cash, short-term deposits and cash and cash equivalents are considered to have low credit risk. These assets are executed with creditworthy financial institutions or investment counterparties and the Groups do not expect any significant counterparty risk. Moreover, credit limits are set for individual counterparties and periodic reviews are conducted to ensure that the limits are strictly followed.

The maximum exposure to credit risk is represented by the carrying amount of each financial asset, including derivative financial instruments, in the consolidated statement of financial position. Except for the guarantees given by the Groups as disclosed in note 39, the Groups do not provide any other guarantees which would expose the Groups to credit risk.

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**b. Liquidity risk**

The Groups' policy is to regularly monitor current and expected liquidity requirements and their compliance with debt covenants, to ensure that they maintain sufficient reserves of cash and adequate lines of funding from major financial institutions to meet their liquidity requirements in the short and longer term. Management believes there is no significant liquidity risk as the Groups have sufficient cash and banking facilities to fund their operations and debt servicing requirements.

The Groups are subject to certain corporate guarantee obligations to guarantee performance of their subsidiaries in the normal course of their businesses. Refer to note 39 for details.

The following tables detail the remaining contractual maturities at the end of the reporting periods of the Groups' non-derivative financial liabilities and derivative financial liabilities, which are based on contractual undiscounted cash flows (including interest payments computed using contractual rates or, if floating, based on rates current at the end of the reporting period) and the earliest date the Groups can be required to pay:

In HK\$ million	2019				Total contractual undiscounted cash outflow	Carrying amount
	Within 1 year or on demand	More than 1 year but within 2 years	More than 2 years but within 5 years	More than 5 years		
Current liabilities						
Trade payables	(2,342)	–	–	–	(2,342)	(2,342)
Accruals and other payables	(3,887)	–	–	–	(3,887)	(3,887)
Carrier licence fee liabilities	(209)	–	–	–	(209)	(195)
Amount due to a fellow subsidiary	(2,855)	–	–	–	(2,855)	(2,855)
Advances from customers	(291)	–	–	–	(291)	(291)
Lease liabilities	(1,119)	–	–	–	(1,119)	(1,065)
	(10,703)	–	–	–	(10,703)	(10,635)
Non-current liabilities						
Long-term borrowings (note (i))	(985)	(6,118)	(19,959)	(20,865)	(47,927)	(40,358)
Derivative financial instruments (note (ii))	28	27	(72)	(28)	(45)	(38)
Carrier licence fee liabilities	–	(170)	(234)	(219)	(623)	(527)
Lease liabilities	–	(696)	(865)	(250)	(1,811)	(1,697)
Other long-term liabilities (note (iii))	(15)	(2)	(767)	(1,035)	(1,819)	(1,197)
	(972)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(52,225)	(43,817)
Total	(11,675)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(62,928)	(54,452)

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

b. Liquidity risk (continued)

In HK\$ million	2020					Carrying amount
	Within 1 year or on demand	More than 1 year but within 2 years	More than 2 years but within 5 years	More than 5 years	Total contractual undiscounted cash outflow	
Current liabilities						
Short-term borrowings	(1,561)	-	-	-	(1,561)	(1,552)
Trade payables	(3,945)	-	-	-	(3,945)	(3,945)
Accruals and other payables	(4,066)	-	-	-	(4,066)	(4,066)
Derivative financial instruments	(24)	-	-	-	(24)	(24)
Carrier licence fee liabilities	(222)	-	-	-	(222)	(215)
Amount due to a fellow subsidiary	(1,585)	-	-	-	(1,585)	(1,585)
Amount due to a related company	(42)	-	-	-	(42)	(42)
Advances from customers	(247)	-	-	-	(247)	(247)
Lease liabilities	(1,265)	-	-	-	(1,265)	(1,251)
	(12,957)	-	-	-	(12,957)	(12,927)
Non-current liabilities						
Long-term borrowings (note (i))	(629)	(3,246)	(26,014)	(16,718)	(46,607)	(40,719)
Derivative financial instruments (note (ii))	11	11	(104)	(12)	(94)	(128)
Carrier licence fee liabilities	-	(94)	(235)	(415)	(744)	(627)
Lease liabilities	-	(671)	(716)	(86)	(1,473)	(1,458)
Other long-term liabilities (note (iii))	-	(65)	(798)	(975)	(1,838)	(1,628)
	(618)	(4,065)	(27,867)	(18,206)	(50,756)	(44,560)
Total	(13,575)	(4,065)	(27,867)	(18,206)	(63,713)	(57,487)

Notes:

- (i) As at December 31, 2020, bank borrowings of HK\$1,430 million (2019: HK\$1,560 million) included in long-term borrowings were outstanding for financing a 15-year 3G spectrum utilization fee paid upfront by the Groups.
- (ii) As at December 31, 2020, derivative financial instruments included HK\$49 million (2019: HK\$21 million) of long-term interest payable, which related to interest drawn under an arrangement with a bank to receive agreed amounts by instalments to settle interest payments of a floating-to-fixed interest rate swap contract with a notional contract amount of HK\$1,000 million (2019: HK\$1,000 million).
- (iii) As at December 31, 2020, other long-term liabilities included HK\$378 million (2019: HK\$304 million) of long-term interest payable, which related to interest drawn under an arrangement with a bank to receive agreed amounts by instalments to settle interest payments of a fixed-to-fixed cross currency swap contract with a notional contract amount of EUR200 million (approximately HK\$1,665 million) (2019: EUR200 million (approximately HK\$1,665 million)) and included HK\$379 million (2019: HK\$211 million) of long-term interest payable, which related to interest drawn under the arrangements with banks to receive agreed amounts by instalments to settle interest payments of fixed-to-fixed cross currency swap contracts with an aggregate notional contract amount of US\$500 million (approximately HK\$3,879 million) (2019: US\$500 million (approximately HK\$3,879 million)). Refer to notes 28(d), 28(a) and 29(a) for details of the guaranteed notes and the derivative financial instruments respectively.

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**c. Market risk**

Market risk comprises foreign currency, interest rate and equity price exposure deriving from the Groups' operation, investment and funding activities. As a matter of policy, the Groups enter into cross currency swap contracts, interest rate swap contracts, foreign exchange forward contracts and other financial instruments to manage their exposure to market risk directly related to their operations and financing. The Groups do not undertake any speculative trading activities in connection with these financial instruments or enter into or acquire high market risk instruments for trading purposes.

The Finance and Management Committee, a sub-committee of the Executive Committee of the board of directors of the Company, determines the appropriate risk management activities with the aim of prudently managing the market risk associated with transactions undertaken in the normal course of the Groups' business.

All treasury risk management activities are carried out in accordance with policies and guidelines approved by the Finance and Management Committee, which are reviewed on a regular basis. Early termination and amendments to the terms of the transaction would typically occur when there are changes in the underlying assets or liabilities or in the risk management strategy of the Groups.

In the normal course of business, the Groups use the above-mentioned financial instruments to limit their exposure to adverse fluctuations in foreign exchange rates and interest rates. These instruments are executed with creditworthy financial institutions and all contracts are denominated in major currencies.

i. Foreign currency risk

The Groups operate internationally and are exposed to foreign currency risk arising from various currency exposure. Foreign currency risk arises when the Groups' recognized assets and liabilities are denominated in a currency that is not the functional currency of the relevant group entity.

The Groups' borrowings are substantially denominated in Hong Kong dollars, United States dollars and Euro. As at December 31, 2019 and 2020, all of the Groups' borrowings denominated in United States dollars/Euro were swapped into Hong Kong dollars by cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts. Given this, management does not expect that there will be any significant foreign currency risk associated with the Groups' borrowings. The cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts outstanding as at December 31, 2020 with an aggregate notional contract amount of US\$2,220 million (approximately HK\$17,301 million) (2019: US\$2,720 million (approximately HK\$21,178 million)) and EUR200 million (approximately HK\$1,665 million) (2019: EUR200 million (approximately HK\$1,665 million)) were designated or re-designated as cash flow hedges against foreign currency risk.

In respect of trade receivables and payables held in currencies other than the functional currency of the operations to which they relate, the Groups ensure that the net exposure is kept to an acceptable level by buying or selling foreign currencies at spot or forward rates where necessary to address short-term imbalances.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

c. Market risk (continued)

i. Foreign currency risk (continued)

The following table details the Groups' exposure at the end of the reporting period to currency risk arising from significant monetary assets or liabilities denominated in foreign currencies:

In HK\$ million	2019		2020	
	United States Dollars	Euro	United States Dollars	Euro
Trade receivables	1,329	86	1,199	53
Cash and cash equivalents	715	58	677	40
Trade payables	(1,542)	(67)	(2,739)	(67)
Advances from customers	(18)	(2)	(16)	(1)
Lease liabilities	(107)	(14)	(89)	(8)
Long-term borrowings	(19,643)	(1,713)	(19,592)	(1,878)
Gross exposure arising from net monetary liabilities	(19,266)	(1,652)	(20,560)	(1,861)
Net monetary liabilities/assets denominated in respective entities' functional currencies	83	(56)	(159)	(7)
Borrowings with hedging instruments	19,643	1,713	19,592	1,878
Overall net exposure	460	5	(1,127)	10

As at December 31, 2020, if the Hong Kong dollar had weakened/strengthened by 1% (2019: same) against the United States dollar, with all other variables held constant, the profit after tax of the Groups for the year would have decreased/increased by approximately HK\$9 million (2019: increased/decreased by approximately HK\$4 million), mainly as a result of foreign exchange losses/gains on translation of United States dollar denominated monetary assets and liabilities which are not hedged by hedging instruments. Meanwhile, the hedging reserve and costs of hedging reserve of the Groups as at December 31, 2020 would have collectively debited/credited by approximately HK\$157 million (2019: HK\$196 million), mainly as a result of foreign exchange losses/gains on the long-term borrowings being hedged by cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts.

As at December 31, 2020, if the Hong Kong dollar had weakened/strengthened by 5% (2019: same) against Euro, with all other variables held constant, the profit after tax of the Groups for the year would have increased/decreased by an immaterial amount (2019: an immaterial amount), mainly as a result of foreign exchange gains/losses on translation of Euro denominated monetary assets and liabilities which are not hedged by hedging instruments. Meanwhile, the hedging reserve and costs of hedging reserve of the Groups as at December 31, 2020 would have collectively debited/credited by approximately HK\$94 million (2019: HK\$86 million), mainly as a result of foreign exchange losses/gains on the long-term borrowings being hedged by a cross currency swap contract.

The sensitivity analysis has been determined assuming that the change in foreign exchange rates occurred as at the end of the reporting period and applied to the Groups' exposure to currency risk for monetary assets and liabilities in existence at those dates, and that all other variables, in particular interest rates, remained constant.

The stated changes represent management's assessment of reasonably possible changes in foreign exchange rates over the period until the end of the next annual reporting period. In this respect, it is assumed that the pegged rate between the Hong Kong dollar and the United States dollar would be materially unaffected by any change in the movement in value of the United States dollar against other currencies. The analysis was performed on the same methodology for the years ended December 31, 2019 and 2020.

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**c. Market risk (continued)****ii. Interest rate risk**

Given the relatively insignificant amount of interest-bearing assets, the Groups' income and operating cash flows are substantially independent of changes in market interest rates.

The Groups' interest rate risk arises primarily from short-term and long-term borrowings. Borrowings at variable rates and fixed rates expose the Groups to cash flow interest rate risk and fair value interest rate risk respectively. In addition, from time to time, the Groups draw under their revolving credit facilities which are substantially denominated in Hong Kong dollars with floating rate interest.

The Groups have entered into floating-to-fixed interest rate swap contracts to hedge the cash flow interest rate risk arising from certain floating rate short-term and long-term borrowings.

The following table details the interest rate profile of the Groups' borrowings at the end of the reporting period, after taking into account the effect of the cash flow hedging instruments:

	2019		2020	
	Effective interest rate %	HK\$ million	Effective interest rate %	HK\$ million
Net fixed rate borrowings:				
Short-term bank borrowings with hedging instrument	—	—	1.84	1,499
Long-term borrowings	—	—	3.80	3,850
Long-term bank borrowings with hedging instruments	2.34	6,320	2.46	2,927
Long-term borrowings with hedging instruments	3.74	21,356	3.74	17,620
Variable rate borrowings:				
Short-term bank borrowings	—	—	5.68	53
Long-term bank borrowings	2.75	12,682	1.20	16,322
Total borrowings		40,358		42,271

As at December 31, 2020, if the interest rate on variable rate borrowings had increased/decreased by 50 basis points (2019: same), with all other variables held constant, the profit after tax of the Groups for the year would have decreased/increased by approximately HK\$69 million (2019: HK\$53 million), mainly as a result of higher/lower interest expense on floating rate borrowings in existence at the end of the reporting period.

The sensitivity analysis has been determined assuming that the change in interest rate occurred at the end of the reporting period and applied to the Groups' exposure to interest rate risk for floating rate borrowings in existence at those dates. The 50 basis points (2019: same) increase or decrease represents management's assessment of a reasonably possible change in interest rate over the period until the end of the next annual reporting period. The analysis was performed on the same methodology for the years ended December 31, 2019 and 2020.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**c. Market risk (continued)****iii. Equity price risk**

The Groups are exposed to equity price changes arising from equity investments. Other than unlisted equity securities held for strategic purposes, all of these investments are listed on recognized stock exchange markets.

Given the insignificant portfolio of listed equity securities held by the Groups, management believes that the Groups' equity price risk is minimal.

Performance of the Groups' unlisted investments held for long-term strategic purposes is assessed at least semi-annually against the performance of the associated business as well as similar listed entities, based on the limited information available to the Groups, together with an assessment of their relevance to the Groups' long-term strategic plans.

d. Fair values of financial instruments measured at amortized cost

All financial instruments were carried at amounts not materially different from their fair values as at December 31, 2020 except as follows:

In HK\$ million	2019		2020	
	Carrying amount	Fair value	Carrying amount	Fair value
Long-term borrowings	40,358	40,860	40,719	42,155

The fair values of long-term borrowings are the net present value of the estimated future cash flows discounted at the prevailing market rates. The fair values are within level 2 of the fair value hierarchy (as defined in note 37(e)).

e. Estimation of fair values

Financial instruments carried at fair value are analyzed by valuation method and the different levels are defined as follows:

- Level 1: The fair value of financial instruments traded in active markets (such as publicly traded derivatives and equity securities) is based on quoted market prices at the end of the reporting period. The quoted market price used for the financial assets held by the Groups is the current bid price. These instruments are included in level 1.
- Level 2: The fair value of financial instruments that are not traded in an active market (for example, over-the-counter derivatives) is determined using valuation techniques which maximize the use of observable market data and rely as little as possible on entity-specific estimates. If all significant inputs required to fair value an instrument are observable, the instrument is included in level 2.
- Level 3: If one or more of the significant inputs is not based on observable market data, the instrument is included in level 3. This is the case for unlisted securities.

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**e. Estimation of fair values (continued)**

The following tables present the Groups' financial assets and liabilities that were measured at fair value:

In HK\$ million	2019			Total
	Level 1	Level 2	Level 3	
Assets				
Financial assets at FVOCI				
– Unlisted securities	–	–	124	124
Financial assets at FVPL				
– Unlisted securities (non-current)	–	–	31	31
– Listed securities (non-current)	1	–	–	1
– Listed securities (current)	12	–	–	12
Derivative financial instruments				
– Non-current	–	284	–	284
– Current	–	6	–	6
Total assets	13	290	155	458
Liabilities				
Derivative financial instruments				
– Non-current	–	(38)	–	(38)
In HK\$ million	2020			Total
	Level 1	Level 2	Level 3	
Assets				
Financial assets at FVOCI				
– Unlisted securities	–	–	124	124
Financial assets at FVPL				
– Unlisted securities (non-current)	–	–	31	31
– Listed securities (non-current)	18	–	–	18
– Listed securities (current)	16	–	–	16
Derivative financial instruments				
– Non-current	–	214	–	214
Total assets	34	214	155	403
Liabilities				
Derivative financial instruments				
– Current	–	(24)	–	(24)
– Non-current	–	(128)	–	(128)
Total liabilities	–	(152)	–	(152)

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

37 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**e. Estimation of fair values (continued)**

Instruments included in level 1 comprised PCCW Shares acquired or subscribed under PCCW Share Award Schemes and classified as financial assets at FVPL.

Instruments included in level 2 comprised cross currency swap contracts, interest rate swap contracts and foreign exchange forward contracts classified as derivative financial instruments. In measuring the swap transactions, the fair value is the net present value of the estimated future cash flows discounted at the market quoted swap rates. The fair value of the foreign exchange forward contracts is calculated based on the prevailing market foreign exchange rates quoted for contracts with the same notional amounts adjusted for maturity differences.

Instruments included in level 3 comprised investments in unlisted instruments classified as financial assets at FVOCI or financial assets at FVPL. During the year ended December 31, 2020, there was no movement in the instruments included in level 3 (2019: addition of HK\$78 million).

For unlisted securities or financial assets without an active market, the Groups establish the fair value by using valuation techniques including the use of recent arm's length transactions, reference to other instruments that are substantially the same, and discounted cash flow analysis, making maximum use of market inputs and relying as little as possible on entity-specific inputs.

There were no transfers of financial assets and liabilities between fair value hierarchy classifications during the years ended December 31, 2019 and 2020.

There were no material changes in valuation techniques during the years ended December 31, 2019 and 2020.

f. Groups' valuation process

The Groups perform and monitor the valuations of financial assets required for financial reporting purposes, including level 3 fair values. Material movements in valuations are reported to senior management immediately. Valuation results are reviewed by senior management at least on a semi-annual basis.

38 COMMITMENTS**a. Capital**

As at December 31, 2020, capital commitments authorized and contracted for by nature were as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Investments	239	169
Acquisition of property, plant and equipment	1,020	828
	1,259	997

38 COMMITMENTS (CONTINUED)**b. Committed leases not yet commenced**

As at December 31, 2020, the total future lease payments for leases committed but not yet commenced were payable as follows:

Land and buildings

In HK\$ million	2019	2020
Within 1 year	11	9
After 1 year but within 5 years	12	64
	23	73

Network capacity and equipment

In HK\$ million	2019	2020
Within 1 year	111	20
After 1 year but within 5 years	28	15
	139	35

c. Others

As at December 31, 2020, the Groups had other outstanding commitments as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Purchase of rights to broadcast certain TV content	–	1,547
Operating expenditure commitments	4,037	3,455
	4,037	5,002

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

38 COMMITMENTS (CONTINUED)**d. Lease receivables**

i. As at December 31, 2020, the maturity analysis of the lease receivables under non-cancellable finance leases is as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Within 1 year	58	51
After 1 year but within 2 years	42	40
After 2 years but within 3 years	40	33
After 3 years but within 4 years	33	14
After 4 years but within 5 years	14	11
After 5 years	93	82
Total contractual undiscounted lease receivables*	280	231
Less: interest income relating to future periods	(32)	(26)
Carrying amount	248	205
Less: amounts receivables within one year included under current assets	(54)	(47)
Non-current portion	194	158

* The majority of the leases typically run for periods of 2 to 15 years (2019: 3 to 15 years).

ii. As at December 31, 2020, the maturity analysis of the total future minimum lease receipts under non-cancellable operating leases is as follows:

In HK\$ million	2019	2020
Within 1 year	50	43
After 1 year but within 2 years	31	20
After 2 years but within 3 years	10	5
	91	68

The Groups lease out properties under operating leases. The majority of the leases typically run for periods of 1 to 15 years (2019: 1 to 15 years). None of the leases include material contingent rentals.

39 CONTINGENT LIABILITIES

In HK\$ million	2019	2020
Performance guarantees	740	955
Guarantees given to banks in respect of credit facilities granted to an associate	52	–
Others	11	18
	803	973

The Groups are subject to certain corporate guarantee obligations to guarantee the performance of their subsidiaries in the normal course of their businesses. The amount of liabilities arising from such obligations, if any, cannot be ascertained but the directors are of the opinion that any resulting liability will not materially affect the financial position of the Groups.

40 BANKING FACILITIES

Aggregate banking facilities as at December 31, 2020 was HK\$30,007 million (2019: HK\$28,348 million) of which the undrawn facilities amounted to HK\$9,069 million (2019: HK\$9,190 million).

Majority of the Groups' banking facilities are subject to the fulfillment of covenants relating to certain of the Groups' consolidated statement of financial position ratios, as are commonly found in lending arrangements with financial institutions. If the Groups were to breach the covenants, the drawn down facilities would become payable on demand and the undrawn facilities would be cancelled. The Groups regularly monitor their compliance with these covenants. As at December 31, 2020, the Groups were in compliance with the covenants relating to the banking facilities. Further details of the Groups' management of liquidity risk are set out in note 37(b).

Summaries of short-term and long-term borrowings are set out in notes 27(e) and 28 respectively.

41 BUSINESS COMBINATIONS**a. Acquisition of PCCW Media Limited ("PCCW Media") and its subsidiaries and joint venture (together the "PCCW Media Group") in 2020**

Pursuant to the share purchase agreement dated August 6, 2020, the Groups completed the acquisition of the entire issued share capital of PCCW Media by HKT Interactive Media Holdings Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company from PCCW Interactive Media Holdings Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of PCCW for a total consideration of US\$250 million (or HK\$1,950 million) on September 30, 2020. Upon completion, PCCW Media became an indirect wholly-owned subsidiary of the Company. PCCW Media Group operates the "Now TV" business, a leading pay-TV service provider in Hong Kong, offering a wide range of local and international content through linear TV channels, on-demand and apps.

The Groups are required to recognize the acquired companies' identifiable assets, liabilities and contingent liabilities that satisfy the recognition criteria at their fair values at the acquisition date. In the preparation of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the Groups recorded the excess of the fair values of the acquired assets and liabilities over the cost of acquisition as negative goodwill in the consolidated income statement.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

41 BUSINESS COMBINATIONS (CONTINUED)

a. Acquisition of PCCW Media Limited ("PCCW Media") and its subsidiaries and joint venture (together the "PCCW Media Group") in 2020 (continued)

i. Details of net assets acquired and negative goodwill in respect of the acquisition of the PCCW Media Group at the acquisition date were as follows:

In HK\$ million	Net assets acquired and negative goodwill
Purchase consideration settled in cash	1,950
Less: fair value of net assets acquired	(2,642)
Negative goodwill on acquisition (note 9)	(692)

None of the negative goodwill is expected to be taxable for tax purposes.

The assets and liabilities of the PCCW Media Group at the acquisition date were as follows:

In HK\$ million	Fair value
Property, plant and equipment	548
Right-of-use assets	145
Intangible assets	519
Fulfillment costs	40
Deferred income tax assets	518
Other non-current assets	16
Trade receivables	67
Prepayments, deposits and other current assets and amounts due from fellow subsidiaries and a related company	1,467
Inventories and contract assets	24
Cash and cash equivalents	61
Trade payables, accruals and other payables	(413)
Advances from customers and contract liabilities	(76)
Lease liabilities	(134)
Deferred income tax liabilities	(38)
Other long-term liabilities	(65)
	2,679
Non-controlling interests	(37)
Net assets acquired	2,642
	Net cash outflow
In HK\$ million	
Purchase consideration settled in cash	1,950
Less: cash and cash equivalents acquired	(61)
Total net cash outflow for the year ended December 31, 2020	1,889

41 BUSINESS COMBINATIONS (CONTINUED)**a. Acquisition of PCCW Media Limited ("PCCW Media") and its subsidiaries and joint venture (together the "PCCW Media Group") in 2020 (continued)****ii. Acquisition-related costs**

Acquisition-related costs of HK\$3 million were included in general and administrative expenses in the consolidated income statement for the year ended December 31, 2020.

iii. Revenue and profit contribution

PCCW Media Group contributed revenue of HK\$418 million and profit before income tax of HK\$63 million to the Groups for the period from the completion date of the acquisition on September 30, 2020 to December 31, 2020. If the acquisition had occurred on January 1, 2020, the revenue and profit before income tax for the year ended December 31, 2020 would have been HK\$1,535 million and HK\$53 million, respectively.

b. Acquisition of an attributable 21.5% equity interests in Jietongda in 2020

With effect from July 1, 2020, the Groups, via a non-wholly owned subsidiary of the Company, acquired an attributable 21.5% equity interests in Jietongda, a limited liability company established in the PRC. Jietongda engages in the provision of support service for mobile service subscription and the sale of consumer telecom equipment and accessories. The acquisition aims to facilitate the Groups' telecommunications business in the PRC. The aggregate consideration was not material to the Groups. The Groups accounted for Jietongda as an associate before the acquisition. Subsequent to the acquisition, Jietongda became a 56.5% owned indirect subsidiary of the Company and is consolidated by the Groups.

c. Acquisition of 北京訊通通信服務有限公司 (Beijing Xun Tong Communications Services Limited*) ("Xun Tong") in 2019

On March 11, 2019, the Groups completed the acquisition of 50% equity interests in Xun Tong, a limited liability company established in the PRC. Xun Tong engages in the provision of telecommunications services, internet information services and computer system services. The acquisition aims to facilitate the Groups' telecommunications business in the PRC. The aggregate consideration was not material to the Groups. Xun Tong is consolidated by the Groups as the Groups own more than one half of the voting rights in the board of directors of the company.

* Unofficial company name

42 CHANGE IN OWNERSHIP INTERESTS IN A SUBSIDIARY WITHOUT A LOSS OF CONTROL

During the year ended December 31, 2019, the Groups acquired the remaining 50% equity interests in a then indirect non-wholly owned subsidiary, 盈瑛網絡技術(上海)有限公司 (HKT Teleservices (China) Limited*), at an aggregate consideration of RMB7 million (equivalent to approximately HK\$8 million). The debit balance of carrying amount of the non-controlling interests on the date of acquisition was HK\$11 million. The Groups recognized a decrease in equity attributable to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company of HK\$19 million. Immediately after the acquisition, the Groups hold the entire equity interests in HKT Teleservices (China) Limited*.

* Unofficial company name

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2020

43 POSSIBLE IMPACT OF NEW AND AMENDED STANDARDS ISSUED BUT NOT YET EFFECTIVE FOR THE ANNUAL ACCOUNTING PERIOD ENDED DECEMBER 31, 2020

Up to the date of approval of these consolidated financial statements, the HKICPA has issued the following new and amended standards which are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2020 and which have not been early adopted in these consolidated financial statements:

		Effective for accounting periods beginning on or after
HKAS 1 (Revised) (Amendments)	Presentation of Financial Statements	January 1, 2023
HKAS 16 (Amendments)	Property, Plant and Equipment	January 1, 2022
HKAS 28 (2011) (Amendments)	Investments in Associates and Joint Ventures	To be announced
HKAS 37 (Amendments)	Provisions, Contingent Liabilities and Contingent Assets	January 1, 2022
HKFRS 3 (Revised) (Amendments)	Business Combinations	January 1, 2022
HKFRS 10 (Amendments)	Consolidated Financial Statements	To be announced
HKFRS 17	Insurance Contracts	January 1, 2023
Annual Improvements to HKFRSs 2018 – 2020		January 1, 2022

Apart from the above, a number of improvements and minor amendments to Hong Kong Financial Reporting Standards have also been issued by the HKICPA but they are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2020 and have not been early adopted in these consolidated financial statements.

None of the above is expected to have a significant effect on the result of operation and financial position of the Groups.

B．2019年12月31日に終了した会計年度の財務書類

(1) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結損益計算書（2019年12月31日に終了した会計年度）

科目	期別	注記	2018年		2019年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
収益		7, 8	35,187	501,767	33,103	472,049
売上原価		9(b)	(17,980)	(256,395)	(15,787)	(225,123)
一般管理費		9(c)	(9,991)	(142,472)	(9,622)	(137,210)
その他の利益(純額)			2	29	3	43
財務費用(純額)		10	(1,350)	(19,251)	(1,372)	(19,565)
共同支配企業の損益に対する持分			—	—	(33)	(471)
関連会社の損益に対する持分			(16)	(228)	(18)	(257)
税引前利益		7, 9	5,852	83,450	6,274	89,467
法人所得税		12	(1,010)	(14,403)	(1,037)	(14,788)
当期利益			4,842	69,047	5,237	74,680
以下に帰属する当期利益：						
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者			4,825	68,805	5,217	74,394
非支配持分			17	242	20	285
当期利益			4,842	69,047	5,237	74,680
			香港セント	円	香港セント	円
株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり利益						
基本的		14	63.73	9	68.91	10
希薄化後		14	63.71	9	68.89	10

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(2) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結包括利益計算書（2019年12月31日に終了した会計年度）

科目	期別	2018年		2019年	
		百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
当期利益		4,842	69,047	5,237	74,680
その他の包括(損失)/利益					
連結損益計算書に組替えられた又は その後に組替えられる可能性のある項目：					
海外事業に係る為替換算差額		(73)	(1,041)	(2)	(29)
キャッシュ・フロー・ヘッジ：					
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分		(137)	(1,954)	257	3,665
－資本から連結損益計算書への振替		35	499	152	2,168
ヘッジのコスト		39	556	11	157
当期その他の包括(損失)/利益		(136)	(1,939)	418	5,961
当期包括利益合計		4,706	67,108	5,655	80,640
以下に帰属する包括利益合計：					
－株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド 株式の保有者		4,689	66,865	5,635	80,355
－非支配持分		17	242	20	285
当期包括利益合計		4,706	67,108	5,655	80,640

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(3) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結持分変動計算書（2019年12月31日に終了した会計年度）

	注記	2018年					
		株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属するもの		非支配持分		資本合計	
		百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円
2018年1月1日現在残高		37,850	539,741	40	570	37,890	540,311
当期包括利益合計							
当期利益		4,825	68,805	17	242	4,842	69,047
その他の包括(損失)/利益							
連結損益計算書に組替えられた又はその後に組替えられる可能性のある項目：							
海外事業に係る為替換算差額		(73)	(1,041)	—	—	(73)	(1,041)
キャッシュ・フロー・ヘッジ：							
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	28(c)	(137)	(1,954)	—	—	(137)	(1,954)
－資本から連結損益計算書への振替	28(c)	35	499	—	—	35	499
ヘッジのコスト	28(c)	39	556	—	—	39	556
その他の包括損失		(136)	(1,939)	—	—	(136)	(1,939)
当期包括利益合計		4,689	66,865	17	242	4,706	67,108
株主との取引							
株主からの拠出金及び株主に対する分配金：							
HKT株式ステーブル受益証券買入制度に基づく株式ステーブル受益証券の購入		(21)	(299)	—	—	(21)	(299)
従業員株式報酬		25	357	—	—	25	357
前年度に関する分配金/配当金支払額	13	(2,783)	(39,686)	—	—	(2,783)	(39,686)
当年度に関する中間分配金/配当金宣言額及び支払額	13	(2,205)	(31,443)	—	—	(2,205)	(31,443)
子会社の非支配株主に に対する配当金宣言額及び 支払額		—	—	(20)	(285)	(20)	(285)
株主からの拠出金及び株主に対する分配金合計		(4,984)	(71,072)	(20)	(285)	(5,004)	(71,357)
子会社の非支配株主からの 拠出金		—	—	2	29	2	29
株主との取引合計		(4,984)	(71,072)	(18)	(257)	(5,002)	(71,329)
2018年12月31日現在残高		37,555	535,534	39	556	37,594	536,090

	注記	2019年					
		株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属するもの		非支配持分		資本合計	
		百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円	百万 香港ドル	百万円
2019年1月1日現在		37,555	535,534	39	556	37,594	536,090
当期包括利益合計							
当期利益		5,217	74,394	20	285	5,237	74,680
その他の包括(損失)/利益							
連結損益計算書に組替えられた又はその後に組替えられる可能性のある項目：							
海外事業に係る為替換算差額		(2)	(29)	—	—	(2)	(29)
キャッシュ・フロー・ヘッジ：							
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	28(c)	257	3,665	—	—	257	3,665
－資本から連結損益計算書への振替	28(c)	152	2,168	—	—	152	2,168
ヘッジのコスト	28(c)	11	157	—	—	11	157
その他の包括利益		418	5,961	—	—	418	5,961
当期包括利益合計		5,635	80,355	20	285	5,655	80,640
株主との取引							
株主からの拠出金及び株主に対する分配金：							
HKT株式ステーブル受益証券買入制度に基づく株式ステーブル受益証券の購入		(38)	(542)	—	—	(38)	(542)
従業員株式報酬		17	242	—	—	17	242
前年度に関する分配金/配当金支払額	13	(2,966)	(42,295)	—	—	(2,966)	(42,295)
当年度に関する中間分配金/配当金宣言額及び支払額	13	(2,272)	(32,399)	—	—	(2,272)	(32,399)
子会社の非支配株主に対する配当金宣言額及び支払額		—	—	(13)	(185)	(13)	(185)
株主からの拠出金及び株主に対する分配金合計		(5,259)	(74,993)	(13)	(185)	(5,272)	(75,179)
子会社の取得		—	—	1	14	1	14
子会社に対する支配の喪失を伴わない所有者持分の変動		(19)	(271)	11	157	(8)	(114)
子会社に対する支配の喪失を伴わない所有者持分の変動合計		(19)	(271)	12	171	(7)	(100)
株主との取引合計		(5,278)	(75,264)	(1)	(14)	(5,279)	(75,279)
2019年12月31日現在残高		37,912	540,625	58	827	37,970	541,452

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(4) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財政状態計算書（2019年12月31日現在）

科目	期別	注記	2018年		2019年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
資産及び負債						
非流動資産						
有形固定資産	15		20,601	293,770	22,177	316,244
使用権資産	16		2,808	40,042	2,436	34,737
借地権	17		227	3,237	215	3,066
のれん	18		49,805	710,219	49,814	710,348
無形資産	19		8,691	123,934	10,118	144,283
履行コスト			1,336	19,051	1,342	19,137
顧客獲得コスト			632	9,012	592	8,442
契約資産			295	4,207	346	4,934
関連会社に対する持分	20		—	—	209	2,980
共同支配企業に対する持分	21		678	9,668	643	9,169
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	22		77	1,098	124	1,768
純損益を通じて公正価値で 測定する金融資産	23		8	114	32	456
デリバティブ	28		148	2,110	284	4,050
繰延税金資産	32		465	6,631	410	5,847
その他の非流動資産	25		1,065	15,187	1,106	15,772
			86,836	1,238,281	89,848	1,281,232
流動資産						
棚卸資産	26(a)		1,080	15,401	803	11,451
前払金、預け金及びその他の 流動資産	26(b)		2,033	28,991	1,811	25,825
契約資産			630	8,984	576	8,214
売掛金(純額)	26(c)		3,727	53,147	3,600	51,336
関係会社に対する債権	6(c)		102	1,455	95	1,355
純損益を通じて公正価値で測 定する金融資産	23		12	171	12	171
デリバティブ	28		—	—	6	86
拘束性預金	26(d)		88	1,255	115	1,640
短期性預金			523	7,458	486	6,930
現金及び現金同等物	34(d)		2,534	36,135	2,417	34,466
			10,729	152,996	9,921	141,473
流動負債						
買掛金	26(e)		(1,787)	(25,483)	(2,342)	(33,397)
未払費用及びその他の未払金			(4,771)	(68,034)	(3,904)	(55,671)
未払通信事業者免許料	33		(173)	(2,467)	(195)	(2,781)
兄弟会社に対する債務	6(c)		(1,675)	(23,886)	(2,855)	(40,712)
顧客からの前受金			(266)	(3,793)	(291)	(4,150)
契約負債			(1,415)	(20,178)	(1,361)	(19,408)
リース負債			(1,293)	(18,438)	(1,065)	(15,187)
当期税金負債			(761)	(10,852)	(1,078)	(15,372)
			(12,141)	(173,131)	(13,091)	(186,678)

科目	期別	注記	2018年		2019年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
非流動負債						
長期借入金	27		(40,169)	(572,810)	(40,358)	(575,505)
デリバティブ	28		(152)	(2,168)	(38)	(542)
繰延税金負債	32		(3,393)	(48,384)	(3,874)	(55,243)
未払通信事業者免許料	33		(357)	(5,091)	(527)	(7,515)
契約負債			(1,010)	(14,403)	(1,001)	(14,274)
リース負債			(1,900)	(27,094)	(1,697)	(24,199)
その他の長期性負債			(849)	(12,107)	(1,213)	(17,297)
			(47,830)	(682,056)	(48,708)	(694,576)
純資産			37,594	536,090	37,970	541,452
資本金及び剰余金						
発行済資本	30(a)		8	114	8	114
剰余金	31		37,547	535,420	37,904	540,511
株式ステープル受益証券/HKT リミテッド株式の所有者に 帰属する持分			37,555	535,534	37,912	540,625
非支配持分	24(b)		39	556	58	827
資本合計			37,594	536,090	37,970	541,452

本財務書類は、2020年2月12日に、HKTマネジメント・リミテッド及びHKTリミテッドの取締役会（以下総称して「取締役会」という。）により承認され、公表を承認され、取締役会を代表して以下の取締役により署名された。

リチャード・リ・ツァル・カイ

取締役

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン

取締役

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

(5) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結キャッシュ・フロー計算書（2019年12月31日に終了した会計年度）

科目	期別	注記	2018年		2019年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
営業活動から得た正味現金		34(a)	10,659	151,997	11,084	158,058
投資活動						
有形固定資産の処分による収入			3	43	4	57
有形固定資産の購入			(2,536)	(36,163)	(2,642)	(37,675)
無形資産の購入			(2,137)	(30,474)	(2,487)	(35,465)
企業結合に関する現金及び現金同等物の純流出額			(3)	(43)	(4)	(57)
関連会社への投資			—	—	(242)	(3,451)
共同支配企業への投資			(30)	(428)	(35)	(499)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産への投資			—	—	(47)	(670)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産への投資			—	—	(31)	(442)
関連会社への貸付金			(12)	(171)	(46)	(656)
共同支配企業への貸付金			(72)	(1,027)	(50)	(713)
関連会社からの貸付金の返済			—	—	34	485
共同支配企業からの貸付金の返済			15	214	—	—
リース債権からの現金受領額			56	799	71	1,012
償還日までの期間が3ヵ月超の短期性預金の増加/(減少)			(73)	(1,041)	37	528
投資活動に使用した正味現金			(4,789)	(68,291)	(5,438)	(77,546)
財務活動						
新規借入金		34(b)	13,616	194,164	12,948	184,638
財務費用支払額		34(b)	(886)	(12,634)	(928)	(13,233)
借入金の返済		34(b)	(12,543)	(178,863)	(12,570)	(179,248)
リース負債の返済(利息を含む)		34(b)	(1,665)	(23,743)	(1,644)	(23,443)
兄弟会社に対する債務の変動			(57)	(813)	1,698	24,213
子会社の非支配株主からの拠出金			2	29	—	—
株式ステークホルダー受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に対する分配金/配当金支払額			(4,988)	(71,129)	(5,238)	(74,694)
子会社の非支配株主に対する配当金支払額			(20)	(285)	(13)	(185)
財務活動に使用した正味現金			(6,541)	(93,275)	(5,747)	(81,952)
現金及び現金同等物の純減少			(671)	(9,568)	(101)	(1,440)
為替換算差額			(12)	(171)	(16)	(228)
現金及び現金同等物						
期首現在			3,217	45,874	2,534	36,135
期末現在		34(d)	2,534	36,135	2,417	34,466

添付の注記は、連結財務書類の一部である。注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。

[前へ](#)
[次へ](#)

(6) HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記（2019年12月31日に終了した会計年度）

1 表示基準

本信託証書（以下に定義されている。）に従い、HKTトラスト（以下「HKTトラスト」という。）及びHKTリミテッド（以下「HKTリミテッド」という。）はそれぞれ、自社の財務書類を連結ベースで作成することが求められている。HKTトラストの2019年12月31日に終了した会計年度の連結財務書類は、HKTトラスト、HKTリミテッド及びその子会社（以下総称して「本グループ」という。）、並びに関連会社及び共同支配企業に対する本グループの持分の連結財務書類で構成されている。HKTリミテッドの2019年12月31日に終了した会計年度の連結財務書類は、HKTリミテッド及びその子会社（以下総称して「HKTリミテッド・グループ」という。）、並びに関連会社及び共同支配企業に対するHKTリミテッド・グループの持分の連結財務書類、さらにHKTリミテッドの財政状態計算書で構成されている。

HKTトラストは、HKTリミテッドを支配しており、2019年12月31日に終了した会計年度におけるHKTトラストの唯一の活動は、HKTリミテッドへの投資であった。したがって、HKTトラストの連結財務書類に表示され则认为られる連結経営成績及び連結財政状態は、HKTリミテッドの連結経営成績及び連結財政状態と同一であり、唯一の相違点は、HKTリミテッドの資本の開示である。このため、本トラスティ・マネジャー（以下に定義されている。）の取締役及びHKTリミテッドの取締役は、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類を一緒に表示する方がより明確であると考えている。HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は、同一である限り、一緒に表示されており、ここでは「HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類」と呼ばれている。

連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結財政状態計算書、連結持分変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、主要な会計方針及び関連情報は、HKTトラストとHKTリミテッドに共通している。HKTリミテッドの連結財務書類には、注記5に記載されている通り、HKTリミテッドの個別財政状態計算書も含まれており、また注記30の関連情報にはHKTリミテッドに固有の情報が別途開示されている。

本グループとHKTリミテッド・グループは総称して「本グループ」という。

2 一般事項

HKTトラストは、HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」といい、HKTトラストの受託会社及び管理会社の立場である。）とHKTリミテッドの間で締結された、香港の法律に基づく信託証書（その時々における補足、修正、代替を含む。）（以下「本信託証書」という。）により設立されたトラストである。本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャーはHKTトラストの受託会社及び管理会社に任命されている。本信託証書に規定されているHKTトラストの活動範囲は、基本的にHKTリミテッドへの投資に限定されており、HKTリミテッドの全発行済払込済普通株式はHKTトラストが保有している。HKTリミテッドは、2011年6月14日に、ケイマン諸島の会社法第22章（1961年の法律3（統合・改正済））に基づく特例有限責任会社として、ケイマン諸島で設立された。HKTリミテッドは、香港特別行政区（以下「香港」という。）、クオーリ・ベイ、979 キングス・ロード、タイクー・プレイス、PCCWタワー、39階に、香港における主要な営業所を開設しており、非香港会社として登記されている。HKTリミテッド・グループは、主に、電気通信及び関連サービス（地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、モバイル、企業ソリューション並びに顧客構内設備の販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他の電気通信事業を含む。）の提供に従事している。HKTリミテッド・グループは、主に香港で営業活動を行っており、また中国本土及び世界のその他の地域において顧客にサービスを提供している。

株式ステープル受益証券（以下「本株式ステープル受益証券」という。）は、(a) HKTトラストの受益証券、(b) 本受益証券に「紐付け」され、HKTトラストの受託会社及び管理会社の立場にある法的所有者として本トラスティ・マネジャーが保有する、HKTリミテッドの具体的に特定された普通株式の受益持分、及び(c) 本受益証券に「一体化された」HKTリミテッドの具体的に特定された優先株式で構成されている。HKTトラストとHKTリミテッドが共同で発行した本株式ステープル受益証券は、香港証券取引所のメインボードに上場されている。

HKTトラストとHKTリミテッドのいずれも、最終的な持株会社は、香港において設立されたPCCWリミテッド（以下「PCCW社」という。）であり、その株式は香港証券取引所のメインボードに上場され、米国のOTCマーケット・グループ・インクにおいて米国預託証券の形式で取引されている。

本財務書類は、別途記載のない限り、百万香港ドル単位で表示されている。

3 作成基準及び主要な会計方針

a. 法令遵守の声明

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類は、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している個々の香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）、香港会計基準（以下「HKAS」という。）及び解釈指針の全てに対する総称であり、全てに適用される香港財務報告基準、香港で一般に公正妥当と認められている会計原則並びに香港会社条例の開示要件（第622章）に準拠して作成されている。本グループが適用している主な会計方針の要約は、以下の記載の通りである。

b. 財務書類の作成基準

以下の新規の又は修正された香港財務報告基準（以下「新規の又は修正HKFRS」という。）は、2019年1月1日に開始する会計年度において初度適用が義務付けられているが、当会計期間及び前会計期間の本グループの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすものではない。

- HKAS第19号（2011年）（修正） 従業員給付
- HKAS第28号（2011年）（修正） 関連会社及び共同支配企業に対する投資
- HKFRS第9号（2014年）（修正） 金融商品
- HK(IFRIC)解釈指針第23号 法人所得税の税務処理に関する不確実性
- HKFRS2015年－2017年サイクル年次改善（2018年2月にHKICPAによって発行）

本グループは、当会計期間においてまだ効力を生じていない新規の又は修正HKFRSのいずれも早期適用しておらず、その詳細は注記41に記載されている。

2019年12月31日に終了した会計年度における連結財務書類は、本グループの財務書類並びに関連会社及び共同支配企業に対する本グループの持分で構成されている。

財務書類の作成にあたり用いられた測定基準は取得原価主義であるが、以下の資産及び負債は、以下の会計方針に記載の通り、公正価値で表示されている。

- 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産（注記3(n)を参照のこと。）
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産（注記3(n)を参照のこと。）
- デリバティブ（注記3(p)を参照のこと。）

2019年12月31日現在、本グループの流動負債は、流動資産を3,170百万香港ドル上回っていた。流動負債には、HKFRS第15号に基づき認識された契約債務の流動部分1,361百万香港ドルが含まれていたが、この金額は、履行義務の充足により、契約期間にわたり徐々に減少する。本グループの経営陣は、本グループの営業活動からの純キャッシュ・インフローは、利用可能な銀行融資枠からの引出能力と合わせて、本グループが期日到来時に負債の履行を可能にするのに十分であると予測している。したがって、本連結財務書類は継続企業の前提に基づいて作成されている。

香港財務報告基準に準拠した財務書類の作成において、経営陣は、会計方針の適用、並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り、仮定を行うことが求められる。見積り及び関連する仮定は、過去の経験及びその状況において合理的と考えられる様々なその他の要因に基づいており、その結果は、他の情報源からは直ちに明白でない資産及び負債の帳簿価額についての判断の基礎を形成する。実際の結果は、これらの見積りと異なる場合がある。

見積り及びその基礎となる仮定は継続的に見直しが行われる。会計上の見積りの変更は、変更がその期間のみに影響を及ぼす場合には見積りが変更された期間において認識され、変更が当期と将来の期間の両方に影響を及ぼす場合には変更された期間と将来の期間において認識される。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に重大な影響を及ぼす香港財務報告基準の適用にあたり経営陣が行う判断、並びに翌年度の重要な調整という重大なリスクを伴う見積りについては、注記4を参照のこと。

c. 子会社及び非支配持分

子会社とは、本グループに支配される企業（ストラクチャード・エンティティを含む）である。本グループが、企業への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャー又は権利を有し、かつ、当該企業に対するパワーによりそれらのリターンに影響を及ぼす能力を有している場合には、支配が存在する。

子会社に対する持分は、支配を開始した日から支配を喪失した日までの間、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類において連結される。

本グループによる子会社取得の会計処理には取得法が用いられる。取得コストは、交換日現在の移転した資産、発行した資本性金融商品、及び発生した又は引き受けた負債の公正価値総額として測定される。移転した対価には、条件付対価契約から生じる資産、負債又は資本の公正価値が含まれる。資産又は負債とみなされる条件付対価の公正価値のその後の変動は、HKFRS第9号（2014年）に従って、連結損益計算書に認識される。資本に分類される条件付対価は再測定が行われず、その後の決済は資本内で会計処理される。

取得関連コストは発生時に費用計上される。企業結合において取得した識別可能な資産並びに引き受けた負債及び偶発負債は、取得日現在の公正価値で当初測定される。被取得企業の非支配持分について、本グループは、取得案件ごとに、公正価値、又は被取得企業の純資産に対する非支配持分の比例持分のいずれかで認識する。非支配持分のその他の構成要素は全て、香港財務報告基準によって別の測定基準が要求されない限り、その取得日現在の公正価値で測定される。

移転した対価、被取得企業の非支配持分の金額及び以前から保有していた被取得企業に対する持分の取得日現在の公正価値の合計額が、取得した識別可能な純資産の公正価値を超過する部分は、のれんとして計上される（注記3(i)を参照のこと。）。割安購入において、この合計額が被取得子会社の純資産の公正価値を下回る場合、差額は連結損益計算書に直接認識される。事業を取得し、取得した事業の純資産の公正価値が取得日から12ヵ月以内に最終決定される場合、公正価値調整は全て、取得日に発生したものとして計上され、その後、過年度に報告された財務業績の修正再表示が行われる可能性がある。

企業結合が段階的に行われた場合、取得企業が以前から保有している被取得企業の持分の取得日現在の帳簿価額は、取得日現在の公正価値で再測定される。かかる再測定によって発生する利益又は損失があれば、連結損益計算書に認識される。

本グループは、支配の喪失を伴わない非支配持分との取引を、本グループの株主との取引として処理している。支払った対価の公正価値と取得した子会社の純資産の帳簿価額の適切な持分との差額が資本に計上される。非支配持分の処分による利益又は損失も資本に計上される。

会計年度末が本グループと異なる子会社については、連結の目的で、子会社は本グループと同日までの期間及び同日現在の財務書類を作成する。

本グループが採用した会計方針との整合性を確保するために子会社の会計方針を調整する必要がある場合、当該子会社の財務書類は調整される。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の作成にあたり、グループ会社間債権債務残高及び取引並びにグループ会社間取引から生じた未実現利益は全額相殺消去される。グループ会社間取引から生じた未認識損失は、未実現利益と同様に相殺消去される。

HKTリミテッドの財政状態計算書上では、子会社に対する持分は取得原価から減損損失を控除した金額で表示されている。取得原価には、投資に直接起因するコストが含まれている。取得原価は条件付対価の修正から生じる対価の変動を反映するように調整される。子会社の経営成績は、受取配当金に基づきHKTリミテッドによって会計処理される。

d. 関連会社

関連会社とは、本グループが重要な影響力を有するが支配を有していない事業体であり、一般的に議決権の20%から50%の株式保有を伴う。

関連会社への投資は、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類において、持分法で会計処理され、取得原価で当初計上される。関連会社に対する本グループの持分には、取得により識別されたのれん（減損損失累計額控除後）が含まれ、その後、関連会社の純資産に対する本グループの持分の取得後の変動に応じて調整される。連結損益計算書には、関連会社の取得後の税引後損益及び当期減損損失に対する本グループの持分が含まれる。連結包括利益計算書には、関連会社の取得後かつ税引後のその他の包括利益項目に対する本グループの持分が含まれる。

損失に対する本グループの持分が関連会社に対する持分を上回る場合、本グループの持分はゼロに減額され、追加の損失認識は中止される。ただし、本グループが法的若しくは推定的な債務を負っている場合、又は関連会社に代わって支払を行った場合には、関連会社に対する本グループの持分は、持分法による投資の帳簿価額及び当該関連会社に対する本グループの正味持分の一部を実質的に構成する本グループの長期持分となる。

本グループとその関連会社の間の取引から生じた未実現損益は、関連会社に対する本グループの持分の範囲まで相殺消去される。ただし、未実現損失が移転された資産の減損の証拠となる場合、その未実現損失は直ちに連結損益計算書に認識される。

関連会社に対する所有持分が減少するものの、重要な影響力は保持される場合、過年度にその他の包括利益に認識された金額の比例持分のみが、適宜、連結損益計算書に組替えられる。

本グループが採用した会計方針との整合性を確保するために関連会社の会計方針を調整する必要がある場合、当該関連会社の財務書類は調整される。

e. 共同支配の取決

本グループは、全ての共同支配の取決に対してHKFRS第11号を適用している。HKFRS第11号に基づき、共同支配の取決は、各投資者の契約上の権利及び義務によって、共同支配企業又は共同支配事業のいずれかに分類される。

本グループは、共同支配の取決の純資産に対する権利を有する場合、共同支配の取決を共同支配企業に分類している。

共同支配企業への投資は、注記3(d)に記載の通り、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類において持分法で会計処理される。

本グループが採用した会計方針との整合性を確保するために共同支配企業の会計方針を調整する必要がある場合、当該共同支配企業の財務書類は調整される。

f. 支配の獲得又は喪失

本グループが支配を喪失した場合、当該事業体に対する留保持分は、支配を喪失した日に公正価値で再測定され、帳簿価額の変動は連結損益計算書に認識される。この公正価値は、その後に留保持分を関連会社、共同支配の取決又は金融資産として会計処理する際の当初の帳簿価額となる。また、当該事業体に関して過年度にその他の包括利益に認識された金額は、本グループが関連する資産又は負債を処分したものと仮定して会計処理される。これは、過年度にその他の包括利益に認識された金額が連結損益計算書に組替られたことにあたる。

g. 有形固定資産

以下の有形固定資産項目は、連結財政状態計算書において、減価償却累計額及び減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される（注記3(o)(ii)を参照のこと。）。

- 借地に建設された自社使用目的で保有する建物のうち、賃借開始時に借地の公正価値とは別に建物の公正価値を測定するもの（注記3(h)を参照のこと。）
- その他の設備及び装置項目

有形固定資産項目の取得原価は、(i)その購入価格、(ii)当該資産を意図した用途で稼働可能にし、設置するために直接起因する費用、及び(iii)当該資産項目の解体及び除去費用並びに当該資産が所在している敷地の原状回復費用に関する設置時及び使用期間（該当する場合）における当初見積額からなる。

取得後のコストは、有形固定資産項目項目に係る将来の経済的便益が本グループに流入する可能性が高く、かつ当該項目のコストについて信頼性をもって測定できる場合に限り、適宜、当該項目の帳簿価額に含めるか、又は個別の有形固定資産項目として認識される。修繕維持費及び整備費等のその他の費用は全て、発生した期間の連結損益計算書に費用として認識される。

有形固定資産項目の除却又は処分による損益は、除却又は処分日に当該項目の処分による純収入と帳簿価額との差額として算定され、連結損益計算書に認識される。

建設中のプロジェクトについては減価償却が行われない。その他の有形固定資産の減価償却費は、有形固定資産項目の取得原価から見積残存価値（該当する場合）を控除後の金額を、以下の見積耐用年数にわたり定額法で償却するように計算される。

建物	満了前の土地貸借期間と見積耐用年数のいずれか短い期間
交換機	5年から25年
送電設備	5年から40年
その他の設備及び装置	1年から20年

資産の耐用年数及び残存価値（該当する場合）は、各報告期間末現在で見直され、必要に応じて修正される。

h. リース資産

取引又は一連の取引から成る取決が、対価と交換に、特定された資産の使用を一定期間にわたり支配する権利を移転すると本グループが判断した場合、その取決はリース契約又はリースを含む契約である。かかる判断は、取決の実質に関する評価に基づき下され、取決がリースの法的形式を伴うか否かを問わない。

i. 本グループが借手である資産

リースは、本グループがリース資産を使用可能となった日に、使用権資産／借地権及び対応する負債（該当する場合）として当初認識される。各リース料は負債と財務費用の間で配分される。財務費用は、各期間において負債の残高に対して一定の期間金利をもたらすように、リース期間にわたり連結損益計算書に費用計上される。使用権資産は、資産の耐用年数とリース期間のいずれか短い方の期間にわたり定額法で減価償却される。借地権は、リース期間にわたり定額法で償却される。

本グループは、原資産の特定のクラスのリース構成単位と非リース構成単位を区別せず、またリース負債及び使用権資産の測定において全体を単一のリース構成単位として会計処理する実務上の便法を選択した。

本グループが借手である資産及び対応する負債は、現在価値で当初測定される。リース負債には、以下のリース料の正味現在価値が含まれる。

- － 固定リース料（実質的な固定リース料を含む）から、リース・インセンティブ債権を控除した金額
- － 指数又はレートに応じて決まる変動リース料
- － リースの解約に関するペナルティの支払額（リース期間が賃借人である本グループによるリース解約オプションの行使を反映している場合）

また、合理的な特定の延長オプションに基づき支払われるリース料も、負債の測定に含まれる。

リース料は、リースに内在する利率（その利率を決定できる場合）又は各事業体の追加借入利率率を用いて割引かれる。使用権資産は以下の項目から構成される取得原価で測定される。

- － リース負債の当初測定額
- － 開始日以前に支払ったリース料から、受取ったリース・インセンティブを控除した金額
- － 当初直接コスト
- － 原状回復コスト

短期リース及び少額資産のリースに関連するリース料は、連結損益計算書に費用として、定額法で認識される。短期リースとはリース期間が12ヵ月以下のリースである。少額資産は機器及び小型のオフィス家具で構成される。

ii. 本グループが貸手である資産

リースは、原資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんど全てを移転する場合には、ファイナンス・リースとして分類される。リースは、原資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんど全てを移転するものではない場合には、オペレーティング・リースとして分類される。

本グループが使用権資産の貸手である場合（以下「サブリース」という。）、中間の貸手である本グループは、原リースから生じた使用権資産を参照して、このサブリースをファイナンス・リース又はオペレーティング・リースに分類する。

本グループがオペレーティング・リースにより資産を貸出している場合、資産はそれぞれの性質に応じて連結財政状態計算書に計上され、該当する場合は、本グループの減価償却の方針に従い減価償却が行われる。減損損失は注記3(o)(ii)に記載の会計方針に従い会計処理される。オペレーティング・リースから生じた収益は、リース期間を網羅する会計期間にわたり均等額で連結損益計算書に認識される。付与されたリース・インセンティブは正味受取リース料合計の不可欠な部分として連結損益計算書に認識される。条件付リース料は、稼得した会計期間において収益認識される。

本グループがファイナンス・リースに基づき資産を貸出している場合、受取リース料の現在価値は、債権として認識される。各受取リース料は、債権と受取利息の間で配分される。受取リース料の利息部分は、各期間の債権残高に対して一定の期間金利をもたらすように、リース期間にわたり連結損益計算書に認識される。

i. のれん

のれんは、移転した対価、被取得企業の非支配持分の金額及び以前から保有していた被取得企業に対する持分の取得日現在の公正価値から構成される取得原価が、取得日現在の被取得企業の識別可能な資産、負債及び偶発負債の正味公正価値に対する本グループの持分を超過する部分を示している。

のれんは、減損損失累計額控除後の取得原価で連結財政状態計算書に計上される。のれんは資金生成単位（以下「CGU」という。）に配分され、減損テストが少なくとも年1回は実施される（注記3(o)(ii)を参照のこと。）。関連会社及び共同支配企業ののれんの帳簿価額は、関連会社及び共同支配企業に対する持分の帳簿価額に含まれる。

期中のCGU若しくはCGUの一部、関連会社又は共同支配企業の処分にあたり、購入したのれんに帰属する金額は処分損益の計算に含まれる。

j. 無形資産（のれん以外）

i. 通信事業者免許

電気通信ネットワークを設定・維持し、電気通信サービスを提供するための通信事業者免許は無形資産として計上される。通信事業者免許の発行にあたり、その費用は、通信事業者免許期間にわたる最低年間通信事業者免許料の割引後の価値に当該資産を意図した用途で使用するための準備に直接帰属する費用を加えたものであり、無形資産として計上され、関連する債務も計上される。本グループに当該通信事業者免許を返還する権利があり、その予定である場合、当該資産及び関連する債務には通信事業者免許の保有予定期間が反映される。償却費は、該当する電気通信サービスの開始日から、通信事業者免許の見積使用期間にわたり定額法で計上される。

割引後の価値と最低年間通信事業者免許料合計との差額は実効金融費用を示している。かかる金融費用は実効金利法を用いて発生した期間の連結損益計算書に費用計上されることとなる。

最低年間通信事業者免許料に加えて変動年間通信事業者免許料がある場合、発生時に連結損益計算書に認識される。

ii. ソフトウェア

科学的又は技術的知識、新しいプロセス又はシステムの設計及び導入、免許並びに市場知識を取得、開発又は強化するために発生した費用は、識別可能であり、その基礎となるリソースからもたらされる将来の経済的便益を得る権限が本グループにある場合、無形資産として資産計上される。

識別可能なソフトウェアの設計及びテストに直接起因する開発費は、以下の基準を満たした場合、無形資産として資産計上される。

- ソフトウェアの完成が技術的に実現可能であるため、利用可能と見込まれる。
- 開発の完成及びソフトウェアの利用のために技術上、財務上及びその他の適切なリソースが利用可能である。
- ソフトウェアの取得、開発及び強化に起因する費用を、信頼性をもって測定することができる。
- その基礎となるリソースからもたらされる将来の経済的便益を得る権限が本グループにある。

上記の基準を満たさない開発費は、発生時に連結損益計算書に費用計上される。

資産計上されたソフトウェア費用は8年から10年の見積使用期間にわたり定額法で償却される。

iii. その他の無形資産

本グループが取得したその他の無形資産は、償却累計額（見積耐用年数が確定できる場合）及び減損損失（注記3 (o) (ii)を参照のこと。）を控除後の取得原価で連結財政状態計算書に計上される。自己創設のれん及び商標に係る支出は発生した期間において費用として認識される。

見積耐用年数が確定できる無形資産の償却については、それぞれの見積耐用年数にわたり定額法で連結損益計算書に費用計上される。以下の見積耐用年数が確定できる無形資産は、使用可能になった日より、以下の見積耐用年数にわたり償却される。

商標権	20年
顧客基盤	1年から10年

当該資産の耐用年数及びその償却方法は年1回見直しが行われる。

k. 履行コスト

顧客との契約を履行するために発生した直接コストは、本グループの電気通信サービスに関する設置及び関連コストから主に構成され、将来における履行義務の充足に使用される本グループの資源を創出又は増価させ、かつ回収が見込まれる場合に、資産として計上される。履行コストは、顧客との契約の予想期間にわたり定額法で償却される。

l. 顧客獲得コスト

顧客との契約を獲得するために発生した増分コストは、主に販売手数料で構成され、本グループがこれらのコストの回収を見込んでいる場合、顧客獲得コストとして資産計上される。契約獲得コストは、顧客との契約の予想期間にわたり規則的に償却される。

m. 契約資産/負債

顧客は事前に合意した支払スケジュールに基づき支払う。決済の時期に関する詳細は注記3(x)を参照のこと。本グループが履行した履行義務が、これまでに受領した払戻不可の支払額と契約対価に対する無条件の権利の合計を超過する場合、契約資産が認識される。これまでに受領した払戻不可の支払額と契約対価に対する無条件の権利の合計が履行した履行義務を超過する場合には、契約負債が認識される。契約資産は、契約対価に対する本グループの権利が無条件となった時点で、債権に振替えられる。

顧客からの前受金は、払戻可能な前受金を示す。この会計方針に関して、注記3(u)を参照のこと。

n. 負債性証券及び資本性証券への投資

分類

本グループは、子会社、関連会社及び共同支配の取決以外の負債性証券及び資本性証券への投資を以下の通りに分類している。

- 公正価値で事後測定するもの（その他の包括利益を通じて公正価値で測定する（以下「FVOCI」という。）又は純損益を通じて公正価値で測定する（以下「FVPL」という。））
- 償却原価で測定するもの

分類は、金融資産を管理する本グループの事業モデル及びキャッシュ・フローの契約上の条件に応じて行われる。

公正価値で測定する資産に係る利益又は損失は、純損益又はその他の包括利益のいずれかに計上される。負債性金融商品への投資については、投資が保有される事業モデルによって異なる。売買目的保有でない資本性金融商品への投資については、本グループが当初認識時に資本性金融商品をFVOCIで会計処理するという取消不能の選択を行ったか否かによって異なる。

本グループは、これらの資産を管理する事業モデルが変更された場合にのみ、負債性金融商品を分類変更する。

認識及び認識の中止

金融資産の通常の方法による売買は、本グループが当該資産の売買を約定する日である約定日に認識される。金融資産は、金融資産からキャッシュ・フローを受け取る権利が消滅又は譲渡され、本グループが所有に係るリスクと経済価値のほとんど全てを移転した時点で認識を中止する。

当初測定

当初認識時に、本グループは、金融資産を公正価値で（FVPLで測定しない金融資産については、それに当該金融資産の取得に直接起因する取引コストを加算した金額で）測定する。FVPLで測定する金融資産の取引コストは、連結損益計算書に費用計上される。

組込デリバティブを伴う金融資産は、そのキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるか否かを判断する際に、全体として検討される。

事後測定

負債性金融商品

負債性金融商品の事後測定は、資産を管理する本グループの事業モデル及び資産のキャッシュ・フロー特性によって異なる。本グループが負債性金融商品を分類する3つの測定区分は以下の通りである。

- 償却原価：契約上のキャッシュ・フローの回収を目的として保有する資産で、そのキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみを表すものは、償却原価で測定する。償却原価で事後測定する負債性金融商品に係る損益は、当該資産の認識の中止又は減損の時点で連結損益計算書に認識される。これらの金融資産からの受取利息は、実効金利法を用いて受取利息に含まれる。
- FVOCI：契約上のキャッシュ・フローの回収及び売却を目的として保有する資産で、当該資産のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみを表すものは、FVOCIで測定する。帳簿価額の変動はその他の包括利益に計上される。ただし、減損損失、実効金利法を用いた受取利息及び為替差損益は、連結損益計算書に認識される。金融資産の認識が中止された場合、従来その他の包括利益に認識されていた累積損益は、資本から連結損益計算書に分類変更され、「その他の利益/（損失）（純額）」に認識される。
- FVPL：償却原価又はFVOCIの基準を満たさない資産は、FVPLで測定する。FVPLで事後測定する負債性金融商品に係る損益は、その発生期間に連結損益計算書の「その他の利益/（損失）（純額）」に純額で認識及び表示される。

資本性金融商品

本グループは、全ての資本性金融商品を公正価値で事後測定する。本グループの経営陣が、当初認識時に、資本性金融商品に係る公正価値の利得及び損失をその他の包括利益に表示するという取消不能な選択を行った場合、投資の認識の中止後に、公正価値の利得及び損失を連結損益計算書に事後的に振替えることはなく、FVOCIで測定する金融資産準備金のうち当該資本性金融商品に関する残高は利益剰余金に分類変更される。当該投資からの配当金は引き続き、本グループの支払を受ける権利が確定した時点で、連結損益計算書の「その他の利益/（損失）（純額）」に認識される。

FVPLで測定する金融資産の公正価値の変動は、適宜、連結損益計算書の「その他の利益/（損失）（純額）」に認識される。

FVOCIで測定する資本性金融商品に係る減損損失（及び減損損失の戻入れ）は、その他の公正価値の変動から区分して計上されない。

o. 資産の減損

i. 負債性金融商品、売掛金及びその他の債権への投資

本グループは、償却原価又はFVOCIで計上する負債性金融商品、並びに償却原価で計上する売掛金及びその他の債権に関連する予想信用損失について、将来予測ベースで評価している。

負債性金融商品及びその他の債権への投資について、本グループは、資産の当初認識時に債務不履行の可能性を、また各報告期間を通じて継続的に信用リスクの著しい増大の有無を検討している。信用リスクの著しい増大の有無を評価するために、本グループは、入手可能な合理的かつ裏付可能な将来予測情報を考慮して、報告日現在の資産に発生している債務不履行リスクと当初認識日時点の債務不履行リスクを比較する。検討事項には以下が含まれる：

- － 内部信用格付け
- － 外部信用格付け（入手可能な範囲）
- － 借手の債務履行能力に著しい変化をもたらすと予想される事業、財務又は経済状況の実際の又は予想される著しい不利な変化
- － 借手の経営成績の実際の又は予想される著しい変化
- － 同一の借手の他の金融商品に係る信用リスクの著しい増大
- － 本グループにおける借手の支払状況の変化や借手の経営成績の変化を含む、借手の予想されるパフォーマンスや行動の著しい変化

上記の分析にかかわらず、債務者が延滞し、請求書の支払期日の翌日に未決済残高があるという債務不履行状態にある場合には、信用リスクが著しく増大していると推定する。

各報告日において、ある金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合、本グループは、全期間の予想信用損失に等しい金額で、当該金融資産に対する損失引当金を測定する。報告日において、ある金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、本グループは、12ヵ月の予想信用損失に等しい金額で当該金融資産に対する損失引当金を測定する。

売掛金及び契約資産について、本グループは、簡便法を適用して予想信用損失に対する引当てを行っている。この方法では、全ての売掛金及び契約資産に対して、全期間の予想損失引当金を使用することができる。予想信用損失を測定するために、売掛金は、共通の信用リスク特性及び期日経過日数に基づきグルーピングされている。本グループは、予想信用損失を測定する際に、信用損失が発生する可能性及び信用損失が発生しない可能性を反映させることにより、信用損失が発生するリスク又は可能性を検討している。

金融資産は、回収が合理的に見込めない場合に直接償却される。本グループは、債務者が所定の限度を超える期間にわたり契約上の支払を行わない場合に、金融資産を直接償却している。貸付金又は債権が直接償却された場合でも、本グループは、期日が到来した債権の回収を試みるために、引き続き履行強制活動を行う。回収が行われた場合には、連結損益計算書に認識される。

ii. その他の資産の減損

以下の資産が減損している可能性を示す兆候、又は（のれんのケースを除き）過年度に認識された減損損失が存在しなくなった、若しくは減少している可能性を示す兆候を識別するために、各報告期間末において、又は帳簿価額が回収できない可能性があることを示すような事象若しくは状況の変化が発生した場合はいつでも、内部及び外部の情報源が再検討される。

- － 有形固定資産
- － 使用権資産
- － 借地権
- － 履行コスト
- － 顧客獲得コスト
- － 無形資産
- － 関連会社及び共同支配企業に対する持分
- － のれん

かかる兆候が存在する場合、当該資産の回収可能額が見積られる。のれん、まだ使用できる状態にない無形資産及び耐用年数を確定できない無形資産を含むCGUについては、減損の兆候の有無にかかわらず、減損テストが年1回実施される。

－ 回収可能額の算定

資産の回収可能額は、その公正価値から売却コストを控除した金額と使用価値のいずれか高い金額である。公正価値から売却コストを控除した金額とは、取引の知識がある自発的な当事者が独立第三者間取引において資産の売却により得る金額から、売却コストを控除した金額である。使用価値の評価にあたり、見積将来キャッシュ・フローは、貨幣の時間的価値及び当該資産に固有のリスクに関する現在の市場の評価を反映した税引前割引率を用いて、現在価値まで割引かれる。資産が概ね他の資産から独立したキャッシュ・インフローを生成しない場合、回収可能額は独立してキャッシュ・インフローを生成する資産グループの最小単位（すなわち、1単位のCGU）について算定される。

ー 減損損失の認識

資産又は資産が帰属するCGUの帳簿価額がその回収可能額を上回る場合、減損損失が連結損益計算書に認識される。CGUに関して認識された減損損失は、最初に、当該CGUに配分されたのれんの帳簿価額を減額し、次に比例按分によって、当該CGU内のその他の資産の帳簿価額を減額するよう配分される。ただし、資産の帳簿価額が個々の資産の売却コスト控除後の公正価値又は使用価値（算定可能な場合）を下回るほど減額されることはない。

ー 減損損失の戻入

のれん以外の資産に関して、回収可能額の算定に使用した見積りに有利な変化が生じている場合には減損損失が戻入られる。のれんに関する減損損失は戻入れが認められていない。

減損損失の戻入額は、当該資産について過年度に認識された減損損失がなかったならば算定されたと考えられる帳簿価額までに限られる。減損損失の戻入れは、戻入れが認識された期間の連結損益計算書に費用の減額として計上される。

iii. 中間財務報告及び減損

香港証券取引所の有価証券上場規則に基づき、本グループは、会計年度の期首から6ヵ月間に関して、HKAS第34号「中間財務報告」に準拠して中間財務報告書を作成することが求められている。中間期末現在において、本グループは、会計年度末現在におけるものと同じ減損テスト、認識及び戻入れの基準を適用している（注記3(o)(i)及び3(o)(ii)を参照のこと。）。

のれんに関して中間期間に認識された減損損失については、その後の期間に戻入れは行われない。当該中間期間が関連する会計年度末現在においてのみ減損の評価が行われていたならば、損失が認識されなかったか、又は損失の金額がより少なかったと考えられる場合でも同様である。

p. デリバティブ

デリバティブは、デリバティブ契約締結日に公正価値で当初認識され、その後、各報告期間末現在において公正価値で再測定される。公正価値での再測定に係る利益又は損失は、直ちに連結損益計算書に認識される。ただし、デリバティブがヘッジ会計として指定され、適格である場合には、結果として生じる利益又は損失の認識はヘッジ対象の性質により異なる（注記3(q)を参照のこと。）。

ヘッジ手段であるデリバティブの公正価値は全額、ヘッジ対象の満期までの残存期間が12ヵ月超の場合は非流動資産又は負債に分類され、ヘッジ対象の満期までの残存期間が12ヵ月以下の場合は流動資産又は負債に分類される。トレーディング目的のデリバティブは流動資産又は負債に分類される。

q. ヘッジ

ヘッジ関係の開始時に、本グループは、ヘッジ手段のキャッシュ・フローの変動がヘッジ対象のキャッシュ・フローの変動を相殺することが見込まれるどうかを含め、ヘッジ手段とヘッジ対象の間の経済的関係を文書化している。本グループは、ヘッジ取引を行うためのリスク管理の目的と戦略を文書化している。

キャッシュ・フロー・ヘッジ

キャッシュ・フロー・ヘッジとして指定された適格デリバティブの公正価値の変動のうち有効部分は、資本の部のヘッジ準備金に認識される。非有効部分に係る損益は、連結損益計算書の財務費用に直ちに認識される。

本グループは、予定取引のヘッジに先渡契約を利用する場合、先渡契約の公正価値の変動のうち直物要素に関する部分のみをヘッジ手段として指定している。先渡契約の直物要素の変動の有効部分に係る損益は、資本の部のヘッジ準備金に認識される。先渡要素の変動は連結損益計算書に認識される。

本グループは、将来のキャッシュ・フローのヘッジにクロスカレンシー・スワップ契約を利用する場合、外貨ベースのスプレッド要素を除いたスワップ契約の公正価値の変動のみをヘッジ手段として指定している。外貨ベースのスプレッド要素を除いたスワップ契約の有効部分に係る損益は、資本の部のヘッジ準備金に認識される。スワップ契約の外貨ベースのスプレッドの公正価値の変動は、ヘッジ対象に関連する場合、資本の部のヘッジのコスト準備金に認識される。

資本の部の累計額は、ヘッジ対象が連結損益計算書に影響を与える期間に以下の通りに分類変更される。

- 先渡契約の有効部分に係る損益は、ヘッジ対象が純損益に影響を与える時点で、連結損益計算書に認識される。
- 外貨建借入金をヘッジするクロスカレンシー・スワップ契約の有効部分に係る損益は、ヘッジ対象の借入金の支払利息と同時に、連結損益計算書の財務費用に認識される。

ヘッジ手段が終了、売却若しくは解約された場合、又はヘッジがヘッジ会計の基準を満たさなくなった場合、その時点の資本の部の累積繰延損益及び繰延ヘッジのコストは、予定取引が発生し、純損益に影響を与えるまで、引き続き資本の部に計上される。予定取引が発生しなくなると見込まれる場合、資本の部に計上された累積損益及び繰延ヘッジのコストは、直ちに連結損益計算書に分類変更される。

ヘッジの非有効部分は、連結損益計算書の財務費用に認識される。

r. 棚卸資産

棚卸資産は、購入した部品及び原材料、完成品並びに消耗品で構成されている。

購入した部品及び原材料並びに完成品は、原価と正味実現可能価額のいずれか低い方の金額で計上される。正味実現可能価額とは、通常の業務取引における見積販売価格から、完成までに要する見積原価及び販売に要する見積費用を控除した金額である。

本グループの電気通信システムの保守管理及び拡充に使用する目的で保有している消耗品は劣化及び陳腐化引当金控除後の取得原価で計上される。

原価計算は加重平均法を用いて行われており、仕入原価、加工費及び在庫を現在の場所に移動し、現在の状態にするために発生したその他の費用全てが含まれる。

s. 売掛金及びその他の債権

売掛金及びその他の債権は、公正価値で認識される場合、重大な金融要素を含んでいない限り、無条件の対価の金額で当初認識される。本グループは、契約上のキャッシュ・フローの回収を目的として、売掛金及びその他の債権を保有しているため、実効金利法を用いた償却原価から予想信用損失引当金（注記3(o)(i)を参照のこと。）を控除した金額で事後測定している。

t. 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物は、銀行預金、手元現金、銀行及びその他の金融機関の要求払預金（拘束性預金を除く）、並びに容易に一定の金額に換金可能であり、かつ、価値変動のリスクが僅少で、取得時の満期までの期間が3ヵ月以内の短期の流動性の高い投資で構成され、本グループの資金管理において不可欠な部分を構成している。

u. 買掛金及びその他の未払金

買掛金、顧客からの前受金及びその他の未払金は公正価値で当初認識され、その後、実効金利法を用いた償却原価で計上される。

v. 借入金

借入金は関連する取引費用控除後の公正価値で当初認識される。当初認識後、借入金は償却原価で計上され、取引費用控除後の手取金である当初認識額と償還価値との差額は、実効金利法を用いて借入期間にわたり連結損益計算書に認識される。

w. 引当金及び偶発負債

引当金は、(i)過去の事象の結果として、本グループが現在の法的又は推定的な債務を有しており、(ii)当該債務を決済するために経済的便益の流出が必要となる可能性が高く、(iii)債務の金額について信頼性をもって見積ることが可能である場合に認識される。貨幣の時間的価値に重要性がある場合、引当金は債務を決済するために見込まれる支出の現在価値で計上される。時間の経過に伴う引当金の増加額は支払利息として認識される。

経済的便益の流出が必要となる可能性が高くない、又は債務の金額について信頼性をもって見積ることができない場合には、経済的便益をもつ資源の流出の可能性がほとんどない場合を除き、当該債務は偶発負債として開示される。発生する可能性があり、その存在が将来の1つ以上の事象の発生又は不発生によってのみ確認される債務もまた、経済的便益の流出の可能性がほとんどない場合を除き、偶発負債として開示される。

x. 収益認識

電気通信サービスは、地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、モバイル、企業ソリューション並びに顧客構内設備の販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他の電気通信事業からなる。

地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信並びにモバイル事業は主に、国内及び国際的な電気通信ネットワークへのアクセス及び利用の提供によって収益を稼得している。また、一括サービス提供の一環として、本グループは、端末、機器、景品、並びに多様な財及びサービスを提供する本グループの顧客ロイヤルティ・プログラムによるリワード・ポイント（以下「リワード・ポイント」という。）の引渡しが行われ、これらは個別の履行義務とみなされる。

収益は、本グループの通常の活動の過程において、財の販売及びサービスの提供に対して受領した又は受領予定の対価の公正価値で測定される。収益は、財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で認識される。契約条件及び契約に適用される法律に応じて、財又はサービスの支配は一定の期間にわたり又は一時点で移転される。

本グループは、電気通信サービス及びその他のサービスの提供以外に、端末、機器、景品及びリワード・ポイントの引渡しなど、他の特定の履行義務を顧客に対して負う一括販売契約を顧客と締結することが多い。複数要素の取決が存在する場合、顧客から受領する取引価格の合計は、独立販売価格の比率に基づき、本グループの履行義務に配分される。経営陣は、主に類似した状況における類似の顧客に対する各履行義務についての観察可能な小売価格及び観察可能な市場データに基づき、契約開始時に独立販売価格を見積もっている。一括販売による割引が付与された場合、割引は、独立販売価格の比率に基づき、各履行義務に配分される。引渡された各端末、機器及び景品の取得原価は、対応する収益が認識された時点で、売上原価として認識する。

電気通信サービスの収益は、本グループが顧客へのサービスの移転により履行義務を充足するパターンを反映しているため、本グループの履行に応じて提供される便益を顧客が受領すると同時に消費する一定期間にわたり認識され、サービス割当単位の使用又は時間の経過のいずれかに応じてアウトプット法に基づき認識される。使用量に基づくサービスプランのうち月額使用量が割当量を上回る場合、超過使用は顧客が追加的なサービスを受けるために保有するオプションを表わし、顧客がこのオプションを行使した場合、従量制の料金が認識される。その他の電気通信サービス収益は、サービス提供時に認識される。顧客は、月次で事前に請求されるか、顧客との契約に規定され、事前に合意された支払スケジュールに従って請求される。

端末、機器及び景品の販売の収益は、一般的に、支配が顧客に移転した時点、すなわち製品が顧客に引渡され顧客が検収した時点で認識される。顧客は、端末、機器及び景品に対して完全な裁量を有しており、顧客によるそれらの財の検収に影響を及ぼす可能性のある未履行の義務はない。顧客は、即時に請求されるか、顧客との契約に規定され、事前に合意された支払スケジュールに従って請求される。

加入者にリワード・ポイントが付与された場合、かかる収益は、独立販売価格の比率で測定され、リワード・ポイントが引き換えられるまで負債として繰り延べられる。予想ブレイキッジ（失効する見込みのリワード・ポイントを指す。）は、過去の実績、将来の引き換えパターン及びプログラム設計等の仮定に基づき、収益として認識される。

企業ソリューション・サービスからの収益は、本グループの履行が顧客によって支配される資産を創出又は増価させる一定期間にわたり認識される。資産の支配の移転における本グループの履行を表すことから、進捗度を測定するためにインプット法が使用される。進捗度は、当該契約の見積契約原価合計に対する累計発生契約原価の割合を参照して測定される。契約の結果について信頼性をもって見積ることができない場合、発生した契約原価が回収可能となる可能性が高い部分についてのみ、収益が認識される。顧客は、事前に合意した支払スケジュールに従って契約期間にわたり定期的に決済を行う。重大な戻入れが発生しない可能性が高い変動対価の見積りには、期待値法を用いてこれまでの実績が使用され、これは取引価格に含まれる。

顧客が財に対して支払を行う時期が履行義務の充足の時期と異なる場合には、重大な金融要素が存在する可能性がある。このような金融要素は本グループにとって重大なものではない。

y. 利息収入

利息収入は、実効金利法を用いて、時間の経過に応じた配分により認識される。

z. 配当収入

配当収入は、支払を受ける株主の権利の確定時に認識される。

aa. 借入コスト

借入コストは、意図した使用又は販売を可能にするために相当の期間を要する資産の取得、建設又は製造に直接起因するために資産計上する場合を除き、発生した期間の連結損益計算書に費用計上される。

適格資産の取得原価の一部としての借入コストの資産化は、資産に係る支出が発生し、借入コストが発生し、意図した使用又は販売に向けて資産を準備するために必要な活動に着手している時点で開始する。意図した使用又は販売に向けて適格資産を準備するために必要な活動の実質的に全てが中断又は完了した時点で、借入コストの資産化は中断又は終了する。

借入契約に伴い発生した借入に関する割引又はプレミアム及び付帯費用は、利息費用の調整と見なされる範囲内で、実効金利法を用いて借入期間にわたり費用として認識される。

ab. 売上原価及び一般管理費

一般管理費は、売上原価以外に発生した営業費用を表している。売上原価には、主に売却した棚卸資産の原価、コネクティビティ費用及び人件費が含まれ、一般管理費には、主に有形固定資産の減価償却費、使用権資産の減価償却費、借地プレミアムの償却費、無形資産の償却費、履行コストの償却費、顧客獲得コストの償却費、売掛金の減損損失及びその他の人件費が含まれる。

ac. 法人所得税

- i. 当期の法人所得税は、当期の法人所得税並びに繰延税金資産及び負債の変動で構成される。当期の法人所得税並びに繰延税金資産及び負債の変動は、連結損益計算書に認識される。ただし、その他の包括利益又は資本に直接認識された項目に関連する場合、関連する金額はそれぞれ、その他の包括利益又は資本に直接認識される。
- ii. 当期の法人所得税は、報告期間末現在で施行されている、又は実質的に施行されている法人税率を使用して算定した当年度の課税所得に対して予想される未払法人所得税、及び過年度の未払法人税に対する調整である。
- iii. 繰延税金資産及び負債は、資産及び負債の財務報告目的の帳簿価額と税務上の基準額との差異による将来減算一時差異と将来加算一時差異により生じる。また繰延税金資産は未使用の繰越欠損金及び未使用の税額控除からも生じる。繰延税金負債の全額、及び繰延税金資産については資産が利用可能な将来の課税所得が稼得できる可能性が高い範囲内での全額が認識される。将来減算一時差異により生じる繰延税金資産の認識を裏付ける将来の課税所得は、現存する将来加算一時差異の解消（これらの差異が同一の税務当局及び同一の課税事業者に関連する場合に限る）により生じるものを含んでおり、将来減算一時差異の解消が見込まれるのと同じ期間か、又は繰延税金資産により生じた税務上の欠損金を繰戻控除若しくは繰延控除可能な期間のいずれかにおいて解消すると見込まれる。現存する将来加算一時差異が未使用の繰越欠損金及び未使用の税額控除から生じた繰延税金資産の認識を裏付けているかどうかを決定する際には同じ基準が適用される。すなわち、これらの差異が同一の税務当局及び同一の課税事業者に関連する場合、これらの差異が考慮され、税務上の欠損金又は税額控除を利用できる期間において解消すると見込まれる。認識される繰延税金の金額は、繰延税金資産及び負債の帳簿価額の実現又は解消が予想される方法に基づき、報告期間末現在で施行、又は実質的に施行されており、関連する繰延税金資産が実現し、繰延税金負債が解消する時に適用される見込みの税率を使用して測定される。繰延税金資産及び負債は割引されない。繰延税金資産の帳簿価額は各報告期間末現在で見直しが行われ、関連する税金減額効果を享受できるような十分な課税所得が得られる可能性が高くなった場合は、その範囲まで減額される。十分な課税所得を得る可能性が高くなった場合、かかる減額はその範囲まで戻入れられる。

iv. 当期の法人所得税の残高及び繰延税金の残高並びにこれらの変動はそれぞれ個別に表示され、相殺されない。本グループが当期の税金資産を当期の税金負債に対して相殺する法的強制力のある権利を有し、かつ以下の追加条件を満たしている場合、当期の税金資産は当期の税金負債に対して、また繰延税金資産は繰延税金負債に対して相殺される。

- 当期の税金資産及び負債の場合、本グループは、純額ベースで解消するか、又は資産の実現と負債の解消を同時に行うかのいずれかの予定である。
- 繰延税金資産及び負債の場合で、これらが同一の税務当局によって課税される法人所得税に関するものであり、以下のいずれかの場合、
 - 同一の課税事業者、又は、
 - 異なる課税事業者が、相当額の繰延税金負債の解消又は繰延税金資産の回収が予想される将来の各期間において、当期の税金資産の実現及び当期の税金負債の解消を純額ベースで行うか、又は実現と決済を同時に行う予定である。

ad. 従業員給付

i. 短期従業員給付

給与、年次賞与、年次休暇及び非貨幣性給付費用は、従業員が関連する勤務を提供した期間において引当てられる。支払又は決済が繰延べられ、その影響が重要となる場合、これらの金額は現在価値で計上される。

ii. 退職給付

本グループは従業員向けの確定拠出退職制度（強制準備基金を含む）を運営しており、その制度資産は通常、受託者が管理する基金で別途保管される。この制度は通常、本グループの関連する会社が拠出を行っている。

確定拠出退職制度において、本グループは、公的又は私的に管理されている年金保険制度に対して、強制的に、契約により、又は任意で拠出金を支払う。拠出金を支払えば、本グループに追加支払義務はない。

本グループの確定拠出退職制度への拠出は、かかる拠出に関連する期間の連結損益計算書に費用として認識される。

iii. 株式報酬

PCCW社及び本グループは株式オプション制度を運営しており、当該制度では本グループの従業員（及び取締役を含む）は、指定された行使価格でPCCW社株式（以下「PCCW社株式」という。）及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションを付与される。PCCW社株式及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションの付与と引き換えに受け取った従業員のサービスの公正価値は、連結損益計算書に人件費として認識され、それぞれ資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出及び従業員株式報酬準備金が同額増加する。付与したオプションの公正価値は、3項式オプション価格決定モデルを用い、オプション付与時の諸条件を考慮に入れて、付与日現在で測定され、従業員が無条件にオプションの権利を与えられる各権利確定期間にわたり配分される。権利確定期間において、権利確定が見込まれるオプション数の見直しが行われる。PCCW社株式及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションに関して過年度に認識された公正価値累計額に対する調整は、当初の人件費が資産としての認識に適格である場合を除き、見直しが行われた年度の連結損益計算書に費用計上され、又は費用の減額が行われ、それぞれ資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出及び従業員株式報酬準備金も同額が調整される。権利確定日において、権利が確定したオプションの実際の数に反映させるために、PCCW社株式及び本株式ステープル受益証券を取得できるオプションに関して人件費として認識された金額が調整される（それぞれ資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出及び従業員株式報酬準備金も同額が調整される）。PCCW社株式を取得できるオプションに関する資本の部の金額は、資本の部の従業員株式報酬に関する加入者からの資本拠出に引続き計上される。本株式ステープル受益証券を取得できるオプションに関する資本の部の金額は、オプションが行使されるまで、又はオプションが失効するまで、従業員株式報酬準備金に認識され、株式オプションの行使時には株式資本及び株式払込剰余金に振替えられ、株式オプションの失効時には利益剰余金に直接振替えられる。

本株式ステープル受益証券は、HKTリミテッドの株式ステープル受益証券報奨制度に基づき無対価で従業員に付与することができ、当該制度に基づき付与された本株式ステープル受益証券は、発行価格で新規発行されるか（以下「HKT株式ステープル受益証券引受制度」という。）、又は公開市場から買入れられる（以下「HKT株式ステープル受益証券買入制度」という。）。

HKT株式ステープル受益証券買入制度に基づき公開市場から買入れた本株式ステープル受益証券の取得原価及びHKT株式ステープル受益証券引受制度に基づき新規発行された本株式ステープル受益証券の発行価格は、資本の部に自己株式として認識される。両制度において本株式ステープル受益証券の付与と引き換えに受け取った従業員のサービスの公正価値は、連結損益計算書に人件費として認識され、資本の部の従業員株式報酬準備金が同額増加する。付与された本株式ステープル受益証券の公正価値は、付与日現在の本株式ステープル受益証券の市場相場価格で測定され、それぞれの権利確定期間にわたり連結損益計算書に費用計上される。権利確定期間において、付与された本株式ステープル受益証券のうち権利確定が見込まれる数の見直しが行われる。過年度に認識された公正価値累計額に対する調整は、当初の人件費が資産としての認識に適格である場合を除き、見直しが行われた年度の連結損益計算書に費用計上され、又は費用の減額が行われ、従業員株式報酬準備金も同額が調整される。権利確定日において、付与された本株式ステープル受益証券のうち権利が確定した実際の数に反映させるために、人件費として認識された金額が調整され（従業員株式報酬準備金も同額が調整される）、また、自己株式として認識された本株式ステープル受益証券の取得原価は、従業員株式報酬準備金に振替えられ、差額は資本の部に認識される。

PCCW社もまた、PCCW社及びその制度への加入会社の従業員に対して、当該株式報奨制度に基づき無対価でPCCW社株式を付与することができ、当該制度に基づき付与されたPCCW社株式は、発行価格で新規発行されるか（以下「PCCW新株引受制度」という。）、又は公開市場から買入れられる（以下「PCCW株式買入制度」という。）。

PCCW株式買入制度及びPCCW新株引受制度に基づく報奨は、現金決済型の株式報酬として会計処理される。付与されたPCCW社株式の公正価値は、PCCW株式買入制度においては公開市場から買入れたPCCW社株式の市場相場価格を表し、PCCW新株引受制度においてはPCCW社株式の発行価格を表し、これらPCCW社株式は純損益を通じて公正価値で測定する金融資産として認識され、公正価値で事後測定される。PCCW社株式の付与と引き換えに受け取った従業員のサービスの公正価値は、それぞれの権利確定期間にわたり連結損益計算書に人件費として認識され、それと同額の債務が認識される。権利確定期間において、付与されたPCCW社株式のうち権利確定が見込まれる数の見直しが行われる。当初の人件費が資産としての認識に適格である場合を除き、過年度に認識された公正価値累計額に対する調整は、見直しが行われた年度の連結損益計算書に費用計上され、又は費用の減額が行われ、債務も同額が調整される。権利確定日において、付与されたPCCW社株式のうち権利確定した実際の数を反映させるために、人件費として認識された金額が調整され（債務も同額が調整される）、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に認識されたPCCW社株式の帳簿価額は、当該債務と相殺される。

iv. 解雇給付

解雇給付は、余剰人員の解雇の条件及び影響を受ける従業員の数を明確にして適切な従業員代表と合意に至った後、又は個々の従業員が具体的な条件の通知を受けた後のいずれかの場合に限り認識される。

ae. 外貨換算

本グループの各事業体の財務書類に含まれている項目は、かかる事業体が事業を運営する主たる経済環境の通貨（以下「機能通貨」という。）を用いて測定される。HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの機能通貨並びに本グループの表示通貨である香港ドルで表示される。

期中の外貨建て取引は、取引日現在の実勢為替レートで換算される。外貨建ての貨幣性資産及び負債は、報告期間末現在の実勢為替レートで換算される。為替差損益は、適格キャッシュ・フロー・ヘッジとしてその他の包括利益において繰延べられない限り、連結損益計算書に認識される。

外貨建ての取得原価で測定される非貨幣性資産及び負債は、取引日現在の実勢為替レートを用いて換算される。公正価値で計上される外貨建ての非貨幣性資産及び負債は、公正価値の算定日現在の実勢為替レートを用いて換算される。FVPLで測定する資本性金融商品等の非貨幣性資産及び負債の換算から生じる為替換算差額は、連結損益計算書に公正価値利益又は損失の一部として計上される。FVOCIで測定する資本性金融商品等の非貨幣性資産及び負債の換算から生じる為替換算差額は、資本の部のFVOCIで測定する金融資産準備金の公正価値利益又は損失に含まれる。

海外事業の業績は、取引日現在の実勢為替レートに概ね一致する為替レートで香港ドルに換算される。海外事業の連結から生じたのれんを含む、連結財政状態計算書の海外事業項目は、報告期間末現在の実勢為替レートで香港ドルに換算される。この結果生じる為替換算差額はその他の包括利益に認識され、資本の部の為替換算準備金において別途累積される。

連結に際して、海外事業への純投資、並びにかかる投資のヘッジに指定された借入金及びその他の通貨商品があれば、その換算から生じる為替換算差額はその他の包括利益に計上され、資本の部の為替換算準備金において別途累積される。海外事業の処分に際しては、資本の部の為替換算準備金に認識された当該海外事業に関連する為替換算差額の累計額が、処分に係る損益の計算に含まれる。

af. 関連当事者

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の目的上、以下の当事者は本グループに関連するとみなされる。

- i. 当事者は、財務及び経営方針の決定にあたり、直接的に若しくは1社以上の仲介者を通じて間接的に、本グループを支配する、又は本グループに対して重要な影響力を行使する能力を有しているか、あるいは本グループに対する共同支配権を有している。
- ii. 本グループと当事者は共通の支配下にある。
- iii. 当事者は本グループの関連会社であるか、又は本グループが出資する共同支配企業である。
- iv. 当事者は、本グループ若しくは本グループの親会社の重要な経営幹部の一員であるか、又はその経営幹部個人の近親者であるか、あるいはかかる個人の支配下、共同支配下又は重要な影響下にある事業体である。
- v. 当事者が上記の注 i の近親者であるか、又はその支配下、共同支配下若しくは重要な影響下にある事業体である。
- vi. 当事者は、本グループ又は本グループの関連当事者である事業体の従業員の利益を目的とした退職後給付制度である。あるいは、
- vii. 当該事業体、又はその一部である本グループのメンバーが、本グループに主要な経営幹部サービスを提供している。

個人の近親者とは、事業体との取引において、かかる個人に影響を与える、又は影響を受けることが見込まれる家族のことである。

ag. セグメント報告

事業セグメントは、最高意思決定責任者（以下「CODM」という。）に提供される内部報告と一致する方法で報告される。事業セグメントの資源配分及び業績評価の責任を負うCODMは、本グループの上級執行役員とされている。

セグメント収益、費用、業績及び資産には、セグメントに直接帰属する項目や、そのセグメントに対して合理的な基準で配分可能な項目が含まれる。セグメント収益、費用及びセグメントの業績にはセグメント間取引が含まれる。セグメント間の価格決定は、類似サービスに関して他の外部当事者が利用可能な類似条件に基づいている。セグメント間取引は、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の作成時に全額相殺消去される。

セグメントの資本的支出とは、1年超の使用が見込まれるセグメント資産（有形固定資産及び借地権を含む）を取得するにあたり期中に発生した費用合計である。

ah. 株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に対する分配金/配当金

株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に対する分配金/配当金は、分配金/配当金が取締役会又は適切な場合には株式ステープル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に承認された期間に、HKTトラスト及びHKTリミテッドの連結財務書類並びにHKTリミテッドの財務書類に負債として認識される。

4 重要な会計上の見積り及び判断

見積り及び判断は継続的に評価されており、これらは過去の実績、及びその状況において合理的と考えられる将来の事象の予測を含む、その他の要因に基づいている。

本グループは将来を考慮して見積り及び仮定を策定する。その結果となる会計上の見積りが、関連する実績と等しい結果になることは本質的に稀である。注記18及び36には、のれんの減損及び金融商品に関連する仮定及びそのリスク要因の情報が含まれている。経営陣は、本グループの会計方針の適用に際しても判断を行った。これらの判断及び見積りの不確実性のその他の主な原因は、以下に記載の通りである。

i. 資産の減損（負債性金融商品への投資並びに売掛金及びその他の債権を除く）

各報告期間末現在で、本グループは、以下の資産が減損している可能性を示す兆候、又は（のれんのケースを除き）過年度に認識された減損損失が存在しなくなった、若しくは減少している可能性を示す兆候を識別するために、内部及び外部の情報源を再検討する。

- － 有形固定資産
- － 使用権資産
- － 借地権
- － 履行コスト
- － 顧客獲得コスト
- － 無形資産
- － 関連会社及び共同支配企業に対する持分
- － のれん

かかる兆候が存在する場合、当該資産の回収可能額が見積られる。のれん、まだ使用できる状態にない無形資産及び耐用年数を確定できない無形資産を含むCGUについては、減損の兆候の有無にかかわらず、減損テストが毎年行われる。CGUを適切に識別するために、重要な判断が用いられる。資産の帳簿価額が回収可能額を超過する場合はいつでも、減損損失が連結損益計算書に認識される。

減損の兆候を識別する目的で利用した情報源は本質的に主観的であることが多いため、本グループはかかる情報を業務に適用する際に判断が求められる。当該情報に関する本グループの解釈は、特定の報告期間末現在で減損の評価を実施するか否かについて直接的な影響を及ぼす。かかる情報は、本グループの香港における電気通信サービス及びインフラ事業に関連するため、特に重要である。

減損の兆候が識別された場合、本グループは回収可能額（資産の売却コスト控除後の公正価値又は使用価値のいずれか高い方の金額）を見積る必要があるため、かかる情報をさらに用いることになる。見直しの対象となる資産の全体的な重要性や回収可能額の合理的な見積りの算定の複雑性に関する本グループの評価に応じて、本グループは内部リソースを利用してかかる評価を実施することもあれば、外部のアドバイザーと契約して助言を得ることもある。利用するリソースにかかわらず、本グループはこれらの評価の実施に際して、かかる資産の利用、生み出されるキャッシュ・フロー、適切な市場割引率並びに予想される市況及び規制状況を含むさまざまな仮定を行うことが求められる。これらの仮定の変更により、資産の回収可能額の将来の見積りに重要な変更が生じることがある。

ii. 収益認識

特定の取決に基づき、本グループは、電気通信サービス及びその他のサービスの提供以外に、端末、機器、景品及びリワード・ポイントの引渡しなど、顧客に対するその他の特定の履行義務を負っている。このような複数要素の取決が存在する場合、顧客から受領する取引価格の合計は、独立販売価格の比率に基づき、本グループの履行義務に配分される。経営陣は、主に類似した状況における類似の顧客に対する各履行義務の観察可能な小売価格及び観察可能な市場データに基づき、契約開始時に独立販売価格を見積もっている。一括販売による割引が付与された場合、割引は、独立販売価格の比率に基づき、各履行義務に配分される。本グループは、独立販売価格の見積りに関連して相当の判断を行うことが求められる。

iii. 繰延税金

繰延税金負債が加算可能な一時差異の全てに全額対応するように計上される一方で、繰延税金資産は、減算可能な一時差異の利用が可能となる将来の課税所得が発生する可能性が高い範囲でのみ認識される。認識すべき繰延税金資産の金額の評価にあたり、本グループは将来の課税所得及び継続的な慎重かつ適切な税務計画戦略を考慮する。将来の予想課税所得及び利用可能な税務戦略からの税金減額効果に関する本グループの見積りに変更がある場合、又は現行の法人税制を変更する法案が成立して今後の繰越欠損金による税金減額効果を活用する本グループの能力の時期又は範囲に影響を及ぼす場合、正味繰延税金資産及び法人所得税の計上額が修正されることがある。

iv. 法人所得税

本グループは、当会計年度における課税所得の見積額に基づいて法人所得税の引当金を設定する。税金負債の見積額は、主に本グループが作成した税金計算に基づいて算定される。しかし時折、税金計算に含まれる項目及び特定の非経常的な取引の税務上の取扱いについて香港及び他の各地の税務当局から質問を受けることがある。これらの質問又は判断により異なる税務ポジションがもたらされる可能性が高いと本グループが考える場合、その結果として最も可能性の高い金額が見積られ、それに応じて法人所得税及び税金負債が修正されることになる。

v. 有形固定資産、無形資産（のれんを除く）、履行コスト及び顧客獲得コストの耐用年数

本グループは、多くの有形固定資産、無形資産（のれんを除く）、履行コスト及び顧客獲得コストを保有している。本グループは、各報告期間の減価償却費及び償却費の金額を確定するために、有形固定資産、無形資産（のれんを除く）、履行コスト及び顧客獲得コストの耐用年数を見積ることが求められる。

耐用年数は、将来の技術の変化、事業展開、本グループの戦略及び顧客との契約の予想期間を考慮した上で、これらの資産の購入時、又は顧客との契約を履行若しくは獲得する際の直接コストの発生時に見積られる。本グループは毎年見直しを実施して見積耐用年数の妥当性を評価する。かかる見直しには、予想経営成績の減少、業界又は経済動向のマイナス成長及び技術の急速な発展を含む、状況や事象の予想外の不利な変動を考慮に入れている。本グループは見直しの結果に従って、耐用年数の延長又は短縮を行う。

vi. リース期間及び割引率の決定

経営陣は、リース期間を決定する際に、本グループの既存のリースの状況、将来の技術の変化、事業展開及び本グループの戦略など、延長オプションを行使する又は解約オプションを行使しないという経済的インセンティブを創出するような事実及び状況を検討する。延長オプション（又は解約オプション後の期間）は、リースが延長される（又は解約されない）ことが合理的に確実な場合に限り、リース期間に含まれる。潜在的な将来キャッシュ・アウトフローは、リースが延長される（又は解約されない）ことが合理的に確実でないため、リース負債には含まれない。この評価は、当該評価に影響を与えるような、かつ借手の統制の及ぶ範囲内にある、重大な事象又は状況の重大な変化が発生した場合に見直される。2019年12月31日現在、リースが延長される（又は解約されない）ことが合理的に確実でないため、潜在的な割引前の将来キャッシュ・アウトフロー445百万香港ドルは、リース負債に含まれていない。

割引率の決定にあたり、本グループは、リースの開始日と変更発効日（該当する場合）のいずれにおいても、原資産の性質及びリースの条件を考慮して、相当の判断を行うことが求められる。

[前へ](#)[次へ](#)

5 HKTリミテッドの財政状態計算書

科目	期別	注記	2018年		2019年	
			百万香港ドル	百万円	百万香港ドル	百万円
資産及び負債						
非流動資産						
子会社に対する持分			28,143	401,319	28,497	406,367
			28,143	401,319	28,497	406,367
流動資産						
前払金及び預け金			3	43	2	29
子会社に対する債権			7,366	105,039	7,140	101,816
			7,369	105,082	7,142	101,845
流動負債						
未払費用及びその他の未払金			(30)	(428)	(4)	(57)
子会社に対する債務			(96)	(1,369)	(107)	(1,526)
当期税金負債			(9)	(128)	(32)	(456)
			(135)	(1,925)	(143)	(2,039)
純資産			35,377	504,476	35,496	506,173
資本金及び剰余金						
株式資本	30(a)		8	114	8	114
剰余金	30(b)		35,369	504,362	35,488	506,059
資本合計			35,377	504,476	35,496	506,173

本財務書類は、2020年2月12日に、HKTリミテッド取締役会により承認され、公表を承認され、HKTリミテッド取締役会を代表して以下の取締役により署名された。

リチャード・リ・ツァル・カイ
取締役

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン
取締役

[前へ](#)

[次へ](#)

6 関連当事者取引

PCCW社は本株式ステープル受益証券の支配保有者である。CAS ホールディング・ナンバーワン・リミテッド及びPCCW社はそれぞれ、HKTリミテッドの直接的及び最終的な持株会社である。

当期において、本グループは関連当事者と以下の取引を実施した。

	注記	(単位：百万香港ドル)	
		2018年	2019年
PCCW社の実質的な株主から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬	a	78	71
PCCW社の実質的な株主へ支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬	a	87	95
共同支配企業から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、コンサルティング・サービス報酬及び利息収入	a	42	42
共同支配企業へ支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬、機器購入費用、外部委託費用及び賃借料	a	298	292
関連会社から受領した又は受領予定のコンサルティング・サービス報酬及び利息収入	a	14	6
関連会社に支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬	a	6	—
HKTリミテッドと共通の株式ステープル受益証券保有者/株主を有する関連当事者から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、接続サービス報酬、機器販売代金、保険料及びその他の再計上費用	a	44	44
HKTリミテッドと共通の株式ステープル受益証券保有者/株主を有する関連当事者に支払った又は支払予定の保険料及びフロンティング・サービス報酬	a	16	10
兄弟会社から受領した又は受領予定の電気通信サービス報酬、管理報酬、機器販売代金並びにその他の再計上費用	a	1,822	2,109
兄弟会社へ支払った又は支払予定の電気通信サービス報酬、IT及びロジスティック費、システム開発及び統合費、コンサルティング・サービス費用、棚卸資産購入費用、賃借料及び施設管理費用、管理報酬並びにその他の再計上費用	a	2,801	2,968
主要な経営陣の報酬	b	88	26

- a. 上記の取引は、通常の事業活動において本グループと関連当事者が協議した後に実施されたものであり、取締役が決定した見積市場価値に基づいている。価格又は取引量に関して該当する関連当事者と合意に至っていない取引については、取締役は最善の見積に基づいて金額を決定している。

b. 主要な経営陣の報酬

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
給与及びその他の短期従業員給付	44	20
株式報酬	23	5
満了給付	19	—
退職給付	2	1
	88	26

c. 関係会社及び兄弟会社との間の債権債務残高

注記20及び21に明記されているもの、及び関係会社に対する債権に含まれている、年利3%（2018年：同じ）で1年以内に返済予定（2018年：同じ）の合計19百万香港ドル（2018年：9百万香港ドル）の特定の無担保貸付金を除き、2018年及び2019年12月31日現在の兄弟会社に対する債務及び関係会社に対するその他の債権は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。

7 セグメント情報

CODMは本グループの上級執行役員である。CODMは、業績を評価し資源を配分するため、本グループの内部報告を検討しており、セグメント情報はこの内部報告に従って以下のように報告される。

CODMは製品の観点から事業を検討し、以下のセグメントの業績を評価している。

- 電気通信サービス（以下「TSS」という。）は、電気通信及び関連サービス（地域電話、ローカル・データ及びブロードバンド、国際電気通信、企業ソリューション、並びに顧客構内設備の販売、アウトソーシング、コンサルティング及びコンタクト・センター等のその他の電気通信事業）の提供を行う大手プロバイダーである。TSSは主に香港で事業を行っており、また、中国本土及び世界のその他の地域の顧客にもサービスを提供している。
- モバイルには香港における本グループのモバイル通信事業が含まれる。
- 本グループのその他の事業（以下「その他の事業」という。）は主に、タップ&ゴーがその一部であるザ・クラブ及びHKTフィナンシャル・サービスズ等の新規事業分野、並びに本社サポート機能で構成されている。

CODMは利息、税金、減価償却費及び償却費考慮前の調整後利益（以下「EBITDA」という。）の測定値に基づき、事業セグメントの業績を評価している。EBITDAは受取利息、財務費用、法人所得税、減価償却費及び償却費、有形固定資産、借地権、使用権資産及び無形資産の処分に係る利益/損失、その他の利益/損失（純額）、有形固定資産に係る損失、再編費用、のれん、有形資産及び無形資産並びに関連会社及び共同支配企業に対する持分に係る減損損失、並びに関連会社及び共同支配企業の損益に対する本グループの持分考慮前の利益を表している。

セグメントの収益、費用及びセグメントの業績にはセグメント間の取引が含まれる。セグメント間の価格は、類似のサービスに関する他の外部当事者に適用可能な類似の条件に基づいている。CODMに報告される外部当事者からの収益は連結損益計算書の収益と同じ方法で測定される。

本グループのCODMへ提供された、本グループの報告セグメントに関する情報は以下の通りである。

(単位：百万香港ドル)

	2018年				
	TSS	モバイル	その他の事業	相殺消去	合計
収益					
外部の収益	21,128	13,825	234	—	35,187
セグメント間の収益	646	184	6	(836)	—
収益合計	21,774	14,009	240	(836)	35,187
顧客との契約からの外部収益：					
収益認識のタイミング					
一時点	1,557	5,659	206	—	7,422
一定の期間	19,510	8,166	27	—	27,703
その他からの外部収益：					
賃貸料収入	61	—	1	—	62
	21,128	13,825	234	—	35,187
損益					
EBITDA	8,204	4,959	(605)	—	12,558
その他の情報					
当期に発生した資本的支出(有形固定資産及び借地権を含む)	1,572	873	143	—	2,588

(単位：百万香港ドル)

	2019年				
	TSS	モバイル	その他の事業	相殺消去	合計
収益					
外部の収益	21,265	11,612	226	—	33,103
セグメント間の収益	688	202	10	(900)	—
収益合計	21,953	11,814	236	(900)	33,103
顧客との契約からの外部収益：					
収益認識のタイミング					
一時点	2,324	3,306	72	—	5,702
一定の期間	18,874	8,306	154	—	27,334
その他からの外部収益：					
賃貸料収入	67	—	—	—	67
	21,265	11,612	226	—	33,103
損益					
EBITDA	8,360	5,068	(611)	—	12,817
その他の情報					
当期に発生した資本的支出(有形固定資産及び借地権を含む)	1,675	881	146	—	2,702

セグメントEBITDA合計から税引前利益への調整は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
セグメントEBITDA合計	12,558	12,817
有形固定資産の処分に係る利益/(損失)(純額)	1	(2)
減価償却費及び償却費	(5,343)	(5,121)
その他の利益(純額)	2	3
財務費用(純額)	(1,350)	(1,372)
関連会社の損益に対する持分	—	(33)
共同支配企業の損益に対する持分	(16)	(18)
税引前利益	5,852	6,274

外部顧客からの本グループの収益の地域別情報は、以下の表の通りである。地域別セグメントの情報の表示において、セグメント収益は本グループが顧客から収益を得られる拠点を基準にしている。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
香港(所在地)	29,740	28,201
中国本土及び中国のその他の地域	510	544
その他	4,937	4,358
	35,187	33,103

香港内にある金融商品及び繰延税金資産以外の非流動資産合計は、2019年12月31日現在、85,692百万香港ドル（2018年：82,869百万香港ドル）であった。その他の国にあるこれら非流動資産の合計は、2019年12月31日現在、2,909百万香港ドル（2018年：2,896百万香港ドル）であった。

8 収益

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
顧客との契約からの収益	35,125	33,036
その他からの収益：賃貸料収入	62	67
	35,187	33,103

a. 契約負債に関連する収益認識

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
認識した収益のうち、期首の契約負債残高に含まれていたもの	1,288	1,415

b. 未充足の長期固定価格契約

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
12月31日現在で、部分的又は全て未充足の 長期固定価格契約に配分した取引価格の合計額	16,377	16,658

2019年12月31日現在、経営陣は、未充足の長期固定価格契約に配分した取引価格のうち60%及び25%（2018年：63%及び23%）がそれぞれ報告期間末の翌年度及び翌々年度において収益として認識されると予想した。残りの15%（2018年：14%）は、その後の期間において収益として認識される見込みである。上記の開示金額には、期間が1年以内の本グループの顧客との契約及びこれまでに完了した履行に従って直接請求される顧客との契約に関連する未充足の履行義務は含まれていない。

9 税引前利益

税引前利益は以下の項目考慮後で計上された。

a. 人件費

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
給与、賞与及びその他の給付	2,271	2,057
株式報酬費用	55	39
確定拠出退職制度に基づく職員向退職手当	302	308
	2,628	2,404
控除：売上原価に含まれる人件費	(812)	(835)
一般管理費に含まれる人件費	1,816	1,569

b. 売上原価

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
売却した棚卸資産の原価	7,960	5,469
コネクティビティ費用	6,179	6,386
人件費	812	835
棚卸資産の陳腐化に対する引当金繰入額/(戻入額)（純額）	8	(2)
その他	3,021	3,099
	17,980	15,787

c. 一般管理費

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
人件費	1,816	1,569
売掛金の減損損失	211	222
有形固定資産の減価償却費	1,324	1,150
使用権資産の減価償却費－土地及び建物	1,262	1,259
使用権資産の減価償却費－ネットワーク容量及び装置	289	234
借地プレミアムの償却費－借地権	13	12
無形資産の償却費	1,186	1,126
履行コストの償却費	417	489
顧客獲得コストの償却費	852	851
為替差益(純額)	(6)	(145)
控除：キャッシュ・フロー・ヘッジ：資本からの振替	35	160
有形固定資産の処分に係る(利益)/損失(純額)	(1)	2
HKTリミテッドの監査人に対する報酬		
－監査及び監査関連業務	14	15
－非監査業務	7	3
その他の監査人に対する報酬		
－監査及び監査関連業務	5	6
－非監査業務	2	2
短期リース費用	84	105
その他	2,481	2,562
	9,991	9,622

10 財務費用（純額）

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
支払利息(リース負債に係る支払利息を除く)	(1,330)	(1,441)
リース負債に係る支払利息	(96)	(92)
未払通信事業者免許料の名目額増価	(44)	(35)
その他の財務費用	(6)	(6)
ヘッジの無効部分：クロスカレンシー・スワップ契約及び為替先渡契約－為替リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ	19	48
ヘッジの無効部分：金利スワップ契約－金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ	2	7
為替先渡契約の解消	—	8
公正価値ヘッジの再設計の影響	(16)	(16)
	(1,471)	(1,527)
有形固定資産及び無形資産に資産計上された利息(注a)	52	91
財務費用合計	(1,419)	(1,436)
受取利息	60	56
リースに対する純投資からの受取利息	9	8
受取利息合計	69	64
財務費用(純額)	(1,350)	(1,372)

- a. 有形固定資産及び無形資産への資産計上に適格な利息の金額を算定するため用いられた資産化率は、2019年12月31日に終了した会計年度において、2.97%から3.47%（2018年：3.05%から3.31%）であった。

11 取締役及び上級執行役の報酬

a. 取締役の報酬－現金及び現金同等物支払額/支払予定額

(単位：百万香港ドル)

	2018年							
	取締役 報酬	給与	手当	現物 給付 ¹	賞与 ²	退職制度 拠出金	株式 報酬 ³	合計
執行取締役								
リチャード・リ・ツアル・ カイ氏	—	—	—	—	—	—	—	—
アレキサンダー・ アンソニー・アリーナ氏 ⁴	—	10.95	7.07	0.02	12.26	1.06	31.33	62.69
スザンナ・フェイ・ホン・ ヒン氏	—	3.78	2.17	0.03	5.31	0.45	5.56	17.30
非執行取締役								
バンガロール・ガンガイア・ スリニバース氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ピーター・アンソニー・ アレン氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ミコ・チャン・チョ・イー氏	0.24	—	—	—	—	—	—	0.24
ルー・イミン氏 ⁵	0.17 ⁶	—	—	—	—	—	—	0.17
リ・フシェン氏	0.24 ⁷	—	—	—	—	—	—	0.24
シュ・ケビン氏 ⁸	0.07 ⁹	—	—	—	—	—	—	0.07
独立非執行取締役								
チャン・シン・カン教授	0.24	—	—	—	—	—	—	0.24
スニル・ヴァルマ氏	0.36 ¹⁰	—	—	—	—	—	—	0.36
アマン・メータ氏	0.36 ¹¹	—	—	—	—	—	—	0.36
フランシス・ワイクン・ウォ ン氏	0.36 ¹²	—	—	—	—	—	—	0.36
	2.04	14.73	9.24	0.05	17.57	1.51	36.89	82.03

脚注

- 1 現物給付は、主に医療保険料を含む。
- 2 上記の賞与の金額は、2017年度賞与のうち、2018年度の支払額を表す。これは、2017年12月31日に終了した会計年度における本グループ及び個人の業績を参照して決定された。
- 3 上記の株式報酬の金額は、株式報酬制度に基づき各取締役に対して2018年度に権利が確定した（退職を理由とする繰上権利確定を含む）PCCW社株式及び株式ステップル受益証券の各付与日現在の公正価値の合計を表す。
- 4 2018年8月31日付で執行取締役を退任した。
- 5 2018年9月18日付で非執行取締役を退任した。
- 6 2018年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、ルー・イミン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 7 2018年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、リ・フシェン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 8 2018年9月18日付で非執行取締役に任命された。
- 9 2018年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、シュ・ケビン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 10 監査委員会の委員長としての報酬118,450香港ドルを含む。
- 11 指名委員会の委員長としての報酬118,450香港ドルを含む。
- 12 報酬委員会の委員長としての報酬118,450香港ドルを含む。

2019年

	取締役報酬	給与	手当	現物 給付 ¹	賞与 ²	退職制度 拠出金	株式 報酬 ³	合計
執行取締役								
リチャード・リ・ツァル・カイ氏	—	—	—	—	—	—	—	—
スザンナ・フェイ・ホン・ヒン氏	—	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	20.79
非執行取締役								
バンガロール・ガンガイア・スリニバス氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ピーター・アンソニー・アレン氏	—	—	—	—	—	—	—	—
ミコ・チャン・チョ・イー氏	0.25	—	—	—	—	—	—	0.25
リ・フシェン氏	0.25 ⁴	—	—	—	—	—	—	0.25
シュ・ケビン氏	0.25 ⁵	—	—	—	—	—	—	0.25
独立非執行取締役								
チャン・シン・カン教授	0.25	—	—	—	—	—	—	0.25
スニル・ヴァルマ氏	0.37 ⁶	—	—	—	—	—	—	0.37
アマン・メータ氏	0.37 ⁷	—	—	—	—	—	—	0.37
フランシス・ワイクン・ウォン氏	0.37 ⁸	—	—	—	—	—	—	0.37
	2.11	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	22.90

脚注

- 1 現物給付は、主に医療保険料を含む。
- 2 上記の賞与の金額は、2018年度賞与のうち、2019年度の支払額を表す。これは、2018年12月31日に終了した会計年度における本グループ及び個人の業績を参照して決定された。
- 3 上記の株式報酬の金額は、株式報酬制度に基づき各取締役に対して2019年度に権利が確定したPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の各付与日現在の公正価値の合計を表す。
- 4 2019年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、リ・フシェン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 5 2019年度の非執行取締役として受領予定の報酬は、シュ・ケビン氏とチャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの間の契約に従い、チャイナ・ユナイテッド・ネットワーク・コミュニケーションズ・グループ・カンパニー・リミテッドの子会社に移転された。
- 6 監査委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。
- 7 指名委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。
- 8 報酬委員会の委員長としての報酬124,400香港ドルを含む。

b. 取締役の他の役務

2019年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド又はその子会社の業務管理に関連する取締役の他の役務に関して、取締役に支払われた又は取締役が受領予定のその他の報酬はなかった（2018年：なし）。

c. 取締役の退職給付

2019年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド及びその子会社の取締役としての役務に関して、本グループが運営している確定拠出退職制度より取締役に支払われた又は取締役が受領予定の退職給付はなかった。2018年12月31日に終了した会計年度において、アレキサンダー・アンソニー・アリーナ氏の退任に伴い、本グループから同氏に関連する退職給付が支払われた。

2019年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッド又はその子会社の業務管理に関連する他の役務に関して、取締役に支払われた又は取締役が受領予定のその他の退職給付はなかった（2018年：なし）。

d. 取締役の満了給付

2019年12月31日に終了した会計年度において、取締役としての役務の満了に関して、取締役に支払われた又は取締役が受領予定の給付はなかった。2018年12月31日に終了した会計年度において、アレキサンダー・アンソニー・アリーナ氏の退任に伴い、HKTリミテッドとPCCW社の両社から同氏に合計約70百万香港ドルの満了給付が支払われた。

e. 取締役の役務提供のための第三者への対価

2019年12月31日に終了した会計年度において、取締役の役務提供のために第三者に支払った又は第三者が受領予定の対価はなかった（2018年：なし）。

f. 取締役に有利な条件で（該当する場合）、HKTリミテッド又はその子会社が締結した貸付金、貸付類似金及びその他の取引に関する情報

2019年12月31日に終了した会計年度において、取締役、その被支配会社及び関連当事者に有利な条件での貸付金、貸付類似金又はその他の取引はなかった（2018年：なし）。

g. 取引、取決又は契約に対する取締役の重大な利害関係

報告期間末現在又は2019年12月31日に終了した会計年度のいずれの時点においても、HKTリミテッドが当事者であり、かつHKTリミテッドの取締役が直接的か間接的かを問わず重大な利害関係を有している本グループの事業に関連する重要な取引、取決又は契約は存在しなかった（2018年：なし）。

h. 報酬額上位者

- i. 報酬額上位5名のうち、1名（2018年：2名）はHKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーの取締役であり、その報酬は注記11(a)に開示されている。2019年12月31日に終了した会計年度における取締役以外の4名（2018年：3名）の報酬は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
給与、株式報酬、手当及び現物給付	13	18
賞与	3	3
退職制度拠出金	1	1
	17	22

- ii. 2019年12月31日に終了した会計年度における取締役以外の4名（2018年：3名）の報酬は、以下の報酬額の範囲内にあった。

	人数	
	2018年	2019年
5,000,001－5,500,000香港ドル	2	3
6,500,001－7,000,000香港ドル	1	1
	3	4

12 法人所得税

a. 連結損益計算書上の法人所得税

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
香港の収益税		
－当期計上額	610	484
－過年度に関する引当超過額	(14)	(9)
海外の税金		
－当期計上額	30	32
－過年度に関する引当超過額	(23)	(6)
繰延税金の変動(注記32(a))	407	536
	1,010	1,037

香港の収益税は、当期の課税所得の見積額の16.5%（2018年：16.5%）で計上されている。

海外の税金は、当期の課税所得の見積額にそれぞれの税管轄における実効税率を乗じて計算されている。

b. 法人所得税と会計上の利益に適用税率を乗じた金額との調整

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
税引前利益	5,852	6,274
香港の税率16.5%(2018年：16.5%)により計算された、 税引前利益に係る想定税金額	966	1,035
海外で営業活動を行っている子会社に係る異なる税率の影響	7	18
課税対象外の収益	(29)	(25)
税務上損金不算入の費用	60	56
認識されない税務上の欠損金	36	47
過年度に関する引当超過額(純額)	(37)	(15)
過年度に認識されていなかった税務上の欠損金の利用	(12)	(10)
税務上の欠損金の認識	(18)	—
過年度に認識されていなかった一時差異の認識	34	(11)
税務上損金不算入の関連会社及び共同支配企業の純損失	3	8
法人所得税の優遇措置	—	(66)
法人所得税	1,010	1,037

13 分配金/配当金

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
当会計年度に関して宣言及び支払が行われた株式ステープル 受益証券/HKTリミテッド普通株式1株当たり30.01香港セン ト(2018年：29.12香港セント)の期中分配金/配当金	2,205	2,272
前会計年度に関して宣言され、当会計年度に承認及び支払が 行われた株式ステープル受益証券/HKTリミテッド普通株式 1株当たり39.17香港セント(2018年：36.75香港セント)の 最終分配金/配当金	2,783	2,966
	4,988	5,238

2019年12月31日に終了した会計年度において、HKTリミテッドは、報告期間末以降に、HKTトラストに対して、普通株式1株当たり40.37香港セント、合計3,057百万香港ドル（2018年：普通株式1株当たり39.17香港セント、合計2,966百万香港ドル）の最終配当金を提案した。

2019年12月31日に終了した会計年度において、HKTトラストは、報告期間末以降に、株式ステープル受益証券の保有者に対して、株式ステープル受益証券1口当たり40.37香港セント、合計3,057百万香港ドル（2018年：株式ステープル受益証券1口当たり39.17香港セント、合計2,966百万香港ドル）の最終分配金を提案した。

上記の報告期間末以降に提案された最終分配金/配当金は、報告期間末現在の負債として認識されていない。

14 株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり利益

株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の1株当たり基本的利益及び希薄化後利益の計算は、以下のデータに基づいて行われた。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
利益		
株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の1株当たり基本的利益及び希薄化後利益に用いられる利益	4,825	5,217
株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の株式数		
株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド普通株式の加重平均株式数	7,571,742,334株	7,571,742,334株
HKTリミテッドの株式ステーブル受益証券報奨制度に基づき保有される株式ステーブル受益証券の影響	(372,000)株	(642,588)株
株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり基本的利益に用いられる株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド普通株式の加重平均株式数	7,571,370,334株	7,571,099,746株
HKTリミテッドの株式ステーブル受益証券報奨制度に基づき付与された株式ステーブル受益証券の影響	2,364,723株	1,775,583株
株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式1株当たり希薄化後利益に用いられる株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド普通株式の加重平均株式数	7,573,735,057株	7,572,875,329株

15 有形固定資産

(単位：百万香港ドル)

2018年						
	建物	交換機	送電設備	その他の設備及び機器	建設中のプロジェクト	合計
取得原価						
期首現在	1,389	22,183	24,808	13,740	1,916	64,036
取得	—	488	280	211	1,609	2,588
移転	—	98	312	493	(903)	—
処分	—	(240)	(26)	(167)	—	(433)
為替換算差額	—	(21)	(68)	(24)	—	(113)
期末現在	1,389	22,508	25,306	14,253	2,622	66,078
減価償却累計額及び減損累計額						
期首現在	684	17,552	15,617	10,797	—	44,650
当期計上額	29	387	479	429	—	1,324
処分	—	(240)	(26)	(165)	—	(431)
為替換算差額	—	(17)	(27)	(22)	—	(66)
期末現在	713	17,682	16,043	11,039	—	45,477
正味帳簿価額						
期末現在	676	4,826	9,263	3,214	2,622	20,601
期首現在	705	4,631	9,191	2,943	1,916	19,386

（単位：百万香港ドル）

	2019年					
	建物	交換機	送電設備	その他の設備及び機器	建設中のプロジェクト	合計
取得原価						
期首現在	1,389	22,508	25,306	14,253	2,622	66,078
取得	—	552	399	430	1,321	2,702
企業結合に伴う取得	—	—	—	15	—	15
移転	—	314	762	526	(1,602)	—
処分	—	(388)	(3)	(106)	—	(497)
為替換算差額	—	1	30	(18)	—	13
期末現在	1,389	22,987	26,494	15,100	2,341	68,311
減価償却累計額及び減損累計額						
期首現在	713	17,682	16,043	11,039	—	45,477
当期計上額	29	316	489	316	—	1,150
処分	—	(388)	(3)	(100)	—	(491)
為替換算差額	—	—	14	(16)	—	(2)
期末現在	742	17,610	16,543	11,239	—	46,134
正味帳簿価額						
期末現在	647	5,377	9,951	3,861	2,341	22,177
期首現在	676	4,826	9,263	3,214	2,622	20,601

減価償却費の当期計上額は連結損益計算書の一般管理費に含まれている。

2019年12月31日に終了した会計年度において、本グループは、本グループの運営管理及び技術的動向の予想に基づき、本グループの一部の有形固定資産の耐用年数の再評価を行った。当該再評価の結果、これらの資産の見積耐用年数が変更された。本グループは、これを会計上の見積の変更とみなしているため、将来に向かってこの変更の会計処理を行った。この会計上の見積の変更の結果、本グループの2019年12月31日に終了した会計年度における株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属する利益は204百万香港ドル増加し、2019年12月31日現在の株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属する持分は204百万香港ドル増加した。

16 使用権資産

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
土地及び建物	2,414	2,164
ネットワーク容量及び装置	394	272
合計	2,808	2,436

本グループは、リース契約を通じて、一定の期間にわたり、様々な土地及び建物、並びにネットワーク容量及び装置の使用を支配する権利を取得している。リース契約は、個別に交渉され、支払リース料及びリース期間を含む広範囲の様々な条件を含んでおり、リース期間は土地及び建物に関しては1年から20年、ネットワーク容量及び装置に関しては1年から6年の範囲である。主にリース契約において一般的なリース資産の維持及び使用に関連するリース条項を除き、リース契約によって課される他の条項又は制限はない。リース資産は、借入目的の担保として利用することはできない。本グループはまた、特定の建物について原リースの残存期間全体をリース期間とするサブリースを行っており、当該サブリースをファイナンス・リースに分類している。

2019年12月31日に終了した会計年度における使用権資産の増加は、1,136百万香港ドル（2018年：2,302百万香港ドル）であった。

2019年12月31日に終了した会計年度において、リースについてのキャッシュ・アウトフロー合計1,644百万香港ドル（2018年：1,665百万香港ドル）は、財務活動に使用した正味現金に含まれていた。

減価償却費の当期計上額は、連結損益計算書の一般管理費に含まれている。

17 借地権

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
取得原価		
期首及び期末現在	536	536
償却累計額		
期首現在	296	309
当期計上額	13	12
期末現在	309	321
正味帳簿価額		
期末現在	227	215
期首現在	240	227

18 のれん

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
取得原価		
期首現在	49,814	49,805
企業結合に伴う取得	3	5
為替換算差額	(12)	4
期末現在	49,805	49,814

のれんを含むCGUの減損テスト

のれんは事業セグメントに従って識別された本グループのCGUに対して以下の通り配分された。

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
TSS		
ー地域電話及びデータ・サービス	31,693	31,698
ーグローバル	1,259	1,263
モバイル	16,853	16,853
合計	49,805	49,814

CGUの回収可能額は使用価値に基づいて算定される。これらの計算には、経営陣が承認した通常5年間の財務予算に基づくキャッシュ・フロー予測が用いられる。予測期間より先のキャッシュ・フローは下記の見積最終成長率を用いて推定される。

2019年度に使用価値の計算に使用された主な仮定は以下の通りであった。

	2018年				2019年			
	収益 成長率	EBITDA 成長率	最終 成長率	税引前 割引率	収益 成長率	EBITDA 成長率	最終 成長率	税引前 割引率
TSS								
ー地域電話及び データ・サービス	2%	2%	1%	8%	1%	1%	1%	8%
ーグローバル	1%	3%	3%	13%	1%	2%	3%	13%
モバイル	2%	3%	2%	12%	3%	2%	2%	11%

これらの仮定は各CGUの分析に用いられた。

のれんの評価から要求される減損はなかった。合理的に考え得る仮定の変動によって減損が発生することはないため、感応度分析の開示は必要とは考えられていない。

経営陣は、過去の実績及び市場の展望の予想に基づき収益及びEBITDA成長率の予算を算定した。使用された平均成長率は業界レポートに含まれる予測と一致した。最終成長率はCGUの事業における長期的な平均成長率を超えるものではなかった。

19 無形資産

(単位：百万香港ドル)

	2018年				
	商号	通信事業者 免許	顧客基盤	ソフト ウェア	合計
取得原価					
期首現在	1,862	5,178	2,767	2,689	12,496
取得	—	104	—	1,811	1,915
処分	—	(730)	—	—	(730)
為替換算差額	(3)	—	(3)	—	(6)
期末現在	1,859	4,552	2,764	4,500	13,675
償却累計額					
期首現在	476	1,617	1,692	745	4,530
当期計上額	92	414	460	220	1,186
直接償却	—	(730)	—	—	(730)
為替換算差額	(1)	—	(1)	—	(2)
期末現在	567	1,301	2,151	965	4,984
正味帳簿価額					
期末現在	1,292	3,251	613	3,535	8,691
期首現在	1,386	3,561	1,075	1,944	7,966

(単位：百万香港ドル)

	2019年				
	商号	通信事業者 免許	顧客基盤	ソフト ウェア	合計
取得原価					
期首現在	1,859	4,552	2,764	4,500	13,675
取得	—	421	—	2,132	2,553
直接償却	—	(101)	—	—	(101)
為替換算差額	1	—	—	—	1
期末現在	1,860	4,872	2,764	6,632	16,128
償却累計額					
期首現在	567	1,301	2,151	965	4,984
当期計上額	90	412	187	437	1,126
直接償却	—	(101)	—	—	(101)
為替換算差額	—	—	1	—	1
期末現在	657	1,612	2,339	1,402	6,010
正味帳簿価額					
期末現在	1,203	3,260	425	5,230	10,118
期首現在	1,292	3,251	613	3,535	8,691

償却費の当期計上額は連結損益計算書の一般管理費に含まれている。

2018年及び2019年12月31日現在、無形資産に係る減損は認識されなかった。無形資産に係る減損評価は、対応するCGUにおける減損評価の一環として実施される。会計方針及び減損評価に関する詳細は、注記3(o)(ii)及び注記18を参照のこと。

20 関連会社に対する持分

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
関連会社の純資産に対する持分	65	272
関連会社に対する貸付金(純額)	233	233
減損引当金	(298)	(296)
	—	209
取得原価で測定する投資(非上場)	113	353

2019年12月31日に終了した会計年度において、連結損益計算書に認識された減損引当金はなかった。(2018年：なし)

香港でバーチャル・バンク運営事業に行うための共同支配企業の設立を目的とした、いずれも2019年3月27日付の引受契約及び株主合意に従い、HKTリミテッド・グループは、2019年12月31日に終了した会計年度において、香港において設立されたSCデジタル・ソリューション・リミテッドの発行済株式資本合計の15%を総額242百万香港ドルで引き受けた。SCデジタル・ソリューション・リミテッドは、香港金融管理局から香港でバーチャル・バンクを運営する免許を得ている。

2019年12月31日現在、関連会社に対する貸付金の内訳は、年率3%（2018年：同じ）で1年以内に返済予定（2018年：同じ）の特定の無担保貸付金合計340百万香港ドル（2018年：160百万香港ドル）、年率8%（2018年：同じ）で1年以内に返済予定（2018年：同じ）の担保付貸付金合計6百万香港ドル（2018年：6百万香港ドル）であった。2018年12月31日現在において年率3%、1年以内に返済予定であった特定の担保付貸付金合計180百万香港ドルは、2019年度において無担保となった。これらの貸付金は資本性のものと考えられ、2018年及び2019年12月31日現在、これらに対して減損引当金が全額引当てられている。

a. 2018年及び2019年12月31日現在、本グループは主要な関連会社がないものと考えていた。

b. 関連会社に関する偶発負債

関連会社に関連する本グループの偶発負債は、注記38に開示されている。2019年12月31日現在、本グループは関連会社の偶発負債に対する持分を保有していなかった（2018年：なし）。

c. 本グループの関連会社の要約未監査財務情報

2019年12月31日に終了した会計年度において、持分法で会計処理されており、個別に重要性のない関連会社の税引後損失、その他の包括損失及び包括損失合計に対する本グループの持分の純額合計は、それぞれ33百万香港ドル、なし、33百万香港ドルであった。

2018年12月31日に終了した会計年度において、本グループには、持分法で会計処理されており、個別に重要性のない関連会社の税引後損失、その他の包括損失及び包括損失合計に対する持分はなかった。

d. 要約非監査財務情報の調整

2019年12月31日現在、持分法で会計処理されており、個別には重要性のない関連会社に対する持分の帳簿価額合計は209百万香港ドルであった（2018年：なし）。

2019年12月31日に終了した会計年度において、本グループの関連会社の損失に対する未認識の持分は3百万香港ドル（2018年：7百万香港ドル）であった。2019年12月31日現在、本グループの関連会社の損失に対する未認識の持分累計額は10百万香港ドル（2018年：7百万香港ドル）であった。

21 共同支配企業に対する持分

（単位：百万香港ドル）

	2018年	2019年
共同支配企業の純資産に対する持分	296	306
共同支配企業に対する貸付金(純額)	382	337
	678	643
取得原価で測定する投資(非上場)	308	343

2019年12月31日現在、共同支配企業に対する全ての残高は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。ただし、共同支配企業に対する貸付金337百万香港ドル（2018年：382百万香港ドル）には、HIBORに年率3%を加えた金利（2018年：同じ）で利息が付されている。これらの金額は共同支配企業に対する持分の一部とみなされる。

a. 2019年12月31日現在の本グループの主な共同支配企業の詳細

会社名	主たる事業の所在地/設立地	主たる事業内容	発行資本額	HKTリミテッドの保有持分		測定方法
				直接	間接	
ジーニアス・ブランド・リミテッド(以下「GBL」という。)	香港	香港におけるモバイル通信サービスの提供	10,000香港ドル	—	50%	持分法

GBLは本グループの戦略的パートナーシップと位置付けられており、モバイル事業の発展のために香港において先進的な接続サービスへのアクセスを提供している。

GBLは非公開企業であり、株式の市場相場価格はない。

b. 共同支配企業に関するコミットメント及び偶発負債

2019年12月31日現在、共同支配企業に関する本グループのコミットメントは以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
本グループによる資金提供のコミットメント	73	59
承認済み、かつ契約締結済の有形固定資産の取得に係る共同支配企業の資本コミットメントに対する本グループの持分	26	12
共同支配企業のその他のコミットメントに対する本グループの持分	—	22

共同支配企業に対する本グループの持分に関する偶発負債はなかった。2019年12月31日現在、共同支配企業に関する偶発負債に対する本グループの持分はなかった（2018年：なし）。

c. 本グループの共同支配企業の要約未監査財務情報

本グループの主な共同支配企業であり、持分法で会計処理されているGBLの要約未監査財務情報は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	12月31日現在	
	2018年	2019年
非流動資産	900	801
流動資産		
現金及び現金同等物	28	6
その他の流動資産(現金及び現金同等物を除く)	25	31
流動資産合計	53	37
流動負債		
金融負債(買掛金、未払費用及びその他の未払金を除く)	(325)	(323)
その他の流動負債(買掛金、未払費用及びその他の未払金を含む)	(65)	(72)
流動負債合計	(390)	(395)
非流動負債		
金融負債	(604)	(494)
その他の非流動負債	(33)	(33)
非流動負債合計	(637)	(527)
純負債	(74)	(84)
株式の保有者に帰属する持分	(74)	(84)

(単位：百万香港ドル)

	12月31日に終了した会計年度	
	2018年	2019年
収益	254	255
減価償却費及び償却費	(102)	(97)
支払利息	(43)	(41)
税引前利益	1	1
法人所得税	(12)	(11)
税引後損失及び包括損失合計	(11)	(10)
共同支配企業からの受取配当金	—	—

上記の情報は、本グループと共同支配企業の間には会計方針の相違があった場合には相違に関する調整後の共同支配企業の財務書類に表示された金額を反映している（それらの金額に対する本グループの持分ではない）。

2019年12月31日に終了した会計年度において、持分法で会計処理されており、個別には重要性のない共同支配企業の税引後損失、その他の包括損失及び包括損失合計に対する本グループの持分の純額合計は、それぞれ13百万香港ドル（2018年：11百万香港ドル）、7百万香港ドル（2018年：その他の包括利益5百万香港ドル）及び20百万香港ドル（2018年：6百万香港ドル）であった。

d. 本グループの共同支配企業の要約未監査財務情報の調整

要約未監査財務情報から、主な共同支配企業であるGBLに対する本グループの持分の帳簿価額への調整は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
純負債		
期首残高	(63)	(74)
当期損失及び包括損失合計	(11)	(10)
期末残高	(74)	(84)
共同支配企業に対する持分割合	50%	50%
	(37)	(42)
共同支配企業に対する貸付金	382	337
帳簿価額	345	295

2019年12月31日現在、持分法で会計処理されており、個別には重要性のない共同支配企業に対する持分の帳簿価額合計は、348百万香港ドル（2018年：333百万香港ドル）であった。

2019年12月31日に終了した会計年度において、本グループには、共同支配企業の損失に対する未認識の持分はなかった（2018年：なし）。2019年12月31日現在、本グループが認識していない共同支配企業の損失に対する持分累計額はなかった（2018年：なし）。

22 その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
非上場証券		
期首	77	77
取得	—	47
期末	77	124

2019年12月31日現在、FVOCIで測定する金融資産は、戦略目的で保有されている非上場持分投資で構成されていた（2018年：同じ）。

23 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
上場証券	20	13
控除：流動資産に分類されている、1年以内に権利確定予定の従業員株式報奨制度のために保有されている有価証券	(12)	(12)
上場証券(非流動)	8	1
非上場証券(非流動)	—	31
非流動部分合計	8	32

FVPLで測定する金融資産は主に以下のもので構成されている。

- 償却原価で測定又はFVOCIで測定のどちらにも適格でない負債性金融商品
- PCCW株式買入制度及びPCCW新株引受制度に基づき取得および引受したPCCW社株式。PCCW社の株式報奨制度の詳細については、注記29(b)(ii)を参照のこと。

2019年12月31日に終了した会計年度において、FVPLで測定する金融資産として認識される非上場証券31百万香港ドルを取得した（2018年：なし）。

24 子会社への投資

a. 2019年12月31日現在の主な子会社の詳細

会社名	設立地/ 営業地	発行済株式資本/ 登記資本額	HKTリミテッドの 保有持分		主たる事業内容
			直接	間接	
HKTグループ・ホールディングス・リミテッド(以下「HKTGH社」という。)	ケイマン諸島	636,000,019米ドル	100%	—	投資持株
HKTサービシズ・リミテッド	香港	1香港ドル	—	100%	グループ会社への管理サービスの提供
香港テレコミュニケーションズ(HKT)リミテッド(以下「HKTL社」という。)	香港	9,945,156,001香港ドル	—	100%	電気通信サービスの提供
電訊盈科科技(北京)有限公司 ³ (PCCWテクノロジー(北京)リミテッド ⁴)	中華人民共和国(以下「中国」という。)	40,000,000人民元	—	100%	システム統合、ソフトウェア開発及びテクニカル・サービス・コンサルティング
CSLモバイル・リミテッド	香港	普通株式 7,900,280,100香港ドル 及び 議決権のない 繰延株式 1,254,000,000香港ドル	—	100%	顧客へのモバイル・サービスの提供、並びにモバイル通信端末及び付属品の販売
サン・モバイル・リミテッド	香港	41,600,002香港ドル	—	60% ¹	香港の顧客へのモバイル通信サービスの提供
ゲートウェイ・グローバル・コミュニケーションズ・リミテッド	英国	1英ポンド	—	100%	外部顧客及び関係会社へのネットワーク・ベースの電気通信サービスの提供
PCCWグローバルB.V.	オランダ/フランス	18,000ユーロ	—	100%	電気通信サービス及び製品の販売、流通及びマーケティング
PCCWグローバル・インターネット	米国デラウェア州	18.01米ドル	—	100%	ブロードバンド・インターネット・アクセスのソリューション及びウェブサービスの提供
PCCWグローバル・リミテッド	香港/ ドバイ・メディア・シティ	240,016,690.65香港ドル	—	100%	ネットワーク・ベースの電気通信サービスの提供
PCCWグローバル ジャパン株式会社	日本	10,000,000円	—	100%	電気通信サービスの提供
PCCWグローバル(HK)リミテッド	香港	10香港ドル	—	100%	衛星回線及びネットワーク・ベースの電気通信サービスの提供
HKTグローバル(シンガポール)プライベート・リミテッド	シンガポール/マレーシア	60,956,485.64シンガポール・ドル	—	100%	電気通信ソリューション関連サービスの提供

会社名	設立国/ 営業地	発行済株式資本/ 登記資本額	HKTリミテッドの 保有持分		主たる事業内容
			直接	間接	
PCCW(マカオ)リミター ダ	マカオ	2,000,000 マカオ・パタカ	—	75% ²	顧客構内設備及び関連ソ リューションの販売、シス テム統合プロジェクトの実 施、委託コールセンター・ サービスの提供
廣州電盈綜合客戶服務 技術發展有限公司 ³ (PCCWカスタマー・マ ネジメント・テクノロ ジー・アンド・サービ シズ(広州)リミテッド ⁴)	中国	93,240,000香港ドル	—	100%	カスタマー・サービス及び コンサルティング
HKTテレサービス・ インターナショナル・ リミテッド	香港	350,000,002 香港ドル	—	100%	顧客管理及び顧客対応管理 のソリューション及びサー ビスの提供

本グループの経営成績又は財政状態に重要な影響を及ぼさない一部の子会社は、上記の表から除外されている。

脚注

- 1 2019年12月31日現在、非支配持分が保有している株主持分は40%である。
- 2 2019年12月31日現在、非支配持分が保有している株主持分は25%である。
- 3 外資系企業が完全所有する子会社を示す。
- 4 非公式の社名である。

b. 本グループの子会社の非支配持分

2019年12月31日現在、非支配持分の合計は58百万香港ドル（2018年：39百万香港ドル）であり、そのうち、56百万香港ドル（2018年：44百万香港ドル）は主にサン・モバイル・リミテッド及びPCCW（マカオ）リミターダの非支配持分に帰属していた。

[前へ](#)

[次へ](#)

25 その他の非流動資産

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
前払金	692	709
預金	129	203
その他	244	194
	1,065	1,106

26 流動資産及び負債

a. 棚卸資産

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
購入した部品及び原材料	610	414
完成品	388	318
消耗品	82	71
	1,080	803

b. 前払金、預金及びその他の流動資産

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
前払金	438	565
預金	329	256
その他の流動資産	1,266	990
	2,033	1,811

c. 売掛金（純額）

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
売掛金(注 i)	3,862	3,743
控除：損失引当金(注 ii)	(135)	(143)
売掛金(純額)	3,727	3,600

残高は、通常の事業の過程において販売した財又は実施したサービスについての顧客に対する債権である。これらは一般的に、請求書の発行日付から30日以内に決済期限が到来するため、全て流動資産に分類される。本グループの減損の方針の詳細は、注記3(o)(i)に記載されている。

2019年12月31日現在、売掛金（純額）には、関連当事者に対する債権36百万香港ドル（2018年：47百万香港ドル）が含まれていた。

i. 請求書の発行日付に基づく売掛金の回収期間別内訳

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
1－30日	2,889	2,594
31－60日	288	346
61－90日	155	272
91－120日	99	98
120日超	431	433
	3,862	3,743

ii. 売掛金の減損

本グループは、売掛金に対して、全期間の予想損失引当金を使用するHKFRS第9号（2014年）の簡便法を適用して、予想信用損失に対する損失引当金を測定している。

予想信用損失を測定するため、売掛金は、共通の信用リスク特性及び期日経過日数に基づきグルーピングされている。予想損失率は、対応する過去の信用損失に基づき見積もられ、マクロ経済要因に関する現在の情報と将来予測情報の間の予想される変化が重要な場合にはこれについて調整する。これに基づき、2019年12月31日現在の損失引当金は以下の通り算定されていた。

	2018年	2019年
予想信用損失率		
延滞なし	1%	1%
1－120日延滞	2%	3%
120日超延滞	31%	26%

当期における損失引当金の増減は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
期首残高	183	135
減損損失認識額(純額)	211	222
直接償却された未回収額	(259)	(214)
期末残高	135	143

d. 拘束性預金

2019年12月31日現在、115百万香港ドル（2018年：88百万香港ドル）の現金残高が特定の顧客より入金され、その顧客の使用に限定されている。

e. 買掛金

買掛金の支払期間別の内訳は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
1－30日	1,205	1,269
31－60日	121	556
61－90日	53	100
91－120日	22	31
120日超	386	386
	1,787	2,342

2019年12月31日現在、買掛金には、関連当事者に対する債務12百万香港ドル（2018年：32百万香港ドル）が含まれていた。

27 長期借入金

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
以下の期間内に返済		
－ 1 年超 2 年以内	2,022	5,202
－ 2 年超 5 年以内	24,333	17,619
－ 5 年超	13,814	17,537
	40,169	40,358
内訳：		
2023年満期3.75%利付保証付手形500百万米ドル(注a)	3,818	3,819
2030年満期ゼロクーポン保証付手形300百万米ドル(注b)	2,335	2,324
2025年満期3.625%利付保証付手形500百万米ドル(注c)	3,878	3,862
2027年満期1.65%利付保証付手形200百万ユーロ(注d)	1,761	1,713
2026年満期3.00%利付保証付手形750百万米ドル(注e)	5,840	5,812
2029年満期3.25%利付保証付手形500百万米ドル(注f)	—	3,826
銀行借入金	22,537	19,002
	40,169	40,358
担保付	—	—
無担保	40,169	40,358

a. 2023年満期3.75%利付保証付手形500百万米ドル

2013年3月8日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるPCCW-HKTキャピタルNo.5リミテッドは、2023年満期3.75%利付保証付手形を500百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

b. 2030年満期ゼロクーポン保証付手形300百万米ドル

2015年1月15日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.1リミテッドは、2030年満期ゼロクーポン保証付手形を300百万米ドル発行し、このノートは台北証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

c. 2025年満期3.625%利付保証付手形500百万米ドル

2015年4月2日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.2リミテッドは、2025年満期3.625%利付保証付手形を500百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

d. 2027年満期1.65%利付保証付手形200百万ユーロ

2015年4月10日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.3リミテッドは、2027年満期1.65%利付保証付手形を200百万ユーロ発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

e. 2026年満期3.00%利付保証付手形750百万米ドル

2016年7月14日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo.4リミテッドは、2026年満期3.00%利付保証付手形を750百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

f. 2029年満期3.25%利付保証付手形500百万米ドル

2019年9月30日、HKTリミテッドの間接完全所有子会社であるHKTキャピタルNo. 5 リミテッドは、2029年満期3.25%利付保証付手形を500百万米ドル発行し、このノートはシンガポール証券取引所に上場されている。このノートは、HKTGH社及びHKTL社による取消不能かつ無条件の保証が付され、HKTGH社及びHKTL社のその他全ての無担保かつ非劣後の未決済債務と同等である。

g. 本グループの銀行借入枠の詳細については注記39を参照のこと。

28 デリバティブ

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
非流動資産		
クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約 －外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注a)	116	240
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	32	44
	148	284
流動資産		
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	—	6
非流動負債		
クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約 －外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注a)	(152)	(12)
金利スワップ契約 －金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ(注b)	—	(26)
	(152)	(38)

デリバティブは主に、投機的投資としてではなく、経済的ヘッジ目的で利用されている。しかし、デリバティブがヘッジ会計の要件を満たさない場合には、FVPLで会計処理される。

ヘッジの有効性は、ヘッジ関係の開始時及び定期的に行う将来予測的な有効性評価を通じて、ヘッジ対象とヘッジ手段の間に経済的関係が存在することを確認することによって決定される。

本グループのクロスカレンシー・スワップ契約、為替予約及び金利スワップ契約のヘッジ非有効部分は、以下に起因して発生する可能性がある。

- － ヘッジ対象とヘッジ手段の間の重要な条件の相違
- － デリバティブの相手方の信用リスクの変動

a. 外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ

本グループは、外貨建借入金について、外貨リスクをヘッジするために、クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約を行っている。本グループは、ヘッジの有効性について定性的な評価を行った。クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約は、想定元本、満期日、支払日等の重要な条件がヘッジ対象と類似しているため、ヘッジ対象とヘッジ手段の間に経済的な関係が存在する。

外貨関連のヘッジ手段が本グループの財政状態及び経営成績に与える影響は以下の通りである。

	2018年	2019年
帳簿価額((負債)/資産)(純額)	(36百万香港ドル)	228百万香港ドル
想定元本	200百万ユーロ及び 2,126百万米ドル	200百万ユーロ及び 2,720百万米ドル
満期日	2020年1月から 2027年4月	2023年3月から 2029年9月
ヘッジ比率	1 : 1 *	1 : 1 *
当期におけるヘッジ手段の公正価値の変動 [#]	(107百万香港ドル)	293百万香港ドル
当期におけるヘッジ対象の価値の変動 [#]	126百万香港ドル	(245百万香港ドル)
当期におけるヘッジ対象の加重平均為替レート	1ユーロ : 8.32香港ドル 1米ドル : 7.75香港ドル	1ユーロ : 8.32香港ドル 1米ドル : 7.79香港ドル

* ヘッジ手段の想定元本及び時期はヘッジ対象と一致しているため、ヘッジ比率は1 : 1である。

プラスの変動は純資産の増加を表し、マイナスの変動は純資産の減少を表す。

b. 金利リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジ

本グループは、キャッシュ・フロー金利リスクにさらされている借入金について、変動対固定への金利スワップ契約を行っている。本グループは、ヘッジの有効性について定性的な評価を行った。金利スワップ契約は、想定元本、満期日、支払日等の重要な条件がヘッジ対象と類似しているため、ヘッジ対象とヘッジ手段の間に経済的な関係が存在する。

金利関連のヘッジ手段が本グループの財政状態及び経営成績に与える影響は以下の通りである。

	2018年	2019年
帳簿価額(資産)(純額)	32百万香港ドル	24百万香港ドル
想定元本	1,500百万香港ドル	6,370百万香港ドル
満期日	2021年3月	2020年8月から 2023年3月
ヘッジ比率	1 : 1 *	1 : 1 *
当期におけるヘッジ手段の公正価値の変動 [#]	(9百万香港ドル)	19百万香港ドル
当期におけるヘッジ対象の価値の変動 [#]	11百万香港ドル	(12百万香港ドル)
受取/支払の加重平均金利比率	1.47	1.15

* ヘッジ手段の想定元本及び時期はヘッジ対象と一致しているため、ヘッジ比率は1 : 1である。

プラスの変動は純資産の増加を表し、マイナスの変動は純資産の減少を表す。

c. ヘッジ準備金及びヘッジ費用

本グループのヘッジ準備金及びヘッジのコスト準備金は、以下のヘッジ手段に関連している。

	(単位：百万香港ドル)		
	外貨リスクに 対する キャッシュ・ フロー・ヘッジ	金利リスクに 対する キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計
ヘッジ準備金			
2018年1月1日現在	85	46	131
キャッシュ・フロー・ヘッジ：			
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	(126)	(11)	(137)
－資本の部から連結損益計算書への振替	35	—	35
2018年12月31日及び2019年1月1日現在	(6)	35	29
キャッシュ・フロー・ヘッジ：			
－公正価値の変動のうち、ヘッジ有効部分	245	12	257
－資本の部から連結損益計算書への振替	152	—	152
2019年12月31日現在	391	47	438

	(単位：百万香港ドル)	
	外貨リスクに対する キャッシュ・ フロー・ヘッジ	
ヘッジのコスト準備金		
2018年1月1日現在		(208)
ヘッジのコスト		39
2018年12月31日及び2019年1月1日現在		(169)
ヘッジのコスト		11
2019年12月31日現在		(158)

29 従業員給付

a. 従業員退職給付－確定拠出退職制度

本グループは、香港雇用条例（Hong Kong Employment Ordinance）の管轄で雇用された従業員向けに、香港強制退職積立金制度条例（Hong Kong Mandatory Provident Fund Schemes Ordinance）による強制退職積立金制度（Mandatory Provident Fund Scheme、以下「MPF制度」という。）を含む確定拠出退職制度を運営している。この制度は独立した受託者により管理されている。

確定拠出退職制度の下では、雇用主は制度の規則で定められた比率で制度に拠出することが求められる。雇用主による拠出が全額権利確定する前に従業員が制度から退会する場合、失効した拠出金額を使用して本グループの支払拠出額が減額される。

MPF制度の下では、雇用主と従業員がそれぞれ、30,000香港ドルを毎月の収入の現在の上限として、その従業員の対象となる収入の5%を制度に拠出することが求められる。制度への拠出は、対象となる役務提供期間における役務完了時に直ちに権利が確定する。

2019年12月31日に終了した会計年度において、合計11百万香港ドル（2018年：14百万香港ドル）の失効した拠出金が拠出金の削減に使用され、報告期間末現在において利用可能な失効した拠出金はなかった。

b. 持分報酬給付

PCCW社及び本グループは、以下の株式オプション制度及び株式報奨制度を運営している。

株式オプション制度

- PCCW社の株式オプション制度は、2014年5月8日に採択された（以下「PCCW2014年制度」という。）。
- HKTトラスト及びHKTリミテッドの株式ステープル受益証券オプション制度は、2011年11月7日に条件付で採択された（以下「2011年－2021年オプション制度」という。）。

株式報奨制度

- PCCW社の株式報奨制度、すなわちPCCW株式買入制度及びPCCW新株引受制度（以下総称して「PCCW株式報奨制度」という。）。
- HKTリミテッドの株式ステープル受益証券報奨制度、すなわちHKT株式ステープル受益証券買入制度及びHKT株式ステープル受益証券引受制度（以下総称して「株式ステープル受益証券報奨制度」という。）。

2011年－2021年オプション制度及び株式ステープル受益証券報奨制度の詳細は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの2019年度年次報告書の「統合取締役報告書」の「株式ステープル受益証券オプション制度」及び「株式ステープル受益証券報奨制度」のセクションにおいて開示されている。

i. 株式オプション制度

採択日以降2019年12月31日まで（同日を含む）に、PCCW2014年制度及び2011年－2021年オプション制度に基づき付与された株式オプション/株式ステープル受益証券オプションはない。

ii. 株式報奨制度

PCCW株式報奨制度及び株式ステープル受益証券報奨制度の関連する制度の規則を前提として、各制度は、特定の参加者（PCCW株式報奨制度についてはPCCW社及びその参加会社の取締役又は従業員、株式ステープル受益証券報奨制度についてはHKTリミテッド又はその子会社の取締役又は従業員を含む）に対する関連制度における報奨の権利確定に先立ち、該当するPCCW社株式/株式ステープル受益証券はその特定の参加者のために受託者によって信託に保管され、その後、特定の参加者それぞれが該当する権利確定日（又は場合によっては該当する各権利確定日）まで（同日を含む）の全期間にわたり継続してPCCW社、HKTリミテッド、関連する参加会社又は子会社の従業員又は取締役であり、報奨が付与された時点で規定されているその他の条件を満たすならば、各承認機関が決定した一定の期間にわたり権利が確定する。なお、各承認機関はかかる条件を自由に免除することができる。権利確定条件の充足以外に、特定の参加者は該当する制度に基づき付与されたPCCW社株式/株式ステープル受益証券を取得するためのいかなる対価の提供も要求されない。

2019年12月31日に終了した会計年度において、PCCW株式報奨制度に関する株式報酬費用20百万香港ドル（2018年：27百万香港ドル）が連結損益計算書に、また連結財政状態計算書の負債に債務として認識された。

2019年12月31日に終了した会計年度において、株式ステープル受益証券報奨制度に関する株式報酬費用19百万香港ドル（2018年：28百万香港ドル）が連結損益計算書に、また連結財政状態計算書の従業員株式報酬準備金に認識された。

（１） PCCW株式報奨制度に基づき本グループが保有するPCCW社株式数及びHKT株式ステープル受益証券買入制度に基づき保有する株式ステープル受益証券数の増減

	PCCW社株式数	
	2018年	2019年
PCCW株式買入制度：		
期首残高	1,143,300	366
PCCW社株式1株当たり4.56香港ドル(2018年：4.46香港ドル)の加重平均市場価格で受託者が行った市場からの購入	3,206,000	2,155,000
権利が確定したPCCW社株式	(4,348,934)	(1,073,938)
期末残高	366	1,081,428
PCCW新株引受制度：		
期首残高	6,994,580	4,476,981
権利が確定したPCCW社株式	(2,517,599)	(2,679,836)
期末残高	4,476,981	1,797,145
	株式ステープル受益証券数	
	2018年	2019年
HKT株式ステープル受益証券買入制度：		
期首残高	1,089,787	245
株式ステープル受益証券1口当たり12.45香港ドル(2018年：10.13香港ドル)の加重平均市場価格で受託者が行った市場からの購入	2,038,000	3,086,000
権利が確定した株式ステープル受益証券	(3,127,542)	(1,858,323)
期末残高	245	1,227,922

(2) 権利未確定のPCCW社株式数及び株式ステープル受益証券数の増減、並びに付与日の関連する加重平均公正価値

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2018年				
付与日	権利確定期間		PCCW社株式/株式ステープル受益証券数				
			2018年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2018年 12月31日現在
PCCW株式買入制度(PCCW社株式)							
2016年 4月5日	2016年4月5日から 2018年4月5日	5.01	197,791	—	—	(197,791)	—
2016年 6月8日	2016年6月8日から 2018年4月5日	5.20	945,266	—	—	(945,266)	—
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2018年4月3日	4.60	1,203,424	—	—	(1,203,424)	—
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	4.60	1,203,415	—	—	(664,338)*	539,077
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	4.66	—	1,207,514	—	(669,058)*	538,456
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	—	1,207,501	—	(669,057)*	538,444
合計			3,549,896	2,415,015	—	(4,348,934)	1,615,977
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.78	4.66	—	4.77	4.64
PCCW新株引受制度(PCCW社株式)							
2016年 4月5日	2016年4月5日から 2018年4月5日	5.01	1,163,436	—	(13,221)	(1,150,215)	—
2016年 6月8日	2016年6月8日から 2018年4月5日	5.20	1,522	—	—	(1,522)	—
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2018年4月3日	4.60	1,373,863	—	(13,186)	(1,360,677)	—
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	4.60	1,372,938	—	(67,507)	(1,683)*	1,303,748
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	4.66	—	1,479,900	(70,799)	(1,751)*	1,407,350
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	—	1,478,862	(70,723)	(1,751)*	1,406,388
合計			3,911,759	2,958,762	(235,436)	(2,517,599)	4,117,486
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.72	4.66	4.66	4.79	4.64

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2018年				
付与日	権利確定期間		PCCW社株式/株式ステープル受益証券数				
			2018年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2018年 12月31日現在
HKT株式ステープル受益証券買入制度(株式ステープル受益証券)							
2016年 4月5日	2016年4月5日から 2018年4月5日	10.70	613,158	—	(5,951)	(607,207)	—
2016年 6月8日	2016年6月8日から 2018年4月5日	11.18	426,187	—	—	(426,187)	—
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2018年4月3日	10.04	1,175,589	—	(6,013)	(1,169,576)	—
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	10.04	1,174,628	—	(31,184)	(303,277)*	840,167
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	9.94	—	1,247,635	(32,829)	(310,648)*	904,158
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	9.94	—	1,246,543	(32,757)	(310,647)*	903,139
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2019年4月10日	10.40	—	100,000	—	—	100,000
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2020年4月10日	10.40	—	100,000	—	—	100,000
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2019年10月5日	10.34	—	15,000	—	—	15,000
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2020年10月5日	10.34	—	15,000	—	—	15,000
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2019年11月5日	10.66	—	15,000	—	—	15,000
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2020年11月5日	10.66	—	15,000	—	—	15,000
合計			3,389,562	2,754,178	(108,734)	(3,127,542)	2,907,464
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			10.30	9.99	10.02	10.30	10.01

* 特例措置に関して関連する取締役会委員会から委任された権限に従い、PCCW社株式/株式ステープル受益証券は、各権利確定日より前に権利が確定した。

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2019年				
付与日	権利確定期間		PCCW社株式/株式ステープル受益証券数				
			2019年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2019年 12月31日現在
PCCW株式買入制度(PCCW社株式)							
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	4.60	539,077	—	(3,595)	(535,482)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	4.66	538,456	—	—	(538,456)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	538,444	—	—	—	538,444
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	4.74	—	542,465	—	—	542,465
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	4.74	—	542,457	—	—	542,457
合計			1,615,977	1,084,922	(3,595)	(1,073,938)	1,623,366
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.64	4.74	4.60	4.63	4.71
PCCW新株引受制度(PCCW社株式)							
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	4.60	1,303,748	—	(15,161)	(1,288,587)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	4.66	1,407,350	—	(16,101)	(1,391,249)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	4.66	1,406,388	—	(49,514)	—	1,356,874
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	4.74	—	1,434,666	(40,738)	—	1,393,928
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	4.74	—	1,433,531	(40,681)	—	1,392,850
合計			4,117,486	2,868,197	(162,195)	(2,679,836)	4,143,652
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			4.64	4.74	4.69	4.63	4.71

		付与日の 公正価値 (単位： 香港ドル)	2019年				
付与日	権利確定期間		PCCW社株式/株式ステープル受益証券数				
			2019年 1月1日現在	付与	失効	権利確定	2019年 12月31日現在
HKT株式ステープル受益証券買入制度(株式ステープル受益証券)							
2017年 4月3日	2017年4月3日から 2019年4月3日	10.04	840,167	—	(8,539)	(831,628)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2019年4月10日	9.94	904,158	—	(7,463)	(896,695)	—
2018年 4月10日	2018年4月10日から 2020年4月10日	9.94	903,139	—	(22,920)	—	880,219
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2019年4月10日	10.40	100,000	—	—	(100,000)	—
2018年 5月4日	2018年5月4日から 2020年4月10日	10.40	100,000	—	—	—	100,000
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2019年10月5日	10.34	15,000	—	—	(15,000)	—
2018年 10月5日	2018年10月5日から 2020年10月5日	10.34	15,000	—	—	—	15,000
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2019年11月5日	10.66	15,000	—	—	(15,000)	—
2018年 11月5日	2018年11月5日から 2020年11月5日	10.66	15,000	—	—	—	15,000
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	12.38	—	208,846	—	—	208,846
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	12.38	—	208,839	—	—	208,839
合計			2,907,464	417,685	(38,922)	(1,858,323)	1,427,904
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			10.01	12.38	9.96	10.02	10.70
HKT株式ステープル受益証券引受制度(株式ステープル受益証券)							
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2020年4月17日	12.38	—	569,169	(15,718)	—	553,451
2019年 4月17日	2019年4月17日から 2021年4月17日	12.38	—	568,030	(15,664)	—	552,366
合計			—	1,137,199	(31,382)	—	1,105,817
付与日の加重平均公正価値 (単位：香港ドル)			—	12.38	12.38	—	12.38

当期に付与されたPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の付与日の公正価値は、各付与日現在のPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の各市場相場価格で測定される。

権利が確定していないPCCW社株式及び株式ステープル受益証券の期末現在の加重平均残存権利確定期間は以下の通りである。

	2018年	2019年
PCCW株式買入制度(PCCW社株式)	0.60年	0.62年
PCCW新株引受制度(PCCW社株式)	0.61年	0.63年
HKT株式ステープル受益証券買入制度 (株式ステープル受益証券)	0.64年	0.44年
HKT株式ステープル受益証券引受制度 (株式ステープル受益証券)	—	0.80年

30 HKTリミテッドの資本

a. HKTリミテッドの株式資本

	2018年		2019年	
	株式数	名目額 (単位：香港ドル)	株式数	名目額 (単位：香港ドル)
授権済：				
1株当たり0.0005香港ドルの普通株式				
期首及び期末残高	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
1株当たり0.0005香港ドルの優先株式				
期首及び期末残高	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
発行済かつ全額払込済：				
1株当たり0.0005香港ドルの普通株式				
期首及び期末残高	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871
1株当たり0.0005香港ドルの優先株式				
期首及び期末残高	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871

b. HKTリミテッドの剰余金の変動

(単位：百万香港ドル)

	2018年		
	株式払込剰余金	利益剰余金	合計
2018年1月1日現在	35,113	167	35,280
当期包括利益合計	—	5,077	5,077
前年度に関する配当金支払額	—	(2,783)	(2,783)
当年度に関する期中配当金宣言済支払額	—	(2,205)	(2,205)
2018年12月31日現在	35,113	256	35,369

(単位：百万香港ドル)

	2019年		
	株式払込剰余金	利益剰余金	合計
2019年1月1日現在	35,113	256	35,369
当期包括利益合計	—	5,357	5,357
前年度に関する配当金支払額	—	(2,966)	(2,966)
当年度に関する期中配当金宣言済支払額	—	(2,272)	(2,272)
2019年12月31日現在	35,113	375	35,488

31 剰余金

(単位：百万香港ドル)

	2018年										
	株式払込 剰余金	資本拠出 準備金	為替換算 準備金	合併 準備金	ヘッジ 準備金	ヘッジの コスト 準備金	その他の 準備金	従業員 株式報酬 準備金	自己 株式	利益 剰余金	合計
2018年1月1日 現在残高	7,769	26,250	193	(347)	131	(208)	26	22	(10)	4,016	37,842
当期包括利益/(損失) 合計											
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,825	4,825
その他の包括利益/ (損失)											
連結損益計算書に 組替えられた又は その後組替えら れる可能性のある 項目：											
海外事業に係る 為替換算差額	—	—	(73)	—	—	—	—	—	—	—	(73)
キャッシュ・フ ロー・ヘッジ：											
ー公正価値の変 動のうち、ヘッ ジ有効部分	—	—	—	—	(137)	—	—	—	—	—	(137)
ー連結損益計算 書への振替	—	—	—	—	35	—	—	—	—	—	35
ヘッジのコスト	—	—	—	—	—	39	—	—	—	—	39
当期包括利益/(損失) 合計	—	—	(73)	—	(102)	39	—	—	—	4,825	4,689
株主との取引											
株主からの拠出金及 び株主に対する分 配金：											
HKT株式ステープル 受益証券買入制 度に基づく株式 ステープル受益 証券の購入	—	—	—	—	—	—	—	—	(21)	—	(21)
従業員株式報酬	—	—	—	—	—	—	—	25	—	—	25
株式ステープル受 益証券報奨制度 に基づく株式ス テープル受益証 券の権利確定	—	—	—	—	—	—	—	(31)	31	—	—
前年度に関する 分配金/配当金 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,783)	(2,783)
当年度に関する 中間分配金/配 当金宣言額及び 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,205)	(2,205)
株主との取引合計	—	—	—	—	—	—	—	(6)	10	(4,988)	(4,984)
2018年12月31日 現在残高	7,769	26,250	120	(347)	29	(169)	26	16	—	3,853	37,547

	2019年										
	株式払込 剰余金	資本拠出 準備金	為替換算 準備金	合併 準備金	ヘッジ 準備金	ヘッジの コスト 準備金	その他の 準備金	従業員 株式報酬 準備金	自己 株式	利益 剰余金	合計
2019年1月1日 現在残高	7,769	26,250	120	(347)	29	(169)	26	16	—	3,853	37,547
当期包括利益/(損失) 合計											
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,217	5,217
その他の包括利益/ (損失)											
連結損益計算書に 組替えられた又は その後に組替えら れる可能性のある 項目：											
海外事業に係る 為替換算差額	—	—	(2)	—	—	—	—	—	—	—	(2)
キャッシュ・フ ロー・ヘッジ：											
ー公正価値の変 動のうち、ヘッ ジ有効部分	—	—	—	—	257	—	—	—	—	—	257
ー連結損益計算 書への振替	—	—	—	—	152	—	—	—	—	—	152
ヘッジのコスト	—	—	—	—	—	11	—	—	—	—	11
当期包括利益/(損失) 合計	—	—	(2)	—	409	11	—	—	—	5,217	5,635
株主との取引											
株主からの拠出金及 び株主に対する分 配金：											
HKT株式ステープル 受益証券買入制 度に基づく株式 ステープル受益 証券の購入	—	—	—	—	—	—	—	—	(38)	—	(38)
従業員株式報酬	—	—	—	—	—	—	—	17	—	—	17
株式ステープル受 益証券報奨制度 に基づく株式ス テープル受益証 券の権利確定	—	—	—	—	—	—	—	(17)	22	(5)	—
前年度に関する 分配金/配当金 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,966)	(2,966)
当年度に関する 中間分配金/配 当金宣言額及び 支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2,272)	(2,272)
株主からの拠出/株 主への配当 合計	—	—	—	—	—	—	—	—	(16)	(5,243)	(5,259)
子会社に対する支 配の喪失を伴わ ない持分比率の 変動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(19)	(19)
子会社に対する支 配の喪失を伴わ ない持分比率の 変動合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(19)	(19)
株主との取引合計	—	—	—	—	—	—	—	—	(16)	(5,262)	(5,278)
2019年12月31日 現在残高	7,769	26,250	118	(347)	438	(158)	26	16	(16)	3,808	37,904

32 繰延税金

2019年12月31日現在、繰延税金負債/（資産）は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
繰延税金資産	(465)	(410)
繰延税金負債	3,393	3,874
	2,928	3,464

a. 繰延税金負債/（資産）の変動は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)			
	2018年			
	税務上の 加速償却	税務上の 欠損金	その他	合計
期首残高	3,024	(499)	(4)	2,521
連結損益計算書への計上(注記12(a))	393	14	—	407
期末残高	3,417	(485)	(4)	2,928

	(単位：百万香港ドル)			
	2019年			
	税務上の 加速償却	税務上の 欠損金	その他	合計
期首残高	3,417	(485)	(4)	2,928
連結損益計算書への計上(注記12(a))	481	55	—	536
期末残高	3,898	(430)	(4)	3,464

- b. 繰延税金資産は、税務上の繰越欠損金について、将来の課税所得に対して利用することによって関連する税金減額効果を楽しむ可能性が高い範囲で認識されている。2019年12月31日現在、本グループは繰延税金資産が認識されていないために未使用の税務上の見積欠損金2,377百万香港ドル（2018年：2,119百万香港ドル）を有しており、これらは将来の課税所得に対する相殺減額として繰越される。税務上の見積欠損金のうち、84百万香港ドル（2018年：37百万香港ドル）及び253百万香港ドル（2018年：256百万香港ドル）は、それぞれ2019年12月31日から1年から5年以内及び5年より後に失効する。税務上の欠損金の残りの部分は、主に香港の事業体に関連するものであり、無期限に繰り越すことが可能である。

33 未払通信事業者免許料

2019年12月31日現在、本グループの未払通信事業者免許料は以下の通りであった。

（単位：百万香港ドル）

	2018年			2019年		
	最低年間 免許料の 現在価値	将来の期間に 関連する 支払利息	最低年間 免許料合計	最低年間 免許料の 現在価値	将来の期間に 関連する 支払利息	最低年間 免許料合計
以下の期間内に 支払予定						
－ 1 年以内	173	7	180	195	14	209
－ 1 年超 2 年以内	123	19	142	145	25	170
－ 2 年超 5 年以内	196	45	241	192	42	234
－ 5 年超	38	12	50	190	29	219
	530	83	613	722	110	832
控除：流動負債に 含まれる 1 年以内 の支払予定額	(173)	(7)	(180)	(195)	(14)	(209)
非流動部分	357	76	433	527	96	623

[前へ](#)

[次へ](#)

34 連結キャッシュ・フロー計算書に対する注記

a. 税引前利益から営業活動から得た正味現金への調整

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
税引前利益	5,852	6,274
調整項目：		
財務費用(純額)	1,350	1,372
その他の利益(純額)	(2)	(3)
有形固定資産の処分に係る(利益)/損失(純額)	(1)	2
棚卸資産陳腐化に対する引当金繰入額/(戻入額)(純額)	8	(2)
売掛金に対する減損損失	211	222
有形固定資産の減価償却費	1,324	1,150
使用権資産の減価償却費	1,551	1,493
借地プレミアムの償却費－借地権	13	12
無形資産の償却費	1,186	1,126
履行コストの償却費	417	489
顧客獲得コストの償却費	852	851
関連会社の損益に対する持分	—	33
共同支配企業の損益に対する持分	16	18
株式報酬費用	55	39
株式報酬制度に基づくPCCW社株式及び株式ステップル受益証券の増加	(35)	(48)
営業資産の(増)/減		
－棚卸資産	(339)	279
－売掛金、前払金、預け金及びその他の流動資産	(415)	121
－契約資産	162	3
－関係会社に対する債権	(27)	(13)
－拘束性預金	(37)	(27)
－履行コスト	(375)	(495)
－顧客獲得コスト	(873)	(811)
－その他の非流動資産	(111)	(92)
営業負債の(減)/増		
－買掛金	(86)	555
－未払費用及びその他の未払金	(367)	(754)
－兄弟会社に対する債務	763	(518)
－顧客からの前受金	25	25
－契約負債	185	(63)
－その他の長期性負債	16	(4)
営業から得た現金	11,318	11,234
利息受取額	39	35
法人所得税支払額(還付金控除後)		
－香港の収益税支払額*	(684)	(175)
－海外の収益税支払額	(14)	(10)
営業活動から得た正味現金	10,659	11,084

* 2019年12月31日現在、本グループにおける特定の子会社は、2018/2019税務調査年度に係る香港所得税調査をまだ受けていなかった。そのため対応する税金の確定は今後の会計年度に繰延べられることになる。

b. 財務活動から生じる金融（資産）/負債の増減

財務活動から生じる金融（資産）/負債の増減は以下の通りである。

（単位：百万香港ドル）

	2018年					
	前払財務 費用(前払 金、預け 金及びそ の他の流 動資産に 含まれる)	未払利息 (未払費用 及びその 他の未払 金に含ま れる)	長期 借入金	デリバ ティブ (純額)	リース 負債	合計
2018年1月1日現在	(14)	187	39,146	(73)	2,464	41,710
財務活動におけるキャッシュ・フロー						
新規借入金	—	—	13,616	—	—	13,616
財務費用(支払額)/受領額	—	(962)	—	76	—	(886)
借入金の返済	—	—	(12,543)	—	—	(12,543)
リース負債の支払(利息を含む)	—	—	—	—	(1,665)	(1,665)
投資活動におけるキャッシュ・フローに分類						
ライセンス料に係る借入金の返済 (注記 36(b)(i))	—	—	(130)	—	—	(130)
非資金変動	4	1,036	80	1	2,394	3,515
2018年12月31日現在	(10)	261	40,169	4	3,193	43,617

（単位：百万香港ドル）

	2019年					
	前払財務 費用(前払 金、預け 金及びそ の他の流 動資産に 含まれる)	未払利息 (未払費用 及びその 他の未払 金に含ま れる)	長期 借入金	デリバ ティブ (純額)	リース 負債	合計
2019年1月1日現在	(10)	261	40,169	4	3,193	43,617
財務活動におけるキャッシュ・フロー						
新規借入金	—	(8)	12,956	—	—	12,948
財務費用(支払額)/受領額	—	(1,148)	—	220	—	(928)
借入金の返済	—	—	(12,570)	—	—	(12,570)
リース負債の支払(利息を含む)	—	—	—	—	(1,644)	(1,644)
投資活動におけるキャッシュ・フローに分類						
ライセンス料に係る借入金の返済 (注記 36(b)(i))	—	—	(130)	—	—	(130)
非資金変動	(10)	1,146	(67)	(476)	1,213	1,806
2019年12月31日現在	(20)	251	40,358	(252)	2,762	43,099

c. 北京訊通通信服務有限公司（北京シュン・トン・コミュニケーションズ・サービス・リミテッド*）（以下「シュン・トン」という。）の取得

2019年3月11日、本グループは、中国に設立された有限責任会社であるシュン・トンの50%の株式持分の取得を完了した。シュン・トンは、電気通信サービス、インターネット情報サービス及びコンピューター・システム・サービスの提供を行っている。この取得は、中国における本グループの電気通信事業の推進を目的としている。買収総額は、本グループにとって重要なものではなかった。本グループがシュン・トンの取締役会において過半数を超える議決権を有しているため、同社は本グループに連結される。

* 非公式の社名である。

d. 現金及び現金同等物の内訳

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
現金及び銀行預金残高合計	3,145	3,018
控除：短期性預金	(523)	(486)
控除：拘束性預金	(88)	(115)
12月31日現在の現金及び現金同等物	2,534	2,417

35 資本管理

資本管理における本グループの主要な目的は、継続企業としての存続を前提とした本グループの能力を保護するとともに、本グループの持分保有者への利益及びその他の利害関係者への利益の提供並びに本グループの安定性及び発展性の支援を継続的に可能とし、かつ本グループが営業活動を行う事業水準及び市場リスクに相応な利ざやを稼得することである。

本グループでは、本グループの将来の資本要件、現行及び予測ベースでの収益性、予測営業キャッシュ・フロー、資本的支出の予測及び戦略的投資機会の予測を考慮に入れつつ、本グループの処分時点の資本水準（以下「調整後資本」という。）を見直すことにより資本をモニターしている。調整後資本は、全ての資本項目で構成される。

外部当事者との借入契約条項の要件及びバミューダ金融庁の規制下にある子会社の最低自己資本要件を除き、本グループは外部から課される自己資本要件の対象になっていない。本グループの子会社には、香港金融管理局からストアドバリュー・ファシリティ・ライセンスの条件としての最低自己資本要件も設定されている。

36 金融商品

カテゴリー別の金融商品の内訳は以下の通りである。

(単位：百万香港ドル)

	2018年				合計
	償却原価で 測定する 金融資産	FVOCIで 測定する 金融資産	FVPLで 測定する 金融資産	ヘッジに 用いられた デリバティブ	
非流動資産					
FVOCIで測定する金融資産	—	77	—	—	77
FVPLで測定する金融資産	—	—	8	—	8
デリバティブ*	—	—	—	148	148
その他の非流動資産 (前払金を除く)	373	—	—	—	373
	373	77	8	148	606
流動資産					
前払金、預け金及びその他の 流動資産(前払金を除く)	1,595	—	—	—	1,595
売掛金(純額)	3,727	—	—	—	3,727
関係会社に対する債権	102	—	—	—	102
FVPLで測定する金融資産	—	—	12	—	12
拘束性預金	88	—	—	—	88
短期性預金	523	—	—	—	523
現金及び現金同等物	2,534	—	—	—	2,534
	8,569	—	12	—	8,581
合計	8,942	77	20	148	9,187

（単位：百万香港ドル）

	2018年		
	ヘッジに 用いられた デリバティブ	償却原価で 測定する その他の 金融負債	合計
流動負債			
買掛金	—	(1,787)	(1,787)
未払費用及びその他の未払金	—	(4,757)	(4,757)
未払通信事業者免許料	—	(173)	(173)
兄弟会社に対する債務	—	(1,675)	(1,675)
リース負債	—	(1,293)	(1,293)
	—	(9,685)	(9,685)
非流動負債			
長期借入金	—	(40,169)	(40,169)
デリバティブ	(152)	—	(152)
未払通信事業者免許料	—	(357)	(357)
リース負債	—	(1,900)	(1,900)
その他の長期性負債	—	(829)	(829)
	(152)	(43,255)	(43,407)
合計	(152)	(52,940)	(53,092)

（単位：百万香港ドル）

	2019年				合計
	償却原価で 測定する 金融資産	FVOCIで 測定する 金融資産	FVPLで 測定する 金融資産	ヘッジに 用いられた デリバティブ	
非流動資産					
FVOCIで測定する金融資産	—	124	—	—	124
FVPLで測定する金融資産	—	—	32	—	32
デリバティブ	—	—	—	284	284
その他の非流動資産 （前払金を除く）	397	—	—	—	397
	397	124	32	284	837
流動資産					
前払金、預け金及びその他の 流動資産（前払金を除く）	1,246	—	—	—	1,246
売掛金（純額）	3,600	—	—	—	3,600
関係会社に対する債権	95	—	—	—	95
FVPLで測定する金融資産	—	—	12	—	12
デリバティブ	—	—	—	6	6
拘束性預金	115	—	—	—	115
短期性預金	486	—	—	—	486
現金及び現金同等物	2,417	—	—	—	2,417
	7,959	—	12	6	7,977
合計	8,356	124	44	290	8,814

（単位：百万香港ドル）

	2019年		
	ヘッジに 用いられた デリバティブ	償却原価で 測定する その他の 金融負債	合計
流動負債			
買掛金	—	(2,342)	(2,342)
未払費用及びその他の未払金	—	(3,887)	(3,887)
未払通信事業者免許料	—	(195)	(195)
兄弟会社に対する債務	—	(2,855)	(2,855)
リース負債	—	(1,065)	(1,065)
	—	(10,344)	(10,344)
非流動負債			
長期借入金	—	(40,358)	(40,358)
デリバティブ*	(38)	—	(38)
未払通信事業者免許料	—	(527)	(527)
リース負債	—	(1,697)	(1,697)
その他の長期性負債	—	(1,197)	(1,197)
	(38)	(43,779)	(43,817)
合計	(38)	(54,123)	(54,161)

* 2019年12月31日現在、契約上の想定元本合計470百万米ドル（約3,686百万香港ドル）（2018年：376百万米ドル（約2,905百万香港ドル））の為替予約に関連して、非流動負債に分類されているデリバティブ4百万香港ドル（2018年：非流動資産15百万香港ドル）は、2030年満期ゼロクーポン保証付手形300百万米ドルに対するキャッシュ・フロー・ヘッジとして設定されていた。この300百万米ドルの保証付手形は、本グループの選択により、2025年1月15日（2018年：2020年1月15日）に470百万米ドル（2018年：376百万米ドル）の早期償還価額で償還することができる。この保証付手形及び為替予約についての詳細は、注記27(b)及び注記28(a)をそれぞれ参照のこと。

信用、流動性及び市場リスク（外貨リスク及び金利リスクを含む）に対するエクスポージャーは、本グループの通常の事業活動において生じる。本グループは、他の事業体に対する株式投資から生じる株価リスクにも晒されている。これらのリスクに対するエクスポージャーは、以下に記載される本グループの財務管理の方針及び慣行によって統制されている。

a. 信用リスク

本グループの信用リスクは、主に現金及び現金同等物、売掛金、契約資産、関係会社に対する債権、未収利息、リース債権、負債性金融証券への投資、デリバティブ、並びにその他の債権に起因する。経営陣は方針を整備しており、当該信用リスクに対するエクスポージャーを継続的にモニターしている。

本グループの顧客に対する通常の与信期間は、与信期間の延長に関する双方の合意が別個にない限り、請求書の発行日付から30日以内である。本グループでは明確に定義された与信方針を維持しており、一定額以上の与信枠を必要とする全ての顧客について個別の与信評価が実施される。これらの評価では、顧客の過去の期日到来時の支払履歴と現在の支払能力を重視しており、また顧客に特有な情報や、顧客が事業を営む経済環境に付随する情報も考慮に入れている。延滞残高を有する債務者は、追加の与信が認められる前に未払残高の全額決済が求められる。通常、本グループは顧客からの担保を受け入れていない。2018年及び2019年12月31日現在、本グループは個人債務者又は取引先に対する重要なエクスポージャーを有していなかった。

売掛金から生じる信用リスクに対する本グループのエクスポージャーに関する他の定量的開示は注記26(c)に記載されている。

契約資産の減損がHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に及ぼす全体的な影響については、経営陣によって検討されている。経営陣は、2018年及び2019年12月31日現在のこれらの契約資産に関する全期間の予想損失は僅少であると考えており、2018年及び2019年12月31日に終了した会計年度において本グループは当該契約資産に対する直接償却又は引当金の設定を行わなかった。

負債性金融証券への投資、関係会社に対する債権、リース債権及びその他の債権は信用リスクが低いとみなされている。これらの資産は、取引先の財政状態、過去の実績及びその他の要因を考慮に入れて、取引先の信用度を評価することにより継続的にモニターされている。必要な場合には、回収不能額の見積に対して減損引当金が計上される。2018年及び2019年12月31日現在、負債性金融証券への投資、関係会社に対する債権、リース債権及びその他の債権は正常債権であった。

デリバティブ、未収利息並びに現金及び現金同等物は信用リスクが低いとみなされている。これらの資産は、信用力のある金融機関又は投資相手との間で実行されており、本グループは重要な取引先リスクを予想していない。さらに、個々の取引先毎に与信の限度枠が設定されており、その限度枠が厳密に守られていることを確認するために定期的な見直しを実施されている。

信用リスクに対するエクスポージャー最大額は、デリバティブを含む、連結財政状態計算書上の各金融資産の帳簿価額を表している。注記38に開示されている保証を除き、本グループは、本グループを信用リスクに晒す可能性があるその他の保証を提供していない。

b. 流動性リスク

本グループの方針は、短期的及び長期的な流動性要件に対応すべく、十分な現金の積立や主要金融機関からの資金調達源となる適正なコミットメントラインの維持を確実にするため、現行及び予想される流動性要件及び債務借入条項の遵守を定期的にモニターすることである。本グループは営業活動及び債務の支払要求に充てるための十分な現金及びコミット済与信枠を有しているため、重要な流動性リスクはないと経営陣は考えている。

本グループは通常の事業活動において、子会社の履行を保証する目的で特定の企業保証債務を引受けている。詳細については注記38を参照のこと。

以下の表は、本グループのデリバティブ以外の金融負債及びデリバティブ負債に関する報告期間末現在の契約上の期日までの残存期間の詳細であり、これらは契約上の割引前キャッシュ・フロー（契約上の利率を用いて、また変動利率の場合は報告期間末現在の最新の利率に基づき、算定された支払利息を含む）及び本グループが支払を求められる最も早い日に基づいている。

（単位：百万香港ドル）

	2018年					帳簿価額
	1年以内 又は 要求払い	1年超 2年以内	2年超 5年以内	5年超	契約上の 割引前 キャッシュ・ フロー合計	
流動負債						
買掛金	(1,787)	—	—	—	(1,787)	(1,787)
未払費用及びその他の未払金	(4,757)	—	—	—	(4,757)	(4,757)
未払通信事業者免許料	(180)	—	—	—	(180)	(173)
兄弟会社に対する債務	(1,675)	—	—	—	(1,675)	(1,675)
リース負債	(1,309)	—	—	—	(1,309)	(1,293)
	(9,708)	—	—	—	(9,708)	(9,685)
非流動負債						
長期借入金(注(i))	(954)	(2,985)	(26,607)	(16,835)	(47,381)	(40,169)
デリバティブ(注(ii))	1	(1)	(6)	(173)	(179)	(152)
未払通信事業者免許料	—	(142)	(241)	(50)	(433)	(357)
リース負債	—	(723)	(940)	(427)	(2,090)	(1,900)
その他の長期性負債(注(iii))	(1)	(14)	(768)	(1,039)	(1,822)	(829)
	(954)	(3,865)	(28,562)	(18,524)	(51,905)	(43,407)
合計	(10,662)	(3,865)	(28,562)	(18,524)	(61,613)	(53,092)

（単位：百万香港ドル）

	2019年					帳簿価額
	1年以内 又は 要求払い	1年超 2年以内	2年超 5年以内	5年超	契約上の 割引前 キャッシュ・ フロー合計	
流動負債						
買掛金	(2,342)	—	—	—	(2,342)	(2,342)
未払費用及びその他の未払金	(3,887)	—	—	—	(3,887)	(3,887)
未払通信事業者免許料	(209)	—	—	—	(209)	(195)
兄弟会社に対する債務	(2,855)	—	—	—	(2,855)	(2,855)
リース負債	(1,119)	—	—	—	(1,119)	(1,065)
	(10,412)	—	—	—	(10,412)	(10,344)
非流動負債						
長期借入金(注(i))	(985)	(6,118)	(19,959)	(20,865)	(47,927)	(40,358)
デリバティブ(注(ii))	28	27	(72)	(28)	(45)	(38)
未払通信事業者免許料	—	(170)	(234)	(219)	(623)	(527)
リース負債	—	(696)	(865)	(250)	(1,811)	(1,697)
その他の長期性負債(注(iii))	(15)	(2)	(767)	(1,035)	(1,819)	(1,197)
	(972)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(52,225)	(43,817)
合計	(11,384)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(62,637)	(54,161)

- (i) 2019年12月31日現在、長期借入金に含まれている銀行借入金1,560百万香港ドル（2018年：1,690百万香港ドル）は、本グループが2016年度に一括前払いで支払った15年間の3Gスペクトラム利用料の資金調達のための残高であった。
- (ii) 2019年12月31日現在、デリバティブには長期性未払利息21百万香港ドル（2018年：なし）が含まれており、これは契約上の想定元本1,000百万香港ドル（2018年：なし）の変動対固定金利スワップ契約の利息の支払を決済するために同意された金額を分割で受取るという銀行との契約に基づき発生する利息に関するものである。
- (iii) 2019年12月31日現在、その他の長期性負債には、長期性未払利息304百万香港ドル（2018年：232百万香港ドル）が含まれており、これは契約上の想定元本200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル）（2018年：200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル））の固定対固定クロスカレンシー・スワップ契約の利息の支払を決済するために同意された金額を分割で受取るという銀行との契約に基づき発生する利息に関するものである。その他の長期性負債にはまた、長期性未払利息211百万香港ドル（2018年：43百万香港ドル）が含まれており、これは契約上の想定元本総額500百万米ドル（約3,879百万香港ドル）（2018年：500百万米ドル（約3,879百万香港ドル））の固定対固定クロスカレンシー・スワップ契約の利息の支払を決済するために同意された金額を分割で受取るという銀行との契約に基づき発生する利息に関するものである。保証付手形及びデリバティブの詳細については、それぞれ注記27(d)、27(a)及び28(a)を参照のこと。

c. 市場リスク

市場リスクは、本グループの営業、投資及び財務活動から派生する外貨、金利及び株価に対するエクスポージャーからなる。本グループは方針上、営業及び財務に直接関連する市場リスクに対するエクスポージャーを管理する目的で、クロスカレンシー・スワップ契約、金利スワップ契約、為替予約及びその他の金融商品を締結している。本グループは、これらの金融商品に関連した投機的な売買活動に従事することも、また、売買目的で市場リスクの高い商品を締結又は取得することもない。

HKTリミテッドの取締役会の執行委員会の小委員会である財政及び管理委員会は、本グループの通常の事業活動において行っている取引に関連した市場リスクを慎重に管理することを目的として適切なリスク管理活動を決定している。

全ての財務リスク管理活動は財政及び管理委員会によって承認された方針及び指針に準拠して実施され、これらの方針及び指針は定期的に見直される。早期解約及び取引条件の変更は通常、原資産若しくは負債又は本グループのリスク管理戦略に変更がある場合に発生する。

通常の事業活動において、本グループは為替レート及び金利の不利な変動に対するエクスポージャーを制限する目的で上記の金融商品を用いている。これらの商品は信用力の高い金融機関と締結しており、全ての契約が主要通貨建てである。

i. 外貨リスク

本グループは国際的に事業を行っているため、さまざまな通貨エクスポージャーから生じる外貨リスクに晒されている。外貨リスクは、本グループの認識した資産及び負債が関連するグループ事業体の機能通貨ではない通貨建てである場合に生じる。

本グループの借入金は、大部分が香港ドル、米ドル及びユーロ建てである。2018年及び2019年12月31日現在、本グループの米ドル/ユーロ建て借入金は全て、クロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約により香港ドルへとスワップされていた。これを前提として、経営陣は本グループの借入金に関連した重要な外貨リスクを予想していない。2019年12月31日現在、契約上の想定元本総額2,720百万米ドル（約21,178百万香港ドル）（2018年：2,126百万米ドル（約16,478百万香港ドル））及び200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル）（2018年：200百万ユーロ（約1,665百万香港ドル））のクロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約の残高が、外貨リスクに対するキャッシュ・フロー・ヘッジとして指定又は再指定されていた。

関連業務の機能通貨以外の通貨で保有される売掛金及び買掛金については、本グループは短期的な不均衡の対策として、必要に応じて外貨を直物又は先渡相場で売買することにより正味エクスポージャーを許容レベルに保つよう努めている。

重要な外貨建て貨幣性資産又は負債から生じる通貨リスクに対する、報告期間末現在の本グループのエクスポージャーの詳細は以下の表の通りである。

	(単位：百万香港ドル)			
	2018年		2019年	
	米ドル	ユーロ	米ドル	ユーロ
売掛金	1,359	194	1,329	86
現金及び現金同等物	722	191	715	58
買掛金	(1,140)	(65)	(1,542)	(67)
リース負債	(142)	(8)	(107)	(14)
長期借入金	(15,871)	(1,761)	(19,643)	(1,713)
貨幣性負債から生じるエクスポージャー総額	(15,072)	(1,449)	(19,248)	(1,650)
各事業体の機能通貨建ての貨幣性(資産)/負債	(128)	(108)	82	(58)
ヘッジ手段付借入金	15,871	1,761	19,643	1,713
正味エクスポージャー合計	671	204	477	5

他の全ての変数が一定であると仮定して、2019年12月31日現在において香港ドルが対米ドルで1%下落/上昇したならば、本グループの当期税引後利益は約4百万香港ドル（2018年：6百万香港ドル）増加/減少していたと考えられ、これは主にヘッジ手段でヘッジされていない米ドル建て貨幣性資産及び負債の換算に係る為替差益/損によるものである。一方で、2019年12月31日現在の本グループのヘッジ準備金及びヘッジのコスト準備金は、合わせて約196百万香港ドル（2018年：159百万香港ドル）借方/貸方計上されていたと考えられ、これは主にクロスカレンシー・スワップ契約及び為替予約によりヘッジされた長期借入金に係る為替差損/益によるものである。

他の全ての変数が一定であると仮定して、2019年12月31日現在において香港ドルが対ユーロで5%下落/上昇したならば、本グループの当期税引後利益の増加/減少は軽微な金額（2018年：約9百万香港ドル）であったと考えられ、これは主にヘッジ手段でヘッジされていないユーロ建て貨幣性資産及び負債の換算に係る為替差益/損によるものである。一方で、2019年12月31日現在の本グループのヘッジ準備金及びヘッジのコスト準備金は、約86百万香港ドル（2018年：88百万香港ドル）借方/貸方計上されていたと考えられ、これは主にクロスカレンシー・スワップ契約によりヘッジされた長期借入金に係る為替差損/益によるものである。

感応度分析は、報告期間末現在で為替レートの変動が起こり、同日に残高を有する貨幣性資産及び負債の通貨リスクに対する本グループのエクスポージャーに適用されること、かつ他の全ての変数、特に金利が一定であることを仮定した上で算定されている。

記載された変動は、翌年度の報告期間末までの期間にわたり為替レートの変動が合理的に発生する可能性があるという経営陣の評価を示すものである。これは、香港ドルと米ドルの間の固定相場が、米ドルの他の通貨に対する価値の変動により重要な影響を受けないことを前提としている。この分析は、2018年12月31日に終了した会計年度と2019年12月31日に終了した会計年度について、同じ基準で実施された。

ii. 金利リスク

利付資産の金額が比較的僅少であることから、本グループの利益及び営業キャッシュ・フローは市場金利の変動とは実質的に無関係である。

本グループの金利リスクは、主に長期借入金から生じる。変動利付及び固定利付借入金により、本グループはそれぞれキャッシュ・フロー金利リスク及び公正価値金利リスクに晒されている。さらに、本グループは随時、長期リボルビング・クレジット・ファシリティから資金を調達しており、その大部分が変動金利を付された香港ドル建てである。

本グループは、本グループの変動利付長期借入金の一部から生じるキャッシュ・フロー金利リスクをヘッジするために、変動対固定の金利スワップ契約を締結している。

報告期間末現在における本グループの借入金の金利プロファイル（キャッシュ・フロー・ヘッジ手段の影響を考慮後）の詳細は、以下の表の通りである。

	2018年		2019年	
	実効金利		実効金利	
	%	百万香港ドル	%	百万香港ドル
固定利付借入金(純額)：				
長期銀行借入金(ヘッジ手段付)	1.84	1,492	2.34	6,320
長期借入金(ヘッジ手段付)	3.84	17,632	3.74	21,356
変動利付借入金：				
長期銀行借入金	2.49	21,045	2.75	12,682
借入金合計		40,169		40,358

他の全ての変数が一定であると仮定して、2019年12月31日現在において変動利付借入金に係る金利が50ベシス・ポイント（2018年：50ベシス・ポイント）上昇/低下したならば、主に報告期間末現在で残高を有する変動利付借入金に係る支払利息の増加/減少により、本グループの当期税引後利益は約53百万香港ドル（2018年：89百万香港ドル）減少/増加していたと考えられる。

上記の感応度分析は、報告期間末現在で金利の変動が起こり、また同日に残高を有する本グループの変動利付借入金の金利リスクに対するエクスポージャーに適用されることを仮定して算定されている。50ベシス・ポイント（2018年：50ベシス・ポイント）の増加又は減少は、翌年度の報告期間末までの期間にわたり金利の変動が合理的に発生する可能性があるという経営陣の評価を示すものである。この分析は、2018年度と2019年度について、同じ手法で実施された。

iii. 株価リスク

本グループは、株式投資から生じる株価の変動に晒されている。戦略目的で保有する非上場持分証券を除き、これら全ての投資は、広く認められている証券取引所に上場している。

本グループが保有する上場持分証券ポートフォリオの規模が小さいことから、本グループの株価リスクは最小限であると経営陣は考えている。

長期的戦略目的で保有する本グループの非上場投資のパフォーマンスは、本グループの長期戦略計画との関連性の評価と共に、少なくとも半年ごとに、本グループが入手可能な限定的な情報に基づき、関連事業の業績及び類似する上場企業の業績との比較によって評価される。

d. 償却原価で測定する金融商品の公正価値

2019年12月31日現在、以下を除く全ての金融商品はその公正価値と大きな違いのない価額で計上されていた。

（単位：百万香港ドル）

	2018年		2019年	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
長期借入金	40,169	39,736	40,358	40,860

長期借入金の公正価値は、実勢市場金利で割り引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値である。この公正価値は公正価値ヒエラルキーのレベル2に該当する（注記36(e)を参照のこと。）。

e. 公正価値の見積り

公正価値で計上される金融商品は評価手法によって分析されており、各レベルの定義は以下の通りである。

- － レベル1：活発な市場で取引されている金融商品（上場デリバティブや株式など）の公正価値は、報告期間末現在の市場相場価格に基づいている。本グループが保有する金融資産に用いられる市場相場価格は、最新の買呼値である。これらの金融商品はレベル1に含まれる。
- － レベル2：活発な市場で取引されていない金融商品（例えば、店頭デリバティブ）の公正価値は、観察可能な市場データを最大限使用し、企業独自の見積りを可能な限り最小限使用する評価技法を用いて決定される。金融商品の公正価値測定に必要な全ての重要なインプットが観察可能な場合、当該金融商品はレベル2に含まれる。
- － レベル3：1つ以上の重要なインプットが観察可能な市場データに基づいていない場合、当該金融商品はレベル3に含まれる。これは非上場証券及び株式投資が該当する。

公正価値で測定される本グループの金融資産及び負債は、以下の表の通りである。

(単位：百万香港ドル)

2018年				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
FVOCIで測定する金融資産				
－非上場証券	—	—	77	77
デリバティブ(非流動)	—	148	—	148
FVPLで測定する金融資産				
－上場証券(非流動)	8	—	—	8
－上場証券(流動)	12	—	—	12
資産合計	20	148	77	245
負債				
デリバティブ(非流動)	—	(152)	—	(152)

(単位：百万香港ドル)

2019年				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
FVOCIで測定する金融資産				
－非上場証券	—	—	124	124
デリバティブ				
－非流動	—	284	—	284
－流動	—	6	—	6
FVPLで測定する金融資産				
－非上場証券(非流動)	—	—	31	31
－上場証券(非流動)	1	—	—	1
－上場証券(流動)	12	—	—	12
資産合計	13	290	155	458
負債				
デリバティブ(非流動)	—	(38)	—	(38)

レベル1に含まれる金融商品は、PCCW株式報奨制度に基づき取得又は引受け、FVPLで測定する金融資産に分類されているPCCW社株式で構成された。

レベル2に含まれる金融商品は、デリバティブに分類されるクロスカレンシー・スワップ契約、金利スワップ契約及び為替予約で構成された。スワップ契約を測定する際の公正価値は、スワップの市場相場金利で割引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値である。為替予約の公正価値は、満期日の相違について調整された同額の想定元本の契約についての相場である市場実勢為替レートに基づき算出される。

レベル3に含まれる金融商品は、FVOCIで測定する金融資産若しくはFVPLで測定する金融資産に分類される非上場金融商品への投資で構成されている。2019年12月31日に終了した会計年度において、レベル3に含まれる78百万香港ドルの金融商品が取得された（2018年：なし）。

活発な市場のない非上場証券又は金融資産について、本グループは、最近の独立第三者間取引の利用、実質的に同一の他の金融商品の参照、及び割引キャッシュ・フロー分析を含む評価技法を用い、市場インプットを最大限利用し、事業体独自のインプットへの依拠は可能な限り少なくして公正価値を算定している。

2018年及び2019年12月31日に終了した会計年度において、公正価値のヒエラルキーの分類の間に金融資産及び金融負債の振替はなかった。

2018年及び2019年12月31日に終了した会計年度において、評価技法の重大な変更はなかった。

f. 本グループの評価プロセス

本グループは、レベル3の公正価値を含む、財務報告目的で要求される金融資産の評価を実施及び監視している。評価の重要な変動は、直ちに上級経営陣に報告される。評価の結果は、少なくとも半年ごとに上級経営陣によって見直される。

37 コミットメント

a. 資本

2019年12月31日現在、承認済みかつ契約締結済みの資本コミットメントの性質別内訳は以下の通りであった。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
投資	—	239
有形固定資産の取得	783	1,020
	783	1,259

b. 約定済みであるがまだ開始していないリース

2019年12月31日現在、約定済みであるがまだ開始していないリースに基づく将来支払リース料総額は、以下の通りに支払われるとした。

土地及び建物

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
1年以内	18	11
1年超5年以内	33	12
	51	23

ネットワーク容量及び装置

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
1年以内	110	111
1年超5年以内	2	28
	112	139

c. その他

2019年12月31日現在、本グループのその他のコミットメント残高は以下の通りであった。

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
営業支出コミットメント	3,514	4,037

d. リース債権

i. 2019年12月31日現在、解約不能なファイナンス・リースに基づくリース債権の満期日別内訳は以下の通りである。

(単位：百万香港ドル)

	2018年	2019年
1年以内	71	58
1年超2年以内	56	42
2年超3年以内	42	40
3年超4年以内	40	33
4年超5年以内	33	14
5年超	106	93
契約上の割引前リース債権*	348	280
控除：将来の期間に関する受取利息	(37)	(32)
帳簿価額	311	248
控除：流動資産に含まれる1年以内に受領予定の金額	(67)	(54)
非流動部分	244	194

* リースの大部分は通常3年から15年（2018年：3年から15年）の期間である。

- ii. 2019年12月31日現在、解約不能なオペレーティング・リースに係る将来最低受取リース料総額の満期日別内訳は以下の通りである。

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
1年以内	49	50
1年超2年以内	30	31
2年超3年以内	15	10
3年超4年以内	5	—
	99	91

本グループは、オペレーティング・リースにより不動産の賃貸を行っている。リースの大部分は、通常1年から15年（2018年：1年から15年）の期間である。重要な条件付賃貸料を含むリースはない。

38 偶発負債

	(単位：百万香港ドル)	
	2018年	2019年
契約履行保証	249	740
関連会社に付与した与信枠に関する銀行に対する保証	56	52
その他	8	11
	313	803

本グループは通常の事業活動において、子会社の履行を保証する目的で特定の企業保証債務を引受けている。かかる債務から生じる負債の金額はあっても確定することができないが、取締役は、結果として生じるいかなる負債も本グループの財政状態に重要な影響を及ぼすことはないという見解を示している。

39 銀行融資枠

2019年12月31日現在の銀行融資枠総額は、28,348百万香港ドル（2018年：27,442百万香港ドル）であり、このうち未使用額は9,190百万香港ドル（2018年：4,710百万香港ドル）であった。

本グループの全ての銀行融資枠は、本グループの財務比率の一部に関連する借入条項の履行が条件となっており、このような借入条項は金融機関との融資契約で一般的に用いられるものである。本グループが当該条項に違反した場合、引出された融資枠は要求払いとなる。本グループは、これらの条項を遵守していることを定期的にモニターしている。2019年12月31日現在、本グループは引出された融資枠に関連する借入条項を遵守していた。本グループの流動性リスク管理の詳細については、注記36(b)に記載されている。

長期借入金の要約は、注記27に記載されている。

40 支配の喪失を伴わない子会社に対する所有持分の変動

2019年12月31日に終了した会計年度において、本グループは、その時点で間接非完全子会社であった盈環網絡技術（上海）有限公司（HKTテレサービシズ（中国）リミテッド^{*}）に対する残り50%の株主持分を買収総額7百万人民元（約8百万香港ドルに相当）で取得した。買収日における非支配持分の帳簿価額の借方残高は11百万香港ドルであった。本グループは、株式ステーブル受益証券/HKTリミテッド株式の保有者に帰属する資本の減少19百万香港ドルを認識した。買収直後に、本グループはHKTテレサービシズ（中国）リミテッド^{*}の全株主持分を保有した。

* 非公式の社名である。

41 公表済みであるが2019年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じていない新規及び修正された基準の影響の可能性

本連結財務書類の承認日までに、HKICPAは、以下の新規及び修正された基準を公表したが、2019年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本連結財務書類においても早期適用は行われていない。

		適用される会計期間 の開始日
HKAS第1号(改訂)(修正)	財務諸表の表示	2020年1月1日
HKAS第8号(修正)	会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬	2020年1月1日
HKAS第39号(修正)	金融商品：認識及び測定	2020年1月1日
HKFRS第3号(改訂)(修正)	企業結合	2020年1月1日
HKFRS第7号(修正)	金融商品：開示	2020年1月1日
HKFRS第9号(2014年)(修正)	金融商品	2020年1月1日
HKFRS第17号	保険契約	2021年1月1日
2018年財務報告に関する概念フレームワーク		2020年1月1日

上記の他に、多数の香港財務報告基準の改善及び軽微な修正もHKICPAによって公表されているが、これらは2019年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本連結財務書類においても早期適用は行われていない。

上記のいずれも、本グループの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすとは見込まれていない。

[前へ](#)

[次へ](#)

CONSOLIDATED INCOME STATEMENT OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$ million (except for earnings per Share Stapled Unit/share of the Company)	Note(s)	2018	2019
Revenue	7, 8	35,187	33,103
Cost of sales	9(b)	(17,980)	(15,787)
General and administrative expenses	9(c)	(9,991)	(9,622)
Other gains, net		2	3
Finance costs, net	10	(1,350)	(1,372)
Share of results of associates		–	(33)
Share of results of joint ventures		(16)	(18)
Profit before income tax	7, 9	5,852	6,274
Income tax	12	(1,010)	(1,037)
Profit for the year		4,842	5,237
Attributable to:			
Holders of Share Stapled Units/shares of the Company		4,825	5,217
Non-controlling interests		17	20
Profit for the year		4,842	5,237
Earnings per Share Stapled Unit/share of the Company			
Basic	14	63.73 cents	68.91 cents
Diluted	14	63.71 cents	68.89 cents

The notes on pages 108 to 190 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF COMPREHENSIVE INCOME OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$ million	2018	2019
Profit for the year	4,842	5,237
Other comprehensive (loss)/income		
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:		
Exchange differences on translating foreign operations	(73)	(2)
Cash flow hedges:		
– effective portion of changes in fair value	(137)	257
– transfer from equity to consolidated income statement	35	152
Costs of hedging	39	11
Other comprehensive (loss)/income for the year	(136)	418
Total comprehensive income for the year	4,706	5,655
Attributable to:		
Holders of Share Stapled Units/shares of the Company	4,689	5,635
Non-controlling interests	17	20
Total comprehensive income for the year	4,706	5,655

The notes on pages 108 to 190 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF CHANGES IN EQUITY OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$ million	Note	2018		Total equity
		Attributable to holders of Share Stapled Units/shares of the Company	Non-controlling interests	
At January 1, 2018		37,850	40	37,890
Total comprehensive income for the year				
Profit for the year		4,825	17	4,842
Other comprehensive (loss)/income				
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:				
Exchange differences on translating foreign operations		(73)	–	(73)
Cash flow hedges:				
– effective portion of changes in fair value	28(c)	(137)	–	(137)
– transfer from equity to consolidated income statement	28(c)	35	–	35
Costs of hedging	28(c)	39	–	39
Other comprehensive loss		(136)	–	(136)
Total comprehensive income for the year		4,689	17	4,706
Transactions with equity holders				
Contributions by and distributions to equity holders:				
Purchase of Share Stapled Units under the				
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme		(21)	–	(21)
Employee share-based compensation		25	–	25
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	13	(2,783)	–	(2,783)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	13	(2,205)	–	(2,205)
Dividends declared and paid to non-controlling shareholders of subsidiaries		–	(20)	(20)
Total contributions by and distributions to equity holders		(4,984)	(20)	(5,004)
Contribution from a non-controlling shareholder of a subsidiary		–	2	2
Total transactions with equity holders		(4,984)	(18)	(5,002)
At December 31, 2018		37,555	39	37,594

CONSOLIDATED STATEMENT OF CHANGES IN EQUITY OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED (CONTINUED)

For the year ended December 31, 2019

		2019		
In HK\$ million	Note	Attributable to holders of Share Stapled Units/shares of the Company	Non-controlling interests	Total equity
At January 1, 2019		37,555	39	37,594
Total comprehensive income for the year				
Profit for the year		5,217	20	5,237
Other comprehensive (loss)/income				
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:				
Exchange differences on translating foreign operations		(2)	–	(2)
Cash flow hedges:				
– effective portion of changes in fair value	28(c)	257	–	257
– transfer from equity to consolidated income statement	28(c)	152	–	152
Costs of hedging	28(c)	11	–	11
Other comprehensive income		418	–	418
Total comprehensive income for the year		5,635	20	5,655
Transactions with equity holders				
Contributions by and distributions to equity holders:				
Purchase of Share Stapled Units under the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme		(38)	–	(38)
Employee share-based compensation		17	–	17
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	13	(2,966)	–	(2,966)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	13	(2,272)	–	(2,272)
Dividends declared and paid to non-controlling shareholders of subsidiaries		–	(13)	(13)
Total contributions by and distributions to equity holders		(5,259)	(13)	(5,272)
Acquisition of a subsidiary		–	1	1
Change in ownership interests in a subsidiary that does not result in a loss of control		(19)	11	(8)
Total changes in ownership interests in subsidiaries that do not result in a loss of control		(19)	12	(7)
Total transactions with equity holders		(5,278)	(1)	(5,279)
At December 31, 2019		37,912	58	37,970

The notes on pages 108 to 190 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

As at December 31, 2019

In HK\$ million	Note	2018	2019
ASSETS AND LIABILITIES			
Non-current assets			
Property, plant and equipment	15	20,601	22,177
Right-of-use assets	16	2,808	2,436
Interests in leasehold land	17	227	215
Goodwill	18	49,805	49,814
Intangible assets	19	8,691	10,118
Fulfillment costs		1,336	1,342
Customer acquisition costs		632	592
Contract assets		295	346
Interests in associates	20	-	209
Interests in joint ventures	21	678	643
Financial assets at fair value through other comprehensive income	22	77	124
Financial assets at fair value through profit or loss	23	8	32
Derivative financial instruments	28	148	284
Deferred income tax assets	32	465	410
Other non-current assets	25	1,065	1,106
		86,836	89,848
Current assets			
Inventories	26(a)	1,080	803
Prepayments, deposits and other current assets	26(b)	2,033	1,811
Contract assets		630	576
Trade receivables, net	26(c)	3,727	3,600
Amounts due from related companies	6(c)	102	95
Financial assets at fair value through profit or loss	23	12	12
Derivative financial instruments	28	-	6
Restricted cash	26(d)	88	115
Short-term deposits		523	486
Cash and cash equivalents	34(d)	2,534	2,417
		10,729	9,921
Current liabilities			
Trade payables	26(e)	(1,787)	(2,342)
Accruals and other payables		(4,771)	(3,904)
Carrier licence fee liabilities	33	(173)	(195)
Amount due to a fellow subsidiary	6(c)	(1,675)	(2,855)
Advances from customers		(266)	(291)
Contract liabilities		(1,415)	(1,361)
Lease liabilities		(1,293)	(1,065)
Current income tax liabilities		(761)	(1,078)
		(12,141)	(13,091)

CONSOLIDATED STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED (CONTINUED)

As at December 31, 2019

In HK\$ million	Note	2018	2019
Non-current liabilities			
Long-term borrowings	27	(40,169)	(40,358)
Derivative financial instruments	28	(152)	(38)
Deferred income tax liabilities	32	(3,393)	(3,874)
Carrier licence fee liabilities	33	(357)	(527)
Contract liabilities		(1,010)	(1,001)
Lease liabilities		(1,900)	(1,697)
Other long-term liabilities		(849)	(1,213)
		(47,830)	(48,708)
Net assets		37,594	37,970
CAPITAL AND RESERVES			
Share capital	30(a)	8	8
Reserves	31	37,547	37,904
Equity attributable to holders of Share Stapled Units/shares of the Company		37,555	37,912
Non-controlling interests	24(b)	39	58
Total equity		37,594	37,970

Approved and authorized for issue by the boards of directors of HKT Management Limited and HKT Limited (collectively, the "Boards") on February 12, 2020 and signed on behalf of the Boards by

Li Tzar Kai, Richard
Director

Hui Hon Hing, Susanna
Director

The notes on pages 108 to 190 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS OF HKT TRUST AND OF HKT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$ million	Note	2018	2019
NET CASH GENERATED FROM OPERATING ACTIVITIES	34(a)	10,659	11,084
INVESTING ACTIVITIES			
Proceeds from disposal of property, plant and equipment		3	4
Purchases of property, plant and equipment		(2,536)	(2,642)
Purchases of intangible assets		(2,137)	(2,487)
Net outflow of cash and cash equivalents in respect of business combination		(3)	(4)
Investment in an associate		–	(242)
Investment in a joint venture		(30)	(35)
Investment in a financial asset at fair value through other comprehensive income		–	(47)
Investments in financial assets at fair value through profit or loss		–	(31)
Loans to an associate		(12)	(46)
Loans to a joint venture		(72)	(50)
Repayment of loan from an associate		–	34
Repayment of loan from a joint venture		15	–
Cash received from lease receivables		56	71
(Increase)/decrease in short-term deposits with maturity more than three months		(73)	37
NET CASH USED IN INVESTING ACTIVITIES		(4,789)	(5,438)
FINANCING ACTIVITIES			
New borrowings raised	34(b)	13,616	12,948
Finance costs paid	34(b)	(886)	(928)
Repayments of borrowings	34(b)	(12,543)	(12,570)
Payment for lease liabilities (including interest)	34(b)	(1,665)	(1,644)
Movement in amount due to a fellow subsidiary		(57)	1,698
Contribution from a non-controlling shareholder of a subsidiary		2	–
Distributions/dividends paid to holders of Share Stipled Units/shareholders of the Company		(4,988)	(5,238)
Dividends paid to non-controlling shareholders of subsidiaries		(20)	(13)
NET CASH USED IN FINANCING ACTIVITIES		(6,541)	(5,747)
NET DECREASE IN CASH AND CASH EQUIVALENTS		(671)	(101)
Exchange differences		(12)	(16)
CASH AND CASH EQUIVALENTS			
Beginning of year		3,217	2,534
End of year	34(d)	2,534	2,417

The notes on pages 108 to 190 form part of the consolidated financial statements. As explained in note 1, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

December 31, 2019

1 BASIS OF PRESENTATION

In accordance with the Trust Deed (as defined below), HKT Trust (the "HKT Trust") and HKT Limited (the "Company") are each required to prepare their own sets of financial statements on a consolidated basis. The HKT Trust consolidated financial statements for the year ended December 31, 2019 comprise the consolidated financial statements of the HKT Trust, HKT Limited and its subsidiaries (together the "Group"), and the Group's interests in associates and joint ventures. The HKT Limited consolidated financial statements for the year ended December 31, 2019 comprise the consolidated financial statements of HKT Limited and its subsidiaries (together the "HKT Limited Group") and the HKT Limited Group's interests in associates and joint ventures, and the Company's statement of financial position.

The HKT Trust controls HKT Limited and the sole activity of the HKT Trust during the year ended December 31, 2019 was investing in HKT Limited. Therefore, the consolidated financial results and financial position that would be presented in the consolidated financial statements of the HKT Trust are identical to the consolidated financial results and financial position of HKT Limited with the only differences being disclosures of the capital of HKT Limited. The directors of the Trustee-Manager (as defined below) and the directors of the Company believe therefore that it is clearer to present the consolidated financial statements of the HKT Trust and of the Company together. The consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together to the extent they are identical and are hereinafter referred to as the "HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements".

The consolidated income statements, consolidated statements of comprehensive income, consolidated statements of financial position, consolidated statements of changes in equity, consolidated statements of cash flows, principal accounting policies and the related explanatory information are common to the HKT Trust and the Company. The HKT Limited consolidated financial statements also include the stand-alone statement of financial position of HKT Limited as shown in note 5, and the relevant explanatory information in note 30 where information specific to the Company are disclosed separately.

The Group and the HKT Limited Group are referred to as the "Groups".

2 GENERAL INFORMATION

The HKT Trust is constituted by a Hong Kong law governed trust deed and as supplemented, amended or substituted from time to time (the "Trust Deed"), entered into between HKT Management Limited (the "Trustee-Manager", in its capacity as the trustee-manager of the HKT Trust) and the Company. Under the Trust Deed, the Trustee-Manager has been appointed as the trustee and manager of the HKT Trust. The scope of activities of the HKT Trust specified in the Trust Deed is essentially limited to investing in the Company and all the issued and paid-up ordinary shares of the Company are held by the HKT Trust. The Company was incorporated in the Cayman Islands as an exempted company with limited liability under the Companies Law, Cap. 22 (Law 3 of 1961, as consolidated and revised) of the Cayman Islands on June 14, 2011. The Company has established a principal place of business in the Hong Kong Special Administrative Region ("Hong Kong") at 39th Floor, PCCW Tower, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong and was registered as a non-Hong Kong company. The HKT Limited Group is principally engaged in the provision of telecommunications and related services which include local telephony, local data and broadband, international telecommunications, mobile, enterprise solutions, and other telecommunications businesses such as customer premises equipment sales, outsourcing, consulting, and contact centers. It operates primarily in Hong Kong, and also serves customers in mainland China and other parts of the world.

The share stapled units (the "Share Stapled Units") structure comprises: (a) a unit in the HKT Trust; (b) a beneficial interest in a specifically identified ordinary share in the Company is "linked" to the unit and held by the Trustee-Manager as legal owner in its capacity as the trustee-manager of the HKT Trust; and (c) a specifically identified preference share in the Company which is "stapled" to the unit. The Share Stapled Units, which are jointly issued by the HKT Trust and the Company, are listed on the Main Board of The Stock Exchange of Hong Kong Limited (the "Stock Exchange").

The ultimate holding company of both the HKT Trust and the Company is PCCW Limited ("PCCW"), a company incorporated in Hong Kong with its shares listed on the Main Board of the Stock Exchange and traded in the form of American Depositary Receipts on the OTC Markets Group Inc. in the United States.

These financial statements are presented in millions of units of Hong Kong dollars (HK\$ million), unless otherwise stated.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES

a. Statement of compliance

The HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements have been prepared in accordance with all applicable Hong Kong Financial Reporting Standards, which is a collective term for all individual Hong Kong Financial Reporting Standards ("HKFRSs"), Hong Kong Accounting Standards ("HKASs") and Interpretations ("Ints") issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants ("HKICPA"), accounting principles generally accepted in Hong Kong and the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance (Cap. 622). A summary of the principal accounting policies adopted by the Groups is set out below.

b. Basis of preparation of the financial statements

The following new or amended Hong Kong Financial Reporting Standards (the "new or amended HKFRSs") are mandatory for the first time for the financial year beginning January 1, 2019, but have no material effect on the Groups' reported results and financial position for the current and prior accounting periods.

- HKAS 19 (2011) (Amendments), *Employee Benefits*
- HKAS 28 (2011) (Amendments), *Investments in Associates and Joint Ventures*
- HKFRS 9 (2014) (Amendments), *Financial Instruments*
- HK(IFRIC) – Int 23, *Uncertainty over Income Tax Treatments*
- Annual Improvements to HKFRSs 2015-2017 Cycle issued in February 2018 by the HKICPA

The Groups have not early adopted any new or amended HKFRSs that are not yet effective for the current accounting period, details of which are set out in note 41.

The consolidated financial statements for the year ended December 31, 2019 comprise the financial statements of the Groups, and the Groups' interests in associates and joint ventures.

The measurement basis used in the preparation of the financial statements is the historical cost basis, except that the following assets and liabilities are stated at fair value as explained in the accounting policies set out below:

- financial assets at fair value through profit or loss (see note 3(n));
- financial assets at fair value through other comprehensive income (see note 3(n)); and
- derivative financial instruments (see note 3(p)).

As at December 31, 2019, the current liabilities of the Groups exceeded their current assets by HK\$3,170 million. Included in the current liabilities were current portion of contract liabilities of HK\$1,361 million recognized under HKFRS 15, which will gradually reduce over the contract terms through the satisfaction of performance obligations. Management of the Groups anticipates the net cash inflows from their operations, together with the ability to draw down from available bank loan facilities, would be sufficient to enable the Groups to meet their liabilities as and when they fall due. Accordingly, these consolidated financial statements have been prepared on a going concern basis.

The preparation of financial statements in conformity with Hong Kong Financial Reporting Standards requires management to make judgements, estimates and assumptions that affect the application of policies and reported amounts of assets, liabilities, income and expenses. The estimates and associated assumptions are based on historical experience and various other factors that are believed to be reasonable under the circumstances, the results of which form the basis of judgements about the carrying amounts of assets and liabilities that are not readily apparent from other sources. Actual results may differ from these estimates.

The estimates and underlying assumptions are reviewed on an ongoing basis. Revisions to accounting estimates are recognized in the period in which the estimate is revised if the revision affects only that period, or in the period of the revision and future periods if the revision affects both current and future periods.

Judgements made by management in the application of Hong Kong Financial Reporting Standards that have significant effect on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements and estimates with a significant risk of material adjustment in the next year are discussed in note 4.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**c. Subsidiaries and non-controlling interests**

Subsidiaries are entities (including structured entities) controlled by the Groups. Control exists when the Groups are exposed to, or have rights to, variable returns from their involvement with the entity and have the ability to affect those returns through their power over the entity.

An interest in a subsidiary is consolidated into the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements from the date that control commences until the date that control ceases.

The acquisition method of accounting is used to account for the acquisition of subsidiaries by the Groups. The cost of an acquisition is measured as the aggregate fair value of the assets transferred, equity instruments issued and liabilities incurred or assumed at the date of exchange. The consideration transferred includes the fair value of any asset, liability or equity resulting from a contingent consideration arrangement. A subsequent change to the fair value of the contingent consideration that is deemed to be an asset or a liability is recognized in accordance with HKFRS 9 (2014) in the consolidated income statement. Contingent consideration that is classified as equity is not remeasured, and its subsequent settlement is accounted for within equity.

Acquisition-related costs are expensed as incurred. Identifiable assets acquired and liabilities and contingent liabilities assumed in a business combination are measured initially at their fair values at the acquisition date. On an acquisition-by-acquisition basis, the Groups recognize any non-controlling interest in the acquiree either at fair value or at the non-controlling interest's proportionate share of the acquiree's net assets. All other components of non-controlling interests are measured at their acquisition date fair value, unless another measurement basis is required by Hong Kong Financial Reporting Standards.

The excess of the consideration transferred, the amount of any non-controlling interest in the acquiree and the acquisition-date fair value of any previous equity interest in the acquiree over the fair value of the identifiable net assets acquired is recorded as goodwill (see note 3(i)). If this is less than the fair value of the net assets of the subsidiary acquired in the case of a bargain purchase, the difference is recognized directly in the consolidated income statement. Where businesses are acquired and fair values of the net assets of the acquired business are finalized within 12 months of the acquisition date, all fair value adjustments are recorded with effect from the date of acquisition and consequently may result in the restatement of previously reported financial results.

If the business combination is achieved in stages, the acquisition date carrying amount of the acquirer's previously held equity interest in the acquiree is remeasured to fair value at the acquisition date; any gains or losses arising from such remeasurement are recognized in the consolidated income statement.

The Groups treat transactions with non-controlling interests that do not result in a loss of control as transactions with equity holders of the Groups. The difference between the fair value of any consideration paid and the relevant share acquired of the carrying amount of net assets of the subsidiary is recorded in equity. Gains or losses on disposals to non-controlling interests are also recorded in equity.

For subsidiaries which have accounting year ends different from the Groups, the subsidiaries prepare, for the purpose of consolidation, financial statements up to and as at the same date as the Groups.

Adjustments are made to the financial statements of subsidiaries when necessary to align their accounting policies to ensure consistency with policies adopted by the Groups.

Intra-group balances and transactions and any unrealized profits arising from intra-group transactions are eliminated in full in preparing the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements. Unrealized losses resulting from intra-group transactions are eliminated in the same way as unrealized profits.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

c. Subsidiaries and non-controlling interests (continued)

In the Company's statement of financial position, interests in subsidiaries are stated at cost less impairment losses. Cost includes direct attributable costs of investment. Cost is adjusted to reflect changes in consideration arising from contingent consideration amendments. The results of subsidiaries are accounted for by the Company on the basis of dividends received and receivable.

d. Associates

An associate is an entity over which the Groups have significant influence but not control, generally accompanying a shareholding of between 20% and 50% of the voting rights.

Investments in associates are accounted for in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements using the equity method and are initially recorded at cost. The Groups' interests in associates include goodwill identified on acquisition, net of any accumulated impairment loss and adjust thereafter for the post-acquisition changes in the Groups' share of the associates' net assets. The consolidated income statement includes the Groups' share of post-acquisition, post-tax results of the associates and any impairment losses for the year. The consolidated statement of comprehensive income includes the Groups' share of the post-acquisition, post-tax items of the associates' other comprehensive income.

When the Groups' share of losses exceeds their interest in the associate, the Groups' interest is reduced to nil and recognition of further losses is discontinued except to the extent that the Groups have incurred legal or constructive obligations or made payments on behalf of the associate. For this purpose, the Groups' interest in the associate is the carrying amount of the investment using the equity method together with the Groups' long-term interests that in substance form part of the Groups' net interest in the associate.

Unrealized profits and losses resulting from transactions between the Groups and their associates are eliminated to the extent of the Groups' interests in the associates, except where unrealized losses provide evidence of an impairment of the asset transferred, in which case they are recognized immediately in the consolidated income statement.

If the ownership interest in an associate is reduced but significant influence is retained, only a proportionate share of the amounts previously recognized in other comprehensive income is reclassified to the consolidated income statement where appropriate.

Adjustments are made to the financial statements of the associates when necessary to align their accounting policies to ensure consistency with policies adopted by the Groups.

e. Joint arrangements

The Groups apply HKFRS 11 to all joint arrangements. Under HKFRS 11, joint arrangements are classified as either joint ventures or joint operations depending on the contractual rights and obligations of each investor.

The Groups classify joint arrangements as joint ventures when the Groups have rights to the net assets of the joint arrangement.

Investments in joint ventures are accounted for in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements using the equity method, as described in note 3(d).

Adjustments are made to the financial statements of joint ventures when necessary to align their accounting policies to ensure consistency with policies adopted by the Groups.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**f. Gaining or losing control**

When the Groups cease to have control, any retained interest in the entity is remeasured to its fair value at the date when control is lost, with the change in carrying amount recognized in the consolidated income statement. The fair value is the initial carrying amount for the purposes of subsequently accounting for the retained interest as an associate, joint arrangement or financial asset. In addition, any amounts previously recognized in other comprehensive income in respect of that entity are accounted for as if the Groups had disposed of the related assets or liabilities. This may mean that amounts previously recognized in other comprehensive income are reclassified to the consolidated income statement.

g. Property, plant and equipment

The following items of property, plant and equipment are stated in the consolidated statement of financial position at cost less accumulated depreciation and impairment losses (see note 3(o)(ii)):

- buildings held for own use which are situated on leasehold land, where the fair value of the building could be measured separately from the fair value of the leasehold land at the inception of the lease (see note 3(h)); and
- other items of plant and equipment.

The cost of an item of property, plant and equipment comprises (i) its purchase price, (ii) any directly attributable costs of bringing the asset to its working condition and location for its intended use, and (iii) the initial estimate at the time of installation and during the period of use, where relevant, of the costs of dismantling and removing the items and restoring the site on which they are located.

Subsequent costs are included in the carrying amount of an item of property, plant and equipment or recognized as a separate item of property, plant and equipment, as appropriate, only when it is probable that future economic benefits associated with the item will flow to the Groups and the cost of the item can be measured reliably. All other costs, such as repairs and maintenance and overhaul costs, are recognized in the consolidated income statement as an expense in the period in which they are incurred.

Gains or losses arising from the retirement or disposal of an item of property, plant and equipment are determined as the difference between the net disposal proceeds and the carrying amount of the item and are recognized in the consolidated income statement on the date of retirement or disposal.

Projects under construction are not depreciated. Depreciation on other property, plant and equipment is calculated to write off the cost of items of property, plant and equipment, less their expected residual value, if any, using the straight-line method over their estimated useful lives as follows:

Buildings	Over the shorter of the unexpired term of land lease and the estimated useful life
Exchange equipment	5 to 25 years
Transmission plant	5 to 40 years
Other plant and equipment	1 to 20 years

The assets' useful lives and residual values, if any, are reviewed, and adjusted if appropriate, at the end of each reporting period.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

h. Leased assets

An arrangement, comprising a transaction or a series of transactions, is or contains a lease if the Groups determine that the arrangement conveys a right to control the use of an identified asset for a period of time in exchange for consideration. Such determination is made on an evaluation of the substance of the arrangement, regardless of whether the arrangements take the legal form of a lease.

i. Assets leased to the Groups

Leases are initially recognized as a right-of-use asset/interest in leasehold land and corresponding liability, where applicable, at the date of which the leased asset is available for use by the Groups. Each lease payment is allocated between the liability and finance cost. The finance cost is charged to the consolidated income statement over the lease period so as to produce a constant periodic rate of interest on the remaining balance of the liability for each period. The right-of-use asset is depreciated on a straight-line basis over the shorter of the asset's useful life and the lease term. Interest in leasehold land is amortized on a straight-line basis over the lease term.

The Groups have elected the practical expedient not to separate lease and non-lease components of certain class of underlying assets and account for whole as a single lease component in the measurement of lease liabilities and right-of-use assets.

Assets leased to the Groups and the corresponding liabilities are initially measured on a present value basis. Lease liabilities include the net present value of the following lease payments:

- fixed payments (including in-substance fixed payments), less any lease incentives receivable;
- variable lease payments that are based on an index or a rate; and
- payments of penalties for terminating the lease, if the lease term reflects the Groups, as lessees, exercising an option to terminate the lease.

Lease payments to be made under reasonably certain extension options are also included in the measurement of the liability.

The lease payments are discounted using the interest rate implicit in the lease, if that rate can be determined, or the incremental borrowing rate of respective entities. Right-of-use assets are measured at cost comprising the following:

- the amount of the initial measurement of lease liabilities;
- any lease payments made at or before the commencement date, less any lease incentive received;
- any initial direct costs; and
- restoration costs.

Payments associated with short-term leases and leases of low-value assets are recognized on a straight-line basis as an expense in the consolidated income statement. Short-term leases are leases with a lease term of 12 months or less. Low-value assets comprise equipment and small items of office furniture.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**h. Leased assets (continued)****ii. Assets leased out by the Groups**

A lease is classified as a finance lease if it transfers substantially all the risks and rewards incidental to ownership of an underlying asset. A lease is classified as an operating lease if it does not transfer substantially all the risks and rewards incidental to ownership of an underlying asset.

Where the Groups lease out right-of-use assets ("sublease"), the Groups as an intermediate lessor classify the sublease as a finance lease or an operating lease by reference to the right-of-use asset arising from the head lease.

Where the Groups lease out assets under operating leases, the assets are included in the consolidated statement of financial position according to their nature and, where applicable, are depreciated in accordance with the Groups' depreciation policies. Impairment losses are accounted for in accordance with the accounting policy as set out in note 3(o)(ii). Revenue arising from operating leases is recognized in the consolidated income statement in equal installments over the accounting periods covered by the lease term. Lease incentives granted are recognized in the consolidated income statement as an integral part of the aggregate net lease payments receivable. Contingent rentals are recognized as income in the accounting period in which they are earned.

Where the Groups lease out assets under finance leases, the present value of lease receipts is recognized as a receivable. Each lease receipt is allocated between the receivable and interest income. The interest element of the lease receipt is recognized in the consolidated income statement over the lease term so as to produce a constant periodic rate of interest on the remaining balance of the receivable for each period.

i. Goodwill

Goodwill represents the excess of the cost of the consideration transferred, the amount of any non-controlling interest in the acquiree and the acquisition-date fair value of any previous equity interest in the acquiree over the Groups' interest in the net fair value of the acquiree's identifiable assets, liabilities and contingent liabilities at the date of acquisition.

Goodwill is stated in the consolidated statement of financial position at cost less accumulated impairment losses. Goodwill is allocated to cash-generating units ("CGUs") and is tested at least annually for impairment (see note 3(o)(ii)). In respect of associates and joint ventures, the carrying amount of goodwill is included in the carrying amount of the interests in associates and joint ventures.

On disposal of a CGU or part of a CGU, an associate or a joint venture during the year, any attributable amount of purchased goodwill is included in the calculation of the profit or loss on disposal.

j. Intangible assets (other than goodwill)**i. Carrier licences**

Carrier licences to establish and maintain the telecommunications network and to provide telecommunications services are recorded as intangible assets. Upon the issuance of the licence, the cost thereof, which is the discounted value of the minimum annual fees payable over the period of the licence and directly attributable costs of preparing the asset for its intended use, is recorded as an intangible asset together with the related obligations. Where the Groups have the right to return a licence and expect to do so, the asset and the related obligation recorded reflect the expected period that the licence will be held. Amortization is provided on a straight-line basis over the estimated useful life of the licence, commencing from the date of launch of the relevant telecommunications services.

The difference between the discounted value and the total minimum annual fee payments represents the effective cost of financing. Such finance cost will be charged to the consolidated income statement in the period in which it is incurred using the effective interest method.

Variable annual payments on top of the minimum annual payments, if any, are recognized in the consolidated income statement as incurred.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

j. Intangible assets (other than goodwill) (continued)

ii. Software

Costs incurred to acquire, develop or enhance scientific or technical knowledge, and design and implement new process or systems, licences and market knowledge are capitalized as intangible assets if they are identifiable and the Groups have power to obtain future economic benefits flowing from the underlying resource.

Development costs that are directly attributable to the design and testing of the identifiable software are capitalized as intangible assets if the following criteria are met:

- it is technically feasible to complete the software so that it will be available for use;
- adequate technical, financial and other resources are available to complete the development and to use the software;
- the costs attributable to acquisition, development and enhancement of the software can be reliably measured; and
- the Groups have power to obtain future economic benefits flowing from the underlying resource.

Development costs that do not meet the above criteria are expensed in the consolidated income statement as incurred.

Capitalized software costs are amortized on a straight-line basis over the estimated useful life of 8 to 10 years.

iii. Other intangible assets

Other intangible assets that are acquired by the Groups are stated in the consolidated statement of financial position at cost less accumulated amortization (where the estimated useful life is finite) and impairment losses (see note 3(o)(ii)). Expenditures on internally generated goodwill and brands are recognized as expenses in the period in which they are incurred.

Amortization of intangible assets with finite useful lives is charged to the consolidated income statement on a straight-line basis over their estimated useful lives. The following intangible assets with finite useful lives are amortized from the date they are available for use and their estimated useful lives are as follows:

Trademarks	20 years
Customer base	1 to 10 years

The assets' useful lives and their amortization methods are reviewed annually.

k. Fulfilment costs

Direct costs incurred in fulfilling a contract with a customer, which mainly comprise setup and related costs in respect of the Groups' telecommunications services, are capitalized as an asset to the extent that the cost generates or enhances resources of the Groups that will be used in satisfying performance obligations in the future and are expected to be recovered. Fulfilment costs are amortized on a straight-line basis over the expected life of the customer contract.

l. Customer acquisition costs

Incremental costs incurred to obtain a contract with a customer, which mainly comprise sales commission, are capitalized as customer acquisition costs if the Groups expect to recover those costs. Costs of obtaining a contract are amortized on a systematic basis over the expected life of the customer contract.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**m. Contract assets/liabilities**

Customer pays according to a pre-agreed payment schedule. Please refer to note 3(x) for timing of settlement details. If the performance obligations fulfilled by the Groups exceed the total non-refundable payments received and unconditional rights to contract consideration to date, a contract asset is recognized. If the total non-refundable payments received and unconditional rights to contract consideration to date exceed the performance obligation fulfilled, a contract liability is recognized. The contract assets are transferred to receivables when the Groups' rights to the contract consideration become unconditional.

Advances from customers represent refundable customer advances, please refer to note 3(u) for the accounting policies.

n. Investments in debt and equity securities**Classification**

The Groups classify their investments in debt and equity securities, other than interests in subsidiaries, associates, and joint arrangements, as:

- those to be measured subsequently at fair value (at either fair value through other comprehensive income ("FVOCI") or fair value through profit or loss ("FVPL")); and
- those to be measured at amortized cost.

The classification depends on the Groups' business model for managing the financial assets and the contractual terms of the cash flows.

For assets measured at fair value, gains and losses will either be recorded in profit or loss or other comprehensive income. For investments in debt instruments, this will depend on the business model in which the investment is held. For investments in equity instruments that are not held for trading, this will depend on whether the Groups have made an irrevocable election at the time of initial recognition to account for the equity instrument at FVOCI.

The Groups reclassify debt instruments when and only when their business model for managing those assets changes.

Recognition and derecognition

Regular way purchases and sales of financial assets are recognized on trade-date, the date on which the Groups commit to purchase or sell the asset. Financial assets are derecognized when the rights to receive cash flows from the financial assets have expired or have been transferred and the Groups have transferred substantially all the risks and rewards of ownerships.

Initial measurement

At initial recognition, the Groups measure a financial asset at its fair value plus, in the case of a financial asset not at FVPL, transaction costs that are directly attributable to the acquisition of the financial asset. Transaction costs of financial assets carried at FVPL are expensed in the consolidated income statement.

Financial assets with embedded derivatives are considered in their entirety when determining whether their cash flows are solely payments of principal and interest.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

n. Investments in debt and equity securities (continued)

Subsequent measurement

Debt instruments

Subsequent measurement of debt instruments depends on the Groups' business model for managing the asset and the cash flow characteristics of the asset. There are three measurement categories into which the Groups classify their debt instruments:

- **Amortized cost:** Assets that are held for collection of contractual cash flows where those cash flows represent solely payments of principal and interest are measured at amortized cost. A gain or loss on a debt instrument that is subsequently measured at amortized cost is recognized in the consolidated income statement when the asset is derecognized or impaired. Interest income from these financial assets is included in interest income using the effective interest rate method.
- **FVOCI:** Assets that are held for collection of contractual cash flows and for sale, where the assets' cash flows represent solely payments of principal and interest, are measured at FVOCI. Movements in the carrying amount are taken through other comprehensive income, except for the recognition of impairment losses, interest income using the effective interest rate method and foreign exchange gains and losses which are recognized in the consolidated income statement. When the financial asset is derecognized, the cumulative gain or loss previously recognized in other comprehensive income is reclassified from equity to the consolidated income statement and recognized in other gains/(losses), net.
- **FVPL:** Assets that do not meet the criteria for amortized cost or FVOCI are measured at FVPL. A gain or loss on a debt instrument that is subsequently measured at FVPL is recognized and presented net in the consolidated income statement within other gains/(losses), net in the period in which it arises.

Equity instruments

The Groups subsequently measure all equity instruments at fair value. Where the Groups' management has made an irrevocable election at initial recognition to present fair value gains and losses on equity instruments in other comprehensive income, there is no subsequent reclassification of fair value gains and losses to the consolidated income statement following the derecognition of the investment, any balance within the financial assets at FVOCI reserve for these equity investments is reclassified to retained profits. Dividends from such investments continue to be recognized in the consolidated income statement as other gains/(losses), net when the Groups' right to receive payments is established.

Changes in the fair value of financial assets at FVPL are recognized in other gains/(losses), net in the consolidated income statement as applicable.

Impairment losses (and reversal of impairment losses) on equity instruments measured at FVOCI are not reported separately from other changes in fair value.

o. Impairment of assets

i. Investments in debt instruments and trade and other receivables

The Groups assess on forward-looking basis the expected credit losses associated with their debt instruments carried at amortized cost or FVOCI, and trade and other receivables carried at amortized cost.

For investments in debt instruments and other receivables, the Groups consider the probability of default upon initial recognition of asset and whether there has been a significant increase in credit risk on an ongoing basis throughout each reporting period.

To assess whether there is a significant increase in credit risk, the Groups compare the risk of a default occurring on the asset as at the reporting date with the risk of default as at the date of initial recognition by considering available reasonable and supportive forward-looking information. Considerations may include:

- internal credit rating;
- external credit rating (as far as available);

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**o. Impairment of assets (continued)****i. Investments in debt instruments and trade and other receivables (continued)**

- actual or expected significant adverse changes in business, financial or economic conditions that are expected to cause a significant change to the borrower's ability to meet its obligations;
- actual or expected significant changes in the operating results of the borrower;
- significant increases in credit risk on other financial instruments of the same borrower; and
- significant changes in the expected performance and behavior of the borrower, including changes in the payment status of the borrower in the Groups and changes in the operating results of the borrower.

Regardless of the analysis above, a significant increase in credit risk is presumed if a debtor is delinquent and in default status when there are unsettled amounts remaining on the account on the day after the invoice due date.

At each reporting date, the Groups measure the loss allowance for a financial asset at an amount equal to the lifetime expected credit losses if the credit risk on that financial asset has increased significantly since initial recognition. If, at the reporting date, the credit risk on a financial asset has not increased significantly since initial recognition, the Groups measure the loss allowance for that financial asset at an amount equal to 12-month expected credit losses.

For trade receivables and contract assets, the Groups apply the simplified approach to providing for expected credit losses, which permits the use of the lifetime expected loss provision for all trade receivables and contract assets. To measure the expected credit losses, trade receivables have been grouped based on shared credit risk characteristics and the days past due. When measuring expected credit losses, the Groups consider the risk or probability that a credit loss occurs by reflecting the possibility that a credit loss occurs and possibility that no credit loss occurs.

Financial assets are written off when there is no reasonable expectation of recovery. The Groups categorize a financial asset for write off when a debtor fails to make contractual payments for a period greater than predefined limit. Where loans or receivables have been written off, the Groups continue to engage in enforcement activity to attempt to recover the receivable due. Where recoveries are made, these are recognized in the consolidated income statement.

ii. Impairment of other assets

Internal and external sources of information are reviewed at the end of each reporting period, or whenever events or changes in circumstances indicate that the carrying amount may not be recoverable, to identify indications that the following assets may be impaired or, except in the case of goodwill, an impairment loss previously recognized no longer exists or may have decreased:

- property, plant and equipment;
- right-of-use assets;
- interests in leasehold land;
- fulfillment costs;
- customer acquisition costs;
- intangible assets;
- interests in associates and joint ventures; and
- goodwill.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

o. Impairment of assets (continued)

ii. Impairment of other assets (continued)

If any such indication exists, the asset's recoverable amount is estimated. Impairment tests are performed for CGUs containing goodwill, intangible assets that are not yet available for use and intangible assets that have indefinite useful lives annually whether or not there is any indication of impairment.

- Calculation of recoverable amount

The recoverable amount of an asset is the higher of its fair value less costs of disposal and value in use. Fair value less costs of disposal is the amount obtainable from the sale of an asset in an arm's length transaction between knowledgeable, willing parties, less the costs of disposal. In assessing value in use, the estimated future cash flows are discounted to their present value using a pre-tax discount rate that reflects current market assessments of the time value of money and the risks specific to the asset. Where an asset does not generate cash inflows largely independent of those from other assets, the recoverable amount is determined for the smallest group of assets that generates cash inflows independently (i.e. a CGU).

- Recognition of impairment losses

An impairment loss is recognized in the consolidated income statement whenever the carrying amount of an asset, or the CGU to which it belongs, exceeds its recoverable amount. Impairment losses recognized in respect of CGUs are allocated first to reduce the carrying amount of any goodwill allocated to the CGU and then, to reduce the carrying amount of the other assets in the CGU on a pro rata basis, except that the carrying amount of an asset will not be reduced below its individual fair value less costs of disposal, or value in use, if determinable.

- Reversals of impairment losses

In respect of assets other than goodwill, an impairment loss is reversed if there has been a favourable change in the estimates used to determine the recoverable amount. An impairment loss in respect of goodwill is not allowed to be reversed.

A reversal of an impairment loss is limited to the asset's carrying amount that would have been determined had no impairment loss been recognized in prior years. Reversals of impairment losses are credited to the consolidated income statement in the period in which the reversals are recognized.

iii. Interim financial reporting and impairment

Under the Rules Governing the Listing of Securities on The Stock Exchange of Hong Kong Limited, the Groups are required to prepare an interim financial report in compliance with HKAS 34 *Interim Financial Reporting*, in respect of the first six months of the financial year. At the end of the interim period, the Groups apply the same impairment testing, recognition, and reversal criteria as it would at the end of the financial year (see notes 3(o)(i) and 3(o)(iii)).

Impairment losses recognized in an interim period in respect of goodwill are not reversed in a subsequent period. This is the case even if no loss, or a smaller loss, would have been recognized had the impairment been assessed only at the end of the financial year to which the interim period relates.

p. Derivative financial instruments

Derivative financial instruments are initially recognized at fair value on the date a derivative contract is entered into and are subsequently remeasured at their fair value at the end of each reporting period. The gain or loss on remeasurement to fair value is recognized immediately in the consolidated income statement, except where the derivatives are designated and qualify for hedge accounting, in which case recognition of any resultant gain or loss depends on the nature of the item being hedged (see note 3(q)).

The full fair value of a hedging derivative is classified as a non-current asset or liability when the remaining maturity of the hedged item is more than 12 months, and as a current asset or liability when the remaining maturity of the hedged item is 12 months or less than 12 months. Trading derivatives are classified as current assets or liabilities.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**q. Hedging**

At inception of the hedge relationship, the Groups document the economic relationship between hedging instruments and hedged items including whether changes in the cash flows of the hedging instruments are expected to offset changes in the cash flows of hedged items. The Groups document their risk management objective and strategy for undertaking their hedge transactions.

Cash flow hedges

The effective portion of changes in the fair value of derivatives that are designated and qualified as cash flow hedges is recognized in the hedging reserve within equity. The gain or loss relating to the ineffective portion is recognized immediately in the consolidated income statement, within finance costs.

When forward contracts are used to hedge forecast transactions, the Groups designate only the change in fair value of the forward contract related to the spot component as the hedging instrument. Gains or losses relating to the effective portion of the change in the spot component of the forward contracts are recognized in the hedging reserve within equity. The change in the forward element is recognized in the consolidated income statement.

When cross currency swap contracts are used to hedge future cash flows, the Groups designate only the change in fair value of the swap contract after exclusion of the foreign currency basis spread component as the hedging instrument. Gains or losses relating to the effective portion of the swap contract after exclusion of foreign currency basis spread component are recognized in the hedging reserve within equity. The change in fair value of the foreign currency basis spread of the swap contract to the extent it relates to the hedged item is recognized in the costs of hedging reserve within equity.

Amounts accumulated in equity are reclassified in the periods when the hedged item affects the consolidated income statement, as follows:

- The gain or loss relating to the effective portion of forward contracts is recognized in the consolidated income statement as the hedged item affects profit or loss.
- The gain or loss relating to the effective portion of the cross currency swap contracts hedging borrowings in foreign currency is recognized in the consolidated income statement within finance costs at the same time as the interest expense on the hedged borrowings.

When a hedging instrument expires, or is sold or terminated, or when a hedge no longer meets the criteria for hedge accounting, any cumulative deferred gain or loss and deferred costs of hedging in equity at that time remains in equity until the forecast transaction occurs and affects profit or loss. When the forecast transaction is no longer expected to occur, the cumulative gain or loss and deferred costs of hedging that were reported in equity are immediately reclassified to the consolidated income statement.

Hedge ineffectiveness is recognized in the consolidated income statement within finance costs.

r. Inventories

Inventories consist of purchased parts and materials, finished goods and consumable inventories.

Purchased parts and materials and finished goods are carried at the lower of cost and net realizable value. Net realizable value is the estimated selling price in the ordinary course of business less the estimated costs of completion and the estimated costs necessary to make the sale.

Consumable inventories, held for use in the maintenance and expansion of the Groups' telecommunications systems, are stated at cost less provision for deterioration and obsolescence.

Cost is calculated using the weighted average cost formula and comprises all costs of purchase, costs of conversion and other costs incurred in bringing the inventories to their present location and condition.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

s. Trade and other receivables

Trade and other receivables are recognized initially at the amount of consideration that is unconditional unless they contain significant financing component, when they are recognized at fair value. The Groups hold trade and other receivables with the objective to collect the contractual cash flows and therefore measure them subsequently at amortized cost using the effective interest method, less loss allowance for expected credit losses (see note 3(o)(i)).

t. Cash and cash equivalents

Cash and cash equivalents comprise cash at bank and on hand, demand deposits with banks and other financial institutions (other than restricted cash), and short-term, highly liquid investments that are readily convertible into known amounts of cash and which are subject to an insignificant risk of changes in value, having been within three months of maturity at acquisition and form an integral part of the Groups' cash management.

u. Trade and other payables

Trade payables, advances from customers and other payables are initially recognized at fair value and subsequently stated at amortized cost using the effective interest method.

v. Borrowings

Borrowings are recognized initially at fair value less attributable transaction costs. Subsequent to initial recognition, borrowings are stated at amortized cost with any difference between the amount initially recognized, being the proceeds net of transaction costs, and the redemption value being recognized in the consolidated income statement over the period of the borrowings, using the effective interest method.

w. Provisions and contingent liabilities

Provisions are recognized when (i) the Groups have a present legal or constructive obligation arising as a result of a past event; (ii) it is probable that an outflow of economic benefits will be required to settle the obligation; and (iii) a reliable estimate can be made of the amount of the obligation. Where the time value of money is material, provisions are stated at the present value of the expenditure expected to settle the obligation. The increase in provision due to the passage of time is recognized as interest expense.

Where it is not probable that an outflow of economic benefits will be required, or the amount cannot be estimated reliably, the obligation is disclosed as a contingent liability, unless the probability of outflow of economic benefits is remote. Possible obligations, whose existence will only be confirmed by the occurrence or non-occurrence of one or more future events, are also disclosed as contingent liabilities unless the probability of outflow of economic benefits is remote.

x. Revenue recognition

Telecommunications services comprise local telephony, local data and broadband, international telecommunications, mobile, enterprise solutions, and other telecommunications businesses such as customer premises equipment sales, outsourcing, consulting, and contact centers.

Local telephony, local data and broadband, international telecommunications and mobile businesses earn revenue primarily by providing access to and usage of the telecommunications network locally and internationally. As part of the bundled service offerings, the Groups also deliver handsets, equipment, gifts and reward points from the Groups' customer loyalty programme offering a variety of goods and services ("Reward Points"), which are considered as separate performance obligations.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**x. Revenue recognition (continued)**

Revenue is measured at the fair value of the consideration received or receivable for the sales of goods and rendering of services in the ordinary course of the Groups' activities. Revenue is recognized when the control of the goods or services is transferred to the customer. Depending on the terms of the contract and the laws that apply to the contract, control of the goods or services may be transferred over time or at a point in time.

The Groups often enter into bundled sale contracts with customers in which, apart from the provision of telecommunications and other services, the Groups have certain other performance obligations to customers such as the delivery of handsets, equipment, gifts and Reward Points. When multiple-element arrangements exist, the total transaction price receivable from customers is allocated among the Groups' performance obligations on a relative stand-alone selling price basis. Management estimates the stand-alone selling price at contract inception mainly based on observable retail prices and observable market data of the respective performance obligations in similar circumstances to similar customers. If a bundled discount is granted, it is allocated to respective performance obligations based on their relative stand-alone selling prices. The costs of respective handsets, equipment and gifts delivered are recognized as cost of sales when the corresponding revenue is recognized.

For the telecommunications services, revenue is recognized over time as the customer simultaneously receives and consumes the benefits provided by the Groups' performance as the Groups perform and is based on the output method, either as the service allowance units are used or as time elapses, because it reflects the pattern by which the Groups satisfy the performance obligation through the transfer of services to the customer. For service plan based on usage, where monthly usage exceeds the allowance, the overage usage represents options held by the customer for incremental services and the usage-based fee is recognized when the customer exercises the option. Income from other telecommunications services are recognized when services are rendered. Customers are invoiced in advance on a monthly basis or invoiced according to the pre-agreed payment schedule as set out in the customer contracts.

For the sales of the handsets, equipment and gifts, revenue is generally recognized when control passes to the customer, being when the products are delivered to and accepted by the customer. The customer has full discretion over the handsets, equipment and gifts and there are no unfulfilled obligations that can affect the customers' acceptance of those goods. Customers are invoiced immediately or invoiced according to the pre-agreed payment schedule as set out in the customer contracts.

When the Reward Points are awarded to the members, such revenue at their relative stand-alone selling price is deferred as a liability until the Reward Points are redeemed. Expected breakage, referring to Reward Points that are expected to expire, is recognized as revenue based on assumptions such as historical experience, future redemption pattern and programme design.

Revenue from enterprise solutions services are recognized over time as the Groups' performance creates or enhances an asset that the customer controls as the asset is created or enhanced. Input method is used to measure the progress as it depicts the Groups' performance in transferring the control of the asset. The progress is measured by reference to the percentage of contract costs incurred to date to estimated total contract costs for the contract. When the outcome of a contract cannot be estimated reliably, revenue is recognized only to the extent that it is probable the contract costs incurred will be recoverable. Customers make settlement periodically throughout the contract period according to the pre-agreed payment schedule. Accumulated experience is used to estimate the variable consideration to the extent that it is highly probable that a significant reversal will not occur, using the expected value method, to be included in the transaction price.

A financing component, if any, might exist when timing of the payment for goods by the customers, differs from the timing of satisfaction of the performance obligation. Such financing component is not significant to the Groups.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

y. Interest income

Interest income is recognized on a time-apportioned basis using the effective interest method.

z. Dividend income

Dividend income is recognized when the shareholder's right to receive payment is established.

aa. Borrowing costs

Borrowing costs are expensed in the consolidated income statement in the period in which they are incurred, except to the extent that they are capitalized as being directly attributable to the acquisition, construction or production of an asset which necessarily takes a substantial period of time to get ready for its intended use or sale.

The capitalization of borrowing costs as part of the cost of a qualifying asset commences when expenditure for the asset is being incurred, borrowing costs are being incurred and activities that are necessary to prepare the asset for its intended use or sale are in progress. Capitalization of borrowing costs is suspended or ceases when substantially all the activities necessary to prepare the qualifying asset for its intended use or sale are interrupted or completed.

Discounts or premiums relating to borrowings, and ancillary costs incurred in connection with arranging borrowings, to the extent that they are regarded as adjustments to interest costs, are recognized as expenses over the period of the borrowing using the effective interest method.

ab. Cost of sales and general and administrative expenses

General and administrative expenses represent operating costs incurred other than cost of sales. Cost of sales mainly includes cost of inventories sold, connectivity costs and staff costs relating to sales; while general and administrative expenses mainly include depreciation of property, plant and equipment, depreciation of right-of-use assets, amortization of land lease premium, amortization of intangible assets, amortization of fulfillment costs, amortization of customer acquisition costs, impairment loss for trade receivables and other staff costs.

ac. Income tax

- i. Income tax for the year comprises current income tax and movements in deferred income tax assets and liabilities. Current income tax and movements in deferred income tax assets and liabilities are recognized in the consolidated income statement except to the extent that they relate to items recognized in other comprehensive income or directly in equity, in which case the relevant amounts are recognized in other comprehensive income or directly in equity, respectively.
- ii. Current income tax is the expected tax payable on the taxable income for the year, using tax rates enacted or substantively enacted at the end of the reporting period, and any adjustment to income tax payable in respect of previous years.
- iii. Deferred income tax assets and liabilities arise from deductible and taxable temporary differences respectively, being the differences between the carrying amounts of assets and liabilities for financial reporting purposes and the tax bases. Deferred income tax assets also arise from unused tax losses and unused tax credits.

All deferred income tax liabilities, and all deferred income tax assets to the extent that it is probable that future taxable profits will be available against which the asset can be utilized, are recognized. Future taxable profits that may support the recognition of deferred income tax assets arising from deductible temporary differences include those that will arise from the reversal of existing taxable temporary differences, provided those differences relate to the same taxation authority and the same taxable entity, and are expected to reverse either in the same period as the expected reversal of the deductible temporary difference or in periods into which a tax loss arising from the deferred income tax asset can be carried back or forward. The same criteria are adopted when determining whether existing taxable temporary differences support the recognition of deferred income tax assets arising from unused tax losses and credits, that is, those differences are taken into account if they relate to the same taxation authority and the same taxable entity, and are expected to reverse in a period, or periods, in which the tax loss or credit can be utilized.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**ac. Income tax (continued)****iii. (continued)**

The amount of deferred income tax recognized is measured based on the expected manner of realization or settlement of the carrying amount of the assets and liabilities, using tax rates enacted or substantively enacted at the end of the reporting period and are expected to apply when the related deferred income tax asset is realized and the deferred income tax liability is settled. Deferred income tax assets and liabilities are not discounted.

The carrying amount of a deferred income tax asset is reviewed at the end of each reporting period and is reduced to the extent that it is no longer probable that sufficient taxable profits will be available to allow the related tax benefit to be utilized. Any such reduction is reversed to the extent that it becomes probable that sufficient taxable profits will be available.

- iv. Current income tax balances and deferred income tax balances, and movements therein, are presented separately from each other and are not offset. Current income tax assets are offset against current income tax liabilities, and deferred income tax assets against deferred income tax liabilities, if the Groups have the legally enforceable right to set off current income tax assets against current income tax liabilities and the following additional conditions are met:

- in the case of current income tax assets and liabilities, the Groups intend either to settle on a net basis, or to realize the asset and settle the liability simultaneously; or
- in the case of deferred income tax assets and liabilities, if they relate to income taxes levied by the same taxation authority on either:
 - the same taxable entity; or
 - different taxable entities, which, in each future period in which significant amounts of deferred income tax liabilities or assets are expected to be settled or recovered, intend to realize the current income tax assets and settle the current income tax liabilities on a net basis or realize and settle simultaneously.

ad. Employee benefits**i. Short-term employee benefits**

Salaries, annual bonuses, annual leave and the cost of non-monetary benefits are accrued in the year in which the associated services are rendered by employees. Where payment or settlement is deferred and the effect would be material, these amounts are stated at their present values.

ii. Retirement benefits

The Groups operate defined contribution retirement schemes (including the Mandatory Provident Fund) for their employees, the assets of which are generally held in separate trustee-administered funds. The schemes are generally funded by contributions from the relevant companies in the Groups.

For defined contribution retirement schemes, the Groups pay contributions to publicly or privately administered pension insurance plans on a mandatory, contractual or voluntary basis. The Groups have no further payment obligations once the contributions have been paid.

The Groups' contributions to the defined contribution retirement schemes are recognized as an expense in the consolidated income statement in the period to which the contributions relate.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

ad. Employee benefits (continued)

iii. Share-based payments

PCCW and the Groups operate share option schemes where employees of the Groups (and including directors) are granted options to acquire shares of PCCW (the "PCCW Shares") and Share Stapled Units at specified exercise prices. The fair value of the employee services received in exchange for the grant of options to acquire PCCW Shares and Share Stapled Units is recognized as staff costs in the consolidated income statement with a corresponding increase in a capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity and an employee share-based compensation reserve respectively. The fair value of the options granted is measured at grant date using the binomial option pricing model, taking into account the terms and conditions upon which the options were granted, and spread over the respective vesting period during which the employees become unconditionally entitled to the options. During the vesting period, the number of options that are expected to vest is reviewed. Any adjustment to the cumulative fair value recognized in prior years regarding the options to acquire PCCW Shares and options to acquire Share Stapled Units is charged or credited in the consolidated income statement for the year of the review, unless the original staff costs qualify for recognition as an asset, with a corresponding adjustment to the capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity and the employee share-based compensation reserve respectively. On vesting date, the amount recognized as staff costs regarding the options to acquire PCCW Shares and options to acquire Share Stapled Units is adjusted to reflect the actual number of options that vest (with a corresponding adjustment to the capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity and the employee share-based compensation reserve respectively). The equity amount regarding the options to acquire PCCW Shares remains in the capital contribution from members in respect of employee share-based compensation under equity. The equity amount regarding the options to acquire Share Stapled Units is recognized in the employee share-based compensation reserve until either the options are exercised (when it is transferred to the share capital and share premium account) or the options expire (when it is released directly to retained profits).

Share Stapled Units may be granted to employees at nil consideration under the Company's Share Stapled Units award schemes, under which the awarded Share Stapled Units are either newly issued at issue price (the "HKT Share Stapled Units Subscription Scheme") or purchased from the open market (the "HKT Share Stapled Units Purchase Scheme").

The cost of Share Stapled Units purchased from the open market under the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme and the issue price of newly issued Share Stapled Units under the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme are recognized in equity as treasury stock. The fair value of the employee services received in exchange for the grant of Share Stapled Units under both schemes is recognized as staff costs in the consolidated income statement with a corresponding increase in an employee share-based compensation reserve under equity. The fair value of the awarded Share Stapled Units is measured by the quoted market price of the Share Stapled Units at grant date and is charged to the consolidated income statement over the respective vesting period. During the vesting period, the number of awarded Share Stapled Units that are expected to vest is reviewed. Any adjustment to the cumulative fair value recognized in prior years is charged or credited in the consolidated income statement for the year of the review, unless the original staff costs qualify for recognition as an asset, with a corresponding adjustment to the employee share-based compensation reserve. On vesting date, the amount recognized as staff costs is adjusted to reflect the actual number of awarded Share Stapled Units that vest (with a corresponding adjustment to the employee share-based compensation reserve) and the cost of awarded Share Stapled Units recognized as treasury stock is transferred to the employee share-based compensation reserve with the difference recognized in equity.

PCCW also grants PCCW Shares to employees of PCCW and its participating companies at nil consideration under its share award schemes, under which the awarded PCCW Shares are either newly issued at issue price (the "PCCW Subscription Scheme") or purchased from the open market (the "PCCW Purchase Scheme").

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**ad. Employee benefits (continued)****iii. Share-based payments (continued)**

Awards under the PCCW Purchase Scheme and the PCCW Subscription Scheme are accounted for as cash-settled share-based payments. The fair value of the awarded PCCW Shares represents the quoted market price of PCCW Shares purchased from the open market under the PCCW Purchase Scheme and the issue price of PCCW Shares under the PCCW Subscription Scheme are recognized as financial assets at fair value through profit or loss, and subsequently measured at fair value. The fair value of the employee services received in exchange for the grant of PCCW Shares is recognized as staff costs in the consolidated income statement over the respective vesting period with a corresponding obligation being recognized. During the vesting period, the number of awarded PCCW Shares that are expected to vest is reviewed. Any adjustment to the cumulative fair value recognized in prior years is charged or credited in the consolidated income statement for the year of the review, unless the original staff costs qualify for recognition as an asset, with a corresponding adjustment to the obligation. On vesting date, the amount recognized as staff costs is adjusted to reflect the actual number of awarded PCCW Shares that vest (with a corresponding adjustment to the obligation) and the carrying amount of awarded PCCW Shares recognized in the financial assets at fair value through profit or loss is offset with the obligation.

iv. Termination benefits

Termination benefits are recognized only after either an agreement is in place with the appropriate employee representatives specifying the terms of redundancy and the number of employees affected, or individual employees have been advised of the specific terms.

ae. Translation of foreign currencies

Items included in the financial statements of each of the Groups' entities are measured using the currency of the primary economic environment in which the entity operates (the "functional currency"). The HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements are presented in Hong Kong dollars (HK\$), which is the functional currency of HKT Trust and HKT Limited and presentation currency of the Groups.

Foreign currency transactions during the year are translated at the foreign exchange rates ruling at the transaction dates. Monetary assets and liabilities denominated in foreign currencies are translated at the foreign exchange rates ruling at the end of the reporting period. Exchange gains and losses are recognized in the consolidated income statement, except when deferred in other comprehensive income as qualifying cash flow hedges.

Non-monetary assets and liabilities that are measured in terms of historical cost in a foreign currency are translated using the foreign exchange rates ruling at the transaction dates. Non-monetary assets and liabilities denominated in foreign currencies that are stated at fair value are translated using the foreign exchange rates ruling at the dates when the fair values are determined. Exchange differences arising on translation of non-monetary assets and liabilities, such as equity instruments at FVPL, are reported as part of the fair value gain or loss in the consolidated income statement. Exchange differences arising on translation of non-monetary assets and liabilities, such as equity instruments measured at FVOCI, are included in the fair value gain or loss in the financial assets at FVOCI reserve under equity.

The results of foreign operations are translated into Hong Kong dollars at the exchange rates approximating the foreign exchange rates ruling at the dates of transactions. Items of foreign operations in the consolidated statement of financial position, including goodwill arising on consolidation of foreign operations, are translated into Hong Kong dollars at the foreign exchange rates ruling at the end of the reporting period. The resulting exchange differences are recognized in other comprehensive income and accumulated separately in the currency translation reserve under equity.

On consolidation, exchange differences arising from the translation of the net investment in foreign operations, and of borrowings and other currency instruments designated as hedges of such investments, if any, are taken to other comprehensive income and accumulated separately in the currency translation reserve under equity. On disposal of a foreign operation, the cumulative amount of the exchange differences recognized in the currency translation reserve under equity which relates to that foreign operation is included in the calculation of the profit or loss on disposal.

3 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

af. Related parties

For the purposes of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, a party is considered to be related to the Groups if:

- i. the party has the ability, directly or indirectly through one or more intermediaries, to control the Groups or exercise significant influence over the Groups in making financial and operating policy decisions, or has joint control over the Groups;
- ii. the Groups and the party are subject to common control;
- iii. the party is an associate of the Groups or a joint venture in which the Groups are venturers;
- iv. the party is a member of key management personnel of the Groups or the Groups' parent, or a close family member of such an individual, or is an entity under the control, joint control or significant influence of such individual;
- v. the party is a close family member of a party referred to in note i above or is an entity under the control, joint control or significant influence of such party;
- vi. the party is a post-employment benefit plan which is for the benefit of employees of the Groups or of any entity that is a related party of the Groups; or
- vii. the entity, or any member of the Groups of which it is a part, provides key management personnel services to the Groups.

Close family members of an individual are those family members who may be expected to influence, or be influenced by, that individual in their dealings with the entity.

ag. Segment reporting

Operating segments are reported in a manner consistent with the internal reporting provided to the chief operating decision-maker (the "CODM"). The CODM, who is responsible for allocating resources and assessing performance of the operating segments, has been identified as the Groups' senior executive management.

Segment revenue, expenses, results and assets include items directly attributable to a segment as well as those that can be allocated on a reasonable basis to that segment. Segment revenue, expense and segment performance include transactions between segments. Inter-segment pricing is based on similar terms to those available to other external parties for similar services. Inter-segment transactions are eliminated in full in preparing the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements.

Segment capital expenditure is the total cost incurred during the year to acquire segment assets (including property, plant and equipment and interests in leasehold land) that are expected to be used for more than one year.

ah. Distribution/dividend to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company

Distribution/dividend to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company is recognized as a liability in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements and the Company's financial statements in the period in which the distribution/dividend is approved by the Boards or holders of Share Stapled Units/shares of the Company, where appropriate.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

4 CRITICAL ACCOUNTING ESTIMATES AND JUDGEMENTS

Estimates and judgements are continually evaluated and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be reasonable under the circumstances.

The Groups make estimates and assumptions concerning the future. The resulting accounting estimates will, by definition, seldom equal the related actual results. Notes 18 and 36 contain information about the assumptions and their risk factors relating to goodwill impairment and financial instruments. Management has also made judgements in applying the Groups' accounting policies. These judgements and other key sources of estimation uncertainty are discussed below:

I. Impairment of assets (other than investments in debt instruments and trade and other receivables)

At the end of each reporting period, the Groups review internal and external sources of information to identify indications that the following assets may be impaired or, except in the case of goodwill, an impairment loss previously recognized no longer exists or may have decreased:

- property, plant and equipment;
- right-of-use assets;
- interests in leasehold land;
- fulfillment costs;
- customer acquisition costs;
- intangible assets;
- interests in associates and joint ventures; and
- goodwill.

If any such indication exists, the asset's recoverable amount is estimated. Impairment tests are performed for CGUs containing goodwill, intangible assets that are not yet available for use and intangible assets that have indefinite useful lives annually whether or not there is any indication of impairment. Significant judgement is used to identify CGUs appropriately. An impairment loss is recognized in the consolidated income statement whenever the carrying amount of an asset exceeds its recoverable amount.

The sources utilized to identify indications of impairment are often subjective in nature and the Groups are required to use judgement in applying such information to their business. The Groups' interpretation of this information has a direct impact on whether an impairment assessment is performed as at the end of any given reporting period. Such information is particularly significant as it relates to the Groups' telecommunications services and infrastructure businesses in Hong Kong.

If an indication of impairment is identified, such information is further subject to an exercise that requires the Groups to estimate the recoverable amount, representing the greater of the asset's fair value less costs of disposal or its value in use. Depending on the Groups' assessment of the overall materiality of the asset under review and complexity of deriving a reasonable estimate of the recoverable amount, the Groups may perform such assessments utilizing internal resources or the Groups may engage external advisors to counsel the Groups. Regardless of the resources utilized, the Groups are required to make many assumptions to make these assessments, including the utilization of such asset, the cash flows to be generated, appropriate market discount rates and the projected market and regulatory conditions. Changes in any of these assumptions could result in a material change to future estimates of the recoverable amount of any asset.

4 CRITICAL ACCOUNTING ESTIMATES AND JUDGEMENTS (CONTINUED)

ii. Revenue recognition

Under certain arrangements, apart from the provision of telecommunications and other services, the Groups have certain other performance obligations to customers such as the delivery of handsets, equipment, gifts and Reward Points. When such multiple-element arrangements exist, the total transaction price receivable from customers is allocated among the Groups' performance obligations on a relative stand-alone selling price basis. Management estimates the stand-alone selling price at contract inception mainly based on observable retail prices and observable market data of the respective performance obligations in similar circumstances to similar customers. If a bundled discount is granted, it is allocated to respective performance obligations based on their relative stand-alone selling prices. The Groups are required to exercise considerable judgement in relation to estimating the stand-alone selling price.

iii. Deferred income tax

While deferred income tax liabilities are provided in full on all taxable temporary differences, deferred income tax assets are recognized only to the extent that it is probable that future taxable profit will be available against which the temporary differences can be utilized. In assessing the amount of deferred income tax assets that need to be recognized, the Groups consider future taxable income and ongoing prudent and appropriate tax planning strategies. In the event that the Groups' estimates of projected future taxable income and benefits from available tax strategies are changed, or changes in current income tax regulations are enacted that would impact the timing or extent of the Groups' ability to utilize the tax benefits of net operating loss carry-forwards in the future, adjustments to the recorded amount of net deferred income tax assets and income tax expense would be made.

iv. Current income tax

The Groups make a provision for current income tax based on estimated taxable income for the year. The estimated income tax liabilities are primarily computed based on the tax computations as prepared by the Groups. Nevertheless, from time to time, there are queries raised by the tax authorities of Hong Kong and elsewhere on the tax treatment of items included in the tax computations and certain non-routine transactions. If the Groups consider it probable that these queries or judgements will result in different tax positions, the most likely amounts of the outcome will be estimated and adjustments to the income tax expense and income tax liabilities will be made accordingly.

v. Lives of property, plant and equipment, intangible assets (other than goodwill), fulfillment costs and customer acquisition costs

The Groups have significant property, plant and equipment, intangible assets (other than goodwill), fulfillment costs and customer acquisition costs. The Groups are required to estimate the lives of property, plant and equipment, intangible assets (other than goodwill), fulfillment costs and customer acquisition costs in order to ascertain the amount of depreciation and amortization charges for each reporting period.

The lives are estimated at the time of purchase of these assets or direct costs incurred in fulfilling or acquiring a contract with a customer after considering future technology changes, business developments, the Groups' strategies and expected lives of customer contracts. The Groups perform annual reviews to assess the appropriateness of the estimated lives. Such reviews take into account any unexpected adverse changes in circumstances or events, including declines in projected operating results, negative industry or economic trends and rapid advancements in technology. The Groups extend or shorten the lives according to the results of the reviews.

vi. Lease term and discount rate determination

In determining the lease term, management considers facts and circumstances such as conditions of the Groups' existing leases, future technology changes, business development and the Groups' strategies, that create an economic incentive to exercise an extension option, or not exercise a termination option. Extension options (or periods after termination options) are only included in the lease term if the lease is reasonably certain to be extended (or not terminated). Potential future cash outflows are not included in the lease liability because it is not reasonably certain that the leases will be extended (or not terminated). The assessment is reviewed if a significant event or a significant change in circumstances occurs which affects this assessment and that is within the control of the lessee. As at December 31, 2019, potential future undiscounted cash outflows of HK\$445 million have not been included in the lease liabilities because it is not reasonably certain that the lease will be extended (or not terminated).

In determining the discount rate, the Groups are required to exercise considerable judgement by taking into account the nature of the underlying assets and the terms and conditions of the leases, at both the commencement date and the effective date of the lease modification (if any).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

5 STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF THE COMPANY

In HK\$ million	Note	2018	2019
ASSETS AND LIABILITIES			
Non-current assets			
Interests in subsidiaries		28,143	28,497
		28,143	28,497
Current assets			
Prepayments and deposits		3	2
Amounts due from subsidiaries		7,366	7,140
		7,369	7,142
Current liabilities			
Accruals and other payables		(30)	(4)
Amounts due to subsidiaries		(96)	(107)
Current income tax liabilities		(9)	(32)
		(135)	(143)
Net assets		35,377	35,496
CAPITAL AND RESERVES			
Share capital	30(a)	8	8
Reserves	30(b)	35,369	35,488
Total equity		35,377	35,496

Approved and authorized for issue by the board of directors of the Company on February 12, 2020 and signed on behalf of the board of directors of the Company by

Li Tzar Kai, Richard
Director

Hui Hon Hing, Susanna
Director

6 RELATED PARTY TRANSACTIONS

PCCW is the controlling holder of Share Stapled Units. CAS Holding No. 1 Limited and PCCW are the immediate and ultimate holding companies of the Company respectively.

During the year, the Groups had the following significant transactions with related parties:

In HK\$ million	Note	2018	2019
Telecommunications service fees received or receivable from a substantial shareholder of PCCW	a	78	71
Telecommunications service fees paid or payable to a substantial shareholder of PCCW	a	87	95
Telecommunications service fees, consultancy service charges and interest income received or receivable from joint ventures	a	42	42
Telecommunications service fees, equipment purchase costs, outsourcing fees and rental charges paid or payable to joint ventures	a	298	292
Consultancy service charges and interest income received or receivable from associates	a	14	6
Telecommunications service fees paid or payable to an associate	a	6	-
Telecommunications service fees, connectivity service fees, equipment sales, insurance premium and other costs recharge received or receivable from related parties under a common holder of Share Stapled Units/shareholder with the Company	a	44	44
Insurance premium and fronting service fees paid or payable to related parties under a common holder of Share Stapled Units/shareholder with the Company	a	16	10
Telecommunications service fees, management fee, equipment sales and other costs recharge received or receivable from fellow subsidiaries	a	1,822	2,109
Telecommunications service fees, IT and logistics charges, system development and integration charges, consultancy service charges, inventories purchase costs, rental and facilities management charges, management fee and other costs recharge paid or payable to fellow subsidiaries	a	2,801	2,968
Key management compensation	b	88	26

a. The above transactions were carried out after negotiations between the Groups and the related parties in the ordinary course of business and on the basis of estimated market value as determined by the directors. In respect of transactions for which the price or volume has not yet been agreed with the relevant related parties, the directors have determined the relevant amounts based on their best estimation.

b. Details of key management compensation

In HK\$ million	2018	2019
Salaries and other short-term employee benefits	44	20
Share-based compensation	23	5
Termination benefits	19	-
Post-employment benefits	2	1
	88	26

c. Balances with related companies and a fellow subsidiary

Other than as specified in notes 20 and 21 and certain unsecured loans included in the amounts due from related companies totaling HK\$19 million (2018: HK\$9 million) which bear interest at 3% per annum (2018: same) and are repayable within 1 year (2018: same), the amount due to a fellow subsidiary and the other amounts due from related companies as at December 31, 2018 and 2019 are unsecured, non-interest bearing, and have no fixed repayment terms.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

7 SEGMENT INFORMATION

The CODM is the Groups' senior executive management. The CODM reviews the Groups' internal reporting in order to assess performance and allocate resources and the segment information is reported below in accordance with this internal reporting.

The CODM considers the business from the product perspective and assesses the performance of the following segments:

- Telecommunications Services ("TSS") is the leading provider of telecommunications and related services which include local telephony, local data and broadband, international telecommunications, enterprise solutions, and other telecommunications businesses such as customer premises equipment sales, outsourcing, consulting, and contact centers. It operates primarily in Hong Kong, and also serves customers in mainland China and other parts of the world.
- Mobile includes the Groups' mobile telecommunications businesses in Hong Kong.
- Other businesses of the Groups ("Other Businesses") primarily comprises new business areas such as The Club and HKT Financial Services, of which Tap & Go is a component, and corporate support functions.

The CODM assesses the performance of the operating segments based on a measure of adjusted earnings before interest, tax, depreciation and amortization ("EBITDA"). EBITDA represents earnings before interest income, finance costs, income tax, depreciation and amortization, gain/loss on disposal of property, plant and equipment, interests in leasehold land, right-of-use assets and intangible assets, net other gains/losses, losses on property, plant and equipment, restructuring costs, impairment losses on goodwill, tangible and intangible assets and interests in associates and joint ventures, and the Groups' share of results of associates and joint ventures.

Segment revenue, expense and segment performance include transactions between segments. Inter-segment pricing is based on similar terms to those available to other external parties for similar services. The revenue from external parties reported to the CODM is measured in a manner consistent with that in the consolidated income statement.

Information regarding the Groups' reportable segments as provided to the Groups' CODM is set out below:

In HK\$ million	TSS	Mobile	2018 Other Businesses	Eliminations	Total
Revenue					
External revenue	21,128	13,825	234	–	35,187
Inter-segment revenue	646	184	6	(836)	–
Total revenue:	21,774	14,009	240	(836)	35,187
External revenue from contracts with customers:					
Timing of revenue recognition					
At a point in time	1,557	5,659	206	–	7,422
Over time	19,510	8,166	27	–	27,703
External revenue from other sources:					
Rental income	61	–	1	–	62
	21,128	13,825	234	–	35,187
Results					
EBITDA	8,204	4,959	(605)	–	12,558
Other information					
Capital expenditure (including property, plant and equipment and interests in leasehold land) incurred during the year	1,572	873	143	–	2,588

7 SEGMENT INFORMATION (CONTINUED)

In HK\$ million	TSS	Mobile	2019 Other Businesses	Eliminations	Total
Revenue					
External revenue	21,265	11,612	226	–	33,103
Inter-segment revenue	688	202	10	(900)	–
Total revenue	21,953	11,814	236	(900)	33,103
External revenue from contracts with customers:					
Timing of revenue recognition					
At a point in time	2,324	3,306	72	–	5,702
Over time	18,874	8,306	154	–	27,334
External revenue from other sources:					
Rental income	67	–	–	–	67
	21,265	11,612	226	–	33,103
Results					
EBITDA	8,360	5,068	(611)	–	12,817
Other information					
Capital expenditure (including property, plant and equipment and interests in leasehold land) incurred during the year	1,675	881	146	–	2,702

A reconciliation of total segment EBITDA to profit before income tax is provided as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Total segment EBITDA	12,558	12,817
Gain/(loss) on disposal of property, plant and equipment, net	1	(2)
Depreciation and amortization	(5,343)	(5,121)
Other gains, net	2	3
Finance costs, net	(1,350)	(1,372)
Share of results of associates	–	(33)
Share of results of joint ventures	(16)	(18)
Profit before income tax	5,852	6,274

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

7 SEGMENT INFORMATION (CONTINUED)

The following table sets out information about the geographical location of the Groups' revenue from external customers. In presenting information on the basis of geographical segments, segment revenue is based on the geographical location that the Groups derive revenue from customers.

In HK\$ million	2018	2019
Hong Kong (place of domicile)	29,740	28,201
Mainland and other parts of China	510	544
Others	4,937	4,358
	35,187	33,103

The total of non-current assets, other than financial instruments and deferred income tax assets, located in Hong Kong was HK\$85,692 million as at December 31, 2019 (2018: HK\$82,869 million). The total of these non-current assets located in other countries was HK\$2,909 million as at December 31, 2019 (2018: HK\$2,896 million).

8 REVENUE

In HK\$ million	2018	2019
Revenue from contracts with customers	35,125	33,036
Revenue from other sources: rental income	62	67
	35,187	33,103

a. Revenue recognition in relation to contract liabilities

In HK\$ million	2018	2019
Revenue recognized that was included in the contract liability balance at the beginning of the year	1,288	1,415

b. Unsatisfied long-term fixed-price contracts

In HK\$ million	2018	2019
Aggregate amount of the transaction price allocated to long-term fixed-price contracts that are partially or fully unsatisfied as at December 31,	16,377	16,658

As at December 31, 2019, management expected that 60% and 25% (2018: 63% and 23%) of the transaction price allocated to the unsatisfied long-term fixed-price contracts would be recognized as revenue during the first and second year respectively after the end of the reporting period. The remaining 15% (2018: 14%) would be recognized as revenue in the periods afterwards. The amount disclosed above does not include unsatisfied performance obligation that is related to the Groups' contracts with customers with duration of one year or less and contracts with customers billed directly according to performance completed to date.

9 PROFIT BEFORE INCOME TAX

Profit before income tax was stated after charging and crediting the following:

a. Staff costs

In HK\$ million	2018	2019
Salaries, bonuses and other benefits	2,271	2,057
Share-based compensation expenses	55	39
Retirement costs for staff under defined contribution retirement schemes	302	308
	2,628	2,404
Less: staff costs included in cost of sales	(812)	(835)
Staff costs included in general and administrative expenses	1,816	1,569

b. Cost of sales

In HK\$ million	2018	2019
Cost of inventories sold	7,960	5,469
Connectivity costs	6,179	6,386
Staff costs	812	835
Provision for/(write-back of provision for) inventory obsolescence, net	8	(2)
Others	3,021	3,099
	17,980	15,787

c. General and administrative expenses

In HK\$ million	2018	2019
Staff costs	1,816	1,569
Impairment loss for trade receivables	211	222
Depreciation of property, plant and equipment	1,324	1,150
Depreciation of right-of-use assets – land and buildings	1,262	1,259
Depreciation of right-of-use assets – network capacity and equipment	289	234
Amortization of land lease premium – interests in leasehold land	13	12
Amortization of intangible assets	1,186	1,126
Amortization of fulfillment costs	417	489
Amortization of customer acquisition costs	852	851
Exchange gains, net	(6)	(145)
Less: cash flow hedges: transferred from equity	35	160
(Gain)/loss on disposal of property, plant and equipment, net	(1)	2
Remuneration to the Company's auditor		
– audit and audit related services	14	15
– non-audit services	7	3
Remuneration to other auditors		
– audit and audit related services	5	6
– non-audit services	2	2
Short-term leases expenses	84	105
Others	2,481	2,562
	9,991	9,622

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

10 FINANCE COSTS, NET

In HK\$ million	2018	2019
Interest expense, excluding interest expense on lease liabilities	(1,330)	(1,441)
Interest expense on lease liabilities	(96)	(92)
Notional accretion on carrier licence fee liabilities	(44)	(35)
Other finance costs	(6)	(6)
Hedge ineffectiveness: cross currency swap contracts and foreign exchange forward contract		
– cash flow hedges for foreign currency risk	19	48
Hedge ineffectiveness: interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk	2	7
Unwind of a foreign exchange forward contract	–	8
Impact of re-designation of fair value hedges	(16)	(16)
	(1,471)	(1,527)
Interest capitalized in property, plant and equipment and intangible assets (note a)	52	91
Total finance costs	(1,419)	(1,436)
Interest income	60	56
Interest income from net investment in leases	9	8
Total interest income	69	64
Finance costs, net	(1,350)	(1,372)

a. The capitalization rate used to determine the amount of interest eligible for capitalization in property, plant and equipment and intangible assets ranged from 2.97% to 3.47% for the year ended December 31, 2019 (2018: from 3.05% to 3.31%).

11 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS

a. Directors' emoluments – cash and cash equivalents paid/payable

	2018							
In HK\$ million	Directors' fees	Salaries	Allowances	Benefits in kind ¹	Bonuses ²	Retirement scheme contributions	Share-based compensation ³	Total
Executive directors								
Li Tzar Kai, Richard	–	–	–	–	–	–	–	–
Alexander Anthony Arena ⁴	–	10.95	7.07	0.02	12.26	1.06	31.33	62.69
Hui Hon Hing, Susanna	–	3.78	2.17	0.03	5.31	0.45	5.56	17.30
Non-executive directors								
Srinivas Bangalore Gangalah	–	–	–	–	–	–	–	–
Peter Anthony Allen	–	–	–	–	–	–	–	–
Chung Cho Yee, Mico	0.24	–	–	–	–	–	–	0.24
Lu Yimin ⁵	0.17 ⁶	–	–	–	–	–	–	0.17
Li Fushen	0.24 ⁷	–	–	–	–	–	–	0.24
Zhu Kebing ⁸	0.07 ⁹	–	–	–	–	–	–	0.07
Independent non-executive directors								
Professor Chang Hsin Kang	0.24	–	–	–	–	–	–	0.24
Sunil Varma	0.36 ¹⁰	–	–	–	–	–	–	0.36
Aman Mehta	0.36 ¹¹	–	–	–	–	–	–	0.36
Frances Waiwan Wong	0.36 ¹²	–	–	–	–	–	–	0.36
	2.04	14.73	9.24	0.05	17.57	1.51	36.89	82.03

Notes:

1. Benefits in kind mainly includes medical insurance premium.
2. Bonus amounts shown above represent the 2017 bonuses that were paid in 2018. It was determined by reference to the Groups and the individual performance during the year ended December 31, 2017.
3. Share-based compensation amounts shown above represent the aggregate fair values at the respective award dates of the PCCW Shares and Share Stapled Units vested (including accelerated vesting by reason of retirement) in 2018 for respective directors under the share award schemes.
4. Retired as an executive director with effect from the end of August 31, 2018.
5. Resigned as a non-executive director with effect from September 18, 2018.
6. Fee receivable as a non-executive director in 2018 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Lu Yimin and China United Network Communications Group Company Limited.
7. Fee receivable as a non-executive director in 2018 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Li Fushen and China United Network Communications Group Company Limited.
8. Appointed as a non-executive director with effect from September 18, 2018.
9. Fee receivable as a non-executive director in 2018 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Zhu Kebing and China United Network Communications Group Company Limited.
10. Includes HK\$118,450 fee as Chairman of Audit Committee.
11. Includes HK\$118,450 fee as Chairman of Nomination Committee.
12. Includes HK\$118,450 fee as Chairwoman of Remuneration Committee.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

11 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS (CONTINUED)

a. Directors' emoluments – cash and cash equivalents paid/payable (continued)

In HK\$ million	2019							Total
	Directors' fees	Salaries	Allowances	Benefits in kind ¹	Bonuses ²	Retirement scheme contributions	Share-based compensation ³	
Executive directors								
Li Tzar Kai, Richard	–	–	–	–	–	–	–	–
Hui Hon Hing, Susanna	–	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	20.79
Non-executive directors								
Srinivas Bangalore Gangaiiah	–	–	–	–	–	–	–	–
Peter Anthony Allen	–	–	–	–	–	–	–	–
Chung Cho Yee, Mico	0.25	–	–	–	–	–	–	0.25
Li Fushen	0.25 ⁴	–	–	–	–	–	–	0.25
Zhu Kebing	0.25 ⁵	–	–	–	–	–	–	0.25
Independent non-executive directors								
Professor Chang Hsin Kang	0.25	–	–	–	–	–	–	0.25
Sunil Varma	0.37 ⁶	–	–	–	–	–	–	0.37
Aman Mehta	0.37 ⁷	–	–	–	–	–	–	0.37
Frances Waiwun Wong	0.37 ⁸	–	–	–	–	–	–	0.37
	2.11	4.57	4.57	0.04	5.73	0.55	5.33	22.90

Notes:

- 1 Benefits in kind mainly includes medical insurance premium.
- 2 Bonus amounts shown above represent the 2018 bonuses that were paid in 2019. It was determined by reference to the Groups and the individual performance during the year ended December 31, 2018.
- 3 Share-based compensation amounts shown above represent the aggregate fair values at the respective award dates of the PCCW Shares and Share Staked Units vested in 2019 for respective directors under the share award schemes.
- 4 Fee receivable as a non-executive director in 2019 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Li Fushen and China United Network Communications Group Company Limited.
- 5 Fee receivable as a non-executive director in 2019 was surrendered to a subsidiary of China United Network Communications Group Company Limited in accordance with an arrangement between Mr Zhu Kebing and China United Network Communications Group Company Limited.
- 6 Includes HK\$124,400 fee as Chairman of Audit Committee.
- 7 Includes HK\$124,400 fee as Chairman of Nomination Committee.
- 8 Includes HK\$124,400 fee as Chairwoman of Remuneration Committee.

11 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS (CONTINUED)

b. Directors' other services

No other emoluments were paid to or receivable by any director in respect of directors' other services in connection with the management of the affairs of the Company or its subsidiary undertakings during the year ended December 31, 2019 (2018: nil).

c. Directors' retirement benefits

No retirement benefits were paid to or receivable by any director during the year ended December 31, 2019 by a defined contribution retirement scheme operated by the Groups in respect of services as a director of the Company and its subsidiaries. For the year ended December 31, 2018, relevant retirement benefits were paid by the Groups to Mr Alexander Anthony Arena upon his retirement.

No other retirement benefits were paid to or receivable by any director in respect of other services in connection with the management of the affairs of the Company or its subsidiary undertakings during the year ended December 31, 2019 (2018: nil).

d. Directors' termination benefits

No payments or benefits in respect of the termination of directors' services were paid to or receivable by the directors during the year ended December 31, 2019. For the year ended December 31, 2018, termination benefits of a total amount of approximately HK\$70 million from both the Company and PCCW were paid to Mr Alexander Anthony Arena upon his retirement.

e. Consideration provided to third parties for making available directors' services

No consideration was provided to or receivable by third parties for making available directors' services during the year ended December 31, 2019 (2018: nil).

f. Information about loans, quasi-loans and other dealings entered into by the Company or subsidiary undertakings of the Company, where applicable, in favour of directors

There were no loans, quasi-loans or other dealings in favour of directors, their controlled bodies corporate and connected entities during the year ended December 31, 2019 (2018: nil).

g. Directors' material interests in transactions, arrangements or contracts

No significant transactions, arrangements and contracts in relation to the Groups' business to which the Company was a party and in which a director of the Company had a material interest, whether directly or indirectly, subsisted at the end of the reporting period or at any time during the year ended December 31, 2019 (2018: nil).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

11 DIRECTORS' AND SENIOR EXECUTIVES' EMOLUMENTS (CONTINUED)

h. Individuals with highest emoluments

- i. Of the five individuals with the highest emoluments, one (2018: two) is a director of the Company and the Trustee-Manager whose emoluments are disclosed in note 11(a). The emoluments in respect of the four (2018: three) non-director individuals for the year ended December 31, 2019 were as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Salaries, share-based compensation, allowances and benefits in kind	13	18
Bonuses	3	3
Retirement scheme contributions	1	1
	17	22

- ii. The emoluments of the four (2018: three) non-director individuals for the year ended December 31, 2019 were within the following emolument ranges:

	Number of individuals	
	2018	2019
HK\$5,000,001 – HK\$5,500,000	2	3
HK\$6,500,001 – HK\$7,000,000	1	1
	3	4

12 INCOME TAX

a. Income tax in the consolidated income statement represents:

In HK\$ million	2018	2019
Hong Kong profits tax		
– provision for current year	610	484
– over provision in respect of prior years	(14)	(9)
Overseas tax		
– provision for current year	30	32
– over provision in respect of prior years	(23)	(6)
Movement of deferred income tax (note 32(a))	407	536
	1,010	1,037

Hong Kong profits tax is provided at the rate of 16.5% (2018: 16.5%) on the estimated assessable profits for the year.

Overseas tax is calculated on the estimated assessable profits for the year at the rates of taxation prevailing in the respective jurisdictions.

12 INCOME TAX (CONTINUED)**b. Reconciliation between income tax expense and accounting profit at applicable tax rate:**

In HK\$ million	2018	2019
Profit before income tax	5,852	6,274
Notional tax on profit before income tax, calculated at the Hong Kong tax rate of 16.5% (2018: 16.5%)	966	1,035
Effect of different tax rates of subsidiaries operating overseas	7	18
Income not subject to tax	(29)	(25)
Expenses not deductible for tax purposes	60	56
Tax losses not recognized	36	47
Over provision in respect of prior years, net	(37)	(15)
Utilization of previously unrecognized tax losses	(12)	(10)
Recognition of tax losses	(18)	-
Recognition of previously unrecognized temporary differences	34	(11)
Net losses of associates and joint ventures not deductible for tax purposes	3	8
Corporate income tax incentives	-	(66)
Income tax expense	1,010	1,037

13 DISTRIBUTIONS/DIVIDENDS

In HK\$ million	2018	2019
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year of 30.01 HK cents (2018: 29.12 HK cents) per Share Stapled Unit/ordinary share of the Company	2,205	2,272
Final distribution/dividend declared in respect of the previous financial year, approved and paid during the year of 39.17 HK cents (2018: 36.75 HK cents) per Share Stapled Unit/ordinary share of the Company	2,783	2,966
	4,988	5,238

For the year ended December 31, 2019, the Company proposed a final dividend of 40.37 HK cents per ordinary share, totaling HK\$3.057 million (2018: 39.17 HK cents per ordinary share, totaling HK\$2.966 million) to HKT Trust after the end of the reporting period.

For the year ended December 31, 2019, HKT Trust proposed a final distribution of 40.37 HK cents per Share Stapled Unit, totaling HK\$3.057 million (2018: 39.17 HK cents per Share Stapled Unit, totaling HK\$2.966 million) to holders of Share Stapled Units after the end of the reporting period.

The final distribution/dividend proposed after the end of the reporting period, referred to above, is not recognized as a liability as at the end of the reporting period.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

14 EARNINGS PER SHARE STAPLED UNIT/SHARE OF THE COMPANY

The calculations of basic and diluted earnings per Share Stapled Unit/share of the Company were based on the following data:

	2018	2019
Earnings (in HK\$ million)		
Earnings for the purpose of basic and diluted earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	4,825	5,217
Number of Share Stapled Units/shares of the Company		
Weighted average number of Share Stapled Units/ordinary shares of the Company	7,571,742,334	7,571,742,334
Effect of Share Stapled Units held under the Company's Share Stapled Units award schemes	(372,000)	(642,588)
Weighted average number of Share Stapled Units/ordinary shares of the Company for the purpose of basic earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	7,571,370,334	7,571,099,746
Effect of Share Stapled Units awarded under the Company's Share Stapled Units award schemes	2,364,723	1,775,583
Weighted average number of Share Stapled Units/ordinary shares of the Company for the purpose of diluted earnings per Share Stapled Unit/share of the Company	7,573,735,057	7,572,875,329

15 PROPERTY, PLANT AND EQUIPMENT

In HK\$ million	2018					Total
	Buildings	Exchange equipment	Transmission plant	Other plant and equipment	Projects under construction	
Cost						
Beginning of year	1,389	22,183	24,808	13,740	1,916	64,036
Additions	-	488	280	211	1,609	2,588
Transfers	-	98	312	493	(903)	-
Disposals	-	(240)	(26)	(167)	-	(433)
Exchange differences	-	(21)	(68)	(24)	-	(113)
End of year	1,389	22,508	25,306	14,253	2,622	66,078
Accumulated depreciation and impairment						
Beginning of year	684	17,552	15,617	10,797	-	44,650
Charge for the year	29	387	479	429	-	1,324
Disposals	-	(240)	(26)	(165)	-	(431)
Exchange differences	-	(17)	(27)	(22)	-	(66)
End of year	713	17,682	16,043	11,039	-	45,477
Net book value						
End of year	676	4,826	9,263	3,214	2,622	20,601
Beginning of year	705	4,631	9,191	2,943	1,916	19,386

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

15 PROPERTY, PLANT AND EQUIPMENT (CONTINUED)

In HK\$ million	2019					Total
	Buildings	Exchange equipment	Transmission plant	Other plant and equipment	Projects under construction	
Cost						
Beginning of year	1,389	22,508	25,306	14,253	2,622	66,078
Additions	–	552	399	430	1,321	2,702
Additions upon business combination	–	–	–	15	–	15
Transfers	–	314	762	526	(1,602)	–
Disposals	–	(388)	(3)	(106)	–	(497)
Exchange differences	–	1	30	(18)	–	13
End of year	1,389	22,987	26,494	15,100	2,341	68,311
Accumulated depreciation and impairment						
Beginning of year	713	17,682	16,043	11,039	–	45,477
Charge for the year	29	316	489	316	–	1,150
Disposals	–	(388)	(3)	(100)	–	(491)
Exchange differences	–	–	14	(16)	–	(2)
End of year	742	17,610	16,543	11,239	–	46,134
Net book value						
End of year	647	5,377	9,951	3,861	2,341	22,177
Beginning of year	676	4,826	9,263	3,214	2,622	20,601

The depreciation charge for the year is included in general and administrative expenses in the consolidated income statement.

During the year ended December 31, 2019, the Groups performed a review to reassess the useful lives of certain property, plant and equipment of the Groups, based on the expectations of the Groups' operational management and technological trends. The reassessment resulted in changes in the estimated useful lives of these assets. The Groups considered this to be a change in accounting estimate and therefore accounted for the change on a prospective basis. As a result of this change in accounting estimate, the Groups' profit attributable to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company for the year ended December 31, 2019 increased by HK\$204 million and the equity attributable to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company as at December 31, 2019 increased by HK\$204 million.

16 RIGHT-OF-USE ASSETS

In HK\$ million	2018	2019
Land and buildings	2,414	2,164
Network capacity and equipment	394	272
Total	2,808	2,436

The Groups obtain right to control the use of various land and buildings, and network capacity and equipment for a period of time through lease arrangements. Lease arrangements are negotiated on an individual basis and contain a wide range of different terms and conditions including lease payments and lease terms ranging from 1 to 20 years for land and buildings, and from 1 to 6 years for network capacity and equipment. Except for lease covenants mainly related to the maintenance and use of the leased assets that are commonly found in lease arrangements, there are no other covenants or restrictions imposed by the lease agreements. The leased assets may not be used as security for borrowing purposes. The Groups also sublease certain buildings whose lease terms are for the whole of the remaining term of the head lease and have classified the subleases as finance leases.

Additions to the right-of-use assets during the year ended December 31, 2019 were HK\$1,136 million (2018: HK\$2,302 million).

During the year ended December 31, 2019, total cash outflow for leases of HK\$1,644 million (2018: HK\$1,665 million) was included in net cash used in financing activities.

The depreciation charge for the year is included in general and administrative expenses in the consolidated income statement.

17 INTERESTS IN LEASEHOLD LAND

In HK\$ million	2018	2019
Cost		
Beginning and end of year	536	536
Accumulated amortization		
Beginning of year	296	309
Charge for the year	13	12
End of year	309	321
Net book value		
End of year	227	215
Beginning of year	240	227

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

18 GOODWILL

In HK\$ million	2018	2019
Cost		
Beginning of year	49,814	49,805
Additions upon business combination	3	5
Exchange differences	(12)	4
End of year	49,805	49,814

Impairment tests for CGUs containing goodwill

Goodwill was allocated to the Groups' CGUs identified according to operating segments as follows:

In HK\$ million	2018	2019
TSS		
– Local telephony and data services	31,693	31,698
– Global	1,259	1,263
Mobile	16,853	16,853
Total	49,805	49,814

The recoverable amounts of the CGUs are determined based on value-in-use calculations. These calculations use cash flow projections based on financial budgets approved by management generally covering a 5-year period. Cash flows beyond the projection period are extrapolated using the estimated terminal growth rates stated below.

The key assumptions used for value-in-use calculations in 2019 were as follows:

	2018				2019			
	Revenue growth rate	EBITDA growth rate	Terminal growth rate	Pre-tax discount rate	Revenue growth rate	EBITDA growth rate	Terminal growth rate	Pre-tax discount rate
TSS								
– Local telephony and data services	2%	2%	1%	8%	1%	1%	1%	8%
– Global	1%	3%	3%	13%	1%	2%	3%	13%
Mobile	2%	3%	2%	12%	3%	2%	2%	11%

These assumptions were used for the analysis of each CGU.

There was no impairment required from the review on goodwill. A reasonably possible change in assumptions would not result in impairment and as such disclosure of sensitivity analysis is not considered necessary.

Management determined budgeted revenue and EBITDA growth rates based on past performance and its expectations for market development. The average growth rates used were consistent with the forecasts included in industry reports. The terminal growth rates did not exceed the long-term average growth rates for the businesses in which the CGUs operate.

19 INTANGIBLE ASSETS

In HK\$ million	Trademarks	Carrier licences	2018 Customer base	Software	Total
Cost					
Beginning of year	1,862	5,178	2,767	2,689	12,496
Additions	–	104	–	1,811	1,915
Write-off	–	(730)	–	–	(730)
Exchange differences	(3)	–	(3)	–	(6)
End of year	1,859	4,552	2,764	4,500	13,675
Accumulated amortization					
Beginning of year	476	1,617	1,692	745	4,530
Charge for the year	92	414	460	220	1,186
Write-off	–	(730)	–	–	(730)
Exchange differences	(1)	–	(1)	–	(2)
End of year	567	1,301	2,151	965	4,984
Net book value					
End of year	1,292	3,251	613	3,535	8,691
Beginning of year	1,386	3,561	1,075	1,944	7,966
In HK\$ million	Trademarks	Carrier licences	2019 Customer base	Software	Total
Cost					
Beginning of year	1,859	4,552	2,764	4,500	13,675
Additions	–	421	–	2,132	2,553
Write-off	–	(101)	–	–	(101)
Exchange differences	1	–	–	–	1
End of year	1,860	4,872	2,764	6,632	16,128
Accumulated amortization					
Beginning of year	567	1,301	2,151	965	4,984
Charge for the year	90	412	187	437	1,126
Write-off	–	(101)	–	–	(101)
Exchange differences	–	–	1	–	1
End of year	657	1,612	2,339	1,402	6,010
Net book value					
End of year	1,203	3,260	425	5,230	10,118
Beginning of year	1,292	3,251	613	3,535	8,691

The amortization charge for the year is included in general and administrative expenses in the consolidated income statement.

As at December 31, 2018 and 2019, no impairment was recognized for the intangible assets. Impairment assessments for intangible assets are performed as part of the impairment assessments for the corresponding CGUs. For details of the accounting policies and the impairment assessments, please refer to notes 3(o)(ii) and 18.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

20 INTERESTS IN ASSOCIATES

In HK\$ million	2018	2019
Share of net assets of associates	65	272
Loans due from associates, net	233	233
Provision for impairment	(298)	(296)
	-	209
Investments at cost, unlisted shares	113	353

During the year ended December 31, 2019, no provision for impairment was recognized in the consolidated income statement (2018: nil).

Pursuant to the subscription agreement and the shareholders' agreement, both dated March 27, 2019, for the formation of a joint venture to undertake the business of operating a virtual bank in Hong Kong, the HKT Limited Group subscribed for 15% of the total issued share capital of SC Digital Solutions Limited, a company incorporated in Hong Kong, for an aggregate price for HK\$242 million during the year ended December 31, 2019. SC Digital Solutions Limited is licensed by the Hong Kong Monetary Authority to operate a virtual bank in Hong Kong.

As at December 31, 2019, loans due from associates comprised certain unsecured loans totaling HK\$340 million (2018: HK\$160 million) which bear interest at 3% per annum (2018: same) and are repayable within 1 year (2018: same), and a secured loan amounted to HK\$6 million (2018: HK\$6 million), which bears interest at 8% per annum (2018: same) and is repayable within 1 year (2018: same). Certain secured loans totaling HK\$180 million as at December 31, 2018, bearing interest at 3% per annum and repayable within 1 year had become unsecured in 2019. These loans are considered as equity in nature for which full provision for impairment has been made as at December 31, 2018 and 2019.

a. As at December 31, 2018 and 2019, the Groups considered that there was no principal associate.

b. Contingent liabilities in respect of associates

The Groups' contingent liabilities relating to their associates are disclosed in note 38. As at December 31, 2019, the Groups had no share of contingent liabilities related to the associates (2018: nil).

c. Summarized unaudited financial information of the Groups' associates

For the year ended December 31, 2019, the aggregate net amounts of the Groups' share of loss after income tax, other comprehensive loss and total comprehensive loss of the individually immaterial associates that are accounted for using the equity method were HK\$33 million, nil and HK\$33 million, respectively.

For the year ended December 31, 2018, the Groups had not accounted for any share of loss after income tax, other comprehensive loss and total comprehensive loss of the individually immaterial associates under equity method.

d. Reconciliation of summarized unaudited financial information

As at December 31, 2019, the aggregate carrying amount of interests in individually immaterial associates that are accounted for using the equity method was HK\$209 million (2018: nil).

During the year ended December 31, 2019, the Groups had unrecognized share of losses of associates of HK\$3 million (2018: HK\$7 million). As at December 31, 2019, the Groups had unrecognized accumulated share of losses of the associates of HK\$10 million (2018: HK\$7 million).

21 INTERESTS IN JOINT VENTURES

In HK\$ million	2018	2019
Share of net assets of joint ventures	296	306
Loan due from a joint venture, net	382	337
	678	643
Investments at cost, unlisted shares	308	343

As at December 31, 2019, all balances with joint ventures are unsecured and non-interest bearing, and have no fixed terms of repayment except that the loan due from a joint venture of HK\$337 million (2018: HK\$382 million) bears interest at HIBOR plus 3% per annum (2018: same). The amount is considered as part of the interests in joint ventures.

a. Particulars of the principal joint venture of the Groups as at December 31, 2019 are as follows:

Company name	Principal place of business/place of incorporation	Principal activities	Amount of issued capital	Interest held by the Company		Measurement method
				Directly	Indirectly	
Genius Brand Limited ("GBL")	Hong Kong	Provision of mobile telecommunications services in Hong Kong	HK\$10,000	-	50%	Equity

GBL is a strategic partnership of the Groups, providing access to advanced connectivity services in Hong Kong for the development of mobile business.

GBL is a private company and there is no quoted market price available for its shares.

b. Commitments and contingent liabilities in respect of joint ventures

As at December 31, 2019, the Groups' commitments in respect of joint ventures are as follows:

In HK\$ million	2018	2019
The Groups' commitments to provide funding	73	59
The Groups' share of joint ventures' capital commitments authorized and contracted for acquisition of property, plant and equipment	26	12
The Groups' share of joint ventures' other commitments	-	22

There were no contingent liabilities relating to the Groups' interests in the joint ventures. As at December 31, 2019, the Groups had no share of contingent liabilities related to the joint ventures (2018: nil).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

21 INTERESTS IN JOINT VENTURES (CONTINUED)

c. Summarized unaudited financial information of the Groups' joint ventures

Set out below is the summarized unaudited financial information of GBL, the principal joint venture of the Groups and being accounted for using the equity method:

In HK\$ million	As at December 31,	
	2018	2019
Non-current assets	900	801
Current assets		
Cash and cash equivalents	28	6
Other current assets (excluding cash and cash equivalents)	25	31
Total current assets	53	37
Current liabilities		
Financial liabilities (excluding trade payables, accruals and other payables)	(325)	(323)
Other current liabilities (including trade payables, accruals and other payables)	(65)	(72)
Total current liabilities	(390)	(395)
Non-current liabilities		
Financial liabilities	(604)	(494)
Other non-current liabilities	(33)	(33)
Total non-current liabilities	(637)	(527)
Net liabilities	(74)	(84)
Equity attributable to equity holders	(74)	(84)

In HK\$ million	For the year ended December 31,	
	2018	2019
Revenue	254	255
Depreciation and amortization	(102)	(97)
Interest expense	(43)	(41)
Profit before income tax	1	1
Income tax	(12)	(11)
Loss after income tax and total comprehensive loss	(11)	(10)
Dividend received from the joint venture	–	–

The information above reflects the amounts presented in the financial statements of the joint venture (not the Groups' share of those amounts) and adjusted for differences in accounting policies between the Groups and the joint venture, if any.

21 INTERESTS IN JOINT VENTURES (CONTINUED)**c. Summarized unaudited financial information of the Groups' joint ventures (continued)**

For the year ended December 31, 2019, the aggregate net amounts of the Groups' share of loss after income tax, other comprehensive loss and total comprehensive loss of individually immaterial joint ventures that are accounted for using the equity method were HK\$13 million (2018: HK\$11 million), HK\$7 million (2018: other comprehensive income of HK\$5 million) and HK\$20 million (2018: HK\$6 million), respectively.

d. Reconciliation of summarized unaudited financial information of the Groups' joint ventures

Reconciliation of the summarized unaudited financial information presented to the carrying amount of the Groups' interest in GBL, the principal joint venture.

In HK\$ million	2018	2019
Net liabilities		
Beginning of year	(63)	(74)
Loss and total comprehensive loss for the year	(11)	(10)
End of year	(74)	(84)
Interest in a joint venture	50%	50%
	(37)	(42)
Loan due from a joint venture	382	337
Carrying amount	345	295

As at December 31, 2019, the aggregate carrying amount of interests in individually immaterial joint ventures that are accounted for using the equity method was HK\$348 million (2018: HK\$333 million).

During the year ended December 31, 2019, the Groups did not have any unrecognized share of losses of joint ventures (2018: nil). As at December 31, 2019, there was no accumulated share of losses of the joint ventures unrecognized by the Groups (2018: nil).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

22 FINANCIAL ASSETS AT FAIR VALUE THROUGH OTHER COMPREHENSIVE INCOME

In HK\$ million	2018	2019
Unlisted securities		
Beginning of year	77	77
Additions	–	47
End of year	77	124

As at December 31, 2019, financial assets at FVOCI comprised unlisted equity investments which are held for strategic purposes (2018: same).

23 FINANCIAL ASSETS AT FAIR VALUE THROUGH PROFIT OR LOSS

In HK\$ million	2018	2019
Listed securities	20	13
Less: securities held for employee share award schemes to be vested within one year classified as current assets	(12)	(12)
Listed securities (non-current)	8	1
Unlisted securities (non-current)	–	31
Total non-current portion	8	32

Financial assets at FVPL mainly comprise:

- debt instrument that does not qualify for measurement either at amortized cost or at FVOCI; and
- PCCW Shares acquired and subscribed under the PCCW Purchase Scheme and PCCW Subscription Scheme. Refer to note 29(b)(ii) for details of the share award schemes of PCCW.

During the year ended December 31, 2019, there were additions of unlisted securities recognized as financial assets at FVPL of HK\$31 million (2018: nil).

24 INTERESTS IN SUBSIDIARIES

a. Particulars of the principal subsidiaries of the Company as at December 31, 2019 are as follows:

Company name	Place of incorporation/ operations	Amount of issued capital/ registered capital	Interest held by the Company		Principal activities
			Directly	Indirectly	
HKT Group Holdings Limited ("HKTGH")	Cayman Islands	US\$636,000,019	100%	—	Investment holding
HKT Services Limited	Hong Kong	HK\$1	—	100%	Provision of management services to group companies
Hong Kong Telecommunications (HKT) Limited ("HKTL")	Hong Kong	HK\$9,945,156,001	—	100%	Provision of telecommunications services
電話盈科科技(北京)有限公司 ^a (PCCW Technology (Beijing) Limited ^a)	The People's Republic of China (the "PRC")	RMB40,000,000	—	100%	System integration, software development and technical services consultancy
CSL Mobile Limited	Hong Kong	HK\$7,900,280,100 ordinary shares and HK\$1,254,000,000 non-voting deferred shares	—	100%	Provision of mobile services to its customers and the sale of mobile handsets and accessories
Sun Mobile Limited	Hong Kong	HK\$41,600,002	—	60% ^b	Provision of mobile telecommunications services to customers in Hong Kong
Gateway Global Communications Limited	United Kingdom	GBP1	—	100%	Provision of network-based telecommunications services to external customers and related companies
PCCW Global B.V.	Netherlands/ France	EUR18,000	—	100%	Sales, distribution and marketing of telecommunication services and products
PCCW Global, Inc.	Delaware, U.S.	US\$18.01	—	100%	Supply of broadband internet access solutions and web services

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

24 INTERESTS IN SUBSIDIARIES (CONTINUED)

a. Particulars of the principal subsidiaries of the Company as at December 31, 2019 are as follows: (continued)

Company name	Place of incorporation/ operations	Amount of issued capital/ registered capital	Interest held by the Company		Principal activities
			Directly	Indirectly	
PCCW Global Limited	Hong Kong/ Dubai Media City	HK\$240,016,690.65	–	100%	Provision of network-based telecommunications services
PCCW Global (Japan) K.K.	Japan	JPY10,000,000	–	100%	Provision of telecommunications services
PCCW Global (HK) Limited	Hong Kong	HK\$10	–	100%	Provision of satellite-based and network-based telecommunications services
HKT Global (Singapore) Pte. Ltd.	Singapore/ Malaysia	S\$60,956,485.64	–	100%	Provision of telecommunications solutions related services
PCCW (Macau), Limitada	Macau	MOP2,000,000	–	75% ²	Selling customer premises equipment and related solutions, conducting systems integration projects and providing outsourced call center services
廣州電盈綜合客戶服務技術 發展有限公司 ³ (PCCW Customer Management Technology and Services (Guangzhou) Limited ⁴)	The PRC	HK\$93,240,000	–	100%	Customer service and consultancy
HKT Teleservices International Limited	Hong Kong	HK\$350,000,002	–	100%	Provision of customer relationship management and customer contact management solutions and services

Certain subsidiaries which do not materially affect the results or financial position of the Groups are not included in the above.

Notes:

1. The equity interest held by non-controlling interest is 40% as at December 31, 2019.
2. The equity interest held by non-controlling interest is 25% as at December 31, 2019.
3. Represents a wholly foreign owned enterprise.
4. Unofficial company name.

b. Non-controlling interests of the Groups' subsidiaries

The total of non-controlling interests as at December 31, 2019 was HK\$58 million (2018: HK\$39 million), of which HK\$56 million (2018: HK\$44 million) was mainly attributable to non-controlling interests in Suni Mobile Limited and PCCW (Macau), Limitada.

25 OTHER NON-CURRENT ASSETS

In HK\$ million	2018	2019
Prepayments	692	709
Deposits	129	203
Others	244	194
	1,065	1,106

26 CURRENT ASSETS AND LIABILITIES**a. Inventories**

In HK\$ million	2018	2019
Purchased parts and materials	610	414
Finished goods	388	318
Consumable inventories	82	71
	1,080	803

b. Prepayments, deposits and other current assets

In HK\$ million	2018	2019
Prepayments	438	565
Deposits	329	256
Other current assets	1,266	990
	2,033	1,811

c. Trade receivables, net

In HK\$ million	2018	2019
Trade receivables (note i)	3,862	3,743
Less: loss allowance (note ii)	(135)	(143)
Trade receivables, net	3,727	3,600

The balance represents amounts due from customers for goods sold or services performed in the ordinary course of business. They are generally due for settlement within 30 days from the date of invoice and therefore are all classified as current. Details about the Groups' impairment policies are provided in note 3(c)(i).

As at December 31, 2019, included in trade receivables, net were amounts due from related parties of HK\$36 million (2018: HK\$47 million).

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

26 CURRENT ASSETS AND LIABILITIES (CONTINUED)

c. Trade receivables, net (continued)

i. The aging of trade receivables based on the date of invoice is set out below:

In HK\$ million	2018	2019
1 – 30 days	2,889	2,594
31 – 60 days	288	346
61 – 90 days	155	272
91 – 120 days	99	98
Over 120 days	431	433
	3,862	3,743

ii. Impairment for trade receivables

The Groups apply the HKFRS 9 (2014) simplified approach to measure loss allowance for expected credit losses which uses a lifetime expected loss allowance for trade receivables.

To measure the expected credit losses, trade receivables are grouped based on shared credit risk characteristics and the days past due. The expected loss rates are estimated based on the corresponding historical credit losses experienced, adjusted with the expected change between current and forward-looking information on macroeconomic factors, if material. On that basis, the loss allowance as at December 31, 2019 was determined as follows:

Expected credit loss rate	2018	2019
Current	1%	1%
1 – 120 days past due	2%	3%
Over 120 days past due	31%	26%

The movements in the loss allowance during the year were as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Beginning of year	183	135
Net impairment loss recognized	211	222
Uncollectible amounts written off	(259)	(214)
End of year	135	143

d. Restricted cash

As at December 31, 2019, cash balance of HK\$115 million (2018: HK\$88 million) has been received from and restricted for the use of certain customers.

26 CURRENT ASSETS AND LIABILITIES (CONTINUED)**e. Trade payables**

The aging of trade payables based on the date of invoice is set out below:

In HK\$ million	2018	2019
1 – 30 days	1,205	1,269
31 – 60 days	121	556
61 – 90 days	53	100
91 – 120 days	22	31
Over 120 days	386	386
	1,787	2,342

As at December 31, 2019, included in trade payables were amounts due to related parties of HK\$12 million (2018: HK\$32 million).

27 LONG-TERM BORROWINGS

In HK\$ million	2018	2019
Repayable within a period		
– over one year, but not exceeding two years	2,022	5,202
– over two years, but not exceeding five years	24,333	17,619
– over five years	13,814	17,537
	40,169	40,358
Representing:		
US\$500 million 3.75% guaranteed notes due 2023 (note a)	3,818	3,819
US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030 (note b)	2,335	2,324
US\$500 million 3.625% guaranteed notes due 2025 (note c)	3,878	3,862
EUR200 million 1.65% guaranteed notes due 2027 (note d)	1,761	1,713
US\$750 million 3.00% guaranteed notes due 2026 (note e)	5,840	5,812
US\$500 million 3.25% guaranteed notes due 2029 (note f)	–	3,826
Bank borrowings	22,537	19,002
	40,169	40,358
Secured	–	–
Unsecured	40,169	40,358

a. US\$500 million 3.75% guaranteed notes due 2023

On March 8, 2013, PCCW-HKT Capital No.5 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$500 million 3.75% guaranteed notes due 2023, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

b. US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030

On January 15, 2015, HKT Capital No. 1 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030, which are listed on the Taipei Exchange. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

27 LONG-TERM BORROWINGS (CONTINUED)

c. US\$500 million 3.625% guaranteed notes due 2025

On April 2, 2015, HKT Capital No. 2 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$500 million 3.625% guaranteed notes due 2025, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

d. EUR200 million 1.65% guaranteed notes due 2027

On April 10, 2015, HKT Capital No. 3 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued EUR200 million 1.65% guaranteed notes due 2027, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

e. US\$750 million 3.00% guaranteed notes due 2026

On July 14, 2016, HKT Capital No. 4 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$750 million 3.00% guaranteed notes due 2026, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

f. US\$500 million 3.25% guaranteed notes due 2029

On September 30, 2019, HKT Capital No. 5 Limited, an indirect wholly-owned subsidiary of the Company, issued US\$500 million 3.25% guaranteed notes due 2029, which are listed on the Singapore Exchange Securities Trading Limited. The notes are irrevocably and unconditionally guaranteed by HKTGH and HKTL and rank pari passu with all other outstanding unsecured and unsubordinated obligations of HKTGH and HKTL.

g. Refer to note 39 for details of the Groups' bank loan facilities.

28 DERIVATIVE FINANCIAL INSTRUMENTS

In HK\$ million	2018	2019
Non-current assets		
Cross currency swap contracts and a foreign exchange forward contract		
– cash flow hedges for foreign currency risk (note a)	116	240
Interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk (note b)	32	44
	148	284
Current assets		
Interest rate swap contracts – cash flow hedges for interest rate risk (note b)	–	6
Non-current liabilities		
Cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts		
– cash flow hedges for foreign currency risk (note a)	(152)	(12)
Interest rate swap contract – cash flow hedge for interest rate risk (note b)	–	(26)
	(152)	(38)

Derivatives are mainly used for economic hedging purposes and not as speculative investments. However, where derivatives do not meet the hedge accounting criteria, they are accounted for at FVPL.

Hedge effectiveness is determined at the inception of the hedging relationship and through periodic prospective effectiveness assessments to ensure that an economic relationship exists between the hedged item and the hedging instrument.

28 DERIVATIVE FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

Hedge ineffectiveness for the Groups' cross currency swap, foreign exchange forward and interest rate swap contracts may occur due to:

- differences in critical terms between the hedged item and the hedging instrument; and
- changes in credit risk of the derivative counterparty.

a. Cash flow hedges for foreign currency risk

For borrowings denominated in foreign currencies, the Groups have entered into cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts to hedge the foreign currency risk. The Groups performed qualitative assessment of hedge effectiveness. As the cross currency swap contracts and the foreign exchange forward contracts have similar critical terms as the hedged items, such as notional amounts, maturity dates and payment dates, the economic relationship exists between the hedged items and the hedged instruments.

The effects of the foreign currency related hedging instruments on the Groups' financial position and performance are as follows:

	2018	2019
Net carrying amount ((liabilities)/assets)	(HK\$36 million)	HK\$228 million
Notional amount	EUR200 million and US\$2,126 million	EUR200 million and US\$2,720 million
Maturity date	January 2020 to April 2027	March 2023 to September 2029
Hedge ratio	1:1*	1:1*
Change* in fair value of the hedging instruments during the year	(HK\$107 million)	HK\$293 million
Change* in value of the hedged items during the year	HK\$126 million	(HK\$245 million)
Weighted average hedged exchange rate for the year	EUR1:HK\$8.32 US\$1:HK\$7.75	EUR1:HK\$8.32 US\$1:HK\$7.79

* The hedge ratio is 1:1 as the notional amount and timing of the hedging instruments match with that of the hedged items.

* Positive change refers to increase in net assets, whereas negative change refers to decrease in net assets.

b. Cash flow hedges for interest rate risk

For certain borrowings subject to cash flow interest rate risk, the Groups have entered into floating-to-fixed interest rate swap contracts. The Groups performed qualitative assessment of hedge effectiveness. As the interest rate swap contracts have similar critical terms as the hedged items, such as notional amounts, maturity dates and payment dates, the economic relationship exists between the hedged items and the hedged instruments.

The effects of the interest rate related hedging instruments on the Groups' financial position and performance are as follows:

	2018	2019
Net carrying amount (assets)	HK\$32 million	HK\$24 million
Notional amount	HK\$1,500 million	HK\$6,370 million
Maturity date	March 2021	August 2020 to March 2023
Hedge ratio	1:1*	1:1*
Change* in fair value of the hedging instruments during the year	(HK\$9 million)	HK\$19 million
Change* in value of the hedged items during the year	HK\$11 million	(HK\$12 million)
Weighted average receive leg/pay leg interest ratio	1.47	1.15

* The hedge ratio is 1:1 as the notional amount and timing of the hedging instruments match with that of the hedged items.

* Positive change refers to increase in net assets, whereas negative change refers to decrease in net assets.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

28 DERIVATIVE FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

c. Hedging reserve and costs of hedging reserve

The Groups' hedging reserve and costs of hedging reserve relate to the following hedging instruments:

In HK\$ million	Cash flow hedges for foreign currency risk	Cash flow hedges for interest rate risk	Total
Hedging reserve			
As at January 1, 2018	85	46	131
Cash flow hedges:			
– effective portion of changes in fair value	(126)	(11)	(137)
– transfer from equity to consolidated income statement	35	–	35
As at December 31, 2018 and January 1, 2019	(6)	35	29
Cash flow hedges:			
– effective portion of changes in fair value	245	12	257
– transfer from equity to consolidated income statement	152	–	152
As at December 31, 2019	391	47	438
Costs of hedging reserve			
As at January 1, 2018			(208)
Costs of hedging			39
As at December 31, 2018 and January 1, 2019			(169)
Costs of hedging			11
As at December 31, 2019			(158)

29 EMPLOYEE BENEFITS

a. Employee retirement benefits – Defined contribution retirement schemes

The Groups operate defined contribution retirement schemes, including the Mandatory Provident Fund Scheme (the "MPF scheme") under the Hong Kong Mandatory Provident Fund Schemes Ordinance, for employees employed under the jurisdiction of the Hong Kong Employment Ordinance. The schemes are administered by independent trustees.

Under the defined contribution retirement scheme, the employer is required to make contributions to the scheme at rates specified under the rules of the scheme. Where employees leave the scheme prior to the full vesting of the employer's contributions, the amount of forfeited contributions is used to reduce the contributions payable by the Groups.

Under the MPF scheme, the employer and its employees are each required to make contributions to the scheme at 5% of the employees' relevant income, subject to a current cap of monthly relevant income of HK\$30,000. Contributions to the scheme vest immediately upon the completion of the services in the relevant service period.

Forfeited contributions totaling HK\$11 million (2018: HK\$14 million) were utilized during the year ended December 31, 2019 to reduce contributions and no forfeited contribution was available at the end of the reporting period.

29 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits**

PCCW and the Groups operate the following share option schemes and share award schemes:

Share option schemes

- Share option scheme of PCCW adopted on May 8, 2014 (the "PCCW 2014 Scheme").
- Share Stapled Units option scheme of the HKT Trust and the Company conditionally adopted on November 7, 2011 (the "2011-2021 Option Scheme").

Share award schemes

- Share award schemes of PCCW namely the PCCW Purchase Scheme and the PCCW Subscription Scheme (collectively the "PCCW Share Award Schemes").
- Share Stapled Units award schemes of the Company namely the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme and the HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (collectively the "Share Stapled Units Award Schemes").

The details of the 2011-2021 Option Scheme and the Share Stapled Units Award Schemes are disclosed under sections "Share Stapled Units Option Scheme" and "Share Stapled Units Award Schemes" in the Combined Report of the Directors of the 2019 Annual Report of the HKT Trust and the Company.

i. Share option schemes

No share options/Share Stapled Unit options have been granted under the PCCW 2014 Scheme and the 2011-2021 Option Scheme since their adoption and up to and including December 31, 2019.

ii. Share award schemes

Subject to the relevant scheme rules of the PCCW Share Award Schemes and the Share Stapled Units Award Schemes, each scheme provides that prior to the vesting of the awards under the relevant schemes to selected participants (including any director or employee of PCCW and its participating companies for the PCCW Share Award Schemes, and any director or employee of the Company or any of its subsidiaries for the Share Stapled Units Award Schemes), the relevant PCCW Shares/Share Stapled Units will be held in trust by the trustee for such selected participants, and will be vested over a period of time determined by the respective approving body, provided that each selected participant shall remain at all times up to and including the relevant vesting date (or, as the case may be, each relevant vesting date) an employee or director of PCCW, the Company, the relevant participating company or subsidiary, and satisfies any other conditions specified at the time the award is made, notwithstanding that the respective approving body shall be at liberty to waive such conditions. Other than satisfying the vesting conditions, selected participants are not required to provide any consideration in order to acquire the PCCW Shares/Share Stapled Units awarded to him/her under the relevant schemes.

During the year ended December 31, 2019, share-based compensation expenses in respect of the PCCW Shares Award Schemes of HK\$20 million (2018: HK\$27 million) were recognized in the consolidated income statement and as an obligation in liabilities in the consolidated statement of financial position, respectively.

During the year ended December 31, 2019, share-based compensation expenses in respect of the Share Stapled Units Award Schemes of HK\$19 million (2018: HK\$28 million) were recognized in the consolidated income statement and employee share-based compensation reserve in the consolidated statement of financial position, respectively.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

29 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)

b. Equity compensation benefits (continued)

ii. Share award schemes (continued)

(1) Movements in the number of PCCW Shares held by the Groups under the PCCW Share Award Schemes and the Share Stapled Units held under the HKT Share Stapled Units Purchase Scheme

	Number of PCCW Shares	
	2018	2019
PCCW Purchase Scheme:		
Beginning of year	1,143,300	366
Purchase from the market by the trustee at weighted average market price of HK\$4.56 (2018: HK\$4.46) per PCCW Share	3,206,000	2,155,000
PCCW Shares vested	(4,348,934)	(1,073,938)
End of year	366	1,081,428
PCCW Subscription Scheme:		
Beginning of year	6,994,580	4,476,981
PCCW Shares vested	(2,517,599)	(2,679,836)
End of year	4,476,981	1,797,145
	Number of Share Stapled Units	
	2018	2019
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme:		
Beginning of year	1,089,787	245
Purchase from the market by the trustee at weighted average market price of HK\$12.45 (2018: HK\$10.13) per Share Stapled Unit	2,038,000	3,086,000
Share Stapled Units vested	(3,127,542)	(1,858,323)
End of year	245	1,227,922

29 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits (continued)***ii. Share award schemes (continued)*

(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award

Date of award	Vesting period	Fair value on the date of award HK\$	2018 Number of PCCW Shares/Share Stapled Units				At December 31, 2018
			At January 1, 2018	Awarded	Forfeited	Vested	
PCCW Purchase Scheme (PCCW Shares)							
April 5, 2016	April 5, 2016 to April 5, 2018	5.01	197,791	-	-	(197,791)	-
June 8, 2016	June 8, 2016 to April 5, 2018	5.20	945,266	-	-	(945,266)	-
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2018	4.60	1,203,424	-	-	(1,203,424)	-
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	4.60	1,203,415	-	-	(664,338)*	539,077
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	4.66	-	1,207,514	-	(669,058)*	538,456
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	-	1,207,501	-	(669,057)*	538,444
Total			3,549,896	2,415,015	-	(4,348,934)	1,615,977
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.78	4.66	-	4.77	4.64
PCCW Subscription Scheme (PCCW Shares)							
April 5, 2016	April 5, 2016 to April 5, 2018	5.01	1,163,436	-	(13,221)	(1,150,215)	-
June 8, 2016	June 8, 2016 to April 5, 2018	5.20	1,522	-	-	(1,522)	-
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2018	4.60	1,373,863	-	(13,186)	(1,360,677)	-
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	4.60	1,372,938	-	(67,507)	(1,683)*	1,303,748
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	4.66	-	1,475,900	(70,799)	(1,751)*	1,407,350
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	-	1,478,862	(70,723)	(1,751)*	1,406,388
Total			3,911,759	2,958,762	(235,436)	(2,517,599)	4,117,486
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.72	4.66	4.66	4.79	4.64
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme (Share Stapled Units)							
April 5, 2016	April 5, 2016 to April 5, 2018	10.70	613,158	-	(5,951)	(607,207)	-
June 8, 2016	June 8, 2016 to April 5, 2018	11.18	426,187	-	-	(426,187)	-
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2018	10.04	1,175,589	-	(6,013)	(1,169,576)	-
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	10.04	1,174,628	-	(31,184)	(303,277)*	840,167
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	9.94	-	1,247,635	(32,829)	(310,648)*	904,158
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	9.94	-	1,246,543	(32,757)	(310,647)*	903,139
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2019	10.40	-	100,000	-	-	100,000
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2020	10.40	-	100,000	-	-	100,000
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2019	10.34	-	15,000	-	-	15,000
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2020	10.34	-	15,000	-	-	15,000
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2019	10.66	-	15,000	-	-	15,000
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2020	10.66	-	15,000	-	-	15,000
Total			3,389,562	2,754,178	(108,734)	(3,127,542)	2,907,464
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			10.30	9.99	10.02	10.30	10.01

* The PCCW Shares/Share Stapled Units were vested before the respective vesting date pursuant to the delegated authority of the relevant board committees on compassionate grounds.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

29 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)

b. Equity compensation benefits (continued)

ii. Share award schemes (continued)

(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award (continued)

Date of award	Vesting period	Fair value on the date of award HK\$	2019 Number of PCCW Shares/Share Stapled Units				At December 31, 2019
			At January 1, 2019	Awarded	Forfeited	Vested	
PCCW Purchase Scheme (PCCW Shares)							
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	4.60	539,077	-	(3,595)	(535,482)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	4.66	538,456	-	-	(538,456)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	538,444	-	-	-	538,444
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	4.74	-	542,465	-	-	542,465
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	4.74	-	542,457	-	-	542,457
Total			1,615,977	1,084,922	(3,595)	(1,073,938)	1,623,366
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.64	4.74	4.60	4.63	4.71
PCCW Subscription Scheme (PCCW Shares)							
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	4.60	1,303,748	-	(15,161)	(1,288,587)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	4.66	1,407,350	-	(16,101)	(1,391,249)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	4.66	1,406,388	-	(49,514)	-	1,356,874
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	4.74	-	1,434,666	(40,738)	-	1,393,928
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	4.74	-	1,433,531	(40,681)	-	1,392,850
Total			4,117,486	2,868,197	(162,195)	(2,679,836)	4,143,652
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			4.64	4.74	4.69	4.63	4.71
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme (Share Stapled Units)							
April 3, 2017	April 3, 2017 to April 3, 2019	10.04	840,167	-	(8,539)	(831,628)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2019	9.94	904,158	-	(7,463)	(896,695)	-
April 10, 2018	April 10, 2018 to April 10, 2020	9.94	903,139	-	(22,920)	-	880,219
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2019	10.40	100,000	-	-	(100,000)	-
May 4, 2018	May 4, 2018 to April 10, 2020	10.40	100,000	-	-	-	100,000
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2019	10.34	15,000	-	-	(15,000)	-
October 5, 2018	October 5, 2018 to October 5, 2020	10.34	15,000	-	-	-	15,000
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2019	10.66	15,000	-	-	(15,000)	-
November 5, 2018	November 5, 2018 to November 5, 2020	10.66	15,000	-	-	-	15,000
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	12.38	-	208,846	-	-	208,846
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	12.38	-	208,839	-	-	208,839
Total			2,907,464	417,685	(38,922)	(1,858,323)	1,427,904
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			10.01	12.38	9.96	10.02	10.70
HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (Share Stapled Units)							
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2020	12.38	-	569,169	(15,718)	-	553,451
April 17, 2019	April 17, 2019 to April 17, 2021	12.38	-	568,030	(15,664)	-	552,366
Total			-	1,137,199	(31,382)	-	1,105,817
Weighted average fair value on the date of award (HK\$)			-	12.38	12.38	-	12.38

29 EMPLOYEE BENEFITS (CONTINUED)**b. Equity compensation benefits (continued)****ii. Share award schemes (continued)**

(2) Movements in the number of unvested PCCW Shares and Share Stapled Units and their related weighted average fair value on the date of award (continued)

The fair values of the PCCW Shares and the Share Stapled Units awarded during the year on the dates of award are measured by the respective quoted market prices of the PCCW Shares and the Share Stapled Units at the respective award dates.

The PCCW Shares and the Share Stapled Units unvested had a weighted average remaining vesting period at the end of the year as follows:

	2018	2019
PCCW Purchase Scheme (PCCW Shares)	0.60 year	0.62 year
PCCW Subscription Scheme (PCCW Shares)	0.61 year	0.63 year
HKT Share Stapled Units Purchase Scheme (Share Stapled Units)	0.64 year	0.44 year
HKT Share Stapled Units Subscription Scheme (Share Stapled Units)	—	0.80 year

30 EQUITY OF HKT LIMITED**a. Share capital of HKT Limited**

	2018		2019	
	Number of shares	Nominal value HK\$	Number of shares	Nominal value HK\$
Authorized:				
Ordinary shares of HK\$0.0005 each				
Beginning and end of year	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
Preference shares of HK\$0.0005 each				
Beginning and end of year	20,000,000,000	10,000,000	20,000,000,000	10,000,000
Issued and fully paid:				
Ordinary shares of HK\$0.0005 each				
Beginning and end of year	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871
Preference shares of HK\$0.0005 each				
Beginning and end of year	7,571,742,334	3,785,871	7,571,742,334	3,785,871

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

30 EQUITY OF HKT LIMITED (CONTINUED)

b. Movements in reserves of the Company are as follows:

In HK\$ million	2018		Total
	Share premium	Retained profits	
At January 1, 2018	35,113	167	35,280
Total comprehensive income for the year	–	5,077	5,077
Dividend paid in respect of the previous year	–	(2,783)	(2,783)
Interim dividend declared and paid in respect of the current year	–	(2,205)	(2,205)
At December 31, 2018	35,113	256	35,369

In HK\$ million	2019		Total
	Share premium	Retained profits	
At January 1, 2019	35,113	256	35,369
Total comprehensive income for the year	–	5,357	5,357
Dividend paid in respect of the previous year	–	(2,966)	(2,966)
Interim dividend declared and paid in respect of the current year	–	(2,272)	(2,272)
At December 31, 2019	35,113	375	35,488

31 RESERVES

In HK\$ million	2018										Total
	Share Premium	Capital contribution reserve	Currency translation reserve	Merger reserve	Hedging reserve	Costs of hedging reserve	Other reserves	Employee share-based compensation reserve	Treasury stock	Retained profits	
At January 1, 2018	7,769	26,250	193	(347)	131	(208)	26	22	(19)	4,016	37,842
Total comprehensive income/(loss) for the year											
Profit for the year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,825	4,825
Other comprehensive income/(loss)											
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:											
Exchange differences on translating foreign operations	-	-	(73)	-	-	-	-	-	-	-	(73)
Cash flow hedges:											
- effective portion of changes in fair value	-	-	-	-	(137)	-	-	-	-	-	(137)
- transfer from equity to consolidated income statement	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	35
Costs of hedging	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	36
Total comprehensive income/(loss) for the year	-	-	(73)	-	(102)	36	-	-	-	4,825	4,686
Transactions with equity holders											
Contributions by and distributions to equity holders											
Purchase of Share Staked Units under the HKT Share Staked Units Purchase Scheme	-	-	-	-	-	-	-	-	(21)	-	(21)
Employee share-based compensation	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	25
Vesting of Share Staked Units under the Share Staked Units Award Schemes	-	-	-	-	-	-	-	(31)	31	-	-
Distributions/dividend paid in respect of the previous year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,763)	(2,763)
Interim distributions/dividend declared and paid in respect of the current year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,205)	(2,205)
Total transactions with equity holders	-	-	-	-	-	-	-	(6)	10	(4,988)	(4,984)
At December 31, 2018	7,769	26,250	120	(347)	29	(169)	26	16	-	3,853	37,547

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

31 RESERVES (CONTINUED)

In HK\$ million	2019										Total
	Share Premium	Capital contribution reserve	Currency translation reserve	Merger reserve	Hedging reserve	Costs of hedging reserve	Other reserves	Employee share-based compensation reserve	Treasury stock	Retained profits	
At January 1, 2019	7,769	26,250	120	(347)	29	(198)	26	16	-	3,853	37,547
Total comprehensive income/(loss) for the year											
Profit for the year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,217	5,217
Other comprehensive income/(loss)											
Items that have been reclassified or may be reclassified subsequently to consolidated income statement:											
Exchange differences on translating foreign operations	-	-	(2)	-	-	-	-	-	-	-	(2)
Cash flow hedges:											
- effective portion of changes in fair value	-	-	-	-	257	-	-	-	-	-	257
- transfer from equity to consolidated income statement	-	-	-	-	152	-	-	-	-	-	152
Costs of hedging	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	11
Total comprehensive income/(loss) for the year	-	-	(2)	-	409	11	-	-	-	5,217	5,635
Transactions with equity holders											
Contributions by and distributions to equity holders:											
Purchase of Share Stipled Units under the HKT Share Stipled Units Purchase Scheme	-	-	-	-	-	-	-	-	(38)	-	(38)
Employee share-based compensation	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	17
Issuing of Share Stipled Units under the Share Stipled Units Award Schemes	-	-	-	-	-	-	-	(17)	22	(5)	-
Distribution/dividend paid in respect of the previous year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,966)	(2,966)
Interim distribution/dividend declared and paid in respect of the current year	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,272)	(2,272)
Total contributions by and distributions to equity holders	-	-	-	-	-	-	-	-	(16)	(5,243)	(5,259)
Change in ownership interests in a subsidiary that does not result in a loss of control	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19)	(19)
Total change in ownership interests in a subsidiary that does not result in a loss of control	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(19)	(19)
Total transactions with equity holders	-	-	-	-	-	-	-	-	(16)	(5,262)	(5,278)
At December 31, 2019	7,769	26,250	118	(347)	438	(158)	26	16	(16)	3,808	37,904

32 DEFERRED INCOME TAX

As at December 31, 2019, deferred income tax liabilities/(assets) represents:

In HK\$ million	2018	2019
Deferred income tax assets	(465)	(410)
Deferred income tax liabilities	3,393	3,874
	2,928	3,464

a. Movements in deferred income tax liabilities/(assets) were as follows:

In HK\$ million	2018			
	Accelerated tax depreciation and amortization	Tax losses	Others	Total
Beginning of year	3,024	(499)	(4)	2,521
Charged to the consolidated income statement (note 12(a))	393	14	–	407
End of year	3,417	(485)	(4)	2,928

In HK\$ million	2019			
	Accelerated tax depreciation and amortization	Tax losses	Others	Total
Beginning of year	3,417	(485)	(4)	2,928
Charged to the consolidated income statement (note 12(a))	481	55	–	536
End of year	3,898	(430)	(4)	3,464

b. Deferred income tax assets are recognized for tax losses carry-forward to the extent that realization of the related tax benefit through utilization against future taxable profits is probable. As at December 31, 2019, the Groups had unutilized estimated tax losses for which no deferred income tax assets have been recognized of HK\$2,377 million (2018: HK\$2,119 million) to carry forward for deduction against future taxable income. Estimated tax losses of HK\$84 million (2018: HK\$37 million) and HK\$253 million (2018: HK\$256 million) will expire within 1 to 5 years and after 5 years from December 31, 2019 respectively. The remaining portion of the tax losses, mainly relating to Hong Kong companies, can be carried forward indefinitely.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

33 CARRIER LICENCE FEE LIABILITIES

As at December 31, 2019, the Groups had carrier licence fee liabilities payable as follows:

In HK\$ million	Present value of the minimum annual fees	2018 Interest expense relating to future periods	Total minimum annual fees	Present value of the minimum annual fees	2019 Interest expense relating to future periods	Total minimum annual fees
Payable within a period						
– not exceeding one year	173	7	180	195	14	209
– over one year, but not exceeding two years	123	19	142	145	25	170
– over two years, but not exceeding five years	196	45	241	192	42	234
– over five years	38	12	50	190	29	219
	530	83	613	722	110	832
Less: amounts payable within one year included under current liabilities	(173)	(7)	(180)	(195)	(14)	(209)
Non-current portion	357	76	433	527	96	623

34 NOTES TO THE CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS**a. Reconciliation of profit before income tax to net cash generated from operating activities**

In HK\$ million	2018	2019
Profit before income tax	5,852	6,274
Adjustments for:		
Finance costs, net	1,350	1,372
Other gains, net	(2)	(3)
(Gain)/loss on disposal of property, plant and equipment, net	(1)	2
Provision for/(write-back of provision for) inventory obsolescence, net	8	(2)
Impairment loss for trade receivables	211	222
Depreciation of property, plant and equipment	1,324	1,150
Depreciation of right-of-use assets	1,551	1,493
Amortization of land lease premium – interests in leasehold land	13	12
Amortization of intangible assets	1,186	1,126
Amortization of fulfillment costs	417	489
Amortization of customer acquisition costs	852	851
Share of results of associates	–	33
Share of results of joint ventures	16	18
Share-based compensation expenses	55	39
Increase in PCCW Shares and Share Stapled Units under share award schemes	(35)	(48)
(Increase)/decrease in operating assets		
– inventories	(339)	279
– trade receivables, prepayments, deposits and other current assets	(415)	121
– contract assets	162	3
– amounts due from related companies	(27)	(13)
– restricted cash	(37)	(27)
– fulfillment costs	(375)	(495)
– customer acquisition costs	(873)	(811)
– other non-current assets	(111)	(92)
(Decrease)/increase in operating liabilities		
– trade payables	(86)	555
– accruals and other payables	(367)	(754)
– amount due to a fellow subsidiary	763	(518)
– advances from customers	25	25
– contract liabilities	185	(63)
– other long-term liabilities	16	(4)
CASH GENERATED FROM OPERATIONS	11,318	11,234
Interest received	39	35
Income tax paid, net of tax refund		
– Hong Kong profits tax paid*	(684)	(175)
– Overseas profits tax paid	(14)	(10)
NET CASH GENERATED FROM OPERATING ACTIVITIES	10,659	11,084

* As at December 31, 2019, certain subsidiaries of the Groups had not yet received the Hong Kong profits tax assessments for the tax assessment year 2018/19, such that any corresponding tax charge settlement would be deferred to upcoming financial years.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

34 NOTES TO THE CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS (CONTINUED)

b. Movements of financial (assets)/liabilities arising from financing activities

Movements of financial (assets)/liabilities arising from financing activities are as follows:

In HK\$ million	2018					Total
	Prepaid finance costs (included in prepayments, deposits and other current assets)	Interest payable (included in accruals and other payables)	Long-term borrowings	Derivative financial instruments, net	Lease liabilities	
As at January 1, 2018	(14)	187	39,146	(73)	2,454	41,710
Cash flows in financing activities						
New borrowings raised	-	-	13,616	-	-	13,616
Finance costs (paid)/received	-	(962)	-	76	-	(886)
Repayments of borrowings	-	-	(12,543)	-	-	(12,543)
Payment for lease liabilities (including interest)	-	-	-	-	(1,665)	(1,665)
Classified as cash flows in investing activities						
Loan repayment in relation to licence fee (note 36(b)(ii))	-	-	(130)	-	-	(130)
Non-cash movements	4	1,036	80	1	2,394	3,515
As at December 31, 2018	(10)	261	40,169	4	3,193	43,617
In HK\$ million	2019					Total
	Prepaid finance costs (included in prepayments, deposits and other current assets)	Interest payable (included in accruals and other payables)	Long-term borrowings	Derivative financial instruments, net	Lease liabilities	
As at January 1, 2019	(10)	261	40,169	4	3,193	43,617
Cash flows in financing activities						
New borrowings raised	-	(8)	12,956	-	-	12,948
Finance costs (paid)/received	-	(1,148)	-	220	-	(928)
Repayments of borrowings	-	-	(12,570)	-	-	(12,570)
Payment for lease liabilities (including interest)	-	-	-	-	(1,644)	(1,644)
Classified as cash flows in investing activities						
Loan repayment in relation to licence fee (note 36(b)(ii))	-	-	(130)	-	-	(130)
Non-cash movements	(10)	1,146	(67)	(476)	1,213	1,806
As at December 31, 2019	(20)	251	40,358	(252)	2,762	43,099

34 NOTES TO THE CONSOLIDATED STATEMENT OF CASH FLOWS (CONTINUED)**c. Acquisition of 北京訊通通信服務有限公司 (Beijing Xun Tong Communications Services Limited*) ("Xun Tong")**

On March 11, 2019, the Groups completed the acquisition of 50% equity interests in Xun Tong, a limited liability company established in the PRC. Xun Tong engages in the provision of telecommunications services, internet information services and computer system services. The acquisition aims to facilitate the Groups' telecommunications business in the PRC. The aggregate consideration was not material to the Groups. Xun Tong is consolidated by the Groups as the Groups own more than one half of the voting rights in the board of directors of the company.

* Unofficial company name

d. Analysis of cash and cash equivalents

In HK\$ million	2018	2019
Total cash and bank balances	3,145	3,018
Less: short-term deposits	(523)	(486)
Less: restricted cash	(88)	(115)
Cash and cash equivalents as at December 31,	2,534	2,417

35 CAPITAL MANAGEMENT

The Groups' primary objectives when managing capital are to safeguard the Groups' ability to continue as a going concern, so that they can continue to provide returns for equity holders of the Groups and benefits for other stakeholders to support the Groups' stability and growth; and to earn a margin commensurate with the level of business and market risks in the Groups' operation.

The Groups monitor capital by reviewing the level of capital that is at the disposal of the Groups ("Adjusted Capital"), taking into consideration the future capital requirements of the Groups, prevailing and projected profitability, projected operating cash flows, projected capital expenditures and projected strategic investment opportunities. Adjusted Capital comprises all components of equity.

The Groups are not subject to externally imposed capital requirements, except for the debt covenant requirement of loan agreements with external parties and the minimum capital requirement of a subsidiary regulated by the Bermuda Monetary Authority. A subsidiary of the Groups also has a minimum capital requirement as a condition for a stored value facilities licence granted by the Hong Kong Monetary Authority.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS

The tables below analyze financial instruments by category:

In HK\$ million	2018				Total
	Financial assets at amortized cost	Financial assets at FVOCI	Financial assets at FVPL	Derivatives used for hedging	
Non-current assets					
Financial assets at FVOCI	–	77	–	–	77
Financial assets at FVPL	–	–	8	–	8
Derivative financial instruments*	–	–	–	148	148
Other non-current assets (excluding prepayments)	373	–	–	–	373
	373	77	8	148	606
Current assets					
Prepayments, deposits and other current assets (excluding prepayments)	1,595	–	–	–	1,595
Trade receivables, net	3,727	–	–	–	3,727
Amounts due from related companies	102	–	–	–	102
Financial assets at FVPL	–	–	12	–	12
Restricted cash	88	–	–	–	88
Short-term deposits	523	–	–	–	523
Cash and cash equivalents	2,534	–	–	–	2,534
	8,569	–	12	–	8,581
Total	8,942	77	20	148	9,187

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

The tables below analyze financial instruments by category: (continued)

In HK\$ million	Derivatives used for hedging	2018 Other financial liabilities at amortized cost	Total
Current liabilities			
Trade payables	–	(1,787)	(1,787)
Accruals and other payables	–	(4,757)	(4,757)
Carrier licence fee liabilities	–	(173)	(173)
Amount due to a fellow subsidiary	–	(1,675)	(1,675)
Lease liabilities	–	(1,293)	(1,293)
	–	(9,685)	(9,685)
Non-current liabilities			
Long-term borrowings	–	(40,169)	(40,169)
Derivative financial instruments	(152)	–	(152)
Carrier licence fee liabilities	–	(357)	(357)
Lease liabilities	–	(1,900)	(1,900)
Other long-term liabilities	–	(829)	(829)
	(152)	(43,255)	(43,407)
Total	(152)	(52,940)	(53,092)

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

The tables below analyze financial instruments by category: (continued)

In HK\$ million	2019				Total
	Financial assets at amortized cost	Financial assets at FVOCI	Financial assets at FVPL	Derivatives used for hedging	
Non-current assets					
Financial assets at FVOCI	-	124	-	-	124
Financial assets at FVPL	-	-	32	-	32
Derivative financial instruments	-	-	-	284	284
Other non-current assets (excluding prepayments)	397	-	-	-	397
	397	124	32	284	837
Current assets					
Prepayments, deposits and other current assets (excluding prepayments)	1,246	-	-	-	1,246
Trade receivables, net	3,600	-	-	-	3,600
Amounts due from related companies	95	-	-	-	95
Financial assets at FVPL	-	-	12	-	12
Derivative financial instruments	-	-	-	6	6
Restricted cash	115	-	-	-	115
Short-term deposits	486	-	-	-	486
Cash and cash equivalents	2,417	-	-	-	2,417
	7,959	-	12	6	7,977
Total	8,356	124	44	290	8,814

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

The tables below analyze financial instruments by category: (continued)

In HK\$ million	Derivatives used for hedging	2019 Other financial liabilities at amortized cost	Total
Current liabilities			
Trade payables	-	(2,342)	(2,342)
Accruals and other payables	-	(3,887)	(3,887)
Carrier licence fee liabilities	-	(195)	(195)
Amount due to a fellow subsidiary	-	(2,855)	(2,855)
Lease liabilities	-	(1,065)	(1,065)
	-	(10,344)	(10,344)
Non-current liabilities			
Long-term borrowings	-	(40,358)	(40,358)
Derivative financial instruments*	(38)	-	(38)
Carrier licence fee liabilities	-	(527)	(527)
Lease liabilities	-	(1,697)	(1,697)
Other long-term liabilities	-	(1,197)	(1,197)
	(38)	(43,779)	(43,817)
Total	(38)	(54,123)	(54,161)

* As at December 31, 2019, derivative financial instruments classified as non-current liabilities of HK\$4 million (2018: non-current assets of HK\$15 million) related to foreign exchange forward contracts with an aggregate notional contract amount of US\$470 million (approximately HK\$3,686 million) (2018: US\$376 million (approximately HK\$2,905 million)) were designated as cash flow hedge of US\$300 million zero coupon guaranteed notes due 2030. The US\$300 million guaranteed notes may be redeemed at the option of the Groups on January 15, 2025 (2018: January 15, 2020) at an early redemption amount of US\$470 million (2018: US\$376 million). Refer to notes 27(b) and 28(a) for details of the guaranteed notes and the foreign exchange forward contracts respectively.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

Exposure to credit, liquidity and market risk (including foreign currency risk and interest rate risk) arises in the normal course of the Groups' business. The Groups are also exposed to equity price risk arising from their equity investments in other entities. Exposure to these risks is controlled by the Groups' financial management policies and practices described below.

a. Credit risk

The Groups' credit risk is primarily attributable to cash and cash equivalents, trade receivables, contract assets, amounts due from related companies, interest receivable, lease receivables, investments in debt instruments, derivative financial instruments, and other receivables. Management has policies in place and exposure to these credit risks is monitored on an ongoing basis.

The Groups' normal credit period for customers is ranging up to 30 days from the date of invoice unless there is a separate mutual agreement on extension of the credit period. The Groups maintain a well-defined credit policy and individual credit evaluations are performed on all customers requiring credit over a certain amount. These evaluations focus on the customer's past history of making payments when due and current ability to pay, and take into account information specific to the customer as well as pertaining to the economic environment in which the customer operates. Debtors who have overdue balances are requested to settle all outstanding balances before any further credit is granted. Normally, the Groups do not obtain collateral from customers. As at December 31, 2018 and 2019, the Groups did not have a significant exposure to any individual debtors or counterparties.

Further quantitative disclosures in respect of the Groups' exposure to credit risk arising from trade receivables are set out in note 26(c).

The overall impact of impairment of the contract assets on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements is considered by management. Management considered the lifetime expected losses with respect to these contract assets were minimal as at December 31, 2018 and 2019 and the Groups made no write-offs or provision for these contract assets during the years ended December 31, 2018 and 2019.

Investments in debt instruments, amounts due from related companies, lease receivables and other receivables are considered to have low credit risk. These assets are continuously monitored by assessing the credit quality of the counterparty, taking into account its financial position, past experience and other factors. Where necessary, provision for impairment loss is made for estimated irrecoverable amounts. As at December 31, 2018 and 2019, investments in debt instruments, amounts due from related companies, lease receivables and other receivables were fully performing.

Derivative financial instruments, interest receivable and cash and cash equivalents are considered to have low credit risk. These assets are executed with creditworthy financial institutions or investment counterparties and the Groups do not expect any significant counterparty risk. Moreover, credit limits are set for individual counterparties and periodic reviews are conducted to ensure that the limits are strictly followed.

The maximum exposure to credit risk is represented by the carrying amount of each financial asset, including derivative financial instruments, in the consolidated statement of financial position. Except for the guarantees given by the Groups as disclosed in note 38, the Groups do not provide any other guarantees which would expose the Groups to credit risk.

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**b. Liquidity risk**

The Groups' policy is to regularly monitor current and expected liquidity requirements and their compliance with debt covenants, to ensure that they maintain sufficient reserves of cash and adequate committed lines of funding from major financial institutions to meet their liquidity requirements in the short and longer term. Management believes there is no significant liquidity risk as the Groups have sufficient cash and committed facilities to fund their operations and debt servicing requirements.

The Groups are subject to certain corporate guarantee obligations to guarantee performance of their subsidiaries in the normal course of their businesses. Refer to note 38 for details.

The following tables detail the remaining contractual maturities at the end of the reporting periods of the Groups' non-derivative financial liabilities and derivative financial liabilities, which are based on contractual undiscounted cash flows (including interest payments computed using contractual rates or, if floating, based on rates current at the end of the reporting period) and the earliest date the Groups can be required to pay:

In HK\$ million	2018				Total contractual undiscounted cash outflow	Carrying amount
	Within 1 year or on demand	More than 1 year but within 2 years	More than 2 years but within 5 years	More than 5 years		
Current liabilities						
Trade payables	(1,787)	-	-	-	(1,787)	(1,787)
Accruals and other payables	(4,757)	-	-	-	(4,757)	(4,757)
Carrier licence fee liabilities	(180)	-	-	-	(180)	(173)
Amount due to a fellow subsidiary	(1,675)	-	-	-	(1,675)	(1,675)
Lease liabilities	(1,309)	-	-	-	(1,309)	(1,293)
	(9,708)	-	-	-	(9,708)	(9,685)
Non-current liabilities						
Long-term borrowings (note (i))	(954)	(2,985)	(26,607)	(16,835)	(47,381)	(40,169)
Derivative financial instruments (note (ii))	1	(1)	(6)	(173)	(179)	(152)
Carrier licence fee liabilities	-	(142)	(241)	(50)	(433)	(357)
Lease liabilities	-	(723)	(940)	(427)	(2,090)	(1,900)
Other long-term liabilities (note (iii))	(1)	(14)	(768)	(1,039)	(1,822)	(829)
	(954)	(3,865)	(28,562)	(18,524)	(51,905)	(43,407)
Total	(10,662)	(3,865)	(28,562)	(18,524)	(61,613)	(53,092)

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

b. Liquidity risk (continued)

In HK\$ million	2019					Carrying amount
	Within 1 year or on demand	More than 1 year but within 2 years	More than 2 years but within 5 years	More than 5 years	Total contractual undiscounted cash outflow	
Current liabilities						
Trade payables	(2,342)	–	–	–	(2,342)	(2,342)
Accruals and other payables	(3,887)	–	–	–	(3,887)	(3,887)
Carrier licence fee liabilities	(209)	–	–	–	(209)	(195)
Amount due to a fellow subsidiary	(2,855)	–	–	–	(2,855)	(2,855)
Lease liabilities	(1,119)	–	–	–	(1,119)	(1,065)
	(10,412)	–	–	–	(10,412)	(10,344)
Non-current liabilities						
Long-term borrowings (note (i))	(985)	(6,118)	(19,959)	(20,865)	(47,927)	(40,358)
Derivative financial instruments (note (ii))	28	27	(72)	(28)	(45)	(38)
Carrier licence fee liabilities	–	(170)	(234)	(219)	(623)	(527)
Lease liabilities	–	(696)	(865)	(250)	(1,811)	(1,697)
Other long-term liabilities (note (iii))	(15)	(2)	(767)	(1,035)	(1,819)	(1,197)
	(972)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(52,225)	(43,817)
Total	(11,384)	(6,959)	(21,897)	(22,397)	(62,637)	(54,161)

(i) As at December 31, 2019, bank borrowings of HK\$1,560 million (2018: HK\$1,600 million) included in long-term borrowings were outstanding for financing a 15-year 3G spectrum utilization fee paid upfront by the Groups in 2016.

(ii) As at December 31, 2019, derivative financial instruments included HK\$21 million (2018: nil) of long-term interest payable, which related to interest drawn under an arrangement with a bank to receive agreed amounts by instalments to settle interest payments of a floating-to-fixed interest rate swap contract with a notional contract amount of HK\$1,000 million (2018: nil).

(iii) As at December 31, 2019, other long-term liabilities included HK\$304 million (2018: HK\$232 million) of long-term interest payable, which related to interest drawn under an arrangement with a bank to receive agreed amounts by instalments to settle interest payments of a fixed-to-fixed cross currency swap contract with a notional contract amount of EUR200 million (approximately HK\$1,665 million) (2018: EUR200 million (approximately HK\$1,665 million)) and included HK\$211 million (2018: HK\$43 million) of long-term interest payable, which related to interest drawn under the arrangements with banks to receive agreed amounts by instalments to settle interest payments of fixed-to-fixed cross currency swap contracts with an aggregate notional contract amount of US\$500 million (approximately HK\$3,879 million) (2018: US\$500 million (approximately HK\$3,879 million)). Refer to notes 27(d), 27(a) and 28(a) for details of the guaranteed notes and the derivative financial instruments respectively.

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**c. Market risk**

Market risk comprises foreign currency, interest rate and equity price exposure deriving from the Groups' operation, investment and funding activities. As a matter of policy, the Groups enter into cross currency swap contracts, interest rate swap contracts, foreign exchange forward contracts and other financial instruments to manage their exposure to market risk directly related to their operations and financing. The Groups do not undertake any speculative trading activities in connection with these financial instruments or enter into or acquire high market risk instruments for trading purposes.

The Finance and Management Committee, a sub-committee of the Executive Committee of the board of directors of the Company, determines the appropriate risk management activities with the aim of prudently managing the market risk associated with transactions undertaken in the normal course of the Groups' business.

All treasury risk management activities are carried out in accordance with policies and guidelines approved by the Finance and Management Committee, which are reviewed on a regular basis. Early termination and amendments to the terms of the transaction would typically occur when there are changes in the underlying assets or liabilities or in the risk management strategy of the Groups.

In the normal course of business, the Groups use the above-mentioned financial instruments to limit their exposure to adverse fluctuations in foreign exchange rates and interest rates. These instruments are executed with creditworthy financial institutions and all contracts are denominated in major currencies.

i. Foreign currency risk

The Groups operate internationally and are exposed to foreign currency risk arising from various currency exposure. Foreign currency risk arises when the Groups' recognized assets and liabilities are denominated in a currency that is not the functional currency of the relevant group entity.

The Groups' borrowings are substantially denominated in Hong Kong dollars, United States dollars and Euro. As at December 31, 2018 and 2019, all of the Groups' borrowings denominated in United States dollars/Euro were swapped into Hong Kong dollars by cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts. Given this, management does not expect that there will be any significant foreign currency risk associated with the Groups' borrowings. Cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts outstanding as at December 31, 2019 with an aggregate notional contract amount of US\$2,720 million (approximately HK\$21,178 million) (2018: US\$2,125 million (approximately HK\$16,478 million)) and EUR200 million (approximately HK\$1,665 million) (2018: EUR200 million (approximately HK\$1,665 million)) were designated or re-designated as cash flow hedges against foreign currency risk.

In respect of trade receivables and payables held in currencies other than the functional currency of the operations to which they relate, the Groups ensure that the net exposure is kept to an acceptable level by buying or selling foreign currencies at spot or forward rates where necessary to address short-term imbalances.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

c. Market risk (continued)

i. Foreign currency risk (continued)

The following table details the Groups' exposure at the end of the reporting period to currency risk arising from significant monetary assets or liabilities denominated in foreign currencies:

In HK\$ million	2018		2019	
	United States Dollars	Euro	United States Dollars	Euro
Trade receivables	1,359	194	1,329	86
Cash and cash equivalents	722	191	715	58
Trade payables	(1,140)	(65)	(1,542)	(67)
Lease liabilities	(142)	(8)	(107)	(14)
Long-term borrowings	(15,871)	(1,761)	(19,643)	(1,713)
Gross exposure arising from monetary liabilities	(15,072)	(1,449)	(19,248)	(1,650)
Net monetary (assets)/liabilities denominated in respective entities' functional currencies	(128)	(108)	82	(58)
Borrowings with hedging instruments	15,871	1,761	19,643	1,713
Overall net exposure	671	204	477	5

As at December 31, 2019, if the Hong Kong dollar had weakened/strengthened by 1% against the United States dollar, with all other variables held constant, the profit after tax of the Groups for the year would have increased/decreased by approximately HK\$4 million (2018: HK\$6 million), mainly as a result of foreign exchange gains/losses on translation of United States dollar denominated monetary assets and liabilities which are not hedged by hedging instruments. Meanwhile, the hedging reserve and costs of hedging reserve of the Groups as at December 31, 2019 would have collectively debited/credited by approximately HK\$196 million (2018: HK\$159 million), mainly as a result of foreign exchange losses/gains on the long-term borrowings being hedged by cross currency swap contracts and foreign exchange forward contracts.

As at December 31, 2019, if the Hong Kong dollar had weakened/strengthened by 5% against the Euro, with all other variables held constant, the profit after tax of the Groups for the year would have increased/decreased by an immaterial amount (2018: approximately HK\$9 million), mainly as a result of foreign exchange gains/losses on translation of Euro denominated monetary assets and liabilities which are not hedged by hedging instruments. Meanwhile, the hedging reserve and costs of hedging reserve of the Groups as at December 31, 2019 would have collectively debited/credited by approximately HK\$86 million (2018: HK\$88 million), mainly as a result of foreign exchange losses/gains on the long-term borrowings being hedged by a cross currency swap contract.

The sensitivity analysis has been determined assuming that the change in foreign exchange rates occurred as at the end of the reporting period and applied to the Groups' exposure to currency risk for monetary assets and liabilities in existence at those dates, and that all other variables, in particular interest rates, remained constant.

The stated changes represent management's assessment of reasonably possible changes in foreign exchange rates over the period until the end of the next annual reporting period. In this respect, it is assumed that the pegged rate between the Hong Kong dollar and the United States dollar would be materially unaffected by any change in the movement in value of the United States dollar against other currencies. The analysis was performed on the same basis for the years ended December 31, 2018 and 2019.

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**c. Market risk (continued)****ii. Interest rate risk**

Given the relatively insignificant amount of interest-bearing assets, the Groups' income and operating cash flows are substantially independent of changes in market interest rates.

The Groups' interest rate risk arises primarily from long-term borrowings. Borrowings at variable rates and fixed rates expose the Groups to cash flow interest rate risk and fair value interest rate risk respectively. In addition, from time to time, the Groups draw under long-term revolving credit facilities which are substantially denominated in Hong Kong dollars with floating rate interest.

The Groups have entered into floating-to-fixed interest rate swap contracts to hedge the cash flow interest rate risk arising from the Groups' certain floating rate long-term borrowings.

The following table details the interest rate profile of the Groups' borrowings at the end of the reporting period, after taking into account the effect of the cash flow hedging instruments:

	2018		2019	
	Effective interest rate		Effective interest rate	
	%	HK\$ million	%	HK\$ million
Net fixed rate borrowings:				
Long-term bank borrowings with hedging instruments	1.84	1,492	2.34	6,320
Long-term borrowings with hedging instruments	3.84	17,632	3.74	21,356
Variable rate borrowings:				
Long-term bank borrowings	2.49	21,045	2.75	12,682
Total borrowings		40,169		40,358

As at December 31, 2019, if the interest rate on variable rate borrowings had increased/decreased by 50 basis points (2018: 50 basis points), with all other variables held constant, the Groups' profit after tax for the year would have decreased/increased by approximately HK\$53 million (2018: HK\$89 million), mainly as a result of higher/lower interest expense on floating rate borrowings in existence at the end of the reporting period.

The sensitivity analysis above has been determined assuming that the change in interest rate occurred as at the end of the reporting period and applied to the exposure to interest rate risk for the Groups' floating rate borrowings in existence at those dates. The 50 basis points (2018: 50 basis points) increase or decrease represents management's assessment of a reasonably possible change in interest rates over the period until the end of the next annual reporting period. The analysis was performed on the same methodology for 2018 and 2019.

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

c. Market risk (continued)

iii. Equity price risk

The Groups are exposed to equity price changes arising from equity investments. Other than unquoted equity securities held for strategic purposes, all of these investments are listed on recognized stock exchange markets.

Given the insignificant portfolio of listed equity securities held by the Groups, management believes that the Groups' equity price risk is minimal.

Performance of the Groups' unquoted investments held for long-term strategic purposes is assessed at least semi-annually against the performance of the associated business as well as similar listed entities, based on the limited information available to the Groups, together with an assessment of their relevance to the Groups' long term strategic plans.

d. Fair values of financial instruments measured at amortized cost

All financial instruments were carried at amounts not materially different from their fair values as at December 31, 2019 except as follows:

In HK\$ million	2018		2019	
	Carrying amount	Fair value	Carrying amount	Fair value
Long-term borrowings	40,169	39,736	40,358	40,860

The fair values of long-term borrowings are the net present value of the estimated future cash flows discounted at the prevailing market rates. The fair values are within level 2 of the fair value hierarchy (see note 36(e)).

e. Estimation of fair values

Financial instruments carried at fair value are analyzed by valuation method and the different levels are defined as follows:

- Level 1: The fair value of financial instruments traded in active markets (such as publicly traded derivatives and equity securities) is based on quoted market prices at the end of the reporting period. The quoted market price used for the financial assets held by the Groups is the current bid price. These instruments are included in level 1.
- Level 2: The fair value of financial instruments that are not traded in an active market (for example, over-the-counter derivatives) is determined using valuation techniques which maximize the use of observable market data and rely as little as possible on entity-specific estimates. If all significant inputs required to fair value an instrument are observable, the instrument is included in level 2.
- Level 3: If one or more of the significant inputs is not based on observable market data, the instrument is included in level 3. This is the case for unlisted securities and equity investments.

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)**e. Estimation of fair values (continued)**

The following tables present the Groups' financial assets and liabilities that were measured at fair value:

In HK\$ million	2018			Total
	Level 1	Level 2	Level 3	
Assets				
Financial assets at FVOCI				
– Unlisted securities	–	–	77	77
Derivative financial instruments (non-current)	–	148	–	148
Financial assets at FVPL				
– Listed securities (non-current)	8	–	–	8
– Listed securities (current)	12	–	–	12
Total assets	20	148	77	245
Liabilities				
Derivative financial instruments (non-current)	–	(152)	–	(152)
In HK\$ million	2019			Total
	Level 1	Level 2	Level 3	
Assets				
Financial assets at FVOCI				
– Unlisted securities	–	–	124	124
Derivative financial instruments				
– non-current	–	284	–	284
– current	–	6	–	6
Financial assets at FVPL				
– Unlisted securities (non-current)	–	–	31	31
– Listed securities (non-current)	1	–	–	1
– Listed securities (current)	12	–	–	12
Total assets	13	290	155	458
Liabilities				
Derivative financial instruments (non-current)	–	(38)	–	(38)

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

36 FINANCIAL INSTRUMENTS (CONTINUED)

e. Estimation of fair values (continued)

Instruments included in level 1 comprised PCCW Shares acquired or subscribed under PCCW Share Award Schemes and classified as financial assets at FVPL.

Instruments included in level 2 comprised cross currency swap contracts, interest rate swap contracts and foreign exchange forward contracts classified as derivative financial instruments. In measuring the swap transactions, the fair value is the net present value of the estimated future cash flows discounted at the market quoted swap rates. The fair value of the foreign exchange forward contracts is calculated based on the prevailing market foreign exchange rates quoted for contracts with the same notional amounts adjusted for maturity differences.

Instruments included in level 3 comprised investments in unlisted instruments classified as financial assets at FVOCI or financial assets at FVPL. During the year ended December 31, 2019, there was an addition of HK\$78 million in the instruments included in level 3 (2018: nil).

For unlisted securities or financial assets without an active market, the Groups establish the fair value by using valuation techniques including the use of recent arm's length transactions, reference to other instruments that are substantially the same, and discounted cash flow analysis, making maximum use of market inputs and relying as little as possible on entity-specific inputs.

There were no transfers of financial assets and liabilities between fair value hierarchy classifications during the years ended December 31, 2018 and 2019.

There were no material changes in valuation techniques during the years ended December 31, 2018 and 2019.

f. Groups' valuation process

The Groups perform and monitor the valuations of financial assets required for financial reporting purposes, including level 3 fair values. Material movements in valuations are reported to senior management immediately. Valuation results are reviewed by senior management at least on a semi-annual basis.

37 COMMITMENTS

a. Capital

As at December 31, 2019, capital commitments authorized and contracted for by nature were as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Investments	–	239
Acquisition of property, plant and equipment	783	1,020
	783	1,259

37 COMMITMENTS (CONTINUED)**b. Committed leases not yet commenced**

As at December 31, 2019, the total future lease payments for leases committed but not yet commenced were payable as follows:

Land and buildings

In HK\$ million	2018	2019
Within 1 year	18	11
After 1 year but within 5 years	33	12
	51	23

Network capacity and equipment

In HK\$ million	2018	2019
Within 1 year	110	111
After 1 year but within 5 years	2	28
	112	139

c. Others

As at December 31, 2019, the Groups had other outstanding commitments as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Operating expenditure commitments	3,514	4,037

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

37 COMMITMENTS (CONTINUED)

d. Lease receivables

i. As at December 31, 2019, the maturity analysis of the lease receivables under non-cancellable finance leases is as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Within 1 year	71	58
After 1 year but within 2 years	56	42
After 2 years but within 3 years	42	40
After 3 years but within 4 years	40	33
After 4 years but within 5 years	33	14
After 5 years	106	93
Total contractual undiscounted lease receivables*	348	280
Less: interest income relating to future periods	(37)	(32)
Carrying amount	311	248
Less: amounts receivables within one year included under current assets	(67)	(54)
Non-current portion	244	194

* The majority of the leases typically run for periods of 3 to 15 years (2018: 3 to 15 years).

ii. As at December 31, 2019, the maturity analysis of the total future minimum lease receipts under non-cancellable operating leases is as follows:

In HK\$ million	2018	2019
Within 1 year	49	50
After 1 year but within 2 years	30	31
After 2 years but within 3 years	15	10
After 3 years but within 4 years	5	—
	99	91

The Groups lease out properties under operating leases. The majority of the leases typically run for periods of 1 to 15 years (2018: 1 to 15 years). None of the leases include material contingent rentals.

38 CONTINGENT LIABILITIES

In HK\$ million	2018	2019
Performance guarantees	249	740
Guarantees given to banks in respect of credit facilities granted to an associate	56	52
Others	8	11
	313	803

The Groups are subject to certain corporate guarantee obligations to guarantee the performance of their subsidiaries in the normal course of their businesses. The amount of liabilities arising from such obligations, if any, cannot be ascertained but the directors are of the opinion that any resulting liability will not materially affect the financial position of the Groups.

39 BANK LOAN FACILITIES

Aggregate bank loan facilities as at December 31, 2019 was HK\$28,348 million (2018: HK\$27,442 million) of which the unused facilities amounted to HK\$9,190 million (2018: HK\$4,710 million).

All of the Groups' banking facilities are subject to the fulfilment of covenants relating to certain of the Groups' consolidated statement of financial position ratios, as are commonly found in lending arrangements with financial institutions. If the Groups were to breach the covenants, the drawn down facilities would become payable on demand. The Groups regularly monitor their compliance with these covenants. As at December 31, 2019, the Groups were in compliance with the covenants relating to drawn down facilities. Further details of the Groups' management of liquidity risk are set out in note 36(b).

Summaries of long-term borrowings are set out in note 27.

40 CHANGE IN OWNERSHIP INTERESTS IN A SUBSIDIARY WITHOUT A LOSS OF CONTROL

During the year ended December 31, 2019, the Groups acquired the remaining 50% equity interests in a then indirect non-wholly owned subsidiary, 盈環網絡技術(上海)有限公司 (HKT Teleservices (China) Limited*), at an aggregate consideration of RMB7 million (equivalent to approximately HK\$8 million). The debit balance of carrying amount of the non-controlling interests on the date of acquisition was HK\$11 million. The Groups recognized a decrease in equity attributable to the holders of Share Stapled Units/shares of the Company of HK\$19 million. Immediately after the acquisition, the Groups hold the entire equity interests in HKT Teleservices (China) Limited*.

* Unofficial company name

NOTES TO THE HKT TRUST AND HKT LIMITED CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (CONTINUED)

December 31, 2019

41 POSSIBLE IMPACT OF NEW AND AMENDED STANDARDS ISSUED BUT NOT YET EFFECTIVE FOR THE ANNUAL ACCOUNTING PERIOD ENDED DECEMBER 31, 2019

Up to the date of approval of these consolidated financial statements, the HKICPA has issued the following new and amended standards which are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2019 and which have not been early adopted in these consolidated financial statements:

		Effective for accounting periods beginning on or after
HKAS 1 (Revised) (Amendments)	Presentation of Financial Statements	January 1, 2020
HKAS 8 (Amendments)	Accounting Policies, Changes in Accounting Estimates and Errors	January 1, 2020
HKAS 39 (Amendments)	Financial Instruments: Recognition and Measurement	January 1, 2020
HKFRS 3 (Revised) (Amendments)	Business Combinations	January 1, 2020
HKFRS 7 (Amendments)	Financial Instruments: Disclosures	January 1, 2020
HKFRS 9 (2014) (Amendments)	Financial Instruments	January 1, 2020
HKFRS 17	Insurance Contracts	January 1, 2021
Conceptual Framework for Financial Reporting 2018		January 1, 2020

Apart from the above, a number of improvements and minor amendments to Hong Kong Financial Reporting Standards have also been issued by the HKICPA but they are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2019 and have not been early adopted in these consolidated financial statements.

None of the above is expected to have a significant effect on the result of operation and financial position of the Groups.

（２）【損益計算書】

本グループ及びHKTリミテッド・グループの損益計算書については、上記「１ 財務諸表－（１）貸借対照表」の項目に記載したHKTトラスト及びHKTリミテッド連結損益計算書を参照のこと。

（３）【投資有価証券明細表等】**①【投資株式明細表】**

「第一部―第１ ファンドの状況―５ 運用状況―（２）投資資産―①投資有価証券の主要銘柄」を参照のこと。

②【株式以外の投資有価証券明細表】

該当事項なし。

③【投資不動産明細表】

該当事項なし。

④【その他投資資産明細表】

該当事項なし。

⑤【借入金明細表】

該当事項なし。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

(2020年12月31日現在)

	百万香港ドル	百万円
I. 資産総額	103,171	1,471,218
II. 負債総額	65,271	930,764
III. 純資産総額（I－II）	37,900	540,454
IV. 発行済数量	7,575,742,334口	
V. 1単位当たり純資産額（III/IV）	5.0028香港ドル	71.33円

(注) 上記は、2020年12月31日に終了した会計年度の本グループの連結財務書類に基づくものである。

第4【外国投資信託受益証券事務の概要】

（1）本受益証券の名義書換

登録手続

HKTトラストの本受益証券登録簿は、コンピュータシェア・香港・インベスター・サービスズ・リミテッド（Computershare Hong Kong Investor Services Limited）により香港において備え置かれる。

HKTリミテッドの主要な本株主名簿は、メイプルズ・ファンド・サービスズ（ケイマン）リミテッド（Maples Fund Services (Cayman) Limited）によりケイマン諸島において備え置かれ、HKTリミテッドの香港株主名簿は、コンピュータシェア・香港・インベスター・サービスズ・リミテッドにより香港において備え置かれる。HKTリミテッド取締役が別段同意する場合を除き、全ての譲渡及び本株式ステープル受益証券の権利に関するその他の書類は、香港におけるHKTリミテッドの支店株主名簿への登録のため提出され、登録されなければならない、ケイマン諸島に留めてはならない。

本株式ステープル受益証券登録簿は、コンピュータシェア・香港・インベスター・サービスズ・リミテッドにより香港において備え置かれる。

本株式ステープル受益証券登録機関の住所：

香港、ワンチャイ、183 クイーンズ・ロード・イースト、ホープウェル・センター、17階、店舗番号1712-1716 コンピュータシェア・香港・インベスター・サービスズ・リミテッド

（Computershare Hong Kong Investor Services Limited, Shops 1712-1716, 17th Floor, Hopewell Centre, 183 Queen's Road East, Wan Chai, Hong Kong）

主要な本株主名簿が保管されている場所の住所：

ケイマン諸島、KY1-1102、グランド・ケイマン、クリケット・スクエア、バウンダリー・ホール

（Boundary Hall, Cricket Square, Grand Cayman, KY1-1102, Cayman Islands）

香港株主名簿が保管されている場所の住所：

香港、ワンチャイ、183 クイーンズ・ロード・イースト、ホープウェル・センター、17階、店舗番号1712-1716

（Shops 1712-1716, 17th Floor, Hopewell Centre, 183 Queen's Road East, Wan Chai, Hong Kong）

本株式ステープル受益証券を香港証券取引所に上場している場合には、その限りにおいて、CCASS参加者間における本株式ステープル受益証券の譲渡は、CCASSの規則及び手続に従って、CCASSを通じて電子的に実行され、当該譲渡した本株式ステープル受益証券に関する適切な記録をCCASSの記録簿に記載するものとする。

CCASSに預託されていない本株式ステープル受益証券について、各本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者はいずれも、当該保有者が保有する本株式ステープル受益証券（本株式ステープル受益証券の名簿上の共同保有者の場合には、当該共同保有者全員が保有する本株式ステープル受益証券）を以下の通り譲渡することができる。

- （a） 本株式ステープル受益証券の譲渡は、（1）当該本株式ステープル受益証券につき発行された本券面を添付した、HKTリミテッド及び本トラスティ・マネジャーが随時承認する様式による書面の譲渡証書によって、又は（2）その他の随時本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが承認する方法により行われる。
- （b） 本株式ステープル受益証券に係る譲渡証書はいずれも、譲渡人及び譲受人が署名することを要する。当該譲渡に関して譲受人の氏名が本株式ステープル受益証券登録簿に記載されるまでは、譲渡人は、引き続き当該譲渡される本株式ステープル受益証券の保有者とみなされるものとする。譲渡証書は、捺印証書であることを要しない。本トラスティ・マネジャーは、譲渡人又は譲受人から要求を受けたときに、機械による署名を付して作成された譲渡証書を受理することに同意することができる。決済機関の機械による印字の署名を付して作成された譲渡証書は、受理可能なものとする。

譲渡証券はいずれも、（法令により要求されている場合に）適式に印紙が貼付され、当該本株式ステープル受益証券につき発行された本券面、関連法令に基づき要求される必要な申告書その他の文書及び譲渡人の有する権原又は本株式ステープル受益証券を譲渡する権利を証明するために登録機関又は本トラスティ・マネジャーが要求する証拠を添付して、登録のために登録機関（登録機関が存在しない場合には、本トラスティ・マネジャー）に預託しなければならない。登録機関（登録機関が存在しない場合には、本トラスティ・マネジャー）は、譲渡人が本券面の代替券面を申請する場合に生じる要件と同様の要件を充足すれば、紛失、盗失又は破棄された本券面の提出を免除することができる。CCASSに預託されていない本株式ステープル受益証券については、本株式ステープル受益証券の各譲渡の日付並びに譲受人の氏名及び住所を記載するために、本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドが本株式ステープル受益証券登録簿（及びその他の登録簿）を変更するか、又は変更させるものとする。

本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者はいずれも、本株式ステープル受益証券登録簿が閉鎖されている期間中、本株式ステープル受益証券の譲渡登録を要求することはできない。

手数料

本株式ステープル受益証券の譲渡人は、本トラスティ・マネジャーに手数料を支払うことを要求されない。本株式ステープル受益証券の譲渡人は、0.005%の香港証券取引所取引手数料、0.0027%の香港証券先物委員会取引賦課金、0.1%の印紙税並びにその他のブローカー費用及びその他の費用の通常の標準的な請求額を支払う。

日本においては、本株式ステープル受益証券の名義書換取扱場所又は名義書換代理人は存在しない。実質受益者と、窓口証券会社との間の外国証券取引口座に関する取決により、実質受益者の名義で取引口座が開設される。売買の執行、売買代金の決済、証券の保管及びその他本株式ステープル受益証券の取引に関する事項は全てこの取引口座を通じて処理される。各窓口証券会社は、取引口座を有する全ての実質受益者の明細表を維持し、かかる明細表には各実質受益者の名前及びそれら実質受益者の各人の代わりに保有される本株式ステープル受益証券の口数が記載される。

（２）受益者に対する特典

本株式ステープル受益証券の保有者は、上場会社の株主と同様の権利を全て有する。さらに、本株式ステープル受益証券の保有者は、本信託証券に基づく本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの義務の履行を強制し、保有割合に応じて実施が発表された分配金を受領する権利を有する。これらを除いて、本株式ステープル受益証券の保有者に対する特典は存在しない。

（３）譲渡制限

本株式ステープル受益証券は、（i）本株式ステープル受益証券の個々の構成要素（すなわち、本受益証券、本普通株式に係る実質的持分及び本優先株式）としてではなく、本株式ステープル受益証券の形式で、かつ（ii）本株式ステープル受益証券１口の倍数単位でのみ、譲渡することができるものとする。いずれの譲渡も、譲渡登録することにより譲渡人又は譲受人が１口に満たない本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者となる場合には、登録してはならない。本株式ステープル受益証券の権原は、本信託証券に従って、本株式ステープル受益証券を譲渡し又は移転し、かつ本株式ステープル受益証券登録簿に譲受人を登録する手続を取る場合に限り、移転する。本株式ステープル受益証券登録簿の記載事項は、（明白な誤りの場合を除き）、本株式ステープル受益証券名簿上の保有者それぞれが保有する本株式ステープル受益証券の個数、及び当該本株式ステープル受益証券につき当該本株式ステープル受益証券の名簿上の保有者が有する権原を証す確定証拠に当たるものとする。

第二部【特別情報】

第1【管理会社の概況】

1【管理会社の概況】

（1）HKTマネジメント・リミテッド

① 資本金の額

1.00香港ドル

② 授権株式数

該当事項なし。

③ 発行済株式数

1株

④ 最近5年間における資本の額の増減

該当事項なし。

（2）会社の機構

「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制」を参照のこと。

2【事業の内容及び営業の概況】

本トラスティ・マネジャーは、本信託証書に基づきHKTトラストの運営・管理のみを行うことができる。

3【管理会社の経理状況】

- (1) 以下に記載されている2019年及び2020年12月31日に終了した事業年度の本トラスティ・マネジャーの原文（英文）の監査済財務書類は、香港財務報告基準に準拠して作成されたものである。日本語は、これらの原文を翻訳したものである。

以下に記載されている本トラスティ・マネジャーの財務書類は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。その後の改正を含む。）第131条第5項但書の規定の適用を受けている。

- (2) 以下に記載されている本トラスティ・マネジャーの財務書類は、本トラスティ・マネジャーの本国における独立監査人であり、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定される外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース 香港による、香港公認会計士協会が公表した香港監査基準に準拠した監査手続を受けており、金融商品取引法第193条の2第1項第1号に規定される監査証明に相当すると認められる独立監査人の監査報告書（Independent Auditor's Report）を添付の通り受領している。

- (3) 本トラスティ・マネジャーの財務書類（原文）は、香港ドルで表示されている。主要な勘定科目について円で表示されている金額は、2021年4月1日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値である1香港ドル＝14.26円で換算された金額である。金額は千円単位で表示されている。この換算は、その金額が上記レートで実際に日本円に交換されるか、又は交換され得たであろうというように解釈すべきものではない。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

- (注) 本書に掲載する本トラスティ・マネジャーの財務書類（原文）において、各頁の末尾に頁数及び他頁への参照が記載されていることがあるが、当該頁数及び参照先として記載されている頁数は、香港において開示されている年次報告書における頁数であり、本書の頁数とは一致しない。

（１）【貸借対照表】

A．2020年12月31日に終了した事業年度の財務書類

(1) HKTマネジメント・リミテッド損益計算書（2020年12月31日に終了した事業年度）

	注記	2019年		2020年	
		千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
受取管理報酬		54	770	54	770
一般管理費		(54)	(770)	(54)	(770)
税引前利益	5	—	—	—	—
法人所得税	6	—	—	—	—
当期利益		—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(2) HKTマネジメント・リミテッド包括利益計算書（2020年12月31日に終了した事業年度）

	2019年		2020年	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
当期利益	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(3) HKTマネジメント・リミテッド財政状態計算書（2020年12月31日現在）

	注記	2019年		2020年	
		千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
資産及び負債					
流動資産					
兄弟会社に対する債権	4(c)	384	5,476	438	6,246
		384	5,476	438	6,246
流動負債					
未払費用及びその他の未払金		(52)	(742)	(52)	(742)
兄弟会社に対する債務	4(c)	(332)	(4,734)	(386)	(5,504)
		(384)	(5,476)	(438)	(6,246)
純資産		—	—	—	—
資本金及び剰余金					
株式資本	7	—	—	—	—
剰余金		—	—	—	—
資本合計		—	—	—	—

本財務書類は、2021年2月4日に、取締役会により承認され、公表を承認され、取締役会を代表して以下の取締役により署名された。

リチャード・リ・ツァル・カイ

取締役

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン

取締役

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(4) HKTマネジメント・リミテッド持分変動計算書（2020年12月31日に終了した事業年度）

	2019年					
	株式資本		利益剰余金		合計	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
2019年1月1日現在残高	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計						
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	—	—	—	—
本トラスティ・マネジャーの持分 保有者との取引	—	—	—	—	—	—
2019年12月31日現在残高	—	—	—	—	—	—

	2020年					
	株式資本		利益剰余金		合計	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
2020年1月1日現在残高	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計						
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	—	—	—	—
本トラスティ・マネジャーの持分 保有者との取引	—	—	—	—	—	—
2020年12月31日現在残高	—	—	—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(5) HKTマネジメント・リミテッド キャッシュ・フロー計算書（2020年12月31日に終了した事業年度）

	2019年		2020年	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
営業活動				
税引前利益	—	—	—	—
調整：				
兄弟会社に対する債権の増加	(54)	(770)	(54)	(770)
未払費用及びその他の未払金の増加	1	14	—	—
兄弟会社に対する債務の増加	53	756	54	770
営業活動から得た正味現金	—	—	—	—
投資活動				
投資活動から得た正味現金	—	—	—	—
財務活動				
財務活動から得た正味現金	—	—	—	—
現金及び現金同等物の純増減	—	—	—	—
現金及び現金同等物				
期首残高	—	—	—	—
期末残高	—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(6) HKTマネジメント・リミテッド財務書類に対する注記（2020年12月31日に終了した事業年度）

1 一般事項

HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」という。）は、2011年6月14日に、香港会社条例に基づき香港特別行政区（以下「香港」という。）で設立された。その登記上の事業所は、香港、クオーリ・ベイ、979 キングス・ロード、タイクー・プレイス、PCCWタワー、39階である。本トラスティ・マネジャーは、PCCWリミテッドの間接完全所有子会社である。同社は、本トラスティ・マネジャーの最終的な持株会社でもあり、香港において設立され、その株式は香港証券取引所のメインボードに上場され、米国のOTCマーケット・グループ・インクにおいて米国預託証券の形式で取引されている。

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理という限定的かつ特定の役割を担っている。

本財務書類は、別途記載のない限り、香港ドルで表示されている。

2 作成基準及び主要な会計方針

a. 法令遵守の声明

HKTマネジメント・リミテッドの財務書類は、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している個々の香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）、香港会計基準（以下「HKAS」という。）及び解釈指針の全てに対する総称である香港財務報告基準、香港で一般に公正妥当と認められている会計原則、並びに香港会社条例の規定（第622章）に該当する全てに準拠して作成されている。本トラスティ・マネジャーが適用している主要な会計方針の要約は、以下に記載の通りである。

b. 財務書類の作成基準

以下の新規の又は修正された香港財務報告基準（以下「新規の又は修正HKFRS」という。）は、2020年1月1日に開始する事業年度において適用されているが、当会計期間及び前会計期間に報告された本トラスティ・マネジャーの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすものではない。

- － HKAS第1号(改訂)(修正) 財務諸表の表示
- － HKAS第8号(修正) 会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬
- － HKAS第39号(修正) 金融商品：認識及び測定
- － HKFRS第3号(改訂)(修正) 企業結合
- － HKFRS第7号(修正) 金融商品：開示
- － HKFRS第9号(2014年)(修正) 金融商品
- － HKFRS第16号(修正) リース
- － 財務報告に関する概念フレームワーク(2018年)

本トラスティ・マネジャーは、当会計期間においてまだ効力が発生していないその他の新規の又は修正HKFRS及びHKASのいずれも早期適用していない。その詳細については、注記10を参照のこと。

財務書類の作成にあたり用いられた測定基準は取得原価主義である。

香港財務報告基準に準拠した財務書類の作成において、経営陣は、会計方針の適用、並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り、仮定を行うことが求められる。見積り及び関連する仮定は、過去の経験及びその状況において合理的と考えられる様々なその他の要因に基づいており、その結果は、他の情報源から直ちに明白ではない資産及び負債の帳簿価額についての判断の基礎を形成する。実際の結果は、これらの見積りと異なる場合がある。

見積り及びその基礎となる仮定は継続的に見直しが行われる。会計上の見積りの変更は、変更がその期間のみに影響を及ぼす場合には見積りが変更された期間において認識され、変更が当期と将来の期間の両方に影響を及ぼす場合には変更された期間と将来の期間において認識される。

本財務書類に重大な影響を及ぼす香港財務報告基準の適用にあたり経営陣が行う判断、並びに翌年度の重要な調整という重大なリスクを伴う見積りについては、注記3を参照のこと。

c. 資産の減損

本トラスティ・マネジャーは、償却原価で計上する金融資産に関連する予想信用損失について、将来予測ベースで評価している。

グループ会社間債権について、本トラスティ・マネジャーは、資産の当初認識時にデフォルト確率を、また各報告期間を通じて継続的に信用リスクの著しい増大の有無を検討している。信用リスクの著しい増大の有無を評価するために、本トラスティ・マネジャーは、入手可能な合理的かつ裏付可能な将来予測情報を考慮して、報告日現在の資産に発生している債務不履行リスクと当初認識日現在の債務不履行リスクを比較する。検討事項には以下が含まれる：

- － 内部信用格付け
- － 外部信用格付け（入手可能な限り）
- － 借手の債務履行能力に著しい変化をもたらすと予想される事業、財務又は経済状況の実際の又は予想される著しい不利な変化
- － 借手の経営成績の実際の又は予想される著しい変化
- － 同一の借手の他の金融商品に係る信用リスクの著しい増大
- － 借手の支払状況の変化や借手の経営成績の変化を含む、借手の予想されるパフォーマンスや行動の著しい変化

上記の分析にかかわらず、債務者が延滞し、請求書の支払期日の翌日に未決済残高があるという債務不履行状態にある場合には、信用リスクが著しく増大していると推測される。

各報告日において、あるグループ会社間債権に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合、本トラスティ・マネジャーは、全期間の予想信用損失に等しい金額で、当該グループ会社間債権に対する損失引当金を測定する。報告日において、あるグループ会社間債権に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、本トラスティ・マネジャーは、12ヵ月の予想信用損失に等しい金額で当該グループ会社間債権に対する損失引当金を測定する。

グループ会社間債権は、回収が合理的に見込めない場合に直接償却される。本トラスティ・マネジャーは、グループ会社が所定の限度を超える期間にわたり契約上の支払を行わない場合に、グループ会社間債権を直接償却に分類している。当該債権が直接償却された場合でも、本トラスティ・マネジャーは、期日が到来した債権の回収を試みるために、引き続き履行強制活動を行う。回収が行われた場合には、損益計算書に認識される。

d. 関連当事者

本財務書類の目的上、以下の当事者は本トラスティ・マネジャーに関連するとみなされる。

- i. 当事者は、財務及び経営方針の決定にあたり、直接的又は1社以上の仲介者を通じて間接的に、本トラスティ・マネジャーを支配する、若しくは本トラスティ・マネジャーに対して重要な影響力を行使する能力を有しているか、又は本トラスティ・マネジャーに対する共同支配権を有している。
- ii. 本トラスティ・マネジャーと当事者は共通の支配下にある。
- iii. 当事者は本トラスティ・マネジャーの関連会社であるか、又は本トラスティ・マネジャーが出資する共同支配企業である。
- iv. 当事者は、本トラスティ・マネジャー若しくは本トラスティ・マネジャーの親会社の重要な経営幹部の一員であるか、又はその経営幹部個人の近親者であるか、あるいはかかる個人の支配下、共同支配下若しくは重要な影響下にある事業体である。
- v. 当事者が上記注 i の当事者の近親者であるか、又はかかる当事者の支配下、共同支配下若しくは重要な影響下にある事業体である。
- vi. 当事者は、本トラスティ・マネジャー又は本トラスティ・マネジャーの関連当事者である事業体の従業員の利益を目的とした退職後給付制度である。あるいは
- vii. 当該事業体が本トラスティ・マネジャーに主要な経営幹部サービスを提供している。

個人の近親者とは、事業体との取引において、かかる個人に影響を与える、又は影響を受けることが見込まれる家族のことである。

3 重要な会計上の見積り及び判断

見積り及び判断は継続的に評価されており、これらは過去の経験、及びその状況において合理的と考えられる将来の事象の予測を含む、その他の要因に基づいている。本トラスティ・マネジャーは、その経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすような会計上の見積り及び判断を行っていない。

4 関連当事者取引

当期において、本トラスティ・マネジャーと関連当事者との重大な取引は以下の通りであった。

(単位：千香港ドル)

	2019年	2020年
兄弟会社からの未収管理報酬	54	54

- a. この取引は、通常の事業活動において本トラスティ・マネジャーと関連当事者が協議した後に実施されたものであり、取締役が決定した見積市場価値に基づいている。
- b. 2019年及び2020年12月31日に終了した事業年度において、本トラスティ・マネジャーの取締役の報酬は、本トラスティ・マネジャーの兄弟会社が負担した。
- c. 兄弟会社に対する債権／債務は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。

5 税引前利益

税引前利益は以下の項目考慮後で計上されていた。

(単位：千香港ドル)

	2019年	2020年
監査人の報酬	54	54

6 法人所得税

2019年及び2020年12月31日に終了した事業年度において、本トラスティ・マネジャーにはいかなる課税所得もないため、香港の収益税は計上されていなかった。

2019年及び2020年12月31日現在、繰延税金資産及び負債は認識されていなかった。

7 株式資本

	2019年		2020年	
	株式数	価値 (香港ドル)	株式数	価値 (香港ドル)
発行済かつ全額払込済：				
額面なしの普通株式				
期首及び期末残高	1	1	1	1

8 資本管理

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理という特定かつ限定的な役割を担っている。本トラスティ・マネジャーの兄弟会社であるHKTリミテッド及びHKTリミテッドの事業子会社が管理する電気通信事業の経営には積極的に携わっていない。したがって、本トラスティ・マネジャーは、外部から課される資本要件の対象になっていない。

9 金融商品

本トラスティ・マネジャーの主要業務は、HKTトラストの管理であるため、本トラスティ・マネジャーは、信用リスク、流動性リスク及び市場リスク（外貨リスク及び金利リスクを含む）に晒されることはない。リスク管理は、取締役会が承認した方針に基づき実施されている。

10 公表済みであるが2020年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じていない新規及び修正された基準の影響の可能性

本財務書類の承認日までに、HKICPAは、以下の新規及び修正された基準を公表したが、2020年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本財務書類においても早期適用は行われていない。

		適用される会計期間 の開始日
HKAS第1号(改訂)(修正)	財務諸表の表示	2023年1月1日
HKAS第16号(修正)	有形固定資産	2022年1月1日
HKAS第28号(2011年)(修正)	関連会社及び共同支配企業に対する投資	未定
HKAS第37号(修正)	引当金、偶発負債及び偶発資産	2022年1月1日
HKFRS第3号(改訂)(修正)	企業結合	2022年1月1日
HKFRS第10号(修正)	連結財務諸表	未定
HKFRS第17号	保険契約	2023年1月1日
HKFRS2018年－2020年年次改善		2022年1月1日

上記の他に、多数の香港財務報告基準の改善及び軽微な修正もHKICPAによって公表されているが、これらは2020年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本財務書類においても早期適用は行われていない。

上記のいずれも、本トラスティ・マネジャーの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすとは見込まれていない。

[次へ](#)

INCOME STATEMENT OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$'000	Note	2019	2020
Management fee income		54	54
General and administrative expenses		(54)	(54)
Result before income tax	5	–	–
Income tax	6	–	–
Result for the year		–	–

The notes on pages 207 to 210 form part of these financial statements.

STATEMENT OF COMPREHENSIVE INCOME OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$'000	2019	2020
Result for the year	-	-
Other comprehensive income	-	-
Total comprehensive income for the year	-	-

The notes on pages 207 to 210 form part of these financial statements.

STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF HKT MANAGEMENT LIMITED

As at December 31, 2020

In HK\$'000	Note	2019	2020
ASSET AND LIABILITIES			
Current asset			
Amount due from a fellow subsidiary	4(c)	384	438
		384	438
Current liabilities			
Accruals and other payables		(52)	(52)
Amounts due to fellow subsidiaries	4(c)	(332)	(386)
		(384)	(438)
Net assets		-	-
CAPITAL AND RESERVES			
Share capital	7	-	-
Reserves		-	-
Total equity		-	-

Approved and authorized for issue by the board of directors (the "Board") on February 4, 2021 and signed on behalf of the Board by

Li Tzar Kai, Richard
Director

Hui Hon Hing, Susanna
Director

The notes on pages 207 to 210 form part of these financial statements.

STATEMENT OF CHANGES IN EQUITY OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$'000	Share capital	2019 Retained profits	Total
At January 1, 2019	-	-	-
Total comprehensive income for the year			
Result for the year	-	-	-
Other comprehensive income	-	-	-
Total comprehensive income for the year	-	-	-
Transactions with the equity holder of the Company	-	-	-
At December 31, 2019	-	-	-

In HK\$'000	Share capital	2020 Retained profits	Total
At January 1, 2020	-	-	-
Total comprehensive income for the year			
Result for the year	-	-	-
Other comprehensive income	-	-	-
Total comprehensive income for the year	-	-	-
Transactions with the equity holder of the Company	-	-	-
At December 31, 2020	-	-	-

The notes on pages 207 to 210 form part of these financial statements.

STATEMENT OF CASH FLOWS OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2020

In HK\$'000	2019	2020
OPERATING ACTIVITIES		
Result before income tax	-	-
Adjustments for:		
Increase in amount due from a fellow subsidiary	(54)	(54)
Increase in accruals and other payables	1	-
Increase in amounts due to fellow subsidiaries	53	54
NET CASH GENERATED FROM OPERATING ACTIVITIES	-	-
INVESTING ACTIVITIES		
NET CASH GENERATED FROM INVESTING ACTIVITIES	-	-
FINANCING ACTIVITIES		
NET CASH GENERATED FROM FINANCING ACTIVITIES	-	-
NET CHANGE IN CASH AND CASH EQUIVALENTS	-	-
CASH AND CASH EQUIVALENTS		
Beginning of year	-	-
End of year	-	-

The notes on pages 207 to 210 form part of these financial statements.

NOTES TO THE FINANCIAL STATEMENTS OF HKT MANAGEMENT LIMITED

December 31, 2020

1 GENERAL INFORMATION

HKT Management Limited (the "Company") was incorporated in the Hong Kong Special Administrative Region ("Hong Kong") under the Hong Kong Companies Ordinance on June 14, 2011. Its registered office is located at 39th Floor, PCCW Tower, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong. The Company is an indirect wholly-owned subsidiary of PCCW Limited, which is also the ultimate holding company of the Company incorporated in Hong Kong with its shares listed on the Main Board of The Stock Exchange of Hong Kong Limited and traded in the form of American Depositary Receipts on the OTC Markets Group Inc. in the United States.

The Company has a limited and specific role, which is to administer the HKT Trust.

The financial statements are presented in Hong Kong dollars, unless otherwise stated.

2 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES

a. Statement of compliance

HKT Management Limited's financial statements have been prepared in accordance with all applicable Hong Kong Financial Reporting Standards, which is a collective term for all individual Hong Kong Financial Reporting Standards ("HKFRSs"), Hong Kong Accounting Standards ("HKASs") and Interpretations issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants ("HKICPA"), accounting principles generally accepted in Hong Kong and the requirements of the Hong Kong Companies Ordinance (Cap. 622). A summary of the principal accounting policies adopted by the Company is set out below.

b. Basis of preparation of the financial statements

The following new or amended Hong Kong Financial Reporting Standards (the "new or amended HKFRSs") are adopted for the financial year beginning January 1, 2020, but have no material effect on the Company's reported results and financial position for the current and prior accounting periods.

- HKAS 1 (Revised) (Amendments), *Presentation of Financial Statements*
- HKAS 8 (Amendments), *Accounting Policies, Changes in Accounting Estimates and Errors*
- HKAS 39 (Amendments), *Financial Instruments: Recognition and Measurement*
- HKFRS 3 (Revised) (Amendments), *Business Combinations*
- HKFRS 7 (Amendments), *Financial Instruments: Disclosures*
- HKFRS 9 (2014) (Amendments), *Financial Instruments*
- HKFRS 16 (Amendments), *Leases*
- Conceptual Framework for Financial Reporting 2018

The Company has not early adopted any other new or amended HKFRSs and HKASs that are not yet effective for the current accounting period, details of which are set out in note 10.

The measurement basis used in the preparation of the financial statements is the historical cost basis.

The preparation of financial statements in conformity with Hong Kong Financial Reporting Standards requires management to make judgements, estimates and assumptions that affect the application of accounting policies and reported amounts of assets, liabilities, income and expenses. The estimates and associated assumptions are based on historical experience and various other factors that are believed to be reasonable under the circumstances, the results of which form the basis of judgements about the carrying amounts of assets and liabilities that are not readily apparent from other sources. Actual results may differ from these estimates.

The estimates and underlying assumptions are reviewed on an ongoing basis. Revisions to accounting estimates are recognized in the period in which the estimate is revised if the revision affects only that period, or in the period of the revision and future periods if the revision affects both current and future periods.

Judgements made by management in the application of Hong Kong Financial Reporting Standards that have significant effect on the financial statements and estimates with a significant risk of material adjustment in the next year are discussed in note 3.

NOTES TO THE FINANCIAL STATEMENTS OF HKT MANAGEMENT LIMITED (CONTINUED)

December 31, 2020

2 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**c. Impairment of assets**

The Company assesses on forward-looking basis the expected credit losses associated with its financial assets carried at amortized cost.

For intercompany receivable, the Company considers the probability of default upon initial recognition of asset and whether there has been a significant increase in credit risk on an ongoing basis throughout each reporting period. To assess whether there is a significant increase in credit risk, the Company compares the risk of a default occurring on the asset as at the reporting date with the risk of default as at the date of initial recognition by considering available reasonable and supportive forward-looking information. Considerations may include:

- internal credit rating;
- external credit rating (as far as available);
- actual or expected significant adverse changes in business, financial or economic conditions that are expected to cause a significant change to the borrower's ability to meet its obligations;
- actual or expected significant changes in the operating results of the borrower;
- significant increases in credit risk on other financial instruments of the same borrower; and
- significant changes in the expected performance and behavior of the borrower, including changes in the payment status of the borrower and changes in the operating results of the borrower.

Regardless of the analysis above, a significant increase in credit risk is presumed if a debtor is delinquent and in default status when there are unsettled amounts remaining on the account on the day after the invoice due date.

At each reporting date, the Company measures the loss allowance for the intercompany receivable at an amount equal to the lifetime expected credit losses if the credit risk on that intercompany receivable has increased significantly since initial recognition. If, at the reporting date, the credit risk on an intercompany receivable has not increased significantly since initial recognition, the Company measures the loss allowance for that intercompany receivable at an amount equal to 12-month expected credit losses.

Intercompany receivable is written off when there is no reasonable expectation of recovery. The Company categorizes an intercompany receivable for write off when the intercompany fails to make contractual payments for a period greater than predefined limit. Where the receivable has been written off, the Company continues to engage in enforcement activity to attempt to recover the receivable due. Where recoveries are made, these are recognized in the income statement.

d. Related parties

For the purposes of these financial statements, a party is considered to be related to the Company if:

- i. the party has the ability, directly or indirectly through one or more intermediaries, to control the Company or exercise significant influence over the Company in making financial and operating policy decisions, or has joint control over the Company;
- ii. the Company and the party are subject to common control;
- iii. the party is an associate of the Company or a joint venture in which the Company is a venturer;
- iv. the party is a member of key management personnel of the Company or the Company's parent, or a close family member of such an individual, or is an entity under the control, joint control or significant influence of such individual;

2 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

d. Related parties (continued)

For the purposes of these financial statements, a party is considered to be related to the Company if: (continued)

- v. the party is a close family member of a party referred to in note i above or is an entity under the control, joint control or significant influence of such party;
- vi. the party is a post-employment benefit plan which is for the benefit of employees of the Company or of any entity that is a related party of the Company; or
- vii. the entity provides key management personnel services to the Company.

Close family members of an individual are those family members who may be expected to influence, or be influenced by, that individual in their dealings with the entity.

3 CRITICAL ACCOUNTING ESTIMATES AND JUDGEMENTS

Estimates and judgements are continually evaluated and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be reasonable under the circumstances. The Company has no accounting estimates and judgements that would significantly affect its results and financial position.

4 RELATED PARTY TRANSACTION

During the year, the Company had the following significant transaction with a related party:

In HK\$'000	2019	2020
Management fee receivable from a fellow subsidiary	54	54

- a. This transaction was carried out after negotiations between the Company and the related party in the ordinary course of business and on the basis of estimated market value as determined by the directors.
- b. The directors' emoluments of the Company were borne by a fellow subsidiary of the Company for the years ended December 31, 2019 and 2020.
- c. The amounts due from/to fellow subsidiaries are unsecured, non-interest bearing, and have no fixed repayment terms.

5 RESULT BEFORE INCOME TAX

Result before income tax was stated after charging the following:

In HK\$'000	2019	2020
Auditor's remuneration	54	54

6 INCOME TAX

No Hong Kong profits tax has been provided as the Company did not have any assessable profit during the years ended December 31, 2019 and 2020.

No deferred income tax asset and liability was recognized as at December 31, 2019 and 2020.

NOTES TO THE FINANCIAL STATEMENTS OF HKT MANAGEMENT LIMITED (CONTINUED)

December 31, 2020

7 SHARE CAPITAL

	2019 Number of share	Share capital HK\$	2020 Number of share	Share capital HK\$
Issued and fully paid:				
Ordinary share of no par value				
Beginning and end of year	1	1	1	1

8 CAPITAL MANAGEMENT

The Company has a specific and limited role to administer the HKT Trust. It is not actively engaged in running the telecommunications business which is managed by HKT Limited, a fellow subsidiary of the Company, and the operating subsidiaries of HKT Limited. Therefore, the Company is not subject to externally imposed capital requirements.

9 FINANCIAL INSTRUMENTS

As the principal activity of the Company is to administer the HKT Trust, the Company is not exposed to credit, liquidity and market risk (including foreign currency risk and interest rate risk). Risk management is carried out under policies approved by the board of directors.

10 POSSIBLE IMPACT OF NEW AND AMENDED STANDARDS ISSUED BUT NOT YET EFFECTIVE FOR THE ANNUAL ACCOUNTING PERIOD ENDED DECEMBER 31, 2020

Up to the date of approval of these financial statements, the HKICPA has issued the following new and amended standards which are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2020 and which have not been early adopted in these financial statements:

		Effective for accounting periods beginning on or after
HKAS 1 (Revised) (Amendments)	Presentation of Financial Statements	January 1, 2023
HKAS 16 (Amendments)	Property, Plant and Equipment	January 1, 2022
HKAS 28 (2011) (Amendments)	Investments in Associates and Joint Ventures	To be announced
HKAS 37 (Amendments)	Provisions, Contingent Liabilities and Contingent Assets	January 1, 2022
HKFRS 3 (Revised) (Amendments)	Business Combinations	January 1, 2022
HKFRS 10 (Amendments)	Consolidated Financial Statements	To be announced
HKFRS 17	Insurance Contracts	January 1, 2023
Annual Improvements to HKFRSs 2018 – 2020		January 1, 2022

Apart from the above, a number of improvements and minor amendments to Hong Kong Financial Reporting Standards have also been issued by the HKICPA but they are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2020 and have not been early adopted in these financial statements.

None of the above is expected to have a significant effect on the result of operation and financial position of the Company.

B．2019年12月31日に終了した事業年度の財務書類**(1) HKTマネジメント・リミテッド損益計算書（2019年12月31日に終了した事業年度）**

	注記	2018年		2019年	
		千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
受取管理報酬		54	770	54	770
一般管理費		(54)	(770)	(54)	(770)
税引前利益	5	—	—	—	—
法人所得税	6	—	—	—	—
当期利益		—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(2) HKTマネジメント・リミテッド包括利益計算書（2019年12月31日に終了した事業年度）

	2018年		2019年	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
当期利益	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(3) HKTマネジメント・リミテッド財政状態計算書（2019年12月31日現在）

	注記	2018年		2019年	
		千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
資産及び負債					
流動資産					
兄弟会社に対する債権	4(c)	330	4,706	384	5,476
		330	4,706	384	5,476
流動負債					
未払費用及びその他の未払金		(51)	(727)	(52)	(742)
兄弟会社に対する債務	4(c)	(279)	(3,979)	(332)	(4,734)
		(330)	(4,706)	(384)	(5,476)
純資産		—	—	—	—
資本金及び剰余金					
株式資本	7	—	—	—	—
剰余金		—	—	—	—
資本合計		—	—	—	—

本財務書類は、2020年2月12日に、取締役会により承認され、公表を承認され、取締役会を代表して以下の取締役により署名された。

リチャード・リ・ツァル・カイ

取締役

スザンナ・フェイ・ホン・ヒン

取締役

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(4) HKTマネジメント・リミテッド持分変動計算書（2019年12月31日に終了した事業年度）

	2018年					
	株式資本		利益剰余金		合計	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
2018年1月1日現在残高	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計						
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	—	—	—	—
本トラスティ・マネジャーの持分 保有者との取引	—	—	—	—	—	—
2018年12月31日現在残高	—	—	—	—	—	—

	2019年					
	株式資本		利益剰余金		合計	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
2019年1月1日現在残高	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計						
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	—	—	—	—
本トラスティ・マネジャーの持分 保有者との取引	—	—	—	—	—	—
2019年12月31日現在残高	—	—	—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(5) HKTマネジメント・リミテッド キャッシュ・フロー計算書（2019年12月31日に終了した事業年度）

	2018年		2019年	
	千香港ドル	千円	千香港ドル	千円
営業活動				
税引前利益	—	—	—	—
調整：				
兄弟会社に対する債権の増加	(54)	(770)	(54)	(770)
未払費用及びその他の未払金の(減少)/増加	(80)	(1,141)	1	14
兄弟会社に対する債務の増加	134	1,911	53	756
営業活動から得た正味現金	—	—	—	—
投資活動				
投資活動から得た正味現金	—	—	—	—
財務活動				
財務活動から得た正味現金	—	—	—	—
現金及び現金同等物の純増減	—	—	—	—
現金及び現金同等物				
期首残高	—	—	—	—
期末残高	—	—	—	—

添付の注記は、本財務書類の一部である。

(6) HKTマネジメント・リミテッド財務書類に対する注記（2019年12月31日に終了した事業年度）

1 一般事項

HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」という。）は、2011年6月14日に、香港会社条例に基づき香港特別行政区（以下「香港」という。）で設立された。その登記上の事業所は、香港、クオーリ・ベイ、979 キングス・ロード、タイクー・プレイス、PCCWタワー、39階である。本トラスティ・マネジャーは、PCCWリミテッドの間接完全所有子会社である。同社は、本トラスティ・マネジャーの最終的な持株会社でもあり、香港において設立され、その株式は香港証券取引所のメインボードに上場され、米国のOTCマーケット・グループ・インクにおいて米国預託証券の形式で取引されている。

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理という限定的かつ特定の役割を担っている。

本財務書類は、別途記載のない限り、千香港ドル単位で表示されている。

2 作成基準及び主要な会計方針

a. 法令遵守の声明

HKTマネジメント・リミテッドの財務書類は、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している個々の香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）、香港会計基準（以下「HKAS」という。）及び解釈指針の全てに対する総称である香港財務報告基準、香港で一般に公正妥当と認められている会計原則、並びに香港会社条例の規定（第622章）に該当する全てに準拠して作成されている。本トラスティ・マネジャーが適用している主要な会計方針の要約は、以下に記載の通りである。

b. 財務書類の作成基準

以下の新規の又は修正された香港財務報告基準（以下「新規の又は修正HKFRS」という。）は、2019年1月1日に開始する事業年度において初度適用が義務付けられているが、当会計期間及び前会計期間に報告された本トラスティ・マネジャーの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすものではない。

- HKAS第19号（2011年）（修正） 従業員給付
- HKAS第28号（2011年）（修正） 関連会社及び共同支配企業に対する投資
- HKFRS第9号（2014年）（修正） 金融商品
- HK(IFRIC)解釈指針第23号 法人所得税の税務処理に関する不確実性
- HKFRS2015年－2017年サイクル年次改善（2018年2月にHKICPAによって公表）

本トラスティ・マネジャーは、当会計期間においてまだ効力が発生していない新規の又は修正HKFRSのいずれも早期適用していない。その詳細については、注記10を参照のこと。

財務書類の作成にあたり用いられた測定基準は取得原価主義である。

香港財務報告基準に準拠した財務書類の作成において、経営陣は、会計方針の適用、並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り、仮定を行うことが求められる。見積り及び関連する仮定は、過去の経験及びその状況において合理的と考えられる様々なその他の要因に基づいており、その結果は、他の情報源から直ちに明白ではない資産及び負債の帳簿価額についての判断の基礎を形成する。実際の結果は、これらの見積りと異なる場合がある。

見積り及びその基礎となる仮定は継続的に見直しが行われる。会計上の見積りの変更は、変更がその期間のみに影響を及ぼす場合には見積りが変更された期間において認識され、変更が当期と将来の期間の両方に影響を及ぼす場合には変更された期間と将来の期間において認識される。

本財務書類に重大な影響を及ぼす香港財務報告基準の適用にあたり経営陣が行う判断、並びに翌年度の重要な調整という重大なリスクを伴う見積りについては、注記3を参照のこと。

c. 資産の減損

本トラスティ・マネジャーは、償却原価で計上する金融資産に関連する予想信用損失について、将来予測ベースで評価している。

グループ会社間債権について、本トラスティ・マネジャーは、資産の当初認識時にデフォルト確率を、また各報告期間を通じて継続的に信用リスクの著しい増大の有無を検討している。信用リスクの著しい増大の有無を評価するために、本トラスティ・マネジャーは、入手可能な合理的かつ裏付可能な将来予測情報を考慮して、報告日現在の資産に発生している債務不履行リスクと当初認識日現在の債務不履行リスクを比較する。検討事項には以下が含まれる：

- － 内部信用格付け
- － 外部信用格付け（入手可能な限り）
- － 借手の債務履行能力に著しい変化をもたらすと予想される事業、財務又は経済状況の実際の又は予想される著しい不利な変化
- － 借手の経営成績の実際の又は予想される著しい変化
- － 同一の借手の他の金融商品に係る信用リスクの著しい増大
- － 借手の支払状況の変化や借手の経営成績の変化を含む、借手の予想されるパフォーマンスや行動の著しい変化

上記の分析にかかわらず、債務者が延滞し、請求書の支払期日の翌日に未決済残高があるという債務不履行状態にある場合には、信用リスクが著しく増大していると推測される。

各報告日において、あるグループ会社間債権に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合、本トラスティ・マネジャーは、全期間の予想信用損失に等しい金額で、当該グループ会社間債権に対する損失引当金を測定する。報告日において、あるグループ会社間債権に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、本トラスティ・マネジャーは、12ヵ月の予想信用損失に等しい金額で当該グループ会社間債権に対する損失引当金を測定する。

グループ会社間債権は、回収が合理的に見込めない場合に直接償却される。本トラスティ・マネジャーは、グループ会社が所定の限度を超える期間にわたり契約上の支払を行わない場合に、グループ会社間債権を直接償却に分類している。当該債権が直接償却された場合でも、本トラスティ・マネジャーは、期日が到来した債権の回収を試みるために、引き続き履行強制活動を行う。回収が行われた場合には、損益計算書に認識される。

d. 関連当事者

本財務書類の目的上、以下の当事者は本トラスティ・マネジャーに関連するとみなされる。

- i. 当事者は、財務及び経営方針の決定にあたり、直接的又は1社以上の仲介者を通じて間接的に、本トラスティ・マネジャーを支配する、若しくは本トラスティ・マネジャーに対して重要な影響力を行使する能力を有しているか、又は本トラスティ・マネジャーに対する共同支配権を有している。
- ii. 本トラスティ・マネジャーと当事者は共通の支配下にある。
- iii. 当事者は本トラスティ・マネジャーの関連会社であるか、又は本トラスティ・マネジャーが出資する共同支配企業である。
- iv. 当事者は、本トラスティ・マネジャー若しくは本トラスティ・マネジャーの親会社の重要な経営幹部の一員であるか、又はその経営幹部個人の近親者であるか、あるいはかかる個人の支配下、共同支配下若しくは重要な影響下にある事業体である。
- v. 当事者が上記注 i の当事者の近親者であるか、又はかかる当事者の支配下、共同支配下若しくは重要な影響下にある事業体である。
- vi. 当事者は、本トラスティ・マネジャー又は本トラスティ・マネジャーの関連当事者である事業体の従業員の利益を目的とした退職後給付制度である。あるいは
- vii. 当該事業体が本トラスティ・マネジャーに主要な経営幹部サービスを提供している。

個人の近親者とは、事業体との取引において、かかる個人に影響を与える、又は影響を受けることが見込まれる家族のことである。

3 重要な会計上の見積り及び判断

見積り及び判断は継続的に評価されており、これらは過去の経験、及びその状況において合理的と考えられる将来の事象の予測を含む、その他の要因に基づいている。本トラスティ・マネジャーは、その経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすような会計上の見積り及び判断を行っていない。

4 関連当事者取引

当期において、本トラスティ・マネジャーと関連当事者との重大な取引は以下の通りであった。

(単位：千香港ドル)

	2018年	2019年
兄弟会社からの未収管理報酬	54	54

- a. この取引は、通常の事業活動において本トラスティ・マネジャーと関連当事者が協議した後に実施されたものであり、取締役が決定した見積市場価値に基づいている。
- b. 2018年及び2019年12月31日に終了した事業年度において、本トラスティ・マネジャーの取締役の報酬は、本トラスティ・マネジャーの兄弟会社が負担した。
- c. 兄弟会社に対する債権／債務は、無担保、無利息で、確定した返済条件はない。

5 税引前利益

税引前利益は以下の項目考慮後で計上されている。

(単位：千香港ドル)

	2018年	2019年
借方計上：		
監査人の報酬	52	54

6 法人所得税

2018年及び2019年12月31日に終了した事業年度において、本トラスティ・マネジャーにはいかなる課税所得もないため、香港の収益税は計上されていない。

2018年及び2019年12月31日現在、繰延税金資産及び負債は認識されていなかった。

7 株式資本

	2018年		2019年	
	株式数	価値 (香港ドル)	株式数	価値 (香港ドル)
発行済かつ全額払込済：				
額面なしの普通株式				
期首及び期末残高	1	1	1	1

8 資本管理

本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの管理という特定かつ限定的な役割を担っている。本トラスティ・マネジャーの兄弟会社であるHKTリミテッド及びHKTリミテッドの事業子会社が管理する電気通信事業の経営には積極的に携わっていない。したがって、本トラスティ・マネジャーは、外部から課される資本要件の対象になっていない。

9 金融商品

本トラスティ・マネジャーの主要業務は、HKTトラストの管理であるため、本トラスティ・マネジャーは、信用リスク、流動性リスク及び市場リスク（外貨リスク及び金利リスクを含む）に晒されることはない。リスク管理は、取締役会が承認した方針に基づき実施されている。

10 公表済みであるが2019年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じていない新規及び修正された基準の影響の可能性

本財務書類の承認日までに、HKICPAは、以下の新規及び修正された基準を公表したが、2019年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本財務書類においても早期適用は行われていない。

		適用される会計期間 の開始日
HKAS第1号(改訂)(修正)	財務諸表の表示	2020年1月1日
HKAS第8号(修正)	会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬	2020年1月1日
HKAS第39号(修正)	金融商品：認識及び測定	2020年1月1日
HKFRS第3号(改訂)(修正)	企業結合	2020年1月1日
HKFRS第7号(修正)	金融商品：開示	2020年1月1日
HKFRS第9号(2014年) (修正)	金融商品	2020年1月1日
HKFRS第17号	保険契約	2021年1月1日
財務報告に関する概念フレームワーク(2018年)		2020年1月1日

上記の他に、多数の香港財務報告基準の改善及び軽微な修正もHKICPAによって公表されているが、これらは2019年12月31日に終了した会計期間においてまだ効力を生じておらず、また本財務書類においても早期適用は行われていない。

上記のいずれも、本トラスティ・マネジャーの経営成績及び財政状態に重要な影響を及ぼすとは見込まれていない。

[前へ](#)

[次へ](#)

INCOME STATEMENT OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$'000	Note	2018	2019
Management fee income		54	54
General and administrative expenses		(54)	(54)
Result before income tax	5	–	–
Income tax	6	–	–
Result for the year		–	–

The notes on pages 199 to 202 form part of these financial statements.

STATEMENT OF COMPREHENSIVE INCOME OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$'000	2018	2019
Result for the year	-	-
Other comprehensive income	-	-
Total comprehensive income for the year	-	-

The notes on pages 199 to 202 form part of these financial statements.

STATEMENT OF FINANCIAL POSITION OF HKT MANAGEMENT LIMITED

As at December 31, 2019

In HK\$'000	Note	2018	2019
ASSETS AND LIABILITIES			
Current assets			
Amount due from a fellow subsidiary	4(c)	330	384
		330	384
Current liabilities			
Accruals and other payables		(51)	(52)
Amounts due to fellow subsidiaries	4(c)	(279)	(332)
		(330)	(384)
Net assets		–	–
CAPITAL AND RESERVES			
Share capital	7	–	–
Reserves		–	–
Total equity		–	–

Approved and authorized for issue by the board of directors (the "Board") on February 12, 2020 and signed on behalf of the Board by

Li Tzar Kai, Richard
Director

Hui Hon Hing, Susanna
Director

The notes on pages 199 to 202 form part of these financial statements.

STATEMENT OF CHANGES IN EQUITY OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$'000	Share capital	2018 Retained profit	Total
As at January 1, 2018	–	–	–
Total comprehensive income for the year			
Result for the year	–	–	–
Other comprehensive income	–	–	–
Total comprehensive income for the year	–	–	–
Transactions with the equity holder of the Company	–	–	–
As at December 31, 2018	–	–	–

In HK\$'000	Share capital	2019 Retained profit	Total
As at January 1, 2019	–	–	–
Total comprehensive income for the year			
Result for the year	–	–	–
Other comprehensive income	–	–	–
Total comprehensive income for the year	–	–	–
Transactions with the equity holder of the Company	–	–	–
As at December 31, 2019	–	–	–

The notes on pages 199 to 202 form part of these financial statements.

STATEMENT OF CASH FLOWS OF HKT MANAGEMENT LIMITED

For the year ended December 31, 2019

In HK\$'000	2018	2019
Operating activities		
Result before income tax	-	-
Adjustments for:		
Increase in amount due from a fellow subsidiary	(54)	(54)
(Decrease)/increase in accruals and other payables	(80)	1
Increase in amounts due to fellow subsidiaries	134	53
Net cash generated from operating activities	-	-
Investing activities		
Net cash generated from investing activities	-	-
Financing activities		
Net cash generated from financing activities	-	-
Net change in cash and cash equivalents	-	-
Cash and cash equivalents		
Beginning of year	-	-
End of year	-	-

The notes on pages 199 to 202 form part of these financial statements.

NOTES TO THE FINANCIAL STATEMENTS OF HKT MANAGEMENT LIMITED

December 31, 2019

1 GENERAL INFORMATION

HKT Management Limited (the "Company") was incorporated in the Hong Kong Special Administrative Region ("Hong Kong") under the Companies Ordinance on June 14, 2011. Its registered office is located at 39th Floor, PCCW Tower, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong. The Company is an indirect wholly-owned subsidiary of PCCW Limited, which is also the ultimate holding company of the Company incorporated in Hong Kong with its shares listed on the Main Board of The Stock Exchange of Hong Kong Limited and traded in the form of American Depositary Receipts on the OTC Markets Group Inc. in the United States.

The Company has a limited and specific role, which is to administer the HKT Trust.

The financial statements are presented in thousands of units of Hong Kong dollars (HK\$'000), unless otherwise stated.

2 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES

a. Statement of compliance

HKT Management Limited's financial statements have been prepared in accordance with all applicable Hong Kong Financial Reporting Standards, which is a collective term for all individual Hong Kong Financial Reporting Standards ("HKFRSs"), Hong Kong Accounting Standards ("HKASs") and Interpretations ("Ints") issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants ("HKICPA"), accounting principles generally accepted in Hong Kong and the requirements of the Hong Kong Companies Ordinance (Cap. 622). A summary of the principal accounting policies adopted by the Company is set out below.

b. Basis of preparation of the financial statements

The following new or amended Hong Kong Financial Reporting Standards (the "new or amended HKFRSs") are mandatory for the first time for the financial year beginning January 1, 2019, but have no material effect on the Company's reported results and financial position for the current and prior accounting periods.

- HKAS 19 (2011) (Amendments), *Employee Benefits*
- HKAS 28 (2011) (Amendments), *Investments in Associates and Joint Ventures*
- HKFRS 9 (2014) (Amendments), *Financial Instruments*
- HK(IFRIC) – Int 23, *Uncertainty over Income Tax Treatments*
- Annual Improvements to HKFRSs 2015-2017 Cycle issued in February 2018 by the HKICPA

The Company has not early adopted any new or amended HKFRSs that are not yet effective for the current accounting period, details of which are set out in note 10.

The measurement basis used in the preparation of the financial statements is the historical cost basis.

The preparation of financial statements in conformity with Hong Kong Financial Reporting Standards requires management to make judgements, estimates and assumptions that affect the application of policies and reported amounts of assets, liabilities, income and expenses. The estimates and associated assumptions are based on historical experience and various other factors that are believed to be reasonable under the circumstances, the results of which form the basis of judgements about the carrying amounts of assets and liabilities that are not readily apparent from other sources. Actual results may differ from these estimates.

The estimates and underlying assumptions are reviewed on an ongoing basis. Revisions to accounting estimates are recognized in the period in which the estimate is revised if the revision affects only that period, or in the period of the revision and future periods if the revision affects both current and future periods.

Judgements made by management in the application of Hong Kong Financial Reporting Standards that have significant effect on the financial statements and estimates with a significant risk of material adjustment in the next year are discussed in note 3.

NOTES TO THE FINANCIAL STATEMENTS OF HKT MANAGEMENT LIMITED (CONTINUED)

December 31, 2019

2 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)

c. Impairment of assets

The Company assesses on forward-looking basis the expected credit losses associated with its financial assets carried at amortized cost.

For intercompany receivable, the Company considers the probability of default upon initial recognition of asset and whether there has been a significant increase in credit risk on an ongoing basis throughout each reporting period. To assess whether there is a significant increase in credit risk, the Company compares the risk of a default occurring on the asset as at the reporting date with the risk of default as at the date of initial recognition by considering available reasonable and supportive forward-looking information. Considerations may include:

- internal credit rating;
- external credit rating (as far as available);
- actual or expected significant adverse changes in business, financial or economic conditions that are expected to cause a significant change to the borrower's ability to meet its obligations;
- actual or expected significant changes in the operating results of the borrower;
- significant increases in credit risk on other financial instruments of the same borrower; and
- significant changes in the expected performance and behavior of the borrower, including changes in the payment status of the borrower and changes in the operating results of the borrower.

Regardless of the analysis above, a significant increase in credit risk is presumed if a debtor is delinquent and in default status when there are unsettled amounts remaining on the account on the day after the invoice due date.

At each reporting date, the Company measures the loss allowance for the intercompany receivable at an amount equal to the lifetime expected credit losses if the credit risk on that intercompany receivable has increased significantly since initial recognition. If, at the reporting date, the credit risk on an intercompany receivable has not increased significantly since initial recognition, the Company measures the loss allowance for that intercompany receivable at an amount equal to 12-month expected credit losses.

Intercompany receivable is written off when there is no reasonable expectation of recovery. The Company categorizes an intercompany receivable for write off when the intercompany fails to make contractual payments for a period greater than predefined limit. Where the receivable has been written off, the Company continues to engage in enforcement activity to attempt to recover the receivable due. Where recoveries are made, these are recognized in the income statement.

d. Related parties

For the purposes of these financial statements, a party is considered to be related to the Company if:

- i. the party has the ability, directly or indirectly through one or more intermediaries, to control the Company or exercise significant influence over the Company in making financial and operating policy decisions, or has joint control over the Company;
- ii. the Company and the party are subject to common control;
- iii. the party is an associate of the Company or a joint venture in which the Company is a venturer;
- iv. the party is a member of key management personnel of the Company or the Company's parent, or a close family member of such an individual, or is an entity under the control, joint control or significant influence of such individual;

2 BASIS OF PREPARATION AND PRINCIPAL ACCOUNTING POLICIES (CONTINUED)**d. Related parties (continued)**

For the purposes of these financial statements, a party is considered to be related to the Company if: (continued)

- v. the party is a close family member of a party referred to in note i above or is an entity under the control, joint control or significant influence of such party;
- vi. the party is a post-employment benefit plan which is for the benefit of employees of the Company or of any entity that is a related party of the Company; or
- vii. the entity provides key management personnel services to the Company.

Close family members of an individual are those family members who may be expected to influence, or be influenced by, that individual in their dealings with the entity.

3 CRITICAL ACCOUNTING ESTIMATES AND JUDGEMENTS

Estimates and judgements are continually evaluated and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be reasonable under the circumstances. The Company has no accounting estimates and judgements that would significantly affect its results and financial position.

4 RELATED PARTY TRANSACTION

During the year, the Company had the following significant transaction with a related party:

In HK\$'000	2018	2019
Management fee receivable from a fellow subsidiary	54	54

- a. This transaction was carried out after negotiations between the Company and the related party in the ordinary course of business and on the basis of estimated market value as determined by the directors.
- b. The directors' emoluments of the Company were borne by a fellow subsidiary of the Company for the years ended December 31, 2018 and 2019.
- c. The amounts due from/to fellow subsidiaries are unsecured, non-interest bearing and have no fixed repayment terms.

5 RESULT BEFORE INCOME TAX

Result before income tax is stated after charging the following:

In HK\$'000	2018	2019
Charging: Auditor's remuneration	52	54

6 INCOME TAX

No Hong Kong profits tax has been provided as the Company does not have any assessable profit during the years ended December 31, 2018 and 2019.

No deferred income tax asset and liability was recognized as at December 31, 2018 and 2019.

NOTES TO THE FINANCIAL STATEMENTS OF HKT MANAGEMENT LIMITED (CONTINUED)

December 31, 2019

7 SHARE CAPITAL

	2018		2019	
	Number of share	Share capital HK\$	Number of share	Share capital HK\$
Issued and fully paid:				
Ordinary share of no par value				
Beginning and end of year	1	1	1	1

8 CAPITAL MANAGEMENT

The Company has a specific and limited role to administer the HKT Trust. It is not actively engaged in running the telecommunications business which is managed by HKT Limited, a fellow subsidiary of the Company, and the operating subsidiaries of HKT Limited. Therefore, the Company is not subject to externally imposed capital requirements.

9 FINANCIAL INSTRUMENTS

As the principal activity of the Company is to administer the HKT Trust, the Company is not exposed to credit, liquidity and market risk (including foreign currency risk and interest rate risk). Risk management is carried out under policies approved by the board of directors.

10 POSSIBLE IMPACT OF NEW AND AMENDED STANDARDS ISSUED BUT NOT YET EFFECTIVE FOR THE ANNUAL ACCOUNTING PERIOD ENDED DECEMBER 31, 2019

Up to the date of approval of these financial statements, the HKICPA has issued the following new and amended standards which are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2019 and which have not been early adopted in these financial statements:

		Effective for accounting periods beginning on or after
HKAS 1 (Revised) (Amendments)	Presentation of Financial Statements	January 1, 2020
HKAS 8 (Amendments)	Accounting Policies, Changes in Accounting Estimates and Errors	January 1, 2020
HKAS 39 (Amendments)	Financial Instruments: Recognition and Measurement	January 1, 2020
HKFRS 3 (Revised) (Amendments)	Business Combinations	January 1, 2020
HKFRS 7 (Amendments)	Financial Instruments: Disclosures	January 1, 2020
HKFRS 9 (2014) (Amendments)	Financial Instruments	January 1, 2020
HKFRS 17	Insurance Contracts	January 1, 2021
Conceptual Framework for Financial Reporting 2018		January 1, 2020

Apart from the above, a number of improvements and minor amendments to Hong Kong Financial Reporting Standards have also been issued by the HKICPA but they are not yet effective for the accounting period ended December 31, 2019 and have not been early adopted in these financial statements.

None of the above is expected to have a significant effect on the result of operation and financial position of the Company.

（２）【損益計算書】

本トラスティ・マネジャーの損益計算書については、上記「（１）貸借対照表」の項目に記載したHKTマネジメント・リミテッド損益計算書を参照のこと。

4【利害関係人との取引制限】

潜在的利益相反

本トラスティ・マネジャー

本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドは、利益相反問題を処理するために以下の手続を定めた。

- ・ HKTリミテッド・グループに関する事項に関連して全取締役が行う全ての書面による決議は、少なくとも1名の独立非執行取締役を含む全取締役の過半数によって承認されなければならない。
- ・ PCCW社及び／又はその子会社が直接的又は間接的に利害関係を有する事項に関して、PCCW社（又はその子会社）の利害関係を主張するためにPCCW社及び／又はその子会社によって任命された取締役代理人は、投票を棄権する。当該事項において、定足数は独立非執行取締役の過半数であり、PCCW社及び／又はその子会社によって任命された取締役代理人は除外しなければならない。
- ・ HKTリミテッド・グループに関する事項が本トラスティ・マネジャー（その関係者を含む。）、HKTトラスト又はHKTリミテッドの関連当事者と締結した又は締結される予定の取引に関連する場合、関連する本取締役会は、当該取引の条件が、取引が一般的な取引条件で行われ、HKTリミテッド・グループ及び本株式ステーブル受益証券保有者の利害関係を害するものではなく、当該取引に関連する香港上場規則及び本信託証書の適用要件を遵守していると自らを確信させるものであるか考慮することが要求されている。関連する本取締役会はまた、これらの契約が関連取引に関連する香港上場規則及び本信託証書（その時々々の修正を含む。）の規定、並びに香港証券先物委員会及び香港証券取引所がその都度規定するHKTトラストに対して適用されるその他のガイドラインを遵守しているということを確保するために、これらの契約を精査する。

追加の詳細は、「第一部―第1 ファンドの状況―2 投資方針―（3）運用体制―統合コーポレート・ガバナンス報告書―潜在的利益相反」を参照のこと。

5【その他】

（1）附属定款の変更

本トラスティ・マネジャーは、本トラスティ・マネジャー附属定款を特別決議（議決権を有する本トラスティ・マネジャーの株主の4分の3以上により可決される必要がある。）により変更することが可能である。

（2）事業譲渡又は事業譲受

本信託証書に基づき、本トラスティ・マネジャーは、本普通株式にのみ投資し保有することが許されている。本トラスティ・マネジャーが交代する場合を除き（その場合は、本トラスティ・マネジャーは本普通株式を新任のトラスティ・マネジャーに譲渡する。）、本トラスティ・マネジャーはその事業を譲渡することができない。

（3）出資の状況

本トラスティ・マネジャーは、HKTリミテッド以外の会社に出資することはできない。

（4）訴訟事件等

本書の提出前1年間において、HKTリミテッド・グループのいずれの構成会社、HKTリミテッド又は本トラスティ・マネジャーに対するいかなる重大な訴訟又は仲裁手続も存在せず、また、全取締役が知る限りにおいて、HKTリミテッド・グループの構成会社、HKTリミテッド又は本トラスティ・マネジャーに対し意図されている又はそのおそれのある重大な訴訟又は仲裁手続は存在しない。本電気通信事業の性質から、HKTリミテッド・グループは、多数の被告に対し多数の訴訟を提起する。ほとんどの場合において、HKTリミテッド・グループは、個別には重要ではない損害賠償を求めている。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

本トラスティ・マネジャー

名称：HKTマネジメント・リミテッド

資本金の額：1.00香港ドル

事業の内容：管理業務

本普通株式及び本優先株式の発行者

名称：HKTリミテッド

資本金の額：7,575,742.334香港ドル（2020年12月31日現在）

事業の内容：投資持株

関係法人

名称：PCCWリミテッド

資本金の額：12,954,074,519.186香港ドル（2020年12月31日現在）

事業の内容：本メディア事業、本ソリューションズ事業、本不動産事業等

2【関係業務の概要】

本トラスティ・マネジャー及び関係法人に関するHKTトラストの関係業務の概要については、「第一部―第1 ファンドの状況―1 ファンドの性格―（3）ファンドの仕組み―②ファンドの関係法人」を参照のこと。

3【資本関係】

PCCW社との関係

本書提出日の直近日現在、PCCW社は、HKTトラスト及びHKTリミテッドの所有権の約51.94%を保有する。

本トラスティ・マネジャーはPCCW社の完全子会社であり、HKTリミテッドは引き続きPCCW社の子会社である（また、HKTトラストは過半数をPCCW社により保有される）。

PCCW社の事業はHKTトラスト及びHKTリミテッドについての上記の持分、本メディア事業、本ソリューションズ事業、本不動産事業及びその他のPCCW社事業を含む。本電気通信事業は、PCCWグループの多様な事業の中で独立した事業である。

第3【投資信託制度の概要】

香港における投資信託制度の概要

以下は、香港において設定される信託（HKTトラストを含む。）の管理及び運営の概要である。

（i） 香港において設定される信託の管理及び運営

香港受託者条例は、信託を創設する証書により別途規定する場合を除き、香港の法律により創設され、それに準拠する全ての信託を適用対象とし、かつ、香港で創設された全ての信託（HKTトラストを含む。）に対してその全文が適用されると定めている。香港受託者条例の主な規定は、受託者の投資権限、受託者の任命及び解任、並びに信託の管理及び運営に関する命令を発する裁判所の権能に関するものである。

また、香港受託者条例は、裁判所又は政府が任命する受託者に関する規定も設けている。

コモン・ロー上の受託者の義務

コモン・ローに基づく受託者の管理義務には、新しい受託者が当該信託に精通する義務、信託証書（及びその他一切の設定文書）を実行し、従う義務、信託の受益者を平等に扱う義務、帳簿を記録し、帳簿及び信託文書を受託者の閲覧に供する義務、注意義務、配慮義務、並びに誠心誠意かつ合理的な範囲で誠実に全ての受益者の最善の利益となるよう行為する義務が含まれる。

コモン・ローに基づく受託者の受託義務には、信託財産を購入しない若しくは融資を自身に対して行わない義務、信託の受託者としての立場を利用して利益を得ない義務、信託に関する機密情報から利益を得ない義務、並びに受益者に対する義務と利益が相反する立場に自身を置かない義務が含まれる。

また、原則として、信託は、当該信託を設定する信託証書にも準拠する。信託証書は、受託者に対して具体的な義務を負わせる。

注意の基準

受託者に求められる注意の基準は、当該受託者が行為を行う信託の種類、当該受託者が有する権能及び裁量の範囲、行使される権能の種類、並びに当該受託者が受託業務に精通しているか否かによって異なる。裁判所は最近、受託者の負う注意義務をコモン・ロー上の過失に見立てて、この争点の解決に取り組んでいる。

信託違反の救済

信託証書に記載され又は法律により受託者に義務付けられている程度の職務及び義務を履行しない受託者は、信託違反となり、信託の受益者に対し責任を負う。一般的にコモン・ローにおいては、信託違反があった場合には、受託者は、信託により要求される事項を行うこと又は信託により禁止される事項を行わないことを義務付けられる可能性がある。また、受託者は、違反により喪失した信託財産を回復すること、喪失した財産の価値と同等の価値を提供すること又は受益者の損失を補償するために公平な補償を信託に支払うことを求められる可能性がある。受託者はまた、信託財産を、違反が無かったならばそうになっていたであろう状態に戻すことを義務付けられる可能性がある。しかしながらコモン・ローにおいては、信託の受益者は、信託財産に損失が生じ、かつ違反が無ければかかる損失が生じなかったという事実を証明しなければならないため、信託違反の責任を立証することは困難である可能性がある。受託者はまた、コモン・ローに基づき信託違反に対する一定の防御を行使する権利を有する。当該救済は、香港の裁判所に申し立てを行うことにより、施行される。

HKTトラスト

HKTトラストは、香港の法律に基づき本信託証書をもって設定された信託であり、また、HKTリミテッドは、ケイマン諸島会社法に基づき、ケイマン諸島において設立された。

本信託証書においては、香港受託者条例の全文をHKTトラストに適用するが、例外的に第Ⅱ部及び第Ⅲ部はHKTトラストに適用しないものと定めている。香港受託者条例第Ⅱ部は、単一の事業体の有価証券すなわちHKTリミテッドの資本に当たる株式にしか投資することのできない単一の投資信託（固定型）であるHKTトラストに適切な投資権限よりも広範な投資権限を受託者に与える定めであるため、HKTトラストには適用しないものとして除外された。香港受託者条例第Ⅱ部をHKTトラストに適用しないということは、償還可能な株式、ファンド又は有価証券を保持する権能、無記名の有価証券を保持する又はこれに投資する権能、及び信託金を銀行口座に払い込む権能等、香港受託者条例第Ⅱ部に基づき他の信託の受託者には付与される権能が、本トラスティ・マネジャーには付与されないということ意味する。むしろ、本信託証書は、本トラスティ・マネジャーは本普通株式に投資し、本普通株式を保有することのみ許可される旨を規定している。

また、香港受託者条例第Ⅲ部も、本信託証書に基づき本トラスティ・マネジャーに付与される権能よりも広範な権能を受託者に与える定めであること、及び人格代表者に関する定めでありHKTトラストには該当しないことから、HKTトラストには適用しないものとして除外された。香港受託者条例第Ⅲ部をHKTトラストに適用しないということは、受託者に帰属する財産を売却する権能、財産の受領証を発行する権能、及び売却又は抵当により資金調達する権能等、香港受託者条例第Ⅲ部に基づき他の信託の受託者に付与される権能が、本トラスティ・マネジャーに付与されないということ意味する。代わりにHKTトラストに関して本トラスティ・マネジャーに付与される具体的な権能については、本信託証書第17条に規定されている。

本トラスティ・マネジャーは、上記のコモン・ロー上の受託者の義務に従わなければならない。

HKTトラストは、本トラスティ・マネジャーを通じてのみ行為することができる。本トラスティ・マネジャーが第三者との間で契約を締結した場合、本トラスティ・マネジャーは、当該契約に基づき潜在的に無限責任を負うこととなる。同様に、本トラスティ・マネジャーはまた、HKTトラストの運用に関する自己の若しくはその代理人の行為又は不作為について、個人的な不法行為責任を負う可能性がある。

HKTトラストは独立した法人格を有さないため、一般原則として、HKTトラストの債権者及び契約上の相手方並びにその他の第三者は、本信託財産を直接的に利用することはできない。本トラスティ・マネジャーは、HKTトラストの運用中に、本信託証書により付与された権能の範囲内において、かつ本トラスティ・マネジャーによる不正行為、故意の不履行又は過失なくして契約が適正に締結された場合、本トラスティ・マネジャーの個人的責任に関し、本信託証書に基づき本信託財産から補償を受ける権利を有する。同様に、本トラスティ・マネジャーが本信託証書に基づく権能の範囲内において行為した場合には、本トラスティ・マネジャーは、本トラスティ・マネジャー側に不正行為、故意の不履行又は過失がある場合を除き、第三者からの不法行為に基づく損害賠償請求について補償を受ける権利を有する。

受益証券保有者の権利は、本信託証書に定められている。本信託財産のいずれに係る権益又は持分も、いずれの受益証券保有者にも付与しないが、受益証券保有者は、本信託証書に基づき自らの有する権利を執行し、本信託証書に基づき本トラスティ・マネジャー及びHKTリミテッドの受益証券保有者に対する義務を執行させることができる。また、受益証券保有者は、HKTトラストに関する命令を発するよう裁判所に申し立てることができる（上記「信託違反の救済」を参照のこと。）。その他に、分配が発表されれば、各受益証券保有者は、当該発表のあった分配のうち、その保有する全額払込済受益証券の個数に応じて比例配分で決定する割合分を受ける権利を有する。本受益証券保有者は、当該本受益証券保有者が保有する本株式ステープル受益証券の発行価格を超えるいかなる支払についても責任を負わない。

債権者、その他の契約上の相手方及びその他の第三者の本信託財産を利用する唯一の手段は、上記に記載の状況下において本信託財産から補償を受ける本トラスティ・マネジャーの権利を代位することである。

本信託証書は、不正行為、故意の不履行、過失又は本信託証書違反がある場合を除き、本トラスティ・マネジャー（その取締役、従業員、代理人若しくは代行者を含む。）の責任を限定している。また、本信託証書には、本トラスティ・マネジャー並びにその取締役、従業員、使用人及び代理人のいずれもが、同人がHKTトラストのトラスティ・マネジャー（又はその取締役、従業員、代理人若しくは代行者）として対象となる訴訟、費用、請求、損害、経費、処罰若しくは要求に対し補償を受ける権利を有する旨が規定されている。但し、かかる訴訟、費用、請求、損害、経費、処罰又は要求が不正行為、故意の不履行又は過失によるものである場合は、この限りでない。この結果、本トラスティ・マネジャーに対するHKTトラスト及び本株式ステープル受益証券の保有者の回復請求権は制限される。

HKTトラスト及びHKTリミテッドが発行する本株式ステープル受益証券は、香港において個人投資家の投資対象として提供する。HKTトラスト及びHKTリミテッドは、上場会社として、香港証券先物条例及び香港上場規則の適用対象となる。香港証券先物条例は、香港における有価証券及び先物市場を規制対象とする。香港上場規則は、香港証券取引所への法人の上場、並びに、上場会社が香港証券取引所に上場している限り常に当該上場会社及びその役員が行う行為を規制対象とする。

（ii） 集団投資スキーム

香港証券先物条例に基づき、香港証券先物委員会は、香港において個人投資家が投資することのできる集団投資スキームを承認する権限を有する。

HKTトラストは、集団投資スキームの定義に該当するが、香港証券先物条例に基づく承認を受けていない。***HKTトラストは、承認集団投資スキームには該当せず、また不動産投資信託にも該当せず、これらの集団投資スキームのいずれを規制する制度の対象にもならない。***

第4【参考情報】

当会計期間（2020年1月1日から2020年12月31日）の開始日から本有価証券報告書提出日までの間において本管理会社により関東財務局長に提出された、金融商品取引法第25条第1項各号に掲げる書類は以下のとおりである。

（1） 有価証券報告書及びその添付書類	2020年6月26日提出
（2） 半期報告書及びその添付書類	2020年9月28日提出

第5【その他】

該当事項なし。

（訳文）

独立監査人の監査報告書

HKTトラスト及びHKTリミテッド株式ステープル受益証券保有者 各位

（HKTトラストは、香港の法律に基づき設立されたトラストであり、HKTリミテッドは、有限責任会社として、ケイマン諸島で設立された。）

監査意見

監査対象

101ページから190ページ（訳者注：原文のページ）に掲載されている、HKTトラスト、HKTリミテッド及びその子会社（以下「本グループ」と総称する。）の連結財務書類並びにHKTリミテッド及びその子会社（以下「HKTリミテッド・グループ」と総称する。）の連結財務書類（以下「HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類」と総称する。）について監査を行った。HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類はともに、以下で構成されている。

- ・2019年12月31日現在の連結財政状態計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結損益計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結包括利益計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結持分変動計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結財務書類に対する注記（主要な会計方針の要約を含む）

監査意見

私どもは、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類が、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）に準拠して、本グループ及びHKTリミテッド・グループの2019年12月31日現在の連結財政状態、並びに同日に終了した会計年度の連結財務成績及び連結キャッシュ・フローに関して真実かつ公正な概観を与えており、香港会社条例の開示要件に準拠して適切に作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私どもは、HKICPAが公表している香港監査基準（以下「HKSA」という。）に準拠して監査を行った。これらの基準に基づく私どもの責任は、本報告書の「HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている。

私どもは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

独立性

私どもは、HKICPAによる職業会計士の倫理規定（以下「当該規定」という。）に準拠して本グループ及びHKTリミテッド・グループに対して独立性を保持しており、また、当該規定で定められるその他の倫理上の責任を果たした。

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私どもの職業的専門家としての判断において、当期のHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査で最も重要な事項である。これらの事項は、全体としてのHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に関する私どもの監査の過程及び私どもの監査意見の形成において対応した事項であり、私どもは当該事項に対して個別の意見を表明するものではない。

私どもの監査において識別された監査上の主要な検討事項の要約は以下のとおりである。

- ・収益認識
- ・のれんを有している資金生成単位（以下「CGU」という。）についての減損評価
- ・法人所得税

監査上の主要な検討事項	監査上の主要な検討事項に対する対応方法
収益認識 HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記7及び8を参照のこと。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、2019年12月31日に終了した会計年度において、電気通信サービス（以下「TSS」という。）事業及びモバイル事業からの外部収益それぞれ21,265百万香港ドル及び11,612百万香港ドルを含め、33,103百万香港ドルの収益を認識した。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、電気通信サービスの提供の他に、本グループ及びHKTリミテッド・グループが端末、機器及び景品の引渡し等の顧客に対する特定のその他の履行義務を負う一括販売契約を顧客と締結している。 複数要素契約に含まれる履行義務の数を適切に識別し、各履行義務の独立販売価格を見積り、顧客からの取引価格合計を独立販売価格の比率に基づき複数要素契約の各履行義務に配分するには、経営陣の重要な判断が必要であった。 TSS事業及びモバイル事業により認識された収益を監査するために多大な努力が必要となったが、これは、取引量が膨大であること、使用されているシステムが複雑であること、履行義務の識別及び複数要素契約に取引価格合計を配分するための各履行義務の独立販売価格の見積りに重要な判断を伴うためである。	収益認識に使用された判断及び見積りに関する私どもの手続には、以下が含まれている。 ・内部統制の理解及び評価、並びに収益認識に関して整備されている主要な統制の検証 ・契約及び事業に関する私どもの知識に基づく、履行義務の識別に関する経営陣による評価の妥当性の評価 ・各履行義務の独立販売価格の算定及び観察可能な市場データを参照して複数要素契約への収益の配分に使用された経営陣の判断及び見積りの妥当性の評価 ・請求システムから裏付文書（基礎となる請求書、契約、現金受領の証拠等）までの取引の追跡による収益取引の試査によるテスト ・取引価格合計の計算及び複数要素契約の各履行義務への配分、並びに関連する仕訳入力の見査によるテスト 私どもは、収益認識に用いられた判断及び見積りが入手可能な証拠によって裏付けられていることを確認した。

監査上の主要な検討事項	監査上の主要な検討事項に対する対応方法
のれんを有しているCGUについての減損評価 HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記18を参照のこと。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、2019年12月31日現在、49,814百万香港ドルののれんを有していた。 のれんはCGUに割り当てられ、各CGUの回収可能額はキャッシュ・フロー予測を用いた使用価値の計算に基づき経営陣によって算定された。減損評価の実施にあたり、CGUを適切に識別し、使用価値の計算に用いられる主要な仮定（収益成長率、EBITDA成長率、最終成長率、割引率等）を決定するために、重要な経営陣の判断を用いた。経営陣は、当期において、のれんに関して減損はないと結論付けている。	減損評価に使用された判断及び仮定に関する私どもの手続には、以下が含まれている。 ・本グループ及びHKTリミテッド・グループの会計方針並びに本グループ及びHKTリミテッド・グループの事業に関する私どもの理解に基づく、経営陣によるCGUの識別の妥当性の評価 ・HKAS第36号「資産の減損」に従った使用価値の計算方法の評価 ・事業及び業界の観察可能な市場データに関する私どもの知識に基づく、主要な仮定（収益成長率、EBITDA成長率、最終成長率、割引率等）の合理性の評価 ・キャッシュ・フロー予測データと関連するCGUの過去の実績、財務予算及び予測との比較、並びに主要な仮定に基づくキャッシュ・フロー予測の合理性の評価 ・回収可能額の感応度が最も高い主要な仮定についての感応度分析の実施 私どもは、減損評価に使用された判断及び仮定が入手可能な証拠によって裏付けられていることを確認した。

監査上の主要な検討事項	監査上の主要な検討事項に対する対応方法
法人所得税 HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記12及び32を参照のこと。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、複数の管轄地域にわたって営業活動を行っており、香港及び海外の税金の対象である。その時々、特定の事項の税務処理に関して関連税務当局から問い合わせを受けている。これらの事項の結末及び当期税金負債の適切な金額を見積るために重要な判断が用いられた。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、2019年12月31日現在、利用可能な税務上の欠損金に関連して、繰延税金資産430百万香港ドルを認識していた。認識すべき繰延税金資産の金額を評価する際に、本グループ及びHKTリミテッド・グループは、将来の課税所得及び税務計画戦略を検討している。	当期税金引当金及び繰延税金資産の認識に使用された判断及び仮定に関する私どもの手続には、以下が含まれている。 ・当期税金負債及び関連税務当局からの問い合わせに対する結末の見積りの算定に使用した経営陣の根拠についての経営陣への質問及び評価 ・各管轄地域の税務規則に従った、当期における当期税金の計算の妥当性の評価 ・関連する財務書類及び税務上の評価との比較による利用可能な税務上の欠損金の試査によるテスト ・事業及び業界の観察可能な市場データに関する私どもの知識に基づき、将来の課税所得予測のデータを実績と比較し、主要な仮定（収益成長率やEBITDA成長率等）の合理性を検討することによる、繰延税金資産及び将来の課税所得の認識の合理性の評価 私どもは、当期税金引当金及び繰延税金資産の認識に使用された判断及び仮定が入手可能な証拠によって裏付けられていることを確認した。

その他の記載内容

HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」といい、HKTトラストの受託会社及び管理会社の立場である。）の取締役及びHKTリミテッドの取締役は、その他の記載内容について責任を有している。その他の記載内容は、HKTトラスト及びHKTリミテッド2019年度年次報告書のうち、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類、HKTマネジメント・リミテッド財務書類並びにそれらに対する私どもの監査報告書以外の全ての情報である。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に関する私どもの監査意見の対象範囲には、その他の記載内容は含まれておらず、したがって、私どもは、当該その他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査における私どもの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容とHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類又は私どもが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽表示の兆候があるかどうか留意することにある。

私どもは、実施した手続に基づき、その他の記載内容に重要な虚偽表示があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。私どもは、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する取締役及び監査委員会の責任

本トラスティ・マネジャーの取締役及びHKTリミテッドの取締役は、HKICPAが公表しているHKFRS及び香港会社条例の開示要件に準拠して真実かつ公正な概観を与えるHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類を作成すること、並びに不正又は誤謬による重要な虚偽表示のないHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類を作成するために取締役が必要であると判断した内部統制を整備及び運用する責任を有している。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の作成にあたり、取締役は、本グループ及びHKTリミテッド・グループが継続企業として存続する能力があるかどうかを評価し、必要がある場合には当該継続企業に関連する事項を開示する責任を有し、また、取締役が本グループ及びHKTリミテッド・グループの清算又は事業停止の意図があるか、あるいはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務書類を作成する責任を有している。

監査委員会は、取締役が本グループ及びHKTリミテッド・グループの財務報告プロセスの監視責任を果たすように支援する。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査に対する監査人の責任

私どもの監査の目的は、全体としてのHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私どもの監査意見を含む監査報告書を発行することである。私どもは、HKTトラスト及びHKTリミテッド株式ステープル受益証券保有者全体に対してのみ私どもの監査意見を報告するものであり、他のいかなる目的も意図していない。私どもはこの報告書の内容に関して、他のいかなる人物に対しても責任を負っておらず、また、義務を受け入れるものでもない。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、HKSAに準拠して行った監査が、全ての重要な虚偽表示を常に発見することを保証(guarantee)するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私どもは、HKSAに準拠した監査の一環として、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持する他、以下を行う。

- ・不正又は誤謬によるHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続を立案、実施し、私どもの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化が伴うためである。
- ・状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、本グループ及びHKTリミテッド・グループの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・取締役が採用した会計方針の適切性及び取締役によって行われた会計上の見積りの合理性を評価し、関連する開示の妥当性を検討する。

- ・取締役が継続企業を前提として財務書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、本グループ及びHKTリミテッド・グループの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して、重要な不確実性が認められるかどうかを結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、当監査報告書において、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の関連する開示に注意を喚起すること、又は当該開示が不適切な場合は、財務書類に対して除外事項付意見を表明することが求められる。私どもの結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、本グループ及びHKTリミテッド・グループは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の全体としての表示、構成及び内容（開示を含む。）を検討し、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する監査意見を表明するため、本グループ及びHKTリミテッド・グループ内の企業又は事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。私どもは、グループ監査の指示、監督及び実施について責任を有する。私どもは、私どもの監査意見に単独で責任を負う。

私どもは、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、及び監査の過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項について、監査委員会と協議する。

また、私どもは、監査委員会に、独立性についての職業倫理に関する規定を遵守している旨を書面で伝達し、また、独立性に影響を与えると合理的に考えられる全ての関係やその他の事項、及び該当する場合には関連するセーフガードについて監査委員会と協議する。

私どもは、監査委員会との協議事項のうち、当期のHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査において最も重要性のある事項、すなわち監査上の主要な検討事項を決定し、かかる事項を監査報告書に記載する。ただし、法令により当該事項の公開が禁止されている場合、あるいは極めてまれな状況ではあるが、監査報告書において言及することによる悪影響が公共の利益を上回ると合理的に見込まれるために、監査報告書で当該事項について言及すべきではないと私どもが判断した場合は、この限りでない。

本独立監査人の監査報告書の基礎となった監査に対する責任を有する監査責任者はウン・カ・ホーである。

プライスウォーターハウスクーパース

公認会計士事務所

香港、2020年2月12日

[次へ](#)

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE HOLDERS OF SHARE STAPLED UNITS OF HKT TRUST AND HKT LIMITED

(HKT Trust is a trust constituted under the laws of Hong Kong; HKT Limited is incorporated in the Cayman Islands with limited liability)

Opinion

What we have audited

The consolidated financial statements of HKT Trust, HKT Limited (the “Company”) and its subsidiaries (together the “Group”) and of HKT Limited and its subsidiaries (the “HKT Limited Group”) set out on pages 101 to 190 (together referred to as the “HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements”). As explained in note 1 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together. The HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements together comprise:

- the consolidated statement of financial position as at December 31, 2019;
- the consolidated income statement for the year then ended;
- the consolidated statement of comprehensive income for the year then ended;
- the consolidated statement of changes in equity for the year then ended;
- the consolidated statement of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the consolidated financial statements, which include a summary of principal accounting policies.

Our opinion

In our opinion, the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements give a true and fair view of the consolidated financial position of the Group and of the HKT Limited Group as at December 31, 2019, and of their consolidated financial performance and their consolidated cash flows for the year then ended in accordance with Hong Kong Financial Reporting Standards (“HKFRSs”) issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants (“HKICPA”) and have been properly prepared in compliance with the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with Hong Kong Standards on Auditing (“HKSAs”) issued by the HKICPA. Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor’s Responsibilities for the Audit of the HKT Trust and HKT Limited Consolidated Financial Statements section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Group and of the HKT Limited Group in accordance with the HKICPA’s Code of Ethics for Professional Accountants (the “Code”), and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the Code.

Key Audit Matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgement, were of most significance in our audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements of the current period. These matters were addressed in the context of our audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements as a whole, and in forming our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters.

Key audit matters identified in our audit are summarized as follows:

- Revenue recognition
- Impairment assessments for cash generating units ("CGUs") containing goodwill
- Income taxes

Key Audit Matter	How our audit addressed the Key Audit Matter
Revenue recognition <i>Refer to notes 7 and 8 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements</i> The Group and the HKT Limited Group recognized revenue of HK\$33,103 million for the year ended December 31, 2019, including external revenue from Telecommunications Services ("TSS") Business and Mobile Business of HK\$21,265 million and HK\$11,612 million, respectively. The Group and the HKT Limited Group enter into bundled sale contracts with customers in which, apart from the provision of telecommunications services, the Group and the HKT Limited Group have certain other performance obligations to customers such as the delivery of handsets, equipment and gifts. Significant management's judgements were needed to appropriately identify the number of performance obligations included in the multiple-element arrangements, to estimate the stand-alone selling price of each performance obligation, and to allocate the total transaction prices from customers to each performance obligation of multiple-element arrangements based on its relative stand-alone selling price. Significant effort was spent auditing the revenue recognized by TSS Business and Mobile Business due to the large volume of transactions, the complexity of the systems used, the significant judgements involved in the identification of performance obligations and the estimation of the stand-alone selling price of each performance obligation to allocate the total transaction prices to multiple-element arrangements.	Our procedures in relation to the judgements and estimates used in the recognition of revenue included: • Obtaining an understanding of and evaluating the internal controls, and validating key controls in place on revenue recognition; • Assessing the appropriateness of management's assessments on the identification of performance obligations based on the contractual agreements and our knowledge of the business; • Assessing the reasonableness of management's judgements and estimates used to determine the stand-alone selling price of each performance obligation and to allocate revenue to multiple-element arrangements with reference to observable market data; • Testing, on a sample basis, the revenue transactions by tracing the transactions from the billing systems to supporting documents, such as underlying invoices, contractual agreements and evidence of cash receipts; and • Testing, on a sample basis, the calculation and allocation of total transaction prices to each performance obligation of multiple-element arrangements and the related journal entries posting. We found the judgements and estimates used in the recognition of revenue to be supported by the available evidence.

Key Audit Matter**How our audit addressed the Key Audit Matter**

Impairment assessments for CGUs containing goodwill

Refer to note 18 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements

As at December 31, 2019, the Group and the HKT Limited Group had goodwill amounting to HK\$49,814 million.

Goodwill was allocated to CGUs, and the recoverable amount of each CGU was determined by management based on value-in-use calculation using cash flow projections. In carrying out the impairment assessments, significant management's judgements were used to appropriately identify CGUs and to determine the key assumptions, including revenue growth rates, EBITDA growth rates, terminal growth rates and discount rates used in the value-in-use calculations. Management has concluded that there is no impairment in respect of the goodwill in the current year.

Our procedures in relation to the judgements and assumptions used in the impairment assessments included:

- Assessing the reasonableness of management's identification of CGUs based on the Group's and the HKT Limited Group's accounting policies and our understanding of the Group's and the HKT Limited Group's businesses;
- Assessing the value-in-use calculation methodology in accordance with HKAS 36 Impairment of Assets;
- Assessing the reasonableness of the key assumptions, including revenue growth rates, EBITDA growth rates, terminal growth rates and discount rates, based on our knowledge of the business and the observable market data of the industry;
- Comparing the data in the cash flow projections to the relevant CGUs' historical performance, financial budgets and forecasts, and assessing the reasonableness of the cash flow projections based on the key assumptions; and
- Performing sensitivity analyses on the key assumptions to which the recoverable amounts are the most sensitive.

We found the judgements and assumptions used in the impairment assessments to be supported by the available evidence.

Key Audit Matter	How our audit addressed the Key Audit Matter
Income taxes <i>Refer to notes 12 and 32 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements</i> The Group and the HKT Limited Group operate across several jurisdictions and are subject to Hong Kong and overseas taxes. From time to time, there are queries raised by relevant tax authorities in respect of the tax treatments of certain matters. Significant judgements were used to estimate the outcome of these matters and the appropriate amount of current income tax liabilities. The Group and the HKT Limited Group recognized deferred income tax assets of HK\$430 million related to available tax losses as at December 31, 2019. In assessing the amount of deferred income tax assets to be recognized, the Group and the HKT Limited Group have considered the future taxable profits and tax planning strategies.	Our procedures in relation to the judgements and assumptions used in the recognition of current income tax provisions and deferred income tax assets included: • Enquiring with management and assessing management's basis used to compute the current income tax liabilities and the estimated outcome of queries raised by relevant tax authorities; • Assessing the appropriateness of the current income tax computation for the current year, according to the tax rules in the respective jurisdictions; • Testing, on a sample basis, available tax losses to the relevant financial statements and tax assessments; and • Assessing the reasonableness of the recognition of deferred income tax assets and the future taxable profits by comparing the data in the future taxable profits projections to the historical performance and considering the reasonableness of the key assumptions, including revenue growth rates and EBITDA growth rates, based on our knowledge of the business and the observable market data of the industry. We found the judgements and assumptions used in the recognition of current income tax provisions and deferred income tax assets to be supported by the available evidence.

Other Information

The directors of HKT Management Limited (the "Trustee-Manager", in its capacity as the trustee-manager of the HKT Trust) and the directors of the Company are responsible for the other information. The other information comprises all of the information included in the HKT Trust and HKT Limited 2019 annual report other than the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the financial statements of HKT Management Limited and our auditor's reports thereon.

Our opinion on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated.

If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of Directors and the Audit Committee for the HKT Trust and HKT Limited Consolidated Financial Statements

The directors of the Trustee-Manager and the directors of the Company are responsible for the preparation of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements that give a true and fair view in accordance with HKFRSs issued by the HKICPA and the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the directors are responsible for assessing the Group's and the HKT Limited Group's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors either intend to liquidate the Group and the HKT Limited Group or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

The Audit Committee assists the directors in discharging their responsibilities for overseeing the Group's and the HKT Limited Group's financial reporting process.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the HKT Trust and HKT Limited Consolidated Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. We report our opinion solely to you, as a body, and for no other purpose. We do not assume responsibility towards or accept liability to any other person for the contents of this report. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with HKSA's will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements.

As part of an audit in accordance with HKSA's, we exercise professional judgement and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Group's and the HKT Limited Group's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the directors.
- Conclude on the appropriateness of the directors' use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Group's and the HKT Limited Group's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Group and the HKT Limited Group to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, including the disclosures, and whether the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

- Obtain sufficient appropriate audit evidence regarding the financial information of the entities or business activities within the Group and the HKT Limited Group to express an opinion on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements. We are responsible for the direction, supervision and performance of the group audit. We remain solely responsible for our audit opinion.

We communicate with the Audit Committee regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

We also provide the Audit Committee with a statement that we have complied with relevant ethical requirements regarding independence, and to communicate with them all relationships and other matters that may reasonably be thought to bear on our independence, and where applicable, related safeguards.

From the matters communicated with the Audit Committee, we determine those matters that were of most significance in the audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements of the current period and are therefore the key audit matters. We describe these matters in our auditor's report unless law or regulation precludes public disclosure about the matter or when, in extremely rare circumstances, we determine that a matter should not be communicated in our report because the adverse consequences of doing so would reasonably be expected to outweigh the public interest benefits of such communication.

The engagement partner on the audit resulting in this independent auditor's report is Ng Ka Ho.

PricewaterhouseCoopers

Certified Public Accountants

Hong Kong, February 12, 2020

（※）上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は管理会社が別途保管しております。

[次へ](#)

（訳文）

独立監査人の監査報告書

HKTマネジメント・リミテッド株主 各位

（有限責任会社として、香港で設立された。）

監査意見

監査対象

194ページから202ページ（訳者注：原文のページ）に掲載されている、HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」という。）の財務書類は以下で構成されている。

- ・2019年12月31日現在の財政状態計算書
- ・同日に終了した事業年度の損益計算書
- ・同日に終了した事業年度の包括利益計算書
- ・同日に終了した事業年度の持分変動計算書
- ・同日に終了した事業年度のキャッシュ・フロー計算書
- ・財務書類に対する注記（主要な会計方針の要約を含む）

監査意見

私どもは、財務書類が、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）に準拠して、本トラスティ・マネジャーの2019年12月31日現在の財政状態、並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローに関して真実かつ公正な概観を与えており、香港会社条例に準拠して適切に作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私どもは、HKICPAが公表している香港監査基準（以下「HKSA」という。）に準拠して監査を行った。これらの基準に基づく私どもの責任は、本報告書の「財務書類監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている。

私どもは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

独立性

私どもは、HKICPAによる職業会計士の倫理規定（以下「当該規定」という。）に準拠して本トラスティ・マネジャーに対して独立性を保持しており、また、当該規定で定められるその他の倫理上の責任を果たした。

その他の記載内容

取締役は、その他の記載内容について責任を有している。その他の記載内容は、HKTトラスト及びHKTリミテッド2019年度年次報告書のうち、本トラスティ・マネジャー財務書類、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類並びにそれらに対する私どもの監査報告書以外の全ての情報である。

財務書類に関する私どもの監査意見の対象範囲には、その他の記載内容は含まれておらず、したがって、私どもは、当該その他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。

財務書類監査における私どもの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務書類又は私どもが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽表示の兆候があるかどうか留意することにある。

私どもは、実施した手続きに基づき、その他の記載内容に重要な虚偽表示があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。私どもは、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

財務書類に対する取締役及び監査委員会の責任

取締役は、HKICPAが公表しているHKFRS及び香港会社条例に準拠して真実かつ公正な概観を与える財務書類を作成すること、並びに不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務書類を作成するために取締役が必要であると判断した内部統制を整備及び運用する責任を有している。

財務書類を作成するにあたり、取締役は、本トラスティ・マネジャーが継続企業として存続する能力があるかどうかを評価し、必要がある場合には当該継続企業に関連する事項を開示する責任を有し、また、取締役が本トラスティ・マネジャーの清算又は事業停止の意図があるか、あるいはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務書類を作成する責任を有している。

監査委員会は、取締役が本トラスティ・マネジャーの財務報告プロセスの監視責任を果たすように支援する。

財務書類監査に対する監査人の責任

私どもの監査の目的は、全体としての財務書類に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私どもの監査意見を含む監査報告書を発行することである。私どもは、香港会社条例第405条に準拠して、HKTマネジメント・リミテッド株主全体に対してのみ私どもの監査意見を報告するものであり、他のいかなる目的も意図していない。私どもはこの報告書の内容に関して、他のいかなる人物に対しても責任を負っておらず、また、義務を受け入れるものでもない。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、HKSAに準拠して行った監査が、全ての重要な虚偽表示を常に発見することを保証(guarantee)するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、当該財務書類の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私どもは、HKSAに準拠して実施する監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持する他、以下を行う。

- ・不正又は誤謬による財務書類の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続を立案、実施し、私どもの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化が伴うためである。

- ・状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、本トラスティ・マネジャーの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・取締役が採用した会計方針の適切性及び取締役によって行われた会計上の見積りの合理性を評価し、関連する開示の妥当性を検討する。
- ・取締役が継続企業を前提として財務書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、本トラスティ・マネジャーの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうかを結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務書類の関連する開示に注意を喚起すること、又は当該開示が不適切な場合は、財務書類に対して除外事項付意見を表明することが求められる。私どもの結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、本トラスティ・マネジャーは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務書類の全体としての表示、構成及び内容（開示を含む。）を検討し、財務書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

私どもは、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項について、監査委員会と協議する。

プライスウォーターハウスクーパース

公認会計士事務所

香港、2020年2月12日

[前へ](#)

[次へ](#)

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE SOLE SHAREHOLDER OF HKT MANAGEMENT LIMITED

(Incorporated in Hong Kong with limited liability)

Opinion

What we have audited

The financial statements of HKT Management Limited (the “Company”) set out on pages 194 to 202, which comprise:

- the statement of financial position as at December 31, 2019;
- the income statement for the year then ended;
- the statement of comprehensive income for the year then ended;
- the statement of changes in equity for the year then ended;
- the statement of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the financial statements, which include a summary of principal accounting policies.

Our opinion

In our opinion, the financial statements give a true and fair view of the financial position of the Company as at December 31, 2019, and of its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with Hong Kong Financial Reporting Standards (“HKFRSs”) issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants (“HKICPA”) and have been properly prepared in compliance with the Hong Kong Companies Ordinance.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with Hong Kong Standards on Auditing (“HKSA”) issued by the HKICPA. Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Company in accordance with the HKICPA's Code of Ethics for Professional Accountants (the “Code”), and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the Code.

Other Information

The directors are responsible for the other information. The other information comprises all of the information included in the HKT Trust and HKT Limited 2019 annual report other than the financial statements of the Company, the consolidated financial statements of HKT Trust and HKT Limited and our auditor's reports thereon.

Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated.

If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of Directors and the Audit Committee for the Financial Statements

The directors are responsible for the preparation of the financial statements that give a true and fair view in accordance with HKFRSs issued by the HKICPA and the Hong Kong Companies Ordinance, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the directors are responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors either intend to liquidate the Company or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

The Audit Committee assists the directors in discharging their responsibilities for overseeing the Company's financial reporting process.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. We report our opinion solely to you, as a body, in accordance with Section 405 of the Hong Kong Companies Ordinance and for no other purpose. We do not assume responsibility towards or accept liability to any other person for the contents of this report. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with HKSA's will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with HKSA's, we exercise professional judgement and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the directors.
- Conclude on the appropriateness of the directors' use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with the Audit Committee regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

PricewaterhouseCoopers

Certified Public Accountants

Hong Kong, February 12, 2020

（※）上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は管理会社が別途保管しております。

[前へ](#)

（訳文）

独立監査人の監査報告書

HKTトラスト及びHKTリミテッド株式ステープル受益証券保有者 各位

（HKTトラストは、香港の法律に基づき設立されたトラストであり、HKTリミテッドは、有限責任会社として、ケイマン諸島で設立された。）

監査意見

監査対象

102ページから198ページ（訳者注：原文のページ）に掲載されている、HKTトラスト、HKTリミテッド及びその子会社（以下「本グループ」と総称する。）の連結財務書類並びにHKTリミテッド及びその子会社（以下「HKTリミテッド・グループ」と総称する。）の連結財務書類（以下「HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類」と総称する。）について監査を行った。HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記1に記載の通り、HKTトラストの連結財務書類とHKTリミテッドの連結財務書類は一緒に表示されている。HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類はともに、以下で構成されている。

- ・2020年12月31日現在の連結財政状態計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結損益計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結包括利益計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結持分変動計算書
- ・同日に終了した会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結財務書類に対する注記（主要な会計方針の要約を含む）

監査意見

私どもは、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類が、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）に準拠して、本グループ及びHKTリミテッド・グループの2020年12月31日現在の連結財政状態、並びに同日に終了した会計年度の連結財務成績及び連結キャッシュ・フローに関して真実かつ公正な概観を与えており、香港会社条例の開示要件に準拠して適切に作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私どもは、HKICPAが公表している香港監査基準（以下「HKSA」という。）に準拠して監査を行った。これらの基準に基づく私どもの責任は、本報告書の「HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている。

私どもは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

独立性

私どもは、HKICPAによる職業会計士の倫理規定（以下「当該規定」という。）に準拠して本グループ及びHKTリミテッド・グループに対して独立性を保持しており、また、当該規定で定められるその他の倫理上の責任を果たした。

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私どもの職業的専門家としての判断において、当期のHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査で最も重要な事項である。これらの事項は、全体としてのHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に関する私どもの監査の過程及び私どもの監査意見の形成において対応した事項であり、私どもは当該事項に対して個別の意見を表明するものではない。

私どもの監査において識別された監査上の主要な検討事項の要約は以下のとおりである。

- ・収益認識
- ・のれんを有している資金生成単位（以下「CGU」という。）についての減損評価
- ・法人所得税

監査上の主要な検討事項	監査上の主要な検討事項に対する対応方法
収益認識 HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記7及び8を参照のこと。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、2020年12月31日に終了した会計年度において、電気通信サービス（以下「TSS」という。）事業、モバイル事業及び有料テレビ事業からの外部収益それぞれ21,608百万香港ドル、10,130百万香港ドル及び418百万香港ドルを含め、32,389百万香港ドルの収益を認識した。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、電気通信サービス及び有料テレビ・サービスの提供の他に、本グループ及びHKTリミテッド・グループが端末、機器及び景品の引渡し等の顧客に対する特定のその他の履行義務を負う一括販売契約を顧客と締結している。 複数要素契約に含まれる履行義務の数を適切に識別し、各履行義務の独立販売価格を見積り、顧客からの取引価格合計を独立販売価格の比率に基づき複数要素契約の各履行義務に配分するには、経営陣の重要な判断が必要であった。 TSS事業、モバイル事業及び有料テレビ事業により認識された収益を監査するために多大な努力が必要となったが、これは、取引量が膨大であること、使用されているシステムが複雑であること、履行義務の識別及び複数要素契約に取引価格合計を配分するための各履行義務の独立販売価格の見積りに重要な判断を伴うためである。	収益認識に使用された判断及び見積りに関する私どもの手続には、以下が含まれている。 ・内部統制の理解及び評価、並びに収益認識に関して整備されている主要な統制の検証 ・契約及び事業に関する私どもの知識に基づく、履行義務の識別に関する経営陣による評価の妥当性の評価 ・各履行義務の独立販売価格の算定及び観察可能な市場データを参照して複数要素契約への収益の配分に使用された経営陣の判断及び見積りの妥当性の評価 ・請求システムから裏付文書（基礎となる請求書、契約、現金受領の証拠等）までの取引の追跡による収益取引の試査によるテスト ・取引価格合計の計算及び複数要素契約の各履行義務への配分の試査によるテスト 私どもは、収益認識に用いられた判断及び見積りが入手可能な証拠によって裏付けられていることを確認した。

監査上の主要な検討事項	監査上の主要な検討事項に対する対応方法
のれんを有しているCGUについての減損評価 HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記19を参照のこと。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、2020年12月31日現在、49,816百万香港ドルののれんを有していた。 のれんはCGUに割り当てられ、各CGUの回収可能額はキャッシュ・フロー予測を用いた使用価値の計算に基づき経営陣によって算定された。減損評価の実施にあたり、CGUを適切に識別し、使用価値の計算に用いられる主要な仮定（平均収益成長率、平均EBITDA成長率、最終成長率、割引率等）を決定するために、重要な経営陣の判断を用いた。経営陣は、当期において、のれんに関して減損はないと結論付けている。	減損評価に使用された判断及び仮定に関する私どもの手続には、以下が含まれている。 ・本グループ及びHKTリミテッド・グループの会計方針並びに本グループ及びHKTリミテッド・グループの事業に関する私どもの理解に基づく、経営陣によるCGUの識別の妥当性の評価 ・香港会計基準第36号「資産の減損」に従った使用価値の計算方法の評価 ・事業及び業界の観察可能な市場データに関する私どもの知識に基づく、主要な仮定（平均収益成長率、平均EBITDA成長率、最終成長率、割引率等）の合理性の評価 ・キャッシュ・フロー予測データと関連するCGUの過去の実績、財務予算及び予測との比較、並びに主要な仮定に基づくキャッシュ・フロー予測の合理性の評価 ・回収可能額の感応度が最も高い主要な仮定についての感応度分析の実施 私どもは、減損評価に使用された判断及び仮定が入手可能な証拠によって裏付けられていることを確認した。

監査上の主要な検討事項	監査上の主要な検討事項に対する対応方法
法人所得税 HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する注記13及び33を参照のこと。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、複数の管轄地域にわたって営業活動を行っており、香港及び海外の税金の対象である。その時々、特定の事項の税務処理に関して関連税務当局から問い合わせを受けている。これらの事項の結末及び当期税金負債の適切な金額を見積るために重要な判断が用いられた。 本グループ及びHKTリミテッド・グループは、2020年12月31日現在、利用可能な税務上の欠損金に関連して、繰延税金資産950百万香港ドルを認識していた。認識すべき繰延税金資産の金額を評価する際に、本グループ及びHKTリミテッド・グループは、将来の課税所得及び事業計画を検討している。	当期税金引当金及び繰延税金資産の認識に使用された判断及び仮定に関する私どもの手続には、以下が含まれている。 ・当期税金負債及び関連税務当局からの問い合わせに対する結末の見積りの算定に使用した経営陣の根拠についての経営陣への質問及び評価 ・各管轄地域の税務規則に従った、当期における当期税金の計算の妥当性の評価 ・関連する財務書類及び税務上の評価との比較による利用可能な税務上の欠損金の試査によるテスト ・事業及び業界の観察可能な市場データに関する私どもの知識に基づき、将来の課税所得予測のデータを実績と比較し、主要な仮定（収益成長率やEBITDA成長率等）の合理性を検討することによる、繰延税金資産及び将来の課税所得の認識の合理性の評価 私どもは、当期税金引当金及び繰延税金資産の認識に使用された判断及び仮定が入手可能な証拠によって裏付けられていることを確認した。

その他の記載内容

HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」といい、HKTトラストの受託会社及び管理会社の立場である。）の取締役及びHKTリミテッドの取締役は、その他の記載内容について責任を有している。その他の記載内容は、HKTトラスト及びHKTリミテッド2020年度年次報告書のうち、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類、HKTマネジメント・リミテッド財務書類並びにそれらに対する私どもの監査報告書以外の全ての情報である。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に関する私どもの監査意見の対象範囲には、その他の記載内容は含まれておらず、したがって、私どもは、当該その他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査における私どもの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容とHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類又は私どもが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽表示の兆候があるかどうか留意することにある。

私どもは、実施した手続に基づき、その他の記載内容に重要な虚偽表示があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。私どもは、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する取締役及び監査委員会の責任

本トラスティ・マネジャーの取締役及びHKTリミテッドの取締役は、HKICPAが公表しているHKFRS及び香港会社条例の開示要件に準拠して真実かつ公正な概観を与えるHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類を作成すること、並びに不正又は誤謬による重要な虚偽表示のないHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類を作成するために取締役が必要であると判断した内部統制を整備及び運用する責任を有している。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の作成にあたり、取締役は、本グループ及びHKTリミテッド・グループが継続企業として存続する能力があるかどうかを評価し、必要がある場合には当該継続企業に関連する事項を開示する責任を有し、また、取締役が本グループ及びHKTリミテッド・グループの清算又は事業停止の意図があるか、あるいはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業的前提に基づいて財務書類を作成する責任を有している。

監査委員会は、取締役が本グループ及びHKTリミテッド・グループの財務報告プロセスの監視責任を果たすように支援する。

HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査に対する監査人の責任

私どもの監査の目的は、全体としてのHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私どもの監査意見を含む監査報告書を発行することである。私どもは、HKTトラスト及びHKTリミテッド株式ステープル受益証券保有者全体に対してのみ私どもの監査意見を報告するものであり、他のいかなる目的も意図していない。私どもはこの報告書の内容に関して、他のいかなる人物に対しても責任を負っておらず、また、義務を受け入れるものでもない。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、HKSAに準拠して行った監査が、全ての重要な虚偽表示を常に発見することを保証(guarantee)するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私どもは、HKSAに準拠した監査の一環として、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持する他、以下を行う。

- ・不正又は誤謬によるHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続を立案、実施し、私どもの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化が伴うためである。
- ・状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、本グループ及びHKTリミテッド・グループの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・取締役が採用した会計方針の適切性及び取締役によって行われた会計上の見積りの合理性を評価し、関連する開示の妥当性を検討する。

- ・取締役が継続企業を前提として財務書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、本グループ及びHKTリミテッド・グループの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して、重要な不確実性が認められるかどうかを結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、当監査報告書において、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の関連する開示に注意を喚起すること、又は当該開示が不適切な場合は、財務書類に対して除外事項付意見を表明することが求められる。私どもの結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、本グループ及びHKTリミテッド・グループは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の全体としての表示、構成及び内容（開示を含む。）を検討し、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類に対する監査意見を表明するため、本グループ及びHKTリミテッド・グループ内の企業又は事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。私どもは、グループ監査の指示、監督及び実施について責任を有する。私どもは、私どもの監査意見に単独で責任を負う。

私どもは、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、及び監査の過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項について、監査委員会と協議する。

また、私どもは、監査委員会に、独立性についての職業倫理に関する規定を遵守している旨を書面で伝達し、また、独立性に影響を与えると合理的に考えられる全ての関係やその他の事項、及び該当する場合には脅威を排除するために取られる措置又は適用されるセーフガードについて監査委員会と協議する。

私どもは、監査委員会との協議事項のうち、当期のHKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類の監査において最も重要性のある事項、すなわち監査上の主要な検討事項を決定し、かかる事項を監査報告書に記載する。ただし、法令により当該事項の公開が禁止されている場合、あるいは極めてまれな状況ではあるが、監査報告書において言及することによる悪影響が公共の利益を上回ると合理的に見込まれるために、監査報告書で当該事項について言及すべきではないと私どもが判断した場合は、この限りでない。

本独立監査人の監査報告書の基礎となった監査に対する責任を有する監査責任者はウン・カ・ホーである。

プライスウォーターハウスクーパース

公認会計士事務所

香港、2021年2月4日

[次へ](#)

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE HOLDERS OF SHARE STAPLED UNITS OF HKT TRUST AND HKT LIMITED

(HKT Trust is a trust constituted under the laws of Hong Kong; HKT Limited is incorporated in the Cayman Islands with limited liability)

Opinion

What we have audited

The consolidated financial statements of HKT Trust, HKT Limited (the “Company”) and its subsidiaries (together the “Group”) and of HKT Limited and its subsidiaries (the “HKT Limited Group”) set out on pages 102 to 198 (together referred to as the “HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements”). As explained in note 1 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the consolidated financial statements of the HKT Trust and the consolidated financial statements of HKT Limited are presented together. The HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements together comprise:

- the consolidated statement of financial position as at December 31, 2020;
- the consolidated income statement for the year then ended;
- the consolidated statement of comprehensive income for the year then ended;
- the consolidated statement of changes in equity for the year then ended;
- the consolidated statement of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the consolidated financial statements, which include a summary of principal accounting policies.

Our opinion

In our opinion, the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements give a true and fair view of the consolidated financial position of the Group and of the HKT Limited Group as at December 31, 2020, and of their consolidated financial performance and their consolidated cash flows for the year then ended in accordance with Hong Kong Financial Reporting Standards (“HKFRSs”) issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants (“HKICPA”) and have been properly prepared in compliance with the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with Hong Kong Standards on Auditing (“HKSAs”) issued by the HKICPA. Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor’s Responsibilities for the Audit of the HKT Trust and HKT Limited Consolidated Financial Statements section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Group and of the HKT Limited Group in accordance with the HKICPA’s Code of Ethics for Professional Accountants (the “Code”), and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the Code.

Key Audit Matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgement, were of most significance in our audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements of the current period. These matters were addressed in the context of our audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements as a whole, and in forming our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters.

Key audit matters identified in our audit are summarized as follows:

- Revenue recognition
- Impairment assessments for cash generating units ("CGUs") containing goodwill
- Income taxes

Key Audit Matter	How our audit addressed the Key Audit Matter
Revenue recognition <i>Refer to notes 7 and 8 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements</i> The Group and the HKT Limited Group recognized revenue of HK\$32,389 million for the year ended December 31, 2020, including external revenue from Telecommunications Services ("TSS") Business, Mobile Business and Pay TV Business of HK\$21,608 million, HK\$10,130 million and HK\$418 million respectively. The Group and the HKT Limited Group enter into bundled sale contracts with customers in which, apart from the provision of telecommunications and pay-TV services, the Group and the HKT Limited Group have certain other performance obligations to customers such as the delivery of handsets, equipment and gifts. Significant management's judgements were needed to appropriately identify the number of performance obligations included in the multiple-element arrangements, to estimate the stand-alone selling price of each performance obligation, and to allocate the total transaction prices from customers to each performance obligation of multiple-element arrangements based on its relative stand-alone selling price. Significant effort was spent auditing the revenue recognized by TSS Business, Mobile Business and Pay TV Business due to the large volume of transactions, the complexity of the systems used, the significant judgements involved in the identification of performance obligations and the estimation of the stand-alone selling price of each performance obligation to allocate the total transaction prices to multiple-element arrangements.	Our procedures in relation to the judgements and estimates used in the recognition of revenue included: • Obtaining an understanding of and evaluating the internal controls, and validating key controls in place on revenue recognition; • Assessing the appropriateness of management's assessments on the identification of performance obligations based on the contractual agreements and our knowledge of the business; • Assessing the reasonableness of management's judgements and estimates used to determine the stand-alone selling price of each performance obligation and to allocate revenue to multiple-element arrangements with reference to observable market data; • Testing, on a sample basis, the revenue transactions by tracing the transactions from the billing systems to supporting documents, such as underlying invoices, contractual agreements and evidence of cash receipts; and • Testing, on a sample basis, the calculation and allocation of total transaction prices to each performance obligation of multiple-element arrangements. We found the judgements and estimates used in the recognition of revenue to be supported by the available evidence.

Key Audit Matter**How our audit addressed the Key Audit Matter**

Impairment assessments for CGUs containing goodwill

Refer to note 19 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements

As at December 31, 2020, the Group and the HKT Limited Group had goodwill amounting to HK\$49,816 million.

Goodwill was allocated to CGUs, and the recoverable amount of each CGU was determined by management based on value-in-use calculation using cash flow projections. In carrying out the impairment assessments, significant management's judgements were used to appropriately identify CGUs and to determine the key assumptions, including average revenue growth rates, average EBITDA growth rates, terminal growth rates and discount rates used in the value-in-use calculations. Management has concluded that there is no impairment in respect of the goodwill in the current year.

Our procedures in relation to the judgements and assumptions used in the impairment assessments included:

- Assessing the reasonableness of management's identification of CGUs based on the Group's and the HKT Limited Group's accounting policies and our understanding of the Group's and the HKT Limited Group's businesses;
- Assessing the value-in-use calculation methodology in accordance with Hong Kong Accounting Standard 36 Impairment of Assets;
- Assessing the reasonableness of the key assumptions, including average revenue growth rates, average EBITDA growth rates, terminal growth rates and discount rates, based on our knowledge of the business and the observable market data of the industry;
- Comparing the data in the cash flow projections to the relevant CGUs' historical performance, financial budgets and forecasts, and assessing the reasonableness of the cash flow projections based on the key assumptions; and
- Performing sensitivity analyses on the key assumptions to which the recoverable amounts are the most sensitive.

We found the judgements and assumptions used in the impairment assessments to be supported by the available evidence.

Key Audit Matter	How our audit addressed the Key Audit Matter
Income taxes <i>Refer to notes 13 and 33 to the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements</i> The Group and the HKT Limited Group operate across several jurisdictions and are subject to Hong Kong and overseas taxes. From time to time, there are queries raised by relevant tax authorities in respect of the tax treatments of certain matters. Significant judgements were used to estimate the outcome of these matters and the appropriate amount of current income tax liabilities. The Group and the HKT Limited Group recognized deferred income tax assets of HK\$950 million related to available tax losses as at December 31, 2020. In assessing the amount of deferred income tax assets to be recognized, the Group and the HKT Limited Group have considered future taxable profits and business plans.	Our procedures in relation to the judgements and assumptions used in the recognition of current income tax provisions and deferred income tax assets included: • Enquiring with management and assessing management's basis used to compute the current income tax liabilities and the estimated outcome of queries raised by relevant tax authorities; • Assessing the appropriateness of the current income tax computation for the current year, according to the tax rules in the respective jurisdictions; • Testing, on a sample basis, available tax losses to the relevant financial statements and tax assessments; and • Assessing the reasonableness of the recognition of deferred income tax assets and the future taxable profits by comparing the data in the future taxable profits projections to the historical performance and considering the reasonableness of the key assumptions, including revenue growth rates and EBITDA growth rates, based on our knowledge of the business and the observable market data of the industry. We found the judgements and assumptions used in the recognition of current income tax provisions and deferred income tax assets to be supported by the available evidence.

Other Information

The directors of HKT Management Limited (the "Trustee-Manager", in its capacity as the trustee-manager of the HKT Trust) and the directors of the Company are responsible for the other information. The other information comprises all of the information included in the HKT Trust and HKT Limited 2020 annual report other than the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the financial statements of HKT Management Limited and our auditor's reports thereon.

Our opinion on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated.

If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of Directors and the Audit Committee for the HKT Trust and HKT Limited Consolidated Financial Statements

The directors of the Trustee-Manager and the directors of the Company are responsible for the preparation of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements that give a true and fair view in accordance with HKFRSs issued by the HKICPA and the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, the directors are responsible for assessing the Group's and the HKT Limited Group's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors either intend to liquidate the Group and the HKT Limited Group or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

The Audit Committee assists the directors in discharging their responsibilities for overseeing the Group's and the HKT Limited Group's financial reporting process.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the HKT Trust and HKT Limited Consolidated Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. We report our opinion solely to you, as a body, and for no other purpose. We do not assume responsibility towards or accept liability to any other person for the contents of this report. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with HKSA's will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements.

As part of an audit in accordance with HKSA's, we exercise professional judgement and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Group's and the HKT Limited Group's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the directors.
- Conclude on the appropriateness of the directors' use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Group's and the HKT Limited Group's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Group and the HKT Limited Group to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements, including the disclosures, and whether the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

- Obtain sufficient appropriate audit evidence regarding the financial information of the entities or business activities within the Group and the HKT Limited Group to express an opinion on the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements. We are responsible for the direction, supervision and performance of the group audit. We remain solely responsible for our audit opinion.

We communicate with the Audit Committee regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

We also provide the Audit Committee with a statement that we have complied with relevant ethical requirements regarding independence, and to communicate with them all relationships and other matters that may reasonably be thought to bear on our independence, and where applicable, actions taken to eliminate threats or safeguards applied.

From the matters communicated with the Audit Committee, we determine those matters that were of most significance in the audit of the HKT Trust and HKT Limited consolidated financial statements of the current period and are therefore the key audit matters. We describe these matters in our auditor's report unless law or regulation precludes public disclosure about the matter or when, in extremely rare circumstances, we determine that a matter should not be communicated in our report because the adverse consequences of doing so would reasonably be expected to outweigh the public interest benefits of such communication.

The engagement partner on the audit resulting in this independent auditor's report is Ng Ka Ho.

PricewaterhouseCoopers

Certified Public Accountants

Hong Kong, February 4, 2021

（※）上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は管理会社が別途保管しております。

[次へ](#)

（訳文）

独立監査人の監査報告書

HKTマネジメント・リミテッド株主 各位

（有限責任会社として、香港で設立された。）

監査意見

監査対象

202ページから210ページ（訳者注：原文のページ）に掲載されている、HKTマネジメント・リミテッド（以下「本トラスティ・マネジャー」という。）の財務書類は以下で構成されている。

- ・2020年12月31日現在の財政状態計算書
- ・同日に終了した事業年度の損益計算書
- ・同日に終了した事業年度の包括利益計算書
- ・同日に終了した事業年度の持分変動計算書
- ・同日に終了した事業年度のキャッシュ・フロー計算書
- ・財務書類に対する注記（主要な会計方針の要約を含む）

監査意見

私どもは、財務書類が、香港公認会計士協会（以下「HKICPA」という。）が公表している香港財務報告基準（以下「HKFRS」という。）に準拠して、本トラスティ・マネジャーの2020年12月31日現在の財政状態、並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローに関して真実かつ公正な概観を与えており、香港会社条例に準拠して適切に作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私どもは、HKICPAが公表している香港監査基準（以下「HKSA」という。）に準拠して監査を行った。これらの基準に基づく私どもの責任は、本報告書の「財務書類監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている。

私どもは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

独立性

私どもは、HKICPAによる職業会計士の倫理規定（以下「当該規定」という。）に準拠して本トラスティ・マネジャーに対して独立性を保持しており、また、当該規定で定められるその他の倫理上の責任を果たした。

その他の記載内容

取締役は、その他の記載内容について責任を有している。その他の記載内容は、HKTトラスト及びHKTリミテッド2020年度年次報告書のうち、本トラスティ・マネジャー財務書類、HKTトラスト及びHKTリミテッド連結財務書類並びにそれらに対する私どもの監査報告書以外の全ての情報である。

財務書類に関する私どもの監査意見の対象範囲には、その他の記載内容は含まれておらず、したがって、私どもは、当該その他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。

財務書類監査における私どもの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務書類又は私どもが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽表示の兆候があるかどうか留意することにある。

私どもは、実施した手続きに基づき、その他の記載内容に重要な虚偽表示があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。私どもは、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

財務書類に対する取締役及び監査委員会の責任

取締役は、HKICPAが公表しているHKFRS及び香港会社条例に準拠して真実かつ公正な概観を与える財務書類を作成すること、並びに不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務書類を作成するために取締役が必要であると判断した内部統制を整備及び運用する責任を有している。

財務書類を作成するにあたり、取締役は、本トラスティ・マネジャーが継続企業として存続する能力があるかどうかを評価し、必要がある場合には当該継続企業に関連する事項を開示する責任を有し、また、取締役が本トラスティ・マネジャーの清算又は事業停止の意図があるか、あるいはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務書類を作成する責任を有している。

監査委員会は、取締役が本トラスティ・マネジャーの財務報告プロセスの監視責任を果たすように支援する。

財務書類監査に対する監査人の責任

私どもの監査の目的は、全体としての財務書類に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私どもの監査意見を含む監査報告書を発行することである。私どもは、香港会社条例第405条に準拠して、HKTマネジメント・リミテッド株主全体に対してのみ私どもの監査意見を報告するものであり、他のいかなる目的も意図していない。私どもはこの報告書の内容に関して、他のいかなる人物に対しても責任を負っておらず、また、義務を受け入れるものでもない。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、HKSAに準拠して行った監査が、全ての重要な虚偽表示を常に発見することを保証(guarantee)するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、当該財務書類の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私どもは、HKSAに準拠して実施する監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持する他、以下を行う。

- ・不正又は誤謬による財務書類の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続を立案、実施し、私どもの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化が伴うためである。

- ・状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、本トラスティ・マネジャーの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・取締役が採用した会計方針の適切性及び取締役によって行われた会計上の見積りの合理性を評価し、関連する開示の妥当性を検討する。
- ・取締役が継続企業を前提として財務書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、本トラスティ・マネジャーの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうかを結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務書類の関連する開示に注意を喚起すること、又は当該開示が不適切な場合は、財務書類に対して除外事項付意見を表明することが求められる。私どもの結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、本トラスティ・マネジャーは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務書類の全体としての表示、構成及び内容（開示を含む。）を検討し、財務書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

私どもは、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項について、監査委員会と協議する。

プライスウォーターハウスクーパース

公認会計士事務所

香港、2021年2月4日

[前へ](#)

[次へ](#)

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

TO THE SOLE SHAREHOLDER OF HKT MANAGEMENT LIMITED

(Incorporated in Hong Kong with limited liability)

Opinion

What we have audited

The financial statements of HKT Management Limited (the “Company”) set out on pages 202 to 210, which comprise:

- the statement of financial position as at December 31, 2020;
- the income statement for the year then ended;
- the statement of comprehensive income for the year then ended;
- the statement of changes in equity for the year then ended;
- the statement of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the financial statements, which include a summary of principal accounting policies.

Our opinion

In our opinion, the financial statements give a true and fair view of the financial position of the Company as at December 31, 2020, and of its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with Hong Kong Financial Reporting Standards (“HKFRSs”) issued by the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants (“HKICPA”) and have been properly prepared in compliance with the Hong Kong Companies Ordinance.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with Hong Kong Standards on Auditing (“HKSA”) issued by the HKICPA. Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Company in accordance with the HKICPA's Code of Ethics for Professional Accountants (the “Code”), and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the Code.

Other Information

The directors are responsible for the other information. The other information comprises all of the information included in the HKT Trust and HKT Limited 2020 annual report other than the financial statements of the Company, the consolidated financial statements of HKT Trust and HKT Limited and our auditor's reports thereon.

Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated.

If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of Directors and the Audit Committee for the Financial Statements

The directors are responsible for the preparation of the financial statements that give a true and fair view in accordance with HKFRSs issued by the HKICPA and the Hong Kong Companies Ordinance, and for such internal control as the directors determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the directors are responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors either intend to liquidate the Company or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

The Audit Committee assists the directors in discharging their responsibilities for overseeing the Company's financial reporting process.

Auditor's Responsibilities for the Audit of the Financial Statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. We report our opinion solely to you, as a body, in accordance with Section 405 of the Hong Kong Companies Ordinance and for no other purpose. We do not assume responsibility towards or accept liability to any other person for the contents of this report. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with HKSA's will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with HKSA's, we exercise professional judgement and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the directors.
- Conclude on the appropriateness of the directors' use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with the Audit Committee regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

PricewaterhouseCoopers

Certified Public Accountants

Hong Kong, February 4, 2021

（※）上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は管理会社が別途保管しております。

[前へ](#)